

研究資料第269号
1991年3月29日

Research Series, No. 269
March 29, 1991

人口統計資料集

LATEST DEMOGRAPHIC STATISTICS

1990~91

厚生省人口問題研究所

Institute of Population Problems
Ministry of Health and Welfare
Tokyo, Japan

研究資料目録 (第222号以降)

- 第268号(1990. 3) 国際人口移動に関する統計資料
- 第267号(1990. 2) 世界人口推計概要—国連推計〔1990年改訂〕による—
- 第266号(1990. 1) 第43回簡速静止人口表(生命表)(1989年4月1日～1990年3月31日)
- 第265号(1990. 3) 人口関係文献集 1989
- 第264号(1990. 3) 人口統計資料集 1989
- 第263号(1990. 3) わが国女子の出生力表:1950～88年—出生力構造の分析—
- 第262号(1990. 3) 第42回簡速静止人口表(生命表)(1988年4月1日～1989年3月31日)
- 第261号(1989. 10) わが国女子の世代結婚表:1950～87年—配偶関係別人口割合の推定—
- 第260号(1989. 3) 人口統計資料集 1988
- 第259号(1989. 3) 人口関係文献集 1988
- 第258号(1989. 3) 第41回簡速静止人口表(生命表)(1987年4月1日～1988年3月31日)
- 第257号(1989. 1) 結婚の生命表—昭和10年, 30年～60年間毎5年—
- 第256号(1988. 7) 都道府県別純移動率 昭和25年～60年
- 第255号(1988. 6) 配偶関係別生命表 昭和30年～60年
- 第254号(1988. 3) 日本の人口変動の概観
- 第253号(1988. 3) 人口関係文献集 1987
- 第252号(1988. 3) 福祉施策関係推計資料 世代と福祉
- 第251号(1988. 3) 人口統計資料集 1987
- 第250号(1988. 2) 第40回簡速静止人口表(生命表)(昭和61年4月1日～62年3月31日)
付 第1回～第39回簡速静止人口表
- 第249号(1987. 11) わが国世帯数の将来推計(試算)—昭和60～100年—昭和62年10月推計
- 第248号(1987. 3) 人口統計資料集 1986
- 第247号(1987. 3) 都道府県別将来推計人口—昭和60年～100年間毎5年—昭和62年1月推計
- 第246号(1987. 2) 都道府県別人口の出生力に関する主要指標 昭和45～60年
- 第245号(1987. 2) 都道府県(11大都市再掲)別標準化人口動態率 昭和60年
- 第244号(1987. 2) 日本の将来推計人口—昭和60～100年—(昭和101～160年参考推計)
- 第243号(1986. 12) 全国日本人人口再生産に関する指標 昭和55～60年
- 第242号(1986. 12) 第39回簡速静止人口表(生命表)(昭和60年4月1日～61年3月31日)
- 第241号(1986. 3) 人口統計資料集 1985
- 第240号(1986. 3) 人口関係文献集(蔵書目録)
- 第239号(1985. 11) 第38回簡速静止人口表(生命表)(昭和59年4月1日～60年3月31日)
- 第238号(1985. 10) 戦後の日本人人口ならびに人口動態率改算の試み
- 第237号(1985. 9) 中国の人口問題研究に関する最近の基本資料
- 第236号(1985. 9) 第36回簡速静止人口表(生命表)(昭和57年4月1日～58年3月31日)
第37回簡速静止人口表(生命表)(昭和58年4月1日～59年3月31日)
- 第235号(1985. 9) 全国日本人人口の再生産に関する指標 昭和50～55年
- 第234号(1985. 3) 人口統計資料集 1984
- 第233号(1984. 12) 都道府県間人口移動表—昭和29～58年—
- 第232号(1984. 11) 世界の人口変動の概観(付地域別推計人口)
- 第231号(1984. 3) 人口統計資料集 1983
- 第230号(1983. 2) 人口統計資料集 1982
- 第229号(1982. 12) 都道府県別標準化人口動態率〔昭和5年全国人口標準〕昭和55年
- 第228号(1982. 11) 第35回簡速静止人口表(生命表)(昭和56年4月1日～57年3月31日)
- 第227号(1982. 4) 日本の将来推計人口—全国男女年齢別, 昭和55～155年—昭和56年11月推計
- 第226号(1981. 10) 第34回簡速静止人口表(生命表)(昭和55年4月1日～56年3月31日)
- 第225号(1981. 6) 国際連合の推計に基づく世界の地域別人口基本構造
- 第224号(1981. 6) コスティツィン著 生物数理論
- 第223号(1981. 1) 性教育問題
- 第222号(1980. 12) 第33回簡速静止人口表(生命表)(昭和54年4月1日～55年3月31日)

序 文

この資料は、人口に関する統計のうち、とくに重要なものを選んで、人口の動向と人口問題の調査研究に資するために編集したものである。

人口の調査研究を推進するためには、絶えず進展し、流動する人口現象について最も新しい統計を広く内外にわたって把握することが必要である。人口問題研究所（人口情報部）は全国、国内各地域、さらに広く諸外国について、調査、登録あるいは推計によって把握され、発表された最新の人口統計資料を収集することに努めるとともに、研究に必須と思われる主要な統計を抜粋し、必要なものには統計的加工を施し資料を作成している。当研究所は過去にも人口統計の資料集を刊行してきたが、この『人口統計資料集』は1982年以後年1回定期的に発行され、今回で第9集目になり、当研究所の人口統計の資料を代表するものとなっている。本資料集が広く一般に利用され役立つことを望む次第である。

本資料集は統計表と年表とによって編成されており、統計表は毎年掲載表と特集題目表とに分けられ、本年の特集題目は「移動・分布」である。毎年掲載表は人口現象の変化に応じて適宜改訂を加えており、人口統計をより細かく12区分して編集し、利用の便を図った。また、年表は1990年1年分についてやや詳しくとりあげている。なお、本年は特集の関係で、Ⅺ地域移動・地域分布のうち日本関係、Ⅻ都道府県別統計のうち移動・分布関係の表（表目次に*印を付記）は特集部に収められている。

この資料の作成は、人口情報部長 廣嶋清志、人口情報部人口解析センター室長 渡邊吉利、同部主任研究官山本道子、人口解析センター 石川晃、坂東里江子および文献センター 白石紀子の各技官が担当し、特集部分については、人口構造研究部地域構造研究室 室長若林敬子、稲葉寿、同部世帯構造研究室 西岡八郎の各技官が担当したものである。なお、特集部分の編集については人口構造研究部長 内野澄子、山本千鶴子の各技官が協力した。

1991年3月10日

厚生省人口問題研究所長

河 野 稠 果

特集テーマ

第1集	1982年	なし
第2集	1983年	国際人口統計
第3集	1984年	高齢者統計
第4集	1985年	死亡統計
第5集	1986年	都道府県別人口構造
第6集	1987年	人口構造（労働力状態別人口・配偶関係別人口）
第7集	1988年	出生・結婚統計
第8集	1989年	世帯統計
第9集	1990～91年	移動・分布統計
第10集	1992年	死亡統計（予定）
第11集	1993年	高齢者統計（予定）
第12集	1994年	人口構造（予定）

目 次

利用の手引き	1
人口統計について	3
毎年掲載表	7
I. 人口および人口増加率	9
II. 国籍別人口および国際移動	20
III. 年齢別人口	32
IV. 人口動態率（自然増加，標準化，安定）	41
V. 出生・家族計画	46
VI. 死亡・寿命	56
VII. 結婚・離婚・配偶関係別人口	65
VIII. 世帯	77
IX. 労働力	88
X. 教育・栄養	96
XI. 地域移動・地域分布	100
XII. 都道府県別統計	103
特集題目表（地域移動・地域分布）	121
人口年表 1990	217
索引	244

Contents

Introduction.....	1
I . National and World Population Trends.....	9
II . Population by Nationality and International Migration	20
III . Population by Age	32
IV . Rate of Population Growth (Natural Increase, Standardized, and Stable).....	41
V . Fertility and Family Planning	46
VI . Mortality	56
VII . Nuptiality	65
VIII . Households and Living Arrangements	77
IX . Labor Force.....	88
X . Education	96
XI . Migration and Regional Distribution	100
XII . Statistics for Prefectures	103
Special Topics: Regional Migration and Distribution.....	121
Chronology on Population: 1990	217
Index	244

表 目 次

毎年掲載表

I. 人口および人口増加率

1 - 1	近代以前の日本の人口	9
1 - 2	江戸時代の戸口調査（人別改）人口：1721～1852年	9
1 - 3	総人口の推移：1872～1990年	9
1 - 4	日本の日本人人口と人口密度：1872～1920年	10
1 - 5	日本の総人口と人口密度：1920～90年	11
1 - 6	現在の領域の日本の総人口および調査時の日本の総人口：1920～90年	13
1 - 7	日本の総人口の将来予測：1985～2085年	14
1 - 8	世界総人口の推移：紀元前～1965年	15
1 - 9	世界総人口の推移と予測：1950～2025年	15
1 - 10	世界の大地域別にみた人口，面積および人口密度：1989，90年	15
1 - 11	西暦14年から1800年までの世界人口	16
1 - 12	世界の主要地域別人口および人口増加率：1950～2025年	17
1 - 13	世界の主要地域別人口割合：1950～2025年	17
1 - 14	主要国の人口，人口増加率，面積および人口密度：1985～89年	18
1 - 15	主要国の農用地面積当たり特殊人口密度：1989年	18
1 - 16	主要国の人口および人口増加率：1950～2025年	19

II. 国籍別人口および国際移動

2 - 1	在留資格（2区分）別登録外国人数：1952～89年	20
2 - 2	在留資格（2区分）および性，国籍別在留外国人数：1986，88年	20
2 - 3	性，日本人・外国人別人口：1920～89年	21
2 - 4	性，年齢（5歳階級），日本人・外国人別人口：1985，89年	21
2 - 5	国籍（地域），性別登録外国人数：1959～88年	21
2 - 6	国籍別にみた登録外国人数：1960～89年	22
2 - 7	性，日本人・外国人別入国超過数：1955～89年	22
2 - 8	性，年齢（5歳階級），日本人・外国人別入国超過数：1989年	23
2 - 9	日本人・外国人の別にみた出入国者数：1960～90年	24
2 - 10	国籍別にみた出入国者数：1980，89年	24
2 - 11	国籍別入国超過数：1975～89年	25
2 - 12	性別国籍の異動による日本人人口の純増：1967～89年	26

2 - 13	性, 年齢 (5歳階級) 別国籍の異動による日本人人口の純増: 1980~89年	26
2 - 14	在留国別にみた在外日本人, 日系人および戦後の移住者数: 最新年次	26
2 - 15	海外の日本人数: 1968~89年	27
2 - 16	国および都市別在留邦人数 (上位25位): 1981, 89年	27
2 - 17	主要な移住国別にみた戦後の移住者数: 1945~89年	28
2 - 18	渡航費支給移住者数の推移と送出先別分布: 1952~89年	28
2 - 19	世界の主要地域別にみた純移動数および純移動率: 1980~95年	29
2 - 20	主要国の民族別人口	29
2 - 21	主要国の国籍別人口	30
2 - 22	主要国の自国生まれ, および他国生まれの人口	31

III. 年齢別人口

3 - 1	性, 年齢 (5歳階級) 別にみた人口: 1930, 85年	32
3 - 2	性, 年齢 (5歳階級) 別にみた総人口および日本人人口: 1989年	33
3 - 3	年齢 (3区分) 別にみた人口および増加率: 1868~1989年	34
3 - 4	人口の年齢構造に関する指標: 1868~1989年	34
3 - 5	年齢 (3区分) 別にみた人口および増加率の将来予測: 1985~2085年	35
3 - 6	将来推計人口の年齢構造に関する指標: 1985~2085年	35
3 - 7	年齢 (4区分) 別にみた人口の推移と将来予測: 1920~2085年	36
3 - 8	19, 20, 21世紀生まれ人口の割合: 1920~2025年	36
3 - 9	100歳以上人口の推移 (1963~90年) と性, 年齢別100歳以上人口 (1990年)	36
3 - 10	世界の主要地域別にみた年齢 (3区分) 別人口: 1950~2025年	37
3 - 11	世界の主要地域別にみた年齢 (3区分) 別人口割合: 1950~2025年	37
3 - 12	世界の主要地域別にみた従属人口指数: 1950~2025年	37
3 - 13	主要国の年齢 (3区分) 別人口割合および年齢構造に関する主要指標: 最新年次	38
3 - 14	主要国の年齢 (3区分) 別人口割合: 1950~2025年	39
3 - 15	主要先進国の65歳以上人口割合: 1850~2025年	40
3 - 16	主要先進国の65歳以上人口割合別の到達年次とその倍化年数	40
3 - 17	主要先進国の65歳以上人口に占める前期・後期別老年人口割合: 最新年次	40

IV. 人口動態率 (自然増加, 標準化, 安定)

4 - 1	普通出生率, 死亡率, 自然増加率および標準化出生率, 死亡率, 自然増加率: 1873~1990年	41
4 - 2	将来の出生, 死亡および自然増加の実数ならびに率: 1986~2034年	42
4 - 3	世界の主要地域別にみた普通出生率, 普通死亡率および自然増加率: 1950~2025年	43
4 - 4	主要国の普通出生率, 普通死亡率および自然増加率: 最新年次	43

4 - 5	主要国の普通出生率, 普通死亡率および自然増加率: 1950~2025年	44
4 - 6	女子の安定人口動態率, 平均世代間隔および年齢構造係数: 1925~89年	45

V 出生・家族計画

5 - 1	国籍別出生数: 1872~1989年	46
5 - 2	性別出生数および出生性比: 1872~1989年	46
5 - 3	出生数および出生率の要因分解: 1920~89年	47
5 - 4	父母の国籍別出生児数: 1987~89年	47
5 - 5	母の年齢(5歳階級)別出生数: 1947~89年	47
5 - 6	母の年齢(5歳階級)別, 嫡出でない子の出生数: 1947~89年	48
5 - 7	出生順位別出生数: 1950~89年	48
5 - 8	女子人口の出生力および再生産力: 1925~2025年	49
5 - 9	世界の主要地域別にみた合計特殊出生率: 1950~2025年	50
5 - 10	主要国の合計特殊出生率, 純再生産率および婦人子供比: 最新年次	50
5 - 11	主要先進国の合計特殊出生率: 1960~89年	51
5 - 12	主要国の合計特殊出生率: 1950~2025年	51
5 - 13	女子の年齢(5歳階級)別出生率および平均出生年齢: 1930~89年	52
5 - 14	主要国の女子の年齢(5歳階級)別にみた出生率: 最新年次	52
5 - 15	男子の年齢(5歳階級)別出生率および平均出生年齢: 1955~89年	52
5 - 16	有配偶女子の年齢(5歳階級)別にみた出生率: 1930~85年	53
5 - 17	自然・人工別死産数: 1950~89年	53
5 - 18	人工妊娠中絶数および優生手術数: 1950~89年	53
5 - 19	避妊の実行割合: 1950~90年	54
5 - 20	避妊経験者および現在避妊実行者の避妊方法別割合: 1950~90年	54
5 - 21	人工妊娠中絶経験者の割合: 1952~90年	54
5 - 22	妻の年齢(5歳階級)別にみた既往出生児数: 1970~90年	55
5 - 23	妻の年齢(5歳階級)別にみた予定子供数: 1974~90年	55
5 - 24	有配偶女子の出生コーホート別にみた出生児数別割合および平均出生児数: 1890年以前~1947年生まれ	55

VI. 死亡・寿命

6 - 1	国籍別死亡数: 1872~1989年	56
6 - 2	性別死亡数および死亡性比: 1872~1989年	56
6 - 3	乳児, 新生児および周産期死亡: 1920~89年	57
6 - 4	主要国の乳児死亡率: 最新年次	57
6 - 5	世界の主要地域別にみた乳児死亡率: 1950~2025年	58

6 - 6	主要国の乳児死亡率：1950～2025年	58
6 - 7	性，年齢（5歳階級）別死亡率：1930～89年	59
6 - 8	主要国の性，年齢（5歳階級）別死亡率：最新年次	59
6 - 9	性別にみた出生時の平均余命および生存数：1921～2025年	60
6 - 10	性別にみた平均寿命の伸びに対する年齢別死亡率変化の寄与率：1891～1989年	60
6 - 11	主要国の性別出生時の平均余命：最新年次	61
6 - 12	世界主要地域の性別出生時の平均余命：1950～2025年	61
6 - 13	主要国の性別にみた出生時の平均余命：1950～2025年	62
6 - 14	性，配偶関係別20歳時平均余命：1970～85年	63
6 - 15	職業別男子就業者の15歳時平均余命：1970～85年	63
6 - 16	主要な死因別にみた標準化死亡率および標準化死亡割合：1935～88年	64
6 - 17	主要国の主要死因別にみた標準化死亡率：最新年次	64

VII. 結婚・離婚・配偶関係別人口

7 - 1	初婚・再婚別婚姻件数および普通婚姻率：1883～1990年	65
7 - 2	全婚姻と初婚の別にみた平均婚姻年齢：1899～1989年	66
7 - 3	主要国の平均初婚年齢：最新年次	66
7 - 4	性，年齢（5歳階級）別累積婚姻率および合計婚姻率：1980～89年	67
7 - 5	性，年齢（5歳階級）別累積初婚率および合計初婚率：1980～89年	67
7 - 6	性，年齢（5歳階級）別累積再婚率および合計再婚率：1980～89年	67
7 - 7	性，年齢（5歳階級）別死別・離別累積再婚率：1989年	68
7 - 8	性，年齢（5歳階級）別未婚人口に対する初婚率：1980，85年	68
7 - 9	性，年齢（5歳階級）別死別・離別人口に対する再婚率：1980，85年	68
7 - 10	夫妻の国籍別婚姻数：1965～89年	69
7 - 11	日本人と婚姻した性，国籍別外国人数：1965～89年	69
7 - 12	日本人の外国人との婚姻割合：1965～89年	69
7 - 13	外国人の性，国籍別日本人との婚姻割合：1965～89年	69
7 - 14	種類別離婚数および普通離婚率：1883～1990年	70
7 - 15	主要国の婚姻率および離婚率：最新年次	70
7 - 16	親権を行う子をもつ夫妻別にみた離婚件数：1950～89年	71
7 - 17	夫妻が親権を行う子の数別離婚件数および子の総数：1950～89年	71
7 - 18	同居期間別離婚件数：1947～89年	72
7 - 19	夫妻の国籍別離婚数：1965～89年	72
7 - 20	年齢（5歳階級）別累積離婚率，合計離婚率および平均離婚年齢：1980～88年	73
7 - 21	有配偶合計離婚率および合計離婚率：1980～88年	73

7 - 22	性別にみた配偶関係別15歳以上人口：1920～85年	74
7 - 23	性，年齢（5歳階級）別にみた配偶関係別人口：1985年	74
7 - 24	性，年齢（5歳階級）別にみた配偶関係別割合：1965～85年	75
7 - 25	主要国の性，年齢階級別にみた未婚率および有配偶率：最新年次	76

VIII. 世帯

8 - 1	世帯増加率と人口増加率の比較および平均世帯人員：1920～90年	77
8 - 2	世帯の種類別にみた世帯数および世帯人員総数：1920～85年	77
8 - 3	一般世帯と施設等の世帯および普通世帯と準世帯の対照：1985年	78
8 - 4	世帯の種類別平均世帯人員および単独世帯の割合：1920～85年	79
8 - 5	世帯の種類別にみた年平均増加率：1920～85年	79
8 - 6	世帯の種類別にみた世帯人員総数および平均世帯人員の将来予測：1985～2025年	79
8 - 7	主要国の平均世帯人員：最新年次	80
8 - 8	世帯人員別にみた一般世帯数：1970～85年	80
8 - 9	単独世帯数，親族世帯数および核家族世帯数：1920～85年	80
8 - 10	主要国の世帯人員別世帯数，世帯人員総数および平均世帯人員：最新年次	81
8 - 11	家族類型別にみた一般世帯数：1970～85年	82
8 - 12	家族類型別にみた一般世帯数の将来予測：1985～2025年	82
8 - 13	経済構成別にみた一般世帯数，親族人員総数および平均親族人員：1980，85年	83
8 - 14	世帯類型別にみた特殊世帯の世帯数：1955～89年	83
8 - 15	世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯数：1975～89年	83
8 - 16	家族類型別にみた65歳以上の親族のいる一般世帯数：1960年～2025年	84
8 - 17	世帯の家族類型別65歳以上人口（子らとの同居率）：1960～85年	84
8 - 18	世帯の家族類型別子供人口：1970～85年	85
8 - 19	子供の親族のいる世帯の家族類型別世帯数：1970～85年	85
8 - 20	家族類型別一般世帯における子供および高齢者のいる割合：1970～85年	85
8 - 21	性，年齢（5歳階級）別（有配偶別掲）普通世帯世帯主率：1955～85年	86
8 - 22	外国人のいる世帯の家族類型，世帯主の国籍別一般世帯数および世帯人員：1985年	87

IX. 労働力

9 - 1	性別にみた労働力状態別人口とその割合：1920～90年	88
9 - 2	性，年齢（5歳階級）別にみた労働力率：1955～89年	89
9 - 3	主要国の性別労働力率：最新年次	89
9 - 4	主要国の性，年齢（5歳階級）別にみた労働力率：最新年次	90
9 - 5	産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：1920～85年	91
9 - 6	主要国の産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：最新年次	91

9 - 7	性別にみた産業（大分類）別就業人口とその割合：1985年	92
9 - 8	職業（4区分）別にみた就業人口とその割合：1955～85年	92
9 - 9	主要国の職業（大分類）別にみた就業人口割合：最新年次	92
9 - 10	従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：1950～85年	93
9 - 11	主要国の従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：最新年次	93
9 - 12	従業者規模別にみた事業所数，従業者数とその割合：1986年	93
9 - 13	産業（大分類）別にみた事業所数，従業者数とその割合：1981，86年	94
9 - 14	性別にみた社会経済分類別就業人口とその割合：1985年	94
9 - 15	国籍（4区分），労働力状態（8区分），性別15歳以上外国人数：1985年	95
9 - 16	労働力状態，年齢（5歳階級），性別15歳以上外国人数：1985年	95
9 - 17	職業の有無別在留外国人数：1964～88年	95
9 - 18	就業および就学の在留資格別外国人数：1964～88年	95
X. 教育・栄養		
10 - 1	教育程度別にみた学校数，在学者数および教員数：1877～1990年	96
10 - 2	性別にみた教育程度別人口：1960～80年	96
10 - 3	性，年齢階級別にみた人口の教育程度別割合：1970，80年	97
10 - 4	性別にみた高等学校・大学への進学率：1950～90年	97
10 - 5	主要国の性別にみた教育程度別在学率：最新年次	98
10 - 6	主要国の性別にみた非識字率：最新年次	98
10 - 7	世界各国の性別および都市・農村別非識字率：最新年次	99
10 - 8	世界の地域別栄養不足人口：1969～81年	99
XI. 地域移動・地域分布		
11 - 1	世界の主要都市の人口：最新年次	100
11 - 2	世界の主要都市域別人口の推移と将来推計：1970～2000年	101
11 - 3	世界の主要地域における都市人口割合：1950～2025年	102
11 - 4	主要国の都市人口割合：1950～2025年	102
XII. 都道府県別統計		
12 - 1	都道府県別にみた年齢（3区分）別人口とその割合：1989年	103
12 - 2	都道府県別人口の年齢構造に関する指標：1989年	104
12 - 3	都道府県別にみた年齢（3区分）別人口割合：1960～85年	105
12 - 4	都道府県別にみた年齢（3区分）別人口の将来予測：1990～2000年	106
12 - 5	都道府県別にみた普通および標準化出生率，死亡率：1989年	107
12 - 6	都道府県別にみた合計特殊出生率：1975～85年	107
12 - 7	都道府県別にみた女子人口の純再生産率：1975～85年	108

12-8	都道府県別にみた性別出生時の平均余命：1980，85年	108
12-9	都道府県別にみた人口動態の実数および率：1989年	109
12-10	都道府県別，女子の年齢（5歳階級）別出生率と合計特殊出生率：1989年	111
12-11	都道府県別にみた男子30～34歳，女子25～29歳未婚者割合：1970～85年	112
12-12	都道府県別にみた普通世帯数および平均世帯人員：1960～85年	113
12-13	都道府県別にみた総世帯数および平均世帯人員：1985～90年	114
12-14	都道府県別にみた世帯の種類別世帯数，世帯人員総数および平均世帯人員：1985年	115
12-15	都道府県別にみた一般世帯の家族類型別割合：1975～85年	116
12-16	都道府県別にみた高齢者(65歳以上)の家族形態別割合：1989年	117
12-17	都道府県別にみた高齢者(65歳以上)の子との同別居状況割合：1989年	118
12-18	都道府県別にみた産業（3部門）別就業人口：1960～85年	119
12-19	都道府県別にみた国籍（3区分），性別登録外国人数：1989年	120

特集題目表（地域移動・地域分布）	121
Ⅰ．地域移動（17表）	123
Ⅱ．地域分布（24表）	148
Ⅲ．3大都市距離圏（6表）	177
Ⅳ．人口集中地区（3表）	185
Ⅴ．昼夜間人口と学卒者の流動（5表）	188
Ⅵ．過疎（14表）	193
Ⅶ．移動理由（25表）	202

Ⅰ．地域移動

1* 性，入居時期（6区分）別人口：1960～80年	123
2* 性，前住地（6区分）別年間移動者数：1960～80年	123
3* 性，年齢，県内・県外別年間移動率：1960～80年	124
4 性，年齢別生涯移動率（1970，80年）	125
5 性，コーホート別生涯移動率（1970，80年）	125
6 性，年齢別定着率（1970，80年）	125
7* 県内・県間別にみた市区町村間移動数，性比および率：1954～89年	126
8 全国13地域の3大都市圏からの純移動数：1955～89年	127
9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年	128
10* 類型別にみた府県間移動数：1954～89年	140
11* 3大都市圏別にみた大都市圏の転入超過人口：1954～89年	141
12 都道府県別流出超過数：1920～85年	142
13 都道府県別流出超過率：1920～85年	143
14 都道府県別にみた府県内・府県間別市区町村間移動数：1989年	144
15* 都道府県別にみた性，年齢（5歳階級）別純移動率および標準化純移動率：1980～85年	145
16 東京都の人口移動：1971～89年	147
17 東京都の人口移動指数：1971～89年	147

Ⅱ．地域分布

18 地方別人口：1872～1985年	148
19* 地方別にみた人口とその割合および人口密度：1950～89年	150
20* 地方別にみた人口増加：1950～89年	150
21* 地方別にみた人口および自然・社会別人口増加：1975～85年	151
22* 都道府県別にみた性別人口，人口密度および人口増加率：1985，90年	152
23* 都道府県別にみた人口の推移：1920～80年	154

24*	都道府県別にみた年平均人口増加率：1920～80年	156
25*	都道府県別にみた人口および増加率：1986～90年	157
26*	都道府県別にみた人口および増加率の将来予測：1985～2000年	158
27*	都道府県別にみた自然増加率および社会増加率：1960～85年	159
28*	都道府県別の市部・郡部別にみた人口とその割合：1970～85年	160
29	都道府県別人口の全国人口に占める割合：1920～85年	161
30	都道府県別人口密度の地域差指数：1920～85年	163
31	都道府県別都市化の速度：1960～85年	165
32	人口20万以上の都市の人口と人口増加率：1960～85年	166
33	都道府県別人口階級別市町村数：1985年	170
34	人口規模(特定2区分)別市および町村の人口：1990年	171
35	都道府県庁所在都市の人口が都道府県人口に占める割合：1980～90年	173
36	都道府県別にみた人口の増加・減少市町村数：1985年	174
37	県庁所在都市の人口および人口増減率：1965～85年	174
38*	人口増加率および減少率の大きい市と町村：1980～85年	175
39*	市町村の人口密度階級別にみた市町村数および人口：1985年	175
40*	人口規模階級別にみた市町村人口および増加率：1965～85年	176
41*	市部・郡部別にみた人口とその割合および市町村数：1920～85年	176
Ⅲ. 3 大都市距離圏		
42*	東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口とその割合：1960～85年	177
43*	東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口増加：1960～85年	177
44	3大都市圏別にみた距離帯別人口および人口密度：1970～85年	178
45	3大都市圏別にみた距離帯別人口増減：1960～85年	179
46	3大都市圏別にみた距離帯別人口および人口増加：1985～90年	180
47	3大都市圏別にみた距離帯別通勤時間別世帯数：1978～88年	182
Ⅳ. 人口集中地区		
48*	市部・郡部別にみた人口集中地区人口、面積および人口密度：1960～85年	185
49*	都道府県別にみた人口集中地区の人口、面積および人口密度：1975, 85年	186
50	都道府県別人口集中地区の人口増加数および増減率：1960～85年	187
Ⅴ. 昼夜間人口と学卒者の流動		
51*	都道府県別にみた常住(夜間)人口および昼間人口：1975, 85年	188
52	人口50万以上の市の昼間人口および昼夜間人口比率：1980, 85年	189
53	東京都特別区部の区別昼間人口、常住人口および昼夜間人口比率：1960～85年	190
54*	都道府県別にみた中学校、高等学校卒業者の進学率および就職率：1990年	191

55*	都道府県別にみた大学(学部)卒業の就職者数：1990年	192
VI. 過疎		
56	都道府県別過疎地域市町村数および人口：1990年	193
57	都道府県別過疎地域市町村人口：1960～90年	194
58	地方別過疎地域市町村数および人口：1990年	196
59	地方別過疎地域人口：1960～90年	196
60	人口増減率段階別過疎地域市町村数：1960～90年	197
61	人口規模階級別にみた過疎地域市町村数：1960～90年	197
62	過疎地域の年齢5歳階級別人口：1960, 75, 85年	198
63	過疎地域の年齢階級別にみた人口増減率：1960～85年	198
64	過疎地域のコーホート人口の増減率：1960～85年	199
65	過疎地域の地方別高齢者比率および若年者比率：1960～85年	199
66	過疎地域の地方別世帯数：1985, 90年	200
67	過疎地域の地方別1世帯当たり世帯員数：1985, 90年	200
68	過疎地域の人口減少率および人口増加率の高い市町村：1985～90年	201
69	過疎地域の高齢者割合の高い市町村および低い市町村：1985年	201
VII. 移動理由		
70	移動理由：1971年	202
71	転入時期別移動理由：1971年	205
72	年齢別世帯主の1年前の住所と現住地の異同：1976年	207
73	この1年間に住所を変えた理由：1976年	207
74	大都市圏を離れた理由：1976年	207
75	移動を希望する理由：1976年	208
76	移動希望者の移動希望先一居住地域別一：1976年	208
77	移動希望者の移動希望先一年齢5歳階級別一：1976年	208
78	移動の理由 主なもの5つ：1981年	209
79	移動希望の有無：1981年	209
80	移動を希望する理由：1981年	209
81	移動希望者の移動希望先：1981年	209
82	世帯主の現住地への転入時期別転入理由：1986年	210
83	現住地からみた世帯員の生涯移動の範囲：1986年	210
84	大都市地域・非大都市地域2区分による出生地と現住地の関係：1986年	211
85	世帯主・配偶者の性、年齢別他出範囲別Uターン、Jターン割合：1986年	211
86	世帯主・配偶者の性、年齢別他出範囲別残存率、Uターン率：1986年	212

87	高齢人口の移動時の年齢別移動理由：1988年	213
88	引越し経験の有無について：1988年	213
89	出生地，最終学歴地，就職地，結婚地，墓地，故郷の分布：1988年	214
90	移動パターン別移動理由：1976年	215
91	年齢別移動理由：1976年	215
92	東京都における他府県間転入理由：1971～86年	216
93	東京都における他府県間転出理由：1971～86年	216
94	都内市区町村間移動理由：1971～86年	216

(*は毎年掲載表からのもの)

利用の手引き

1. 本統計資料集は各統計機関から発表された人口に関する基本的な統計を網羅するとともに、人口問題研究所がそれに対して割合や率の算出など比較的簡単な加工を加えた資料からなっている。ただし、一部にはやや高度な加工を行ったものもある。たとえば、安定人口構造の算出や平均余命への年齢別死亡率低下の効果分析など。
2. 各表の下に記述した注は、紙幅の都合上、いずれも必要な最少限度にとどめてあるので、より詳しく調べたい場合には、掲記してある原典を参照されたい。
3. 統計表は1991年3月31日までに発表されたものによって作成されており、人口年表は1990年1月1日から12月31日までのものである。
4. 毎年掲載表はできるかぎり時系列表を含めたが、人口年表は1年間の内容に限定されている。
5. 本統計資料集は国内の利用者を主たる対象としており、表の配列は日本のものを優先する。すなわち、各テーマ(12の中項目内のさらに細かなテーマ)ごとに「日本→世界と世界の主要地域→主要各国」という順に配列されている。
6. 本統計資料集の扱う人口統計の基本的性格の理解のために「人口統計について」を付した。
7. 数字の単位未満は、4捨5入することを原則としている。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。
8. 表中に用いた記号は次のとおりである。
 - … その事象が出現することは本質的にありえない場合、または表章することが不適当な場合
 - … 統計数が得られない場合
 - その事象が出現する可能性をもっているが、統計上出現しない場合
 - 0 (0.0) 表章単位に満たないもの
9. 巻末の索引は目次および表目次から検索しにくい項目など最少限を掲げた。

本資料集における世界主要地域の構成

(国連の設定による。地域および国の名称は国連推計資料に用いている英語名を邦訳した。)

A. アフリカ

1. 東部アフリカ
 - 英領インド洋地域
 - ブルンジ
 - コモロ
 - ジブチ
 - エチオピア
 - ケニア
 - マダガスカル
 - マラウイ
 - モーリシャス
 - モザンビーク
 - レユニオン
 - ルワンダ
 - セイシェル
 - ソマリア
 - ウガンダ
 - タンザニア
 - ザンビア
 - ジンバブエ
2. 中部アフリカ
 - アンゴラ
 - カメルーン
 - 中央アフリカ
 - チャド
 - コンゴ
 - 赤道ギニア
 - ガボン
 - サントメ＝プリンシペ
 - ザイール
3. 北部アフリカ
 - アルジェリア
 - エジプト
 - リビア
 - モロッコ
 - スーダン
 - チュニジア
 - 西部サハラ
4. 南部アフリカ
 - ボツワナ
 - レソト
 - ナミビア
 - 南アフリカ
 - スワジランド
5. 西部アフリカ
 - ベニン
 - ブルキナ＝ファソ
 - ケープベルデ
 - コートジボアール
 - ガンビア
 - ガーナ
 - ギニア
 - ギニア＝ビサウ
 - リベリア
 - マリ
 - モーリタニア
 - ニジェール
 - ナイジェリア
 - セントヘレナ
 - セネガル
 - シエラレオネ
 - トーゴ

B. ラテンアメリカ

6. カリブ海
 - アンギラ
 - アンチグア＝バーブーダ
 - アルバ
 - バハマ
 - バルバドス
 - 英領バージン諸島
 - カイマン諸島
 - キューバ
 - ドミニカ
 - ドミニカ共和国
 - グレナダ
 - グアドループ
 - ハイチ
 - ジャマイカ
 - マルチニーク
 - モントセラト
 - オランダ領アンチル
 - プエルトリコ
 - セントクリストファー＝ネイビス
 - セントルシア
 - セントビンセント＝グレナディーン
 - トリニダード＝トバゴ
 - タークス＝カイコス諸島
 - 米領バージン諸島
7. 中央アメリカ
 - ベリーズ
 - コスタリカ
 - エルサルバドル
 - グアテマラ
 - ホンジュラス
 - メキシコ
 - ニカラグア
 - パナマ
8. 南アメリカ
 - 温帯南アメリカ
 - アルゼンチン
 - チリ
 - フォークランド(マルビナス)諸島
 - ウルグアイ
 - 熱帯南アメリカ
 - ボリビア
 - ブラジル
 - コロンビア
 - エクアドル
 - 仏領ギアナ
 - ガイアナ
 - パラグアイ
 - ペルー
 - スリナム
 - ベネズエラ
9. 北部アメリカ
 - バーミューダ
 - カナダ

- グリーンランド
- サンピエール＝ミクロン
- アメリカ合衆国

D. アジア

10. 東アジア
 - 中国
 - ホンコン
 - 日本
 - 朝鮮
 - 北朝鮮
 - 韓国
 - マカオ
 - モンゴル
11. 南東部アジア
 - ブルネイ
 - カンボジア
 - 東チモール
 - インドネシア
 - ラオス
 - マレーシア
 - ミャンマー(ビルマ)
 - フィリピン
 - シンガポール
 - タイ
 - ベトナム
12. 南部アジア
 - アフガニスタン
 - バングラデシュ
 - ブータン
 - インド
 - イラン
 - モルジブ
 - ネパール
 - パキスタン
 - スリランカ
13. 西部アジア
 - バーレーン
 - キプロス
 - 民主イエメン
 - ガザ地帯(パレスチナ)
 - イラク
 - イスラエル
 - ヨルダン
 - クウェート
 - レバノン
 - オマーン
 - カタール
 - サウジアラビア
 - シリア
 - トルコ
 - アラブ首長国連邦
 - イエメン

E. ヨーロッパ

14. 東部ヨーロッパ
 - ブルガリア
 - チェコスロバキア
 - ハンガリー
 - ポーランド
 - ルーマニア

15. 北部ヨーロッパ
 - チャネル諸島
 - デンマーク
 - フェロー諸島
 - フィンランド
 - アイスランド
 - アイルランド
 - マン島
 - ノルウェー
 - スウェーデン
 - イギリス
16. 南部ヨーロッパ
 - アルバニア
 - アンドラ
 - ジブラルタル
 - ギリシア
 - バチカン市国
 - イタリア
 - マルタ
 - ポルトガル
 - サンマリノ
 - スペイン
 - ユーゴスラビア
17. 西部ヨーロッパ
 - オーストリア
 - ベルギー
 - フランス
 - ドイツ[統一]
 - 西ドイツ
 - 東ドイツ
 - リヒテンシュタイン
 - ルクセンブルグ
 - モナコ
 - オランダ
 - スイス
- F. オセアニア
 18. オーストラリア＝ニュージーランド
 - オーストラリア
 - ニュージーランド
 19. メラネシア
 - フィジー
 - ニューカレドニア
 - バプアニューギニア
 - ソロモン諸島
 - バヌアツ
 20. ミクロネシア
 - グアム
 - キリバス
 - ナウル
 - 太平洋諸島
 21. ポリネシア
 - 米領サモア
 - クック諸島
 - 仏領ポリネシア
 - ニウエ
 - サモア
 - トンガ
 - ツバル
 - ワリス＝フツナ諸島
- G. 22. ソビエト連邦

人口統計について

1. 人口統計の対象

人口統計は、人口現象が社会に種々の影響を与えるという人口問題の視点から、人口現象について集められた統計であるといえる。人口現象の中核は一国の人口全体の変動、とくに人口再生産という観点からの変動であるといえるが、その時代の人口問題に応じて人口統計の対象となる人口現象の範囲や重点が少しずつ変動することは避けられない。

戦後すぐには、受胎調節の普及、人工妊娠中絶数の動きとともに出生率の急速な低下に関心が持たれた。近年は人口高齢化に強い関心が寄せられ、人口の年齢構成、高齢者の配偶関係などの属性やその世帯形態、あるいは置き換え水準以下の低い出生率に関連して、その主要原因とみられる結婚の動向などが注目されている。逆に、産業別人口の動向が人口問題として論じられることは比較的少なくなったとみられる。

とくに最近では、外国人労働者をめぐる国際人口移動の動向に関する統計に対する要望が高まっている。

2. 人口現象の静態と動態

人口統計の対象する人口現象は、人およびもっとも基礎的な人の集団としての世帯の数や状態が変化することであり（以下人口という場合世帯も含むものとする）、人のいる状態としての静態現象（stock）と人が増えたり、減ったりする動態現象（事象、flow）とにわけられる。このストックとフローの2側面があることは人口現象だけでなく他の経済、社会現象とも共通することである。

どのような属性の人口を問題にするかによってその動態事象は異なる。一国の人口を扱うとするとその動態事象は出生、死亡、転入、転出の4つであるが、日本における日本人口とするとこれに外国人の日本国籍取得、日本人の日本国籍の喪失の2つが加わる。ある地域の子供人口を扱うとすると、上の4つに子供から大人への加齢という人口減の動態事象が加わるが、その逆の事象はない。高齢人口の場合は上の4つのうちの出生が欠け、中年から高齢者への加齢という人口増の事象が加わる。以上の人口にそれぞれ配偶関係の属性を加えた人口を考えるならその動態事象はさらに複雑になる。とはいえ、人口としてはある地域の全人口がもっとも代表的なものであるので、動態事象としては上記の出生、死亡、転入、転出の4つが中核であることは否定できない。

なお、人の集団である世帯の動態事象は、その集団性のゆえにこれに輪をかけて複雑になり、これを理論的に定義することすら容易ではないので、普通の統計ではほとんど扱われないものである。

以上のようにある人口の静態とその動態事象とは密接であるので、それを同時併行的に観察するのが有益である。たとえば、結婚という動態事象は有配偶者の増加、未婚者の減少という配偶関係別の人口の増減に関わっているので、配偶関係別人口の統計と関係させて扱う方が便利と考えられる。ま

た産業別人口や教育程度別人口と産業への就業、転出入や進学率などを同時にみる必要がある。

したがって、本資料集では、人口統計の配列をできるだけこのようにするように努めた。

3. 人口現象の静態調査と動態調査

人口現象の調査方法としては、ある一時点において人の置かれている状態をとらえる静態調査と、動態事象をある期間においてその時々把握する動態調査とに分けられる。この静態調査には人口調査（センサス、日本では国勢調査）の他、各種のサーベイ（survey、実地調査）を含むものとする。この2種の他、それを結合したものとして人口登録がある。これはある時点の人口の登録から出発してその変更を常につけ加えて人口の記録を保持するもので、任意の時点の人口と時点間の動態事象を取り出すことが可能である。

人口の静態をとらえるには静態調査を行い、動態をとらえるには動態調査を行うと一応いってよい。ただし、そうでない場合もある。たとえば、静態調査（たとえば国勢調査、出産力調査など）によって動態事象（出生、子の出産、結婚、就職、子供の別居、移動など）を把握することもできる。したがって、出産力調査によってある年次の平均出生児数、出生率など動態事象の統計も作成される。

また、逆に連続する2時点における静態調査によってその間の動態事象を不完全にであるが推定することができる。たとえば、簡単には2回の国勢調査の人口の差をとって人口増加を把握するとか、死亡数（および出生数）を推定できれば人口増加から減じて地域間移動による転入超過数（純移動数）を得ることができる。

以上のように、人口現象自体の静態および動態と調査方法としての静態調査、動態調査とは大体のところ対応しているにしても完全に一致しているわけではない。

4. 日本の人口統計

一般に、人口統計は人口現象の調査方法ではなく主としてその対象の性質に着目して、ある時点の人口の状態（人口現象の静態）に関する統計は人口静態統計、人口の変動要因である人口動態事象に関する統計は人口動態の統計と区分されているものといえる。人口静態統計に分類される統計は、その調査方法からいって国勢調査の他きわめて多くのものがある。

一方、人口動態に関する統計は先に述べたように、本来的には問題とする人口に対応して決められるものであるが、日本の「人口動態統計」は厚生省が主管する出生、死亡、婚姻、離婚、死産の5つの事象についての統計であって、人口動態（たとえば移動など）をすべて網羅しているわけではないことはいうまでもない。この5つの事象の統計を「人口動態統計」と呼ぶのは日本の人口統計の確立期において人口増減に強い関心が持たれたという歴史的経緯によるものであって、英語国では vital statistics という公衆衛生、保健的な側面に着して名称がつけられており、フランスでは statistique de l'état civil（身分登録統計）と称し、市民としての権利義務にかかわる事象という側面に着目して命名されている。したがって、これらの対象の範囲が各国の歴史的事情によって若干異なってくるの

は当然のことであるが、国連では日本で扱っている 5 事象の他に養子縁組、嫡出化、認知、婚姻の無効化、法的別居が対象とされている（UN, *Principles and Recommendations for a Vital Statistics System*, 1973）。

なお、自治省行政局は出生・死亡・転入・転出を含めて「人口動態」という用語を用いた『住民基本台帳にもとづく全国人口・世帯数表 人口動態表』を刊行している。

毎年掲載表

- I. 人口および人口増加率
- II. 国籍別人口および国際移動
- III. 年齢別人口
- IV. 人口動態率（自然増加，標準化，安定人口）
- V. 出生・家族計画
- VI. 死亡・寿命
- VII. 結婚・離婚・配偶関係別人口
- VIII. 世帯
- IX. 労働力
- X. 教育・栄養
- XI. 地域移動・地域分布
- XII. 都道府県別統計

表 1 - 1 近代以前の日本の人口

年 代	推定人口
縄文時代	10～20万台 ¹⁾
弥生時代	60万程度 ¹⁾
奈良時代(8世紀)	600～700万 ²⁾
中世(大正年間 16世紀後半)	1,800万 ³⁾
1721～1852年	3,000～3,200万 ⁴⁾

関山直太郎「日本の人口古代、中世」南亮三郎等編、『人口大事典』平凡社1962年、鬼頭宏『日本二千年の人口史』PHP研究所、1983年による。

- 1) 小山修三“Jomon Subsistence and Population”, *Senri Ethnological Studies* 2, 1978.
- 2) 沢田吾一『奈良朝時代民政経済の数的研究』富山房、1927年。
- 3) 吉田東伍『維新史八講』1918年。竹越与三郎『日本経済史』第2巻。
- 4) 小宮山綏介「日本の人口并人口と天時との関係」『国史論叢』1903年。

表 1 - 2 江戸時代の戸口調査(人別改)人口：1721～1852年

年 次	人口(1,000人)	指数(1721年=100)	年平均増加率(%)
1721 (享保6)	26,065	100.0	0.4
1726 (" 11)	26,549	101.9	0.2
1732 (" 17)	26,921	103.3	-0.2
1744 (延享元)	26,153	100.3	-0.2
1750 (寛延3)	25,918	99.4	0.1
1756 (宝暦6)	26,071	100.1	-0.1
1762 (" 12)	25,921	99.5	0.2
1768 (明和5)	26,252	100.7	-0.2
1774 (安永3)	25,990	99.7	0.0
1780 (" 9)	26,010	99.8	-0.6
1786 (天明6)	25,086	96.2	-0.1
1792 (寛政4)	24,891	95.5	0.4
1798 (" 10)	25,471	97.7	0.1
1804 (文化元)	25,622	98.3	0.2
1822 (文政5)	26,602	102.1	0.4
1828 (" 11)	27,201	104.4	-0.1
1834 (天保5)	27,064	103.8	-0.1
1846 (弘化3)	26,908	103.2	1.1
1852 (嘉永5)	27,201	104.4	

関山直太郎「日本の人口近世」南亮三郎等(編),『人口大事典』平凡社(1962, 327ページ)およびIrene B. Taeuber, *The Population of Japan* (1958, p.22)による。

勝海舟『吹塵録』。本庄栄治郎『徳川時代の人口』。高橋梵仙『日本人口史之研究』1941年。

表 1 - 3 総人口の推移：1872～1990年

年次	人 口 (1,000人)	人 口 増 加 数 (1,000人)					年平均 増加率 (%)	性 比 (女100に つき男)	人口密度 (1km ² につき)
		総 数	自 然 増 加		その他の増加				
			総 数	出 生	死 亡	総 数			
1872 ¹⁾²⁾	34,806						103.1	91	
1900 ¹⁾³⁾	43,847	9,041	0.82	115	
1920	55,963	12,116	1.18	147	
1925	59,737	3,774	3,935	10,375	6,440	- 161	1.31	156	
1930	64,450	4,713	4,726	10,796	6,070	- 13	1.52	169	
1935	69,254	4,804	4,913	10,938	6,025	- 109	1.44	181	
1940 ⁴⁾	71,933	2,679	4,316	10,513	6,197	-1,637	0.76	188	
1945 ⁵⁾	72,147	214	4,038	10,964	6,926	-3,824	0.06	196	
1947 ⁶⁾	78,101	5,954	1,666	4,199	2,533	4,288	4.14	212	
1950	83,200	5,098	4,986	7,813	2,827	112	2.11	226	
1955	89,276	6,076	5,937	9,806	3,869	139	1.41	242	
1960	93,419	4,143	4,676	8,256	3,580	- 533	0.91	253	
1965	98,275	4,856	4,941	8,419	3,478	- 85	1.01	266	
1970	103,720	5,445	5,601	9,052	3,451	- 156	1.08	280	
1975	111,940	8,220	6,655	10,167	3,512	1,565	1.53	300	
1980	117,060	5,121	5,143	8,656	3,514	- 22	0.89	314	
1985	121,049	3,989	3,890	7,555	3,666	99	0.67	325	
1989 ⁷⁾	123,255	2,206	2,261	5,359	3,097	- 55	0.45	331	
1990 ⁸⁾	123,612	357	2	0.28	332	

総務庁統計局『国勢調査報告』,『日本の推計人口』および『人口推計月報』による。注記のないかぎり国勢調査による各年次10月1日現在の行政権のおよぶ範囲の全国(内地)人口。したがって、1945～72年の期間は沖縄県を含まない。人口増加数は年次間人口の差である。自然増加は、年次間の出生数と死亡数の差である。1920年10月～50年9月の期間の自然増加は日本人(内地の内地人)のみについてであり、1950年10月以降は外国人を含む総人口についてのもの。その他の増加とは増加総数と自然増加の差であり別掲の入国超過の外に領域変更その他の増減を含む。1920年10月～50年9月の期間の入国超過は、外国人の自然増加を含む。1950年10月以降の入国超過は出入国管理統計による正規入・出国の差。1)旧内閣統計局の推計。2)太陰暦1月29日。3)1月1日。4)国勢調査の結果に基づく総務庁統計局の推計。5)11月1日人口調査の結果に基づく総務庁統計局の推計。6)臨時国勢調査の結果。7)総務庁統計局の推計。8)国勢調査要計表による。9)沖縄県が調査から除かれたことによる減少を含むもので、1940年の数値から沖縄県を除いた場合の年次間の人口増加は780(千人)。10)沖縄県の復帰による増加を含むものであり、1970年の数値に沖縄県を含めた場合の年次間の人口増加は7,274(千人)。

表1-4 日本の日本人人口と人口密度：1872～1920年

年次	人口(1,000人)			人口増加数(1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100 につき男)	人口密度 (1km ² につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加			
1872 (明治 5)	34,806	17,666	17,140	¹⁾ 179	182	0.51	103.1	91.2
1873 (6)	34,985	17,755	17,230	169	174	0.48	103.0	91.6
1874 (7)	35,154	17,835	17,319	162	167	0.46	103.0	92.1
1875 (8)	35,316	17,913	17,403	239	245	0.68	102.9	92.5
1876 (9)	35,555	18,030	17,525	315	323	0.89	102.9	93.1
1877 (10)	35,870	18,187	17,683	296	304	0.83	102.9	93.9
1878 (11)	36,166	18,327	17,839	298	307	0.82	102.7	94.7
1879 (12)	36,464	18,472	17,992	185	196	0.51	102.7	95.5
1880 (13)	36,649	18,559	18,090	316	326	0.86	102.6	96.0
1881 (14)	36,965	18,712	18,253	294	304	0.80	102.5	96.8
1882 (15)	37,259	18,854	18,405	310	320	0.83	102.4	97.6
1883 (16)	37,569	19,006	18,563	393	409	1.05	102.4	98.4
1884 (17)	37,962	19,199	18,763	351	360	0.92	102.3	99.4
1885 (18)	38,313	19,368	18,945	228	241	0.60	102.2	100.3
1886 (19)	38,541	19,480	19,061	162	174	0.42	102.2	100.9
1887 (20)	38,703	19,554	19,149	326	340	0.84	102.1	101.4
1888 (21)	39,029	19,716	19,313	444	457	1.14	102.1	102.2
1889 (22)	39,473	19,940	19,533	429	440	1.09	102.1	103.4
1890 (23)	39,902	20,153	19,749	349	361	0.87	102.0	104.5
1891 (24)	40,251	20,322	19,929	257	273	0.64	102.0	105.4
1892 (25)	40,508	20,443	20,065	352	368	0.87	101.9	106.1
1893 (26)	40,860	20,616	20,244	282	292	0.69	101.8	107.0
1894 (27)	41,142	20,755	20,387	415	424	1.01	101.8	107.8
1895 (28)	41,557	20,960	20,597	435	448	1.05	101.8	108.8
1896 (29)	41,992	21,164	20,828	408	427	0.97	101.6	110.0
1897 (30)	42,400	21,356	21,044	486	515	1.15	101.5	111.1
1898 (31)	42,886	21,590	21,296	518	550	1.21	101.4	112.3
1899 (32)	43,404	21,836	21,568	443	487	1.02	101.2	113.7
1900 (33)	43,847	22,051	21,796	512	554	1.17	101.2	114.8
1901 (34)	44,359	22,298	22,061	605	626	1.36	101.1	116.2
1902 (35)	44,964	22,606	22,358	582	604	1.29	101.1	117.8
1903 (36)	45,546	22,901	22,645	589	615	1.29	101.1	119.3
1904 (37)	46,135	23,195	22,940	485	495	1.05	101.1	120.8
1905 (38)	46,620	23,421	23,199	418	469	0.90	101.0	122.1
1906 (39)	47,038	23,599	23,439	378	499	0.80	100.7	123.2
1907 (40)	47,416	23,786	23,630	549	660	1.16	100.7	124.2
1908 (41)	47,965	24,041	23,924	589	697	1.23	100.5	125.6
1909 (42)	48,554	24,326	24,228	630	668	1.30	100.4	127.2
1910 (43)	49,184	24,650	24,534	668	711	1.36	100.5	128.8
1911 (44)	49,852	24,993	24,859	725	771	1.45	100.5	130.6
1912 (45)	50,577	25,365	25,212	728	773	1.44	100.6	132.5
1913 (大正 2)	51,305	25,737	25,568	734	800	1.43	100.7	134.4
1914 (3)	52,039	26,105	25,934	713	773	1.37	100.7	136.3
1915 (4)	52,752	26,465	26,287	744	771	1.41	100.7	138.2
1916 (5)	53,496	26,841	26,655	638	678	1.19	100.7	140.1
1917 (6)	54,134	27,158	26,976	605	675	1.12	100.7	141.8
1918 (7)	54,739	27,453	27,286	294	354	0.54	100.6	143.4
1919 (8)	55,033	27,602	27,431	440	559	0.80	100.6	144.1
1920 (9)	55,473	27,812	27,661	628	673	1.13	100.5	145.3

内閣統計局『明治五年以降我国の人口』（調査資料第三集，1930年）による各年1月1日現在（明治5年は太陰暦正月末日）の推計人口。地域および人口の範囲は沖縄、小笠原、千島を含む47道府県における内地人口（外地人、外国人を含まない）である。ただし、内地外に出征・駐在している軍人・軍属等は内地に現在するものとしこれを含む。1920年における外地人は42,492人、外国人は35,569人（内閣統計局『国勢調査報告』）。

1) 太陰暦正月末日から12月2日まで。なお、明治5年12月3日は改暦により太陽暦の1873（明治6）年1月1日となった。

表1-5 日本の総人口と人口密度：1920～90年

年次	人口(1,000人)			人口増加数(1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100につき男)	人口密度 (1 km ² につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加			
1920(大正9) ¹⁾	55,963	28,044	27,919	100.4	146.6
1921(10)	56,666	28,412	28,254	703	755	1.26	100.6	148.4
1922(11)	57,390	28,800	28,590	724	740	1.28	100.7	150.3
1923(12)	58,119	29,177	28,942	729	751	1.27	100.8	152.2
1924(13)	58,876	29,569	29,307	756	776	1.30	100.9	154.2
1925(14) ¹⁾	59,737	30,013	29,724	861	913	1.46	101.0	156.5
1926(15)	60,741	30,521	30,220	1,004	1,011	1.68	101.0	159.1
1927(昭和2)	61,659	30,982	30,678	918	934	1.51	101.0	161.5
1928(3)	62,595	31,449	31,146	936	950	1.52	101.0	163.9
1929(4)	63,461	31,891	31,570	865	881	1.38	101.0	166.2
1930(5) ¹⁾	64,450	32,390	32,060	989	950	1.56	101.0	168.6
1931(6)	65,457	32,890	32,559	1,007	967	1.56	101.0	171.2
1932(7)	66,434	33,355	33,079	976	1,006	1.49	100.8	173.8
1933(8)	67,432	33,845	33,587	998	1,019	1.50	100.8	176.4
1934(9)	68,309	34,294	34,015	877	910	1.30	100.8	178.7
1935(10) ¹⁾	69,254	34,734	34,520	945	1,012	1.38	100.6	181.0
1936(11)	70,114	35,103	35,011	859	1,008	1.24	100.3	183.3
1937(12)	70,630	35,128	35,503	517	980	0.74	98.9	184.6
1938(13)	71,013	35,125	35,888	382	817	0.54	97.9	185.6
1939(14)	71,380	35,226	36,154	367	628	0.52	97.4	186.6
1940(15) ²⁾	71,933	35,387	36,546	553	886	0.78	96.8	188.0
1941(16)	72,218	285	1,108	0.40	...	188.8
1942(17)	72,880	662	1,147	0.92	...	190.5
1943(18)	73,903	1,023	1,012	1.40	...	193.2
1944(19) ^A	74,433	530	1,016	0.72	...	194.6
1944(19) ^B	73,839	194.2
1945(20) ³⁾	72,147	4) -1,691	-245	4) -2.29	...	195.8
1946(21)	75,750	3,603	207	4.99	...	205.6
1947(22) ⁵⁾	78,101	38,129	39,972	2,352	1,460	3.10	95.4	212.0
1948(23)	80,002	39,130	40,873	1,901	1,720	2.43	95.7	217.1
1949(24)	81,773	40,063	41,710	1,770	1,756	2.21	96.1	221.9
1950(25) ¹⁾	83,200	40,812	42,388	1,427	1,510	1.75	96.3	225.9
1951(26)	84,541	41,489	43,052	1,342	1,366	1.61	96.4	229.6
1952(27) ⁶⁾	85,808	42,128	43,680	1,264	1,284	1.49	96.4	232.9
1953(28)	86,981	42,721	44,260	1,173	1,159	1.37	96.5	236.1
1954(29) ⁷⁾	88,239	43,344	44,895	1,056	1,067	1.21	96.5	238.8
1955(30) ¹⁾	89,276	43,861	45,415	1,036	1,061	1.17	96.6	241.5
1956(31)	90,172	44,301	45,871	896	1,001	1.00	96.6	243.9
1957(32)	90,928	44,671	46,258	757	849	0.84	96.6	246.0
1958(33)	91,767	45,078	46,689	839	936	0.92	96.6	248.2
1959(34)	92,641	45,504	47,137	874	979	0.95	96.5	250.6
1960(35) ¹⁾	93,419	45,878	47,541	777	911	0.84	96.5	252.7
1961(36)	94,287	46,300	47,987	868	909	0.93	96.5	255.1
1962(37)	95,181	46,733	48,447	894	910	0.95	96.5	257.5
1963(38)	96,156	47,208	48,947	975	991	1.02	96.4	260.1
1964(39)	97,182	47,710	49,471	1,026	1,034	1.07	96.4	262.9
1965(40) ¹⁾	98,275	48,244	50,031	1,093	1,099	1.13	96.4	265.8
1966(41)	99,036	48,611	50,425	761	791	0.77	96.4	267.8
1967(42)	100,196	49,180	51,016	1,160	1,199	1.17	96.4	271.0
1968(43) ⁸⁾	101,331	49,739	51,592	1,135	1,171	1.13	96.4	274.0
1969(44)	102,536	50,334	52,202	1,205	1,230	1.19	96.4	277.3
1970(45) ¹⁾	103,720	50,918	52,802	1,184	1,211	1.15	96.4	280.3
1971(46)	105,145	51,607	53,538	1,425	1,308	1.37	96.4	284.1

総理府統計局『日本の推計人口』(人口推計資料No.36, 1970.3) および総務庁統計局『人口推計月報』などによる各年10月1日現在の人口。注記のない人口は推計人口である。なお、1945年以降71年までは沖縄県を含まない。人口増加数は前年10月1日～当年9月30日間のもの。(次ページにつづく)

表1-5 日本の総人口と人口密度：1920～90年（つづき）

年次	人口(1,000人)			人口増加数(1,000人)		人口増加率 (%)	性比 (女100 につき男)	人口密度 (1 km ² につき)
	総数	男	女	総数	うち自然増加			
1972(昭和47) ⁹⁾	107,595	52,822	54,773	¹⁰⁾ 1,495	1,374	¹⁰⁾ 1.41	96.4	288.9
1973(48)	109,104	53,606	55,498	1,508	1,402	1.40	96.6	292.9
1974(49)	110,573	54,376	56,197	1,469	1,345	1.35	96.8	296.8
1975(50)	111,940	55,091	56,849	1,367	1,242	1.24	96.9	300.5
1976(51)	113,094	55,658	57,436	1,155	1,160	1.03	96.9	303.6
1977(52)	114,165	56,184	57,981	1,071	1,081	0.95	96.9	306.4
1978(53)	115,190	56,682	58,508	1,025	1,034	0.90	96.9	309.1
1979(54)	116,155	57,151	59,004	965	974	0.84	96.9	311.6
1980(55)	117,060	57,594	59,467	906	894	0.78	96.9	314.1
1981(56)	117,902	58,001	59,901	842	823	0.72	96.8	316.3
1982(57)	118,728	58,400	60,329	826	808	0.70	96.8	318.5
1983(58)	119,536	58,786	60,750	808	789	0.68	96.8	320.7
1984(59)	120,305	59,150	61,155	769	758	0.64	96.7	322.7
1985(60)	121,049	59,497	61,552	744	714	0.62	96.7	324.7
1986(61)*	121,672	59,805	61,867	623	630	0.52	96.7	326.4
1987(62)*	122,264	60,091	62,173	591	620	0.49	96.7	328.0
1988(63)*	122,783	60,352	62,431	519	536	0.42	96.7	329.3
1989(平成元)*	123,255	60,581	62,673	472	475	0.38	96.7	330.7
1990(平成2) ¹¹⁾	123,612	60,692	62,920	357	355	0.28	96.5	332.0

総理府統計局『日本の推計人口』（人口推計資料No. 36, 1970. 3）および総務庁統計局『人口推計月報』などによる各年10月1日現在の人口。注記のない人口は推計人口である。

1920～44年Aは沖縄、小笠原、千島を含む47道府県における軍人、外地人、外国人を含む総人口。(1944年Aの地域は1945年の地域に準ずる。ただし沖縄と鹿児島県大島郡は含む。)

1944年B以降はわが国行政権のおよぶ地域における外国人を含む総人口。歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島および竹島を含んでいない。

人口増加は前年10月からその年の9月末までの数値。ここには数値を示していないが、社会増加は法務省の正規出入国者数による。ただし、1971年10月1日～72年5月14日までの沖縄県については、琉球政府統計庁の出入域管理統計による。1965年10月以降外国人出入国者は在留期間短期の者を除く。なお、1985年以前の人口増加には自然増加と社会増加のほかに各回国勢調査間の補正数を含む。

自然増加は1986年9月以前は厚生省人口動態統計確定数、日本人については遅れて届出られた出生・死亡数も、その発生月に繰り入れて計算している。1986年10月以降は人口動態統計月報（概数）による。

1) 国勢調査。

2) 国勢調査による人口73,114,308から内地外の軍人、軍属等の推計数1,181,000を差し引いた補正人口。

3) 11月1日現在の人口調査による人口71,998,104に軍人および外国人の推計人口149,000を加えた補正人口。

4) 沖縄県を除く1944年人口73,839,000により算出。

5) 臨時国勢調査による人口78,098,000に水害地の調査もれ推計数3,000を加えた補正人口。

6) 1951年12月に復帰した鹿児島県大島郡十島村の人口2,968を追加。

7) 1953年12月に復帰した奄美群島の人口201,132を追加。

8) 1968年6月に復帰した小笠原諸島の人口173を追加。

9) 1972年5月に復帰した沖縄県の人口を含む。

10) 沖縄県を含む1971年人口106,100,243により算出。

11) 国勢調査要計表による。

*暫定値。

表1 - 6 現在の領域の日本の総人口および調査時の日本の総人口：1920～90年

年次	現領域の総人口	人口増加数	増加率 (%)	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² につき)	調査時の領域の総人口 ³⁾ (調査期日)
1920 (大正9)	55,963,053			381,808.04	147	
1925 (14)	59,736,822	3,773,769	6.7	381,810.06	156	
1930 (昭和5)	64,450,005	4,713,183	7.9	382,264.91	169	
1935 (10)	69,254,148	4,804,143	7.5	382,545.42	181	
1940 (15)	73,114,308	3,860,160	5.6	382,545.42	191	73,456,141(1944. 2. 22)
1945 (20)	1) 71,998,104	2) -541,625	2) -0.7	377,298.15	195	73,114,136(1946. 4. 26)
1947 (22)	1) 78,101,473	6,103,369	8.5	377,298.15	212	80,216,896(1948. 8. 1)
1950 (25)	84,114,574	2) 5,098,164	2) 6.5	377,099.08	226	83,199,637
1955 (30)	90,076,594	5,962,020	7.1	377,151.09	242	89,275,529
1960 (35)	94,301,623	4,225,029	4.7	377,151.09	253	93,418,501
1965 (40)	99,209,137	4,907,514	5.2	377,267.18	267	98,274,961
1970 (45)	104,665,171	5,456,034	5.5	377,308.69	281	103,720,060
1975 (50)	111,939,643	7,274,472	7.0	377,534.99	300	
1980 (55)	117,060,396	5,120,753	4.6	377,708.09	314	
1985 (60)	121,048,923	3,988,527	3.4	377,801.14	325	
1990 (平成2) ⁴⁾	123,611,541	2,562,618	2.1	377,727.37	332	

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告 第1巻 人口総数』(1987.1)の第1表による。1945年は11月1日人口調査、その他の年次は10月1日国勢調査である。ただし、日本に復帰後含めた沖縄人口(琉球政府実施の調査による)のうち、1950、55および60年についての結果は、それぞれ12月1日現在のものである。原則としてすべての年次で現在の領域(沖縄などを含む)の数値である。今日、人口調査が実施できないいわゆる「北方領土」(歯舞群島、色丹島、国後島および択捉島)や竹島を除いた面積は、372,731.38km²となる(建設省国土地理院調べで1989年10月1日現在)。人口密度算出にはこれを用いる。なお、1940年以前の面積には、旧東京府小笠原島の南鳥島および沖縄県島尻郡の鳥島の面積は含まれていない。

1) 沖縄県は調査されなかったため含まれていない。

2) 1940年および50年の結果数値から沖縄県を除いて算出。

3) 各調査時現在の調査範囲による人口で、各年の調査報告書による。それぞれ1944(人口調査)、46(人口調査)、48(常住人口調査)、50、55、60、65、70年の結果。他は「現領域の総人口」に示すものと同じ。なお、表4の総人口は1947年までと1972年以降はこの表の現領域の総人口に当たり、1950～70年は調査時の領域の総人口に当たる。

調査の境域は、1940年以前は旧内地の47道府県、1944年は当時の日本国の内地で、47道府県に樺太を含んでいる(樺太を除いてみた人口は、73,064,316となる)。

戦後は、日本の行政権の及んでいなかった地域は調査の範囲外におかれたが、それは次のように変化している。1945年および46年は、旧内地から沖縄県全域、北海道千島ならびに得撫郡、新知郡、占守郡および荷咲郡歯舞村のうち水晶島、勇留島、秋勇留島、志発島および多楽島、東京都小笠原支庁管内の諸島、島根県隠岐郡五箇村のうち竹島、鹿児島県大島郡を除いた地域(1946年は東京都八丈支庁青ヶ島村が調査されなかった)。1947、48および50年は、1945、46年において含められなかった地域のうち、鹿児島県大島郡のうち十島村所属の硫黄島、竹島および黒島の3島が調査地域に含められた。1955年以降は、1950年の境域から、その後日本に復帰した鹿児島県大島郡全域(奄美群島)が含められ、1970年以降は同じく東京都小笠原村が含められ、そして1975年以降は沖縄県(1972年5月に復帰)が含められるようになった。

なお、調査の対象外であった時期の沖縄県人口を示すと次のとおりである(沖縄県統計年鑑による)。

1945	526,625	1950	698,827	(1950年には沖縄に含められて同時に調査された奄美群島)を含むと914,937である。
1946	509,517	1955	801,065	
1947	537,051	1960	883,122	
1948	555,623	1965	934,176	
		1970	945,111	

1950年以降は国勢調査、1948年以前は推計による。1946～48年は12月31日、50～60年は12月1日、65年以降は10月1日現在の人口である。

4) 国勢調査要計表による。

表1-7 日本の総人口の将来予測：1985～2085年

年次	人口(1,000人)			人口増加		性比 (女100 につき男)	人口密度 ²⁾ (1km ² につき)
	総数	男	女	実数 (1,000人)	年平均 増加率(%)		
1985 ¹⁾	121,049	59,497	61,552			96.66	325
1986	121,699	59,815	61,884	650	0.54	96.66	326
1987	122,336	60,126	62,209	636	0.52	96.65	328
1988	122,965	60,434	62,530	629	0.51	96.65	330
1989	123,593	60,743	62,850	628	0.51	96.65	332
1990	124,225	61,054	63,171	632	0.51	96.65	333
1991	124,864	61,370	63,494	639	0.51	96.65	335
1992	125,515	61,963	63,822	651	0.52	97.09	337
1993	126,181	62,024	64,157	666	0.53	96.68	338
1994	126,864	62,365	64,499	683	0.54	96.69	340
1995	127,565	62,716	64,849	701	0.55	96.71	342
1996	128,281	63,075	65,206	716	0.56	96.73	344
1997	129,008	63,441	65,568	727	0.57	96.76	346
1998	129,741	63,810	65,931	733	0.57	96.78	348
1999	130,473	64,179	66,293	731	0.56	96.81	350
2000	131,192	64,543	66,649	719	0.55	96.84	352
2005	134,247	66,084	68,163	3,055	0.46	96.95	360
2010	135,823	66,861	68,962	1,576	0.23	96.95	364
2015	135,938	66,889	69,049	116	0.02	96.87	365
2020	135,304	66,543	68,762	-634	-0.09	96.77	363
2025	134,642	66,207	68,436	-662	-0.10	96.74	361
2030	134,067	65,950	68,117	-575	-0.09	96.82	360
2035	133,133	65,562	67,571	-934	-0.14	97.03	357
2040	131,646	64,933	66,713	-1,487	-0.22	97.33	353
2045	130,017	64,204	65,812	-1,629	-0.25	97.56	349
2050	128,681	63,557	65,124	-1,336	-0.21	97.59	345
2055	127,704	63,078	64,625	-977	-0.15	97.61	343
2060	126,947	62,748	64,199	-757	-0.12	97.74	341
2065	126,215	62,468	63,747	-732	-0.12	97.99	339
2070	125,518	62,176	63,342	-697	-0.11	98.16	337
2075	124,890	61,862	63,028	-627	-0.10	98.15	335
2080	124,401	61,587	62,814	-489	-0.08	98.05	334
2085	124,066	61,407	62,659	-335	-0.05	98.00	333

人口問題研究所「日本の将来推計人口—昭和60～100年(昭和100～160年参考推計)—昭和61年12月推計」(研究資料第244号, 1987.2)による各年10月1日現在の推計人口である。この推計は数種の仮定を設けて行なわれたが、ここに示した人口は、その代表値としての性格をもつ中位推計値である。1)国勢調査の全数集計結果による人口で、この推計の基礎人口。2)建設省国土地理院調べの1985年10月1日現在面積372,805.15km²(ただし、人口の調査対象地域に含まれないいわゆる「北方領土」と竹島を除く)によって算出。

表1-8 世界総人口の推移：紀元前～1965年

年次	推計人口 (100万人)	年平均増 加率(%)	人口倍増 ¹⁾ 期間(年)
紀元前7000～6000年	5～10	0.0	—
西暦元年	200～400	0.0	—
1650	470～545	0.4	173
1750	629～961	0.4	173
1800	813～1,125	0.5	139
1850	1,128～1,402	0.5	139
1900	1,550～1,762	0.8	86
1950	²⁾ 2,486	1.8	38
1960	²⁾ 2,982	2.0	35
1965	²⁾ 3,289		

United Nations, *The Determinants and Consequences of Population Trends* (Vol. 1, 1973) による。

諸家の推計をとりまとめたもので、たとえば、1650年は Carr-Saunders と Willcox, 1750～1900年は Durand の推計、それから1950年以降は国連の1968年推計にそれぞれ基づいている。

1) ある人口が年率 $r\%$ で増加しているとき、この人口が2倍になるのに要する年数 N は、近似的に $N \approx 70 \div r$ で計算することができる。

2) これらの推計値は、その後国連によって改訂されている(右表が最新の改訂値である)。

表1-9 世界総人口の推移と予測：1950～2025年

年次	年推計人口 (100万人)	年平均人口 増加率(%)
1950	2,516	1.79
1955	2,752	1.85
1960	3,020	2.00
1965	3,336	2.06
1970	3,698	1.96
1975	4,079	1.73
1980	4,448	1.74
1985	4,851	1.74
1990	5,292	1.73
1995	5,770	1.63
2000	6,261	1.47
2005	6,739	1.33
2010	7,204	1.23
2015	7,660	1.10
2020	8,092	0.99
2025	8,504	

United Nations, *World Population Prospects: 1990* による。
人口問題研究所『世界人口推計の概要—国連推計[1990年改訂]による—』研究資料第267号, 1991年2月

表1-10 世界の大地域別にみた人口、面積および人口密度：1989, 90年

地域	年推計人口(100万人)		人口の地 域別割合 (%)	面 積 (1,000km ²) 1988年	面積の地 域別割合 (%)	人口密度 (1 km ² につき) 1990年
	1989年	1990年*				
世界	5,201	5,292	100.0	135,791	100.0	39
アフリカ	628	648	12.2	30,305	22.3	21
北アメリカ ¹⁾	422	427	8.1	24,241	17.9	18
南アメリカ	291	297	5.6	17,819	13.1	17
アジア ²⁾	3,052	3,108	58.7	27,582	20.3	113
ヨーロッパ ³⁾	497	498	9.4	4,933	3.6	101
オセアニア ¹⁾	26	26	0.5	8,509	6.3	3
ソビエト連邦	286	288	5.4	22,402	16.5	13

国際連合の推計によるもので、人口は United Nations, *Statistical Papers, Series A, Vol. XLII, No. 4 (Population and Vital Statistics Report, Data available as of 1 October 1990)* による。面積は同じく UN, *Demographic Yearbook, 1988* 年版による。

*暫定推計値。1) 本表の北アメリカには、北部アメリカのほかカリブ海、中央アメリカの地域を含む。また、アメリカ合衆国の1州であるハワイは、オセアニアでなく北アメリカに含まれる。2) 下に別掲のソビエト連邦を除くが、トルコのヨーロッパの部はアジアを含む。3) 下に別掲のソビエト連邦およびアジアに含まれたトルコのヨーロッパの部を除く。

表 1 - 11 西暦14年から1800年までの世界人口

(100万人)

地 域 ・ 国	A.D.14年	350年	600年	800年	1000年	1200年	1340年	1500年	1600年	1650年	1700年	1750年	1800年
世 界 総 計	256	254	237	261	280	384	378	427	498	516	641	731	890
ア フ リ カ 合 計	23	30	37	43	50	61	70	85	95	100	100	100	100
エ ジ プ ト	7	4	2.7	3	3	2	3	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
他 の 北 ア フ リ カ	4.2	2	1.8	1	1	1.5	2	3.5	2.5
ア メ リ カ 大 陸 合 計	3	5	7	10	13	23	29	41	15	13	13	15	25
ア メ リ カ と カ ナ ダ	1	1	1	1	2	6
他 の ア メ リ カ 大 陸 諸 国	40	14	12	12	13	19
ア ジ ア 合 計	189	190	173	178	177	248	192	231	303	311	420	484	590
中 国	73	60	54	55	60	123	62	100	150	100	150	207	315
イ ン ド と パ キ ス タ ン	70	75	75	75	70	75	75	79	100	150	200	200	190
日 本	2	3	6	8	10	12	14	16	18	22	26	26	26
他 の ア ジ ア, シ リ ア, キ プ ロ ス	14	17	11	12	10	10	11	8	7	7	7	7	7
他 の 南 西 ア ジ ア	20	24	15	15	12	11	11	7	6	6	6	6	6
ソ 連 ア ジ ア 地 域	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6
他 の 東 ア ジ ア	5	6	7	8	10	11	13	15	16	20	25	32	40
ヨ ー ロ ッ パ 合 計	39.5	27.6	19.3	29.2	39.2	51.5	84.5	67.8	83.4	90.0	105.8	129.8	172.8
イ ン グ ラ ン ド と ウ エ イ ル ズ	4.6	5.2	5.8	6.1	9.1
ス コ ッ ト ラ ン ド	0.85	0.95	1.04	1.25	1.6
ア イ ル ラ ン ド	1.2	1.6	2.5	3.1	5.2
イ ギ リ ス 諸 国	0.4	0.3	0.8	1.2	1.7	2.8	5.3	4.0	6.6	7.8	9.3	10.4	15.9
ス ベ イ ン	6	4	3.6	4	7	8	9.5	7.0	6.0	5.0	6.4	8.2	10.5
1.3								1.3	1.3	1.6	2.3	2.9	
ポ ル ト ガ ル	6.6	5	3	5	7	12	30	16	16	1.2	1.6	2.2	3.1
20													
フ ラ ン ス	6.6	5	3	5	7	12	30	16	16	1.2	1.6	2.2	3.1
0.9													
ベ ル ギ ー	14	5	4	4	5	7.8	9.3	10	12	11	13	16	19
0.9													
オ ラ ン ダ	14	5	4	4	5	7.8	9.3	10	12	11	13	16	19
0.9													
イ タ リ ア	3	2	1.2	2	5	4	2	4.5	5.5	6	7	8	8.5
0.9													
ギ リ シ ア	2	3	1.8	3	5	4	2	4.5	5.5	6	7	8	8.5
0.9													
他 の 東 南 ヨ ー ロ ッ パ	3.5	3.5	2.1	4	4	8	14	11	15	12	15.5	18	23
0.9													
ス カ ン ジ ナ ビ ア 諸 国	4	4.8	2.8	6	1.0	1.4	1.8	3.5	5	5	4	5.5	8
0.9													
ド イ ツ (東 部 諸 州 を 除 く) と オ ス ト リ ア	4	4.8	2.8	6	1.0	1.4	1.8	3.5	5	5	4	5.5	8
0.9													
ソ 連 の ヨ ー ロ ッ パ 地 域 (現 在 の 境)	4	4.8	2.8	6	1.0	1.4	1.8	3.5	5	5	4	5.5	8
0.9													
ポ ー ラ ン ド, チェ コ ス ロ バ キ ア 等	4	4.8	2.8	6	1.0	1.4	1.8	3.5	5	5	4	5.5	8
0.9													
ハ ン ガ リ ー	4	4.8	2.8	6	1.0	1.4	1.8	3.5	5	5	4	5.5	8
0.9													
オ セ ア ニ ア	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2

コーリン・クラーク『人口増加と土地利用』(杉崎真一訳, 大明堂(原著1967年刊), 74ページ。

表1-12 世界の主要地域別人口および人口増加率：1950～2025年

地 域	年 央 推 計 人 口 (1,000人)					年 平 均 増 加 率 (%)			
	1950年	1990年	1995年	2000年	2025年	1950～55年	1990～95年	2000～05年	2020～25年
世界全域	2,516,443	5,292,195	5,770,286	6,260,800	8,504,223	1.79	1.73	1.47	0.99
先進地域 ¹⁾	832,425	1,206,556	1,236,045	1,264,078	1,353,936	1.28	0.48	0.38	0.18
発展途上地域 ²⁾	1,684,018	4,085,638	4,534,241	4,996,722	7,150,287	2.04	2.08	1.74	1.15
アフリカ	221,984	642,111	746,819	866,585	1,596,855	2.21	3.02	2.89	1.90
アメリカ	331,955	723,941	778,923	833,151	1,089,348	2.27	1.46	1.25	0.88
ラテンアメリカ	165,880	448,076	493,080	538,439	757,391	2.73	1.91	1.62	1.12
北部アメリカ	166,075	275,865	285,843	294,712	331,957	1.80	0.71	0.55	0.34
アジア	1,377,259	3,112,695	3,413,343	3,712,542	4,912,484	1.89	1.84	1.43	0.88
東アジア	671,391	1,335,605	1,426,268	1,510,009	1,736,879	1.75	1.31	0.79	0.42
南東アジア	182,033	444,767	490,104	535,057	726,017	1.92	1.94	1.51	0.99
南部アジア	481,403	1,200,569	1,345,776	1,495,500	2,161,837	1.99	2.28	1.91	1.12
西部アジア	42,432	131,754	151,196	171,975	287,751	2.70	2.75	2.39	1.70
ヨーロッパ	392,523	498,371	504,247	510,015	515,212	0.79	0.23	0.15	-0.05
ヨーロッパ共同体 ³⁾	278,194	341,560	344,602	347,419	343,578	0.60	0.18	0.07	-0.13
オセアニア	12,647	26,481	28,338	30,144	38,207	2.25	1.36	1.13	0.76
ソビエト連邦	180,075	288,595	298,616	308,363	352,116	1.71	0.68	0.61	0.47

UN, *World Population Prospects:1990* による。

- 1) ヨーロッパ、北部アメリカ(合衆国とカナダ)、ソビエト連邦、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。
- 2) 先進地域以外の地域。
- 3) 1991年1月現在ヨーロッパ共同体を構成する12カ国(ドイツ[統一]、フランス、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、デンマーク、アイルランド、イギリス、ギリシャ、スペイン、ポルトガル)の合計。

表1-13 世界の主要地域別人口割合：1950～2025年

地 域	1950年	1960年	1970年	1980年	1990年	1995年	2000年	2010年	2020年	2025年
世界全域	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
先進地域	33.1	31.3	28.4	25.6	22.8	21.4	20.2	18.2	16.6	15.9
発展途上地域	66.9	68.7	71.6	74.4	77.2	78.6	79.8	81.8	83.4	84.1
アフリカ	8.8	9.2	9.8	10.7	12.1	12.9	13.8	15.9	17.9	18.8
アメリカ	13.2	13.8	13.9	13.8	13.7	13.5	13.3	13.0	12.9	12.8
ラテンアメリカ	6.6	7.2	7.7	8.2	8.5	8.5	8.6	8.7	8.9	8.9
北部アメリカ	6.6	6.6	6.1	5.7	5.2	5.0	4.7	4.3	4.0	3.9
アジア	54.7	55.2	56.8	58.1	58.8	59.2	59.3	58.8	58.1	57.8
東アジア	26.7	26.2	26.7	26.4	25.2	24.7	24.1	22.4	21.0	20.4
南東アジア	7.2	7.4	7.8	8.1	8.4	8.5	8.5	8.6	8.5	8.5
南部アジア	19.1	19.7	20.4	21.3	22.7	23.3	23.9	24.9	25.3	25.4
西部アジア	1.7	1.8	2.0	2.2	2.5	2.6	2.7	3.0	3.3	3.4
ヨーロッパ	15.6	14.1	12.4	10.9	9.4	8.7	8.1	7.2	6.4	6.1
ヨーロッパ共同体	11.1	9.8	8.7	7.5	6.5	6.0	5.5	4.8	4.3	4.0
オセアニア	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
ソビエト連邦	7.2	7.1	6.6	6.0	5.5	5.2	4.9	4.5	4.2	4.1

UN, *World Population Prospects:1990* による。上表注参照。

表1-14 主要国の人口、人口増加率、面積および人口密度：1985～89年

国	年 央 推 計 人 口				年平均増加率 1985～88年 (%)	面 積 (km ²) 1988年	人口密度 (1km ² につき) 1989年
	1985年	1988年*	1989年*	人口順位			
エチオピア	43,350	47,882	49,513	20	3.3	1,221,900	41
エナメ	48,503	51,897	53,080	19	2.3	1,001,449	53
インドネシア	95,199	105,472	109,175	8	3.4	923,768	118
ブラジル	77,938	82,734	84,489	11	2.0	1,958,201	43
カナダ	135,564	144,428	147,404	6	2.1	8,511,965	17
アメリカ合衆国	25,165	25,950	26,248	11	1.0	9,976,139	3
中国	239,279	246,329	248,762	4	1.0	9,372,614	27
日本	1,059,522	1,103,983	1,119,691	1	1.4	9,596,961	117
北朝鮮	120,754	122,613	123,116	7	0.5	377,801	326
韓国	20,386	21,902	22,419	1	2.4	120,538	186
インドネシア	40,806	41,975	42,390	1	0.9	99,016	428
インドネシア	164,047	174,951	179,136	5	2.1	1,904,569	94
インドネシア	54,668	58,721	60,097	13	2.4	300,000	200
タイ	51,683	54,536	55,448	18	1.8	513,115	108
バングラデシュ	98,657	104,532	106,507	10	1.9	143,998	740
パキスタン	750,859	797,000	811,817	2	2.0	3,287,590	247
ポーランド	96,180	105,409	108,678	9	3.1	796,095	137
ポーランド	49,272	52,422	56,741	16	2.1	779,452	73
ポーランド	37,203	37,862	37,854	16	0.6	312,677	121
スイス	8,350	8,438	8,498	15	0.3	449,964	19
スイス	56,618	57,065	57,236	15	0.3	244,100	234
スイス	57,141	57,441	57,517	14	0.2	301,268	191
スイス	38,505	39,054	38,811	17	0.5	504,782	77
スイス	55,170	55,873	56,160	17	0.4	551,500	102
スイス	77,659	77,865	78,620	12	0.1	356,910	220
スイス	61,015	61,199	61,990	12	0.1	248,577	249
スイス	16,644	16,666	16,630	12	0.0	108,333	154
スイス	14,484	14,758	14,835	12	0.6	40,844	363
スイス	15,788	16,532	16,807	12	1.5	7,686,848	2
スイス	277,537	283,682	285,861	3	0.7	22,402,200	13

1989年人口のみUN, *Statistical Papers*, Series A, Vol. XLII, No. 4により, その他は同じくUN, *Demographic Yearbook*, 1988年版による。ただし, 日本は総務庁統計局『人口推計月報』による。収録した国は1989年中央人口5,000万以上のすべての国およびそれ未満の主要国である。人口順位は, 規模の大きい順に20位まで掲げた。*暫定値。1) 密林に住むインドネシアを除く。2) いわゆる「北方領土」と竹島を含まない。3) ジャム=カシミールを含む。4) ジャム=カシミール, ジュナガード, マナバダール, ギルギットおよびバルチスタンを除く。

表1-15 主要国の農用地面積当たり特殊人口密度：1989年

地域・国	普通人口密度 (1km ² につき)	普通人口密度順位	国土面積のうち農用地面積割合 (%)	特殊人口密度 (農用地1km ² につき)	特殊人口密度順位	地域・国	普通人口密度 (1km ² につき)	普通人口密度順位	国土面積のうち農用地面積割合 (%)	特殊人口密度 (農用地1km ² につき)	特殊人口密度順位
先進地域	22	13	33.1	66	2	バングラデシュ	740	1	68.6	1,079	4
途上地域	51	51	36.3	140	140	インド	247	6	55.2	447	9
エチオピア	41	22	48.2	84	23	パキスタン	137	11	32.5	420	11
エナメ	53	20	2.6	2,055	2	ポーランド	121	12	60.2	201	19
インドネシア	118	13	56.6	209	18	スウェーデン	19	24	7.9	243	17
ブラジル	43	21	50.7	22	イギリス	234	7	75.7	309	14	
カナダ	17	25	29.1	60	24	インドネシア	191	10	56.6	337	13
アメリカ合衆国	3	27	7.9	33	27	スベイン	77	18	60.6	127	21
中国	27	23	46.0	58	25	ベルギー	311	5	45.6	684	6
日本	117	14	43.3	269	15	フランス	102	16	56.7	179	20
韓国	326	4	14.1	2,316	1	ドイツ	220	8	50.7	434	10
インドネシア	428	2	22.5	1,904	3	インドネシア	249	9	47.9	520	14
インドネシア	60	19	15.4	392	12	オーストラリア	154	28	57.1	269	13
インドネシア	94	17	17.3	543	8	オーストラリア	397	3	53.9	737	5
インドネシア	200	9	30.6	654	7	ソビエト連邦	13	28	59.1	4	28

面積はFAO, *Production Yearbook*, 1989年版, 人口はUN, *Statistical Papers*, Series A, Vol. XLII, No.4に基づいて算定。普通人口密度は国土面積(内水面を含むtotal area)1km²に対する, また特殊人口密度は農用地面積1km²に対する人口の比率。密度順位は, ここに掲げた主要30カ国における密度の高い順。農用地面積は, 耕地(arable land), 樹園地(land under permanent crops), 牧場・牧草地(permanent meadows and pastures)を合わせた面積。1) 中国のデータには台湾が含まれている。2) 最終的帰属未定のジャム=カシミールのデータは, インドに含まれている。3) 農用地面積についてのデータが, ベルギーとルクセンブルクを合計した数値しか得られない。

表1-16 主要国の人口および人口増加率：1950～2025年

国名	年 央 推 計 人 口 (1,000人)						人口増加率 (%)			
	1950年	1990年	人口 順位	1995年	2000年	2025年	1950～ 55年	1990～ 95年	2000～ 05年	2020～ 25年
エチオピア	19,573	49,240	22	57,140	66,364	126,618	2.04	2.98	2.96	2.04
インドネシア	12,184	35,568	21	41,813	49,190	99,366	2.19	3.24	3.22	2.21
南アフリカ	20,330	52,426		58,388	64,210	90,355	2.46	2.15	1.75	1.04
ナイジェリア	13,683	35,282	10	39,348	43,666	65,363	2.34	2.18	1.95	1.24
メキシコ	32,935	108,542	10	127,694	149,621	280,890	2.38	3.25	3.05	1.90
アメリカ合衆国	5,850	10,608	11	11,091	11,504	12,993	1.85	0.89	0.59	0.37
ロシア連邦	28,012	88,598	6	97,967	107,233	150,062	2.92	2.01	1.62	1.08
中国	17,150	32,322		34,264	36,238	45,505	1.97	1.17	1.07	0.75
インド	53,444	150,368	6	165,083	179,487	245,809	3.15	1.87	1.51	1.00
ブラジル	6,082	13,173		14,237	15,272	19,774	2.16	1.55	1.24	0.83
韓国	11,946	32,978		36,182	39,397	54,196	2.82	1.85	1.54	1.01
日本	7,632	21,550		23,854	26,276	37,350	2.55	2.03	1.77	1.08
台湾	13,737	26,521		27,557	28,488	31,923	2.72	0.77	0.58	0.27
香港	152,271	249,224	4	258,162	266,096	299,884	1.72	0.71	0.55	0.35
マカオ	554,760	1,139,060	1	1,222,562	1,299,180	1,512,585	1.87	1.42	0.83	0.48
韓国	...	20,647		21,561	22,401	25,730	...	0.87	0.73	0.34
日本	1,974	5,851		6,108	6,336	6,456	4.64	0.86	0.33	-0.17
北朝鮮	83,625	123,460	7	125,904	128,470	127,496	1.43	0.39	0.31	-0.24
韓国	9,726	21,773		23,966	26,117	33,063	-1.40	1.92	1.32	0.70
インドネシア	20,357	42,793	23	44,655	46,403	51,631	1.02	0.85	0.72	0.18
インドネシア	4,346	8,246		9,205	10,046	13,989	2.15	2.20	1.42	1.06
インドネシア	79,538	184,283	5	201,797	218,661	285,913	1.69	1.82	1.30	0.90
マレーシア	4,139	4,139		4,788	5,463	8,600	2.05	2.92	2.41	1.33
フィリピン	6,110	17,891		20,037	21,983	30,116	2.72	2.26	1.48	1.10
シンガポール	17,832	41,675	24	46,275	51,129	72,619	1.85	2.09	1.80	1.10
タイ	20,988	62,413	14	69,935	77,473	111,509	2.61	2.28	1.84	1.13
ベトナム	1,022	2,723		2,874	2,997	3,319	4.90	1.07	0.63	0.18
インドネシア	20,010	55,702	19	59,605	63,670	80,911	2.58	1.35	1.24	0.70
インドネシア	29,954	66,693	13	74,475	82,427	117,491	1.33	2.21	1.80	1.20
インドネシア	41,783	115,593	9	132,219	150,589	234,987	1.70	2.69	2.44	1.31
インドネシア	357,561	853,094	2	946,716	1,041,543	1,442,386	2.00	2.08	1.71	1.00
インドネシア	16,913	54,607	20	60,390	68,759	113,831	2.35	2.01	2.54	1.43
インドネシア	8,182	19,143		21,521	24,084	34,973	1.17	2.34	1.97	1.11
インドネシア	39,513	122,626	8	141,522	162,409	267,112	2.24	2.87	2.46	1.48
インドネシア	7,678	17,217		18,338	19,416	24,572	2.55	1.26	1.02	0.76
インドネシア	5,158	18,920		22,411	26,339	49,992	2.72	3.39	3.05	2.07
インドネシア	1,258	4,600		4,958	5,321	6,908	6.58	1.50	1.29	0.85
インドネシア	3,201	14,134		17,124	20,697	44,752	2.31	3.84	3.67	2.42
インドネシア	20,809	55,868	18	61,577	66,789	87,701	2.74	1.95	1.31	0.92
インドネシア	7,251	9,010		9,036	9,071	8,944	0.67	0.06	0.01	-0.09
インドネシア	12,389	15,667		15,874	16,179	17,182	1.10	0.26	0.37	0.14
インドネシア	9,338	10,552		10,509	10,531	10,199	1.02	-0.08	-0.02	-0.18
インドネシア	24,824	38,423		39,365	40,366	45,066	1.89	0.49	0.54	0.33
インドネシア	16,311	23,272		23,816	24,346	25,745	1.39	0.46	0.31	0.18
インドネシア	7,014	8,444		8,509	8,560	8,584	0.70	0.15	0.04	-0.05
インドネシア	50,616	57,237	15	57,864	58,393	59,658	0.23	0.22	0.11	0.04
インドネシア	7,566	10,047		10,124	10,193	10,080	1.03	0.15	0.11	-0.12
インドネシア	47,104	57,061	16	57,114	57,195	52,964	0.64	0.02	-0.11	-0.44
インドネシア	8,405	10,285		10,429	10,587	10,941	0.48	0.28	0.25	0.05
インドネシア	28,009	39,187	25	39,915	40,667	42,265	0.83	0.37	0.29	0.07
インドネシア	16,346	23,807		24,389	24,900	25,990	1.39	0.48	0.31	0.05
インドネシア	6,935	7,583		7,601	7,613	7,343	0.03	0.05	-0.07	-0.26
インドネシア	8,639	9,845		9,845	9,832	9,370	0.52	0.00	-0.12	-0.28
インドネシア	41,829	56,138	17	57,138	58,145	60,372	0.75	0.35	0.24	0.07
インドネシア	68,376	77,573	12	77,330	76,962	70,909	0.56	-0.06	-0.20	-0.44
インドネシア	49,989	61,324		61,111	60,743	55,141	0.93	-0.07	-0.26	-0.49
インドネシア	18,387	16,249		16,219	16,219	15,768	-0.49	-0.04	0.00	-0.26
インドネシア	10,114	14,951		15,409	15,829	16,819	1.22	0.60	0.40	0.12
インドネシア	4,694	6,609		6,682	6,762	6,790	1.18	0.22	0.14	-0.06
インドネシア	8,219	16,873		17,901	18,855	23,038	2.34	1.18	0.95	0.64
インドネシア	1,908	3,392		3,534	3,662	4,117	2.26	0.82	0.61	0.32
インドネシア	180,075	288,595	3	298,616	308,363	352,116	1.71	0.68	0.61	0.47

人口順位は1990年における各国の人口規模の大きい順に25位まで順位を付したものの。UN, *World Population Prospects: 1990*による国連の最新推計結果（日本も含めて）である。ここには1990年央時において人口が3,000万を超えるすべての国、およびそれ未満の主要な国を国連資料掲載の順に配列した。なお、日本に関する人口問題研究所の推計人口は表1-5および表1-7を参照。1) 台湾を含む。2) 世界銀行の推計〔1989～90年改訂〕による。3) ココス（キーリング）諸島、クリスマス島およびノーフォーク島を含む。

表 2 - 1 在留資格（2区分）別登録外国人数：1952～89年

年次	実数			割合（%）			登録外国人が 総人口に占める 割合（%）	推計 外国人人口
	総数	永住資格	その他	総数	永住資格	その他		
1952	573,318	556,838	16,480	100.0	97.1	2.9	0.67	561,143
1959	674,315	631,796	42,519	100.0	93.7	6.3	0.73	608,735
1964	659,701	593,123	66,578	100.0	89.9	10.1	0.68	584,195
1969	696,405	612,968	83,437	100.0	88.0	12.0	0.68	598,279
1974	749,094	639,550	109,544	100.0	85.4	14.6	0.68	632,985
1980	776,000	652,153	123,847	100.0	84.0	16.0	0.66	668,675
1984	840,885	670,141	170,744	100.0	79.7	20.3	0.70	711,800
1986	867,237	655,696	211,541	100.0	75.6	24.4	0.71	726,663
1988	941,005	648,012	292,993	100.0	68.9	31.1	0.77	756,793
1989	984,455	646,889	337,566	100.0	65.7	34.3	0.80	794,490

1952年は11月末日、1959～74年は4月1日、1980年は7月1日、1984～89年は12月末日現在。法務省入国管理局『出入国管理の回顧と展望』1980年、法務省『在留外国人統計』、推計外国人人口と総人口は総務庁『国勢調査報告』、『人口推計月報』改訂数字特集による。

表 2 - 2 在留資格（2区分）および性、国籍別在留外国人数：1986、88年

国 籍	1986 年						1988 年				
	総 数			男	女	総 数			男	女	
	総 数	永 住	その他			総 数	永 住	その他			
総 数	867,237	655,696	211,541	434,087	433,150	941,005	648,012	292,993	470,389	470,616	
ア ジ ア	802,909	651,317	151,592	399,298	403,611	868,091	642,875	225,216	430,021	438,070	
韓 国・朝 鮮	677,959	627,423	50,536	342,907	335,052	677,140	617,324	59,816	338,995	338,145	
中 国	84,397	22,757	61,640	40,497	43,900	129,269	23,594	105,675	69,115	60,154	
フ ィ リ ピ ン	18,897	292	18,605	2,595	16,302	32,185	541	31,644	3,901	28,284	
タ イ	2,981	67	2,914	1,262	1,719	5,277	108	5,169	1,956	3,321	
ベ ト ナ ム	4,388	78	4,310	2,868	1,520	4,763	189	4,574	2,996	1,767	
マ レ ー シ ア	2,182	73	2,109	1,350	832	3,542	78	3,464	2,163	1,379	
イ ン ド	2,601	312	2,289	1,590	1,011	2,730	380	2,350	1,729	1,001	
イ ン ド ネ シ ア	1,839	51	1,788	1,027	812	2,379	87	2,292	1,421	958	
バ ン グ ラ デ シ ュ	1,183	8	1,175	1,092	91	2,130	11	2,119	1,999	131	
パ キ ス タ ン	1,244	47	1,197	1,108	136	2,063	51	2,012	1,893	170	
北 ア メ リ カ	34,235	1,644	32,591	18,692	15,543	37,264	2,057	35,207	20,785	16,479	
ア メ リ カ 合 衆 国	30,695	1,484	29,211	16,906	13,789	32,766	1,850	30,916	18,492	14,274	
カ ナ ダ	2,685	131	2,554	1,440	1,245	3,510	164	3,346	1,908	1,602	
南 ア メ リ カ	3,961	106	3,855	1,690	2,271	6,872	171	6,701	3,537	3,335	
ヨ ー ロ ッ パ	20,500	1,775	18,725	11,332	9,168	22,027	2,048	19,979	12,226	9,801	
イ ギ リ ス	7,426	1,679	5,747	4,314	3,112	8,523	1,773	6,750	4,962	3,561	
西 ド イ ツ	3,193	389	2,804	1,770	1,423	3,222	427	2,795	1,772	1,450	
フ ラ ン ス	2,494	226	2,268	1,307	1,187	2,744	281	2,463	1,464	1,280	
そ の 他	5,632	854	4,778	3,075	2,557	6,751	861	5,890	3,820	2,931	
オ ー ス ト ラ リ ア	2,058	65	1,993	998	1,060	2,585	64	2,521	1,264	1,321	

法務省『在留外国人統計』による。12月末日現在。

表2-3 性、日本人・外国人別人口：1920～89年

(1,000人)

年次	日本人			外国人			総人口に占める外国人の割合(%)			登録外国人数 ¹⁾
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
1920	55,885	27,981	27,904	78	63	15	0.14	0.23	0.05	...
1930	63,972	32,049	31,923	478	341	137	0.74	1.05	0.43	...
1940	71,810	35,778	36,032	1,304	788	516	1.81	2.23	1.41	...
1950	82,672	40,514	42,158	528	298	230	0.63	0.73	0.54	...
1955	88,678	43,533	45,145	597	328	270	0.67	0.75	0.59	...
1960	92,841	45,566	47,275	577	312	266	0.62	0.68	0.56	2) 640
1965	97,681	47,928	49,753	594	316	278	0.60	0.66	0.56	666
1970	103,119	50,601	52,519	601	317	283	0.58	0.62	0.54	708
1975	111,298	54,756	56,542	642	335	307	0.57	0.61	0.54	752
1980	116,392	57,250	59,142	669	344	325	0.57	0.60	0.55	783
1983	118,786	58,435	60,352	750	351	398	0.63	0.60	0.66	817
1984	119,523	58,793	60,730	782	357	425	0.65	0.60	0.70	842
1985	120,329	59,133	61,196	720	364	356	0.59	0.61	0.58	851
1986	120,946	59,438	61,508	727	367	360	0.60	0.61	0.58	867
1987	121,535	59,723	61,811	729	368	361	0.60	0.61	0.58	884
1988	122,026	59,964	62,062	757	388	369	0.62	0.64	0.59	941
1989	122,460	60,171	62,289	794	410	384	0.65	0.68	0.61	984

総務庁統計局『国勢調査報告』および『人口推計資料』による。各年10月1日現在。1940年以前は内地の人口で、外国人は内地の外地人と外国人。1)法務省『出入国管理統計年報』および同省入国管理局登録課『外国人登録国籍別人員調査表』による。各年末現在。2)1961年

表2-4 性、年齢(5歳階級)、日本人・外国人別人口：1985, 89年

(1,000人)

年齢	1985年				1989年				1989年性別総人口に占める外国人の割合(%)	
	日本人		外国人		日本人		外国人			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	59,106	61,182	364.1	356.0	60,171	62,289	410.3	384.1	0.68	0.61
0～4	3,792	3,615	26.6	25.2	3,438	3,260	19.2	18.1	0.56	0.55
5～9	4,345	4,131	28.4	27.3	3,871	3,688	25.6	24.4	0.66	0.66
10～14	5,115	4,865	31.9	30.6	4,513	4,292	26.3	25.2	0.58	0.58
15～19	4,571	4,351	29.5	28.9	5,110	4,853	32.0	30.8	0.62	0.63
20～24	4,134	4,000	32.4	34.9	4,463	4,266	43.6	40.5	0.97	0.94
25～29	3,915	3,840	33.6	35.4	3,979	3,866	53.3	44.6	1.32	1.14
30～34	4,524	4,461	34.5	34.6	3,952	3,883	44.9	39.6	1.12	1.01
35～39	5,365	5,309	33.1	30.4	4,759	4,708	36.8	34.7	0.77	0.73
40～44	4,527	4,559	25.2	24.1	5,022	4,989	31.0	28.8	0.61	0.57
45～49	4,072	4,125	20.2	19.8	4,562	4,613	23.1	23.1	0.50	0.50
50～54	3,911	3,991	15.5	15.6	3,967	4,052	18.1	18.2	0.45	0.45
55～59	3,395	3,577	14.3	13.2	3,706	3,852	13.4	14.0	0.36	0.36
60～64	2,365	3,013	15.2	12.9	3,122	3,426	13.0	12.7	0.41	0.37
65歳以上	5,077	7,345	23.7	23.1	5,707	8,543	30.0	29.2	0.52	0.34

1985年は総務庁統計局『国勢調査報告』、1989年は同局『人口推計資料』による。各年10月1日現在。総数は年齢不詳を除く。

表2-5 国籍(地域)、性別登録外国人数：1959～88年

年次	総数			アジア			その他		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1959	674,315	372,026	302,289	¹⁾ 652,132	¹⁾ 359,880	¹⁾ 292,252	22,183	12,146	10,037
1964	659,701	358,943	300,758	630,731	343,331	287,400	28,970	15,612	13,358
1969	696,405	373,991	322,414	660,559	354,972	305,587	35,846	19,019	16,827
1974	749,094	398,913	350,181	697,559	370,516	327,043	51,535	28,397	23,138
1984	840,885	426,949	413,936	782,316	395,635	386,681	58,569	31,314	27,255
1986	867,237	434,087	433,150	802,909	399,298	403,611	64,328	34,789	29,539
1988	941,005	470,389	470,616	868,091	430,021	438,070	72,914	40,368	32,546

法務省『在留外国人統計』による。1959～74年4月1日現在、1984～88年は12月末現在。

1)中国と朝鮮のみ。ちなみに、1964年における中国と朝鮮は総数626,575、男340,417、女286,158。

表2-6 国籍別にみた登録外国人数：1960～89年

国 籍	1960年		1975年		1985年		1989年	
	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)	実 数	割合(%)
総 数	650,566	100.0	751,842	100.0	850,612	100.0	984,455	100.0
韓国・朝鮮	581,257	89.3	647,156	86.1	683,313	80.3	681,838	69.3
中国	45,535	7.0	48,728	6.5	74,924	8.8	137,499	14.0
アメリカ合衆国	11,594	1.8	21,976	2.9	29,044	3.4	38,925	4.0
フィリピン	390	0.1	3,035	0.4	12,261	1.4	34,900	3.5
イギリス	1,758	0.3	4,051	0.5	6,792	0.8	14,528	1.5
タイ	266	0.0	1,046	0.1	2,642	0.3	9,272	0.9
ベトナム	31	0.0	1,041	0.1	4,126	0.5	6,316	0.6
ブラジル	240	0.0	1,418	0.2	1,955	0.2	5,542	0.6
マレーシア	2) 58	0.0	718	0.1	1,761	0.2	4,172	0.4
カナダ	1,182	0.2	1,538	0.2	2,401	0.3	4,039	0.4
西ドイツ	3) 1,279	0.2	2,740	0.4	3,017	0.4	3,315	0.3
フランス	650	0.1	1,484	0.2	2,392	0.3	3,073	0.3
インド	783	0.1	1,668	0.2	2,546	0.3	2,926	0.3
オーストラリア	311	0.0	930	0.1	1,842	0.2	2,881	0.3
インドネシア	420	0.1	1,119	0.1	1,704	0.2	2,781	0.3
バングラデシュ	108	0.0	684	0.1	2,205	0.2
パキスタン	4) 72	0.0	248	0.0	1,032	0.1	1,875	0.2
シンガポール	2)	415	0.1	768	0.1	1,538	0.2
カンボジア	13	0.0	98	0.0	784	0.1	1,148	0.1
イラン	43	0.0	206	0.0	682	0.1	1,064	0.1
スリランカ	38	0.0	285	0.0	509	0.1	1,042	0.1
スイス	372	0.1	842	0.1	802	0.1	988	0.1
イタリア	421	0.1	677	0.1	808	0.1	925	0.1
無国籍	630	0.1	2,676	0.4	1,982	0.2	890	0.1
その他	3,163	0.5	7,639	1.0	11,841	1.4	20,773	2.1

法務省『出入国管理統計年報』および同省入国管理局登録課『外国人登録国籍別人員調査表』による。外国人登録法に基づき登録された各年末現在の数字である。1989年の人数の多いもの23位までを示す。

1) 北ベトナムと南ベトナムの合計。2) マレーシアとシンガポールの合計をマレーシアに示す。3) 東ドイツを含む。4) パキスタンとバングラデシュの合計。

表2-7 性、日本人・外国人別入国超過数：1955～89年

年次	総人口			日本人人口			外国人人口		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1955	-5,261	-3,576	-1,685
1960	-50,178	-29,992	-20,186	-14,022	-9,047	-4,975	-36,156	-20,945	-15,211
1965	4,199	2,245	1,954	1,196	751	445	3,003	1,494	1,509
1970	9,822	11,913	-2,091	5,991	10,095	-4,104	3,831	1,818	2,013
1975	-3,314	1,402	-4,716	-10,981	-2,019	-8,962	7,667	3,421	4,246
1976	-9,197	-4,334	-4,863	-14,428	-6,447	-7,981	5,231	2,113	3,118
1977	-14,471	-6,007	-8,464	-16,249	-5,525	-10,724	1,778	-482	2,260
1978	-13,426	-7,013	-6,413	-19,917	-10,015	-9,902	6,491	3,002	3,489
1979	-13,773	-6,265	-7,508	-17,988	-7,873	-10,115	4,215	1,608	2,607
1980	7,738	10,517	-2,779	-4,175	3,936	-8,111	11,913	6,581	5,332
1981	2,033	4,765	-2,732	-8,744	-429	-8,315	10,777	5,194	5,583
1982	1,166	4,974	-3,808	-5,993	3,136	-9,129	7,159	1,838	5,321
1983	1,739	3,930	-2,191	-9,904	-1,648	-8,256	11,643	5,578	6,065
1984	-5,961	-1,022	-4,939	-19,340	-7,388	-11,952	13,379	6,366	7,013
1985	13,082	4,343	8,739	-6,969	-6,214	-755	20,051	10,557	9,494
1986	-6,199	5,102	-11,301	-22,157	-2,934	-19,223	15,958	8,036	7,922
1987	-28,364	-9,306	-19,058	-38,656	-14,646	-24,010	10,292	5,340	4,952
1988	-17,227	5,777	-23,004	-53,805	-18,911	-34,894	36,578	24,688	11,890
1989	-3,554	8,081	-11,635	-44,521	-16,798	-27,723	40,967	24,879	16,088

総務庁統計局『人口推計資料』などによる。各前年10月1日から当年9月30日における入国者数から出国者数を引いたもの。外国人については滞在日数91日以上のもの。

表 2 - 8 性, 年齢(5歳階級), 日本人・外国人別入国超過数: 1989年

年 齢	入 国 超 過 数			入 国 超 過 率 (%)		
	総 数	男	女	総 数	男	女
	総 数					
総 数	-3,554	8,081	-11,635	-0.0029	0.0133	-0.0186
0 ~ 4	-7,741	-3,733	-4,008	-0.1149	-0.1080	-0.1223
5 ~ 9	-954	-471	-483	-0.0125	-0.0121	-0.0130
10 ~ 14	1,397	804	593	0.0158	0.0177	0.0137
15 ~ 19	-4,801	-590	-4,211	-0.0479	-0.0115	-0.0862
20 ~ 24	-4,311	-48	-4,263	-0.0489	-0.0011	-0.0990
25 ~ 29	277	1,347	-1,070	0.0035	0.0334	-0.0274
30 ~ 34	598	235	363	0.0076	0.0059	0.0093
35 ~ 39	1,169	1,189	-20	0.0123	0.0248	-0.0004
40 ~ 44	2,436	1,724	712	0.0242	0.0341	0.0142
45 ~ 49	1,126	1,105	21	0.0122	0.0241	0.0005
50 ~ 54	1,014	1,095	-81	0.0126	0.0275	-0.0020
55 ~ 59	1,877	1,609	268	0.0247	0.0433	0.0069
60 ~ 64	1,975	1,645	330	0.0300	0.0525	0.0096
65歳以上	2,384	2,170	214	0.0167	0.0378	0.0025
	日 本 人					
総 数	-44,521	-16,798	-27,723	-0.0364	-0.0279	-0.0445
0 ~ 4	-9,370	-4,591	-4,779	-0.1399	-0.1335	-0.1466
5 ~ 9	-1,770	-885	-885	-0.0234	-0.0229	-0.0240
10 ~ 14	566	403	163	0.0064	0.0089	0.0038
15 ~ 19	-11,767	-4,445	-7,322	-0.1181	-0.0870	-0.1509
20 ~ 24	-17,630	-8,215	-9,415	-0.2020	-0.1841	-0.2207
25 ~ 29	-8,528	-4,564	-3,964	-0.1087	-0.1147	-0.1025
30 ~ 34	-2,532	-1,637	-895	-0.0323	-0.0414	-0.0230
35 ~ 39	-351	408	-759	-0.0037	0.0086	-0.0161
40 ~ 44	1,294	1,046	248	0.0129	0.0208	0.0050
45 ~ 49	416	698	-282	0.0045	0.0153	-0.0061
50 ~ 54	560	761	-201	0.0070	0.0192	-0.0050
55 ~ 59	1,513	1,340	173	0.0200	0.0362	0.0045
60 ~ 64	1,512	1,362	150	0.0231	0.0436	0.0044
65歳以上	1,566	1,521	45	0.0110	0.0267	0.0005
	外 国 人					
総 数	40,967	24,879	16,088	5.16	6.06	4.19
0 ~ 4	1,629	858	771	4.36	4.46	4.25
5 ~ 9	816	414	402	1.63	1.61	1.65
10 ~ 14	831	401	430	1.61	1.52	1.70
15 ~ 19	6,966	3,855	3,111	11.10	12.06	10.09
20 ~ 24	13,319	8,167	5,152	15.83	18.74	12.71
25 ~ 29	8,805	5,911	2,894	8.99	11.08	6.49
30 ~ 34	3,130	1,872	1,258	3.70	4.17	3.17
35 ~ 39	1,520	781	739	2.12	2.12	2.13
40 ~ 44	1,142	678	464	1.91	2.19	1.61
45 ~ 49	710	407	303	1.54	1.76	1.31
50 ~ 54	454	334	120	1.25	1.85	0.66
55 ~ 59	364	269	95	1.33	2.01	0.68
60 ~ 64	463	283	180	1.80	2.18	1.41
65歳以上	818	649	169	1.38	2.17	0.58

総務庁統計局『人口推計資料』による。期間は1988年10月1日～1989年9月30日について。年齢は期末(10月1日)現在のもの。率は期末人口を分母とする。

外国人は滞在日数91日以上のもの。ただし、滞在日数90日以下の資格で入国後91日以上に資格に変更したもの(1985年に約8,000人)はここに含まれていない。

表2-9 日本人・外国人の別にみた出入国者数：1960～90年

(1,000人)

年次	入 国 者 数			出 国 者 数			差 増
	総 数	日本人	外国人 ¹⁾	総 数	日本人	外国人 ¹⁾	
1960	257	105	152	315	119	196	-58
1965	581	265	316	578	266	312	3
1967	844	422	422	847	428	419	-3
1968	991	534	456	994	542	452	-4
1969	1,271	719	552	1,259	712	546	13
1970	1,735	928	808	1,742	936	806	-7
1971	1,881	1,246	635	1,902	1,268	634	-21
1972	2,233	1,523	710	2,235	1,533	702	-2
1973	3,065	2,264	801	3,086	2,289	797	-22
1974	3,097	2,311	786	3,120	2,336	784	-23
1975	3,311	2,459	852	3,313	2,466	847	-2
1976	3,798	2,839	958	3,814	2,853	961	-16
1977	4,185	3,134	1,050	4,202	3,151	1,050	-17
1978	4,566	3,498	1,068	4,592	3,525	1,067	-26
1979	5,155	4,021	1,135	5,164	4,038	1,125	-9
1980	5,233	3,900	1,333	5,228	3,909	1,318	5
1981	5,601	4,008	1,593	5,585	4,006	1,578	16
1982	5,845	4,085	1,760	5,826	4,086	1,740	19
1983	6,172	4,214	1,958	6,171	4,232	1,938	2
1984	6,727	4,627	2,100	6,729	4,659	2,070	-2
1985	7,267	4,934	2,333	7,248	4,948	2,300	19
1986	7,575	5,479	2,096	7,560	5,516	2,044	14
1987	9,027	6,788	2,239	9,005	6,829	2,176	22
1988	10,867	8,379	2,489	10,813	8,427	2,386	55
1989	12,683	9,619	3,063	12,626	9,663	2,963	57
1990	14,456	10,952	3,504	14,340	10,997	3,343	116

法務省『出入国管理統計年報』による。1)正規出入国者のほかに協定該当者（日米間の地位協定および日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定による駐留軍軍人、軍属およびその家族で、軍艦または軍用機によらないで、本邦へ出入国した者）を含む。2)協定該当者を除く。

表2-10 国籍別にみた出入国者数：1980, 89年

国 籍	1980年				1989年			
	実 数		割 合 (%)		実 数		割 合 (%)	
	入国者	出国者	入国者	出国者	入国者	出国者	入国者	出国者
総 数	5,232,904	5,227,711	100.0	100.0	12,682,680	12,625,764	100.0	100.0
日 本 人	3,899,569	3,909,333	74.5	74.8	9,619,185	9,662,752	75.8	76.5
外 国 人 ¹⁾	1,295,866	1,277,555	24.8	24.4	2,985,764	2,891,048	23.5	22.9
中 国	18,336	15,175	0.4	0.3	100,144	91,327	0.8	0.7
(台 湾)	235,549	231,371	4.5	4.4	501,907	497,753	4.0	3.9
(ホ ン コ ン)	32,239	31,749	0.6	0.6	32,007	31,901	0.3	0.3
イ ン ド ネ シ ア	13,997	13,907	0.3	0.3	21,500	20,808	0.2	0.2
韓 国	17,854	17,799	0.3	0.3	26,205	25,622	0.2	0.2
フ ィ リ ピ ン ス	212,973	211,973	4.1	4.1	806,065	784,348	6.4	6.2
フ ラ ン ス	27,902	26,384	0.5	0.5	88,296	78,515	0.7	0.6
西 ド イ ツ	17,884	17,500	0.3	0.3	49,117	44,242	0.4	0.4
東 ド イ ツ	25,855	25,613	0.5	0.5	48,171	48,092	0.4	0.4
イ タ リ ア	39,535	39,363	0.8	0.8	62,095	62,345	0.5	0.5
オ ス ト ラ リ ア	997	1,003	0.0	0.0	1,090	1,083	0.0	0.0
ス ウェーデン	12,405	12,319	0.2	0.2	27,892	27,876	0.2	0.2
ス イ ス	10,789	10,796	0.2	0.2	16,492	16,533	0.1	0.1
ソビエト連邦	10,613	10,573	0.2	0.2	15,363	15,328	0.1	0.1
イ ギ リ ス	9,427	9,422	0.2	0.2	17,544	17,515	0.1	0.1
カナダ	6,103	6,119	0.1	0.1	18,087	17,786	0.1	0.1
アメリカ合衆国	89,368	88,083	1.7	1.7	172,833	172,290	1.4	1.4
オーストラリア	40,821	40,595	0.8	0.8	60,215	59,658	0.5	0.5
協定該当者 ²⁾	277,980	275,260	5.3	5.3	538,117	535,504	4.2	4.2
	23,985	23,758	0.5	0.5	49,778	49,176	0.4	0.4
	37,469	40,823	0.7	0.8	77,731	71,964	0.6	0.6

法務省『出入国管理統計年報』による。1)台湾、ホンコンを除く。2)日米間の地位協定（1960年条約第7号）による駐留軍軍人、軍属およびその家族で、軍艦または軍用機によらないで、本邦へ入国および本邦から出国した者。

表2-11 国籍別入国超過数：1975～89年

国 籍	1975～ 89年計	1975～ 79年	1980～ 84年	1985～ 89年	1986年	1987年	1988年	1989年
			総		数			
総 数	138,277	-69,552	40,472	167,357	14,498	22,126	54,551	56,916
総 数 ¹⁾	146,550	-48,295	48,682	146,163	10,996	14,559	53,090	51,149
日 本 人	-325,186	-82,453	-58,760	-183,973	-37,123	-40,868	-48,297	-43,567
外 国 人	471,736	34,158	107,442	330,136	48,119	55,427	101,387	94,716
ア ジ ア 州	384,835	20,146	83,675	281,014	43,517	50,296	91,580	70,256
中 国 ²⁾	64,593	3,579	9,873	51,141	554	11,874	30,998	8,817
台 湾	66,371	9,490	26,429	30,452	10,706	2,493	2,680	4,154
韓 国	61,769	2,514	13,491	45,764	2,637	5,519	14,814	21,717
フィリピン	98,616	3,558	20,598	74,460	24,556	18,019	9,587	9,781
タ イ	26,518	1,369	6,909	18,240	2,188	3,728	5,870	4,875
ヨーロッパ州	12,951	2,160	5,663	5,128	698	1,226	1,282	1,050
アメリカ合衆国	37,513	9,799	13,821	13,893	3,006	2,189	3,293	2,613
協 定 該 当 者 ³⁾	-8,273	-21,257	-8,210	21,194	3,502	7,567	1,461	5,767
			男					
総 数 ¹⁾	123,299	-20,392	34,839	108,852	7,983	10,996	52,371	36,244
日 本 人	-90,881	-30,193	1,103	-61,791	-8,233	-14,641	-13,518	-17,253
外 国 人	214,180	9,801	33,736	170,643	16,216	25,637	65,889	53,497
ア ジ ア 州	170,863	4,751	22,929	143,183	14,053	23,082	59,915	38,526
中 国 ²⁾	44,881	1,811	6,699	36,371	2,039	7,300	21,824	4,318
台 湾	17,712	2,431	7,751	7,530	2,768	345	755	1,087
韓 国	20,107	-274	1,771	18,610	-93	873	6,562	10,495
フィリピン	22,846	768	1,465	20,613	6,171	5,419	3,068	4,038
タ イ	7,382	308	1,017	6,057	678	1,275	1,627	2,039
ヨーロッパ州	6,672	1,267	3,156	2,249	277	646	796	238
アメリカ合衆国	15,621	2,733	6,136	6,752	1,532	1,111	1,882	1,252
			女					
総 数 ¹⁾	23,251	-27,903	13,843	37,311	3,013	3,563	719	14,905
日 本 人	-234,305	-52,260	-59,863	-122,182	-28,890	-26,227	-34,779	-26,314
外 国 人	257,556	24,357	73,706	159,493	31,903	29,790	35,498	41,219
ア ジ ア 州	213,972	15,395	60,746	137,831	29,464	27,214	31,665	31,730
中 国 ²⁾	19,712	1,768	3,174	14,770	-1,485	4,574	9,174	4,499
台 湾	48,659	7,059	18,678	22,922	7,938	2,148	1,925	3,067
韓 国	41,662	2,788	11,720	27,154	2,730	4,646	8,252	11,222
フィリピン	75,770	2,790	19,133	53,847	18,385	12,600	6,519	5,743
タ イ	19,136	1,061	5,892	12,183	1,510	2,453	4,243	2,836
ヨーロッパ州	6,279	893	2,507	2,879	421	580	486	812
アメリカ合衆国	21,892	7,066	7,685	7,141	1,474	1,078	1,411	1,361

法務省『出入国管理統計年報』による。入国者数から出国者数を引いたもの。1) 日米地位協定該当者を除く。2) 台湾、ホンコンを除く。3) 日米間の地位協定(1960年条約第7号)による駐留軍軍人、軍属およびその家族で、軍艦または軍用機によらないで、本邦へ入国および本邦から出国した者。

表2-12 性別国籍の異動による日本人人口の純増：1967～89年

年次	総数	男	女	年次	総数	男	女
1967	3,235	1,692	1,543	1980	7,389	3,605	3,784
1970	4,327	2,177	2,150	1981	7,947	3,940	4,007
1971	3,708	1,800	1,908	1982	8,605	4,195	4,410
1972	4,052	1,935	2,117	1983	7,796	3,645	4,151
1973	12,231	7,014	5,217	1984	5,900	2,806	3,094
1974	8,923	5,034	3,889	1985	14,467	7,095	7,372
1975	6,597	3,333	3,264	1986	11,533	5,715	5,818
1976	7,496	3,800	3,696	1987	10,896	5,395	5,501
1977	4,142	1,956	2,186	1988	12,091	5,998	6,093
1978	6,699	3,253	3,446	1989	6,138	3,039	3,099
1979	6,943	3,358	3,585				

総務庁統計局「人口推計資料」などによる。国籍取得者と国籍喪失者との差。
各前年10月1日～当年9月30日について。

表2-13 性、年齢（5歳階級）別国籍の異動による日本人人口の純増：1980～89年

年齢	1980年			1985年			1988年			1989年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	7,389	3,605	3,784	14,467	7,095	7,372	12,091	5,998	6,093	6,138	3,039	3,099
0～4	488	268	220	1,750	907	843	1,416	695	721	298	158	140
5～9	761	424	337	2,418	1,264	1,154	2,152	1,074	1,078	515	281	234
10～14	661	357	304	2,860	1,482	1,378	2,552	1,289	1,263	675	345	330
15～19	582	326	256	2,382	1,235	1,147	1,887	962	925	759	404	355
20～24	662	279	383	962	458	504	980	496	484	503	271	232
25～29	1,145	431	714	1,012	361	651	793	337	456	771	340	431
30～34	965	417	548	937	366	571	735	344	391	816	380	436
35～39	667	331	336	685	312	373	628	313	315	676	316	360
40～44	473	240	233	454	213	241	429	214	215	522	257	265
45～49	289	149	140	304	144	160	297	155	142	282	133	149
50～54	234	112	122	248	119	129	121	71	50	151	72	79
55～59	214	129	85	186	75	111	52	32	20	78	35	43
60～64	128	69	59	149	89	60	35	23	12	40	28	12
65歳以上	120	73	47	120	70	50	14	-7	21	52	19	33

総務庁統計局「人口推計資料」などによる。国籍取得者と国籍喪失者との差。
各前年10月1日～当年9月30日について。

表2-14 在留国別にみた在外日本人、日系人および戦後の移住者数：最新年次

国	長期滞在者 ¹⁾ 1989年		永住者 ²⁾ 1989年		日系人 ³⁾ 1986年		戦後の移住者 ⁴⁾ 1989年	
	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数 (1,000人)	割合 (%)	実数	割合 (%)
総数	340,929	100.0	246,043	100.0	1,395.4	100.0	262,573	100.0
アメリカ合衆国	139,567	40.9	73,533	29.9	約 673.6	約 48.3	135,084	51.4
カナダ	7,584	2.2	12,981	5.3	41.0	2.9	11,260	4.3
ブラジル	4,265	1.3	105,046	42.7	529.3	37.9	71,385	27.2
パラグアイ	341	0.1	4,156	1.7	2.3	0.2	9,616	3.7
アルゼンチン	591	0.2	14,527	5.9	17.8	1.3	12,068	4.6
ドミニカ共和国	167	0.0	501	0.2	0.1	0.0	1,390	0.5
ボリビア	245	0.1	2,401	1.0	5.7	0.4	6,359	2.4
メキシコ	1,808	0.5	1,456	0.6	10.5	0.8	673	0.3
ペルー	450	0.1	3,035	1.2	52.3	3.7	2,615	1.0
オーストラリア	7,746	2.3	4,561	1.9	3.0	0.2	1,558	0.6
その他	185,147	54.3	23,846	9.7	59.8	4.3	10,565	4.0

外務省領事移住部移住課領事2課調べ（1991年2月）。

1) 長期滞在者とは3か月以上の滞在者で永住者でない邦人。1989年10月1日現在。『海外在留邦人数調査統計』に基づく。

2) 永住者とは当該在留国より永住権が認められている者で、日本国籍を所有している者。1989年10月1日現在。『海外在留邦人数調査統計』に基づく。

3) 日系人とは日本国籍のない帰化1世及び2世以下。1986年10月1日現在。『海外日系人数及び実態調査（日系人団体等への委託による推計）報告書』に基づく。

4) 1989年12月末現在。外務省旅券発給統計（永住目的の旅券発給数）および米国施政権下の日本旅券によらない沖縄（県）人の移住統計に基づく。表2-17参照。

表2-15 海外の日本人数：1968～89年

年次	海外在留邦人 ¹⁾			長期滞在者 ²⁾			永住者 ³⁾		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1968 ⁴⁾	325,285	53,398	271,887
1970	289,990	155,570	134,420	63,527	38,087	25,440	226,463	117,483	108,980
1971	326,225	84,050	242,175
1972	339,064	92,387	246,677
1973	363,038	108,488	254,550
1974	378,325	124,938	253,387
1975	396,617	209,892	186,725	137,506	80,990	56,516	259,111	128,902	130,209
1976	409,398	215,818	193,580	150,068	88,412	61,656	259,330	127,406	131,924
1977	420,310	225,771	194,539	160,511	97,509	63,002	259,799	128,262	131,537
1978	430,567	235,173	195,394	178,605	109,808	68,797	251,962	125,365	126,597
1979	435,473	235,637	199,836	181,008	109,977	71,031	254,465	125,660	128,805
1980	445,372	237,117	208,255	193,820	116,192	77,628	251,552	120,925	130,627
1981	450,739	239,744	211,129	204,731	122,384	82,347	246,142	117,360	128,782
1982	463,680	247,046	216,634	215,799	128,633	87,166	247,881	118,413	129,468
1983	471,873	250,652	221,221	223,601	131,773	91,828	248,272	118,879	129,393
1984	478,168	253,414	224,754	228,914	134,187	94,727	249,254	119,227	130,027
1985	480,739	252,340	228,399	237,488	137,001	100,487	243,251	115,339	127,912
1986	497,981	260,448	237,533	251,545	143,553	107,992	246,436	116,895	129,541
1987	518,318	269,145	249,173	270,391	151,663	118,728	247,927	117,482	130,445
1988	548,404	283,799	264,605	302,510	167,812	134,698	245,894	115,987	129,907
1989 ⁵⁾	586,954	302,023	284,931	340,929	187,521	153,408	246,043	114,502	131,541

外務省領事移住部『海外在留邦人数調査統計』による。各年10月1日現在。1)海外に在留する日本国籍を有する者。長期滞在者と永住者の合計。2)3ヶ月以上の滞在者で永住者でない邦人。3)永住者とは日本国籍を保有し、原則として当該在留国より永住権が認められている者。二重国籍であっても日本国籍を有する者は含まれる。4)3月1日現在。5)モナコの長期滞在者18名の性別不詳は女とした。

表2-16 国および都市別在留邦人数(上位25位)：1981, 89年

順位	1981年		1989年		1981年		1989年	
	国	在留邦人数	国	在留邦人数	都 市	在留邦人数	都 市	在留邦人数
	総 数	450,873	総 数	586,972	総 数	450,873	総 数	586,972
1	ブラジル	131,363	アメリカ合衆国	213,100	サンパウロ	28,851	ニューヨーク	39,502
2	アメリカ合衆国	125,432	ブラジル	109,311	ロサンゼルス	21,181	ロサンゼルス	32,996
3	アルゼンチン	15,984	イギリス	37,335	ニューヨーク	19,214	サンパウロ	25,111
4	西ドイツ	13,942	西ドイツ	21,361	ホノルル	10,324	ロンドン	18,982
5	カナダ	13,508	カナダ	20,565	サンフランシスコ	8,750	パ ーリ	13,596
6	イギリス	11,724	フランス	16,702	ロンドン	7,740	ホノルル	12,508
7	シンガポール	9,078	アルゼンチン	15,118	リマ	6,636	バンコク	11,805
8	ペルー	8,408	タイ	13,113	バンコク	6,425	シンガポール	10,851
9	香港	7,904	オーストラリア	12,307	アエノス・アイレス	5,130	サンフランシスコ	9,469
10	フランス	7,591	香港	11,696	トロント	5,109	シカゴ	8,276
11	インドネシア	6,792	シンガポール	10,851	シカゴ	4,747	デュッセルドルフ	6,898
12	タイ	6,768	中国	8,232	パ ーリ	4,613	バンクーバー	6,326
13	中国	6,601	台湾	8,167	デュッセルドルフ	4,482	シドニー	5,894
14	オーストラリア	5,793	インドネシア	6,304	ジャカルタ	3,900	トロント	5,543
15	台湾	5,359	韓国	5,335	マニラ	3,833	台北	5,041
16	パラグアイ	4,925	ベルギー	4,643	バンクーバー	3,679	アエノス・アイレス	4,891
17	イラク	4,425	マレーシア	4,512	シアトル	2,999	ジャカルタ首都特別区	4,452
18	フィリピン	4,365	パラグアイ	4,497	台北	2,886	サンノゼ	4,141
19	ボリビア	3,798	イタリア	4,333	メキシコ・シティ	2,753	シアトル	4,116
20	メキシコ	3,570	スイス	4,008	シドニー	2,683	サン・ディエゴ	3,825
21	マレーシア	3,539	フィリピン	3,707	リオ・デ・ジャネイロ	2,430	アトランタ	3,725
22	サウジアラビア	3,172	オランダ	3,664	ブラッセル	2,134	ボストン	3,627
23	イタリア	3,161	スペイン	3,628	ブラジリア	2,125	ブラッセル	3,328
24	韓国	2,836	ペルー	3,485	ハンブルグ	2,121	リマ	3,205
25	ベルギー	2,829	メキシコ	3,264	サンノゼ	2,110	デトロイト	3,188

外務省領事移住部『海外在留邦人数調査統計』による。各年10月1日現在の海外に在留する日本国籍を有する者(長期滞在者(3ヶ月以上)および日本国籍保有永住者の合計)

表2-17 主要な移住国別にみた戦後の移住者数：1945～89年

年次	総数	アメリカ合衆国	ブラジル	カナダ	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	ペルー	その他
1945～1954	28,289	16,692	7,424	135	1,975	18	617	48	1,380
1955～1959	75,043	32,907	30,000	764	1,455	5,186	2,085	549	2,097
1960～1964	48,378	21,917	18,414	715	992	2,184	2,537	744	875
1965～1969	24,717	16,227	3,388	2,694	741	339	19	83	1,226
1970	4,849	3,322	377	657	82	27	3	16	365
1971	8,561	5,931	951	845	196	59	9	108	462
1972	7,326	4,508	1,039	747	282	116	32	172	430
1973	6,405	3,918	791	820	168	102	23	236	347
1974	5,531	2,930	819	643	283	154	36	113	553
1975	6,158	2,485	1,279	434	611	131	59	124	1,035
1976	5,671	2,684	1,126	347	333	160	77	68	876
1977	4,369	2,328	682	268	314	202	49	47	479
1978	3,648	1,931	584	190	382	119	66	21	355
1979	3,564	1,739	500	323	445	117	63	30	347
1980	3,653	1,603	562	364	593	74	55	32	370
1981	3,517	1,672	417	315	544	76	66	36	391
1982	2,822	1,533	329	200	266	72	45	44	333
1983	2,349	1,398	289	131	166	64	58	19	224
1984	2,445	1,475	261	120	264	34	53	17	221
1985	2,523	1,441	258	119	269	68	95	22	251
1986	2,818	1,528	363	100	330	51	68	29	349
1987	3,059	1,673	359	114	359	72	91	18	373
1988	3,027	1,638	419	115	319	79	62	18	377
1989	3,851	1,604	754	100	699	112	91	21	470
計	262,573	135,084	71,385	11,260	12,068	9,616	6,359	2,615	14,186

外務省領事移住部移住課調べによる。外務省旅券課作成の旅券発給統計(永住目的の旅券発給数)と、1967年以前は米国施政権下の日本旅券によらない沖縄(県)人の移住統計に基づくもので、暦年統計である。なお、わが国の場合15歳未満の者は親の旅券に併記し、独自の旅券は発給しないことが多いが、本統計は併記者を含んでいる。また、1970年以降は新旅券法の施行により永住のための再渡航者を含む。

表2-18 渡航費支給移住者数の推移と送出先別分布：1952～89年

年 度	移 住 者 送 出 数	年 度	移 住 者 送 出 数	1952年4月～1990年3月総数		
				送 出 先	実 数	割 合(%)
1952～54	5,293	1975	404	総 数	66,790	100.0
1955～59	32,335	1976	414	ブラジル	53,222	79.7
1960	8,386	1977	372	パラグアイ	7,087	10.6
1961	6,263	1978	405	アルゼンチン	2,687	4.0
1962	2,201	1979	297	ボリビア	1,890	2.8
1963	1,526	1980	213	ドミニカ共和国	1,330	2.0
1964	1,105	1981	191	コロンビア	55	0.1
1965	818	1982	108	ウルグアイ	46	0.1
1966	1,059	1983	137	ベネズエラ	46	0.1
1967	884	1984	82	メキシコ	20	0.0
1968	623	1985	67	チリ	13	0.0
1969	597	1986	71	ペルー	5	0.0
1970	629	1987	52	コスタリカ	1	0.0
1971	674	1988	35	アメリカ合衆国 ¹⁾	388	0.6
1972	763	1989	13			
1973	419					
1974	354					

外務省領事移住部移住課調べによる渡航費貸与および支給移住者送出実績。年度とは各年4月～翌年3月末である。1)難民救済法枠適用者。難民救済法は、アメリカ政府が1953年に作ったもので、第2次大戦中迫害またはその脅威・天災または軍事行動のため、生活の根拠をうばわれた人々を救済するために、アメリカに入国を認めた特別法である。1965年以後0人。

表2-19 世界の主要地域別にみた純移動数および純移動率：1980～95年

地 域	純移動数 (1,000人)			純移動率 (%)		
	1980～85年	1985～90年	1990～95年	1980～85年	1985～90年	1990～95年
アフリカ						
東部アフリカ	-38	19	20	-0.2	0.1	0.1
中部アフリカ	0	0	0	0.0	0.0	0.0
北部アフリカ	-76	-12	-6	-0.7	-0.1	-0.0
南部アフリカ	1	-1	-1	0.0	-0.0	-0.0
西部アフリカ	33	17	-15	0.2	-0.1	-0.1
アメリカ						
ラテン・アメリカ	-280	-211	-169	-0.7	-0.5	-0.4
カリブ海	-103	-69	-42	-3.4	-2.1	-1.2
中央アメリカ	-121	-99	-95	-1.2	-0.9	-0.8
温帯南アメリカ	-46	-36	-26	-0.2	-0.2	-0.1
熱帯南アメリカ	-10	-7	-5	-0.2	-0.1	-0.1
北部アメリカ	525	525	525	2.0	1.9	1.9
アジア						
東アジア	2	6	5	0.0	0.0	0.0
中国	0	0	0	0.0	0.0	0.0
日本	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他の東アジア	2	6	5	0.0	0.1	0.1
南アジア	-103	-6	-23	-0.1	-0.0	-0.0
南東部アジア	-126	-40	-40	-0.3	-0.1	-0.1
南部アジア	-60	-55	-40	-0.1	-0.0	-0.0
西部アジア	84	89	57	-0.8	0.7	0.4
ヨーロッパ						
東部ヨーロッパ	0	0	0	0.0	0.0	0.0
北部ヨーロッパ	-7	-14	-15	-0.1	-0.2	-0.2
南部ヨーロッパ	-9	-9	-4	-0.1	-0.1	-0.0
西部ヨーロッパ	20	13	13	0.1	0.1	0.1
オセアニア						
オーストラリア	81	80	80	4.4	4.1	3.9
ニュージーランド	-6	-6	-6	-1.3	-1.1	-1.1
メラネシア	-11	-11	-11	-12.9	-12.2	-11.6
ポリネシア
ソビエト連邦

UN, *World Population Prospects as Assessed in 1984* (1986) による国連の推計結果 (日本も含めて) である。各5年間の平均値。地域構成については、2ページを参照。

表2-20 主要国の民族別人口

(1,000人)

国	(年次)	総人口	最大民族人口	割合(%)
アフリカ				
ケルニ	(1979)	15,327	キシ族	3,203 20.9
ルワダ	(1978)	4,832	ツシ族	468 9.7
アメリカ				
カナダ	(1981)	24,083	イギリス人	9,674 40.2
トリニダード=トバゴ	(1980)	1,058	インド人	427 40.3
アメリカ合衆国	(1980)	226,505	白人	188,341 83.2
アジア				
中国	(1982)	1,003,790	漢族	936,521 93.3
シンガポール	(1981)	4,987	中国人	4,761 95.5
シンガポール	(1980)	2,414	中国人	1,856 76.9
スリランカ	(1981)	14,848	シンハリ人	11,053 74.4
ヨーロッパ				
チェコスロバキア	(1980)	15,283	チェク人, スロバク人	9,791 64.1
ハンガリー	(1980)	10,709	ハンガリー人	10,639 99.3
ルーマニア	(1977)	21,560	ルーマニア人	19,207 89.1
オセアニア				
オーストラリア	(1976)	13,548	ヨーロッパ人	12,037 88.8
ニュージーランド	(1981)	3,176	ヨーロッパ人	2,723 85.8
ソビエト連邦	(1979)	262,085	ロシア人	137,397 52.4

UN, *Demographic Yearbook*, 1983, table 27. 人口100万人以上。

表2-21 主要国の国籍別人口

(1,000人)

国	(年次)	総人口	自国民 人口	外国人		最大の外国籍	
				人口	割合(%)	国	人口
アフリカ							
カメルーン	(1976)	7,132	6,932	200	2.8	ナイジェリア	135
エジプト	(1976)	36,626	36,511	115	0.3	スーダン	10
マリ	(1976)	6,395	6,316	79	1.2	アッパーボルタ	23
ルワンダ	(1978)	4,832	4,789	43	0.9	ブルンジ	26
南アフリカ(白人)	(1970)	3,727	3,449	274	7.4	イギリス	120
アメリカ							
カナダ	(1981)	24,083	22,883	1,200	5.0	イギリス	253
コスタリカ	(1973)	1,872	1,837	35	1.9
キューバ	(1970)	8,569	8,493	76	0.9	スペイン	36
エルサルバドル	(1971)	3,555	3,530	24	0.7	ホンジュラス	14
アメリカ合衆国	(1970)	203,194	199,652	3,542	1.7	メキシコ	483
ブラジル	(1970)	93,139	92,056	1,083	1.2	ポルトガル	410
ペルー	(1981)	17,005	16,938	67	0.4	アルゼンチン	25
ベネズエラ	(1971)	10,722	10,125	596	5.6	イギリス	6
アジア							
バングラデシュ	(1974)	71,478	70,738	740	1.0	インド	697
インドネシア	(1971)	118,368	117,263	1,105	0.9	中国	1,024
日本	(1980)	117,060	116,320	669	0.6	朝鮮・韓国	558
韓国	(1975)	34,679	34,651	28	0.1	中国	20
マレーシア	(1970)	8,781	8,335	446	5.1	国籍なし	382
クウェート	(1980)	1,358	566	792	58.3	アメリカ合衆国 ¹⁾	445
ネパール	(1981)	15,023	14,540	483	3.2	国籍なし	359
フィリピン	(1970)	36,684	36,465	219	0.6	民主カンブチア	87
シンガポール	(1980)	2,414	2,194	220	9.1	マレーシア	120
スリランカ	(1981)	14,848	14,244	605	4.1	インド	577
シリア	(1970)	6,305	6,094	210	3.3	イエメン	156
タイ	(1970)	34,397	34,022	375	1.1	中国	311
トルコ	(1975)	40,348	40,298	50	0.1	アメリカ合衆国	12
ヨーロッパ							
オーストリア	(1981)	7,555	7,264	291	3.9
ベルギー	(1970)	9,651	8,955	696	7.2	イタリア	249
チェコスロバキア	(1980)	15,283	15,209	74	0.5
デンマーク	(1976)	5,073	4,982	91	1.8	西ドイツ	10
フィンランド	(1980)	4,788	4,775	13	0.3	スウェーデン	3
フランス	(1975)	52,599	49,157	3,442	6.5	ポルトガル	759
西ドイツ	(1970)	60,651	58,212	2,439	4.0
ギリシャ	(1971)	8,768	8,675	93	1.1	アメリカ合衆国	21
ノルウェー	(1980)	4,091	4,009	82	2.0	デンマーク	14
ポルトガル	(1970)	8,611	8,580	32	0.4	スペイン	8
スペイン	(1970)	33,946	33,655	291	0.9	西ドイツ	40
スウェーデン	(1975)	8,209	7,798	411	5.0	フィンランド	184
スイス	(1980)	6,366	5,421	945	14.8	イタリア	419
オセアニア							
オーストラリア	(1976)	13,548	12,077	1,471	10.9	アメリカ合衆国	28

UN, *Demographic Yearbook*, 1977, table34, 1983, table30による。人口100万以上。1)1975年。

表2-22 主要国の自国生まれ、および他国生まれの人口

(1,000人)

国	(年次)	総人口	自国生まれ 人口	他国生まれ	
				人口	割合(%)
アフリカ					
ガ ー ナ	(1970)	8,559	7,997	562	6.6
ル ワ ン ダ	(1970)	3,573	3,344	36	1.0
南 ア フ リ カ(白人)	(1970)	3,727	3,278	442	11.9
アメリカ					
コ ス タ リ カ	(1973)	1,872	1,850	22	1.2
キ ユ ー バ	(1970)	8,569	8,441	128	1.5
ド ミ ニ カ 共 和 国	(1970)	4,006	3,840	32	0.8
エ ル サ ル バ ド ル	(1971)	3,555	3,522	32	0.9
ハ メ キ イ シ チ	(1971)	4,330	4,319	11	0.2
バ バ ナ マ	(1970)	1,428	1,380	48	3.4
ブ エ ル ト リ コ	(1970)	2,712	2,659	53	1.9
ア メ リ カ 合 衆 国	(1970)	203,235	193,616	9,619	4.7
ア ル ゼ ン チ	(1970)	23,390	21,180	2,210	9.5
ブ ラ ジ ル	(1970)	93,139	91,910	1,229	1.3
チ リ	(1970)	8,885	8,794	90	1.0
コ ロ ン ビ ア	(1973)	19,735	19,503	65	0.3
エ ク ア ド ル	(1974)	6,522	6,464	57	0.9
パ ラ グ ア イ	(1972)	2,358	2,277	81	3.4
ペ ル ー	(1972)	13,538	13,471	67	0.5
ベ ネ ズ エ ラ	(1971)	10,722	10,125	596	5.6
アジア					
ホ ン コ ン	(1971)	3,937	2,219	1,716	43.6
イ ン ド	(1971)	547,950	538,902	9,031	1.6
イ ン ド ネ シ ア	(1971)	118,368	117,263	1,078	0.9
イ ス ラ エ ル	(1972)	3,148	1,733	1,414	44.9
日 本	(1970)	104,665	104,061	604	0.6
韓 国	(1970)	31,435	31,243	181	0.6
マ レ ー シ ア ¹⁾	(1970)	10,319	9,510	764	7.4
ネ パ ー ル	(1971)	11,556	11,219	337	2.9
フ ィ リ ピ ン	(1970)	36,684	36,516	65	0.2
シ ン ガ ポ ー ル	(1970)	2,075	1,544	528	25.5
タ イ	(1970)	34,397	34,048	350	1.0
ヨーロッパ					
オ ー ス ト リ ア	(1971)	7,456	6,698	605	8.1
ベ ル ギ ー	(1970)	9,651	8,865	736	7.6
フ ィ ン ラ ン ド	(1970)	4,598	4,566	33	0.7
ア ィ ル ラ ン ド	(1971)	2,978	2,841	137	4.6
ポ ー ラ ン ド	(1970)	32,642	30,447	2,087	6.4
ス ペ ィ ン	(1970)	34,041	33,675	365	1.1
ス ウ ェ ー デ ン	(1970)	8,077	7,539	538	6.7
イ ギ リ ス					
イングランド=ウェールズ	(1971)	48,750	45,585	2,952	6.1
ス コ ット ラ ン ド	(1971)	5,229	5,085	136	2.6
ユ ー ゴ ス ラ ビ ア	(1971)	20,523	20,319	158	0.8
オセアニア					
オ ー ス ト ラ リ ア	(1971)	12,756	10,176	2,579	20.2
パ プ ア ニ ュ ー ギ ニア	(1971)	2,490	2,445	45	1.8

UN, *Demographic Yearbook* 1977, table 32 による。

1) 半島マレーシア、サバ、サラワクの合計。

表3-1 性、年齢（5歳階級）別にみた人口：1930、85年

(1) 1930年

年 齢	人 口			割 合 (%)			性 比 (女 100 につき)
	総 数	男	女	総 数	男	女	
総 数	64,450,005	32,390,155	32,059,850	100.00	50.26	49.74	101.0
0 ~ 4	9,011,135	4,543,442	4,467,693	13.98	7.05	6.93	101.7
5 ~ 9	7,767,085	3,914,786	3,852,299	12.05	6.07	5.98	101.6
10 ~ 14	6,801,045	3,436,560	3,364,485	10.55	5.33	5.22	102.1
15 ~ 19	6,539,604	3,318,663	3,220,941	10.15	5.15	5.00	103.0
20 ~ 24	5,531,506	2,815,406	2,716,100	8.58	4.37	4.21	103.7
25 ~ 29	4,835,634	2,480,757	2,354,877	7.50	3.85	3.65	105.3
30 ~ 34	4,213,665	2,175,040	2,038,625	6.54	3.37	3.16	106.7
35 ~ 39	3,584,833	1,856,905	1,727,928	5.56	2.88	2.68	107.5
40 ~ 44	3,286,478	1,687,934	1,598,544	5.10	2.62	2.48	105.6
45 ~ 49	3,046,263	1,525,157	1,521,106	4.73	2.37	2.36	100.3
50 ~ 54	2,830,694	1,410,576	1,420,118	4.39	2.19	2.20	99.3
55 ~ 59	2,216,103	1,085,866	1,130,237	3.44	1.68	1.75	96.1
60 ~ 64	1,722,085	820,315	901,770	2.67	1.27	1.40	91.0
65 ~ 69	1,255,830	577,193	678,637	1.95	0.90	1.05	85.1
70 ~ 74	926,601	403,984	522,617	1.44	0.63	0.81	77.3
75 ~ 79	551,718	222,451	329,267	0.86	0.35	0.51	67.6
80 ~ 84	245,461	89,183	156,278	0.38	0.14	0.24	57.1
85 ~ 89	70,163	22,259	47,904	0.11	0.03	0.07	46.5
90 ~ 94	11,246	3,061	8,185	0.02	0.00	0.01	37.4
95 ~ 99	2,751	586	2,165	0.00	0.00	0.00	27.1
100歳以上	105	31	74	0.00	0.00	0.00	41.9

(2) 1985年

年 齢	人 口			割 合 (%)			性 比 (女 100 につき)
	総 数	男	女	総 数	男	女	
総 数	121,048,923	59,497,316	61,551,607	100.00	49.15	50.85	96.7
0 ~ 4	7,459,263	3,818,777	3,640,486	6.16	3.15	3.01	104.9
5 ~ 9	8,531,834	4,373,058	4,158,776	7.05	3.61	3.44	105.2
10 ~ 14	10,042,121	5,146,970	4,895,151	8.30	4.25	4.04	105.1
15 ~ 19	8,979,947	4,600,427	4,379,520	7.42	3.80	3.62	105.0
20 ~ 24	8,200,554	4,165,995	4,034,559	6.77	3.44	3.33	103.3
25 ~ 29	7,823,402	3,948,330	3,875,072	6.46	3.26	3.20	101.9
30 ~ 34	9,054,224	4,558,265	4,495,959	7.48	3.77	3.71	101.4
35 ~ 39	10,738,044	5,398,230	5,339,814	8.87	4.46	4.41	101.1
40 ~ 44	9,134,954	4,551,877	4,583,077	7.55	3.76	3.79	99.3
45 ~ 49	8,236,614	4,092,121	4,144,493	6.80	3.38	3.42	98.7
50 ~ 54	7,932,994	3,926,414	4,006,580	6.55	3.24	3.31	98.0
55 ~ 59	6,999,745	3,409,374	3,590,371	5.78	2.82	2.97	95.0
60 ~ 64	5,405,538	2,379,902	3,025,636	4.47	1.97	2.50	78.7
65 ~ 69	4,193,419	1,781,008	2,412,411	3.46	1.47	1.99	73.8
70 ~ 74	3,563,397	1,503,595	2,059,802	2.94	1.24	1.70	73.0
75 ~ 79	2,493,343	1,017,428	1,475,915	2.06	0.84	1.22	68.9
80 ~ 84	1,432,937	542,243	890,694	1.18	0.45	0.74	60.9
85 ~ 89	603,534	203,321	400,213	0.50	0.17	0.33	50.8
90 ~ 94	157,228	46,517	110,711	0.13	0.04	0.09	42.0
95 ~ 99	22,727	5,765	16,962	0.02	0.00	0.01	34.0
100歳以上	1,758	372	1,386	0.00	0.00	0.00	26.8
年齢不詳	41,346	27,327	14,019	0.03	0.02	0.01	194.9

総務庁統計局「国勢調査報告」による各年10月1日現在の人口。

表3-2 性、年齢（5歳階級）別にみた総人口および日本人人口：1989年

年 齢	人 口			割 合 (%)			性 比 (女 100) につき男)
	総 数	男	女	総 数	男	女	
	総 人 口						
総 数	123,254,671	60,581,178	62,673,493	100.00	49.15	50.85	96.7
0 ~ 4	6,735,405	3,457,491	3,277,914	5.46	2.81	2.66	105.5
5 ~ 9	7,608,945	3,896,630	3,712,315	6.17	3.16	3.01	105.0
10 ~ 14	8,856,355	4,539,079	4,317,276	7.19	3.68	3.50	105.1
15 ~ 19	10,025,868	5,142,292	4,883,576	8.13	4.17	3.96	105.3
20 ~ 24	8,812,983	4,506,538	4,306,445	7.15	3.66	3.49	104.6
25 ~ 29	7,942,533	4,032,237	3,910,296	6.44	3.27	3.17	103.1
30 ~ 34	7,919,246	3,996,563	3,922,683	6.43	3.24	3.18	101.9
35 ~ 39	9,537,940	4,795,702	4,742,238	7.74	3.89	3.85	101.1
40 ~ 44	10,070,800	5,053,316	5,017,484	8.17	4.10	4.07	100.7
45 ~ 49	9,221,139	4,585,213	4,635,926	7.48	3.72	3.76	98.9
50 ~ 54	8,054,760	3,984,801	4,069,959	6.54	3.23	3.30	97.9
55 ~ 59	7,585,303	3,719,105	3,866,198	6.15	3.02	3.14	96.2
60 ~ 64	6,574,136	3,134,985	3,439,151	5.33	2.54	2.79	91.2
65 ~ 69	4,898,898	2,062,341	2,836,557	3.97	1.67	2.30	72.7
70 ~ 74	3,663,645	1,515,136	2,148,509	2.97	1.23	1.74	70.5
75 ~ 79	2,948,928	1,173,792	1,775,136	2.39	0.95	1.44	66.1
80 ~ 84	1,730,058	644,787	1,085,271	1.40	0.52	0.88	59.4
85 ~ 89	798,291	265,260	533,031	0.65	0.22	0.43	49.8
90歳以上	269,438	75,910	193,528	0.22	0.06	0.16	39.2
	日 本 人 人 口						
総 数	122,460,181	60,170,831	62,289,350	100.00	49.14	50.86	96.6
0 ~ 4	6,698,034	3,438,269	3,259,765	5.47	2.81	2.66	105.5
5 ~ 9	7,558,917	3,870,981	3,687,936	6.17	3.16	3.01	105.0
10 ~ 14	8,804,837	4,512,782	4,292,055	7.19	3.69	3.50	105.1
15 ~ 19	9,963,084	5,110,334	4,852,750	8.14	4.17	3.96	105.3
20 ~ 24	8,728,871	4,462,947	4,265,924	7.13	3.64	3.48	104.6
25 ~ 29	7,844,585	3,978,899	3,865,686	6.41	3.25	3.16	102.9
30 ~ 34	7,834,690	3,951,653	3,883,037	6.40	3.23	3.17	101.8
35 ~ 39	9,466,402	4,758,882	4,707,520	7.73	3.89	3.84	101.1
40 ~ 44	10,010,999	5,022,339	4,988,660	8.17	4.10	4.07	100.7
45 ~ 49	9,174,923	4,562,082	4,612,841	7.49	3.73	3.77	98.9
50 ~ 54	8,018,440	3,966,708	4,051,732	6.55	3.24	3.31	97.9
55 ~ 59	7,557,880	3,705,723	3,852,157	6.17	3.03	3.15	96.2
60 ~ 64	6,548,397	3,121,981	3,426,416	5.35	2.55	2.80	91.1
65 ~ 69	4,873,895	2,048,825	2,825,070	3.98	1.67	2.31	72.5
70 ~ 74	3,647,625	1,506,679	2,140,946	2.98	1.23	1.75	70.4
75 ~ 79	2,938,247	1,168,690	1,769,557	2.40	0.95	1.45	66.0
80 ~ 84	1,724,993	642,700	1,082,293	1.41	0.52	0.88	59.4
85 ~ 89	796,583	264,655	531,928	0.65	0.22	0.43	49.8
90歳以上	268,779	75,702	193,077	0.22	0.06	0.16	39.2

総務庁統計局『平成元年10月1日現在推計人口』（計算値）による。

表3-3 年齢(3区分)別にみた人口および増加率：1868～1989年

年次	人 口 (1,000人)				年 平 均 増 加 率 (%)			
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
1868	34,559	10,493	22,077	1,989				
1898	42,209	13,718	26,042	2,449	0.67	0.90	0.55	0.70
1920	55,963	20,416	32,605	2,941	1.25	1.76	0.99	0.81
1925	59,737	21,924	34,792	3,021	1.31	1.44	1.31	0.54
1930	64,450	23,579	37,807	3,064	1.53	1.47	1.68	0.28
1935	69,254	25,545	40,484	3,225	1.45	1.61	1.38	1.03
1940 ¹⁾²⁾	73,075	26,369	43,252	3,454	1.08	0.64	1.33	1.38
1947 ³⁾	78,101	27,573	46,783	3,745	4) 1.07	4) 0.77	4) 1.23	4) 1.33
1950 ¹⁾	84,115	29,786	50,168	4,155	5) 2.13	5) 2.19	5) 2.01	5) 3.14
1955 ¹⁾	90,077	30,123	55,167	4,786	1.38	0.23	1.92	2.87
1960	94,302	28,434	60,469	5,398	0.92	-1.15	1.85	2.44
1965	99,209	25,529	67,444	6,236	1.02	-2.13	2.21	2.93
1970	104,665	25,153	72,119	7,393	1.08	-0.30	1.35	2.46
1975 ¹⁾	111,940	27,221	75,807	8,865	1.35	1.59	1.00	3.70
1980 ¹⁾	117,060	27,507	78,835	10,647	0.90	0.21	0.79	3.73
1984 [*]	120,235	26,504	81,776	11,956	6) 0.67	6) -0.92	6) 0.92	6) 2.94
1985 ¹⁾	121,049	26,033	82,506	12,468	0.60	-1.78	0.89	4.28
1986 [*]	121,672	25,434	83,368	12,870	0.52	-2.30	1.04	3.22
1987 [*]	122,264	24,753	84,189	13,322	0.49	-2.68	0.98	3.51
1988 [*]	122,783	23,985	85,013	13,785	0.42	-3.15	0.97	3.42
1989 [*]	123,255	23,201	85,745	14,309	0.38	-3.27	0.86	3.80

1898年以前の人口は、岡崎陽一、『人口問題研究』第178号、1986.4による1月1日現在。1920～80年および85年は、総務庁統計局『国勢調査報告』による10月1日現在。1984年および1986～89年は推計人口(同局「人口推計資料」による10月1日現在。とくに注記のないかぎり沖縄県の人口も含む。年平均増加率は、 $(\sqrt[N]{P_1/P_0}-1) \times 100$ によって算出。ただし、 P_0 、 P_1 はそれぞれ期初、期末人口、 N は期間。*国勢調査に基づく遡及推計でない暫定値。

1)総数には年齢不詳を含む。2)旧外地人以外の外国人を除く。3)沖縄県を含まない。4)1940年人口から沖縄県を除いて計算。5)1950年人口に沖縄県を含めないで計算。6)1980年から4年間の平均値。

表3-4 人口の年齢構造に関する指標：1868～1989年

年次	年齢構造係数 (%)			平均年齢 (歳)	中位数年齢 (歳)	従属人口指数 (%)			老年化指 数 (%)
	0～14歳	15～64歳	65歳以上			総 数	年少人口	老年人口	
1868	30.36	63.88	5.76	29.3	25.7	56.5	47.5	9.0	19.0
1898	32.50	61.70	5.80	28.4	24.4	62.1	52.7	9.4	17.9
1920	36.48	58.26	5.26	26.7	22.2	71.6	62.6	9.0	14.4
1925	36.70	58.24	5.06	26.5	22.0	71.7	63.0	8.7	13.8
1930	36.59	58.66	4.75	26.3	21.8	70.5	62.4	8.1	13.0
1935	36.89	58.46	4.66	26.3	22.0	71.1	63.1	8.0	12.6
1940	36.08	59.19	4.73	26.6	22.1	69.0	61.0	8.0	13.1
1947	35.30	59.90	4.79	26.7	22.3	66.9	58.9	8.0	13.6
1950	35.41	59.64	4.94	26.6	22.2	67.7	59.4	8.3	13.9
1955	33.44	61.24	5.29	27.6	23.6	63.3	54.6	8.7	15.9
1960	30.15	64.12	5.72	29.0	25.6	55.9	47.0	8.9	19.0
1965	25.73	67.98	6.29	30.3	27.4	47.1	37.9	9.2	24.4
1970	24.03	68.90	7.06	31.5	29.0	45.1	34.9	10.3	29.4
1975	24.32	67.72	7.92	32.5	30.6	47.6	35.9	11.7	32.6
1980	23.50	67.35	9.10	34.0	32.7	48.4	34.9	13.5	38.7
1984	22.04	68.01	9.94	35.3	34.6	47.0	32.4	14.6	45.1
1985	21.51	68.16	10.30	35.7	35.2	46.7	31.6	15.1	47.9
1986	20.90	68.52	10.58	36.0	35.6	45.9	30.5	15.4	50.6
1987	20.24	68.86	10.90	36.4	36.0	45.2	29.4	15.8	53.8
1988	19.53	69.24	11.23	36.8	36.7	44.4	28.2	16.2	57.5
1989	18.82	69.57	11.61	37.2	37.0	43.7	27.1	16.7	61.7

上表の人口に対応する。その注記参照。年齢構造係数は年齢別人口割合のことで、各年齢階級人口の総数100について。年少(従属)人口指数は0～14歳人口の15～64歳人口に対する比率、老年(従属)人口指数は65歳以上人口の同じく15～64歳人口に対する比率、従属人口指数(総数)はそれらの和である。また、老年化指数は65歳以上人口の0～14歳人口に対する比率で、各指数とも、それぞれ分母人口100について。なお、中位数年齢とは人口を年齢順に並べて数え、ちょうどまん中にあたる人の年齢である。

表3-5 年齢(3区分)別にみた人口および増加率の将来予測:1985~2085年

年次	人口(1,000人)				年平均増加率(%)			
	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上	総数	0~14歳	15~64歳	65歳以上
1985 ¹⁾	121,049	26,042	82,534	12,472	0.52	-2.34	0.89	3.51
1990	124,225	23,132	86,274	14,819	0.53	-0.65	0.21	3.98
1995	127,565	22,387	87,168	18,009	0.56	1.05	-0.21	3.45
2000	131,192	23,591	86,263	21,338	0.46	1.30	-0.32	2.54
2005	134,247	25,164	84,888	24,195	0.23	0.11	-0.35	2.30
2010	135,823	25,301	83,418	27,104	0.02	-1.15	-0.48	2.48
2015	135,938	23,876	81,419	30,643	-0.09	-1.33	-0.08	0.79
2020	135,304	22,327	81,097	31,880	-0.10	-0.23	0.00	-0.26
2025	134,642	22,075	81,102	31,465	-0.09	0.83	-0.26	-0.30
2030	134,067	23,009	80,057	31,001	-0.14	0.77	-0.45	-0.04
2035	133,133	23,914	78,278	30,941	-0.22	-0.10	-0.56	0.51
2040	131,646	23,798	76,110	31,738	-0.25	-0.85	-0.08	-0.22
2045	130,017	22,809	75,824	31,384	-0.21	-0.75	0.16	-0.71
2050	128,681	21,967	76,433	30,281	-0.15	0.05	0.09	-0.92
2055	127,704	22,017	76,770	28,917	-0.12	0.64	-0.17	-0.56
2060	126,947	22,728	76,107	28,112	-0.12	0.47	-0.36	0.06
2065	126,215	23,266	74,751	28,199	-0.11	-0.15	-0.27	0.34
2070	125,518	23,095	73,746	28,677	-0.10	-0.55	0.00	0.01
2075	124,890	22,466	73,739	28,685	-0.08	-0.36	0.14	-0.43
2080	124,401	22,066	74,256	28,079	-0.05	0.19	0.06	-0.55
2085	124,066	22,277	74,473	27,316				

人口問題研究所の1986年12月推計による各年10月1日現在の推計人口(中位推計値)。前掲の表1-7参照。
年平均増加率の計算については表3-3参照。

1)国勢調査の全数集計結果による人口で、この推計の基礎人口(ただし年齢不詳を按分している。)

表3-6 将来推計人口の年齢構造に関する指標:1985~2085年

年次	年齢構造係数(%)			平均年齢 (歳)	中位数 年齢 (歳)	従属人口指数(%)			老年化 指数 (%)
	0~14歳	15~64歳	65歳以上			総数	年少人口	老年人口	
1985	21.51	68.18	10.30	35.68	35.19	46.66	31.55	15.11	47.89
1990	18.62	69.45	11.93	37.40	37.39	43.99	26.81	17.18	64.06
1995	17.55	68.33	14.12	38.78	38.76	46.34	25.68	20.66	80.44
2000	17.98	65.75	16.26	39.78	39.42	52.08	27.35	24.74	90.45
2005	18.74	63.23	18.02	40.62	40.09	58.15	29.64	28.50	96.15
2010	18.63	61.42	19.96	41.52	41.06	62.82	30.33	32.49	107.13
2015	17.56	59.89	22.54	42.39	42.47	66.96	29.32	37.64	128.34
2020	16.50	59.94	23.56	43.03	43.60	66.84	27.53	39.31	142.79
2025	16.40	60.24	23.37	43.29	43.67	66.02	27.22	38.80	142.54
2030	17.16	59.71	23.12	43.22	42.84	67.46	28.74	38.72	134.73
2035	17.96	58.80	23.24	43.04	42.07	70.08	30.55	39.53	129.38
2040	18.08	57.81	24.11	42.93	42.08	72.97	31.27	41.70	133.37
2045	17.54	58.32	24.14	42.95	42.56	71.47	30.08	41.39	137.59
2050	17.07	59.40	22.53	42.99	42.86	68.36	28.74	39.62	137.85
2055	17.24	60.12	22.64	42.86	42.49	66.35	28.68	37.67	131.34
2060	17.90	59.95	22.14	42.56	41.68	66.80	29.86	36.94	123.69
2065	18.43	59.23	22.34	42.30	41.25	68.85	31.12	37.72	121.20
2070	18.40	58.75	22.85	42.24	41.42	70.20	31.32	38.89	124.17
2075	17.99	59.04	22.97	42.32	41.80	69.37	30.47	38.90	127.68
2080	17.74	59.69	22.57	42.37	41.89	67.53	29.72	37.81	127.25
2085	17.96	60.03	22.02	42.26	41.51	66.59	29.91	36.68	122.62

上表の人口に対応する。その注記参照。各指標の説明については表3-4の注記参照。

表3-7 年齢(4区分)別にみた人口の推移と将来予測：1920～2085年

年次	人口(1,000人)					割合(%)			
	総数	0～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上	0～19歳	20～64歳	65～74歳	75歳以上
1920	55,963	25,835	27,186	2,209	732	46.16	48.58	3.95	1.31
1925	59,737	27,809	28,906	2,214	808	46.55	48.39	3.71	1.35
1930	64,450	30,119	31,267	2,182	881	46.73	48.51	3.39	1.37
1935	69,254	32,186	33,843	2,301	924	46.48	48.87	3.32	1.33
1940 ¹⁾²⁾	73,075	33,778	35,842	2,550	904	46.22	49.05	3.49	1.24
1947 ³⁾	78,101	35,837	38,520	2,880	865	45.89	49.32	3.69	1.11
1950 ²⁾⁴⁾	84,115	38,456	41,499	3,086	1,070	45.72	49.34	3.67	1.27
1955 ²⁾	90,077	38,832	46,458	3,387	1,400	43.11	51.58	3.76	1.55
1960 ⁵⁾	94,302	37,814	51,090	3,756	1,642	40.10	54.18	3.98	1.74
1965 ⁵⁾	99,209	36,477	56,496	4,342	1,894	36.77	56.95	4.38	1.91
1970	104,665	34,320	62,952	5,156	2,237	32.79	60.15	4.93	2.14
1975 ²⁾	111,940	35,169	67,859	6,025	2,841	31.42	60.62	5.38	2.54
1980 ²⁾	117,060	35,779	70,562	6,988	3,660	30.56	60.28	5.97	3.13
1985 ²⁾	121,049	35,013	73,526	7,757	4,712	28.92	60.74	6.41	3.89
2000	131,192	31,024	78,830	12,886	8,452	23.65	60.09	9.82	6.44
2025	134,642	29,996	73,181	14,098	17,367	22.28	54.35	10.47	12.90
2045	130,017	30,955	67,677	15,432	15,952	23.81	52.05	11.87	12.27
2065	126,215	30,488	67,528	13,753	14,446	24.16	53.50	10.90	11.45
2085	124,066	29,710	67,041	12,006	15,310	23.95	54.04	9.68	12.34

1985年以前は、総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の人口で、とくに注記のないかぎり沖縄県の人口を含む。ただし、1945～65年の沖縄は琉球政府が独自に実施した国勢調査の結果で1950～60年の調査は12月1日現在で行われた。2000年以降は、人口問題研究所『日本の将来推計人口－昭和60年～100年－(昭和101年～160年参考推計)昭和61年12月推計』(研究資料第244号, 1987.2)による各年10月1日現在の推計で、中位推計値である。1) 旧外国人以外の外国人を除く。2) 総数に年齢不詳を含む。3) 沖縄を含まない。4) 沖縄は外国人を除く。5) 沖縄のみ総数に年齢不詳を含む。

表3-8 19, 20, 21世紀生まれ人口の割合：1920～2025年

年次	(%)			
	19世紀生まれ (1899年 以前生まれ)	20世紀生まれ		21世紀生まれ (2000年 以降生まれ)
		前半 (1900～ 49年生まれ)	後半 (1950年 以降生まれ)	
1920	52.0	48.0
1930	35.8	64.2
1940	24.1	75.9
1950	14.2	83.0	2.8	..
1955	10.9	76.2	12.9	..
1960	8.2	71.2	20.6	..
1965	5.7	66.4	27.9	..
1970	3.7	61.5	34.8	..
1975	2.2	56.3	41.5	..
1980	1.1	51.9	46.9	..
1985	0.5	48.0	51.4	..
1990	0.2	44.2	55.8	..
1995	—	39.7	60.3	..
2000	—	35.0	62.3	2.7
2005	—	30.3	61.9	7.8
2010	—	25.7	60.7	13.6
2015	—	21.1	60.0	18.9
2020	—	16.4	59.4	24.2
2025	—	11.7	58.3	30.0

1985年以前は総務庁統計局『国勢調査報告』, 1990年以降は人口問題研究所『日本の将来推計人口』による。各年10月1日人口を12月31日人口とみなした。たとえば、1950年の1950年以降生れは0歳人口全員とする。1990年以後、90歳以上人口を91歳以上人口とした。

表3-9 100歳以上人口の推移(1963～90年)と性、年齢別100歳以上人口(1990年)

年次	100歳以上高年齢者	年齢	1990年		
			総数	男	女
1963	153	総数	3,298	680	2,618
1964	191	100	1,443	314	1,129
1965	198	101	883	194	689
1966	252	102	483	93	390
1967	253	103	249	46	203
1968	327	104	121	19	102
1969	331	105	53	6	47
1970	310	106	36	3	33
1971	339	107	17	4	13
1972	405	108	4	1	3
1973	495	109	3	—	3
1974	527	110	2	—	2
1975	548	111	3	—	3
1976	666	112	1	—	1
1977	697				
1978	792				
1979	937				
1980	968				
1981	1,072				
1982	1,200				
1983	1,354	(参考)			
1984	1,563	99 ¹⁾	1,176	270	906
1985	1,740				
1986	1,851				
1987	2,271				
1988	2,668				
1989	3,078				
1990	3,298				

厚生省社会局福祉課調べ(『全国高齢者名簿』1990年9月等)による。各年9月30日現在(9月1日現在で作成)。1) 1890年10月～12月生まれ(1990年末日には100歳)の99歳。

表3-10 世界の主要地域別にみた年齢（3区分）別人口：1950～2025年

(1,000人)

地 域	1950年			1990年			2000年			2025年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界全地域	869,437	1,519,199	127,807	1,710,393	3,254,170	327,632	1,966,950	3,869,335	424,515	2,085,212	5,590,847	828,164
先進地域	231,264	537,596	63,565	257,373	803,569	145,614	252,550	838,709	172,819	241,107	855,802	257,027
発展途上地域	638,175	981,601	64,242	1,453,020	2,450,600	182,018	1,714,400	3,030,626	251,696	1,844,105	4,735,045	571,137
アフリカ	94,578	120,314	7,092	289,229	333,535	19,347	384,520	455,454	26,611	556,079	975,470	65,306
アメリカ	112,326	200,656	18,973	219,726	448,404	55,811	234,941	531,518	66,692	253,456	704,393	131,499
ラテンアメリカ	67,232	93,129	5,519	160,674	265,969	21,433	175,861	333,642	28,936	194,569	497,417	65,405
北部アメリカ	45,094	107,527	13,454	59,052	182,435	34,378	59,080	197,876	37,756	58,887	206,976	66,094
アジア	504,971	816,624	55,664	1,023,344	1,933,792	155,559	1,172,819	2,323,387	216,336	1,109,425	3,332,677	470,382
東アジア	229,204	412,199	29,988	343,703	907,570	84,332	386,345	1,007,702	115,962	316,782	1,182,911	237,186
南アジア	275,768	404,424	25,676	679,643	1,026,220	71,227	786,474	1,315,683	100,375	792,643	2,149,766	233,196
南東アジア	71,487	103,773	6,773	163,169	264,181	17,417	175,361	334,803	24,893	169,952	496,749	59,316
南部アジア	187,282	276,750	17,371	463,278	688,197	49,094	544,099	882,943	68,458	534,533	1,470,639	156,665
西部アジア	16,999	23,901	1,532	53,196	73,842	4,716	67,014	97,937	7,024	88,158	182,378	17,215
ヨーロッパ	99,638	258,722	34,163	97,536	333,954	66,881	94,280	339,658	76,077	84,941	326,743	103,528
オセアニア	3,762	7,942	943	7,020	17,076	2,385	7,560	19,731	2,853	7,928	24,977	5,302
ソビエト連邦	54,156	114,945	10,974	73,492	187,444	27,659	72,773	199,626	35,964	73,325	226,597	52,194

UN, World Population Prospects: 1990による。

表3-11 世界の主要地域別にみた年齢（3区分）別人口割合：1950～2025年

(%)

地 域	1950年			1990年			2000年			2025年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世界全地域	34.6	60.4	5.1	32.3	61.5	6.2	31.4	61.8	6.8	24.5	65.7	9.7
先進地域	27.8	64.6	7.6	21.3	66.6	12.1	20.0	66.3	13.7	17.8	63.2	19.0
発展途上地域	37.9	58.3	3.8	35.6	60.0	4.5	34.3	60.7	5.0	25.8	66.2	8.0
アフリカ	42.6	54.2	3.2	45.0	51.9	3.0	44.4	52.6	3.1	34.8	61.1	4.1
アメリカ	33.8	60.4	5.7	30.4	61.9	7.7	28.2	63.8	8.0	23.3	64.7	12.1
ラテンアメリカ	40.5	56.1	3.3	35.9	59.4	4.8	32.7	62.0	5.4	25.7	65.7	8.6
北部アメリカ	27.2	64.7	8.1	21.4	66.1	12.5	20.0	67.1	12.8	17.7	62.4	19.9
アジア	36.7	59.3	4.0	32.9	62.1	5.0	31.6	62.6	5.8	22.6	67.8	9.6
東アジア	34.1	61.4	4.5	25.7	68.0	6.3	25.6	66.7	7.7	18.2	68.1	13.7
南アジア	39.1	57.3	3.6	38.2	57.7	4.0	35.7	59.7	4.6	25.0	67.7	7.3
南東アジア	39.3	57.0	3.7	36.7	59.4	3.9	32.8	62.6	4.7	23.4	68.4	8.2
南部アジア	38.9	57.5	3.6	38.6	57.3	4.1	36.4	59.0	4.6	24.7	68.0	7.2
西部アジア	40.1	56.3	3.6	40.4	56.0	3.6	39.0	56.9	4.1	30.6	63.4	6.0
ヨーロッパ	25.4	65.9	8.7	19.6	67.0	13.4	18.5	66.6	14.9	16.5	63.4	20.1
オセアニア	29.7	62.8	7.5	26.5	64.5	9.0	25.1	65.5	9.5	20.8	65.4	13.9
ソビエト連邦	30.1	63.8	6.1	25.5	65.0	9.6	23.6	64.7	11.7	20.8	64.4	14.8

UN, World Population Prospects: 1990による。

表3-12 世界の主要地域別にみた従属人口指数：1950～2025年

(%)

地 域	1950年			1990年			2000年			2025年		
	総数	年少	老年	総数	年少	老年	総数	年少	老年	総数	年少	老年
世界全地域	65.6	57.2	8.4	62.6	52.6	10.1	61.8	50.8	11.0	52.1	37.3	14.8
先進地域	54.8	43.0	11.8	50.1	32.0	18.1	50.7	30.1	20.6	58.2	28.2	30.0
発展途上地域	71.6	65.0	6.5	66.7	59.3	7.4	64.9	56.6	8.3	51.0	38.9	12.1
アフリカ	84.5	78.6	5.9	92.5	86.7	5.8	90.3	84.4	5.8	63.7	57.0	6.7
アメリカ	65.4	56.0	9.5	61.4	49.0	12.4	56.7	44.2	12.5	54.7	36.0	18.7
ラテンアメリカ	78.1	72.2	5.9	68.5	60.4	8.1	61.4	52.7	8.7	52.3	39.1	13.1
北部アメリカ	54.4	41.9	12.5	51.2	32.4	18.8	48.9	29.9	19.1	60.4	28.5	31.9
アジア	68.7	61.8	6.8	61.0	52.9	8.0	59.8	50.5	9.3	47.4	33.3	14.1
東アジア	62.9	55.6	7.3	47.2	37.9	9.3	49.8	38.3	11.5	46.8	26.8	20.1
南アジア	74.5	68.2	6.3	73.2	66.2	6.9	67.4	59.8	7.6	47.7	36.9	10.8
南東アジア	75.4	68.9	6.5	68.4	61.8	6.6	59.8	52.4	7.4	46.2	34.2	11.9
南部アジア	73.9	67.7	6.3	74.5	67.3	7.1	69.4	61.6	7.8	47.0	36.3	10.7
西部アジア	77.5	71.1	6.4	78.4	72.0	6.4	75.6	68.4	7.2	57.8	48.3	9.4
ヨーロッパ	51.7	38.5	13.2	49.2	29.2	20.0	50.2	27.8	22.4	57.7	26.0	31.7
オセアニア	59.2	47.4	11.9	55.1	41.1	14.0	52.8	38.3	14.5	53.0	31.7	21.2
ソビエト連邦	56.7	47.1	9.5	54.0	39.2	14.8	54.5	36.5	18.0	55.4	32.4	23.0

UN, World Population Prospects: 1990による。

従属人口指数とは生産年齢（15～64歳）人口100に対する年少（0～14歳）または老年（65歳以上）人口の比率。

表3-13 主要国の年齢(3区分)別人口割合および年齢構造に関する主要指標：最新年次

国	(年次)	人口総数 (1,000人)	割合 (%)				平均年齢 (歳)	中位数 年齢(歳)	従属人口指数(%)			老年化 指数(%)
			0~14歳	15~64歳	65歳以上	順位			総数	年少	老年	
アフリカ												
エジプト	(1983)	45,915	39.92	56.48	3.60	41	24.73	19.62	77.05	70.69	6.37	9.01
エチオピア	(1985)	47,882	46.54	49.22	4.25	35	23.01	16.91	103.18	94.55	8.63	9.13
南アフリカ	(1985)	23,386	35.05	60.20	4.75	32	26.18	22.20	66.10	58.22	7.89	13.55
タンザニア連合共和国	(1985)	21,733	47.84	48.95	3.20	45	21.47	16.02	104.28	97.73	6.54	6.69
ザイール	(1985)	30,981	46.59	50.84	2.57	48	21.40	16.64	96.71	91.65	5.06	5.52
アメリカ												
カナダ	(1987)	25,625	21.16	67.94	10.90	20	34.65	32.06	47.20	31.15	16.04	51.50
キューバ	(1986)	10,246	24.82	66.74	8.43	29	31.08	26.53	49.83	37.19	12.63	33.97
メキシコ	(1985)	78,524	41.85	54.59	3.56	42	23.18	18.55	83.18	76.65	6.52	8.51
アメリカ合衆国	(1987)	243,400	21.53	66.21	12.26	16	35.00	32.13	51.02	32.51	18.51	56.94
アルゼンチン	(1985)	30,564	30.99	60.46	8.54	28	30.73	27.30	65.39	51.26	14.13	27.56
ブラジル	(1987)	141,452	35.95	59.62	4.43	34	25.77	22.02	67.73	60.30	7.43	12.32
コロンビア	(1985)	27,838	36.07	60.01	3.92	38	25.02	21.04	66.63	60.10	6.53	10.86
アジア												
バングラデシュ	(1981)	90,457	45.82	51.23	2.96	47	22.24	16.98	95.22	89.44	5.77	6.45
中国	(1982)	1,003,914	33.59	61.50	4.91	30	27.11	22.65	62.61	54.63	7.98	14.61
インド	(1987)	781,374	37.24	58.75	4.01	37	25.46	21.07	70.22	63.40	6.82	10.76
インドネシア	(1985)	164,047	39.36	57.24	3.40	44	24.75	20.31	74.69	68.76	5.93	8.63
イラン	(1986)	49,857	45.47	51.45	3.01	46	22.36	17.14	94.23	88.37	5.86	6.63
イスラエル	(1987)	4,369	32.17	58.95	8.88	26	29.74	25.43	69.63	54.57	15.07	27.61
日本	(1989)	123,255	18.82	69.57	11.61	17	37.24	36.95	43.75	27.06	16.69	61.68
韓国	(1988)	41,975	27.28	68.18	4.54	33	28.66	25.81	46.67	40.01	6.66	16.64
マニラ	(1987)	38,541	37.31	58.82	3.87	39	25.09	20.78	70.01	63.43	6.58	10.37
フィリピン	(1988)	84,254	44.53	51.25	4.23	36	23.79	17.90	95.14	86.89	8.25	9.49
タイ	(1988)	58,721	39.36	57.20	3.44	43	24.05	19.98	74.82	68.82	6.01	8.73
ベトナム	(1979)	54,536	34.62	61.71	3.67	40	25.55	21.95	62.04	56.10	5.95	10.60
ヨーロッパ												
オーストリア	(1988)	7,595	17.52	67.57	14.91	5	38.09	35.69	47.99	25.92	22.07	85.15
ベルギー	(1984)	9,855	19.13	67.20	13.67	7	37.51	35.09	48.81	28.47	20.34	71.43
ブルガリア	(1986)	8,958	20.84	67.61	11.55	18	37.13	36.37	47.92	30.83	17.09	55.44
チェコスロバキア	(1986)	15,534	24.29	64.59	11.12	19	34.85	32.88	54.83	37.61	17.22	45.80
デンマーク	(1987)	5,127	17.74	66.88	15.38	3	38.26	36.47	49.52	26.53	22.99	86.67
フランス	(1988)	55,750	20.49	65.94	13.57	8	36.70	34.33	51.66	31.08	20.58	66.21
東ドイツ ¹⁾	(1988)	16,666	19.37	67.34	13.29	11	37.22	35.05	48.50	28.76	19.74	68.64
西ドイツ ²⁾	(1986)	61,066	14.85	70.09	15.06	4	39.35	37.79	42.68	21.19	21.49	101.41
ギリシア	(1984)	9,896	21.29	65.41	13.30	10	36.71	35.05	52.89	32.55	20.33	62.46
ハンガリー	(1987)	10,613	21.16	66.05	12.79	12	37.01	35.48	51.40	32.04	19.36	60.44
イタリア	(1987)	57,291	18.40	68.22	13.38	9	37.61	35.64	46.58	26.97	19.61	72.70
オランダ	(1987)	14,665	18.63	68.95	12.42	14	36.17	33.70	45.04	27.02	18.02	66.69
ポーランド	(1987)	37,664	25.64	64.85	9.52	23	33.44	31.38	54.21	39.54	14.67	37.11
ポルトガル	(1987)	10,250	22.40	65.12	12.49	13	35.40	32.16	53.57	34.39	19.18	55.76
ルーマニア	(1985)	22,725	24.65	65.87	9.48	24	34.04	31.76	51.81	37.43	14.39	38.44
スペイン	(1987)	38,832	22.06	65.55	12.39	15	35.58	32.38	52.57	33.66	18.91	56.16
スウェーデン	(1988)	8,438	17.20	64.49	18.31	1	39.94	38.74	55.06	26.67	28.39	106.44
スイス	(1987)	6,545	16.52	68.64	14.84	6	38.67	37.00	45.69	24.07	21.62	89.79
イギリス	(1987)	56,930	18.88	65.64	15.48	2	37.74	35.44	52.35	28.76	23.59	82.01
ユーゴスラビア	(1987)	23,417	23.44	67.73	8.82	27	34.04	31.93	47.64	34.61	13.03	37.64
オセアニア												
オーストラリア	(1987)	16,249	22.65	66.63	10.72	21	34.07	31.38	50.08	33.99	16.09	47.33
ニュージーランド ³⁾	(1987)	3,309	23.75	65.69	10.56	22	33.37	30.06	52.23	36.15	16.08	44.48
ソ連												
ソビエト連邦	(1987)	281,338	25.46	65.47	9.06	25	33.22	30.35	52.73	38.89	13.84	35.60

UN, *Demographic Yearbook*, 1988年版による(ただし日本は、総務庁統計局【人口推計資料】による)。各指標についての説明は表3-4の注記を参照。各指標は、年齢5歳階級別データに基づき人口問題研究所が算定したもの。人口総数には年齢不詳が含まれている。順位は、ここに掲げた主要48か国における65歳以上人口割合の多い順。データの詳細については上記資料および【人口問題研究】第46巻3号参照。1)東ベルリンを含む。2)西ベルリンを含む。3)ココス(キーリング)諸島、クリスマス島およびノーフォーク島を含む。

表3-14 主要国の年齢(3区分)別人口割合:1950~2025年

(%)

地名	1950年			1990年			2000年			2025年		
	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
エチオピア	44.2	52.8	3.0	45.6	51.5	2.9	46.4	50.8	2.8	38.1	58.7	3.3
エジプト	39.7	57.4	3.0	39.3	56.7	3.9	34.6	61.1	4.4	23.1	68.5	8.4
南アフリカ	38.6	57.8	3.6	37.1	58.7	4.2	35.6	59.9	4.5	27.2	65.6	7.2
ナイジェリア	45.7	51.9	2.4	47.4	50.1	2.5	46.7	50.7	2.6	35.2	61.3	3.5
メキシコ	43.7	53.0	3.3	37.2	58.9	3.8	32.8	62.7	4.6	24.9	66.8	8.3
アルゼンチン	30.5	65.3	4.2	29.9	61.0	9.1	27.2	62.9	9.8	23.6	65.0	11.5
ブラジル	42.0	55.5	2.5	35.2	60.1	4.7	31.8	62.8	5.4	24.6	66.1	9.3
チレ	36.7	59.0	4.3	30.6	63.4	6.0	29.4	63.9	6.7	23.9	65.2	10.9
ペルー	41.6	55.0	3.5	37.6	58.6	3.8	33.6	61.8	4.6	24.4	67.5	8.1
ベネズエラ	29.7	62.6	7.7	20.9	67.7	11.4	18.7	68.6	12.7	16.4	62.4	21.2
アメリカ合衆国	26.9	64.9	8.1	21.5	66.0	12.6	20.2	67.0	12.8	17.9	62.3	19.8
中国	33.5	62.0	4.5	26.5	67.7	5.8	26.5	66.5	7.0	18.5	68.7	12.8
台湾〔世銀推計〕	…	…	…	28.4	65.6	6.0	21.7	70.2	8.1	18.6	66.1	15.3
日本	30.4	67.1	2.5	20.7	70.5	8.8	17.5	71.3	11.2	13.0	63.7	23.3
韓国	35.4	59.6	4.9	18.5	69.8	11.7	16.9	67.2	15.9	15.0	61.1	23.9
北朝鮮	41.7	55.3	3.1	28.6	67.3	4.1	30.0	65.1	5.0	20.2	69.4	10.4
韓国	41.7	55.3	3.0	25.7	69.6	4.8	21.3	72.3	6.4	16.7	68.8	14.5
カンボジア	42.2	55.1	2.7	34.9	62.2	2.9	38.5	58.0	3.5	28.2	65.0	6.8
インドネシア	39.2	56.9	4.0	35.7	60.4	3.9	31.3	63.7	5.1	22.5	68.3	9.1
ラオス	41.9	55.3	2.8	43.6	53.5	2.9	43.9	53.0	3.0	28.6	67.0	4.4
マレーシア	40.9	54.0	5.1	38.1	58.1	3.7	34.4	61.4	4.2	23.6	67.7	8.6
ミャンマー(ビルマ)	37.8	59.0	3.2	37.2	58.7	4.1	34.9	60.4	4.7	24.6	68.6	6.9
フィリピン	43.6	52.8	3.6	40.1	56.5	3.4	36.2	60.1	3.7	24.9	68.2	6.9
シンガポール	40.6	57.0	2.3	23.3	71.1	5.7	22.2	70.5	7.2	16.8	64.0	19.1
タイ	42.5	54.5	3.0	32.6	63.5	3.9	26.5	68.5	5.0	21.0	68.8	10.2
ベトナム	34.3	61.8	3.9	39.3	56.2	4.4	35.6	60.0	4.5	24.2	69.3	6.5
ブルンジ	37.6	58.8	3.6	43.9	53.2	2.9	40.6	56.5	2.9	26.8	68.5	4.7
インド	38.9	57.7	3.3	36.5	59.0	4.5	34.5	60.4	5.1	23.3	68.5	8.2
イラン	39.1	55.6	5.3	43.8	52.5	3.7	38.6	57.0	4.4	28.4	66.0	5.6
ネパール	39.2	56.4	4.5	42.2	54.7	3.1	39.6	56.9	3.4	26.1	68.4	5.5
パキスタン	37.9	56.7	5.3	45.6	51.7	2.7	43.3	53.8	2.9	28.4	66.5	5.1
スリランカ	40.7	55.4	3.9	32.6	62.2	5.2	27.3	66.2	6.5	21.6	66.5	11.9
イスラエル	45.7	51.6	2.7	46.5	50.8	2.7	44.1	53.0	3.0	33.7	61.9	4.4
イスラエル	31.7	64.4	3.9	31.2	59.9	8.8	28.0	63.4	8.6	21.5	65.8	12.6
サウジアラビア	42.0	54.6	3.3	45.3	52.1	2.6	45.6	51.8	2.6	38.0	57.9	4.1
トルコ	38.3	58.4	3.3	34.6	61.2	4.2	31.8	62.6	5.6	22.8	68.1	9.2
ブルガリア	26.8	66.5	6.7	20.1	67.0	13.0	18.2	65.9	15.8	17.1	63.8	19.2
チェコスロバキア	25.9	66.5	7.6	23.3	65.2	11.6	20.3	67.5	12.3	17.9	64.9	17.1
ハンガリー	25.1	67.6	7.3	19.9	66.7	13.4	17.8	67.3	14.8	16.3	63.9	19.8
ポーランド	29.4	65.4	5.2	25.2	64.9	10.0	21.5	66.8	11.7	19.6	63.5	16.9
ルーマニア	28.4	66.3	5.3	23.3	66.4	10.3	21.3	66.1	12.6	18.4	65.5	16.1
スウェーデン	23.4	66.3	10.3	17.3	64.6	18.1	18.6	64.2	17.1	16.2	61.4	22.4
スイス	22.3	66.9	10.7	19.0	65.6	15.4	19.6	65.3	15.2	17.3	63.3	19.4
ギリシャ	28.7	64.6	6.8	19.7	66.5	13.7	17.1	65.9	16.9	16.1	63.0	20.9
イタリア	26.3	65.4	8.3	16.7	69.0	14.3	15.5	67.6	16.9	13.3	64.0	22.8
ポルトガル	29.5	63.5	7.0	21.2	65.9	12.9	19.3	66.3	14.4	17.1	65.0	17.8
スペイン	27.1	65.6	7.3	20.1	66.8	13.1	18.3	66.5	15.2	16.4	64.4	19.2
ユーゴスラビア	31.1	63.2	5.7	22.6	68.0	9.5	19.7	67.4	13.0	17.5	64.3	18.2
オーストリア	22.8	66.8	10.4	17.4	67.6	15.0	16.7	67.6	15.7	14.7	63.6	21.7
オーストリア	20.9	68.1	11.1	17.9	67.2	14.9	17.3	66.2	16.5	15.5	61.8	22.7
フランス	22.7	65.9	11.4	20.1	66.1	13.8	19.4	65.2	15.4	17.1	62.1	20.8
ドイツ〔統一〕	23.2	67.1	9.7	16.0	69.1	14.9	16.2	67.5	16.4	14.5	62.3	23.2
西ドイツ	23.3	67.3	9.4	15.1	69.6	15.4	15.8	67.2	17.0	14.2	61.8	24.1
東ドイツ	22.8	66.6	10.6	19.7	67.2	13.1	17.4	68.3	14.3	15.8	64.1	20.2
オランダ	29.3	63.0	7.7	18.2	69.0	12.7	18.4	68.0	13.6	15.4	63.3	21.3
スイス	23.5	66.9	9.6	16.4	68.6	15.0	16.8	66.9	16.3	14.7	62.0	23.3
オーストラリア	26.5	65.4	8.1	22.1	67.0	10.9	20.5	67.8	11.7	18.0	64.5	17.5
ニュージーランド	29.1	61.9	9.0	22.7	66.3	10.9	22.0	66.8	11.2	18.0	64.7	17.3
ソビエト連邦	30.1	63.8	6.1	25.5	65.0	9.6	23.6	64.7	11.7	20.8	64.4	14.8

UN, *World Population Prospects: 1990*による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。ここには1990年央時において人口3,000万人を超えるすべての国、およびそれ未満の主要国を国連資料掲載の順に配列した。台湾については世界銀行による推計を参考として掲載した。なお、日本についての人口問題研究所推計は表3-5および表3-6を参照。

表3 - 15 主要先進国の65歳以上人口割合：1850～2025年

(%)

年次	アメリカ 合衆国	日本 ¹⁾	フランス	ドイツ〔統一〕 ²⁾	イギリス	イタリア	スウェー デン	スイス	オースト リア
1850	6.47 ³⁾	...	4.64 ³⁾	...	4.78
1860	6.89 ⁴⁾	...	4.68 ⁴⁾	4.19 ⁴⁾	5.22	5.11	...
1870	...	6.69	7.41 ⁵⁾	...	4.79 ¹²⁾	5.11 ¹²⁾	5.43	5.54	...
1880	...	6.43	8.11 ⁶⁾	4.72	4.62 ⁶⁾	5.12 ⁶⁾	5.90	5.53	...
1890	...	6.34	8.28 ⁷⁾	5.10	4.77 ⁷⁾	...	7.68	5.81 ¹⁸⁾	...
1900	4.07	5.43	8.20 ⁸⁾	4.88	4.69 ⁸⁾	6.16 ⁸⁾	8.37	5.84	...
1910	4.30	5.20	8.36 ⁹⁾	5.04	5.22 ⁹⁾	6.50 ⁹⁾	8.44	5.80	4.29 ⁹⁾
1920	4.67	5.26	9.05 ¹⁰⁾	5.77 ¹²⁾	6.03 ¹⁰⁾	6.75 ¹⁰⁾	8.40	5.83	4.42 ¹⁰⁾
1930	5.41	4.75	9.35 ¹¹⁾	7.36 ¹³⁾	7.40 ¹¹⁾	...	9.20	6.87	6.49 ¹³⁾
1940	6.85	4.73	11.42	8.86 ¹⁴⁾ (9.98 ¹⁵⁾)	8.97 ¹⁶⁾	7.43 ¹⁷⁾	9.41	8.56 ¹⁹⁾	8.04 ²⁰⁾
1950	8.1	4.94	11.4	9.7	10.7	8.3	10.3	9.6	8.1
1960	9.2	5.72	11.6	11.5	11.7	9.3	12.0	10.1	8.5
1970	9.8	7.06	12.9	13.7	12.9	10.9	13.7	11.3	8.3
1975	10.5	7.92	13.5	14.8	14.0	12.0	15.1	12.6	8.7
1980	11.3	9.10	14.0	15.6	15.1	13.1	16.3	13.8	9.6
1985	11.9	10.30	13.0	14.6	15.1	12.7	17.9	14.6	10.1
1990	12.6	11.93	13.8	14.9	15.4	14.3	18.1	15.0	10.9
1995	12.9	14.12	14.6	15.5	15.3	15.6	17.7	15.6	11.5
2000	12.8	16.26	15.4	16.4	15.2	16.9	17.1	16.3	11.7
2010	13.6	19.96	15.7	19.7	15.7	18.7	18.8	18.8	12.8
2020	17.5	23.56	19.3	21.3	18.2	21.2	21.8	21.9	15.9
2025	19.8	23.37	20.8	23.2	19.4	22.8	22.4	23.3	17.5

1940年以前はUN, *The Aging of Populations and Its Economic and Social Implications* (Population Studies, No. 26, 1956) 1950年以降は同じくUN, *World Population Prospects : 1990* による各年央推計人口に基づく算定。ただし、日本は国勢調査および人口問題研究所の推計(1962. 2, 1986. 12)による。
 1) すべての年次で沖縄県を含む。2) 全ドイツ。1930年以前は1937年の領域による。3) 1851年。4) 1861年。
 5) 1872年。6) 1881年。7) 1891年。8) 1901年。9) 1911年。10) 1921年。11) 1931年。12) 1871年。13) 1933年。
 14) 西ドイツ1946年。15) 東ドイツ1946年。16) 1939年。17) 1936年。18) 1888年。19) 1941年。20) 1947年。

表3 - 16 主要先進国の65歳以上人口割合別の到達年次とその倍化年数

年次(年間)

65歳以上 人口割合	アメリカ	日本	フランス	ドイツ 〔統一〕	イギリス	スウェー デン	スイス
7%	1945	1970	1865	1930	1930	1890	1935
10	1975	1985	1940	1955	1950	1950	1960
14	2010(65)	1995(25)	1980(115)	1975(45)	1975(45)	1975(85)	1985(50)
15	2015	2000	2000	1980	1980	1975	1990
20	—	2015(30)	2025(85)	2015(60)	—	2015(65)	2015(55)
21	—	2015	—	2020	—	2015	2020
23	—	2020	—	2025	—	—	2025

1940年以前はUN, *The Aging of Population and Its Economic and Social Implications* (Population Studies, No. 26, 1956), 1950年以降はUN, *World Population Prospects : 1990* による。年次は5年単位。ただし、5年単位のデータが得られない場合には、前後の年次データを直線補間し、それぞれの人口割合を越えた年次についてのもの。該当年次が2回生じた場合前の年次。()内は倍化年数。

表3 - 17 主要先進国の65歳以上人口に占める前期・後期別老年人口割合：最新年次

国 (年次)	65歳以上 老年人口 (1,000人)	割合 (%)	
		前期老年層 (65～74歳)	後期老年層 (75歳以上)
カナダ(1987)	2,793	61.0	39.0
アメリカ(1987)	29,836	59.2	40.8
日本(1989)	14,309	59.8	40.2
オーストリア(1988)	1,133	52.9	47.1
フランス(1988)	7,565	51.3	48.7
東ドイツ(1988)	2,216	51.3	48.7
西ドイツ(1986)	9,198	53.5	46.5
イタリア(1987)	7,664	57.7	42.3
ノルウェー(1987)	674	57.9	42.1
スウェーデン(1988)	1,545	55.0	45.0
イギリス(1987)	8,814	57.2	42.8

UN, *Demographic Yearbook* の1988年版による各国最新(日本は総務庁統計局推計)の年齢別人口に基づいて算定。

表4-1 普通出生率,死亡率,自然増加率および標準化出生率,死亡率,自然増加率:1873~1990年

年次	実数(1,000人)			普通率(%)			標準人口動態率(%)		
	出生	死亡	自然増加	出生	死亡	自然増加	出生率	死亡率	自然増加率
1873	809	661	149	23.1	18.9	4.3
1880	884	603	281	24.1	16.5	7.7
1890	1,145	824	322	28.7	20.6	8.1
1900	1,421	911	510	32.4	20.8	11.6
1910	1,713	1,064	649	34.8	21.6	13.2
1920	2,026	1,422	603	36.2	25.4	10.8
1925	2,086	1,211	875	34.9	20.3	14.6	35.27	20.24	15.03
1930	2,085	1,171	914	32.4	18.2	14.2	32.35	18.17	14.18
1935	2,191	1,162	1,029	31.6	16.8	14.8
1940	2,116	1,187	929	29.4	16.5	12.9	27.74	16.80	10.94
1947	2,679	1,138	1,541	34.3	14.6	19.7	30.87	15.40	15.47
1948	2,682	951	1,731	33.5	11.9	21.6	30.05	12.37	17.68
1949	2,697	945	1,751	33.0	11.6	21.4	29.83	11.94	17.89
1950	2,338	905	1,433	28.1	10.9	17.2	25.47	11.03	14.44
1951	2,138	839	1,299	25.3	9.9	15.4	22.76	9.93	12.83
1952	2,005	765	1,240	23.4	8.9	14.5	20.85	8.91	11.94
1953	1,868	773	1,095	21.5	8.9	12.6	18.96	8.88	10.08
1954	1,770	721	1,048	20.0	8.2	11.8	17.54	8.19	9.35
1955	1,731	694	1,037	19.4	7.8	11.6	16.88	7.70	9.18
1956	1,665	624	941	18.4	8.0	10.4	15.91	7.89	8.02
1957	1,567	752	814	17.2	8.3	8.9	14.69	8.04	6.65
1958	1,653	684	969	18.0	7.4	10.6	15.27	7.18	8.09
1959	1,626	790	936	17.5	7.4	10.1	14.90	7.05	7.85
1960	1,606	707	899	17.2	7.6	9.6	14.69	7.02	7.67
1961	1,589	696	894	16.9	7.4	9.5	14.31	6.74	7.57
1962	1,619	710	908	17.0	7.5	9.5	14.34	6.67	7.67
1963	1,660	671	989	17.3	7.0	10.3	14.52	6.12	8.40
1964	1,717	673	1,044	17.7	6.9	10.8	14.89	5.94	8.95
1965	1,824	700	1,123	18.6	7.1	11.5	15.74	5.99	9.75
1966	1,361	670	691	13.7	6.8	6.9	11.80	5.57	6.23
1967	1,936	675	1,261	19.4	6.8	12.6	16.31	5.44	10.87
1968	1,872	687	1,185	18.6	6.8	11.8	15.37	5.37	10.00
1969	1,890	694	1,196	18.5	6.8	11.7	15.04	5.25	9.79
1970	1,934	713	1,221	18.8	6.9	11.9	15.26	5.22	10.04
1971	2,001	685	1,316	19.2	6.6	12.6	15.87	4.86	11.01
1972	2,039	684	1,355	19.3	6.5	12.8	15.97	4.69	11.28
1973	2,092	709	1,383	19.4	6.6	12.8	16.07	4.65	11.42
1974	2,030	711	1,319	18.6	6.5	12.1	15.47	4.49	10.98
1975	1,901	702	1,199	17.1	6.3	10.8	14.32	4.25	10.07
1976	1,833	703	1,129	16.3	6.3	10.0	13.65	4.09	9.56
1977	1,755	690	1,065	15.5	6.1	9.4	13.31	3.88	9.43
1978	1,709	696	1,013	14.9	6.1	8.8	13.25	3.76	9.49
1979	1,643	690	953	14.2	6.0	8.2	13.07	3.60	9.47
1980	1,577	723	854	13.6	6.2	7.4	12.76	3.62	9.15
1981	1,529	720	809	13.0	6.1	6.9	12.55	3.48	9.07
1982	1,515	712	804	12.8	6.0	6.8	12.75	3.31	9.44
1983	1,509	740	769	12.7	6.2	6.5	12.95	3.31	9.63
1984	1,490	740	750	12.5	6.2	6.3	12.96	3.20	9.76
1985	1,432	752	679	11.9	6.3	5.6	12.53	3.06	9.47
1986	1,383	751	632	11.4	6.2	5.2	12.26	2.99	9.27
1987	1,347	751	595	11.1	6.2	4.9	11.95	2.88	9.07
1988	1,314	793	521	10.8	6.5	4.3	11.66	2.90	8.76
1989	1,247	789	458	10.2	6.4	3.7	11.02	2.79	8.23
1990 ¹⁾	1,228	826	402	10.0	6.7	3.3

出生数,死亡数は1873~90年は内閣統計局『帝國統計年鑑』,1900年以後は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947~72年は沖縄県を含まない。日本で発生した日本人についての統計である。普通率(粗率)の分母は,1920~66年の人口動態統計報告では日本に在住した外国人も含む総人口が用いられ,1967年以降日本人人口を分母としている。標準化人口動態率は,人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。1930年の全国性・年齢別人口を標準人口として各年の性・年齢別出生率,死亡率によって算出したものである。ただし,出生率は女子人口についてのみ適用する。なお,計算に用いた人口は1940年以前は総人口,1947年以降は日本人人口である。1)推計値。

表4-2 将来の出生、死亡および自然増加の実数ならびに率：1986～2034年

年次	実数(1,000人)			普通率(%)		
	出生	死亡	自然増加	出生	死亡	自然増加
1986	1,425	779	646	11.71	6.40	5.31
1987	1,429	795	634	11.68	6.50	5.18
1988	1,440	812	628	11.71	6.61	5.11
1989	1,459	830	628	11.80	6.72	5.08
1990	1,482	849	633	11.93	6.84	5.10
1991	1,511	869	642	12.10	6.96	5.14
1992	1,544	889	654	12.30	7.09	5.21
1993	1,580	910	670	12.52	7.21	5.31
1994	1,619	931	688	12.76	7.34	5.42
1995	1,658	953	705	13.00	7.47	5.52
1996	1,695	976	719	13.22	7.61	5.61
1997	1,729	1,000	729	13.40	7.75	5.65
1998	1,758	1,025	733	13.55	7.90	5.65
1999	1,779	1,050	729	13.63	8.05	5.59
2000	1,789	1,076	714	13.64	8.20	5.44
2001	1,789	1,101	688	13.57	8.35	5.22
2002	1,779	1,128	652	13.42	8.51	4.92
2003	1,761	1,154	607	13.22	8.67	4.55
2004	1,734	1,181	553	12.96	8.83	4.13
2005	1,701	1,208	493	12.67	9.00	3.67
2006	1,665	1,236	429	12.36	9.17	3.19
2007	1,627	1,264	363	12.04	9.36	2.69
2008	1,589	1,292	297	11.74	9.54	2.19
2009	1,553	1,321	232	11.45	9.74	1.71
2010	1,519	1,353	167	11.19	9.96	1.23
2011	1,490	1,383	107	10.96	10.17	0.79
2012	1,446	1,413	53	10.78	10.39	0.39
2013	1,447	1,443	4	10.64	10.61	0.03
2014	1,434	1,472	-38	10.54	10.83	-0.28
2015	1,428	1,502	-74	10.50	11.05	-0.55
2016	1,427	1,530	-103	10.51	11.26	-0.76
2017	1,433	1,556	-123	10.56	11.46	-0.91
2018	1,444	1,581	-137	10.65	11.66	-1.01
2019	1,460	1,604	-144	10.78	11.84	-1.06
2020	1,480	1,626	-146	10.94	12.02	-1.08
2021	1,503	1,647	-144	11.12	12.19	-1.07
2022	1,528	1,668	-139	11.32	12.35	-1.03
2023	1,554	1,686	-132	11.52	12.50	-0.98
2024	1,580	1,703	-123	11.72	12.64	-0.92
2025	1,603	1,720	-117	11.91	12.77	-0.87
2026	1,623	1,735	-112	12.07	12.90	-0.83
2027	1,640	1,750	-111	12.20	13.02	-0.82
2028	1,651	1,763	-112	12.29	13.13	-0.83
2029	1,657	1,775	-118	12.35	13.23	-0.88
2030	1,658	1,789	-132	12.36	13.35	-0.98
2031	1,652	1,803	-151	12.34	13.47	-1.13
2032	1,642	1,814	-172	12.28	13.56	-1.28
2033	1,627	1,820	-193	12.18	13.63	-1.44
2034	1,609	1,823	-214	12.06	13.67	-1.61

人口問題研究所『日本の将来推計人口』(1987)による。外国人を含む総人口についてのものである。

表4-3 世界の主要地域別にみた普通出生率、普通死亡率および自然増加率：1950～2025年 (%)

地 域	普通出生率				普通死亡率				自然増加率			
	1950 ～55	1990 ～95	2000 ～05	2020 ～25	1950 ～55	1990 ～95	2000 ～05	2020 ～25	1950 ～55	1990 ～95	2000 ～05	2020 ～25
世界 全 域	37.5	26.4	22.9	17.5	19.7	9.2	8.2	7.6	17.8	17.2	14.7	9.9
先 進 地 域	22.6	13.9	13.1	11.9	10.1	9.6	9.7	10.6	12.5	4.3	3.4	1.3
発 展 途 上 地 域	44.6	30.0	25.3	18.6	24.3	9.1	7.8	7.1	20.3	20.9	17.5	11.5
ア フ リ カ	49.2	43.5	39.5	26.0	26.9	13.2	10.6	7.0	22.3	30.3	28.9	19.0
ラテンアメリカ	42.5	26.8	23.1	18.4	15.4	7.0	6.5	7.0	27.1	19.8	16.6	11.4
北 部 ア メ リ カ	24.6	13.9	12.6	11.7	9.4	8.7	8.8	9.9	15.2	5.2	3.8	1.8
ア ジ ア	42.9	26.9	21.7	16.1	24.1	8.4	7.4	7.2	18.8	18.5	14.3	8.9
東 ア ジ ア	40.8	19.8	14.7	12.6	23.3	6.6	6.8	8.4	17.5	13.2	7.9	4.2
南 東 部 ア ジ ア	44.1	27.5	22.0	16.7	24.4	8.1	6.8	6.8	19.7	19.4	15.2	9.9
南 部 ア ジ ア	44.9	33.5	27.5	18.0	25.1	10.6	8.4	6.7	19.8	22.9	19.1	11.3
西 部 ア ジ ア	47.6	34.4	29.7	22.1	23.4	7.4	6.0	5.1	24.2	27.0	23.7	17.0
ヨ ー ロ ッ パ	19.8	12.8	11.9	10.9	11.0	10.6	10.6	11.5	8.8	2.2	1.3	- 0.6
オ セ ア ニ ア	27.6	18.6	16.9	14.0	12.4	8.0	7.8	8.3	15.2	10.6	9.1	5.7
ソビエト連邦	26.3	16.7	15.7	14.1	9.2	9.9	9.6	9.4	17.1	6.8	6.1	4.7

UN, World Population Prospects : 1990による国連の最新推計結果。

表4-4 主要国の普通出生率、普通死亡率および自然増加率：最新年次 (%)

国	(年次)	普通出生率	順位	普通死亡率	自然増加率	国	(年次)	普通出生率	順位	普通死亡率	自然増加率
ア	フ	リ	カ	ル		ヨ	ー	ロ	ッ	パ	(つづき)
セ	イ	シ	エ	ル	(1989)	チ	ェ	コ	ス	ロ	バ
ア	ル	ジ	エ	リ	(1983) ¹⁾	東	ド	イ	ツ	(1989)*	13.3
エ	リ	ジ	ブ	ト	(1987)	ハ	ン	ガ	リ	(1989)*	32
リ	チ	ビ	ジ	ア	(1988)	ポ	ー	ラ	ン	ド	(1989)*
チ	ュ	ニ	ジ	ア	(1988)*	ル	ー	マ	ニ	ア	(1989)*
ア	メ	リ	カ	バ		デ	ン	マ	ー	ク	(1989) ⁴⁾
キ	ュ	キ	シ	バ	(1989)*	フ	ィ	ン	ラ	ン	(1989)*
メ	ル	キ	ン	コ	(1988)	フ	ィ	ン	ウ	エ	(1989)*
ア	ル	セ	ン	チ	(1988)	ス	ウ	エ	ー	デ	(1989)*
チ	ベ	ル	グ	ア	(1988)	イ	ギ	リ	ス	2)	(1989)*
ウ	ベ	ル	グ	ア	(1989)	イ	ギ	リ	シ	ャ	(1988)*
ベ	カ	ナ	ラ	タ	(1989)*	キ	イ	タ	リ	ア	(1989)*
カ	メ	リ	カ	合	(1988) ³⁾	ポ	ル	ト	ガ	ル	(1989)
ア	メ	リ	カ	合	(1988)*	ス	ベ	イ	ン	(1986)*	
ア	メ	リ	カ	合	(1988)*	ユ	ー	ゴ	ス	ラ	ビ
ホ	日	韓	国	本	(1988)	オ	ー	ス	ト	リ	ア
シ	ン	ガ	ポ	ー	(1990)*	ベ	ル	ギ	ー	(1987)*	
ン	ド	ン	ド	ン	(1987)	フ	ラ	ン	ス	(1989)*	
イ	バ	キ	ス	タ	(1989)*	西	ド	イ	ツ	(1989)*	
ス	リ	ス	ラ	ン	(1988) ^E	オ	ス	ト	ラ	ン	(1989)*
イ	ス	ラ	エ	ル	(1988)*	ス	イ	ス	ア	(1989)*	
ヨ	ー	ロ	ッ	パ	(1989)*	オ	セ	ア	ニ	ア	
ブ	ル	ガ	リ	ア	(1988)	オ	ー	ス	ト	ラ	リ
						ニ	ュ	ー	ジ	ー	
						ラ	ン	ド	(1989)*	14.9	
						ソ	ビ	エ	ト	連	
						邦	(1988) ⁵⁾	19.0	15	10.2	

UN, Statistical Papers, Series A, Vol. XLII, No. 4 (1990)による。

ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による。各率とも人口1,000についてのもの。

順位は、ここに掲げた47カ国における普通出生率の高い順。

* 暫定。E 推計。1) 出生登録前に死亡の乳児を除く。2) 密林のインディオを除く。3) 常住人口。4) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。5) 28週未満、体重1,000g未満、身長35cm未満の未熟児で生後1週間以内に死亡したものを除く。

表4 - 5 主要国の普通出生率，普通死亡率および自然増加率：1950～2025年

(%)

国	普通出生率				普通死亡率				自然増加率			
	1950～55年	1990～95年	2000～05年	2020～25年	1950～55年	1990～95年	2000～05年	2020～25年	1950～55年	1990～95年	2000～05年	2020～25年
エチオピア	52.3	48.4	44.6	29.9	31.9	18.3	15.0	9.4	20.4	30.1	29.6	20.5
インドネシア	48.6	30.8	24.5	16.7	24.0	9.1	6.9	6.2	24.6	21.7	17.6	10.5
南アフリカ	43.4	30.5	26.6	18.8	20.3	8.8	7.1	6.4	23.1	21.7	19.5	12.4
ナイジェリア	51.0	46.5	41.7	26.1	27.2	14.0	11.3	7.0	23.8	32.5	30.4	19.1
メキシコ	29.7	17.4	14.4	13.4	11.1	6.7	7.1	9.7	18.6	10.7	7.3	3.7
アメリカ合衆国	46.6	26.6	22.3	17.8	16.1	5.4	5.1	6.2	30.5	21.2	17.2	11.6
ブラジル	25.4	20.3	19.4	16.4	9.1	8.6	8.7	8.9	16.3	11.7	10.7	7.5
ペルー	44.6	26.1	22.2	17.6	15.1	7.5	7.1	7.6	29.5	18.6	15.1	10.0
チリ	37.2	22.5	19.4	16.6	14.4	6.4	6.6	8.1	22.8	16.1	12.8	8.5
ロシア連邦	47.1	29.0	24.3	17.6	21.6	7.6	6.3	6.7	25.5	21.4	18.0	10.9
韓国	27.8	12.9	11.6	10.6	8.7	7.8	8.4	10.2	19.1	5.1	3.2	0.4
日本	24.3	14.1	12.7	11.8	9.5	8.8	8.9	9.9	14.8	5.3	3.8	1.9
中国	43.6	20.8	14.9	12.9	25.0	6.6	6.6	8.1	18.6	14.2	8.3	4.8
北朝鮮	37.7	12.3	10.6	8.3	8.9	6.1	7.3	10.0	28.8	6.2	3.3	-1.7
韓国	23.7	11.5	12.2	10.1	9.4	7.6	9.1	12.5	14.3	3.9	3.1	-2.4
インドネシア	37.0	24.5	18.5	14.0	32.0	5.3	5.3	7.0	5.0	19.2	13.2	7.0
マレーシア	37.0	15.4	13.9	11.0	32.0	6.1	6.7	9.3	5.0	9.3	7.2	1.7
シンガポール	45.4	36.5	25.3	19.8	23.8	14.6	11.1	9.2	21.6	21.9	14.2	10.6
タイ	43.0	26.6	20.2	16.3	26.1	8.5	7.2	7.3	16.9	18.1	13.0	9.0
ラオス	45.7	44.2	35.4	20.4	25.3	15.1	11.3	7.1	20.4	29.1	24.1	13.3
ミャンマー	45.2	27.7	19.6	16.7	19.9	5.1	4.7	5.7	25.3	22.6	14.9	11.0
フィリピン	42.2	29.7	25.1	17.3	23.7	8.7	7.1	6.3	18.5	21.0	18.0	11.0
インドネシア	49.3	30.4	24.7	17.4	19.5	7.1	6.0	6.1	29.8	23.3	18.7	11.3
タイ	44.4	16.3	12.4	11.3	10.6	5.5	6.1	9.5	33.8	10.8	6.3	1.8
ベトナム	46.6	20.0	18.6	14.4	19.2	6.5	6.3	7.4	27.4	13.5	12.3	7.0
バングラデシュ	41.8	30.3	24.3	17.7	28.5	8.2	6.4	5.7	13.3	22.1	17.9	12.0
インドネシア	47.0	40.6	35.1	20.0	24.2	13.8	10.8	7.0	22.8	26.8	24.3	13.0
インドネシア	44.1	31.0	25.3	17.0	25.0	10.2	8.1	7.0	19.1	20.8	17.2	10.0
ネパール	48.0	33.1	31.2	19.0	24.5	6.7	5.8	4.7	23.5	26.4	25.4	14.3
パキスタン	45.5	36.3	29.6	18.4	27.0	12.9	9.9	7.2	18.5	23.4	19.7	11.2
スリランカ	49.5	41.9	32.0	20.1	28.5	10.5	7.4	5.4	21.0	31.4	24.6	14.7
インドネシア	38.5	20.7	17.2	14.7	11.5	5.8	6.0	7.1	27.0	14.9	11.2	7.6
インドネシア	49.4	40.5	35.5	24.7	21.9	6.7	5.1	4.0	27.5	33.8	30.4	20.7
インドネシア	32.5	20.8	18.6	15.0	6.9	6.6	6.1	6.5	25.6	14.2	12.5	8.5
インドネシア	49.0	41.8	40.9	28.0	25.9	6.5	4.9	3.8	23.1	35.3	36.0	24.2
インドネシア	48.2	26.9	19.4	16.0	23.5	7.5	6.4	6.8	24.7	19.4	13.0	9.2
インドネシア	21.1	12.2	12.3	11.3	10.2	11.6	12.2	12.3	10.9	0.6	0.1	-1.0
インドネシア	22.0	13.9	14.1	12.1	10.9	11.2	10.5	10.7	11.1	2.7	3.6	1.4
インドネシア	21.1	11.9	12.4	10.9	11.4	12.7	12.6	12.7	9.7	-0.8	-0.2	-1.8
インドネシア	30.1	14.7	15.0	13.1	10.9	9.8	9.7	9.8	19.2	4.9	5.3	3.3
インドネシア	24.9	15.1	13.6	12.2	12.0	10.5	10.5	10.4	12.9	4.6	3.1	1.8
インドネシア	15.5	12.6	11.1	10.8	9.8	11.9	11.5	12.2	5.7	0.7	-0.4	-1.4
インドネシア	15.9	13.7	11.9	11.5	11.7	11.5	10.9	11.1	4.2	2.2	1.0	0.4
インドネシア	19.4	11.6	11.6	10.6	7.2	10.0	10.6	11.8	12.2	1.6	1.0	-1.2
インドネシア	18.3	10.8	10.1	8.6	9.9	10.6	11.2	13.0	8.4	0.2	-1.1	-4.4
インドネシア	24.1	13.3	13.1	11.4	11.7	10.2	10.2	10.6	12.4	3.1	2.9	0.8
インドネシア	20.3	12.8	12.6	11.0	10.2	9.1	9.6	10.3	10.1	3.7	3.0	0.7
インドネシア	28.8	13.8	12.8	11.4	12.4	9.0	9.7	10.9	16.4	4.8	3.1	0.5
インドネシア	15.0	11.5	10.1	9.4	12.3	11.7	11.5	12.7	2.7	-0.2	-1.4	-3.3
インドネシア	16.7	11.9	10.8	10.2	12.2	11.5	11.6	12.5	4.5	0.4	-0.8	-2.3
インドネシア	19.5	13.4	12.4	11.4	12.8	9.9	9.9	10.7	6.7	3.5	2.5	0.7
インドネシア	15.8	10.8	9.2	9.2	10.8	12.0	12.1	14.3	5.0	-1.2	-2.9	-5.1
インドネシア	16.6	11.4	11.2	10.0	11.9	11.8	11.2	12.6	4.7	-0.4	0.0	-2.6
インドネシア	22.1	12.9	11.2	10.2	7.5	8.7	9.0	10.7	14.6	4.2	2.2	-0.5
インドネシア	17.3	11.6	9.9	9.8	10.1	10.1	10.3	12.2	7.2	1.5	-0.4	-2.4
インドネシア	23.0	14.3	13.2	11.9	9.4	7.6	7.9	9.0	13.6	6.7	5.3	2.9
インドネシア	25.7	15.8	13.6	12.1	9.3	8.3	8.2	9.4	16.4	7.5	5.4	2.7
インドネシア	26.3	16.7	15.7	14.1	9.2	9.9	9.6	9.4	17.1	6.8	6.1	4.7

UN, World Population Prospects:1990による国連の最新推計結果（日本も含めて）である。ここには1990年央時において人口総数3,000万人を超えるすべての国，およびそれ未満の主要国を国連資料掲載の地域順に配列した。

表4-6 女子の安定人口動態率, 平均世代間隔および年齢構造係数: 1925~89年

年次	安定人口動態率(%)			安定人口平均世代間隔(年)	安定人口年齢構造係数(%)		
	増加率	出生率	死亡率		0~14歳	15~64歳	65歳以上
1925	15.19	35.95	20.76	29.24	37.57	57.77	4.66
1930	14.19	32.87	18.68	29.56	35.79	58.83	5.38
1937	13.40	30.37	16.97	29.88	34.57	59.49	5.94
1940	11.99	28.60	16.61	30.22	33.59	60.36	6.05
1947	18.09	32.12	14.03	29.89	36.34	58.42	5.24
1950	14.12	25.30	11.18	29.23	32.07	60.87	7.07
1955	1.95	15.86	13.91	28.77	22.23	64.15	13.62
1960	-2.95	12.72	15.67	27.86	18.81	64.63	16.57
1961	-3.56	12.32	15.88	27.80	18.38	64.65	16.98
1962	-3.16	13.11	16.27	27.69	19.56	67.08	13.36
1963	-2.34	12.59	14.93	27.70	18.74	63.96	17.30
1964	-1.50	13.02	14.52	27.70	19.29	64.14	16.57
1965	0.30	13.80	13.50	27.68	20.23	63.72	16.05
1966	-11.08	8.57	19.65	27.73	13.71	62.83	23.47
1967	1.84	14.55	12.71	27.71	21.15	63.58	15.27
1968	0.06	13.47	13.41	27.75	19.86	63.30	16.84
1969	0.05	13.48	13.43	27.76	19.88	63.43	16.68
1970	0.16	13.42	13.26	27.73	19.80	63.06	17.14
1971	0.67	13.57	12.90	27.72	19.97	62.70	17.34
1972	0.48	13.42	12.94	27.65	19.78	62.58	17.64
1973	0.52	13.44	12.93	27.62	19.82	62.65	17.53
1974	-1.03	12.56	13.58	27.54	18.75	62.42	18.84
1975	-3.51	11.25	14.76	27.47	17.12	61.92	20.95
1976	-4.57	10.67	15.24	27.50	16.39	61.48	22.13
1977	-5.51	10.17	15.68	27.60	15.74	61.00	23.25
1978	-5.64	10.03	15.68	27.67	15.55	60.61	23.84
1979	-6.09	9.84	15.93	27.73	15.31	60.60	24.09
1980	-6.48	9.61	16.08	27.79	15.00	60.23	24.77
1981	-6.53	9.54	16.07	27.88	14.91	60.00	25.09
1982	-5.84	9.77	15.60	27.98	15.19	59.79	25.02
1983	-5.22	10.01	15.23	28.06	15.49	59.78	24.72
1984	-4.94	10.06	14.99	28.17	15.54	59.47	24.99
1985	-5.84	9.64	15.47	28.32	15.00	59.18	25.81
1986	-6.68	9.18	15.86	28.45	14.39	58.40	27.22
1987	-7.27	8.92	16.19	28.60	14.05	58.22	27.73
1988	-7.91	8.64	16.55	28.76	13.68	57.93	28.40
1989	-9.69	7.94	17.63	28.92	12.74	57.35	29.90

人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数によって算出したものであるが、計算に用いた人口は、1940年以前は総人口、1947年以降は日本人人口である。なお、1947~72年は沖縄県を含まない。

安定人口は、その理論においても実際の計算方法においても、前掲の標準化動態率や再生産率に比べ、いっそう複雑な性質を有している。いま、女子人口について計算された年齢別女児出生率 $[r_f(x)]$ および年齢別死亡率 $[m_f(x)]$ が、その年以後共に全く一定不変のまま継続していくとする。移出入は全くないものとする。そのような条件の下に置かれた場合、その女子人口の年齢構造は初めのうちは変動を続けていくが、十分長い期間を経た後には、年齢構造が全く変動しなくなってしまっており、いわゆる安定した年齢構造を現わす。つまり、最初は過去の諸条件を背負い込んでいた年齢構造も、一定の出生秩序と死亡秩序を十分長い間(仮定的計算の下で)与えられることによって、それらの諸条件から解放されて、その一定の出生秩序と死亡秩序とによってのみ純粋に規定された年齢構造に到達してしまう。このような人口を安定人口という。安定状態に達したとき、年齢構造が一定であれば各年齢における出生率、死亡率が一定であるから、普通出生率、死亡率も一定となり、したがって自然増加率も一定となる。つまり、年齢構造とともに普通出生率、死亡率および自然増加率、すなわち、安定人口動態率のすべてが一定不変となる。安定人口増加率は、人口がポテンシャルとして持っている自然増加率を意味する。

表5-1 国籍別出生数：1872～1989年

年次	総数	日本人	外国人	年次	総数	日本人	外国人
1872 ¹⁾	...	569,034	...	1935	...	2,190,704	...
1873	...	809,487	...	1936	...	2,101,969	...
1874	...	836,113	...	1937	...	2,180,734	...
1875	...	869,126	...	1938	...	1,928,321	...
1876	...	902,946	...	1939	...	1,901,573	...
1877	...	890,518	...	1940	...	2,115,867	...
1878	...	874,883	...	1941	...	2,277,283	...
1879	...	876,719	...	1942	...	2,233,660	...
1880	...	883,584	...	1943	...	2,253,535	...
1881	...	941,343	...	1944
1882	...	922,715	...	1945
1883	...	1,004,989	...	1946
1884	...	975,252	...	1947	...	2,678,792	...
1885	...	1,024,574	...	1948	...	2,681,624	...
1886	...	1,050,617	...	1949	...	2,696,638	...
1887	...	1,058,137	...	1950	...	2,337,507	...
1888	...	1,172,729	...	1951	...	2,137,689	...
1889	...	1,209,910	...	1952	...	2,005,162	...
1890	...	1,145,374	...	1953	...	1,868,040	...
1891	...	1,086,775	...	1954	...	1,769,580	...
1892	...	1,207,034	...	1955	1,746,299	1,730,692	15,607
1893	...	1,178,428	...	1956	1,680,452	1,665,278	15,174
1894	...	1,208,983	...	1957	1,581,087	1,566,713	14,374
1895	...	1,246,427	...	1958	1,667,802	1,653,469	14,333
1896	...	1,282,178	...	1959	1,639,721	1,626,088	13,633
1897	...	1,334,125	...	1960	1,619,175	1,606,041	13,134
1898	...	1,369,638	...	1961	1,602,181	1,589,372	12,809
1899	...	1,386,981	...	1962	1,631,417	1,618,616	12,801
1900	...	1,420,534	...	1963	1,672,531	1,659,521	13,010
1901	...	1,501,591	...	1964	1,730,439	1,716,761	13,678
1902	...	1,510,835	...	1965	1,837,476	1,823,697	13,779
1903	...	1,489,816	...	1966	1,371,649	1,360,974	10,675
1904	...	1,440,371	...	1967	1,949,846	1,935,647	14,199
1905	...	1,452,770	...	1968	1,884,511	1,871,839	12,672
1906	...	1,394,295	...	1969	1,903,149	1,889,815	13,334
1907	...	1,614,472	...	1970	1,947,944	1,934,239	13,705
1908	...	1,662,815	...	1971	2,015,251	2,000,973	14,278
1909	...	1,693,850	...	1972	2,053,269	2,038,682	14,587
1910	...	1,712,857	...	1973	2,106,523	2,091,983	14,540
1911	...	1,747,803	...	1974	2,043,810	2,029,989	13,821
1912	...	1,737,674	...	1975	1,914,707	1,901,440	13,267
1913	...	1,757,441	...	1976	1,845,374	1,832,617	12,757
1914	...	1,808,402	...	1977	1,767,267	1,755,100	12,167
1915	...	1,799,326	...	1978	1,720,394	1,708,643	11,751
1916	...	1,804,822	...	1979	1,654,094	1,642,580	11,514
1917	...	1,812,413	...	1980	1,588,632	1,576,889	11,743
1918	...	1,791,992	...	1981	1,540,666	1,529,455	11,211
1919	...	1,778,685	...	1982	1,526,912	1,515,392	11,520
1920	...	2,025,564	...	1983	1,520,338	1,508,687	11,651
1921	...	1,990,876	...	1984	1,501,569	1,489,780	11,789
1922	...	1,969,314	...	1985	1,437,375	1,431,577	5,798
1923	...	2,043,297	...	1986	1,388,878	1,382,946	5,932
1924	...	1,998,520	...	1987	1,354,232	1,346,658	7,574
1925	...	2,086,091	...	1988	1,321,619	1,314,006	7,613
1926	...	2,104,405	...	1989	1,253,981	1,246,802	7,179
1927	...	2,060,737	...				
1928	...	2,135,852	...				
1929	...	2,077,026	...				
1930	...	2,085,101	...				
1931	...	2,102,784	...				
1932	...	2,182,742	...				
1933	...	2,121,253	...				
1934	...	2,043,783	...				

表5-2 性別出生数および出生性比：1872～1989年

年次	男	女	出生性比 ¹⁾
1872	290,836	278,198	104.5
1880	452,327	431,257	104.9
1890	586,121	559,253	104.8
1900	727,916	692,618	105.1
1910	872,779	840,078	103.9
1920	1,035,134	990,430	104.5
1930	1,069,551	1,015,549	105.3
1940	1,084,282	1,031,585	105.1
1941	1,165,437	1,111,846	104.8
1942	1,145,068	1,088,592	105.2
1943	1,155,983	1,097,552	105.3
1944
1945
1946
1947	1,376,986	1,301,806	105.8
1948	1,378,564	1,303,060	105.8
1949	1,380,008	1,316,630	104.8
1950	1,203,111	1,134,396	106.1
1951	1,094,641	1,043,048	104.9
1952	1,028,061	977,101	105.2
1953	957,524	910,516	105.2
1954	911,212	858,368	106.2
1955	889,670	841,022	105.8
1956	856,084	809,194	105.8
1957	805,220	761,493	105.7
1958	848,733	804,736	105.5
1959	835,822	790,266	105.8
1960	824,761	781,280	105.6
1961	817,599	771,773	105.9
1962	833,269	785,347	106.1
1963	852,561	806,960	105.7
1964	882,924	833,837	105.9
1965	935,366	888,331	105.3
1966	705,463	655,511	107.6
1967	927,778	942,869	105.3
1968	967,996	903,843	107.1
1969	977,687	912,128	107.2
1970	1,000,403	933,836	107.1
1971	1,032,937	968,036	106.7
1972	1,051,389	987,293	106.5
1973	1,077,517	1,014,466	106.2
1974	1,046,538	983,451	106.4
1975	979,091	922,349	106.2
1976	943,829	888,788	106.2
1977	903,380	851,720	106.1
1978	879,149	829,494	106.0
1979	845,884	796,696	106.2
1980	811,418	765,471	106.0
1981	786,596	742,859	105.9
1982	777,855	737,537	105.5
1983	775,206	733,481	105.7
1984	764,597	725,183	105.4
1985	735,284	696,293	105.6
1986	711,301	671,645	105.9
1987	692,304	654,354	105.8
1988	674,883	639,123	105.6
1989	640,506	606,296	105.6

日本人のみ。以下、出生統計については同様。表5-1注参照。

1) 女100に対する男の数。

1872～99年は内閣統計局『帝國統計年鑑』による。1900年以降は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947～72年は沖縄県を含まない。日本で発生した出生数。この他に、外国で発生した日本人の出生があるが、ここには掲げていない。前年以前の出生の届け出数は含まれていない。1985年以後父または母が日本人であるとき出生児は日本人となり、1984年以前は父が日本人であるときのみ日本人となった。1949年以前は国籍法により日本人と外国人のままの婚姻は存在しないので、外国人の母から生まれる日本人は存在しなかった。1) 2月1日～12月2日。

表5-3 出生数および出生率の要因分解：1920～89年

年次	実数(1,000人)				率					
	出生数 (1)	20～34歳 有配偶 女子人口 (2)	20～34歳 女子人口 (3)	総人口 (4)	粗出生率 (1)/(4)	20～34歳 女子有配 偶出生率 (1)/(2)	20～34歳 女子有配 偶率 (2)/(3)	20～34歳 女子人口 割合 (3)/(4)	20～34歳 有配偶女子 人口割合 (2)/(4)	20～34歳 出生率 (1)/(3)
1920	2,026	4,720	5,986	55,963	0.0362	0.429	0.788	0.107	0.084	0.338
1925	2,086	5,163	6,419	59,737	0.0349	0.404	0.804	0.107	0.086	0.325
1930	2,085	5,543	7,107	64,450	0.0324	0.376	0.780	0.110	0.086	0.293
1935	2,191	5,834	7,857	69,254	0.0316	0.376	0.742	0.113	0.084	0.275
1940	2,116	5,739	8,304	71,933	0.0294	0.369	0.691	0.115	0.080	0.255
1947	2,679	...	9,546	78,101	0.0343	0.122	...	0.281
1950	2,338	6,689	10,095	83,200	0.0281	0.349	0.663	0.121	0.080	0.232
1955	1,746	7,117	11,355	89,276	0.0196	0.245	0.627	0.127	0.080	0.154
1960	1,619	7,693	12,079	93,419	0.0173	0.210	0.637	0.129	0.082	0.134
1965	1,837	8,408	12,889	98,275	0.0187	0.219	0.652	0.131	0.086	0.143
1970	1,948	8,927	14,211	103,720	0.0188	0.218	0.628	0.137	0.086	0.137
1975	1,915	9,692	14,497	111,940	0.0171	0.198	0.669	0.130	0.087	0.132
1980	1,589	8,907	13,727	117,060	0.0136	0.178	0.649	0.117	0.076	0.116
1985	1,437	7,217	12,406	121,049	0.0119	0.199	0.582	0.102	0.060	0.116
1986	1,389	6,909	12,103	121,672	0.0114	0.201	0.571	0.099	0.057	0.115
1987	1,354	6,663	12,059	122,264	0.0111	0.203	0.553	0.099	0.054	0.112
1988	1,322	6,453	12,056	122,783	0.0108	0.205	0.535	0.098	0.053	0.110
1989	1,254	6,330	12,139	123,255	0.0102	0.198	0.521	0.098	0.051	0.103

総務庁統計局「国勢調査報告」、厚生省統計情報部「人口動態統計」による。有配偶人口、有配偶率は1986、87、88年は研究資料「わが国女子の世代結婚表：1950～87年」、1989年は総務庁統計局「労働力調査年報」による。(1)/(2)：20～34歳女子有配偶出生率は出生がこの女子からのみ発生すると仮定した出生率。これにより次のように分解される。
出生数：(1)=(1)/(2)×(2)/(3)×(3)、あるいは粗出生率：(1)/(4)=(1)/(2)×(2)/(3)×(3)/(4)。

表5-4 父母の国籍別出生児数：1987～89年

年次	総数	実数				総数	割合(%)			
		父日本人 母日本人	父日本人 母外国人	父外国人 母日本人	父外国人 母外国人		父日本人 母日本人	父日本人 母外国人	父外国人 母日本人	父外国人 母外国人
1987	1,354,232	1,336,636	5,538	4,484	7,574	100.00	98.70	0.41	0.33	0.56
1988	1,321,619	1,302,832	6,615	4,559	7,613	100.00	98.58	0.50	0.34	0.58
1989	1,253,971	1,234,626	7,390	4,786	7,179	100.00	98.46	0.59	0.38	0.57

父日本人母日本人には母日本人の非嫡出児(1989年12,826人)を、父外国人母外国人には母外国人の非嫡出児(1989年466人)をそれぞれ含む。父または母が日本人である出生児は日本国籍となる。

表5-5 母の年齢(5歳階級)別出生数：1947～89年

年次	総数	19歳以下	20～24	25～29	30～34	35～39	40歳以上	不詳
実数								
1947	2,577,212	53,289	583,981	799,532	627,010	387,458	125,175	767
1950	2,279,718	51,286	608,589	778,623	484,808	271,691	84,175	546
1955	1,730,692	25,219	469,027	691,349	372,175	138,158	34,761	3
1960	1,606,041	19,739	447,097	745,253	300,684	78,104	15,159	5
1965	1,823,697	17,719	513,645	854,399	355,269	72,355	10,308	2
1970	1,934,239	20,177	513,172	951,246	358,375	80,581	10,408	280
1975	1,901,440	15,999	479,041	1,014,624	320,060	62,663	9,046	7
1980	1,576,889	14,590	296,854	810,204	388,935	59,127	7,169	10
1985	1,431,577	17,877	247,341	682,885	381,466	93,501	8,469	38
1986	1,382,946	17,707	237,159	652,221	371,306	96,731	7,787	35
1987	1,346,658	17,558	225,098	634,440	364,838	95,776	8,912	36
1988	1,314,006	17,334	214,393	611,998	364,186	94,967	11,101	27
1989	1,246,802	17,198	202,369	566,095	356,728	92,240	12,137	35
割合								
1947	100.0	2.1	22.7	31.0	24.3	15.0	4.9	0.0
1950	100.0	2.2	26.7	34.2	21.3	11.9	3.7	0.0
1955	100.0	1.5	27.1	39.9	21.5	8.0	2.0	0.0
1960	100.0	1.2	27.8	46.4	18.7	4.9	0.9	0.0
1965	100.0	1.0	28.2	46.8	19.5	4.0	0.6	0.0
1970	100.0	1.0	26.5	49.2	18.5	4.2	0.5	0.0
1975	100.0	0.8	25.2	53.4	16.8	3.3	0.5	0.0
1980	100.0	0.9	18.8	51.4	24.7	3.7	0.5	0.0
1985	100.0	1.2	17.3	47.7	26.6	6.5	0.6	0.0
1986	100.0	1.3	17.1	47.2	26.8	7.0	0.6	0.0
1987	100.0	1.3	16.7	47.1	27.1	7.1	0.7	0.0
1988	100.0	1.3	16.3	46.6	27.7	7.2	0.8	0.0
1989	100.0	1.4	16.2	45.4	28.6	7.4	1.0	0.0

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。

表5-6 母の年齢（5歳階級）別、嫡出でない子の出生数：1947～89年

年次	総数	19歳以下	20～24	25～29	30～34	35～39	40歳以上	不詳
	実数							
1947	101,580	7,934	31,677	27,069	18,319	11,527	4,530	524
1950	57,789	5,079	16,208	15,618	11,432	7,090	2,302	60
1955	29,018	1,723	7,465	8,524	6,407	3,755	1,141	3
1960	19,612	1,167	4,821	6,353	4,239	2,391	639	2
1965	17,452	946	4,555	5,513	3,986	1,948	502	2
1970	17,982	999	4,849	5,737	3,914	2,013	457	13
1975	15,266	834	3,273	5,220	3,719	1,758	458	4
1980	12,548	1,103	2,449	3,340	3,500	1,735	411	10
1985	14,168	1,604	2,803	3,178	3,252	2,635	658	38
1987	13,138	1,625	2,747	3,043	2,703	2,392	592	36
1988	13,324	1,714	2,801	3,106	2,669	2,262	745	27
1989	12,826	1,687	2,686	3,047	2,635	1,987	749	35
	割合 (%)							
1947	3.8	13.0	5.1	3.3	2.8	2.9	3.5	68.3
1950	2.5	9.0	2.6	2.0	2.3	2.5	2.7	11.0
1955	1.7	6.8	1.6	1.2	1.7	2.7	3.3	100.0
1960	1.2	5.9	1.1	0.9	1.4	3.1	4.2	40.0
1965	1.0	5.3	0.9	0.6	1.1	2.7	4.9	100.0
1970	0.9	5.0	0.9	0.6	1.1	2.5	4.4	4.6
1975	0.8	5.2	0.7	0.5	1.2	2.8	5.1	57.1
1980	0.8	7.6	0.8	0.4	0.9	2.9	5.7	100.0
1985	1.0	9.0	1.1	0.5	0.9	2.8	7.8	100.0
1987	1.0	9.3	1.2	0.5	0.7	2.5	6.6	100.0
1988	1.0	9.9	1.3	0.5	0.7	2.4	6.7	100.0
1989	1.0	9.8	1.3	0.5	0.7	2.2	6.2	100.0

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。割合は各年齢の出生総数に対する割合。

表5-7 出生順位別出生数：1950～89年

年次	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子～
	実数					
1950	2,337,507	634,324	654,572	384,455	247,790	415,163
1955	1,730,692	573,592	455,512	330,192	193,906	177,479
1960	1,606,041	714,827	522,867	221,595	79,718	67,017
1965	1,823,697	866,485	685,027	203,913	44,523	23,700
1970	1,934,239	878,979	753,834	245,824	40,207	15,395
1975	1,901,440	862,356	767,669	224,576	33,994	12,845
1980	1,576,889	667,683	642,573	227,604	29,901	9,128
1985	1,431,577	602,005	562,920	225,304	32,597	8,751
1987	1,346,658	569,887	523,799	214,026	30,961	7,985
1988	1,314,006	554,400	509,040	211,317	31,336	7,913
1989	1,246,802	535,128	475,022	199,027	30,204	7,421
	割合 (%)					
1950	100.0	27.2	28.0	16.5	10.6	17.8
1955	100.0	33.1	26.3	19.1	11.2	10.3
1960	100.0	44.5	32.6	13.8	5.0	4.2
1965	100.0	47.5	37.6	11.2	2.4	1.3
1970	100.0	45.4	39.0	12.7	2.1	0.8
1975	100.0	45.4	40.4	11.8	1.8	0.7
1980	100.0	42.3	40.7	14.4	1.9	0.6
1985	100.0	42.1	39.3	15.7	2.3	0.6
1987	100.0	42.3	38.9	15.9	2.3	0.6
1988	100.0	42.2	38.7	16.1	2.4	0.6
1989	100.0	42.9	38.1	16.0	2.4	0.6

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。総数には出生順位不詳が含まれている。

表5 - 8 女子人口の出生力および再生産力：1925～2025年

年次	合計特殊出生率 (1)	総再生産率 (2)	純再生産率 (3)	再生産残存率 (3)/(2) (4)	静止粗再生産率 (1)/(3) (5)	年次	将来推計 (中位) 合計特殊出生率
1925	5.107	2.511	1.559	0.621	3.276	1986	1.755
1930	4.713	2.297	1.521	0.662	3.099	1987	1.775
1937	4.363	2.131	1.492	0.700	2.924	1988	1.796
1940	4.113	2.006	1.437	0.716	2.862	1989	1.818
1947	4.541	2.208	1.717	0.778	2.645	1990	1.839
1950	3.650	1.772	1.511	0.853	2.416	1991	1.860
1955	2.369	1.152	1.058	0.918	2.239	1992	1.880
1960	2.004	0.975	0.921	0.945	2.176	1993	1.897
1961	1.961	0.952	0.906	0.952	2.164	1994	1.912
1962	1.976	0.958	0.916	0.956	2.157	1995	1.925
1963	2.005	0.975	0.937	0.961	2.140	1996	1.935
1964	2.049	0.995	0.959	0.964	2.137	1997	1.943
1965	2.139	1.042	1.008	0.967	2.122	1998	1.949
1966	1.578	0.760	0.735	0.967	2.147	1999	1.954
1967	2.226	1.084	1.052	0.970	2.116	2000	1.958
1968	2.134	1.030	1.002	0.973	2.130	2001	1.961
1969	2.131	1.029	1.001	0.973	2.129	2002	1.963
1970	2.135	1.031	1.004	0.974	2.126	2003	1.965
1971	2.157	1.044	1.019	0.976	2.117	2004	1.967
1972	2.142	1.037	1.013	0.977	2.115	2005	1.969
1973	2.140	1.038	1.014	0.977	2.110	2006	1.970
1974	2.049	0.992	0.972	0.980	2.108	2007	1.972
1975	1.909	0.926	0.908	0.981	2.102	2008	1.974
1976	1.852	0.898	0.882	0.982	2.100	2009	1.975
1977	1.801	0.874	0.859	0.983	2.097	2010	1.977
1978	1.792	0.870	0.855	0.984	2.095	2011	1.978
1979	1.769	0.858	0.845	0.985	2.093	2012	1.980
1980	1.747	0.848	0.835	0.985	2.091	2013	1.981
1981	1.741	0.846	0.833	0.986	2.089	2014	1.983
1982	1.770	0.861	0.849	0.986	2.085	2015	1.984
1983	1.801	0.875	0.864	0.987	2.084	2020	1.992
1984	1.811	0.882	0.870	0.987	2.081	2025	2.000
1985	1.764	0.858	0.848	0.988	2.081		
1986	1.723	0.837	0.827	0.988	2.084		
1987	1.691	0.822	0.812	0.988	2.083		
1988	1.656	0.806	0.796	0.989	2.080		
1989	1.572	0.764	0.756	0.989	2.080		

人口問題研究所の『人口問題研究』その他の資料による。国勢調査人口およびそれに基づく推計人口、人口動態統計による出生数ならびに生命表の生残数によって算出したものであるが、計算に用いた人口は1940年以前は総人口、1947年以降は日本人人口である。なお、1947年～72年には沖縄県を含んでいない。欄(1)の合計特殊出生率 (total fertility rate, 粗再生産率, 平均子供数ともいう) は、ある年の女子人口の年齢別出生率($f_F(x)$)の合計値である。この指標は、1人の女子が生まれた後、一生の間に $f_F(x)$ に基づいて、子どもを生むと仮定した場合の平均出生児数である。欄(2)は、これを女兒だけに限定して求めた同様な指標で、総再生産率と呼ばれる (gross reproduction rate これを粗再生産率という人もある)。欄(3)は、さらに子世代の母親の年齢までの死亡率を考慮に入れたときの女兒数を表わす。この純再生産率の計算は、総再生産率の計算の場合と同様に、出生力としては、その年の女子の年齢別女兒出生率($Ff_F(x)$)を用い(2代目の女子の)生残率としては、同時期の生命表の静止人口($L_F(x)$)を用いる。総再生産率においては女兒の死亡を考慮に入れず、だれも死亡しないと仮定した場合、1人の女子が生んだ平均出生女兒数であるのに対して、純再生産率では母親の年齢に達するまでに死亡率の適用を受ける結果の女兒の数の減少を考慮に入れているのである。欄(4)は、女兒の死亡を見込んだ場合の次代の出生女兒数が、死亡を見込まない場合と比べてどれだけ減るかを歩留りの形で表わした比率。欄(5)はその年次の純再生産率がもし1であったとするならば、合計特殊出生率 (粗再生産率) はどれだけになるかを表わす。

表5-9 世界の主要地域別にみた合計特殊出生率：1950～2025年

地域	1950～55年	1960～65年	1970～75年	1980～85年	1990～95年	1995～2000年	2000～05年	2010～15年	2020～25年
世界全域	5.00	4.98	4.46	3.60	3.31	3.14	2.96	2.58	2.27
先進地域	2.84	2.69	2.20	1.93	1.88	1.90	1.91	1.93	1.94
発展途上地域	6.19	6.09	5.41	4.19	3.71	3.47	3.20	2.71	2.32
アフリカ	6.65	6.79	6.62	6.40	6.03	5.70	5.31	4.25	3.04
ラテンアメリカ	5.87	5.96	4.99	3.93	3.25	3.00	2.81	2.56	2.39
北部アメリカ	3.47	3.34	1.97	1.80	1.83	1.86	1.88	1.94	1.94
アジア	5.92	5.71	5.06	3.71	3.26	3.02	2.75	2.30	2.06
東アジア	5.72	5.35	4.40	2.31	2.19	2.06	1.89	1.81	1.80
南東部アジア	5.99	5.89	5.26	4.27	3.30	2.95	2.61	2.22	2.10
南部アジア	6.11	6.03	5.76	5.14	4.44	4.01	3.57	2.65	2.16
西部アジア	6.82	6.54	5.97	5.35	4.74	4.33	3.96	3.33	2.72
ヨーロッパ	2.59	2.63	2.19	1.81	1.72	1.74	1.78	1.83	1.85
オセアニア	3.83	3.94	3.21	2.61	2.41	2.34	2.26	2.13	2.02
ソビエト連邦	2.82	2.54	2.44	2.35	2.30	2.25	2.20	2.10	2.10

UN, *World Population Prospects:1990* による。

表5-10 主要国の合計特殊出生率、純再生産率および婦人子供比：最新年次

国	(年次)	合計特殊出生率	純再生産率	婦人子供比	国	(年次)	合計特殊出生率	純再生産率	婦人子供比
アフリカ					ヨーロッパ(つづき)				
モーリシャス ¹⁾	(1987)	2.001	0.968 ⁷⁾	380.9 ⁷⁾	チェコスロバキア	(1986)	2.019	0.990 ⁸⁾	318.6 ⁸⁾
セイシェル	(1987)	3.057	0.550 ⁷⁾	536.9 ⁷⁾	東ドイツ ³⁾	(1985)	1.756	0.827	276.8
エジプト	(1982)	5.276	...	584.6	ハンガリー	(1987)	1.810	0.867 ⁷⁾	256.3 ⁷⁾
ケープベルデ	(1985)	4.657	...	711.5	ポーランド	(1987)	2.155	1.100 ⁷⁾	374.2 ⁷⁾
アメリカ					ルーマニア	(1988)	1.561	1.131 ¹²⁾	340.4 ¹²⁾
キューバ	(1986)	1.697	0.910 ⁷⁾	284.9 ⁷⁾	デンマーク	(1986)	1.477	0.743 ¹⁴⁾	207.7 ⁷⁾
パナマ	(1986)	3.069	1.552 ⁸⁾	539.1 ⁸⁾	フィンランド	(1986)	1.600	0.795 ⁷⁾	259.2 ⁷⁾
アルゼンチン	(1980)	3.351	1.570	480.0	アイルランド	(1988)	2.168	1.103 ⁹⁾	428.2 ⁸⁾
ブラジル	(1986)	2.371	...	553.1 ⁸⁾	ノルウェー	(1988)	1.841	0.843 ⁹⁾	257.1 ⁸⁾
チリ	(1986)	2.390	1.080 ⁷⁾	423.0 ⁷⁾	スウェーデン	(1988)	1.961	0.886 ⁹⁾	215.7 ⁷⁾
カナダ	(1987)	1.622	0.792	273.0	イギリス ⁴⁾	(1988)	1.820	0.860 ⁹⁾	259.1 ⁷⁾
グリーンランド	(1987)	2.084	1.021 ⁷⁾	346.3 ⁷⁾	ギリシャ	(1987)	1.515	0.713 ⁹⁾	289.3
アメリカ合衆国	(1986)	1.835	0.863 ⁸⁾	288.0 ⁸⁾	イタリア	(1987)	1.320	...	219.0 ⁸⁾
アジア					ポルトガル	(1987)	1.565	0.740 ⁹⁾	286.0 ⁷⁾
ホンコン	(1987)	1.289	0.695	295.8	スペイン	(1986)	1.520	...	343.2
日本	(1989)	1.572	0.812 ⁹⁾	230.6 ⁹⁾	ユーゴスラビア	(1985)	2.048	0.937 ¹³⁾	326.4 ¹³⁾
マレーシア ²⁾	(1987)	3.549	1.772	532.4	オーストリア	(1988)	1.442	0.691 ¹⁴⁾	236.7
フィリピン	(1986)	3.360	...	664.4 ¹⁰⁾	ベルギー	(1988)	1.570	0.752 ¹⁴⁾	254.9
シンガポール	(1987)	1.647	0.760 ⁷⁾	275.2 ⁷⁾	フランス	(1988)	1.821	0.872 ⁹⁾	283.8
タイ	(1987)	1.896	...	490.9 ⁸⁾	西ドイツ ⁵⁾	(1988)	1.423	0.640 ⁹⁾	191.1 ⁷⁾
スリランカ	(1983)	3.160	...	489.7 ¹¹⁾	オランダ	(1987)	1.558	0.755 ⁹⁾	229.8 ⁷⁾
キプロス	(1986)	1.952	1.109 ⁷⁾	375.5 ⁷⁾	スイス	(1987)	1.510	0.720 ⁹⁾	198.8 ⁷⁾
イスラエル	(1986)	3.089	1.477 ⁷⁾	481.0 ⁷⁾	オセアニア				
ヨーロッパ					オーストラリア ⁶⁾	(1983)	1.932	0.923	299.8
ブルガリア	(1986)	2.042	0.934	277.6	ニュージーランド	(1987)	2.023	0.938	299.4

UN, *Demographic Yearbook*, 1987, 1988年版および Council of Europe, *Recent Demographic Developments in the Member States of the Council of Europe*, 1989年版による。Council of Europe報告書など出典の異なる合計特殊出生率は、注7以降に示すように他の指標とその対象年次が異なるものがある。日本については、総務庁統計局【人口推計資料】および厚生省統計情報部【人口動態統計】による。

「婦人子供比」は、15～49歳女子1,000人に対する0～4歳人口比率。

1) モーリシャス島のみ。2) 半島マレーシアのみ。3) 東ベルリンを含む。4) 連合王国。5) 西ベルリンを含む。6) ココス・キリング諸島、クリスマス島およびノーフォーク島を含む。7) 1985年。8) 1984年。9) 1987年。10) 1980年。11) 1982年。12) 1983年。13) 1981年。14) 1988年。

表5-11 主要先進国の合計特殊出生率：1960～89年

	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年
日本	2.00	2.14	2.14	1.91	1.75	1.76	1.72	1.69	1.66	1.57
北アメリカ	3.81	3.11	2.25	1.82	1.70	1.63	...	1.66	*1.65	...
カナダ	1)3.61	2.91	2.48	1.77	1.84	1.84	1.84	1.87	1.93	...
南太	3.45	2.98	2.86	2.22	1.92	...	1.87
オーストラリア	4.03	3.33	3.16	2.37	2.03
北ヨーロッパ	2.54	2.61	1.95	1.92	1.55	1.45	1.48	1.50	1.56	*1.62
ドイツ	2.71	2.40	1.83	1.69	1.63	1.64	1.60	...	*1.59	...
フランス	4.17	3.71	2.81	2.65	2.48	1.93	1.93	2.07	2.27	...
イタリア	3.75	4.03	3.87	3.40	3.23	2.49	2.44	2.35	2.17	*2.11
スペイン	2.83	2.93	2.50	1.98	1.72	1.68	1.71	1.75	1.84	*1.89
スイス	2.17	2.41	1.94	1.78	1.68	1.73	1.79	1.84	1.96	*2.02
イギリス	2.69	2.86	2.45	1.81	1.89	1.80	1.78	1.82	*1.84	*1.85
西ヨーロッパ	2.69	2.68	2.29	1.83	1.65	1.47	1.45	1.43	1.44	*1.44
オーストラリア	2.52	2.59	2.25	1.74	1.69	1.51	1.54	E1.54	*1.56	*1.58
ベルギー	2.73	2.84	2.47	1.93	1.95	1.82	1.84	1.82	1.82	*1.81
西ドイツ	2.37	2.51	2.02	1.45	1.45	1.28	1.35	1.36	1.42	*1.39
ルクセンブルク	2.28	2.34	1.97	1.53	1.51	1.38	1.44	1.41	*1.51	*1.52
オランダ	3.12	3.04	2.57	1.66	1.60	1.51	1.55	1.56	*1.55	*1.55
オーストリア	2.44	2.61	...	1.61	1.55	1.51	1.53	1.51
南ヨーロッパ	2.28	2.30	2.34	2.37	2.23	1.68	1.62	1.52	*1.52	*1.50
ギリシャ	2.41	2.67	2.43	2.21	1.69	1.41	P1.34	P1.32	*1.33	*1.29
イタリア	3.07	3.07	2.76	2.52	2.19	1.70	1.63	1.57	*1.53	...
ポルトガル	2.79	2.90	2.82	2.80	2.22	1.63	P1.52	...	*1.38	*1.30
ユーゴスラビア	...	2.70	2.28	2.26	2.12	2.00	*1.98	...
東ヨーロッパ	2.31	2.08	2.18	2.23	2.05	1.97	2.04	...	*1.90	...
チェコスロバキア	2.39	2.37	2.08	2.46	2.15	...	2.03	...	*2.02	*1.95
エストニア	2.37	2.46	2.17	1.54	1.95	1.76	...	1.81	*1.67	...
ハンガリー	2.02	1.81	1.96	2.38	1.92	1.83	...	2.15	*1.81	*1.80
ポーランド	3.01	2.51	2.23	2.27	2.28	2.33	*2.20	...
ロシア	...	1.91	2.89	2.62	2.45	2.27
ソ連	...	2.46	2.39	2.41	2.26	2.40	2.46	2.53	*2.38	...

P=暫定値 E=推計値、1)ニュージーランドの資料と同じ。2)Indices calculés sur deux années (1980-81 pour l'indice attaché a 1981 etc.) 3)国連人口部による1980-85についての推計。
 日本は、「人口動態統計」、アメリカは、U.S.National Center for Health Statistics, *Vital Statistics of the United States*, annual, and unpublished data. カナダ、オーストラリア、フィンランド、ユーゴスラビア、東ドイツ(ソ連は除く)はUnited Nation, *Demographic Yearbook 1986, 1987, 1988*. ニュージーランドは、Kingsley, D. (et al.), *Below-Replacement Fertility in Industrial Societies*, Vol. 12, 1986. ソ連はL'INED, *Population 1986, 1987, 1988, 1989*. その他の国は、Council of Europe 1982, 1983, 1989. *印は各国中央統計局資料による。

表5-12 主要国の合計特殊出生率：1950～2025年

国	1950～55年	1970～75年	1990～95年	2000～05年	2020～25年	国	1950～55年	1970～75年	1990～95年	2000～05年	2020～25年
エチオピア	6.70	6.80	6.78	6.11	3.55	ネパール	5.64	6.52	5.53	4.35	2.30
インドネシア	6.56	5.53	4.00	2.99	2.07	パキスタン	6.50	7.00	5.94	4.35	2.30
南アフリカ	6.51	5.49	4.17	3.56	2.34	スリランカ	5.74	4.00	2.47	2.07	2.07
ナイジェリア	6.77	6.90	6.60	5.68	2.96	イスラエル	7.17	7.11	5.94	4.92	2.99
キルギスタン	4.10	3.55	1.87	2.04	2.10	イスラエル	4.16	3.77	2.76	2.37	2.08
メキシコ	6.75	6.37	3.11	2.58	2.33	サウジアラビア	7.17	7.30	7.07	6.50	3.59
アメリカ合衆国	3.15	3.15	2.79	2.53	2.24	トルコ	6.85	5.04	3.28	2.36	2.07
ブラジル	6.15	4.70	3.16	2.71	2.28	ブルガリア	2.50	2.17	1.80	1.85	1.90
チリ	5.10	3.63	2.66	2.50	2.25	チェコスロバキア	2.89	2.34	1.95	1.90	1.90
ペルー	6.85	6.00	3.57	2.89	2.23	ハンガリー	2.72	2.08	1.75	1.80	1.80
カナダ	3.70	1.97	1.65	1.75	1.80	ポーランド	3.62	2.25	2.10	2.05	2.05
アメリカ合衆国	3.45	1.97	1.85	1.90	1.95	スウェーデン	2.87	2.63	2.00	1.85	1.90
中国	6.24	4.76	2.25	1.90	1.80	スイス	2.21	1.89	1.87	1.82	1.80
日本	4.43	2.89	1.40	1.50	1.50	イギリス	2.18	2.04	1.83	1.87	1.90
北朝鮮	2.75	2.07	1.70	1.80	1.80	ギリシャ	2.29	2.32	1.65	1.75	1.90
韓国	5.18	4.11	1.65	1.70	1.80	ポルトガル	2.32	2.27	1.40	1.50	1.60
インドネシア	6.29	5.53	4.41	3.79	2.30	アイスランド	3.05	2.76	1.70	1.80	1.90
インドネシア	5.49	5.10	3.10	2.30	2.10	オーストラリア	2.57	2.89	1.65	1.75	1.90
ラオス	6.15	6.15	6.69	5.31	2.42	ユーゴスラビア	3.69	2.32	1.87	1.82	1.90
マレーシア	6.83	5.15	3.50	2.50	2.10	オーストラリア	2.09	2.01	1.50	1.60	1.70
フィリピン	5.64	5.43	3.69	3.07	2.07	オーストラリア	2.34	1.94	1.65	1.75	1.80
ミャンマー(ビルマ)	7.29	5.29	3.91	3.09	2.08	ベトナム	2.73	2.31	1.82	1.87	1.90
フィリピン	6.41	2.63	1.80	1.80	1.80	西ドイツ	2.08	1.62	1.43	1.60	1.70
タイ	6.62	5.01	2.20	2.07	2.07	東ドイツ	2.37	1.71	1.65	1.75	1.80
ベトナム	6.05	5.85	3.70	2.90	2.10	オーストラリア	3.06	1.97	1.60	1.70	1.70
インドネシア	6.66	7.02	5.13	4.30	2.30	アイスランド	2.28	1.82	1.55	1.60	1.70
インドネシア	5.97	5.43	4.10	3.28	2.07	ニュージーランド	3.18	2.54	1.80	1.85	1.90
インドネシア	7.13	6.54	4.70	3.90	2.30	ニュージーランド	3.54	2.79	1.95	1.90	1.90
						ソ連	2.82	2.44	2.30	2.20	2.10

UN, *World Population Prospects: 1990* による。

表5 - 13 女子の年齢(5歳階級)別出生率および平均出生年齢：1930～89年

(%)

年 齢	1930年	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1989年
15～19	31.5	13.3	5.9	4.3	3.3	4.5	4.1	3.6	4.1	3.5
20～24	200.6	161.5	112.0	107.2	113.0	96.6	107.0	77.1	61.8	47.4
25～29	249.1	237.8	181.5	181.9	204.2	209.3	190.1	181.5	177.9	146.4
30～34	217.4	175.7	112.8	80.1	86.8	86.0	69.6	73.1	85.5	91.9
35～39	163.4	104.9	49.7	24.0	19.4	19.8	15.0	12.9	17.6	19.6
40～44	71.8	36.1	12.7	5.2	3.1	2.7	2.1	1.7	1.8	2.4
45～49	7.9	2.1	0.7	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
総出生率 ¹⁾	137.4	110.4	74.7	63.8	65.6	65.8	62.9	51.8	46.7	40.0
平均出生年齢 ²⁾	30.28	29.62	28.85	27.87	27.70	27.75	27.46	27.75	28.28	28.84

厚生省統計情報部『人口動態統計』に基づく。母の年齢別出生数の各年齢階級別女子人口1,000についての率であるが、1930年は日本に在住する外国人を含む総人口を、1950年以降は日本人人口を分母としている。なお、年齢不詳分も既知の年齢別数値の割合に応じて按分補整している。1950～70年は沖縄県を含まない。

1) 再生産年齢(15～49歳)女子人口についての出生率。2) 年齢(各歳)別出生率による平均出生年齢。

表5 - 14 主要国の女子の年齢(5歳階級)別にみた出生率：最新年次

(%)

年 齢	西ドイツ ¹⁾ (1986年)	スウェーデン (1987年)	東ドイツ ²⁾ (1985年)	イギリス ³⁾ (1987年)	フランス (1987年)	アメリカ合衆国 (1986年)	オーストラリア (1983年)	タ イ (1987年)	ルーマニア (1985年)	チ リ (1986年)
15～19	8.6	11.0	43.8	30.9	10.1	51.7	26.5	40.2	57.8	59.2
20～24	57.7	83.6	160.8	93.9	86.3	108.2	102.7	112.3	191.4	134.3
25～29	108.2	139.0	100.1	125.5	143.3	109.2	146.1	99.8	121.1	131.7
30～34	70.0	95.2	34.7	81.3	85.3	69.3	81.5	64.7	55.2	89.9
35～39	23.8	33.2	10.4	26.6	31.4	24.3	25.0	35.2	21.4	48.0
40～44	3.6	5.7	1.3	4.8	7.3	4.1	4.3	16.7	5.1	13.8
45～49	0.2	0.2	0.1	0.4	0.4	0.2	0.2	10.2	0.4	1.4
総出生率	40.1	52.2	54.4	55.3	56.3	59.1	62.2	63.0	65.2	79.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1988年版による。配列は総出生率の低位順。なお、上表を参照。

1) 西ベルリンを含む。2) 東ベルリンを含む。3) イングランド=ウェールズのみ。

表5 - 15 男子の年齢(5歳階級)別出生率および平均出生年齢：1955～89年

年 齢	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1988年	1989年
15～19	0.00043	0.00028	0.00028	0.00116	0.00070	0.00080	0.00113	0.00098	0.00093
20～24	0.03477	0.02738	0.03003	0.06144	0.03667	0.02655	0.02629	0.02285	0.02200
25～29	0.17350	0.16373	0.17479	0.23350	0.15764	0.12213	0.11228	0.10047	0.09222
30～34	0.18244	0.15699	0.17236	0.11173	0.14640	0.12417	0.12521	0.12282	0.11764
35～39	0.11005	0.06135	0.05504	0.02076	0.04517	0.04108	0.04693	0.05134	0.05162
40～44	0.05169	0.02115	0.01345	0.00538	0.00938	0.00773	0.00919	0.01055	0.01109
45～49	0.01937	0.00764	0.00395	0.00186	0.00197	0.00152	0.00167	0.00184	0.00191
50～54	0.00567	0.00258	0.00124	0.00057	0.00051	0.00033	0.00034	0.00038	0.00040
55～59	0.00176	0.00081	0.00044	0.00023	0.00014	0.00010	0.00010	0.00010	0.00011
合 計	2.90251	2.21164	2.25904	2.18389	1.99339	1.62227	1.61587	1.55693	1.48978
平均出生年齢	28.86	30.49	30.73	31.01	31.39	31.54

人口問題研究所『人口問題研究』第46巻4号(1991.1)による。非嫡出児、父の年齢不詳については比例配分した。1950～70年は沖縄県を含まない。合計は合計(特殊)出生率で、60歳以上を含む。表5-5を参照。分子・分母は1965年以前は日本人、1970年以降は外国人を含む総人口。

表5-16 有配偶女子の年齢（5歳階級）別にみた出生率：1930～85年

(%)

年 齢	1930年	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
15～19	306.02	407.72	346.43	321.80	253.48	245.67	305.39	384.44	477.18
20～24	333.90	376.36	342.31	341.74	357.22	346.45	349.92	352.20	341.80
25～29	284.44	298.63	237.02	237.21	254.73	258.87	242.87	243.40	260.46
30～34	239.62	209.62	131.53	92.69	98.14	95.04	77.12	82.97	98.54
35～39	183.12	126.29	59.31	27.77	22.03	22.01	16.42	14.29	19.84
40～44	84.01	43.74	15.70	6.35	3.58	3.09	2.40	1.86	2.03
45～49	10.01	2.70	0.90	0.44	0.22	0.20	0.10	0.07	0.07
15～49 ¹⁾	208.77	187.45	129.43	108.58	109.58	104.50	93.42	77.78	72.97

厚生省統計情報部『人口動態統計』による母の年齢別出生数の各年総務庁統計局『国勢調査報告』による当該年齢有配偶女子人口1,000についての率である。有配偶女子人口は、年齢および配偶関係不詳の数値を既知の年齢別、配偶関係別割合に応じて按分補整した有配偶者数。また出生数は、母の年齢が15歳未満、50歳以上、および不詳の出生数につき、15～49歳の既知の年齢別数値の割合に応じて按分補整したものである。なお、1950～70年には沖縄県を含まない。なおまた、この表の分母人口は1975年以前の年次はすべて総人口を、80年以降は日本人人口を用いている。

1) 再生産年齢有配偶女子人口についての特殊出生率で、年齢別有配偶出生率の平均的な指標である。

表5-17 自然・人工別死産数：1950～89年

表5-18 人工妊娠中絶数および優生手術数：1950～89年

年 次	死 産 数			全死産中人工死産の占める割合 (%)
	総 数	自 然	人 工	
1950	216,974	106,594	110,380	50.9
1955	183,265	85,159	98,106	53.5
1960	179,281	93,424	85,857	47.9
1963	175,424	97,711	77,713	44.3
1964	168,046	97,357	70,689	42.1
1965	161,617	94,476	67,141	41.5
1966	148,248	83,253	64,995	43.8
1967	149,389	90,938	58,451	39.1
1968	143,259	87,381	55,878	39.0
1969	139,211	85,788	53,423	38.4
1970	135,095	84,073	51,022	37.8
1971	130,920	83,827	47,093	36.0
1972	125,154	81,741	43,413	34.7
1973	116,171	78,613	37,558	32.3
1974	109,738	74,618	35,120	32.0
1975	101,862	67,643	34,219	33.6
1976	101,930	64,046	37,884	37.2
1977	95,247	60,330	34,917	36.7
1978	87,463	55,818	31,645	36.2
1979	82,311	51,083	31,228	37.9
1980	77,446	47,651	29,795	38.5
1981	79,222	46,296	32,926	41.6
1982	78,107	44,135	33,972	43.5
1983	71,941	40,108	31,833	44.2
1984	72,361	37,976	34,385	47.5
1985	69,009	33,114	35,895	52.0
1986	65,678	31,050	34,628	52.7
1987	63,834	29,956	33,878	53.1
1988	59,636	26,804	32,832	55.1
1989	55,204	24,558	30,646	55.5

厚生省統計情報部『人口動態統計』による妊娠第4月以後の死産の出産数。1972年以前は沖縄県を含まない。

年 次	人 工 妊 娠 中 絶			優 生 手術数
	実 数	実施率 (%)	対出生比 (%)	
1950	489,111	23.0	20.9	11,403
1955	1,170,143	50.2	67.6	43,255
1960	1,063,256	42.0	66.2	38,722
1963	955,092	35.7	57.6	32,666
1964	878,748	42.1	51.2	29,468
1965	843,248	30.2	46.2	27,022
1966	808,378	28.5	59.4	22,991
1967	747,490	26.0	38.6	21,464
1968	757,389	26.0	40.5	18,827
1969	744,451	25.3	39.4	17,356
1970	732,033	24.8	37.8	15,830
1971	739,674	24.9	37.0	14,104
1972	732,653	24.5	35.9	11,916
1973	700,532	23.2	33.5	11,737
1974	679,837	22.4	33.5	10,705
1975	671,597	22.1	35.3	10,100
1976	664,106	21.8	36.2	9,453
1977	641,242	21.1	36.5	9,520
1978	618,044	20.3	36.2	9,336
1979	613,676	20.1	37.4	9,412
1980	598,084	19.5	37.9	9,201
1981	596,569	19.5	39.0	9,516
1982	590,299	19.3	39.0	8,442
1983	568,363	18.5	37.7	8,546
1984	568,916	18.5	38.2	8,194
1985	550,127	17.8	38.4	7,657
1986	527,900	17.1	38.2	7,729
1987	497,756	16.0	37.0	7,347
1988	486,146	15.6	37.0	7,286
1989	466,876	14.9	37.4	6,984

厚生省統計情報部『優生保護統計報告』による。1972年以前は沖縄県を含まない。人工妊娠中絶実施率は15～49歳女子人口1,000について。対出生比は出生100に対する中絶数。

表5-19 避妊の実行割合：1950～90年

(%)

避妊実行状況	第1回 (1950)	第3回 (1955)	第5回 (1959)	第7回 (1963)	第9回 (1967)	第11回 (1971)	第13回 (1975)	第15回 (1979)	第17回 (1984)	第19回 (1988)	第20回 (1990)
現在実行している	19.5	33.6	42.5	44.0	53.0	52.6	60.5	62.2	57.3	56.3	58.0
前に実行したことがある	9.6	18.8	20.2	19.0	19.2	20.2	21.0	21.5	23.4	19.6	20.4
一度も実行したことがない	63.6	41.6	33.0	29.8	23.1	16.8	13.3	11.7	16.5	20.5	16.5
その他・無回答	7.3	6.0	4.3	7.2	4.7	10.4	5.2	4.5	2.8	3.6	5.1

毎日新聞社人口問題調査会『記録・日本の人口一少産への軌跡：家族計画世論調査・20回全資料』（1990.10）による。毎日新聞社が1950年4月に第1回を行って以来1990年の20回調査まで、ほぼ隔年に実施されている世論調査（標本数約3,000）結果の一部である。

表5-20 避妊経験者および現在避妊実行者の避妊方法別割合：1950～90年

(%)

避妊方法	第1回 (1950)	第5回 (1959)	第9回 (1967)	第11回 (1971)	第13回 (1975)	第15回 (1979)	第17回 (1984)	第18回 (1986)	第19回 (1988)	第20回 (1990)
コンドーム(サック)	35.6	58.3	65.2	72.7	77.8	81.1	80.4	82.1	76.8	73.9
オギノ式定期禁欲法	27.4	46.1	37.4	32.9	29.9	23.1	20.2	21.5	16.3	15.3
I U D, ピル	—	—	6.1	9.6	11.6	11.5	8.5	8.4	7.0	5.7
不妊手術(男・女)	—	6.3	3.6	3.9	4.7	4.0	…	…	7.4	9.8
その他(洗浄法, 性交中 絶法, セリー, ペッサリーなど)	59.3	44.1	26.4	23.7	21.0	13.3	9.4	11.8	6.0	9.0
無回答	10.7	4.2	4.2	1.6	0	1.2	2.0	1.4	2.7	2.5

毎日新聞社『全国家族計画世論調査報告書』による。第1回～第15回までは避妊経験者、第17回～第20回は現在避妊実行者についての割合。多項目選択質問法によるので、合計が100%を超える場合がある。第17回～第20回のオギノ式定期禁欲法には基礎体温法を含む。第17回・18回は不妊手術は含まない。

表5-21 人工妊娠中絶経験者の割合：1952～90年

(%)

中絶経験・回数	第2回 (1952)	第3回 (1955)	第5回 (1959)	第7回 (1963)	第9回 (1967)	第11回 (1971)	第13回 (1975)	第15回 (1979)	第17回 (1984)	第19回 (1988)	第20回 (1990)
受けたことがない	68.4	52.3	42.2	55.9	51.8	50.8	54.4	57.7	55.8	64.8	64.5
受けたことがある	15.4	26.5	35.1	32.0	32.2	37.1	37.5	35.4	39.8	30.0	29.4
1回	—	—	—	—	19.5	20.6	22.0	20.5	21.1	18.5	18.3
2回	—	—	—	—	8.6	11.3	11.0	10.7	12.1	8.4	7.5
3回	—	—	—	—	3.0	3.7	3.3	3.2	4.6	2.0	2.8
4回以上	—	—	—	—	1.1	1.5	1.2	1.0	2.0	1.1	0.8
その他・無回答	16.2	21.2	22.7	12.0	16.0	12.1	8.1	6.9	4.4	5.1	6.1
[平均回数]	—	—	—	—	(1.6)	(1.6)	(1.6)	(1.6)	(1.7)	(1.5)	(1.5)

毎日新聞社『全国家族計画世論調査報告書』による。

表5 - 22 妻の年齢(5歳階級)別にみた既往出生児数：1970～90年

(人)

調査の種類	総数 ¹⁾	妻の年齢					
		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
1970年国勢調査	2.50	0.70	1.34	1.92	2.13	2.38	2.76
第6次出生力調査 (1972年, 人口研)	1.92	0.65	1.40	1.97	2.15	2.26	2.59
世界出生力調査 (1974年, 厚生省)	2.0	0.7	1.4	2.0	2.2	2.3	2.6
第7次出生力調査 (1977年, 人口研)	2.22	0.73	1.35	1.99	2.15	2.19	2.33
第16回全国家族計画世論 調査 (1981年, 毎日)	2.0	0.80	1.42	2.01	2.15	2.21	2.25
第8次出生力調査 (1982年, 人口研)	1.93	0.50	1.28	1.99	2.16	2.21	2.21
第18回全国家族計画世論 調査 (1986年, 毎日)	2.01	0.77	1.34	1.99	2.13	2.23	2.20
第9次出生力調査 (1987年, 人口研)	1.94	0.73	1.29	1.95	2.13	2.16	2.20
第20回全国家族計画世論 調査 (1990年, 毎日)	1.97	0.74	1.24	1.87	2.21	2.10	2.18

毎日新聞社人口問題調査会『記録・日本の人口一少産への軌跡：家族計画世論調査・20回全資料』(1990. 10)による。各調査の結果をまとめたもの。1)調査によって対象年齢の範囲が異なる。

表5 - 23 妻の年齢(5歳階級)別にみた予定子供数：1974～90年

(人)

調査の種類	総数 ¹⁾	妻の年齢					
		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
世界出生力調査 (1974年, 厚生省)	2.2	2.1		2.2		2.3	
第7次出生力調査 (1977年, 人口研)	2.17	2.19	2.15	2.21	2.15	2.11	2.22
第16回全国家族計画世論 調査 (1981年, 毎日)	2.28	2.34	2.38	2.30	2.22	2.20	2.20
第8次出生力調査 (1982年, 人口研)	2.20	2.25	2.29	2.23	2.19	2.17	2.13
第18回全国家族計画世論 調査 (1986年, 毎日)	2.27	2.21	2.35	2.36	2.26	2.23	2.19
第9次出生力調査 (1987年, 人口研)	2.22	2.26	2.35	2.28	2.20	2.14	2.14
第20回全国家族計画世論 調査 (1990年, 毎日)	2.25	2.22	2.34	2.35	2.31	2.13	2.19

上表と同じ。予定子供数とは、現在子供数に追加予定(希望：毎日)子供数をたしたもの。1)調査によって、対象年齢の範囲が異なる。

表5 - 24 有配偶女子の出生コーホート別にみた出生児数別割合および平均出生児数：1890年以前～1947年生まれ

出生コーホート	調査年次	調査時年齢	出生児数別有配偶女子割合 (%)					平均出生児数(人)
			無子	1人	2人	3人	4人以上	
1890年以前	1950	60歳以上	11.8	6.8	6.6	8.0	66.8	4.96
1891～1895	1950	55～59	10.1	7.3	6.8	7.6	68.2	5.07
1896～1900	1950	50～54	9.4	7.6	6.9	8.3	67.8	5.03
1901～1905	1950	45～49	8.6	7.5	7.4	9.0	67.5	4.99
1911～1915	1960	45～49	7.1	7.9	9.4	13.8	61.8	4.18
1921～1925	1970	45～49	6.9	9.2	24.5	29.8	29.6	2.65
1928～1932	1977	45～49	3.6	11.0	47.0	29.0	9.4	2.33
1933～1937	1982	45～49	3.6	10.8	54.2	25.7	5.7	2.21
1938～1942	1987	45～49	3.6	10.3	55.0	25.5	5.5	2.20
1943～1947	1987	40～44	4.4	10.1	55.1	26.3	4.2	2.16

1950年, 60年および1970年は国勢調査, 1977年は第7次, 82年は第8次, 87年は第9次出生力調査(人口問題研究所)の結果。

表 6 - 1 国籍別死亡数：1872～1989年

年次	総数	日本人	外国人	年次	総数	日本人	外国人
1872 ¹⁾	...	405,404	...	1935	...	1,161,936	...
1873	...	660,694	...	1936	...	1,230,278	...
1874	...	696,653	...	1937	...	1,207,899	...
1875	...	654,562	...	1938	...	1,259,805	...
1876	...	613,022	...	1939	...	1,268,760	...
1877	...	620,306	...	1940	...	1,186,595	...
1878	...	603,277	...	1941	...	1,149,559	...
1879	...	721,147	...	1942	...	1,166,630	...
1880	...	603,055	...	1943	...	1,213,811	...
1881	...	686,064	...	1944
1882	...	668,342	...	1945
1883	...	676,369	...	1946
1884	...	705,126	...	1947	...	1,138,238	...
1885	...	886,824	...	1948	...	950,610	...
1886	...	938,343	...	1949	...	945,444	...
1887	...	753,456	...	1950	...	904,876	...
1888	...	752,834	...	1951	...	838,998	...
1889	...	808,680	...	1952	...	765,068	...
1890	...	823,718	...	1953	...	772,547	...
1891	...	853,139	...	1954	...	721,491	...
1892	...	886,988	...	1955	697,398	693,523	3,875
1893	...	937,644	...	1956	728,624	724,460	4,164
1894	...	840,768	...	1957	756,796	752,445	4,351
1895	...	852,422	...	1958	688,329	684,189	4,140
1896	...	912,822	...	1959	694,323	689,959	4,364
1897	...	876,837	...	1960	710,737	706,599	4,138
1898	...	894,524	...	1961	699,488	695,644	3,844
1899	...	932,087	...	1962	714,059	710,265	3,794
1900	...	910,744	...	1963	674,440	670,770	3,670
1901	...	925,810	...	1964	676,787	673,067	3,720
1902	...	959,126	...	1965	704,100	700,438	3,662
1903	...	931,008	...	1966	674,139	670,342	3,797
1904	...	955,400	...	1967	678,782	675,006	3,776
1905	...	1,004,661	...	1968	689,968	686,555	3,413
1906	...	955,256	...	1969	697,298	693,787	3,511
1907	...	1,016,798	...	1970	716,643	712,962	3,681
1908	...	1,029,447	...	1971	688,026	684,521	3,505
1909	...	1,091,264	...	1972	687,332	683,751	3,581
1910	...	1,064,234	...	1973	712,993	709,416	3,577
1911	...	1,043,906	...	1974	714,165	710,510	3,655
1912	...	1,037,016	...	1975	705,874	702,275	3,599
1913	...	1,027,257	...	1976	706,907	703,270	3,637
1914	...	1,101,815	...	1977	693,703	690,074	3,629
1915	...	1,093,793	...	1978	699,626	695,821	3,805
1916	...	1,187,832	...	1979	693,565	689,664	3,901
1917	...	1,199,669	...	1980	726,632	722,801	3,831
1918	...	1,493,162	...	1981	724,200	720,262	3,938
1919	...	1,281,965	...	1982	715,916	711,883	4,033
1920	...	1,422,096	...	1983	744,056	740,038	4,018
1921	...	1,288,570	...	1984	744,312	740,247	4,065
1922	...	1,286,941	...	1985	756,440	752,283	4,157
1923	...	1,332,485	...	1986	754,767	750,620	4,147
1924	...	1,254,946	...	1987	755,286	751,172	4,114
1925	...	1,210,706	...	1988	797,472	793,014	4,458
1926	...	1,160,734	...	1989	793,014	788,594	4,420
1927	...	1,214,323	...				
1928	...	1,236,711	...				
1929	...	1,261,228	...				
1930	...	1,170,867	...				
1931	...	1,240,891	...				
1932	...	1,175,344	...				
1933	...	1,193,987	...				
1934	...	1,234,684	...				

表 6 - 2 性別死亡数および死亡性比：1872～1989年

年次	男	女	死亡性比 ¹⁾
1872	208,092	197,312	105.5
1880	313,668	289,387	108.4
1890	425,059	398,659	106.6
1900	464,072	446,664	103.9
1910	535,076	529,156	101.1
1920	720,655	701,441	102.7
1930	603,995	566,871	106.5
1940	615,311	571,284	107.7
1941	597,373	552,186	108.2
1942	609,038	557,592	109.2
1943	638,135	580,938	109.8
1944
1945
1946
1947	595,670	542,568	109.8
1948	493,573	457,037	108.0
1949	489,817	455,627	107.5
1950	467,073	437,803	106.7
1951	432,540	406,458	106.4
1952	395,205	369,863	106.9
1953	399,859	372,688	107.3
1954	379,658	341,833	111.1
1955	365,246	328,277	111.3
1956	381,395	343,065	111.2
1957	397,502	354,943	112.0
1958	363,647	320,542	113.4
1959	367,562	322,370	114.0
1960	377,526	329,073	114.7
1961	371,858	323,786	114.8
1962	380,826	329,439	115.6
1963	361,469	309,301	116.9
1964	363,531	309,536	117.4
1965	378,716	321,722	117.7
1966	363,356	306,986	118.4
1967	366,076	308,930	118.5
1968	372,931	313,624	118.9
1969	379,506	314,281	120.8
1970	387,880	325,082	119.3
1971	372,942	311,579	119.7
1972	372,833	310,918	119.9
1973	383,592	325,824	117.7
1974	381,869	328,641	116.2
1975	377,827	324,448	116.5
1976	378,630	324,640	116.6
1977	372,175	317,899	117.1
1978	375,625	320,196	117.3
1979	373,183	316,481	117.9
1980	390,644	332,157	117.6
1981	388,575	331,687	117.2
1982	385,494	326,389	118.1
1983	401,232	338,806	118.4
1984	402,220	338,027	119.0
1985	407,769	344,514	118.4
1986	406,918	343,702	118.4
1987	408,094	343,078	119.0
1988	428,094	364,920	117.3
1989	427,114	361,480	118.2

日本人のみ。以下、死亡統計については同様。表 6 - 1 注参照。

1) 女100に対する男の数。

1872～99年は内閣統計局『帝国統計年鑑』, 1900年以後は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947～72年は沖縄県を含まない。日本で発生した死亡数。この他に外国で発生した日本人の死亡があるが、ここには掲げていない。前年以前に生じた死亡の届出数は含まれていない。1) 2月1日～12月2日。

表6-3 乳児，新生児および周産期死亡：1920～89年

年次	乳児死亡		新生児死亡		周産期死亡					
					総数		妊娠満28週以後の死産		早期新生児死亡	
	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)	実数	率(%)
1920	335,613	165.7	139,681	69.0
1925	297,008	142.4	121,238	58.1
1930	258,703	124.1	104,101	49.9
1935	233,706	106.7	97,994	44.7
1940	190,509	90.0	81,869	38.7
1947	205,360	76.7	84,204	31.4
1950	140,515	60.1	64,142	27.4	108,843	46.6	73,659	31.5	35,184	15.1
1955	68,801	39.8	38,646	22.3	75,918	43.9	53,297	30.8	22,621	13.1
1960	49,293	30.7	27,362	17.0	66,552	41.4	49,512	30.8	17,040	10.6
1963	38,442	23.2	22,965	13.8	60,049	36.2	44,764	27.0	15,285	9.2
1964	34,967	20.4	21,344	12.4	56,827	33.1	42,151	24.6	14,676	8.5
1965	33,742	18.5	21,260	11.7	54,904	30.1	39,955	21.9	14,949	8.2
1966	26,217	19.3	16,296	12.0	42,583	31.3	30,818	22.6	11,765	8.6
1967	28,928	14.9	19,248	9.9	50,846	26.3	36,738	19.0	14,108	7.3
1968	28,600	15.3	18,326	9.8	45,921	24.5	32,228	17.2	13,693	7.3
1969	26,874	14.2	17,116	9.1	43,419	23.0	30,609	16.2	12,810	6.8
1970	25,412	13.1	16,742	8.7	41,917	21.7	29,107	15.0	12,810	6.6
1971	24,805	12.4	16,450	8.2	40,900	20.4	28,235	14.1	12,665	6.3
1972	23,773	11.7	15,817	7.8	38,754	19.0	26,329	12.9	12,425	6.1
1973	23,683	11.3	15,473	7.4	37,598	18.0	25,442	12.2	12,156	5.8
1974	21,888	10.8	14,472	7.1	34,383	16.9	22,989	11.3	11,394	5.6
1975	19,103	10.0	12,912	6.8	30,513	16.0	20,268	10.7	10,245	5.4
1976	17,105	9.3	11,638	6.4	27,133	14.8	17,741	9.7	9,392	5.1
1977	15,666	8.9	10,773	6.1	24,708	14.1	16,022	9.1	8,686	4.9
1978	14,327	8.4	9,628	5.6	22,217	13.0	14,516	8.5	7,701	4.5
1979	12,923	7.9	8,590	5.2	20,481	12.5	13,580	8.3	6,901	4.2
1980	11,841	7.5	7,796	4.9	18,385	11.7	12,231	7.8	6,154	3.9
1981	10,891	7.1	7,188	4.7	16,531	10.8	10,929	7.1	5,602	3.7
1982	9,969	6.6	6,425	4.2	15,303	10.1	10,236	6.8	5,067	3.3
1983	9,406	6.6	5,894	3.9	14,035	9.3	9,464	6.3	4,571	3.0
1984	8,920	6.0	5,527	3.7	12,998	8.7	8,724	5.9	4,274	2.9
1985	7,899	5.5	4,910	3.4	11,470	8.0	7,733	5.4	3,737	2.6
1986	7,251	5.2	4,296	3.1	10,148	7.3	6,902	5.0	3,246	2.3
1987	6,711	5.0	3,933	2.9	9,317	6.9	6,252	4.6	3,065	2.3
1988	6,265	4.8	3,592	2.7	8,508	6.5	5,759	4.4	2,749	2.1
1989	5,724	4.6	3,214	2.6	7,450	6.0	5,064	4.1	2,386	1.9

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。乳児死亡は生後1年未満の死亡，新生児死亡は生後4週未満（ただし1940年以前は1か月未満）の死亡，周産期死亡は妊娠満28週以後の死産（後期死産）と生後1週未満の早期新生児死亡を合わせたもので，いずれも率は同年の出生1,000について。なお，1947～72年には沖縄県を含まない。

表6-4 主要国の乳児死亡率：最新年次

(%)

国	(年次)	乳児死亡率	国	(年次)	乳児死亡率	国	(年次)	乳児死亡率
モーリシャス ¹⁾	(1989)	* 22.7	マレーシア ²⁾	(1989)	* 13.9	イギリス ⁴⁾	(1989)	* 8.5
エジプト	(1987)	45.1	シンガポール	(1989)	* 7.5	イタリヤ	(1989)	* 8.8
プエルトリコ	(1988)	12.6	スリランカ	(1988)	* 19.4	ポルトガル	(1988)	* 13.1
エルサルバドル	(1986)	28.6	イスラエル	(1989)	* 10.0	スペイン	(1985)	* 8.5
アルゼンチン	(1988)	25.7	クウェート	(1986)	15.6	ユーゴスラビア	(1989)	* 23.7
チレ	(1988)	18.9	チェコスロバキア	(1989)	* 11.3	オーストリア	(1989)	* 8.3
ベルギー	(1989)	114.1	東ドイツ ³⁾	(1989)	* 7.6	フランス	(1989)	* 7.4
ベネズエラ	(1988)	21.5	ハンガリー	(1989)	* 15.7	西ドイツ ⁵⁾	(1987)	8.3
カナダ	(1988)	7.2	ルーマニア	(1989)	* 26.9	オランダ	(1989)	* 6.8
アメリカ合衆国	(1988)	* 9.9	デンマーク	(1989)	8.4	オーストリア	(1989)	* 6.8
ホンコン	(1988)	7.4	アイルランド	(1988)	9.2	オーストラリア	(1989)	* 7.7
日本	(1989)	4.6	スウェーデン	(1989)	* 6.0	ソビエト連邦	(1989)	* 13.0

UN, *Statistical Papers, Series A, Vol. XLII, No. 4* (1990) による。日本は，厚生省統計情報部「人口動態統計」による。乳児死亡率は，出生数1,000に対する0歳児死亡数の比率。* 暫定値。1) モーリシャス島のみ。2) 半島マレーシアのみ。3) 東ベルリンを含む。4) チャネル諸島，マン島を除く。5) 西ベルリンを含む。

表6-5 世界の主要地域別にみた乳児死亡率：1950～2025年

(‰)

地 域	1950 ～55年	1960 ～65年	1970 ～75年	1980 ～85年	1990 ～95年	1995 ～2000年	2000 ～05年	2010 ～15年	2020 ～25年
世界全域	155	118	93	79	63	57	51	40	30
先進地域	56	32	22	16	12	11	9	7	6
発展途上地域	180	136	105	89	70	63	57	44	33
アフリカ	188	165	137	116	94	85	77	62	48
ラテンアメリカ	126	100	81	61	48	42	37	30	25
北部アメリカ	29	25	18	11	8	7	6	6	5
アジア	181	133	99	83	64	56	50	37	27
東アジア	181	112	57	37	25	21	18	13	9
南東部アジア	152	121	100	75	55	47	40	32	25
南部アジア	189	157	136	113	91	81	71	53	39
西部アジア	203	157	118	88	60	49	42	29	21
ヨーロッパ	62	37	24	15	11	9	8	7	6
オセアニア	68	55	41	30	23	21	18	14	11
ソビエト連邦	73	32	26	26	20	17	14	10	8

UN, *World Population Prospects: 1990* による。

乳児死亡率は、出生数1,000に対する0歳児死亡数の比率。

表6-6 主要国の乳児死亡率：1950～2025年

(‰)

国	1950 ～55年	1970 ～75年	1990 ～95年	2000 ～05年	2020 ～25年	国	1950 ～55年	1970 ～75年	1990 ～95年	2000 ～05年	2020 ～25年
エチオピア	190	155	122	103	69	ネパール	197	153	118	99	61
エジプト	200	150	57	39	20	パキスタン	190	140	98	79	43
南アフリカ	152	110	62	43	22	スリランカ	91	56	24	18	9
ナイジェリア	207	135	96	79	48	イラーク	165	96	56	37	18
キューバ	82	36	13	10	8	イスラエル	41	23	10	7	5
メキシコ	114	71	36	26	15	サウジアラビア	200	120	58	39	21
アルゼンチン	64	49	29	24	18	トルコ	233	138	62	41	19
ブラジル	135	91	57	45	30	ブルガリア	92	26	14	10	6
チリ	126	70	19	17	14	チェコスロバキア	54	21	13	10	6
ペルー	159	110	76	60	47	ハンガリー	58	17	8	7	5
カナダ	36	16	7	6	5	ポーランド	71	34	17	12	7
アメリカ合衆国	28	18	8	6	5	ルーマニア	95	27	17	12	7
中国	195	61	27	19	9	スウェーデン	23	12	6	6	5
ホンコン	79	17	6	6	5	イギリス	20	10	6	5	5
日本	51	12	5	5	5	ギリシャ	145	58	32	22	9
北朝鮮	115	47	24	20	13	イタリア	60	34	13	8	6
韓国	115	47	21	15	8	ポルトガル	75	22	9	7	5
カンボジア	165	181	116	90	45	スペイン	91	45	13	9	6
インドネシア	160	114	65	51	36	ユーゴスラビア	62	21	9	7	6
ラオス	180	145	97	74	40	オーストリア	44	18	7	6	5
マレーシア	99	42	20	15	8	ベルギー	53	24	9	7	5
ミャンマー(ビルマ)	183	100	59	41	20	フランス	45	19	8	6	5
フィリピン	100	64	40	29	17	西ドイツ	45	16	7	6	5
シンガポール	66	19	7	6	5	東ドイツ	48	22	8	6	5
タイ	132	65	24	18	9	オランダ	24	12	7	6	5
ベトナム	180	120	54	36	19	スイス	29	13	7	6	5
バングラデシュ	180	140	108	85	53	オーストラリア	24	17	7	6	5
インド	190	135	88	67	35	ニュージーランド	26	16	9	7	5
イラン	190	122	40	30	18	ソビエト連邦	73	26	20	14	8

UN, *World Population Prospects: 1990* による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。

乳児死亡率は、出生数1,000に対する0歳児死亡数の比率。

表6-7 性、年齢（5歳階級）別死亡率：1930～89年

(%o)

年 齢	男					女				
	1930年	1950年	1960年	1970年	1989年	1930年	1950年	1960年	1970年	1989年
総 数	18.6	11.5	8.3	7.7	7.1	17.7	10.4	7.0	6.2	5.8
0～4	47.1	20.9	9.1	4.3	1.3	42.6	19.2	7.5	3.2	1.1
5～9	4.1	2.2	1.0	0.6	0.2	4.4	2.0	0.8	0.4	0.2
10～14	2.7	1.2	0.6	0.4	0.2	3.8	1.2	0.4	0.3	0.1
15～19	7.3	2.5	1.3	1.1	0.6	8.7	2.5	0.8	0.4	0.2
20～24	9.2	4.9	2.2	1.3	0.8	10.1	4.5	1.4	0.7	0.3
25～29	7.8	5.7	2.3	1.4	0.8	8.9	5.1	1.6	0.9	0.4
30～34	7.0	5.4	2.4	1.7	0.8	8.6	4.9	1.8	1.0	0.5
35～39	7.9	6.0	3.0	2.5	1.2	9.2	5.3	2.3	1.4	0.7
40～44	10.2	7.2	4.1	3.5	1.9	9.7	6.0	3.0	2.1	1.1
45～49	14.3	9.6	6.3	5.0	3.1	10.7	7.5	4.5	3.1	1.6
50～54	20.0	13.7	10.3	8.0	5.3	13.7	10.3	6.7	4.8	2.6
55～59	28.8	20.9	16.8	13.2	8.8	18.7	14.4	10.1	7.5	3.9
60～64	43.4	31.7	26.7	21.8	12.8	28.1	22.1	15.9	12.2	5.8
65～69	61.9	51.7	43.0	37.5	19.6	42.4	35.7	26.7	21.0	9.5
70～74	96.4	78.6	70.0	60.9	34.0	69.6	56.3	47.0	37.5	17.3
75～79	138.3	114.6	113.6	98.2	57.6	106.5	87.3	82.4	67.3	32.1
80歳以上	223.4	202.1	195.3	176.7	128.3	184.5	168.7	157.9	148.7	93.5

厚生省統計情報部『人口動態統計』に基づく性、年齢別死亡数の性、年齢別人口1,000に対する率である。1930年は日本に在住する外国人を含む総人口を、1950年以降は日本人人口を分母としている。年齢不詳がある場合は、既知の年齢別数値の割合に応じて案分補正したものをを用いた。なお、1950～70年は沖縄県を含まない。

表6-8 主要国の性、年齢（5歳階級）別死亡率：最新年次

(%o)

年 齢	男					女				
	アメリカ合衆国(1986年)	フランス ¹⁾ (1987年)	スウェーデン(1987年)	イギリス(1987年)	西ドイツ ²⁾ (1986年)	アメリカ合衆国(1986年)	フランス ¹⁾ (1987年)	スウェーデン(1987年)	イギリス(1987年)	西ドイツ ²⁾ (1986年)
総 数	9.4	10.2	11.9	11.5	11.3	8.1	8.9	10.3	11.2	11.7
0	11.6	9.2	12.7	10.6	9.9	9.2	6.6	10.6	8.0	7.7
1～4	0.6	0.5	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4
5～9	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2
10～14	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1
15～19	1.2	0.8	0.7	0.7	0.8	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
20～24	1.8	1.5	0.9	0.9	1.0	0.6	0.5	0.3	0.3	0.4
25～29	1.8	1.5	1.1	0.8	1.0	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4
30～34	2.1	1.7	1.2	1.0	1.2	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6
35～39	2.5	2.2	1.5	1.3	1.8	1.1	1.0	0.8	0.9	1.0
40～44	3.4	3.5	2.0	2.1	2.8	1.8	1.6	1.2	1.4	1.5
45～49	5.0	5.0	3.5	3.8	4.6	2.8	2.2	2.0	2.5	2.3
50～54	8.2	8.2	5.9	6.7	7.6	4.6	3.2	3.2	4.1	3.6
55～59	12.9	12.8	9.7	12.2	12.6	7.0	4.7	4.8	6.9	5.7
60～64	20.2	18.4	15.3	20.8	19.6	11.2	6.8	8.0	11.8	9.2
65～69	29.8	29.5	24.5	32.9	30.2	16.7	11.8	12.2	17.9	14.8
70～74	46.7	37.8	41.9	53.7	52.2	26.0	16.7	21.9	29.5	27.0
75～79	70.2	67.5	67.0	82.8	84.2	40.6	34.4	38.2	47.7	48.2
80～84	108.1	112.3	105.8	124.3	133.0	68.5	67.6	69.1	79.8	89.2
85歳以上	180.5	223.8	187.7	194.3	213.1	142.0	170.1	145.6	159.9	180.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1988年版による。

1) 5歳以上の年齢は誕生日ではなく出生年によっている。2) 西ベルリンを含む。

表6-9 性別にみた出生時の平均余命および生存数：1921～2025年

年次	e_0 (年)		l_{15} (%)		l_{65} (%)		p_{15-65} (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
1921～25 ¹⁾	42.06	43.20	72.5	73.3	30.5	35.0	42.1	47.8
1926～30 ²⁾	44.82	46.54	75.7	76.5	33.8	39.6	44.7	51.7
1935～36 ³⁾	46.92	49.63	79.1	80.1	36.2	43.6	45.8	54.4
1947 ⁴⁾	50.06	53.96	82.9	84.0	39.8	49.1	48.1	58.5
1950～52 ⁵⁾	59.57	62.97	90.0	90.8	55.1	62.8	61.2	69.2
1955 ⁶⁾	63.60	67.75	93.2	94.0	61.8	70.6	66.4	75.1
1960 ⁷⁾	65.32	70.19	94.9	95.8	64.8	75.2	68.3	78.5
1965 ⁸⁾	67.74	72.92	96.8	97.5	69.1	80.0	71.4	82.0
1970 ⁹⁾	69.31	74.66	97.6	98.2	72.1	82.6	73.9	84.1
1975 ¹⁰⁾	71.73	76.89	98.2	98.6	76.8	86.1	78.3	87.3
1980 ¹¹⁾	73.35	78.76	98.6	98.9	79.4	88.5	80.5	89.4
1981 ¹²⁾	73.79	79.13	98.7	99.0	80.0	88.9	81.1	89.8
1982 ¹³⁾	74.22	79.66	98.8	99.1	80.5	89.3	81.5	90.2
1983 ¹⁴⁾	74.20	79.78	98.8	99.1	80.3	89.5	81.3	90.3
1984 ¹⁵⁾	74.54	80.18	98.9	99.1	80.7	89.9	81.6	90.7
1985 ¹⁶⁾	74.78	80.48	99.0	99.2	81.1	90.1	82.0	90.8
1986 ¹⁷⁾	75.23	80.93	99.0	99.2	81.6	90.5	82.4	91.2
1987 ¹⁸⁾	75.61	81.39	99.0	99.3	82.0	90.8	82.8	91.5
1988 ¹⁹⁾	75.54	81.30	99.1	99.3	82.2	90.9	82.9	91.6
1989 ²⁰⁾	75.91	81.77	99.1	99.3	82.6	91.1	83.3	91.8
2000	76.81	82.69	99.2	99.3	83.6	91.8	84.3	92.4
2010	77.43	83.37	99.2	99.4	84.4	92.3	85.0	92.8
2025	77.87	83.85	99.3	99.4	84.8	92.6	85.5	93.1

e_0 は出生時の平均余命(平均寿命), l_{15} は出生数を100とした場合の15歳の生存数, l_{65} は同じく65歳における生存数, p_{15-65} は15歳から65歳に至る生存率を示す。1) 内閣統計局『第四回生命表』, 2) 同『第五回生命表』, 3) 同『第六回生命表』, 4) 厚生省統計調査部『第8回生命表』, 5) 同『第9回生命表』, 6) 同『第10回生命表』, 7) 同『第11回生命表』, 8) 同『第12回生命表』, 9) 厚生省統計情報部『第13回生命表』, 10) 同『第14回生命表』, 11) 同『第15回生命表』, 12) 同『昭和56年簡易生命表』, 13) 同『昭和57年簡易生命表』, 14) 同『昭和58年簡易生命表』, 15) 同『昭和59年簡易生命表』, 16) 同『第16回生命表』, 17) 同『昭和61年簡易生命表』, 18) 同『昭和62年簡易生命表』, 19) 同『昭和63年簡易生命表』, 20) 同『平成元年簡易生命表』, 2000年以後は人口問題研究所『日本の将来推計人口』による。

表6-10 性別平均寿命の伸びに対する年齢別死亡率変化の寄与率：1891～1989年

期 間	年 次	平均寿命(年)		年齢別死亡率の寄与率(%)					
		期首年	伸び	0歳	1～4歳	5～14歳	15～39歳	40～64歳	65歳以上
男									
1回～8回	1891-1898～1947	35.29	14.77	51.2	17.1	10.9	8.8	9.4	2.7
8回～13回	1947～1970	50.06	19.25	23.0	19.6	5.6	27.4	17.6	6.8
13回～89年	1970～1989	69.31	6.60	11.2	2.8	2.8	12.6	26.9	43.6
女									
1回～8回	1891-1898～1947	36.86	17.10	46.4	13.8	10.7	16.9	8.7	3.5
8回～13回	1947～1970	53.96	20.70	20.9	19.6	5.8	26.9	16.8	9.9
13回～89年	1970～1989	74.66	7.11	7.9	2.2	1.7	7.8	24.0	56.3
8回～9回	1947～1950-1952	53.96	9.01	18.4	24.0	6.3	31.0	13.3	7.1
9回～10回	1950-1952～1955	62.97	4.78	18.1	20.7	5.9	27.0	17.5	10.7
10回～11回	1955～1960	67.75	2.44	27.4	18.5	7.0	26.3	21.7	-0.9
11回～12回	1960～1965	70.19	2.73	29.8	10.4	5.2	19.9	21.5	13.1
12回～13回	1965～1970	72.92	1.74	21.2	4.8	1.9	11.6	24.0	36.4
13回～14回	1970～1975	74.66	2.23	9.4	2.1	2.4	10.3	29.6	46.1
14回～15回	1975～1980	76.89	1.87	8.2	2.9	2.3	10.1	24.2	52.3
15回～16回	1980～1985	78.76	1.72	7.5	1.9	1.3	4.5	19.3	65.4
16回～89年	1985～1989	80.48	1.29	5.1	1.7	0.1	4.1	18.1	70.9

1回 は水島治夫(『生命表の研究』生命保険文化研究所, 1963年2月)による改作生命表。
 8回～16回は厚生省大臣官房統計情報部『第16回生命表』(1987年6月)による完全生命表。
 1989年は, 厚生省大臣官房統計情報部『平成元年簡易生命表』(1990年9月)。

表6-11 主要国の性別出生時の平均余命：最新年次

国	(年次)	出生時平均余命(年)		国	(年次)	出生時平均余命(年)	
		男 順位	女 順位			男 順位	女 順位
アフリカ				ヨーロッパ(つづき)			
モーリシャス	(1987)	65.0	42	72.3	42	ヨーロッパ(つづき)	
セイシエル	(1985~87)	64.1	43	72.8	39	ポーランド	(1988) 67.1 37 75.7 29
アメリカ						ルーマニア	(1984) 67.1 38 72.7 41
キューバ	(1986)	72.7	11	76.1	26	デンマーク	(1987) 71.9 18 78.0 18
プエルトリコ	(1986)	70.3	26	78.0	19	フィンランド	(1987) 70.7 24 78.9 13
メキシコ	(1986)	68.1	35	73.8	38	アイスランド	(1988) 74.5 2 80.0 7
アルゼンチン	(1985)	68.6	32	75.0	33	アイルランド	(1987) 71.6 20 77.3 23
チリ	(1987)	70.0	27	75.7	28	ノルウェー	(1987) 72.8 10 79.8 9
ウルグアイ	(1986)	68.9	30	75.3	31	スウェーデン	(1987) 74.2 3 80.4 4
カナダ	(1987)	73.3	7	80.2	6	イギリス	(1988) 72.5 14 78.2 16
アメリカ合衆国	(1987)	71.6	19	78.6	15	イタリア	(1986) 72.7 12 79.2 11
中国(一部の都市地域)	(1987)	72.4	15	75.5	30	ポルトガル	(1988) 70.5 25 77.7 20
中国(一部の農村地域)	(1987)	69.1	29	72.7	40	スペイン	(1985) 73.1 9 79.7 10
日本	(1988)	75.54	1	81.30	1	ユーゴスラビア	(1987) 68.5 33 74.3 35
韓国	(1987)	68.7	31	77.5	22	オーストリア	(1988) 72.1 17 78.7 14
シンガポール	(1987)	71.3	22	76.5	25	ベネチア	(1986) 71.4 21 78.2 17
スリランカ	(1983)	66.6	39	71.6	43	フランス	(1987) 72.6 13 81.1 3
イスラエル	(1986)	73.4	6	77.0	24	西ドイツ	(1988) 72.3 16 79.1 12
ヨーロッパ						オランダ	(1987) 73.6 5 80.3 5
ブルガリア	(1987)	68.3	34	74.6	34	スイス	(1988) 74.0 4 81.1 2
チェコスロバキア	(1988)	67.7	36	75.3	32	オセアニア	
東ドイツ	(1988)	69.7	28	76.0	27	オーストラリア	(1987) 73.2 8 79.8 8
ハンガリー	(1988)	66.1	40	74.2	36	ニュージーランド	(1986) 71.1 23 77.5 21
						ソ連	
						ソビエト連邦	(1987) 65.1 41 73.9 37

WHO, World Health Statistics, 1988~89年版および厚生省統計情報部【昭和63年簡易生命表】による。
 順位は、ここに掲げた43の国・地域における出生時平均余命の長い順。
 1) 連合王国。

表6-12 世界主要地域の性別出生時の平均予命：1950~2025年

(年)

地 域	男						女					
	1950 ~55年	1970 ~75年	1990 ~95年	1995 ~2000年	2000 ~05年	2020 ~25年	1950 ~55年	1970 ~75年	1990 ~95年	1995 ~2000年	2000 ~05年	2020 ~25年
世界 全 域	46.0	56.8	63.4	64.9	66.2	70.5	49.0	60.2	67.6	69.1	70.5	75.4
先 進 地 域	63.3	67.5	71.4	72.4	73.3	76.0	68.6	74.6	78.3	79.1	79.8	82.1
発 展 途 上 地 域	41.3	54.4	61.9	63.5	64.9	69.6	43.1	56.0	64.8	66.6	68.2	73.8
アフリカ	36.3	44.3	52.5	54.5	56.4	63.7	39.1	47.6	55.8	57.8	59.8	67.4
ラテンアメリカ	50.4	59.2	65.4	66.6	67.6	70.3	53.5	63.6	71.0	72.3	73.3	76.3
北部アメリカ	66.3	67.7	72.9	73.8	74.6	76.7	72.0	75.4	79.9	80.4	81.0	82.9
アジア	41.4	55.5	63.5	65.2	66.8	71.4	42.7	56.5	66.0	77.9	69.7	75.5
東アジア	43.3	63.2	69.9	71.0	71.9	75.1	46.8	65.7	73.8	74.9	76.0	79.5
南東部アジア	40.2	50.6	61.3	63.4	65.3	70.6	42.1	53.7	65.1	67.3	69.3	75.0
南部アジア	39.9	50.1	58.9	61.1	63.1	68.9	38.3	48.7	59.5	62.0	64.4	72.2
西部アジア	44.1	56.4	65.0	66.6	68.0	72.3	46.3	59.3	68.0	69.9	71.5	76.4
ヨーロッパ	63.6	68.3	72.0	72.9	73.8	76.3	68.0	74.5	78.5	79.3	79.9	82.2
オセアニア	58.7	63.8	69.6	70.7	71.8	75.1	63.0	69.4	75.6	76.5	77.5	80.8
ソビエト連邦	60.0	64.0	66.6	68.0	69.2	73.2	68.5	73.5	75.3	76.3	77.3	80.4

UN, World Population Prospects : 1990による。

表6-13 主要国の性別にみた出生時の平均余命：1950～2025年

(年)

地 域	男						女					
	1950 ～55年	1970 ～75年	1990 ～95年	95～ 2000年	2000 ～05年	2020 ～25年	1950 ～55年	1970 ～75年	1990 ～95年	95～ 2000年	2000 ～05年	2020 ～25年
エチオピア	31.4	39.4	45.4	47.4	49.3	57.2	34.4	42.6	48.7	50.7	52.7	60.9
インドネシア	41.2	50.8	60.4	62.6	65.4	70.7	43.6	53.4	62.8	65.3	67.6	74.3
南アフリカ	44.0	51.0	60.0	62.3	64.4	70.0	46.0	57.0	65.9	68.2	70.2	75.4
ナイジェリア	35.0	42.9	50.8	52.7	54.7	62.7	38.0	46.1	54.3	56.3	58.3	66.4
キューバ	57.8	69.4	73.9	74.2	74.6	75.0	61.3	72.7	77.6	78.0	78.4	79.1
メキシコ	49.2	60.4	67.1	68.3	69.3	71.7	52.4	64.9	73.8	75.1	76.1	78.6
アルゼンチン	60.4	64.1	68.1	68.7	69.2	70.7	65.1	70.7	74.8	75.4	76.0	77.5
ブラジル	49.3	57.6	63.5	64.7	65.7	69.1	52.8	62.2	69.1	70.4	71.6	75.3
チリ	51.9	60.5	68.5	69.0	69.4	71.0	55.7	66.8	75.6	76.1	76.6	78.2
ベネズエラ	42.9	53.9	62.7	65.1	66.8	70.1	45.0	57.3	66.5	69.0	70.8	74.0
カナダ	66.8	69.7	74.0	74.9	75.5	77.4	71.6	76.8	80.7	81.2	81.7	83.6
アメリカ合衆国	66.2	67.5	72.8	73.7	74.5	76.7	72.0	75.3	79.9	80.4	80.9	82.8
中国	39.3	62.5	69.2	70.4	71.4	74.9	42.3	63.9	72.6	73.8	75.1	78.9
ホンコン	57.2	68.5	75.1	75.6	76.1	78.0	64.9	75.6	80.4	81.0	81.5	83.3
日本	62.1	70.6	75.9	76.4	76.8	78.6	65.9	76.2	81.7	82.2	82.6	84.2
北朝鮮	46.0	59.2	67.7	68.7	69.7	72.6	49.0	64.0	73.9	75.2	76.2	79.4
韓国	46.0	59.2	67.7	69.0	70.2	73.8	49.0	64.0	73.7	75.0	76.0	79.6
カンボジア	38.1	39.0	49.5	51.9	54.3	62.6	40.8	41.7	52.4	55.0	57.6	66.5
インドネシア	36.9	48.0	60.9	63.2	65.2	70.4	38.1	50.5	64.5	66.9	69.0	74.7
ラオス	36.5	39.1	49.5	52.0	54.5	64.0	39.2	41.8	52.5	55.0	57.5	67.3
マレーシア	47.0	61.4	68.7	69.9	71.0	74.5	50.0	64.7	73.0	74.2	75.4	79.0
ミャンマー(ビルマ)	38.7	51.0	60.8	63.0	65.0	70.4	41.4	54.1	64.3	66.7	68.8	74.7
フィリピン	46.0	56.4	63.1	64.6	66.1	70.4	49.1	59.4	67.0	68.6	70.2	75.1
シンガポール	58.8	67.4	71.8	72.8	73.6	76.2	62.1	71.8	77.4	78.2	79.0	81.5
タイ	45.0	57.7	65.1	66.6	68.0	72.3	49.1	61.6	69.2	70.9	72.4	77.0
ベトナム	39.1	47.7	61.6	63.8	65.7	70.8	41.8	53.1	66.0	68.3	70.3	75.5
ブルンジ	38.3	45.6	53.1	55.1	57.1	65.1	34.9	44.1	52.6	54.9	57.1	66.1
インドネシア	39.4	51.2	60.1	62.3	64.4	69.6	38.0	49.3	60.7	63.4	65.9	73.6
イラン	46.1	56.2	66.6	68.0	69.2	73.2	46.1	55.5	67.8	69.8	71.4	76.2
ネパール	36.8	44.0	54.0	56.5	59.0	67.0	35.8	42.5	53.0	55.8	58.5	68.0
パキスタン	40.1	50.0	59.0	61.4	63.6	69.5	37.6	48.0	59.0	61.5	64.0	72.0
スリランカ	57.6	64.0	69.5	70.6	71.6	75.0	55.5	66.0	73.8	74.9	76.0	79.5
イスラエル	43.1	56.1	65.0	66.5	68.0	72.4	44.9	57.9	67.4	69.7	71.6	76.5
イスラエル	64.4	70.1	74.4	75.2	75.7	77.7	66.4	73.3	78.2	79.0	79.8	82.1
サウジアラビア	39.1	52.4	64.2	66.2	67.7	72.1	40.7	55.5	67.7	69.7	71.7	76.6
トルコ	42.0	55.9	64.5	66.5	68.0	72.4	45.2	60.0	68.1	70.4	71.9	76.8
ブルガリア	62.2	68.7	70.4	71.3	72.4	75.4	66.1	73.9	76.1	77.0	77.9	80.7
チェコスロバキア	63.6	66.6	68.8	70.0	71.0	74.5	68.4	73.5	76.0	77.0	77.9	80.7
ハンガリー	62.1	67.0	67.9	69.1	70.3	74.0	65.9	72.9	75.2	76.2	77.2	80.4
ポーランド	58.6	67.0	68.0	69.2	70.4	74.0	64.2	74.1	76.0	77.0	77.9	80.8
ルーマニア	59.4	66.8	68.8	69.9	70.9	74.5	62.8	71.3	74.2	75.4	76.3	79.8
スウェーデン	70.4	72.1	75.0	75.6	76.0	78.0	73.3	77.5	80.7	81.2	81.7	83.5
スイス	66.7	69.0	73.3	74.1	74.8	76.9	71.8	75.2	78.9	79.7	80.4	82.3
イギリス	64.3	70.6	74.3	75.1	75.6	77.6	67.5	74.2	78.7	79.4	80.2	82.2
イタリア	64.3	69.2	73.2	74.0	74.8	76.9	67.8	75.2	79.6	80.3	80.8	82.7
ポルトガル	56.9	64.9	71.1	72.1	73.0	75.7	61.9	71.3	77.7	78.5	79.4	81.6
スペイン	61.6	70.2	74.4	75.1	75.6	77.6	66.3	75.7	80.3	80.8	81.3	83.2
ユーゴスラビア	56.9	66.0	70.3	71.3	72.3	75.4	59.3	70.9	76.0	77.1	78.0	80.8
オーストリア	63.2	67.0	71.6	72.7	73.5	76.1	68.4	74.3	78.6	79.3	80.1	82.1
ベルギー	65.0	68.2	72.4	73.3	74.1	76.4	70.1	74.7	78.9	79.7	80.3	82.4
フランス	63.7	68.6	72.9	73.7	74.5	76.8	69.5	76.3	80.8	81.3	81.8	83.6
西ドイツ	65.4	67.6	72.7	73.4	74.2	76.6	69.8	73.7	78.9	79.7	80.3	82.4
東ドイツ	65.1	68.6	71.5	72.5	73.3	75.9	69.1	73.9	77.2	78.0	78.9	81.3
オーストラリア	70.9	71.1	74.3	75.2	75.7	77.7	73.4	77.0	80.8	81.2	81.8	83.5
オーストラリア	67.0	70.8	74.6	75.3	75.7	77.7	71.6	77.0	80.9	81.4	81.8	83.6
オーストラリア	66.9	68.4	73.7	74.5	75.2	77.2	72.4	75.2	80.2	80.7	81.2	83.1
ニュージーランド	67.5	68.7	72.7	73.5	74.3	76.6	71.8	74.8	78.6	79.4	80.2	82.2
ソビエト連邦	60.0	64.0	66.6	68.0	69.2	73.2	68.5	73.5	75.3	76.3	77.3	80.4

UN, *World Population Prospects: 1990*による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。ここには、1990年央時において人口3,000万を超えるすべての国およびそれ未満の主要国を国連資料掲載の順に配列した。

表6-14 性、配偶関係別20歳時平均余命：1970～85年

(年)

配偶関係	20歳時平均余命				伸 び		
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970～75年	1975～80年	1980～85年
男 子							
総 数 ¹⁾	51.26	53.27	54.56	55.74	2.01	1.29	1.18
未 婚	40.33	43.10	44.48	46.88	2.77	1.38	2.40
有 配 偶	52.61	54.42	55.71	56.97	1.81	1.29	1.26
死 別	43.80	47.59	48.41	51.23	3.79	0.82	2.82
離 別	42.17	42.37	43.80	45.15	0.20	1.43	1.35
女 子							
総 数 ¹⁾	56.11	58.04	59.66	61.20	1.93	1.62	1.54
未 婚	47.31	50.76	51.16	53.33	3.45	0.40	2.17
有 配 偶	57.47	59.23	60.82	62.60	1.76	1.59	1.78
死 別	55.29	56.83	58.43	60.09	1.54	1.60	1.66
離 別	55.71	56.01	57.97	58.70	0.30	1.96	0.73

石川晃『配偶関係別生命表 昭和30年～60年』研究資料第255号，1988年6月による。

1)厚生省大臣官房統計情報部『完全生命表』。

表6-15 職業別男子就業者の15歳時平均余命：1970～85年

(年)

職 業	15歳時平均余命					伸 び		
	1970年	1975年	1980年	1985年	順位	1970～75年	1975～80年	1980～85年
総 数 ¹⁾	55.97	58.03	59.35	60.54	..	2.06	1.32	1.19
15歳以上就業者総数	57.79	59.50	60.50	63.22	..	1.71	1.00	2.72
専門的・技術的職業従事者	59.10	60.52	60.52	63.74	5	1.42	0.00	3.22
管理的職業従事者	60.39	60.63	62.12	64.29	3	0.24	1.49	2.17
事務従事者	57.72	59.49	60.91	63.88	4	1.77	1.42	2.97
販売従事者	56.87	58.68	59.97	62.12	7	1.81	1.29	2.15
農林漁業作業業者	56.17	57.71	58.74	60.55	8	1.54	1.03	1.81
採掘作業業者	52.69	55.09	51.14	46.74	10	2.40	-3.95	-4.40
運輸・通信従事者	57.56	59.55	60.12	63.44	6	1.99	0.57	3.32
技能工、生産工程作業業者 ²⁾	58.25	60.04	61.56	65.27	1	1.79	1.52	3.71
保安職業従事者	59.82	60.98	61.79	64.74	2	1.16	0.81	2.95
サービス職業従事者	57.20	59.39	58.63	60.34	9	2.19	-0.76	1.71
無 職	..	41.08	44.52	45.62	11	..	3.44	1.10
〔参考：女子〕								
総 数 ¹⁾	60.99	62.94	64.58	66.13	..	1.95	1.64	1.55
15歳以上就業者総数	68.90
無 職	63.62

石川晃『職業別生命表：1985年』『人口問題研究』第46巻第4号，1991年1月による。

1)厚生省大臣官房統計情報部『完全生命表』。

2)労務作業業者を含む。

表6-16 主要な死因別にみた標準化死亡率および標準化死亡割合：1935～88年

死 因	1935年	1947年	1950年	1960年	1970年	1975年	1980年	1985年	1988年
標準化死亡率（人口10万について）									
死亡総数	1,677.8	1,505.6	1,081.4	686.8	514.6	417.8	355.4	306.3	285.3
結核	190.8	185.0	144.5	30.4	11.3	6.2	3.3	1.9	1.4
悪性新生物	70.9	68.4	76.1	87.0	86.1	82.6	82.7	80.7	79.1
心疾患	57.6	62.2	63.1	60.8	59.2	53.6	54.6	50.1	48.7
高血圧性疾患	…	…	11.9	13.1	11.6	9.9	6.1	3.8	2.6
脳血管疾患	165.4	131.0	124.8	132.7	118.9	92.7	69.7	46.6	38.6
肺炎及び気管支炎	186.7	183.3	93.0	53.8	26.5	21.6	17.0	16.8	17.4
慢性肝疾患及び肝硬変	6.5	6.0	6.7	8.3	9.3	9.3	8.8	7.9	7.1
精神病の記載のない老衰	114.4	112.6	73.2	43.1	22.5	13.4	10.8	6.9	5.5
胃腸炎	161.9	145.2	82.4	21.7	6.5	3.5	1.7	0.8	0.5
不慮の事故及び有害作用	41.9	49.9	39.3	42.4	38.8	27.0	21.3	19.3	18.2
自殺	20.5	15.5	19.1	19.4	11.9	13.8	13.0	13.2	12.1
標準化死亡割合（%）									
死亡総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
結核	11.4	12.3	13.4	4.4	2.2	1.5	0.9	0.6	0.5
悪性新生物	4.2	4.5	7.0	12.7	16.7	19.8	23.3	26.3	27.7
心疾患	3.4	4.1	5.8	8.9	11.5	12.8	15.4	16.4	17.1
高血圧性疾患	…	…	1.1	1.9	2.3	2.4	1.7	1.2	0.9
脳血管疾患	9.9	8.7	11.5	19.3	23.1	22.2	19.6	15.2	13.5
肺炎及び気管支炎	11.1	12.2	8.6	7.8	5.1	5.2	4.8	5.5	6.1
慢性肝疾患及び肝硬変	0.4	0.4	0.6	1.2	1.8	2.2	2.5	2.6	2.5
精神病の記載のない老衰	6.8	7.5	6.8	6.3	4.4	3.2	3.0	2.3	1.9
胃腸炎	9.6	9.6	7.6	3.2	1.3	0.8	0.5	0.3	0.2
不慮の事故及び有害作用	2.5	3.3	3.6	6.2	7.5	6.5	6.0	6.3	6.4
自殺	1.2	1.0	1.8	2.8	2.3	3.3	3.7	4.3	4.2

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。標準人口は1935年の性、年齢5歳階級別人口。死因分類の改訂により、年次別比較には完全な内容の一致をみることはできない点注意を要する。なお、1947～70年は沖縄県を含まない。

表6-17 主要国の主要死因別にみた標準化死亡率：最新年次

（人口10万について）

死 因	日 本 (1988年)	フランス (1987年)	スウェーデン (1987年)	オーストラリア (1987年)	西ドイツ ¹⁾ (1988年)	アメリカ合衆国 (1987年)	イギリス (1988年)	韓 国 (1987年)	チ リ (1987年)	東ドイツ ²⁾ (1988年)
死亡総数	639.6	732.0	740.7	767.9	816.7	819.9	853.5	968.4	969.0	1,050.8
感染症および寄生虫疾患	9.1	9.0	4.0	4.2	5.8	11.4	4.0	26.7	30.5	4.2
悪性新生物	162.8	205.9	166.1	189.1	210.6	194.9	223.7	140.1	188.7	185.6
循環器系疾患	245.0	236.3	372.5	364.3	381.7	363.3	388.6	310.1	303.0	577.4
虚血性心疾患	40.3	69.8	213.7	210.0	155.6	193.4	229.8	10.7	113.2	161.6
脳血管疾患	103.1	67.7	68.8	81.7	91.2	54.6	94.5	138.2	100.8	97.0
呼吸器系疾患	69.4	40.8	50.1	55.0	43.3	64.0	86.1	41.0	113.7	60.2
慢性気管支炎、肺炎腫及び喘息	11.4	10.3	12.5	15.2	22.3	8.7	15.8	20.1	27.3	28.6
消化器系疾患	30.2	42.3	23.6	26.9	40.5	30.5	26.6	71.8	64.5	…
慢性肝疾患および肝硬変	13.6	20.0	6.4	8.5	19.8	11.8	5.4	39.8	32.6	…
不慮の事故および有害作用	45.5	73.0	51.7	49.6	45.0	59.1	34.2	72.0	79.4	…
自殺・自傷	18.1	20.9	17.3	16.3	15.5	12.5	8.4	9.2	6.6	…

WHO, *World Health Statistics Annual*, 1989年版による。標準人口はヨーロッパ人口による。死因分類は国によって異なるところがあるので、死因内容は必ずしも一致しない。配列は死亡率（総数）の低い順。

1) 西ベルリンを含む。2) 東ベルリンを含む。

表7-1 初婚・再婚別婚姻件数および普通婚姻率：1883～1990年

年次	総数	夫		妻		再婚の場合(%)		普通婚姻率(%)
		初婚	再婚	初婚	再婚	夫	妻	
1883	337,456	9.0
1890	325,141	8.1
1900	346,528	7.9
1910	441,222	9.0
1920	546,207	453,139	92,280	489,737	55,524	16.9	10.2	9.8
1925	521,438	444,462	76,509	475,931	45,075	14.7	8.6	8.7
1930	506,674	437,094	68,774	465,128	40,524	13.6	8.0	7.9
1935	556,730	485,452	71,137	515,706	40,777	12.8	7.3	8.0
1940	666,575	580,283	85,437	616,735	47,449	12.8	7.1	9.3
1947	934,170	12.0
1948	953,999	11.9
1949	842,170	10.3
1950	715,081	8.6
1951	671,905	7.9
1952	676,995	578,687	98,308	606,538	70,457	14.5	10.4	7.9
1953	682,077	589,719	92,358	618,669	63,408	13.5	9.3	7.8
1954	697,809	607,436	90,373	637,350	60,459	13.0	8.7	7.9
1955	714,861	626,394	88,467	656,591	58,270	12.4	8.2	8.0
1956	715,934	631,134	84,800	659,673	56,261	11.8	7.9	7.9
1957	773,362	687,680	85,682	717,305	56,057	11.1	7.2	8.5
1958	826,902	741,221	85,681	771,529	55,373	10.4	6.7	9.0
1959	847,135	763,252	83,883	793,413	53,722	9.9	6.3	9.1
1960	866,115	782,021	84,094	812,597	53,518	9.7	6.2	9.3
1961	890,158	808,483	81,675	838,354	51,804	9.2	5.8	9.4
1962	928,341	843,934	84,407	874,667	53,674	9.1	5.8	9.8
1963	937,516	855,688	81,828	884,756	52,760	8.7	5.6	9.7
1964	963,130	880,175	82,955	909,165	53,965	8.6	5.6	9.9
1965	954,852	872,649	82,203	900,304	54,548	8.6	5.7	9.7
1966	940,120	860,197	79,923	886,108	54,012	8.5	5.7	9.5
1967	953,096	871,919	81,177	897,156	55,940	8.5	5.9	9.6
1968	956,312	876,803	79,509	900,586	55,726	8.3	5.8	9.5
1969	984,142	902,251	81,891	925,538	58,604	8.3	6.0	9.6
1970	1,029,405	943,783	85,622	967,716	61,689	8.3	6.0	10.0
1971	1,091,229	1,003,381	87,848	1,026,772	64,457	8.1	5.9	10.5
1972	1,099,984	1,011,042	88,942	1,032,967	67,017	8.1	6.1	10.4
1973	1,071,923	983,035	88,888	1,002,656	69,267	8.3	6.5	9.9
1974	1,000,455	911,808	88,647	929,824	70,631	8.9	7.1	9.1
1975	941,628	855,825	85,803	871,445	70,183	9.1	7.5	8.5
1976	871,543	787,521	84,022	801,264	70,279	9.6	8.1	7.8
1977	821,029	738,321	82,708	750,756	70,273	10.1	8.6	7.2
1978	793,257	710,875	82,382	722,577	70,680	10.4	8.9	6.9
1979	788,505	704,321	84,184	715,551	72,954	10.7	9.3	6.8
1980	774,702	690,885	83,817	701,415	73,287	10.8	9.5	6.7
1981	776,531	691,448	85,083	702,259	74,272	11.0	9.6	6.6
1982	781,252	693,990	87,262	704,840	76,412	11.2	9.8	6.6
1983	762,552	675,514	87,038	686,477	76,075	11.4	10.0	6.4
1984	739,991	652,618	87,373	663,021	76,970	11.8	10.4	6.2
1985	735,850	646,241	89,609	656,609	79,241	12.2	10.8	6.1
1986	710,962	620,754	90,208	630,353	80,609	12.7	11.3	5.9
1987	696,173	605,675	90,498	615,148	81,025	13.0	11.6	5.7
1988	707,716	613,919	93,797	623,743	83,973	13.3	11.9	5.8
1989	708,316	611,963	96,353	626,485	84,831	13.6	12.0	5.8
1990 ¹⁾	721,000	5.9

1883, 90年は内閣統計局『帝国統計年鑑』, 1900年以後は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947～72年は沖縄県を含まない。率は10月1日現在人口を分母とした1,000についてのもの。婚姻数は日本で発生した夫妻の少くとも一方が日本人であるものであるが、普通婚姻率の分母は、1920～66年の人口動態統計報告では日本に在住した外国人も含む総人口が用いられ、1967年以降、日本人人口を分母としている。1)推計値。

Ⅶ

結婚・離婚・配偶関係別人口

表7-2 全婚姻と初婚の別にみた平均婚姻年齢：1899～1989年

(歳)

年次	全婚姻			初婚			年次	全婚姻			初婚		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差		夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
1899	27.6	23.0	4.6	1964	28.1	24.8	3.3	27.3	24.4	2.9
1900	27.7	23.1	4.6	1965	28.1	24.9	3.2	27.2	24.5	2.7
1905	28.6	24.0	4.6	1966	28.1	24.9	3.2	27.3	24.5	2.8
1910	28.7	24.0	4.7	27.0	23.0	4.0	1967	28.0	24.9	3.1	27.2	24.5	2.7
1915	29.1	24.3	4.8	27.4	23.2	4.2	1968	27.9	24.8	3.1	27.2	24.4	2.8
1920	29.2	24.2	5.0	27.4	23.2	4.2	1969	27.8	24.7	3.1	27.1	24.3	2.8
1925	28.8	24.0	4.8	27.1	23.1	4.0	1970	27.6	24.6	3.0	26.9	24.2	2.7
1930	28.9	24.1	4.8	27.3	23.2	4.1	1971	27.5	24.5	3.0	26.8	24.2	2.6
1935	29.0	24.6	4.4	27.8	23.8	4.0	1972	27.4	24.7	2.7	26.7	24.2	2.5
1940	30.0	24.9	5.1	29.0	24.6	4.4	1973	27.4	24.7	2.7	26.7	24.3	2.4
1947	26.1	22.9	3.2	1974	27.6	25.0	2.6	26.8	24.5	2.3
1948	26.1	23.0	3.1	1975	27.8	25.2	2.6	27.0	24.7	2.3
1949	25.9	22.9	3.0	1976	28.0	25.4	2.6	27.2	24.9	2.3
1950	25.9	23.0	2.9	1977	28.2	25.6	2.6	27.4	25.0	2.4
1951	25.9	23.1	2.8	1978	28.5	25.7	2.8	27.6	25.1	2.5
1952	27.3	23.9	3.4	26.1	23.3	2.8	1979	28.6	25.8	2.8	27.7	25.2	2.5
1953	27.4	24.0	3.4	26.2	23.4	2.8	1980	28.7	25.9	2.8	27.8	25.2	2.6
1954	27.5	24.1	3.4	26.4	23.6	2.8	1981	28.9	26.0	2.8	27.9	25.3	2.6
1955	27.7	24.3	3.4	26.6	23.8	2.8	1982	29.0	26.1	2.9	28.0	25.3	2.7
1956	27.8	24.4	3.4	26.8	23.9	2.9	1983	29.0	26.1	2.9	28.0	25.4	2.7
1957	27.9	24.5	3.4	26.9	24.0	2.9	1984	29.1	26.2	2.9	28.1	25.4	2.7
1958	27.9	24.6	3.3	27.0	24.2	2.8	1985	29.3	26.4	2.9	28.2	25.5	2.7
1959	28.0	24.7	3.3	27.1	24.3	2.8	1986	29.5	26.5	2.9	28.3	25.6	2.7
1960	28.1	24.8	3.3	27.2	24.4	2.8	1987	29.6	26.7	2.9	28.4	25.7	2.7
1961	28.1	24.8	3.3	27.3	24.5	2.8	1988	29.7	26.8	2.9	28.4	25.8	2.6
1962	28.1	24.8	3.3	27.3	24.5	2.8	1989	29.8	26.9	2.9	28.5	25.8	2.6
1963	28.1	24.8	3.3	27.3	24.5	2.8							

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947～72年は沖縄県を含まない。1940年までは届出時の年齢、1947～67年は結婚式をあげたときの年齢、1968年以降は結婚式をあげたとき、または同居を始めたときの早い方の年齢である。同居(挙式)年と届出年が同じものについてのみ。

表7-3 主要国の平均初婚年齢：最新年次

(歳)

国 (年次)	夫	妻	国 (年次)	夫	妻	国 (年次)	夫	妻
スウェーデン(1981)	29.4	26.8	キプロス(1981)	26.7	23.9	スコットランド(1981)	24.8	22.9
日本(1989)	28.5	25.8	西ドイツ(1981) ²⁾	26.5	23.7	ニュージーランド(1980)	25.4	22.8
スイス(1981)	28.0	25.5	フランス(1980)	25.9	23.6	オーストラリア(1981)	25.1	22.6
デンマーク(1981) ¹⁾	28.1	25.3	カナダ(1981)	25.9	23.6	ユーゴスラビア(1979)	26.0	22.5
フィンランド(1981)	26.9	24.9	オランダ(1981)	25.9	23.4	イスラエル(1980)	25.6	22.5
ホンコン(1980)	28.2	24.6	アイスランド(1980)	25.7	23.4	アメリカ合衆国(1978) ⁵⁾	24.6	22.4
イタリア(1979)	27.5	24.3	スヘイン(1979) ³⁾	26.1	23.4	東ドイツ(1981) ⁶⁾	24.2	22.0
ハラグアイ(1975)	29.4	24.2	イギリス(1981) ¹⁾	25.6	23.2	ハンガリー(1981)	24.9	22.0
アイルランド(1979)	26.4	24.2	オーストリア(1980)	25.9	23.2	チェコスロバキア(1981)	24.4	21.6
ブラジル(1980)	27.8	24.0	北アイルランド(1980)	25.1	23.1	ブルガリア(1980)	24.3	21.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1982年版による各国の夫妻別、年齢別初婚者の婚姻件数に基づいて人口問題研究所が算定したもの。ただし、日本は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。配列は妻の年齢の高い順。

1) フェロー諸島およびグリーンランドを除く。2) 西ベルリンを含む。3) セウタとメリラを除く。4) イングランド=ウェールズのみ。5) いくつかの州と地区についてのもので、必ずしも国を代表する値ではない。最新の1986年のデータでは、夫26.2歳、妻24.3歳。6) 東ベルリンを含む。

表7-4 性、年齢（5歳階級）別累積婚姻率および合計婚姻率：1980～89年

(%)

年 齢	男				女			
	1980年	1985年	1988年	1989年	1980年	1985年	1988年	1989年
15 ～ 19	7.69	9.26	7.93	7.87	30.98	31.15	26.37	26.04
20 ～ 24	190.57	171.34	148.18	146.02	455.42	381.93	318.40	305.11
25 ～ 29	394.05	395.72	369.42	362.48	318.69	362.66	366.48	367.10
30 ～ 34	162.94	187.56	194.91	195.88	63.27	74.70	85.13	89.58
35 ～ 39	43.21	56.56	64.42	66.06	24.83	28.96	30.98	31.61
40 ～ 44	17.65	22.48	27.15	28.49	13.31	15.27	17.13	17.55
45 ～ 49	11.17	12.89	15.51	16.50	9.33	10.42	12.12	12.19
50 ～ 54	8.63	8.96	9.88	10.84	6.51	6.98	7.56	7.90
55 ～ 59	7.68	7.05	7.26	7.61	3.99	4.12	4.55	4.72
60 ～ 64	5.92	5.41	5.15	5.40	2.41	2.38	2.50	2.56
65 ～ 69	4.76	3.95	4.14	4.08	1.34	1.36	1.50	1.42
70 ～ 74	3.65	2.98	2.86	2.77	0.78	0.61	0.72	0.73
75歳以上	3.78	4.49	4.10	4.47	0.27	0.23	0.22	0.34
合計婚姻率 49歳以下	827.29	855.82	827.52	823.31	915.82	905.09	856.62	849.18
総 数	861.76	888.87	860.98	858.87	931.13	920.77	873.66	866.84
平均年齢	29.70	30.06	30.56	30.72	26.28	26.80	27.37	27.51

厚生省統計情報部『人口動態統計』および総務庁統計局『国勢調査』、『人口問題研究』第46巻4号、1991年1月による。累積率は年齢5歳階級内の各歳の率の合計値。平均年齢は各歳の率による。

表7-5 性、年齢（5歳階級）別累積初婚率および合計初婚率：1980～89年

(%)

年 齢	男				女			
	1980年	1985年	1988年	1989年	1980年	1985年	1988年	1989年
15 ～ 19	7.67	9.24	7.93	7.85	30.84	31.00	26.19	25.86
20 ～ 24	188.77	169.20	145.95	143.71	450.05	376.31	312.71	299.64
25 ～ 29	381.68	384.71	357.80	350.42	298.40	344.04	347.04	347.55
30 ～ 34	141.28	166.52	174.12	174.74	43.97	53.38	63.23	67.29
35 ～ 39	25.10	35.90	43.59	45.28	11.91	13.21	14.11	14.65
40 ～ 44	5.71	7.79	10.41	11.24	4.92	4.57	4.88	4.99
45 ～ 49	1.99	2.40	3.14	3.46	3.34	2.55	2.66	2.46
50 ～ 54	1.09	0.97	1.21	1.37	2.35	1.86	1.71	1.70
55 ～ 59	0.83	0.64	0.75	0.75	1.37	1.21	1.15	1.14
60 ～ 64	0.54	0.55	0.52	0.53	0.76	0.75	0.74	0.73
65 ～ 69	0.43	0.37	0.41	0.50	0.40	0.37	0.44	0.42
70 ～ 74	0.35	0.17	0.22	0.25	0.22	0.17	0.18	0.17
75歳以上	0.56	0.22	0.23	0.14	0.09	0.08	0.06	0.11
合計初婚率 49歳以下	752.21	775.76	742.94	736.69	843.42	825.06	770.80	762.44
総 数	756.00	778.68	746.27	740.23	848.61	829.50	775.07	766.71
平均年齢	27.75	28.14	28.57	28.66	25.27	25.65	26.06	26.16

表7-4参照。

表7-6 性、年齢（5歳階級）別累積再婚率および合計再婚率：1980～89年

(%)

年 齢	男				女			
	1980年	1985年	1988年	1989年	1980年	1985年	1988年	1989年
15 ～ 19	0.02	0.03	0.01	0.02	0.14	0.16	0.19	0.18
20 ～ 24	1.80	2.14	2.22	2.31	5.37	5.62	5.69	5.47
25 ～ 29	12.37	11.01	11.62	12.06	20.29	18.62	19.44	19.55
30 ～ 34	21.65	21.03	20.79	21.14	19.30	21.31	21.90	22.29
35 ～ 39	18.12	20.67	20.84	20.79	12.92	15.75	16.87	16.96
40 ～ 44	11.94	14.70	16.73	17.25	8.39	10.70	12.28	12.55
45 ～ 49	9.18	10.49	12.37	13.04	5.99	7.87	9.46	9.74
50 ～ 54	7.55	7.99	8.67	9.47	4.16	5.12	5.85	6.19
55 ～ 59	6.84	6.41	6.51	6.86	2.62	2.91	3.40	3.58
60 ～ 64	5.38	4.86	4.64	4.87	1.65	1.63	1.76	1.83
65 ～ 69	4.33	3.58	3.74	3.58	0.94	0.99	1.06	1.00
70 ～ 74	3.30	2.81	2.64	2.52	0.57	0.44	0.55	0.55
75歳以上	3.28	4.47	3.94	4.72	0.18	0.15	0.16	0.23
合計再婚率 49歳以下	75.08	80.06	84.58	86.62	72.40	80.03	85.82	86.74
総 数	105.76	110.19	114.71	118.64	82.52	91.27	98.59	100.13
平均年齢	43.66	43.74	43.74	43.76	36.65	37.27	37.70	37.87

表7-4参照。

表7-7 性、年齢(5歳階級)別死別・離別累積再婚率：1989年 (%)

年 齢	男		女	
	死 別	離 別	死 別	離 別
15 ~ 19	—	0.02	—	0.18
20 ~ 24	0.01	2.31	0.05	5.42
25 ~ 29	0.08	11.98	0.28	19.27
30 ~ 34	0.34	20.80	0.51	21.79
35 ~ 39	0.60	20.19	0.50	16.46
40 ~ 44	0.73	16.52	0.47	12.08
45 ~ 49	0.98	12.06	0.60	9.13
50 ~ 54	1.30	8.17	0.65	5.55
55 ~ 59	1.50	5.36	0.50	3.08
60 ~ 64	1.48	3.39	0.30	1.53
65 ~ 69	1.38	2.20	0.24	0.77
70 ~ 74	1.07	1.45	0.21	0.34
75歳以上	4.13	1.34	0.22	0.22
合計再婚率				
49歳以下	2.73	83.88	2.42	84.32
総 数	13.59	105.81	4.53	95.71
平均年齢(件数)	54.59	40.51	46.93	37.50
平均年齢(率)	63.37	41.55	49.24	37.38

表7-4参照。

表7-8 性、年齢(5歳階級)別未婚人口に対する初婚率：1980, 85年 (%)

年 齢	男		女	
	1980年	1985年	1980年	1985年
総 数	56.08	47.54	73.31	62.30
15 ~ 19	1.46	1.67	5.98	5.79
20 ~ 24	41.49	35.74	116.40	90.29
25 ~ 29	139.33	127.68	242.22	225.25
30 ~ 34	135.80	116.31	99.46	100.26
35 ~ 39	58.15	52.17	42.89	40.70
40 ~ 44	24.00	20.79	22.09	18.63
45 ~ 49	12.89	10.27	14.97	11.90
50 ~ 54	10.35	6.23	8.04	8.51
55 ~ 59	10.47	6.05	5.66	5.50
60 ~ 64	9.15	7.07	4.69	4.29
65 ~ 69	9.57	6.43	3.50	3.13
70 ~ 74	9.07	3.85	1.59	2.04
75歳以上	8.21	5.06	2.64	1.40

婚姻数は厚生省統計情報部『人口動態統計』、人口は総務庁統計局『国勢調査報告』、『人口問題研究』第46巻第1号、1990年4月による。総数は15歳以上未婚人口に対する率。

表7-9 性、年齢(5歳階級)別死別・離別人口に対する再婚率：1980, 85年 (%)

年 齢	1980年			1985年		
	総 数	死 別	離 別	総 数	死 別	離 別
男						
総 数	52.86	10.02	138.25	48.06	7.04	109.62
15 ~ 19	109.99	—	115.53	132.69	50.69	181.00
20 ~ 24	325.57	26.78	364.26	316.98	12.16	352.60
25 ~ 29	437.35	103.45	466.04	370.74	78.64	388.60
30 ~ 34	323.43	138.71	343.26	286.32	100.05	301.13
35 ~ 39	187.21	99.91	202.90	168.78	73.25	180.76
40 ~ 44	98.41	61.64	112.79	91.76	42.25	102.00
45 ~ 49	62.31	42.44	73.16	56.40	28.53	66.22
50 ~ 54	42.76	30.97	53.25	37.69	21.81	46.32
55 ~ 59	30.18	21.18	41.98	26.47	14.43	38.44
60 ~ 64	17.39	9.96	33.96	15.69	8.13	29.36
65 ~ 69	9.14	4.77	25.73	8.43	4.34	20.48
70 ~ 74	4.32	2.06	15.53	4.06	1.90	15.96
75歳以上	1.52	0.69	10.10	1.01	0.60	11.09
女						
総 数	10.75	0.88	60.73	10.40	0.63	51.67
15 ~ 19	271.87	50.70	312.75	162.46	—	213.58
20 ~ 24	343.83	73.39	377.47	251.08	42.19	266.67
25 ~ 29	278.32	81.35	299.22	231.11	65.39	245.83
30 ~ 34	136.47	38.91	160.49	126.91	35.36	142.97
35 ~ 39	61.23	18.47	86.88	62.62	14.99	77.58
40 ~ 44	27.85	7.04	47.76	32.01	7.37	46.20
45 ~ 49	13.90	3.36	27.26	17.90	3.59	30.97
50 ~ 54	6.37	1.38	12.95	8.58	1.33	18.03
55 ~ 59	2.46	0.45	6.44	3.35	0.49	8.12
60 ~ 64	0.98	0.17	3.51	1.17	0.16	3.70
65 ~ 69	0.41	0.05	2.05	0.46	0.06	2.22
70 ~ 74	0.19	0.02	0.88	0.15	0.01	1.10
75歳以上	0.06	0.01	0.46	0.05	0.00	0.47

表7-8参照。総数は離別・死別人口に対する再婚率。死別は死別人口、離別は離別人口に対する再婚率。

表7-10 夫妻の国籍別婚姻数：1965～89年

年次	実数					割合(%)			
	総数	夫妻とも日本人(1)	夫日本人妻外国人(2)	夫外国人妻日本人(3)	夫妻とも外国人(4)	夫妻とも日本人	夫日本人妻外国人	夫外国人妻日本人	夫妻とも外国人
1965	958,902	950,696	1,067	3,089	4,050	99.14	0.11	0.32	0.42
1970	1,033,952	1,023,859	2,108	3,438	4,547	99.02	0.20	0.33	0.44
1975	945,976	935,583	3,222	2,823	4,348	98.90	0.34	0.30	0.46
1980	778,624	767,441	4,386	2,875	3,922	98.56	0.56	0.37	0.50
1985	739,002	723,669	7,738	4,443	3,152	97.93	1.05	0.60	0.43
1986	714,168	698,433	8,255	4,274	3,206	97.80	1.16	0.60	0.45
1987	699,163	681,589	10,176	4,408	2,990	97.49	1.46	0.63	0.43
1988	710,924	690,844	12,267	4,605	3,208	97.18	1.73	0.65	0.45
1989	711,783	685,473	17,800	5,043	3,467	96.30	2.50	0.71	0.49

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。日本における婚姻総数。表7-1注参照。

表7-11 日本人と婚姻した性、国籍別外国人数：1965～89年

年次	夫外国人					妻外国人				
	総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他	総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他
	実数					実数				
1965	3,089	1,128	158	1,592	211	1,067	843	121	64	39
1970	3,438	1,386	195	1,571	286	2,108	1,536	280	75	217
1975	2,823	1,554	243	631	395	3,222	1,994	574	152	502
1980	2,875	1,651	194	625	405	4,386	2,458	912	178	838
1985	4,443	2,525	380	876	662	7,738	3,622	1,766	254	2,096
1986	4,408	2,365	432	947	664	10,176	4,405	1,977	235	3,559
1988	4,605	2,535	431	888	751	12,267	5,063	2,234	234	4,736
1989	5,043	2,589	614	946	894	17,800	7,685	3,291	211	6,613
	割合(%)					割合(%)				
1965	100.0	36.5	5.1	51.5	6.8	100.0	79.0	11.3	6.0	3.7
1970	100.0	40.3	5.7	45.7	8.3	100.0	72.9	13.3	3.6	10.3
1975	100.0	55.0	8.6	22.4	14.0	100.0	61.9	17.8	4.7	15.6
1980	100.0	57.4	6.7	21.7	14.1	100.0	56.0	20.8	4.1	19.1
1985	100.0	56.8	8.6	19.7	14.9	100.0	46.8	22.8	3.3	27.1
1986	100.0	53.7	9.8	21.5	15.1	100.0	43.3	19.4	2.3	35.0
1987	100.0	55.0	9.4	19.3	16.3	100.0	41.3	18.2	1.9	38.6
1988	100.0	51.3	12.2	18.8	17.7	100.0	43.2	18.5	1.2	37.2

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。日本における日本人と婚姻した外国人についてのみ。

表7-12 日本人の外国人との婚姻割合：1965～89年

(%)

年次	夫日本人					妻日本人				
	妻外国人総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他	夫外国人総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他
1965	0.11	0.09	0.01	0.01	0.00	0.32	0.12	0.02	0.17	0.02
1970	0.21	0.15	0.03	0.01	0.02	0.33	0.14	0.02	0.15	0.03
1975	0.34	0.21	0.06	0.02	0.05	0.30	0.17	0.03	0.07	0.04
1980	0.57	0.32	0.12	0.02	0.11	0.37	0.21	0.03	0.08	0.05
1985	1.06	0.50	0.24	0.04	0.29	0.61	0.35	0.05	0.12	0.09
1986	1.17	0.50	0.26	0.03	0.38	0.61	0.33	0.05	0.13	0.10
1987	1.47	0.64	0.29	0.03	0.52	0.64	0.35	0.06	0.14	0.10
1988	1.74	0.73	0.32	0.03	0.68	0.66	0.37	0.06	0.13	0.11
1989	2.53	1.11	0.48	0.03	0.96	0.73	0.38	0.09	0.14	0.13

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。日本で外国人と婚姻した日本人が日本で婚姻した日本人に占める割合を夫および妻について計算したもの。夫の場合は表7-10中の(2)/((1)+(2))、妻の場合は同(3)/((1)+(3))の割合を分子についてのみ国籍別に計算したもの。

表7-13 外国人の性、国籍別日本人との婚姻割合：1965～89年

(%)

年次	夫外国人					妻外国人				
	総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他	総数	朝鮮・韓国	中国	米国	その他
1965	43.3	23.4	54.5	88.0	93.0	20.9	18.5	46.0	27.9	61.9
1970	43.1	26.1	67.5	79.5	69.6	31.7	28.1	72.9	17.2	58.0
1975	39.4	29.8	63.6	65.4	64.0	42.6	35.2	79.1	33.6	68.7
1980	42.3	34.7	64.9	56.4	64.8	52.8	44.3	89.1	28.5	75.7
1985	58.5	50.8	73.6	70.9	75.4	71.1	59.7	92.7	45.9	88.6
1986	57.1	49.0	67.9	69.1	76.2	72.0	59.2	91.6	39.1	90.8
1987	59.6	50.7	71.9	71.7	81.4	77.3	65.8	91.3	42.3	95.0
1988	58.9	51.4	61.5	70.9	80.8	79.3	68.0	87.8	43.3	95.8
1989	59.3	52.2	58.5	72.4	75.2	83.7	76.5	87.3	39.1	95.7

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。日本で日本人と婚姻した外国人が日本で婚姻した日本人に占める割合を夫および妻について計算したもの。夫の場合は表7-10中の(3)/((3)+(4))、妻の場合は同(2)/((2)+(4))の割合を分母・分子とも国籍別に計算したもの。

表7-14 種類別離婚数および普通離婚率：1883～1989年

年次	実数					割合(%)					普通離婚率(%)
	総数	協議	調停	審判	判決(裁判)	総数	協議	調停	審判	判決(裁判)	
1883	127,163	100.0	3.38
1890	109,088	100.0	2.73
1900	63,828	100.0	1.46
1910	59,432	59,019	413	100.0	99.3	0.7	1.21
1920	55,511	55,061	450	100.0	99.2	0.8	0.99
1925	51,687	59,618	325	100.0	99.5	0.5	0.87
1930	51,259	50,881	378	100.0	99.3	0.7	0.80
1935	48,528	48,134	394	100.0	99.2	0.8	0.70
1940	48,556	48,187	369	100.0	99.2	0.8	0.68
1948	79,551	77,573	1,220	92	147	100.0	98.2	1.5	0.1	0.2	1.02
1950	83,689	79,955	3,276	25	433	100.0	95.5	3.9	0.0	0.5	1.01
1955	75,267	69,839	4,833	27	568	100.0	92.8	6.4	0.0	0.8	0.84
1960	69,410	63,302	5,413	43	652	100.0	91.2	7.8	0.1	0.9	0.74
1965	77,195	69,599	6,692	41	863	100.0	90.2	8.7	0.1	1.1	0.79
1967	83,478	74,843	7,719	62	854	100.0	89.7	9.2	0.1	1.0	0.84
1968	87,327	78,181	8,177	85	884	100.0	89.5	9.4	0.1	1.0	0.87
1969	91,280	81,883	8,391	84	922	100.0	89.7	9.2	0.1	1.0	0.89
1970	95,937	85,920	8,960	64	993	100.0	89.6	9.3	0.1	1.0	0.93
1971	103,595	92,892	9,576	57	1,070	100.0	89.7	9.2	0.1	1.0	0.99
1972	108,382	97,068	10,175	69	1,070	100.0	89.6	9.4	0.1	1.0	1.02
1973	111,877	100,353	10,325	69	1,130	100.0	89.7	9.2	0.1	1.0	1.04
1974	113,622	101,988	10,391	50	1,193	100.0	89.8	9.1	0.0	1.0	1.04
1975	119,135	107,138	10,771	54	1,172	100.0	89.9	9.0	0.0	1.0	1.07
1976	124,512	111,207	11,924	39	1,342	100.0	89.3	9.6	0.0	1.1	1.11
1977	129,485	115,733	12,277	54	1,421	100.0	89.4	9.5	0.0	1.1	1.14
1978	132,146	118,212	12,355	40	1,539	100.0	89.5	9.3	0.0	1.2	1.15
1979	135,250	121,063	12,529	42	1,616	100.0	89.5	9.3	0.0	1.2	1.17
1980	141,689	127,379	12,732	46	1,532	100.0	89.9	9.0	0.0	1.1	1.22
1981	154,221	139,233	13,333	31	1,624	100.0	90.3	8.6	0.0	1.1	1.32
1982	163,980	148,253	13,931	31	1,765	100.0	90.4	8.5	0.0	1.1	1.39
1983	179,150	163,607	13,689	54	1,800	100.0	91.3	7.6	0.0	1.0	1.51
1984	178,746	163,209	13,617	63	1,857	100.0	91.3	7.6	0.0	1.0	1.50
1985	166,640	151,918	12,928	59	1,735	100.0	91.2	7.8	0.0	1.0	1.39
1986	166,054	151,079	13,196	50	1,729	100.0	91.0	7.9	0.0	1.0	1.37
1987	158,227	143,735	12,830	39	1,623	100.0	90.8	8.1	0.0	1.0	1.30
1988	153,600	139,296	12,727	48	1,529	100.0	90.7	8.3	0.0	1.0	1.26
1989	157,811	142,612	13,610	51	1,538	100.0	90.4	8.6	0.0	1.0	1.29
1990 ¹⁾	157,000	1.27

1883、90年は内閣統計局『帝國統計年鑑』、1900年以後は厚生省統計情報部『人口動態統計』による。1947～72年は沖縄県を含まない。率は10月1日現在人口を分母とした1,000についてのもの。日本で発生した夫妻の一方が日本人である離婚数。普通離婚率の分母は、1920～66年は日本に在住する外国人も含む総人口が用いられ、1967年以降、日本人人口を分母としている。1)推計値。

表7-15 主要国の婚姻率および離婚率：最新年次

(%)

国	(年次)	婚姻率	離婚率	国	(年次)	婚姻率	離婚率	国	(年次)	婚姻率	離婚率
ソビエト連邦	(1987)	9.8	3.36	ルーマニア	(1985)	7.1	1.43	ハンガリー	(1987)	6.2	2.81
アメリカ合衆国	(1988)	* 9.7	4) 4.80	オーストラリア	(1988)	* 7.1	8)10)2.46	ヨルダン	(1987)	6.1	0.98
エジプト	(1985)	9.1	1.63	イングランド=ウェールズ	(1987)	* 7.0	9) 3.20	オランダ	(1988)	* 6.1	* 1.79
アルバニア	(1987)	8.9	0.82	スコットランド	(1986)	* 7.0	9) 2.60	日本	(1990)	* 5.9	* 1.27
韓国	(1986)	8.6	0.82	イスラエル	(1987)	6.9	1.19	ベルギー	(1987)	5.7	8) 1.85
東ドイツ	(1988)	* 8.2	2.96	ユーゴスラビア	(1988)	* 6.8	* 0.96	イタリア	(1988)	* 5.5	* 0.44
キューバ	(1988)	* 7.9	5) 3.15	メキシコ	(1985)	6.6	0.33	フィンランド	(1987)	5.3	2.10
チェコスロバキア	(1987)	7.9	*6) 2.50	スイス	(1987)	6.6	1.76	スウェーデン	(1988)	* 5.2	* 2.26
コスタリカ	(1987)	7.8	7) 1.02	北アイルランド	(1987)	6.6	9) 1.03	ノルウェー	(1987)	5.0	2.01
ニュージーランド	(1987)	7.5	2.65	西ドイツ	(1988)	* 6.5	5) 2.12	フランス	(1988)	* 4.9	5) 1.91
ブルガリア	(1987)	7.2	1.40	タイ	(1986)	6.3	0.69	アイスランド	(1987)	4.8	2.03
カナダ	(1987)	7.1	3.05	デンマーク	(1988)	6.3	2.88	オーストリア	(1988)	* 4.7	5) 1.93
ポーランド	(1985)	7.1	*6) 1.32	ギリシャ	(1987)	6.3	8) 0.87	エルサルバドル	(1985)	3.8	0.41

UN, Demographic Yearbook, 1988年版による。ただし、日本は厚生省『人口動態統計』による。婚姻率、離婚率ともに人口1,000についてのもの、配列は婚姻率の高い順。*は暫定値。

1)東ベルリンを含む。2)西ベルリンを含む。3)フェロー諸島およびグリーンランドを除く。4)いくつかの州と地区の数値に基づく推計値。5)1987年。6)1988年。7)1982年。8)1986年。9)1985年。10)生粋の原住民を除く。

表7-16 親権を行う子をもつ夫妻別にみた離婚件数：1950～89年

年次	総数	子供なし	子 供 あ り			
			総数	夫が全児の親権を行う	妻が全児の親権を行う	その他
		実数				
1950	83,689	35,705	47,984	23,376	19,315	5,293
1955	75,267	29,557	45,710	21,130	18,573	6,007
1960	69,410	28,958	40,452	18,945	16,859	4,648
1965	77,195	32,232	44,963	20,328	20,205	4,430
1970	95,937	39,254	56,683	22,805	28,902	4,976
1975	119,135	44,467	74,668	25,162	43,259	6,247
1980	141,689	45,934	95,755	24,616	64,375	6,764
1981	154,221	48,074	106,147	25,705	73,062	7,380
1982	163,980	50,206	113,774	26,506	79,719	7,549
1983	179,150	53,759	125,391	27,679	90,005	7,707
1984	178,746	54,206	124,540	27,177	89,781	7,582
1985	166,640	52,959	113,681	25,094	81,395	7,192
1986	166,054	54,607	111,447	24,432	80,150	6,865
1987	158,227	53,329	104,898	23,292	75,030	6,576
1988	153,600	53,639	99,961	22,454	71,364	6,143
1989	157,811	56,508	101,303	22,908	72,218	6,177
		割合(%)				
1950	100.0	42.7	100.0	48.7	40.3	11.0
1955	100.0	39.3	100.0	46.2	40.6	13.1
1960	100.0	41.7	100.0	46.8	41.7	11.5
1965	100.0	41.8	100.0	45.2	44.9	9.9
1970	100.0	40.9	100.0	40.2	51.0	8.8
1975	100.0	37.3	100.0	33.7	57.9	8.4
1980	100.0	32.4	100.0	25.7	67.2	7.1
1981	100.0	31.2	100.0	24.2	68.8	7.0
1982	100.0	30.6	100.0	23.3	70.1	6.6
1983	100.0	30.0	100.0	22.1	71.8	6.1
1984	100.0	30.3	100.0	21.8	72.1	6.1
1985	100.0	31.8	100.0	22.1	71.6	6.3
1986	100.0	32.9	100.0	21.9	71.9	6.2
1987	100.0	33.7	100.0	22.2	71.5	6.3
1988	100.0	34.9	100.0	22.5	71.4	6.1
1989	100.0	35.8	100.0	22.6	71.3	6.1

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。その他とは夫と妻がそれぞれ分け合って子供の親権を行う場合である。

表7-17 夫妻が親権を行う子の数別離婚件数および子の総数：1950～89年

年次	子の総数	夫妻が親権を行う子の数別件数							離婚当たり 子数
		総数	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
1950	80,481	83,689	35,705	29,579	10,367	4,380	2,095	1,563	0.96
1955	83,138	75,267	29,557	23,240	12,817	6,018	2,417	1,218	1.10
1960	34,551	36,832	17,165	10,321	5,516	2,586	893	351	0.94
1965	37,435	42,705	19,777	12,519	7,317	2,318	597	177	0.88
1970	48,269	95,937	62,059	22,618	8,846	1,933	343	138	0.50
1975	73,664	119,135	69,629	30,309	15,215	3,277	528	177	0.62
1980	166,096	141,689	45,934	41,829	40,756	10,755	1,841	574	1.17
1981	187,316	154,221	48,074	44,280	46,336	12,759	2,097	675	1.21
1982	202,773	163,980	50,206	46,547	49,808	14,290	2,314	815	1.24
1983	226,262	179,150	53,759	49,793	55,457	16,388	2,842	911	1.26
1984	223,246	178,746	54,206	50,367	54,445	16,144	2,723	861	1.25
1985	202,585	166,640	52,959	46,573	49,356	14,796	2,220	736	1.22
1986	197,816	166,054	54,607	46,352	47,939	14,110	2,336	710	1.19
1987	184,198	158,227	53,329	44,512	44,882	12,982	1,927	595	1.16
1988	173,714	153,600	53,639	43,836	41,760	11,898	1,913	554	1.13
1989	175,478	157,811	56,508	44,754	42,000	12,233	1,800	516	1.11

厚生省統計情報部『人口動態統計』中巻による。
夫妻が親権を行う子は離婚時に20歳未満の子である。

表7-18 同居期間別離婚件数：1947～89年

同居期間	1947年	1960年	1970年	1980年	1985年	1989年
	実 数					
総 数	79,551	69,410	95,937	141,689	166,640	157,811
1年未満	11,184	11,345	14,523	12,990	12,655	12,982
1年～2年未満	11,645	9,327	11,149	11,427	12,815	13,195
2 ～ 3	8,639	6,844	9,193	10,211	11,710	11,875
3 ～ 4	9,649	5,359	7,772	9,204	10,437	10,740
4 ～ 5	7,388	4,558	6,852	8,765	8,821	9,680
5 ～ 10	18,525	15,313	23,299	39,034	35,338	33,331
10 ～ 15	6,766	9,740	11,898	24,425	32,312	23,065
15 ～ 20	3,036	3,836	5,858	14,088	21,529	20,564
20年以上	2,479	3,037	5,072	10,883	20,435	21,356
不詳	240	51	321	662	588	1,023
	割 合 (%)					
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1年未満	14.1	16.3	15.1	9.2	7.6	8.2
1年～2年未満	14.6	13.4	11.6	8.1	7.7	8.4
2 ～ 3	10.9	9.9	9.6	7.2	7.0	7.5
3 ～ 4	12.1	7.7	8.1	6.5	6.3	6.8
4 ～ 5	9.3	6.6	7.1	6.2	5.3	6.1
5 ～ 10	23.3	22.1	24.3	27.5	21.2	21.1
10 ～ 15	8.5	14.0	12.4	17.2	19.4	14.6
15 ～ 20	3.8	5.5	6.1	9.9	12.9	13.0
20年以上	3.1	4.4	5.3	7.7	12.3	13.5
不詳	0.3	0.1	0.3	0.5	0.4	0.6

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。

表7-19 夫妻の国籍別離婚数：1965～89年

年次	実 数			割 合 (%)			婚姻数に対する離婚数の比率 (%)		
	総 数	夫または妻 が日本人	夫妻とも 外国人	総 数	夫または妻 が日本人	夫妻とも 外国人	総 数	夫または妻 が日本人	夫妻とも 外国人
1965	77,557	77,195	362	100.00	99.53	0.47	8.1	8.1	8.9
1970	96,526	95,937	589	100.00	99.39	0.61	9.3	9.3	13.0
1975	120,023	119,135	888	100.00	99.26	0.74	12.7	12.7	20.4
1980	142,833	141,689	1,144	100.00	99.20	0.80	18.3	18.3	29.2
1985	168,212	166,640	1,572	100.00	99.07	0.93	22.8	22.6	49.9
1986	167,455	166,054	1,401	100.00	99.16	0.84	23.4	23.4	43.7
1987	159,667	158,227	1,440	100.00	99.10	0.90	22.8	22.7	48.2
1988	155,058	153,600	1,458	100.00	99.06	0.94	21.8	21.7	45.4
1989	159,351	157,811	1,540	100.00	99.03	0.97	22.4	22.3	44.4

厚生省統計情報部「人口動態統計」による。日本国内における離婚数。表7-14注参照。「夫または妻が日本人」の離婚の国籍による3区分は原データの制約で行われていない。国籍別婚姻数は表7-10を参照。

表7-20 年齢(5歳階級)別累積離婚率, 合計離婚率および平均離婚年齢: 1980~88年 (‰)

年 齢	男				女			
	1980年	1985年	1987年	1988年	1980年	1985年	1987年	1988年
15 ~ 19	0.18	0.36	0.31	0.30	1.16	1.79	1.57	1.57
20 ~ 24	7.63	9.92	9.94	10.05	17.57	20.33	19.86	19.95
25 ~ 29	26.29	27.02	27.11	27.67	37.57	39.27	38.98	39.73
30 ~ 34	36.01	36.13	33.68	33.71	34.64	37.46	34.76	34.32
35 ~ 39	30.05	35.22	32.23	30.59	25.64	32.63	30.13	28.01
40 ~ 44	22.12	29.26	27.14	25.96	17.94	25.20	23.79	22.48
45 ~ 49	16.19	22.38	21.48	20.02	11.56	16.90	16.67	15.99
50 ~ 54	10.20	14.80	14.56	13.87	6.76	9.69	9.57	9.15
55 ~ 59	6.68	8.73	8.64	8.42	3.74	5.32	5.17	4.96
60 ~ 64	4.13	5.04	4.75	4.54	2.07	2.67	2.56	2.55
65 ~ 69	3.21	3.20	3.15	2.91	1.00	1.36	1.47	1.43
70 ~ 74	2.01	2.34	2.19	1.86	0.47	0.63	0.65	0.66
75歳以上	0.36	0.83	0.79	0.66	0.01	0.03	0.04	0.04
合計離婚率								
49歳以下	138.47	160.28	151.90	148.30	146.06	173.58	165.77	162.06
総 数	165.06	195.23	185.97	180.58	160.11	193.30	185.23	180.84
平均年齢	39.17	39.83	39.81	39.54	35.29	36.25	36.27	36.07

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。平均年齢は年齢各歳の率による。
 年齢5歳階級別累積離婚率は年齢各歳別離婚率を各5歳階級間で累積(合計)したもの。

表7-21 有配偶合計離婚率および合計離婚率: 1980~88年 (‰)

年 次	男			女		
	有配偶合計 離婚率	合計離婚率	合計初婚率	有配偶合計 離婚率	合計離婚率	合計初婚率
総 数						
1980	218.33	165.06	756.00	188.67	160.11	848.61
1985	250.72	195.23	778.68	233.03	193.30	829.50
1987	252.14	185.97	737.58	240.31	185.23	770.81
1988	241.98	180.58	746.27	233.32	180.84	775.07
49歳以下						
1980	184.08	138.47	752.21	173.18	146.06	843.42
1985	206.61	160.28	775.76	210.38	173.58	825.06
1987	206.82	151.90	734.44	216.23	165.77	766.62
1988	199.61	148.30	742.94	210.25	162.06	770.80

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。
 合計離婚率は年齢別離婚率にしたがって離婚するとしたとき一生涯における平均離婚回数。有配偶合計離婚率は合計離婚率/合計初婚率で、年齢別の初婚率と離婚率にしたがって結婚し、離婚するとしたときの既婚者の一生における平均離婚回数。
 合計初婚率は表7-5による。

表7-22 性別にみた配偶関係別15歳以上人口：1920～85年

年次	人口(1,000人)					割合(%)			
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
男									
1920	17,735	5,200	11,147	1,059	329	29.3	62.9	6.0	1.9
1925	18,950	5,677	11,860	1,078	334	30.0	62.6	5.7	1.8
1930	20,495	6,613	12,477	1,116	289	32.3	60.9	5.4	1.4
1935	21,840	7,242	13,134	1,169	295	33.2	60.1	5.4	1.4
1940 ¹⁾	22,697	7,946	13,321		1,431	35.0	58.7	6.3	
1950 ²⁾	25,865	8,864	15,594	1,175	229	34.3	60.3	4.5	0.9
1955 ²⁾	28,682	10,126	17,120	1,163	270	35.3	59.7	4.1	0.9
1960 ²⁾	31,542	10,963	19,179	1,109	285	34.8	60.8	3.5	0.9
1965	35,693	12,320	22,016	1,063	274	34.5	61.7	3.0	0.8
1970	38,512	12,462	24,691	1,023	325	32.4	64.1	2.7	0.8
1975	41,112	11,946	27,711	1,053	388	29.1	67.4	2.6	0.9
1980	43,442	12,383	29,387	1,061	532	28.5	67.6	2.4	1.2
1985	46,131	13,652	30,525	1,124	749	29.6	66.2	2.4	1.6
女									
1920	17,812	3,337	11,238	2,806	431	18.7	63.1	15.8	2.4
1925	18,862	3,597	11,879	2,951	436	19.1	63.0	15.6	2.3
1930	20,375	4,327	12,515	3,150	383	21.2	61.4	15.5	1.9
1935	21,869	4,944	13,173	3,358	394	22.6	60.2	15.4	1.8
1940 ¹⁾	23,217	5,770	13,504		3,943	24.9	58.2	17.0	
1950 ²⁾	27,902	7,168	15,711	4,489	531	25.7	56.3	16.1	1.9
1955 ²⁾	30,795	8,344	17,169	4,670	611	27.1	55.7	15.2	2.0
1960 ²⁾	33,810	9,099	19,200	4,784	720	26.9	56.8	14.2	2.1
1965	37,987	10,291	21,976	4,981	716	27.1	57.9	13.1	1.9
1970	41,001	10,205	24,697	5,240	854	24.9	60.2	12.8	2.1
1975	43,561	9,376	27,751	5,518	905	21.5	63.7	12.7	2.1
1980	46,040	9,617	29,472	5,717	1,129	20.9	64.0	12.4	2.5
1985	48,843	10,586	30,547	6,182	1,466	21.7	62.5	12.7	3.0

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の年齢15歳以上の人口。総数に配偶関係不詳を含む。とくに注記のないかぎり沖縄県の人口を含む。1) 外地人と外国人を除く。2) 沖縄県を含まない。

表7-23 性、年齢(5歳階級)別にみた配偶関係別人口：1985年

年齢	総数	未婚	有配偶	死別	離別
男					
15歳以上	46,131,184	13,651,696	30,524,653	1,124,255	748,971
15～19	4,600,427	4,574,494	11,570	20	139
20～24	4,165,995	3,837,905	307,892	417	5,009
25～29	3,948,330	2,384,373	1,528,626	1,212	22,339
30～34	4,558,265	1,282,072	3,198,089	4,388	63,872
35～39	5,398,230	765,397	4,493,057	11,724	120,197
40～44	4,551,877	338,265	4,061,613	21,336	124,656
45～49	4,092,121	190,792	3,744,890	35,579	116,390
50～54	3,926,414	122,048	3,634,250	60,773	105,463
55～59	3,409,374	72,201	3,170,097	89,382	75,128
60～64	2,379,902	36,940	2,194,436	101,957	44,841
65～69	1,781,008	20,613	1,608,421	121,965	28,744
70～74	1,503,595	13,286	1,293,058	174,642	21,508
75歳以上	1,815,646	13,310	1,278,654	500,860	20,685
女					
15歳以上	48,843,175	10,585,589	30,546,902	6,182,254	1,446,440
15～19	4,379,520	4,329,592	37,465	67	693
20～24	4,034,559	3,284,041	723,672	1,156	16,387
25～29	3,875,072	1,185,628	2,621,907	4,599	58,085
30～34	4,495,959	468,647	3,871,475	17,386	135,351
35～39	5,339,814	354,259	4,713,636	48,613	220,493
40～44	4,583,077	224,398	4,049,157	97,636	209,650
45～49	4,144,493	177,178	3,601,744	177,863	185,485
50～54	4,006,580	174,304	3,351,423	306,455	171,536
55～59	3,590,371	157,120	2,805,043	468,795	156,301
60～64	3,025,636	106,280	2,076,602	713,048	126,264
65～69	2,412,411	57,378	1,322,601	947,139	81,360
70～74	2,059,802	34,440	833,946	1,134,371	52,894
75歳以上	2,895,881	32,324	538,231	2,265,126	51,941

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告 第2巻その1 全国編』による。総数に配偶関係不詳を含む。

表7-24 性、年齢(5歳階級)別にみた配偶関係別割合:1965~85年

(%)

年 齢	未 婚					有 配 偶					死 別					離 別				
	2) 1965 年	1970 年	1975 年	1980 年	1985 年	2) 1965 年	1970 年	1975 年	1980 年	1985 年	2) 1965 年	1970 年	1975 年	1980 年	1985 年	2) 1965 年	1970 年	1975 年	1980 年	1985 年
男																				
15歳以上1)	34.5	32.4	29.1	28.5	29.6	61.7	64.1	67.4	67.6	66.2	3.0	2.7	2.6	2.4	2.4	0.3	0.8	0.9	1.2	1.6
15 ~ 19	99.6	99.3	99.5	99.6	99.4	0.3	0.6	0.5	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 ~ 24	90.3	90.0	88.0	91.5	92.1	9.5	9.8	11.8	8.1	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
25 ~ 29	45.7	46.5	48.3	55.1	60.4	53.8	52.9	51.2	44.1	38.7	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6
30 ~ 34	11.0	11.7	14.3	21.5	28.1	88.1	87.2	84.6	77.0	70.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7	0.9	0.9	1.2	1.4
35 ~ 39	4.2	4.7	6.1	8.5	14.2	94.5	93.9	92.4	89.4	83.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	1.0	1.1	1.2	1.7	2.2
40 ~ 44	2.4	2.8	3.7	4.7	7.4	95.6	95.3	94.3	92.7	89.2	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	1.3	1.3	1.5	1.9	2.7
45 ~ 49	1.7	1.9	2.5	3.1	4.7	95.6	95.6	94.9	93.8	91.5	1.2	1.0	1.0	0.9	0.9	1.4	1.4	1.6	2.0	2.8
50 ~ 54	1.3	1.5	1.8	2.1	3.1	94.7	95.2	94.8	94.3	92.6	2.5	1.9	1.8	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.9	2.7
55 ~ 59	1.1	1.2	1.3	1.5	2.1	92.4	93.7	94.0	93.8	93.0	5.0	3.7	3.1	2.8	2.6	1.5	1.5	1.5	1.7	2.2
60 ~ 64	1.0	1.0	1.1	1.2	1.6	88.1	90.5	91.8	92.5	92.2	9.5	7.1	5.7	4.6	4.3	1.4	1.4	1.4	1.6	1.9
65 ~ 69	0.9	0.9	0.9	0.9	1.2	82.0	85.0	87.4	89.5	90.3	15.6	12.7	10.4	8.0	6.8	1.3	1.4	1.3	1.4	1.6
70 ~ 74	0.9	0.9	1.0	0.8	0.9	73.7	77.3	80.1	83.7	86.0	24.1	20.6	17.7	14.0	11.6	1.2	1.3	1.2	1.3	1.4
75 ~ 79	0.9	0.9	1.1	0.7	0.8	62.4	66.9	70.1	74.4	78.3	35.4	31.0	27.7	23.4	19.6	1.1	1.1	1.1	1.2	1.2
80 ~ 84	0.9	1.1	1.2	0.7	0.7	48.5	53.6	57.5	62.0	66.3	49.6	44.3	40.3	35.8	31.8	0.9	1.0	0.9	1.1	1.1
85歳以上	0.9	1.2	1.4	0.7	0.7	35.6	37.7	40.5	44.2	47.8	62.4	60.2	57.1	53.4	50.4	0.9	0.9	0.9	1.0	0.9
女																				
15歳以上1)	27.1	24.9	21.5	20.9	21.7	57.9	60.2	63.7	64.0	62.5	13.1	12.8	12.7	12.4	12.7	1.9	2.1	2.1	2.5	3.0
15 ~ 19	98.5	97.8	98.6	99.0	98.9	1.3	1.8	1.3	0.9	0.9	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20 ~ 24	68.1	71.6	69.2	77.7	81.4	31.4	27.7	30.3	21.9	17.9	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
25 ~ 29	18.9	18.1	20.9	24.0	30.6	79.7	80.3	77.8	74.5	67.7	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	1.0	1.3	1.1	1.3	1.5
30 ~ 34	9.0	7.2	7.7	9.1	10.4	88.0	89.9	89.8	88.0	86.1	1.0	0.8	0.7	0.5	0.4	1.9	2.0	1.9	2.4	3.0
35 ~ 39	6.8	5.8	5.3	5.5	6.6	87.5	89.6	90.6	90.2	88.3	2.5	1.9	1.6	1.2	0.9	3.2	2.7	2.5	3.0	4.1
40 ~ 44	4.7	5.3	5.0	4.4	4.9	84.9	86.9	88.7	89.5	88.4	6.4	4.1	3.2	2.6	2.1	4.0	3.8	3.1	3.4	4.6
45 ~ 49	3.0	4.0	4.9	4.4	4.3	79.0	82.6	85.0	86.8	86.9	14.3	9.1	6.3	5.0	4.3	3.7	4.3	3.8	3.6	4.5
50 ~ 54	2.1	2.7	3.8	4.4	4.4	72.9	75.0	79.3	82.3	83.6	21.8	18.5	12.8	9.0	7.6	3.2	3.8	4.1	4.1	4.3
55 ~ 59	1.7	2.0	2.6	3.5	4.4	66.6	66.8	69.9	74.9	78.1	29.1	28.1	23.9	17.1	13.1	2.6	3.1	3.5	4.2	4.4
60 ~ 64	1.3	1.6	2.0	2.4	3.5	56.8	58.1	59.7	63.5	68.6	39.7	37.7	35.4	30.2	23.6	2.1	2.6	2.8	3.5	4.2
65 ~ 69	1.1	1.3	1.8	1.7	2.4	44.0	46.0	48.5	51.3	54.8	53.0	50.6	47.5	43.6	39.3	1.7	2.1	2.2	2.8	3.4
70 ~ 74	1.1	1.1	1.6	1.3	1.7	29.5	32.1	34.7	38.1	40.5	67.8	65.0	61.9	57.5	55.1	1.4	1.8	1.8	2.2	2.6
75 ~ 79	1.1	1.1	1.5	1.0	1.3	17.0	18.7	21.2	24.0	26.3	80.5	78.6	75.7	72.1	70.2	1.2	1.5	1.5	1.9	2.0
80 ~ 84	0.9	1.0	1.4	0.8	1.0	8.4	9.4	10.8	12.7	13.8	89.5	88.2	86.4	83.6	83.3	1.1	1.4	1.3	1.7	1.6
85歳以上	0.8	1.0	1.2	0.7	0.8	5.5	4.3	4.9	4.9	5.2	92.6	93.5	92.7	91.5	92.2	1.0	1.3	1.2	1.6	1.4

総務庁統計局『国勢調査報告』による。割合の分母になる年齢別人口には配偶関係不詳を含む。

1)1965年は年齢不詳を含む。

2)1965年は沖縄を含まない。

表7-25 主要国の性、年齢階級別にみた未婚率および有配偶率：最新年次

(%)

年 齢	日本 ¹⁾ (1985年)	カナダ (1986年)	メキシコ (1980年)	韓国 ²⁾ (1985年)	イギリス ³⁾ (1985年)	アメリカ 合衆国 (1987年)	東ドイツ ⁴⁾ (1985年)	フランス ⁵⁾ (1987年)	西ドイツ ⁶⁾ (1986年)	スウェー デン* (1987年)
未 婚 率										
男										
総 数	29.6	30.7	35.4	39.3	30.6	30.0	26.0	32.3	34.0	40.2
15～19	99.4	98.7	92.9	99.9	99.5	98.6	99.6	99.9	99.8	100.0
20～24	92.1	79.2	59.2	94.4	82.7	77.7	76.0	88.2	90.9	97.3
25～29	60.4	39.6	25.4	49.8	42.3	42.2	31.3	48.5	59.0	81.1
30～34	28.1	19.6	12.1	9.5	20.2	23.1	14.6	23.3	32.2	55.3
35～39	14.2	11.4	8.4	2.4	12.5	12.4	9.0	13.7	19.8	35.2
40～54	5.2	7.6	6.0	0.7	9.0	6.3	5.1	9.7	9.9	17.2
55～64	1.9	7.4	5.1	0.3	8.7	5.8	2.0	9.4	4.7	12.1
65歳以上	0.9	7.5	5.2	0.1	7.3	4.5	1.7	7.5	3.8	11.5
女										
総 数	21.7	23.9	29.1	27.8	23.3	23.0	19.0	25.4	24.7	31.3
15～19	98.9	95.3	79.4	99.1	97.1	94.6	97.4	98.7	98.3	99.7
20～24	81.4	60.2	40.0	71.8	64.6	60.8	51.2	72.1	75.3	91.6
25～29	30.6	25.7	18.4	17.4	26.3	28.8	16.2	32.3	35.9	65.4
30～34	10.4	13.3	11.2	4.3	11.7	14.6	8.1	16.1	17.6	39.4
35～39	6.6	8.6	8.5	1.5	6.7	8.4	5.3	10.3	9.0	23.3
40～54	4.5	6.1	7.2	0.5	5.3	5.2	4.9	7.1	5.8	10.1
55～64	4.0	6.0	7.5	0.1	6.9	4.2	8.5	7.6	8.1	6.6
65歳以上	1.7	8.6	8.7	0.1	10.5	5.5	6.5	8.6	9.1	10.6
有 配 偶 率										
男										
総 数	66.2	64.3	62.2	58.6	61.5	61.4	65.2	60.7	59.1	48.8
15～19	0.3	1.2	6.7	0.1	0.5	1.4	0.4	0.1	0.2	0.0
20～24	7.4	20.6	40.3	5.6	16.7	20.7	22.5	11.6	8.8	2.6
25～29	38.7	59.0	73.9	49.9	53.6	52.3	61.9	49.1	38.6	17.5
30～34	70.2	77.2	86.9	89.6	72.6	68.8	75.9	70.7	62.5	40.0
35～39	83.2	84.0	90.4	95.9	79.3	76.6	81.1	78.6	73.0	56.0
40～54	91.0	86.5	91.4	96.8	82.6	83.2	85.7	82.7	82.3	67.4
55～64	92.7	85.2	88.8	94.1	82.8	84.1	90.5	83.0	88.0	73.0
65歳以上	82.0	76.7	79.4	81.9	72.7	77.1	74.1	73.3	75.7	67.4
女										
総 数	62.5	61.8	61.6	59.2	57.4	57.3	56.6	55.5	54.0	46.9
15～19	0.9	4.6	19.6	0.9	2.9	5.2	2.6	1.3	1.7	0.3
20～24	17.9	39.1	57.5	28.1	34.0	36.0	45.3	27.1	23.8	7.9
25～29	67.7	71.4	78.0	81.8	67.5	63.3	74.3	63.2	60.0	31.4
30～34	86.1	81.0	83.8	93.1	79.0	73.4	80.3	75.5	75.5	52.8
35～39	88.3	83.5	84.8	93.5	82.9	76.7	81.8	79.1	81.9	64.0
40～54	86.4	82.7	80.2	85.1	82.3	76.7	80.3	79.9	82.2	70.1
55～64	73.8	73.4	67.2	58.4	72.0	70.1	64.7	70.0	68.5	69.0
65歳以上	36.6	41.1	46.9	27.5	37.1	41.0	26.4	34.9	29.2	39.5

UN, *Demographic Yearbook*, 1987年版に基づいて算定したもので、とくに注記のないかぎり各国最近の推計人口である。日本は、総務庁統計局『国勢調査報告』による。各性、年齢階級別人口総数100についての未婚者および有配偶者の率である。総数は15歳以上で、不詳のある場合これを含む。なお、有配偶は合意結婚と同居を含む。配列は女子の15歳以上有配偶率の高い順。*暫定値。1)人口調査結果。2)人口調査の2%抽出結果。3)イングランド＝ウェールズのみ。4)東ベルリンを含む。5)年齢は満年齢でなく出生年による。6)西ベルリンを含む。

表 8 - 1 世帯増加率と人口増加率の比較および平均世帯人員：1920～90年

年 次	総 世 帯	世帯増加率	総 人 口	人口増加率	世帯増加率	1世帯当たり 平均世帯人員
	(1,000世帯)	(%)	(1,000人)	(%)	人口増加率	
1920	11,221		55,963			4.99
1925	12,000	6.9	59,737	6.7	1.0	4.98
1930	12,705	5.9	64,450	7.9	0.7	5.07
1935	13,504	6.3	69,254	7.5	0.8	5.13
1940	14,342	6.2	73,114	5.6	1.1	5.10
1947 ¹⁾	15,871	²⁾ 11.6	78,101	²⁾ 7.7	1.5	4.92
1950	¹⁾ 16,580	4.5	84,115	³⁾ 6.5	0.7	¹⁾ 5.02
1955	18,123	⁴⁾ 8.3	90,077	7.1	1.2	4.97
1960	20,860	15.1	94,302	4.7	3.2	4.52
1965	24,290	16.4	99,209	5.2	3.2	4.08
1970	28,093	15.7	104,665	5.5	2.9	3.73
1975	32,141	14.4	111,940	7.0	2.1	3.48
1970	30,391		104,665			3.44
1975	33,734	11.0	111,940	7.0	1.6	3.32
1980	36,015	6.8	117,060	4.6	1.5	3.25
1985	38,133	5.9	121,049	3.4	1.7	3.17
1990	⁵⁾ 41,016	7.6	⁵⁾ 123,612	2.1	3.6	3.01

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在のもの。したがって、増加率の期間は期初年10月～期末年9月。とくに注記のないかぎり、沖縄県を含んでいる。なお、世帯数はすべての世帯を含む総世帯であるが、1975年国勢調査において世帯の定義が変更されている。それは、会社、官公庁等の独身寮に住んでいる人については、1975年調査までは棟ごとにまとめて一つの世帯としていたが、1980年調査では1人1人をそれぞれ一つの世帯として調査したことである。そこで、この1980年の定義に基づいて1970、75年を組み替えて示したのが、表中の点線以下の数値である(表8-3の注記も参照)。1) 沖縄県を含まない。2) 1940年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。3) 1950年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。4) 1955年から沖縄県を除いてみた場合の増加率。5) 要計表による概数。

表 8 - 2 世帯の種類別にみた世帯数および世帯人員総数：1920～85年

年 次	世 帯 数 (1,000世帯)						総 世 帯 人 員 (1,000人)			
	普通世帯		準世帯	一般世帯		施設世帯	普通世帯	準世帯	一般世帯	施設世帯
	総 数	単独世帯		総 数	単独世帯					
1920	11,122	642	99	54,336	1,627
1925	11,903	...	97	58,015	1,721
1930	12,600	694	105	62,761	1,689
1935	13,383	...	121	67,250	2,004
1940	14,214	1,882	128	70,961	2,154
1950	¹⁾ 16,617	²⁾ 889	³⁾ 155	³⁾ 81,629	³⁾ 1,570
1955	17,540	⁴⁾ 596	583	⁵⁾ 87,173	⁵⁾ 2,903
1960	⁶⁾ 19,871	⁷⁾ 1,055	989	22,539	⁸⁾ 1,679	28	⁶⁾ 90,285	4,017	93,419	883
1965	23,280	⁹⁾ 1,813	1,011	23,952	94,393	4,816
1970	27,071	2,912	1,022	30,297	3,623	77	99,983	4,682	103,351	1,315
1975	31,271	4,236	836	33,596	4,813	99	107,970	3,924	110,338	1,556
1980	34,106	5,388	1,854	35,824	7,105	137	113,733	3,256	115,451	1,538
1985	36,478	6,393	1,624	37,980	7,895	122	117,832	3,175	119,334	1,674

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在のもの。表8-1の注参照。1) 沖縄の外国人の世帯を除く。2) 10%抽出集計結果、沖縄を含まない。3) 沖縄を除く。4) 1%抽出集計結果、沖縄を含まない。5) 沖縄については1世帯当たり人員より算出し、推定した。6) 沖縄の「間借り・下宿などの単身者」が普通世帯に含まれている。7) 沖縄の1人の準世帯(1965年には12,990世帯)を含む。8) 沖縄の1人の準世帯を含まない。9) 20%抽出集計結果。

表 8 - 3 一般世帯と施設等の世帯および普通世帯と準世帯の対照：1985年

総世帯数 38, 133, 297 (121, 048, 923)			
一般世帯 37, 979, 984 (119, 333, 780)		施設等の世帯 122, 102 (1, 673, 797)	
		単独世帯 7, 894, 636	
普通世帯 36, 478, 289 (117, 832, 085)		準世帯 1, 623, 797 (3, 175, 492)	
住居と生計を共にしている人の集まり 30, 085, 348 (111, 439, 144)	単独世帯 一戸を構えて住んでいる単身者 6, 392, 941	一人の準世帯 1, 501, 695 間借り・下宿などの単身者 321, 968 会社などの独身寮の単身者 1, 179, 727	寮・寄宿舎の学生 7, 891 (331, 814) 病院・治療所の入院者 19, 403 (709, 228) 社会施設の入所者 8, 539 (368, 451) 自衛隊の営舎内居住者 2, 543 (116, 522) 矯正施設の入所者 699 (55, 702) その他 83, 027 (92, 080)

総務庁統計局『国勢調査報告』による。総世帯数には世帯の種類不詳31,211 (41,346)を含む。カッコ内は総世帯人員を示す。

表 8 - 4 世帯の種類別平均世帯人員および単独世帯の割合：1920～85年

年次	平均世帯人員(人)				単独世帯数の割合(%)		単独世帯人員の割合(%)	
	普通世帯	準世帯	一般世帯	施設世帯	普通世帯	一般世帯	普通世帯	一般世帯
1920	4.89	16.48	5.77	...	1.15	...
1925	4.87	17.74
1930	4.98	16.09	5.51	...	1.08	...
1935	5.02	16.56
1940	4.99	16.78	13.24	...	2.62	...
1950	4.97	10.15	5.35	...	1.07	...
1955	4.97	4.98	3.40	...	0.67	...
1960	4.54	4.06	4.14	31.66	5.31	7.45	1.13	1.80
1965	4.05	4.77	7.79	...	1.85	...
1970	3.69	4.58	3.41	17.01	10.76	11.96	2.78	3.46
1975	3.45	4.69	3.28	15.66	13.55	14.33	3.78	4.30
1980	3.33	1.76	3.22	11.26	15.80	19.83	4.60	6.07
1985	3.23	1.96	3.14	13.71	17.53	20.79	5.28	6.52

表 8-2 参照。単独世帯数の割合は普通世帯総数または一般世帯数に占める割合。単独世帯人員の割合は総人口に占める割合。1) 沖縄を除く世帯数16,425,390による。ただし、これは1人の準世帯を含む。

表 8 - 5 世帯の種類別にみた年平均増加率：1920～85年 (%)

年次	世帯数						総世帯人員			
	普通世帯		準世帯	一般世帯		施設世帯	普通世帯	準世帯	一般世帯	施設世帯
	総数	単独世帯		総数	単独世帯					
1920	1.36	0.78	-0.35	1.31	1.13
1925	1.14	...	1.58	1.57	-0.38
1930	1.21	9.97	2.84	1.38	3.42
1935	1.20	...	1.17	1.07	1.44
1940	1.56	-7.49	1.87	1.40	-3.16
1950	1.08	-8.02	26.53	1.31	12.29
1955	2.50	11.43	10.56	0.70	6.49
1960	3.17	10.84	0.44	1.22	7.69	10.19	0.89	3.63
1965	3.02	9.47	0.22	4.70	1.15	-0.56	1.01	3.98
1970	2.88	7.50	-4.00	2.07	5.68	5.02	1.54	-3.53	1.31	3.37
1975	1.74	4.81	15.92	1.28	7.79	6.37	1.04	-3.73	0.91	-0.22
1980	1.34	3.42	-2.65	1.17	2.11	-2.25	0.71	-0.50	0.66	1.69
1985										

表 8-2 参照。年平均増加率は $(\log P_n/P_0)/n$ (n は年数) による。

表 8 - 6 世帯の種類別にみた世帯人員総数および平均世帯人員の将来予測：1985～2025年

年次	世帯人員総数 (1,000人)			割合 (%)			一般世帯の平均世帯人員
	総数	一般世帯	施設等の世帯	総数	一般世帯	施設等の世帯	
1985	121,049	119,375	1,674	100.0	98.6	1.4	3.14
1990	124,225	122,315	1,910	100.0	98.5	1.5	3.04
1995	127,565	125,404	2,161	100.0	98.3	1.7	2.97
2000	131,192	128,765	2,426	100.0	98.2	1.8	2.94
2005	134,247	131,505	2,742	100.0	98.0	2.0	2.94
2010	135,823	132,704	3,119	100.0	97.7	2.3	2.95
2015	135,938	132,457	3,482	100.0	97.4	2.6	2.94
2020	135,304	131,523	3,781	100.0	97.2	2.8	2.92
2025	134,642	130,648	3,994	100.0	97.0	3.0	2.92

人口問題研究所『わが国世帯数の将来推計(試算)―昭和60～100年―昭和62年10月推計』(研究資料第249号、1987年11月)による各年10月1日現在の推計値である。この推計は(基本的には従来と同じ世帯主率法による)、数種の仮定を設けて行われた試算であり、ここに示した推計値はケースⅢの仮定によるものである。世帯の定義等は表 8-1 を参照。

表8-7 主要国の平均世帯人員：最新年次

国	(年次)	平均世帯人員	国	(年次)	平均世帯人員	国	(年次)	平均世帯人員
スウェーデン	(1985)	2.2	カナダ	(1986)	2.8	アルゼンチン	(1980)	3.9
デンマーク	(1981)	2.4	ニュージーランド	(1986)	2.9	ソビエト連邦	(1979)	4.0
東ドイツ ¹⁾	(1981)	2.5	ポルトガル	(1985)	2.9	ブラジル	(1980)	4.4
アメリカ合衆国	(1985)	2.7	オーストラリア	(1981)	3.0	韓国	(1980)	4.5
ノルウェー	(1980)	2.7	イタリア	(1981)	3.0	シンガポール	(1980)	4.7
フランス	(1982)	2.7	ポーランド	(1978)	3.1	インドネシア	(1980)	4.9
オーストリア	(1981)	2.7	日本	(1985)	3.1	イラン	(1976)	4.9
イギリス ²⁾	(1981)	2.7	オランダ	(1981)	3.2	エジプト	(1976)	5.2
チェコスロバキア	(1980)	2.8	ユーゴスラビア	(1981)	3.6	タイ	(1980)	5.2
ハンガリー	(1980)	2.8	ホンコン	(1986)	3.7	メキシコ	(1980)	5.5

UN, *Demographic Yearbook*, 1987年版による。ただし、日本は総務庁統計局「国勢調査報告」による。世帯の定義は国によって若干の相違があるが、おおむね「一般世帯」である。食事その他生計の基本的なものを共にする個人またはグループという概念を基本としている。国の配列は、平均世帯人員規模の小さい順。*暫定値。

1) 東ベルリンを含む。2) イングランド＝ウェールズのみ。

表8-8 世帯人員別にみた一般世帯数：1970～85年

世帯人員	一般世帯数 (1,000世帯)				世帯人員別割合 (%)			年平均増加率 (%)	
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1980年	1985年	1970～75年	1980～85年
総数	30,297	33,596	35,824	37,980	100.0	100.0	100.0	2.1	1.2
1人	6,137	6,561	7,105	7,895	20.3	19.8	20.8	1.3	2.1
2	4,184	5,257	6,001	6,985	13.8	16.8	18.4	4.6	3.0
3	5,322	6,259	6,475	6,813	17.6	18.1	17.9	3.2	1.0
4	6,885	8,301	9,070	8,988	22.7	25.3	23.7	3.7	-0.2
5	3,907	3,904	3,982	4,201	12.9	11.1	11.1	-0.0	1.1
6	2,285	2,037	2,033	1,985	7.5	5.7	5.2	-2.3	-0.5
7人以上	1,577	1,277	1,157	1,113	5.2	3.2	2.9	-4.2	-0.8
1世帯当たり平均世帯人員	3.41人	3.28人	3.22人	3.14人	-0.8	-0.5

総務庁統計局「国勢調査報告」による各年10月1日現在のもの。1970, 75年は1980年以後の世帯の定義(表8-1および8-3参照)に組み替えて示しているが、ここに「一般世帯」とは、住居と生計を共にしている人の集まり、1戸を構えて住んでいる単身者、間借り・下宿の単身者、会社などの寄宿舎に住む単身者をいう。増加率は自然対数を用いた連続的増加率による。

表8-9 単独世帯数、親族世帯数および核家族世帯数：1920～85年

(1,000世帯)

年次	普通世帯総数	親族世帯	単独世帯数	核家族世帯数					核家族世帯割合 (%)
				総数	夫婦のみ	夫婦と子供	男親と子供	女親と子供	
1920	11,119	¹⁾ 10,441	664	6,005	1,145	4,259	601		54.0
1955 ²⁾	17,398	16,719	596	10,366	1,184	7,499	275	1,408	59.6
1960 ²⁾	19,571	18,579	919	11,788	1,630	8,489	245	1,424	60.2
1965	23,286	21,385	1,813	14,583	2,293	10,572	234	1,485	62.6
1970	27,071	23,869	2,888	17,186	2,972	12,471	253	1,491	63.5
1975	31,271	26,968	4,236	19,980	3,880	14,290	257	1,553	63.9
1980 ³⁾	34,106	28,657	5,388	21,594	4,460	15,081	297	1,756	63.3
1985	36,478	30,013	6,393	22,804	5,212	15,189	356	2,047	62.5

総務庁統計局「国勢調査報告」によるが、1920年は国勢調査1000分の1の抽出結果で戸田貞三著『家族構成』, p.312 (1937) による。1955年および60年は1%抽出集計結果、1965年は20%抽出集計結果である。各年10月1日現在の世帯数で、とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。核家族世帯割合は普通世帯総数100について。1) 親族世帯は全数集計による。2) 沖縄を含まない。3) 世帯の定義に変更(表8-1および8-3参照)があったので、比較の際は注意を要する。

表8-10 主要国の世帯人員別世帯数，世帯人員総数および平均世帯人員：最新年次

国	(年次)	世帯人員別世帯数 (1,000世帯)					世帯人員総数 (1,000人)	平均世帯人員	
		総数	1人世帯	2人	3人	4人			5人以上
エジプト	(1976)	6,946	419	761	838	976	3,952	36,347	5.2
マナダ ¹⁾	(1986)	8,992	1,935	2,701	1,599	1,682	1,075	24,773	2.8
メキシコ	(1980)	12,075	653	1,236	1,500	1,726	6,959	66,366	5.5
アメリカ合衆国	(1980)	80,390	18,248	25,176	13,972	12,371	10,623	220,796	2.7
アルゼンチン	(1980)	7,104	730	1,354	1,331	1,438	2,251	27,457	3.9
ボリビア	(1976)	1,041	123	143	162	162	452	4,525	4.3
ブラジル ²⁾	(1980)	26,807	1,555	4,440	5,028	4,840	10,943	117,960	4.4
ベルー ²⁾	(1981)	3,436	308	384	463	514	1,768	16,711	4.9
アフガニスタン	(1979)	2,208	55	185	255	307	1,406	13,051	5.9
バングラデシュ	(1981)	14,785	479	1,127	1,769	2,120	9,290	84,975	5.7
ホンコン ³⁾	(1986)	1,453	215	237	252	299	450	5,316	3.7
インド	(1981)	8,419	297	669	1,136	1,452	4,865	44,165	5.2
インドネシア	(1980)	30,263	1,424	3,474	4,955	5,177	15,234	146,776	4.9
イラン	(1976)	6,709	376	767	888	1,017	3,661	33,351	4.9
イスラエル	(1983)	1,103	194	252	160	198	300	3,830	3.5
日本	(1985)	37,980	7,895	6,985	6,813	8,988	7,299	119,334	3.1
韓国	(1980)	7,969	383	840	1,153	1,620	3,974	36,231	4.5
クウェート	(1985)	227	12	19	21	28	147	1,470	6.5
フィリピン	(1975)	7,079	159	519	807	958	4,636	41,958	5.9
シンガポール	(1980)	510	42	52	72	98	246	2,399	4.7
スリランカ	(1981)	2,893	196	246	375	456	1,621	14,979	5.2
タイ	(1980)	8,419	6,467	9,866	13,066	17,357	71,859	657,148	5.5
トルコ	(1980)	8,522	550	965	1,086	1,379	4,542	44,737	5.2
ブルガリア	(1975)	2,755	462	642	579	581	491	8,609	3.1
チェコスロバキア	(1980)	5,376	1,184	3,563		630		15,199	2.8
フィンランド	(1985)	1,888	532	515	347	324	169	4,840	2.6
フランス	(1982)	19,590	4,817	5,592	3,679	3,163	2,339	52,981	2.7
ハンガリー	(1980)	3,719	731	1,044	830	724	391	10,377	2.8
ノルウェー	(1980)	1,524	426	394	249	273	183	4,046	2.7
ポーランド	(1978)	10,948	1,904	2,371	2,502	2,319	1,851	34,095	3.1
スペイン	(1981)	10,586	1,085	2,260	2,094	2,350	2,797	37,415	3.5
スウェーデン	(1980)	3,498	1,148	1,090	525	515	219	8,132	2.3
イギリス ⁴⁾	(1981)	17,706	3,849	5,696	3,016	3,205	1,940	47,806	2.7
オーストラリア	(1981)	4,669	839	1,362	789	891	788	13,918	3.0
ニュージーランド	(1986)	1,072	200	334	180	195	163	3,095	2.9
ソビエト連邦	(1979)	66,307	…	19,664	19,128	15,239	12,276	262,436	4.0

UN, *Demographic Yearbook*, 1987年版による。ただし、日本は総務庁統計局『国勢調査報告』による。各国の人口調査に基づくもので、「世帯」とは住居と生計を共にしている人の集まり、または1戸を構成して住んでいる単身者をいう。軍事施設、矯正施設、学校の寄宿者、病院・療養所、宗教施設などに起居しているものを除く。平均世帯人員は世帯人員を世帯総数で除したものである。なお、総数には世帯人員不詳の世帯を含む。配列は国連の定める地域順。* 暫定値。1) インディアン保護区・居住地に住む44,733人を除く。2) 密林のインディオ人口を除く。3) 26,106人の通過者、9,131人のベトナム難民を含む。4) イングランド=ウェールズのみ。

表8-11 家族類型別にみた一般世帯数：1970～85年

世帯の家族類型	一般世帯数 (1,000世帯)			家族類型別割合 (%)			増加率 (%)	
	1970年	1980年	1985年	1970年	1980年	1985年	1970～75年	1980～85年
総数	30,297	35,824	37,980	100.0	100.0	100.0	10.9	6.0
親族世帯	24,059	28,657	30,013	79.4	80.0	79.0	12.1	4.7
核家族世帯	17,186	21,594	22,804	56.7	60.3	60.0	16.3	5.6
夫婦のみ	2,972	4,460	5,212	9.8	12.5	13.7	30.6	16.9
夫婦と子供	12,471	15,081	15,189	41.2	42.1	40.0	14.6	0.7
男親と子供	253	297	356	0.8	0.8	0.9	1.7	19.6
女親と子供	1,491	1,756	2,047	4.9	4.9	5.4	4.2	16.6
その他の親族世帯	6,874	7,063	7,209	22.7	19.7	19.0	1.7	2.1
夫婦と両親	112	193	205	0.4	0.5	0.5	48.0	6.0
夫婦と片親	242	415	478	0.8	1.2	1.3	38.5	15.0
夫婦、子供と両親	1,241	1,732	1,888	4.1	4.8	5.0	18.3	9.0
夫婦、子供と片親	2,441	2,638	2,618	8.1	7.4	6.9	3.0	-0.8
夫婦と他の親族	137	114	117	0.5	0.3	0.3	-2.9	2.6
夫婦、子供と他の親族	597	341	350	2.0	1.0	0.9	-12.8	2.8
夫婦、親と他の親族	250	161	154	0.8	0.4	0.4	-13.0	-4.4
夫婦、子供、親と他の親族	1,194	854	755	3.9	2.4	2.0	-18.0	-11.6
兄弟姉妹のみ	660	208	208	2.2	0.6	0.5	-1.0	-0.4
他に分類されない親族世帯		407	438		1.1	1.2		7.7
非親族世帯	100	62	73	0.3	0.2	0.2	-33.5	18.0
単独世帯	6,137	7,105	7,895	20.3	19.8	20.8	6.9	11.1

総務庁統計局「国勢調査報告」による各年10月1日現在のもの。本表の1970年は、1980年以後の世帯の定義（表8-1の注参照）にあわせ、組み替えて示している。

表8-12 家族類型別にみた一般世帯数の将来予測：1985～2025年

年次	一般世帯							
	総数	親族世帯					非親族世帯	単独世帯
		総数	核家族世帯			その他の親族世帯		
		総数	夫婦のみ	親と子供				
	世帯数 (1,000世帯)							
1985	37,980	30,013	22,804	5,212	17,592	7,209	73	7,895
1990	40,178	31,374	23,754	5,954	17,799	7,620	83	8,725
1995	42,282	32,511	24,484	6,730	17,754	8,027	95	9,683
2000	43,822	33,634	25,190	7,483	17,708	8,444	105	10,092
2005	44,679	34,311	25,563	7,975	17,588	8,748	115	10,262
2010	45,014	34,396	25,556	8,125	17,431	8,840	126	10,503
2015	45,082	34,028	25,212	8,078	17,134	8,816	137	10,931
2020	45,041	33,535	24,739	7,980	16,759	8,796	147	11,375
2025	44,770	33,083	24,344	7,961	16,383	8,740	154	11,551
	割合 (%)							
1985	100.0	79.0	60.0	13.7	46.3	19.0	0.2	20.8
1990	100.0	78.1	59.1	14.8	44.3	19.0	0.2	21.7
1995	100.0	76.9	57.9	15.9	42.0	19.0	0.2	22.9
2000	100.0	76.8	57.5	17.1	40.4	19.3	0.2	23.0
2005	100.0	76.8	57.2	17.9	39.4	19.6	0.3	23.0
2010	100.0	76.4	56.8	18.1	38.7	19.6	0.3	23.3
2015	100.0	75.5	55.9	17.9	38.0	19.6	0.3	24.2
2020	100.0	74.5	54.9	17.7	37.2	19.5	0.3	25.3
2025	100.0	73.9	54.4	17.8	36.6	19.5	0.3	25.8

人口問題研究所の1987年10月推計による各年10月1日現在の推計一般世帯数（ケースⅢの仮定による試算）。前掲の表8-6の注記参照。

表8-13 経済構成別にみた一般世帯数，親族人員総数および平均親族人員：1980，85年

経済構成	1980年			1985年		
	一般世帯数 (1,000世帯)	親族人員 (1,000人)	1世帯当たり 親族人員	一般世帯数 (1,000世帯)	親族人員 (1,000人)	1世帯当たり 親族人員
総数	35,824	115,137	3.21	37,980	119,088	3.14
農林漁業就業者世帯	1,360	5,208	3.83	1,210	4,296	3.55
農林漁業・非農林漁業 就業者混合世帯	2,131	10,463	4.91	1,955	9,605	4.91
非農林漁業就業者世帯	28,971	94,080	3.25	30,401	98,079	3.23
非就業者世帯	3,311	5,212	1.57	4,344	6,919	1.59

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在のもの。1980年において世帯の定義に変更があったので注意を要する(表8-1, 8-3参照)。総数に分類不能の世帯を含む。

表8-14 世帯類型別にみた特殊世帯の世帯数：1955～89年

年次	世帯数(1,000世帯)					割合(%)		
	総数	高齢者 ¹⁾ 世帯	母子世帯 ²⁾	父子世帯 ³⁾	その他の 世帯	高齢者世帯	母子世帯	その他の 世帯
1955	18,963	425	486		18,052	2.2	2.6	95.2
1960	22,476	500	424		21,552	2.2	1.9	95.9
1965	25,940	799	335		24,806	3.1	1.3	95.6
1970	29,887	1,196	369		28,321	4.0	1.2	94.8
1975	32,877	1,619	371	64	30,823	4.9	1.1	93.9
1980	35,338	2,424	452	97	32,365	6.9	1.3	91.9
1984	37,338	3,021	513	107	33,697	8.1	1.4	90.5
1985	37,226	3,110	506	99	33,511	8.4	1.4	90.3
1986	37,544	3,320	597	115	33,513	8.8	1.6	89.6
1987	38,064	3,471	525	98	33,970	9.1	1.4	89.5
1988	39,028	3,731	567	119	34,611	9.6	1.5	89.0
1989	39,417	4,153	552	100	34,613	10.5	1.4	88.1

厚生省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』(1985年以前)および『国民生活基礎調査報告』(1986年以後)による。全国の世帯および世帯員を対象とした標本調査。1) 男65歳以上，女60歳以上の者のみで構成するか，またはこれらに18歳未満の者が加わった世帯。2) 現に配偶者のない20歳以上60歳未満の女子(未婚の場合や配偶者が長期間生死不明の場合を含む)と20歳未満のその子のみで構成している世帯。3) 現に配偶者のない20歳以上65歳未満の男と20歳未満のその子のみで構成している世帯。

表8-15 世帯構造別にみた65歳以上の者のいる世帯数：1975～89年

年次	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯			夫婦(片親)と未婚の子のみの世帯	三世代 ¹⁾ 世帯	その他 の世帯	65歳以上の者のいる世帯の総世帯に占める割合(%)
			総数	一方が65歳未満の世帯	ともに65歳以上の世帯				
世帯数(1,000世帯)									
1975	7,118	611	931	683	3,871	1,023	21.7
1980	8,495	910	1,379	657	722	891	4,254	1,062	24.0
1985	9,400	1,131	1,795	799	996	1,012	4,313	1,150	25.3
1986	9,769	1,281	1,782	781	1,001	1,086	4,375	1,245	26.0
1987	9,954	1,290	1,892	746	1,147	1,081	4,372	1,319	26.2
1988	10,225	1,405	2,047	836	1,212	1,176	4,261	1,335	26.2
1989	10,774	1,592	2,257	880	1,377	1,260	4,385	1,280	27.3
割合(%)									
1975	100.0	8.6	13.1	9.6	54.4	14.4	
1980	100.0	10.7	16.2	7.7	8.5	10.5	50.1	12.5	
1985	100.0	12.0	19.1	8.5	10.6	10.8	45.9	12.2	
1986	100.0	13.1	18.2	8.0	10.3	11.1	44.8	12.7	
1987	100.0	13.0	19.0	7.5	11.5	10.9	43.9	13.2	
1988	100.0	13.7	20.0	8.2	11.9	11.5	41.7	13.1	
1989	100.0	14.8	20.9	8.2	12.8	11.7	40.7	11.9	

厚生省統計情報部『厚生行政基礎調査報告』および『国民生活基礎調査報告』による。上表参照。

1) 世帯主を中心とした直系三世代以上の世帯。

表8-16 家族類型別にみた65歳以上の親族のいる一般世帯数：1960～2025年

年次	一般世帯数(1,000世帯)				割合(%)			
	総数	単独世帯	夫婦世帯	その他の世帯	総数	単独世帯	夫婦世帯	その他の世帯
1960	4,466	232	260	3,974	100.0	5.2	5.8	89.0
1965 ¹⁾	5,060	285	390	4,385	100.0	5.6	7.7	86.7
1970	5,804	391	587	4,826	100.0	6.7	10.1	83.2
1975	6,914	622	906	5,386	100.0	9.0	13.1	77.9
1980	8,124	881	1,273	5,970	100.0	10.8	15.7	73.5
1985	9,284	1,181	1,651	6,452	100.0	12.7	17.8	69.5
1990	10,590	1,532	1,956	7,102	100.0	14.5	18.5	67.1
1995	12,292	1,943	2,630	7,720	100.0	15.8	21.4	62.8
2000	13,929	2,374	3,325	8,230	100.0	17.0	23.9	59.1
2005	15,171	2,756	3,879	8,537	100.0	18.2	25.6	56.3
2010	16,343	3,128	4,422	8,792	100.0	19.1	27.1	53.8
2015	17,855	3,582	5,126	9,147	100.0	20.1	28.7	51.2
2020	18,178	3,772	5,274	9,131	100.0	20.8	29.0	50.2
2025	17,639	3,707	5,078	8,854	100.0	21.0	28.8	50.2

1985年以前は総務庁統計局『国勢調査報告』による。1960, 65年は1%抽出, 1070年は20%抽出, 1975年は100%集計の普通世帯数と20%抽出の1人の準世帯数で求めた。1990年以降は人口問題研究所による試算(1986年12月)。1)1965年は普通世帯。

表8-17 世帯の家族類型別65歳以上人口(子らとの同居率)：1960～85年

年次	総数	普通世帯人員	親族世帯人員	親族(子供夫婦等)と同居				準世帯人員	1人の準世帯人員	一般世帯人員	施設等の世帯人員
				夫婦のみ	単独世帯	非親族世帯					
実数(1,000人)											
1960	5,398	5,307	5,278	4,687	376	204	11	91	29	5,336	62
1965	6,236	6,097	---	5,225	568	286	19	138	---	---	---
1970	7,393	7,188	7,160	5,886	864	395	14	205	31	7,219	174
1975	8,865	8,558	8,533	6,594	1,339	589	11	308	33	8,591	276
1980	10,647	10,222	10,196	7,427	1,923	835	11	425	46	10,269	379
1985	12,468	11,912	11,892	8,167	2,565	1,149	11	556	32	11,944	524
割合(%)											
1960	100.0	98.3	97.8	86.8	7.0	3.8	0.2	1.7	0.5	98.9	1.1
1965	100.0	97.8	---	83.8	9.1	4.6	0.3	2.2	---	---	---
1970	100.0	97.2	96.8	79.6	11.7	5.3	0.2	2.8	0.4	97.6	2.4
1975	100.0	96.5	96.3	74.4	15.1	6.6	0.1	3.5	0.4	96.9	3.1
1980	100.0	96.0	95.8	69.8	18.1	7.8	0.1	4.0	0.4	96.4	3.6
1985	100.0	95.5	95.4	65.5	20.6	9.2	0.1	4.5	0.3	95.8	4.2

総務庁統計局『国勢調査報告』による。1960, 65年は1%, 1970年20%抽出結果にもとづき推計したもの。1975年の準世帯人員, 1人の準世帯人員, 1980年の準世帯人員のみは20%抽出。1960, 70, 75, 80, 85年の普通世帯人員は総数から準世帯人員を引いて求めた。したがってこれは世帯の種類不詳を含む。一般世帯人員は普通世帯人員に1人の準世帯人員を加えて求めた。施設等の世帯人員は総数から一般世帯人員を引いて求めた。1965年の準世帯人員は総数から普通世帯人員を引いて求めた。

表8-18 世帯の家族類型別子供人口：1970～85年

世帯の家族類型	人 口 (1,000人)				割 合 (%)			
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1975年	1980年	1985年
18歳未満人口総数	30,390	32,020	32,622	31,705	100.0	100.0	100.0	100.0
親 族 世帯	29,653	31,591	32,307	31,436	97.6	98.7	99.0	99.2
核 家 族 世帯	19,016	21,586	22,589	21,845	62.6	67.4	69.2	68.9
夫 婦 と と	17,911	20,510	21,326	20,346	58.9	64.1	65.4	64.2
男 親 と	165	156	184	211	0.5	0.5	0.6	0.7
女 親 と	933	917	1,076	1,285	3.1	2.9	3.3	4.1
そ の 他	10,637	10,005	9,718	9,591	35.0	31.2	29.8	30.3
非親族世帯・ 単独世帯・準世帯	737	429	315	269	2.4	1.3	1.0	0.8
6歳未満人口総数	10,697	11,916	10,442	9,056	100.0	100.0	100.0	100.0
親 族 世帯	10,671	11,899	10,426	9,042	99.8	99.9	99.8	99.8
核 家 族 世帯	7,042	8,292	7,159	6,092	65.8	69.6	68.6	67.3
夫 婦 と と	6,890	8,131	6,999	5,927	64.4	68.2	67.0	65.5
男 親 と	20	17	13	11	0.2	0.1	0.1	0.1
女 親 と	131	144	147	154	1.2	1.2	1.4	1.7
そ の 他	3,630	3,607	3,266	2,950	33.9	30.3	31.3	32.6
非親族世帯・ 単独世帯・準世帯	26	17	17	14	0.2	0.1	0.2	0.2

総務庁統計局『国勢調査報告』による。18歳未満者の核家族世帯には夫婦のみの世帯の人員を含む。「その他」は三世代同居などの親族世帯の人員。

表8-19 子供の親族のいる世帯の家族類型別世帯数：1970～85年

世帯の家族類型	世 帯 数 (1,000世帯)				割 合 (%)			
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1975年	1980年	1985年
18歳未満親族のいる世帯	16,421	17,453	17,600	17,244	100.0	100.0	100.0	100.0
一 般 世帯	16,392	17,428	17,571	17,169	99.8	99.9	99.8	99.6
親 族 世帯	10,905	12,179	12,500	12,151	66.4	69.8	71.0	70.5
核 家 族 世帯	10,188	11,481	11,700	11,208	62.0	65.8	66.5	65.0
夫 婦 と と	106	101	118	137	0.6	0.6	0.7	0.8
男 親 と	604	593	678	803	3.7	3.4	3.9	4.7
女 親 と	5,487	5,249	5,071	5,018	33.4	30.1	28.8	29.1
そ の 他								
6歳未満親族のいる世帯	7,759	8,548	7,543	6,559	100.0	100.0	100.0	100.0
一 般 世帯	7,759	8,548	7,543	6,559	100.0	100.0	100.0	100.0
親 族 世帯	5,175	6,019	5,251	4,474	66.7	70.4	69.6	68.2
核 家 族 世帯	5,052	5,886	5,117	4,336	65.1	68.9	67.8	66.1
夫 婦 と と	16	14	12	10	0.2	0.2	0.2	0.1
男 親 と	107	119	123	128	1.4	1.4	1.6	2.0
女 親 と	2,583	2,529	2,291	2,085	33.3	29.6	30.4	31.8
そ の 他								

総務庁統計局『国勢調査報告』による。18歳未満親族のいる一般世帯には親族世帯の他に単独世帯がある。

表8-20 家族類型別一般世帯における子供および高齢者のいる割合：1970～85年 (%)

世帯の家族類型	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1975年	1980年	1985年
子供の親族のいる世帯								
一 般 世帯	54.2	52.0	49.1	45.4	25.6	25.4	21.1	17.3
親 族 世帯	68.1	64.6	61.3	57.2	32.2	31.7	26.3	21.9
核 家 族 世帯	63.5	61.0	57.9	53.3	30.1	30.1	24.3	19.6
夫 婦 と と	81.7	80.3	77.6	73.8	40.5	41.2	33.9	28.6
男 親 と	42.1	39.3	39.7	38.6	6.3	5.4	3.9	2.8
女 親 と	40.5	38.2	38.6	39.2	7.2	7.6	7.0	6.3
そ の 他	79.8	75.1	71.8	69.6	37.6	36.2	32.4	28.9
65歳以上親族のいる世帯								
一 般 世帯	19.4	19.2	22.5	24.4				
親 族 世帯	22.7	21.9	25.2	27.0				
核 家 族 世帯	7.7	8.2	10.8	12.7				
夫 婦 と と	3.6	3.4	3.9	4.4				
男 親 と	24.9	23.8	26.5	25.2				
女 親 と	14.5	16.7	22.2	24.4				
そ の 他	60.3	63.8	69.4	72.0				

総務庁統計局『国勢調査報告』による。一般世帯には親族世帯の他に単独世帯がある。

表8-21 性、年齢（5級階級）別（有配偶別掲）普通世帯世帯主率：1955～85年

(%)

年 齢	総 数							有 配 偶						
	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
男														
15～19	0.5	0.7	1.0	3.0	4.1	4.9	4.5	14.9	30.4	37.3	70.9	56.4	68.8	68.2
20～24	7.6	23.4	14.2	18.6	25.5	26.7	26.3	41.7	60.9	69.9	75.8	77.8	75.9	74.0
25～29	38.8		46.3	50.8	51.8	48.4	45.3	58.6		71.2	76.5	77.6	76.3	75.5
30～34	65.9	71.0	69.9	73.8	76.5	70.5	65.7	71.2	75.6	75.8	79.9	83.4	80.1	78.0
35～39	80.6		78.9	80.9	83.9	83.6	77.9	83.4		81.5	83.7	87.0	87.4	83.8
40～44	88.3	89.0	85.8	86.3	88.3	88.3	87.2	90.4	91.0	87.8	88.4	90.6	90.8	90.4
45～49	92.6		91.3	91.0	92.0	91.7	90.9	94.4		92.9	92.7	93.8	93.7	93.3
50～54	94.3	93.6	93.8	93.8	94.2	94.2	93.5	96.1	95.7	95.5	95.4	95.8	95.8	95.5
55～59	92.7		93.7	94.2	94.7	94.7	94.8	94.8		95.7	96.0	96.8	96.3	96.5
60～64	86.4	84.6	90.0	91.3	91.5	91.4	92.0	90.0	88.7	92.7	93.7	93.6	93.2	93.7
65～69	74.0		80.9	83.1	83.3	85.7	86.8	80.1		85.2	86.8	86.5	88.2	89.0
70～74	58.2	54.4	63.5	67.4	67.8	74.3	78.9	66.8	63.0	69.6	73.1	73.1	78.4	82.2
75～79	38.1		49.9	53.5	53.9	59.6	67.0	50.6		58.5	61.9	61.3	65.9	72.3
80～84		32.2	34.4	41.6	41.7	46.8	52.5		45.2	47.9	52.9	51.5	55.9	60.9
85歳以上		31.2		31.7	34.5	38.4					49.5	47.2	48.7	51.6
女														
15～19	0.2	0.3	0.6	1.5	2.2	2.6	2.4	0.5	0.9	0.9	1.0	1.8	3.0	2.5
20～24	1.1	2.1	3.8	5.9	8.9	11.0	11.4	0.8	0.9	0.9	0.6	0.7	1.0	1.0
25～29	2.4		3.7	4.2	5.0	6.2	7.4	1.2		0.9	0.7	0.6	0.7	0.7
30～34	5.0	5.8	4.5	4.5	4.9	5.6	6.3	1.8	1.8	1.4	1.1	1.0	1.0	1.0
35～39	10.4		6.9	6.4	6.4	7.0	7.8	2.7		2.1	1.7	1.5	1.6	1.6
40～44	15.3	15.7	11.1	9.7	9.1	9.2	10.1	3.2	2.9	2.9	2.5	2.2	2.4	2.5
45～49	15.3		16.7	14.1	12.5	11.8	12.1	2.8		3.5	3.1	2.8	2.9	2.9
50～54	14.3	16.1	19.0	18.4	16.0	14.3	13.9	2.1	2.2	3.3	3.2	2.9	2.8	2.6
55～59	13.4		17.7	19.6	19.0	17.0	15.8	1.7		2.7	2.8	2.7	2.4	2.1
60～64	12.9	13.2	15.1	17.7	19.1	19.5	18.6	1.1	1.2	2.0	2.3	2.2	2.3	1.9
65～69	10.8		13.7	15.5	17.7	19.8	21.2	1.0		1.6	1.9	1.8	2.1	1.9
70～74	9.4	10.1	12.3	14.0	15.5	18.4	21.1	1.0	1.2	1.2	1.6	1.4	1.9	2.0
75～79	7.6		10.3	11.9	13.5	15.3	18.9	0.4		1.1	1.5	1.4	1.7	1.9
80～84		6.5	7.5	9.3	10.6	12.1	14.3		0.0	1.9	1.4	1.7	8.2	
85歳以上		6.7		7.5	8.2	9.4				1.4	2.2	2.4	2.1	0.0

総務庁統計局『国勢調査報告』、人口問題研究所『世帯推計の研究』（特別研究報告資料）1986年3月等による。性・年齢別人口のうち世帯主である者の割合。

1) 20歳未満。

表 8 - 22 外国人のいる世帯の家族類型，世帯主の国籍別一般世帯数および世帯人員：1985年

世帯主の国籍 (5区分)	総数	日本人親族がいない世帯						外国人親族と日本人親族がいる世帯				外国人 親族が いない 世帯
		総数	核家族 世帯	夫婦の みの世 帯	その他 の親族 世帯	非親族 世帯	単 独 世 帯	総数	核家族 世帯	夫婦の みの世 帯	その他 の親族 世帯	
総数 ¹⁾	281,640	199,240	111,810	18,031	19,991	1,168	66,271	79,771	65,008	20,536	14,763	2,629
世帯数	281,640	199,240	111,810	18,031	19,991	1,168	66,271	79,771	65,008	20,536	14,763	2,629
世帯人員	875,914	584,089	413,174	36,389	102,032	2,612	66,271	279,739	206,438	41,290	73,301	12,086
外国人人員	704,547	581,493	411,967	36,137	101,589	1,666	66,271	120,077	91,840	20,566	28,237	2,977
外国人親族人員	700,296	580,413	411,474	36,062	101,500	1,168	66,271	119,883	91,689	20,536	28,194	..
日 本 人												
世帯数	44,681	42,052	32,837	11,356	9,215	2,629
世帯人員	158,528	146,442	100,807	22,783	45,635	12,086
外国人人員	53,599	50,622	38,424	11,374	12,198	2,977
外国人親族人員	50,514	50,514	38,337	11,356	12,177	..
韓 国・朝 鮮												
世帯数	174,322	146,173	95,327	12,735	17,642	639	32,565	28,149	23,702	6,240	4,447	..
世帯人員	589,784	487,590	360,282	25,695	93,253	1,490	32,565	102,194	79,561	12,580	22,633	..
外国人人員	538,440	485,465	359,247	25,490	92,878	775	32,565	52,975	39,539	6,245	13,436	..
外国人親族人員	538,037	485,102	359,072	25,470	92,826	639	32,565	52,935	39,515	6,240	13,420	..
中 国												
世帯数	22,682	19,134	7,814	2,046	1,503	130	9,687	3,548	2,945	862	603	..
世帯人員	54,193	41,812	25,905	4,133	5,929	291	9,687	12,381	9,506	1,747	2,875	..
外国人人員	48,157	41,591	25,812	4,118	5,866	226	9,687	6,566	4,895	864	1,671	..
外国人親族人員	47,986	41,433	25,767	4,092	5,849	130	9,687	6,553	4,885	862	1,668	..
ア メ リ カ												
世帯数	11,332	8,877	3,187	1,542	93	131	5,466	2,455	2,303	1,016	152	..
世帯人員	22,522	15,220	9,237	3,121	300	267	5,466	7,252	6,627	2,045	625	..
外国人人員	19,303	15,187	9,206	3,099	299	216	5,466	4,116	3,816	1,016	300	..
外国人親族人員	19,112	15,000	9,110	3,084	293	131	5,466	4,112	3,813	1,016	299	..
そ の 他												
世帯数	21,263	18,683	4,469	1,444	631	230	13,353	2,580	2,401	818	179	..
世帯人員	38,568	30,413	14,478	2,910	2,098	484	13,353	8,155	7,392	1,644	763	..
外国人人員	34,779	30,284	14,440	2,901	2,094	397	13,353	4,495	4,110	822	385	..
外国人親族人員	34,397	29,930	14,266	2,888	2,081	230	13,353	4,467	4,084	818	383	..

総務庁統計局『国勢調査報告 第7巻特別集計結果 その3』1990年11月による。

外国人人口総数は720,093人で、一般世帯の外国人人員704,547人の他に施設世帯人員が15,546人いる。

1) 国名「不詳」を含む。

表9-1 性別にみた労働力状態別人口とその割合：1920～90年

年次	15歳以上人口(1,000人)					割合(%)			
	総数	労働力			非労働力	労働力			非労働力
		総数	就業者	完全失業者		総数	就業者	完全失業者	
	総数								
1920 ¹⁾	35,547	25,866	9,681	72.8	27.2
1930 ¹⁾	40,871	28,548	12,323	69.8	30.2
1940 ¹⁾²⁾	45,913	32,661	13,253	71.1	28.9
1950 ³⁾	55,584	36,347	35,626	722	19,234	65.4	64.1	1.3	34.6
1955 ⁴⁾	59,952	40,358	39,588	770	19,594	67.3	66.0	1.3	32.7
1960	65,867	44,384	44,042	342	21,472	67.4	66.9	0.5	32.6
1965	73,680	48,627	47,960	666	25,031	66.0	65.1	0.9	34.0
1970	79,512	53,321	52,593	728	26,188	67.1	66.1	0.9	32.9
1975	84,673	54,390	53,141	1,249	30,283	64.2	62.8	1.5	35.8
1980	89,482	57,231	55,811	1,420	32,099	64.0	62.4	1.6	35.9
1985	94,974	60,391	58,357	2,033	34,407	63.6	61.4	2.1	36.2
1987	97,200	60,840	59,110	1,730	35,840	62.6	60.8	1.8	36.9
1989	99,740	62,700	61,280	1,420	36,550	62.9	61.4	1.4	36.6
1990	100,890	63,840	62,490	1,340	36,570	63.3	61.9	1.3	36.2
	男								
1920 ¹⁾	17,735	16,350	1,385	92.2	7.8
1930 ¹⁾	20,495	18,548	1,948	90.5	9.5
1940 ¹⁾²⁾	22,697	20,450	2,247	90.1	9.9
1950 ³⁾	26,785	22,365	21,870	495	4,419	83.5	81.7	1.8	16.5
1955 ⁴⁾	28,896	24,616	24,071	544	4,280	85.2	83.3	1.9	14.8
1960	31,778	27,018	26,787	231	4,756	85.0	84.3	0.7	15.0
1965	35,693	29,693	29,235	458	5,993	83.2	81.9	1.3	16.8
1970	38,512	32,467	31,983	483	6,042	84.3	83.0	1.3	15.7
1975	41,112	34,415	34,306	891	6,806	83.4	81.3	2.2	16.6
1980	43,442	35,647	34,647	999	7,744	82.1	79.8	2.3	17.8
1985	46,131	37,072	35,679	1,393	8,964	80.4	77.3	3.0	19.4
1987	47,260	36,550	35,510	1,040	10,430	77.3	75.1	2.2	22.1
1989	48,540	37,370	36,540	830	10,910	77.0	75.3	1.7	22.5
1990	49,110	37,910	37,130	770	10,950	77.2	75.6	1.6	22.3
	女								
1920 ¹⁾	17,812	9,516	8,295	53.4	46.6
1930 ¹⁾	20,375	10,000	10,375	49.1	50.9
1940 ¹⁾²⁾	23,217	12,211	11,006	52.6	47.4
1950 ³⁾	28,798	13,982	13,755	227	14,815	48.6	47.8	0.8	51.4
1955 ⁴⁾	31,056	15,743	15,517	226	15,314	50.7	50.0	0.7	49.3
1960	34,089	17,367	17,255	112	16,716	50.9	50.6	0.3	49.0
1965	37,987	18,933	18,725	208	19,038	49.8	49.3	0.5	50.1
1970	41,001	20,854	20,609	245	20,146	50.9	50.3	0.6	49.1
1975	43,561	20,084	19,726	358	23,477	46.1	45.3	0.8	53.9
1980	46,040	21,584	21,164	421	24,355	46.9	46.0	0.9	52.9
1985	48,843	23,319	22,678	641	25,443	47.7	46.4	1.3	52.1
1987	49,950	24,290	23,600	690	25,420	48.6	47.2	1.4	50.9
1989	51,200	25,330	24,740	590	25,640	49.5	48.3	1.2	50.1
1990	51,780	25,930	25,360	570	25,620	50.1	49.0	1.1	49.5

1985年以前は、総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の年齢15歳以上人口で、とくに注記のないかぎり沖縄県を含む。1987年以降は、同局『労働力調査報告』（毎月実施の標本調査）による年平均分で、15歳以上人口。割合は15歳以上人口総数100について。総数に労働力状態不詳を含む。1)労働力は有業者、非労働力は無業者。2)外地人および外国人を除く全人口。3)14歳以上人口で、沖縄県を含まない。4)沖縄は1%抽出集計結果。

表9-2 性、年齢(5歳階級)別にみた労働力率：1955～89年

(%)

年 齢	男						女					
	1955年	1965年 ¹⁾	1975年	1980年	1985年	1989年 ²⁾	1955年	1965年 ¹⁾	1975年	1980年	1985年	1989年 ²⁾
総 数	85.3	83.3	83.4	82.1	80.4	77.0	50.6	49.8	46.1	46.9	47.7	49.5
15～19	54.3	38.6	23.3	20.3	19.2	17.0	50.1	37.6	22.6	18.8	17.4	17.3
20～24	88.2	87.1	79.1	74.7	74.7	71.2	68.2	69.7	66.8	71.1	73.3	74.3
25～29	96.2	97.9	97.8	97.6	97.0	96.0	51.9	46.5	43.5	49.4	54.1	59.6
30～34	97.0	98.5	98.8	98.6	98.2	97.0	49.6	48.0	43.2	46.5	49.2	51.1
35～39	97.3	98.4	98.7	98.7	98.4	97.5	53.5	58.3	52.8	55.5	57.9	62.4
40～44	97.4	98.3	98.4	98.4	98.4	97.4	55.6	62.1	59.7	61.8	65.8	68.8
45～49	97.0	98.0	98.1	98.0	98.0	97.6	54.5	62.6	61.9	62.3	65.9	70.7
50～54	95.5	97.2	97.5	97.3	97.1	96.0	51.4	57.3	58.6	58.7	59.8	64.2
55～59	91.1	93.8	94.7	94.0	93.1	91.6	45.8	50.1	50.9	50.7	49.9	52.2
60～64	82.5	85.2	85.4	81.5	78.3	71.4	38.5	39.4	39.2	38.8	37.9	39.2
65歳以上	56.3	55.1	49.7	46.0	41.6	35.8	20.7	17.6	15.8	16.1	15.2	15.8

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口に基づく各年齢別労働力人口の当該年齢の総人口100についての割合で、各年次沖縄県を含む。1)1%抽出結果。2)『労働力調査年報』(1989年)による。

表9-3 主要国の性別労働力率：最新年次

国 (年次)	男			労働力率 (%)	国 (年次)	女		
	15歳以上人口(1,000人)	15歳以上労働力人口(1,000人)	労働力率 (%)			15歳以上人口(1,000人)	15歳以上労働力人口(1,000人)	労働力率 (%)
バングラデシュ (1985～86)	28,773	2,550	88.6	タ イ ¹⁾ (1984)	15,713	11,994	76.3	
タ イ ¹⁾ (1984)	15,614	13,712	87.8	中 国 ²⁾ (1982)	325,233	229,655	70.6	
中 国 ²⁾ (1982)	341,429	295,252	86.5	アメリカ合衆国 ⁹⁾ (1989)	99,354	56,030	56.4	
パキスタン ³⁾ (1989～90)	30,936	26,263	84.9	インドネシア (1988)	54,743	28,834	52.7	
ブラジル ⁴⁾ (1986)	41,956	35,614	84.9	日 本 ⁷⁾ (1990)	51,780	25,930	50.1	
メキシコ ⁵⁾ (1988)	25,756	21,423	83.2	イギリス ²⁵⁾ (1986)	23,860	11,501	48.2	
インド ⁶⁾ (1981)	208,170	172,967	83.1	韓 国 ²⁾ (1989)	15,611	7,258	46.5	
インドネシア (1988)	52,631	43,036	81.8	フランス ¹¹⁾ (1987)	22,652	10,377	45.8	
トルコ (1988)	16,639	13,549	81.4	西ドイツ (1988)	27,576	11,687	42.4	
日 本 ⁷⁾ (1990)	49,110	37,910	77.2	ブラジル ⁴⁾ (1986)	44,498	18,306	41.1	
ナイジェリア (1986)	25,999	20,012	77.0	トルコ (1988)	17,008	6,125	36.0	
エジプト ⁸⁾ (1984)	13,662	10,402	76.1	イタリア ¹¹⁾ (1989)	24,703	8,855	35.8	
アメリカ合衆国 ⁹⁾ (1989)	91,693	67,840	74.0	メキシコ ⁵⁾ (1988)	25,951	9,172	35.3	
韓 国 ²⁾ (1989)	14,612	10,717	73.3	ナイジェリア (1986)	27,388	9,531	34.8	
イギリス ²⁵⁾ (1986)	22,104	15,887	71.9	スペイン ¹⁰⁾ (1989)	15,593	5,109	32.8	
西ドイツ (1988)	24,941	17,903	71.8	インド ⁶⁾ (1981)	194,011	57,997	29.9	
アルゼンチン (1989)	10,945	7,621	69.6	アルゼンチン (1989)	11,397	3,314	29.1	
スペイン ¹⁰⁾ (1989)	14,580	9,710	66.6	エジプト ⁸⁾ (1984)	13,515	2,437	18.0	
イタリア ¹¹⁾ (1989)	22,947	15,124	65.9	パキスタン ³⁾ (1989～90)	28,914	3,270	11.3	
フランス ¹¹⁾ (1987)	20,778	13,596	65.4	バングラデシュ (1985～86)	27,190	2,643	9.7	

ILO, *Year Book of Labour Statistics*, 1989～90年版による人口3,000万人以上の国についての男女別15歳以上人口に占める15歳以上労働力人口の割合。配列はそれぞれ率の高順位。1)常住人口。施設世帯を除く。2)軍隊を除く。3)ジャムなど6州を除く。4)原住民、北部地区の農村人口、施設世帯人員、軍隊仮設住宅内人員を除く。5)常住人口。6)アッサムを除く。7)総務庁統計局『労働力調査報告』(1990年速報)による。8)エジプト人のみ軍隊を除く。9)海外の軍隊を除く16歳以上人口についてのもの。10)常住人口、セウタ、メリヤを除く。11)徴兵人口は労働力にふくまない。

表9-4 主要国の性、年齢(5歳階級)別にみた労働力率：最新年次

(%)

年 齢	エジプト (1984年)	アルゼンチン (1989年)	ブラジル (1986年)	メキシコ (1988年)	アメリカ合衆国 (1989年)	バングラデシュ (1985-88年)	中 国 (1982年)	インド (1981年)	インドネシア (1988年)
男									
総 数	76.1	69.6	9) 84.9	83.2	74.0	88.6	86.5	83.1	81.8
15 ~ 19	40.8	57.5	73.2	57.0	55.8	67.5	72.5	53.2	45.6
20 ~ 24	71.5	86.3	92.4	83.1	79.6	88.1	96.8	79.0	77.3
25 ~ 29	79.3	9.6	96.9	93.6	89.6	98.7	98.7	92.6	94.1
30 ~ 34	2) 81.7	97.8	2) 97.4	98.0	91.8	99.9	98.9	96.7	97.8
35 ~ 39		98.0		97.8	92.3	99.4	98.9	97.8	98.6
40 ~ 44	5) 98.5	97.1	4) 94.3	97.4	92.2	99.5	98.7	4) 97.5	98.4
45 ~ 49		95.0		96.9	91.6	99.7	97.5		97.8
50 ~ 54		90.6		91.9	88.4	99.3	91.4		95.4
55 ~ 59	7) 80.5	79.4	8) 44.6	85.5	78.8	98.0	83.0	7) 93.3	89.1
60 ~ 64		84.4		77.5	54.1	93.4	63.7		79.2
65歳以上	72.5	23.5	59.7	16.0	70.4	30.1	65.1	56.3	
女									
総 数	18.0	29.1	9) 41.1	35.3	56.4	9.7	70.6	29.9	52.7
15 ~ 19	13.0	23.8	40.7	29.7	53.6	7.9	80.1	26.3	36.2
20 ~ 24	24.4	50.0	51.3	40.8	72.0	8.8	91.1	29.3	52.7
25 ~ 29	21.5	44.2	47.8	42.3	73.4	9.0	89.0	32.1	56.5
30 ~ 34	2) 19.3	39.8	2) 50.1	43.2	72.7	13.8	88.9	34.7	58.8
35 ~ 39		36.3		36.5	74.7	10.4	88.5	36.4	62.1
40 ~ 44	5) 15.7	34.4	4) 45.0	39.5	76.8	8.6	83.4	4) 36.1	64.2
45 ~ 49		31.9		38.2	74.3	10.3	70.6		63.6
50 ~ 54		27.8		31.7	65.8	10.8	50.9		60.7
55 ~ 59	7) 30.4	19.8	8) 9.5	24.6	54.5	9.8	32.9	7) 29.8	55.6
60 ~ 64		7.7		23.2	35.2	9.0	16.9		46.1
65歳以上	23.7	3.7	16.9	7.8	10.9	4.7	14.0	25.4	
男									
年 齢	韓 国 (1989年)	パキスタン (1989-90年)	タ イ (1984年)	スペイン (1988年)	フランス (1987年)	西ドイツ (1988年)	イタリア (1989年)	トルコ (1988年)	イギリス (1986年)
総 数	73.3	84.9	87.8	66.6	65.4	71.8	9) 65.9	9) 81.4	9) 71.9
15 ~ 19	11.6	59.4	69.7	34.8	15.7	45.5	30.6	64.6	58.2
20 ~ 24	60.0	86.9	90.7	71.9	65.7	81.4	71.5	89.7	84.8
25 ~ 29	90.7	97.3	98.1	91.6	94.9	87.5	90.6	97.9	1) 93.3
30 ~ 34	97.1	98.8	98.7	96.1	97.1	95.8	96.8	98.5	
35 ~ 39	97.0	98.7	99.0	96.2	97.8	97.5	98.0	98.4	3) 94.4
40 ~ 44	95.4	97.8	4) 98.2	95.5	97.4	97.4	97.3	95.7	
45 ~ 49	93.6	97.4		94.1	95.4	96.4	95.6	89.2	6) 91.6
50 ~ 54	89.7	94.1	7) 95.3	88.4	90.4	93.2	87.5	82.7	
55 ~ 59	82.4	91.2		75.7	67.3	79.8	67.8	71.5	80.3
60 ~ 64	65.6	81.0	8) 53.5	48.2	25.7	34.5	35.2	59.2	53.4
65歳以上	39.0	55.7		4.3	4.7	4.9	7.9	33.8	7.5
女									
総 数	46.5	11.3	76.3	32.8	45.8	42.4	9) 35.8	9) 36.0	9) 48.2
15 ~ 19	18.6	10.5	70.7	32.7	11.8	39.5	26.4	42.4	56.5
20 ~ 24	63.5	10.4	81.0	62.2	64.2	75.4	63.9	42.6	69.2
25 ~ 29	43.0	11.0	84.5	64.0	75.7	64.0	64.8	37.6	1) 62.6
30 ~ 34	49.5	10.9	86.4	53.8	72.2	62.4	62.1	38.1	
35 ~ 39	57.3	15.7	88.1	45.1	71.9	63.7	59.0	38.4	3) 71.4
40 ~ 44	61.0	15.1	4) 87.5	38.9	72.0	64.2	51.6	36.4	
45 ~ 49	63.5	13.8		33.3	67.8	60.9	44.7	36.3	6) 69.9
50 ~ 54	60.4	10.8	7) 77.9	28.2	59.8	53.7	34.1	36.4	
55 ~ 59	52.7	11.2		23.6	44.6	41.1	20.2	29.4	51.5
60 ~ 64	41.6	9.4	8) 26.4	15.3	18.0	11.1	9.8	20.9	18.8
65歳以上	18.1	2.4		1.8	1.9	1.8	2.2	10.9	2.7

ILO, *Year Book of Labour Statistics*, 1989~90年版による(男女各年齢階級別経済活動人口の当該年齢階級総人口100についての割合)。人口3,000万以上の国についてとくに注記のないかぎり15歳以上人口である。表9-3の注参照。1)25~34歳。2)30~39歳。3)35~44歳。4)40~49歳。5)40~59歳。6)45~54歳。7)50~59歳。8)60歳以上。9)総数に年齢不詳を含む。

表9 - 5 産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：1920～85年

年次	就業者数(1,000人)				割合(%)		
	総数 ¹⁾	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
1920 ²⁾	27,261	14,672	5,598	6,464	53.8	20.5	23.7
1930 ²⁾	29,620	14,711	6,002	8,836	49.7	20.3	29.8
1940 ³⁾	32,483	14,392	8,443	9,429	44.3	26.0	29.0
1950 ⁴⁾	36,025	17,478	7,838	10,671	48.5	21.8	29.6
1955 ⁵⁾	39,590	16,291	9,247	14,051	41.1	23.4	35.5
1960 ⁵⁾	44,042	14,389	12,804	16,841	32.7	29.1	38.2
1965 ⁵⁾	47,960	11,857	15,115	20,969	24.7	31.5	43.7
1970 ⁵⁾	52,593	10,146	17,897	24,511	19.3	34.0	46.6
1975 ⁵⁾	53,141	7,347	18,106	27,521	13.8	34.1	51.8
1980 ⁵⁾	55,811	6,102	18,737	30,911	10.9	33.6	55.4
1985 ⁵⁾	58,357	5,412	19,334	33,444	9.3	33.1	57.3

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口で、沖縄県を含む。1985年国勢調査の産業分類に組み替えた数字。産業3大部門の区分は次のとおり。

第1次産業：農業、林業、狩猟業、漁業、水産養殖業。第2次産業：鉱業、建設業、製造業。第3次産業：卸売業、小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業、公務。

1) 分類不能の産業を含む。2) 全年齢の有業者。3) 全年齢の純後有業者、外国人を除く。4) 14歳以上就業者、沖縄は外国人を除く。5) 15歳以上就業者。6) 沖縄は14歳以上就業者。

表9 - 6 主要国の産業（3部門）別にみた就業人口とその割合：最新年次

国	(年次)	就業者数(1,000人)				割合(%)		
		総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
ホンコン	(1989)	2,749	31	1,049	1,669	1.1	38.2	60.7
コロンビア*	(1989)	3,668	46	1,070	2,551	1.3	29.2	69.5
イギリス*	(1987)	24,672	592	7,165	16,915	2.4	29.0	68.6
ベルギー	(1988)	3,702	102	991	2,560	2.8	26.8	69.2
アメリカ合衆国	(1989)	123,120	3,582	31,936	87,570	2.9	25.9	71.1
カナダ	(1989)	13,431	454	3,496	9,481	3.4	26.0	70.6
スウェーデン	(1989)	4,467	159	1,279	3,024	3.6	28.6	67.7
オランダ	(1989)	6,430	286	1,835	4,279	4.4	28.5	66.5
西ドイツ*	(1987)	27,813	1,352	10,676	15,373	4.9	38.4	55.3
オーストラリア	(1989)	7,982	421	2,027	5,535	5.3	25.4	69.3
デンマーク	(1986)	2,809	160	762	1,849	5.7	27.1	65.8
日本	(1990)	62,490	4,510	20,990	36,690	7.2	33.6	58.7
フィリピン	(1989)	21,850	9,852	3,363	8,622	45.1	13.4	39.5
スリランカ	(1985～86)	5,175	2,538	909	1,512	49.0	17.6	29.2
ナイジェリア	(1986)	28,535	13,369	1,760	12,581	46.9	6.2	44.1
トルコ*	(1988)	18,908	9,329	3,812	5,767	49.3	20.2	30.5
パキスタン	(1989～90)	30,822	15,765	5,926	9,094	51.1	19.2	29.5
グアテマラ*	(1986～87)	2,710	1,365	432	845	50.4	15.9	31.2
ハイチ*	(1988)	1,789	1,185	156	399	66.2	8.7	22.3
インドネシア	(1988)	72,518	40,558	5,997	25,958	55.9	8.3	35.8
バングラデシュ*	(1985～86)	30,585	17,463	3,669	8,222	57.1	12.0	26.9
マラウイ	(1987)	3,121	2,700	149	271	86.5	4.8	8.7

ILO, *Year Book of Labour Statistics*, 1989～90年版による算定。ただし日本は、総務庁統計局『労働力調査報告』(1990年速報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊および新規求職者、失業者などを含むか否か)、産業分類などの定義は国によって相違がある。配列は就業者数200万以上の人口について第1次産業就業者割合の低位順12位、高位順10位。*暫定値。

表9-7 性別にみた産業（大分類）別就業人口とその割合：1985年

産 業 (大 分 類)	就 業 者 数			産 業 別 割 合 (%)			男 女 別 割 合 (%)	
	総 数	男	女	総数	男	女	男	女
総数	58,357,232	35,679,165	22,678,067	100.0	100.0	100.0	61.1	38.9
農業	4,851,035	2,482,423	2,368,612	8.3	7.0	10.4	51.2	48.8
林業	139,862	116,789	23,073	0.2	0.3	0.1	83.5	16.5
漁業	421,296	328,254	93,042	0.7	0.9	0.4	77.9	22.1
建設業	95,316	84,225	11,091	0.2	0.2	0.0	88.4	11.6
製造業	5,266,295	4,579,404	686,891	9.0	12.8	3.0	87.0	13.0
電気・ガス・熱供給・水道業	13,972,604	8,710,355	5,262,249	23.9	24.4	23.2	62.3	37.7
運輸・通信業	336,841	293,151	43,690	0.6	0.8	0.2	87.0	13.0
卸売・小売業	3,510,034	3,068,467	441,567	6.0	8.6	1.9	87.4	12.6
金融・保険業	13,382,405	7,135,730	6,246,675	22.9	20.0	27.5	53.3	46.7
不動産業	1,729,426	879,185	850,241	3.0	2.5	3.7	50.8	49.2
サービス業	479,753	306,411	173,342	0.8	0.9	0.8	63.9	36.1
公務(他に分類されないもの)	11,949,386	6,011,046	5,938,340	20.5	16.8	26.2	50.3	49.7
分類不能の産業	2,056,461	1,604,766	451,695	3.5	4.5	2.0	78.0	22.0
	166,518	78,959	87,559	0.3	0.2	0.4	47.4	52.6

総務庁統計局【昭和60年国勢調査報告 第3巻 第2次基本集計結果 その1 全国編】(1987.7)による。10月1日現在の15歳以上人口。

表9-8 職業（4区分）別にみた就業人口とその割合：1955～85年

職 業	1955年 ²⁾	1960年	1965年 ³⁾	1970年 ³⁾	1975年 ³⁾	1980年	1985年 ⁴⁾
就 業 者 数 (1,000人)							
総数 ¹⁾	39,590	44,042	47,984	52,468	53,015	55,811	58,218
農林漁業関係職業	16,058	14,321	11,777	10,085	7,290	6,049	5,373
生産・運輸関係職業	10,925	14,503	16,890	19,359	19,280	20,340	20,564
販売・サービス関係職業	6,614	7,548	8,977	10,169	11,219	12,739	13,037
事務・技術・管理関係職業	5,993	7,663	10,306	12,836	15,165	16,621	19,139
割 合 (%)							
総数 ¹⁾	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
農林漁業関係職業	40.6	32.5	24.5	19.2	13.8	10.8	9.2
生産・運輸関係職業	27.6	32.9	35.2	36.9	36.4	36.4	35.3
販売・サービス関係職業	16.7	17.1	18.7	19.4	21.2	22.8	22.4
事務・技術・管理関係職業	15.1	17.4	21.5	24.5	28.6	29.8	32.9

総務庁統計局【国勢調査報告】による各年10月1日現在の15歳以上人口で、すべての年次沖縄県を含む。1975年以降は1985年国勢調査の職業分類に組み替えた数字。1) 分類不能の職業を含む。2) 沖縄は14歳以上就業者数。3) 20%抽出集計結果。4) 1%抽出集計結果。

表9-9 主要国の職業（大分類）別にみた就業人口割合：最新年次

国 (年次)	就業者数 (1,000人)	職 業 別 割 合 (%)							
		専門的・技術的職業	行政的・管理的職業	事務	販売	サービス業	農林・漁業・狩猟業	生産・運輸	その他の職業
イ ラ ク (1987)	3,772	10.1	0.4	38.9	3.1	4.6	12.6	28.2	2.1
東 ド イ ツ ¹⁾ (1981)	9,080	11.9	6.2	20.5	4.2	7.7	5.6	28.1	15.7
ホ ン コ ン (1989)	2,749	7.7	3.9	18.8	12.1	16.9	1.2	39.4	0.0
オ ラ ン ダ ²⁾ (1989)	6,064	24.2	4.2	18.2	10.9	12.3	5.0	24.8	0.4
日 本 (1989)	60,990	10.9	3.9	18.1	15.4	8.5	7.5	31.4	4.4
デ ン マ ー ク (1986)	2,778	21.7	3.6	18.0	7.0	11.8	4.7	31.9	1.3
カ ナ ダ ³⁾ (1989)	13,432	16.3	12.0	16.7	9.3	13.7	4.9	27.3	0.0
オーストリア ⁴⁾ (1988)	3,399	13.8	5.6	16.4	9.0	11.0	8.1	35.5	0.6
アメリカ合衆国 ⁵⁾ (1989)	123,119	15.9	12.3	15.6	11.9	13.5	3.0	27.8	0.0
フィンランド (1989)	2,534	24.0	3.9	14.5	9.6	10.9	9.0	27.9	0.2
コロンビア ⁶⁾ * (1989)	3,668	12.9	2.0	12.7	20.1	18.1	1.2	32.8	0.0
ポルトガル (1987)	4,381	7.2	1.4	12.5	9.2	11.3	22.1	33.9	2.5
韓 国 (1989)	17,516	6.9	1.4	12.4	14.7	10.8	19.3	34.5	0.0
ス ペ イ ン ⁷⁾ (1989)	13,929	9.7	1.5	11.7	10.5	13.9	13.0	36.6	3.1
チ リ* (1989)	4,425	8.2	3.9	11.5	11.0	13.1	19.7	31.5	1.0

ILO, Year Book of Labour Statistics, 1989～90年版による算定。ただし日本は、総務庁統計局【労働力調査報告】(1989年報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊および新規求職者、失業者などを含むか否か)、職業分類などの定義は国によって相違がある。配列は就業者数200万以上の国・地域について事務従業者割合の高い順。*暫定値。1) 雇用者のみ。2) 常住人口。3) エコンおよび北西部地域、保護地域のインディアン、施設世帯、軍隊専門者を除く。4) 兵役に服する前に就業したことのないものを除く。5) 常住人口、海外駐留の軍隊を除く。6) ボゴタ、バランキラ、カリ、ブクラマンガおよびパストについてのデータ。7) 軍隊を除く。

表9-10 従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：1950～85年

年次	就業者数(1,000人)				割合(%)		
	総数 ¹⁾	自営業主	雇用者	家族従業者	自営業主	雇用者	家族従業者
1950 ²⁾	36,025	9,446	14,159	12,395	26.2	39.3	34.4
1955 ³⁾	39,590	9,517	18,083	11,990	24.0	45.7	30.3
1960	44,042	9,748	23,730	10,560	22.1	53.9	24.0
1965	47,960	9,437	29,101	9,351	19.7	60.7	19.5
1970	52,593	10,248	33,764	8,577	19.5	64.2	16.3
1975	53,141	9,414	36,718	6,945	17.7	69.1	13.1
1980	55,811	9,543	39,764	6,495	17.1	71.2	11.6
1985	58,357	8,970	43,990	5,393	15.4	75.4	9.2

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の15歳以上人口で、すべての年次沖縄県を含む。
 1) 従業上の地位不詳を含む。2) 14歳以上の就業者数。3) 沖縄は14歳以上の就業者数。

表9-11 主要国の従業上の地位（3区分）別にみた就業人口とその割合：最新年次

国	(年次)	就業者数(1,000人)				割合(%)		
		総数	自営業主	雇用者	家族従業者	自営業主	雇用者	家族従業者
アメリカ合衆国 ¹⁾	(1989)	123,120	10,167	114,228	413	8.3	92.8	0.3
東ドイツ	(1981)	9,080	117	8,274	689	1.3	91.1	7.6
カナダ ²⁾	(1989)	13,431	1,084	12,218	55	8.1	91.0	0.4
スウェーデン ³⁾	(1989)	4,466	392	4,059	15	8.8	90.9	0.3
西ドイツ	(1987)	27,813	2,426	24,815	838	8.7	89.2	3.0
デンマーク	(1986)	2,809	251	2,500	58	8.9	89.0	2.1
イギリス	(1987)	24,991	2,861	22,130	2,905	11.4	88.6	11.6
オランダ	(1989)	6,155	580	5,333	121	9.4	86.6	2.0
日本	(1990)	62,490	8,780	48,350	51,700	14.1	77.4	82.7
マラウイ	(1987)	3,121	2,306	443	372	73.9	14.2	11.9
ナイジェリア	(1988)	28,535	19,601	5,441	2,989	68.7	19.1	10.5
パキスタン	(1986)	30,822	15,327	7,860	7,635	49.7	25.5	24.8
インドネシア ⁴⁾	(1989-90)	74,596	31,226	19,177	2,211	41.9	25.7	3.0
トルコ	(1988)	18,908	5,380	7,566	6,342	28.5	40.0	33.5
ブラジル	(1988)	30,584	11,614	13,248	5,698	38.0	43.3	18.6
フィリピン	(1985-86)	21,849	8,665	9,876	3,307	39.7	45.2	15.1
グアテマラ ⁵⁾ *	(1989)	2,710	846	1,293	439	31.2	47.7	16.2

ILO, Year Book of Labour Statistics, 1989-90年版による。ただし日本は、総務庁統計局『労働力調査報告』(1990年報)による年平均値。調査の方法や就業者(軍隊および新規求職者、失業者などを含むか否か)、従業上の地位などの定義は、国によって相違があるので注意を要する。配列は就業者200万人以上の国について雇用者割合の上位8位、下位8位および日本。ただしデータのある国のみ。*暫定値。1) 常住人口。海外駐留の軍隊を除く。2) ユコンおよび北西部領域、インディアン保護区、施設世帯ならびに専業の軍人を除く。3) 就業経験なしに徴兵義務に服したものを除く。4) 定住していないもの、収容施設にいるもの、外国人および海外にいる国民を除く。5) 施設世帯を除く。総数には従業上の地位不詳のものおよび就業経験を有するが現在失業中のもの66,000人を含む。

表9-12 従業者規模別にみた事業所数、従業者数とその割合：1986年

従業者規模	事業所数		従業者数		従業者規模	事業所数		従業者数	
	実数	割合(%)	実数	割合(%)		実数	割合(%)	実数	割合(%)
総数	6,708,759	100.1	54,370,454	100.0	30～49	144,338	2.2	5,436,615	10.0
1～4	4,503,664	67.1	9,658,846	17.8	50～99	88,380	1.3	5,992,178	11.0
5～9	1,159,086	17.3	7,488,440	13.8	100～199	33,549	0.5	4,559,657	8.4
10～19	573,912	8.6	7,644,203	14.1	200～299	8,958	0.1	2,161,036	4.0
20～29	186,900	2.8	4,439,374	8.2	300人以上	9,972	0.1	6,990,105	12.9

総務庁統計局『事業所統計調査報告』による。1986年7月1日現在の調査結果。ここに「事業所」とは、物の生産またはサービスの提供が業として行われている個々の場所をいう。一般には、商店、工場、事務所、営業所、銀行、学校、寺院、病院、旅館、製錬所、鉱山、発電所などと呼ばれ、一区画を占めて経済活動を行っている場所である。

表9 - 13 産業（大分類）別にみた事業所数，従業者数とその割合：1981，86年

産 業（大分類）	事 業 所 数				従 業 者 数			
	1981年		1986年		1981年		1986年	
	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)
総 数	6,488,329	100.0	6,708,759	100.0	51,545,087	100.0	54,370,454	100.0
農 林 漁 業	21,345	0.3	21,463	0.3	297,549	0.6	281,478	0.5
鉱 業	6,993	0.1	6,013	0.1	128,731	0.2	102,631	0.2
建 設 業	550,798	8.5	576,417	8.6	4,969,163	9.6	4,796,670	8.8
製 造 業	872,571	13.4	874,587	13.0	12,895,945	25.0	13,351,246	24.6
卸 売 ・ 小 売 業， 飲 食 店	3,028,150	46.7	3,048,247	45.4	14,897,292	28.9	15,708,957	28.9
金 融 ・ 保 険 業	84,136	1.3	95,075	1.4	1,711,421	3.3	1,807,617	3.3
不 動 産 業	238,358	3.7	257,862	3.8	628,877	1.2	712,643	1.3
運 輸 ・ 通 信 業	160,623	2.5	168,724	2.5	3,400,845	6.6	3,383,144	6.2
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 ・ 熱 供 給 業	10,914	0.2	10,148	0.2	322,205	0.6	317,699	0.6
サ ー ビ ス 業	1,468,676	22.6	1,604,408	23.9	10,557,941	20.5	12,162,500	22.4
公 務	45,765	0.7	45,815	0.7	1,735,118	3.4	1,745,869	3.2

総務庁統計局『事業所統計調査報告』による。調査は7月1日現在で実施されている。前表の注記参照。

表9 - 14 性別にみた社会経済分類別就業人口とその割合：1985年

社 会 経 済 分 類	人 口 (1,000人)			割 合 (%)			性 別 割 合 (%)	
	総 数	男	女	総 数	男	女	男	女
15 歳 以 上 人 口 総 数	94,948	46,115	48,833	100.0	100.0	100.0	48.6	51.4
農 林 漁 業 者	4,935	2,569	2,366	5.2	5.6	4.8	52.1	47.9
農 林 漁 業 雇 用 者	352	267	85	0.4	0.6	0.2	75.8	24.2
会 社 団 体 役 員	1,490	1,303	187	1.6	2.8	0.4	87.5	12.5
商 店 主	1,661	1,139	522	1.7	2.5	1.1	68.6	31.4
工 場 主	723	675	48	0.8	1.5	0.1	93.3	6.7
サ ー ビ ス ・ そ の 他 の 事 業 主	774	643	131	0.8	1.4	0.3	83.1	16.9
専 門 職 業 者	647	527	120	0.7	1.1	0.2	81.5	18.5
技 術 者	3,004	1,911	1,093	3.2	4.1	2.2	63.6	36.4
教 員 ・ 宗 教 家	2,029	943	1,085	2.1	2.0	2.2	46.5	53.5
文 筆 家 ・ 芸 術 家 ・ 芸 能 家	629	387	242	0.7	0.8	0.5	61.5	38.5
管 理 職	782	769	13	0.8	1.7	0.0	98.3	1.7
事 務 職	10,525	4,534	5,991	11.1	9.8	12.3	43.1	56.9
販 売 人	6,603	4,064	2,540	7.0	8.8	5.2	61.5	38.5
技 能 者	15,541	11,461	4,080	16.4	24.9	8.4	73.7	26.3
労 務 作 業 者	3,370	2,268	1,103	3.5	4.9	2.3	67.3	32.7
個 人 サ ー ビ ス 人	3,939	1,389	2,550	4.1	3.0	5.2	35.3	64.7
保 安 職	820	799	21	0.9	1.7	0.0	97.4	2.6
内 職 者	512	19	493	0.5	0.0	1.0	3.7	96.3
学 生 徒	8,748	4,731	4,016	9.2	10.3	8.2	54.1	45.9
家 事 従 事 者	16,996	210	16,786	17.9	0.5	34.4	1.2	98.8
そ の 他 の 15 歳 以 上 非 就 業 者	10,696	5,417	5,278	11.3	11.7	10.8	50.7	49.3

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告第5巻(20%抽出集計結果)』全国編第1部(1989.11)第11表による。総数に社会経済分類不能を含む。

表9-15 国籍(4区分), 労働力状態(8区分), 性別15歳以上外国人数: 1985年

国籍	総数	労働力人口							非労働力人口			
		総数	就業者					完全失業者	総数	家事	通学	その他
			総数	主に仕事	家事のほかに仕事	通学のかたわら仕事	休業者					
総数	550,165	332,228	309,168	255,283	44,579	4,376	4,930	23,060	215,828	105,375	69,809	40,644
男女	277,295 / 272,870	213,547 / 118,681	197,362 / 111,806	189,559 / 65,724	1,368 / 43,211	2,678 / 1,698	3,757 / 1,173	16,185 / 6,875	62,392 / 153,436	1,264 / 104,111	38,874 / 30,935	22,254 / 18,390
朝鮮・韓国	427,911	263,134	243,120	198,174	38,166	2,651	4,129	20,014	163,736	81,522	47,658	34,556
男女	214,938 / 212,973	168,781 / 94,353	154,683 / 88,437	148,770 / 49,404	1,110 / 37,056	1,605 / 1,046	3,198 / 931	14,098 / 5,916	45,556 / 118,180	984 / 80,538	25,889 / 21,769	18,683 / 15,873
中国	50,317	25,672	24,253	20,063	3,184	716	290	1,419	24,418	10,156	11,814	2,448
男女	25,102 / 25,215	16,681 / 8,991	15,695 / 18,558	14,954 / 5,109	89 / 3,095	440 / 276	212 / 78	986 / 433	8,268 / 16,150	131 / 10,025	6,698 / 5,116	1,439 / 1,009
アメリカ	19,792	13,083	12,667	11,230	958	295	184	416	6,603	3,269	2,191	1,143
男女	11,137 / 8,655	9,051 / 4,032	8,757 / 3,910	8,378 / 2,852	72 / 886	188 / 107	119 / 65	294 / 122	1,997 / 4,606	58 / 3,211	1,126 / 1,065	813 / 330
その他	40,515	22,785	22,055	19,572	1,718	528	237	730	17,383	8,893	6,639	1,851
男女	19,536 / 20,979	13,996 / 8,789	13,510 / 8,545	12,937 / 6,635	78 / 1,640	336 / 192	159 / 78	486 / 244	5,315 / 12,068	63 / 8,830	4,228 / 2,411	1,024 / 827

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告 第7巻 特別集計結果 その3』1990年11月による。

表9-16 労働力状態, 年齢(5歳階級), 性別15歳以上外国人数: 1985年

性, 年齢(5歳階級)	総数 ¹⁾	労働力人口							非労働力人口			
		総数	就業者					完全失業者	総数	家事	通学	その他
			総数	主に仕事	家事のほかに仕事	通学のかたわら仕事	休業者					
男												
総数	277,295	213,547	197,362	189,559	1,368	2,678	3,757	16,185	62,392	1,264	38,874	22,254
15~19	29,476	6,646	5,523	4,615	96	733	79	1,123	22,769	97	22,168	504
20~24	32,434	22,918	20,672	19,183	229	1,052	208	2,246	9,247	125	8,302	820
25~29	33,625	27,854	25,926	25,015	169	504	238	1,928	5,508	87	4,703	718
30~34	34,464	31,066	29,267	28,618	99	229	321	1,799	3,167	62	2,328	777
35~39	33,123	31,251	29,476	28,890	101	95	390	1,775	1,726	55	844	827
40~44	25,244	24,045	22,777	22,312	83	28	354	1,268	1,088	52	286	750
45~49	20,171	19,191	18,060	17,636	69	18	337	1,131	906	54	142	710
50~54	15,484	14,565	13,506	13,083	42	8	373	1,059	864	55	54	755
55~59	14,301	12,921	11,737	11,238	83	7	409	1,184	1,339	98	28	1,213
60~64	15,245	12,100	10,690	10,066	135	4	485	1,410	3,111	176	8	2,927
65歳以上	23,728	10,990	9,728	8,903	262	0	563	1,262	12,667	403	11	12,253
女												
総数	272,870	118,681	111,806	65,724	43,211	1,698	1,173	6,875	153,436	104,111	30,935	18,390
15~19	28,900	5,942	5,356	4,234	396	702	24	586	22,911	1,198	21,493	220
20~24	34,856	20,518	18,870	15,859	2,292	596	123	1,648	14,142	8,029	5,672	441
25~29	35,357	14,768	13,618	8,864	4,352	240	162	1,150	20,463	17,773	2,314	376
30~34	34,595	14,345	13,516	6,465	6,778	93	180	829	20,159	18,897	949	313
35~39	30,375	15,330	14,623	6,437	8,015	43	128	707	15,003	14,397	307	299
40~44	24,130	13,668	13,138	6,100	6,932	9	97	530	10,426	10,068	81	277
45~49	19,811	11,158	10,752	5,463	5,182	5	102	406	8,622	8,274	54	294
50~54	15,625	8,268	7,971	4,269	3,599	3	100	297	7,329	6,877	16	436
55~59	13,215	6,256	5,994	3,331	2,567	4	92	262	6,930	5,958	20	952
60~64	12,877	4,616	4,395	2,531	1,789	2	73	221	8,234	5,739	6	2,489
65歳以上	23,129	3,812	3,573	2,171	1,309	1	92	239	19,217	6,901	23	12,293

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告 第7巻 特別集計結果 その3』1990年11月による。

1)労働力状態「不詳」を含む。

表9-17 職業の有無別在留外国人数: 1964~88年

年次	総数	有職	無職	不詳
1964	659,701	167,617	492,084	-
1969	696,405	198,986	363,851	133,568
1974	749,094	199,012	435,360	114,722
1984	840,885	219,086	620,638	1,161
1986	867,237	231,674	634,405	1,158
1988	941,005	243,900	695,975	1,130

法務省『在留外国人統計』による。1964~74年は4月1日, 1984~88年は各年末。有職は総数から無職と不詳を除いて求めた。

表9-18 就業および就学の在留資格別外国人数: 1964~88年

年次	計	就業	留学	就学	研修
1964	2,462	2,462
1974	5,712	5,712
1984	50,660	28,696	14,172	3,522	4,270
1986	105,273	64,498	20,456	15,144	5,175
1988	151,984	66,276	29,154	47,827	8,727

法務省『在留外国人統計』による。「就学」資格は日本語学校など各種学校に在学するものの資格。

表10-1 教育程度別にみた学校数, 在学者数および教員数: 1877~1990年

年 度	就学前教育 (幼稚園)	初等教育 (小学校)	中等教育 ¹⁾ (中学校など)	高等教育 ²⁾ (大学など)	特殊教育 ³⁾ (盲, ろう, 養護)
学 校 数					
1877	1	25,459	491	77	—
1900	240	26,857	461	66	11
1935	1,890	25,799	2,931	263	140
1972 ⁴⁾	11,564	24,325	15,496	952	459
1990	14,988	24,021	16,524	1,163	852
分校	88	806	257	—	95
在学(園)者数					
1877	158	2,162,962	28,695	6,586	—
1900	23,073	4,683,598	122,919	24,721	621
1935	143,676	11,425,628	1,181,412	189,511	10,284
1972 ⁴⁾	1,842,458	9,696,133	8,843,091	1,864,990	54,508
1990	2,007,964	9,373,295	10,992,498	2,833,224	93,497
教員数(本務者)					
1877	5	59,825	1,696	390	—
1900	596	92,899	6,582	1,907	55
1935	5,861	257,691	50,695	16,226	1,289
1972 ⁴⁾	72,797	381,591	433,040	99,149	14,316
1990	100,932	444,218	572,071	148,429	44,798

文部省の資料(「学校基本調査報告」など)による。1) 1990年度(5月1日現在)の場合は, 速報による中学校および高等学校, 2) 同じく, 高等専門学校, 短期大学および大学, 3) 同じく, 在学者数は幼稚園, 小学部, 中学部および高等部の計。4) 沖縄県を含まない。

表10-2 性別にみた教育程度別人口: 1960~80年

教育程度	15歳以上人口(1,000人)			割合(%)		
	1960年 ¹⁾	1970年	1980年	1960年	1970年	1980年
総 数						
総 数	65,352	79,512	89,482	100.0	100.0	100.0
卒業	59,128	71,666	80,874	90.5	90.1	90.4
初等教育	41,192	41,097	34,470	63.0	51.7	38.5
中等教育	14,517	23,835	34,010	22.2	30.0	38.0
高等教育	3,418	6,689	12,235	5.2	8.4	13.7
在学者	4,781	7,245	8,299	7.3	9.1	9.3
未就学	1,432	601	308	2.2	0.8	0.3
男						
総 数	31,542	38,512	43,442	100.0	100.0	100.0
卒業	28,516	34,362	38,843	90.4	89.2	89.4
初等教育	19,313	18,998	15,822	61.2	49.3	36.4
中等教育	6,547	10,732	15,401	20.8	27.9	35.5
高等教育	2,656	4,612	7,546	8.4	12.0	17.4
在学者	2,715	4,003	4,508	8.6	10.4	10.4
未就学	305	147	90	1.0	0.4	0.2
女						
総 数	33,810	41,001	46,040	100.0	100.0	100.0
卒業	30,612	37,304	42,031	90.5	91.0	91.3
初等教育	21,879	22,098	18,648	64.7	53.9	40.5
中等教育	7,971	13,103	18,609	23.6	32.0	40.4
高等教育	762	2,077	4,689	2.3	5.1	10.2
在学者	2,066	3,242	3,791	6.1	7.9	8.2
未就学	1,127	455	218	3.3	1.1	0.5

総務庁統計局「国勢調査報告」による10月1日現在の年齢15歳以上の人口。卒業生総数に学校の種類不詳を含む。初等教育は小学校・中学校・高小(旧青年学校を含む)を, 中等教育は高校・旧中を, 高等教育は短大・高専・大学・大学院をそれぞれ卒業した者。

1) 沖縄県は含まない。

表10-3 性、年齢階級別にみた人口の教育程度別割合：1970、80年

(%)

年 齢	1970年				1980年			
	初等教育以下	中等教育	高等教育	在学者	初等教育以下	中等教育	高等教育	在学者
男								
総 数	49.6	27.9	12.0	10.4	36.6	35.5	17.4	10.4
15 ~ 19	20.4	14.6	—	65.0	6.9	14.0	—	79.1
20 ~ 24	29.8	43.3	9.2	17.7	11.3	44.0	17.0	27.5
25 ~ 29	38.8	40.7	19.7	0.9	19.2	47.0	32.1	1.5
30 ~ 34	43.8	38.7	17.3	0.2	25.0	47.6	26.9	0.2
35 ~ 44	53.4	30.6	15.9	0.1	36.1	44.0	19.7	0.0
45 ~ 54	66.8	20.0	13.1	0.0	48.4	35.4	16.0	0.0
55 ~ 64	74.0	15.8	10.1	0.0	63.5	23.3	13.0	0.0
65歳以上	83.1	9.5	7.3	0.0	72.9	17.3	9.5	0.0
女								
総 数	54.9	32.1	5.1	7.9	41.0	40.4	10.2	8.2
15 ~ 19	19.6	16.8	—	63.6	4.6	14.2	—	81.2
20 ~ 24	30.6	52.4	10.9	6.1	8.3	51.6	27.6	12.4
25 ~ 29	42.1	47.9	9.8	0.2	17.0	56.9	25.6	0.3
30 ~ 34	50.8	42.4	6.8	0.1	24.9	57.6	17.3	0.1
35 ~ 44	57.0	38.0	4.9	0.0	40.1	50.5	9.2	0.0
45 ~ 54	71.7	24.8	3.4	0.0	52.0	42.7	5.2	0.0
55 ~ 64	79.5	17.7	2.8	0.0	68.0	28.4	3.4	0.0
65歳以上	89.8	8.7	1.3	0.0	79.9	17.4	2.3	0.0

総務庁統計局「国勢調査報告」による10月1日現在の15歳以上人口に基づく男女各年齢階級別総数100についての割合。初等教育以下に未就学者を含む。前表の注記参照。

表10-4 性別にみた高等学校・大学への進学率：1950~90年

(%)

年 度	高等学校への進学率の推移 ¹⁾			大学・短期大学への進学率 ²⁾		
	総 数	男	女	総 数	男	女
1950	42.5	48.0	36.7
1955	51.5	55.5	47.4	10.1	15.0	5.0
1960	57.7	59.6	55.9	10.3	14.9	5.5
1965	70.7	71.7	69.6	17.0	22.4	11.3
1967	74.5	75.3	73.7	17.9	22.2	13.4
1968	76.8	77.0	76.5	19.2	23.8	14.4
1969	79.4	79.2	79.5	21.4	26.6	16.1
1970	82.1	81.6	82.7	23.6	29.2	17.7
1971	85.0	84.1	85.9	26.8	32.5	20.8
1972	87.2	86.2	88.2	29.8	35.7	23.7
1973	89.4	88.3	90.6	32.2	37.5	26.6
1974	90.8	89.7	91.9	34.7	39.9	29.3
1975	91.9	91.0	93.0	37.8	43.0	32.4
1976	92.6	91.7	93.5	38.6	43.3	33.6
1977	93.1	92.2	94.0	37.7	41.9	33.3
1978	93.5	92.7	94.4	38.4	43.1	33.5
1979	94.0	93.0	95.0	37.4	41.5	33.1
1980	94.2	93.1	95.4	37.4	41.3	33.3
1981	94.3	93.2	95.4	36.9	40.5	33.0
1982	94.3	93.2	95.5	36.3	39.8	32.7
1983	94.0	92.8	95.2	35.1	37.9	32.2
1984	93.9	92.8	95.0	35.6	48.3	32.8
1985	93.8	92.8	94.9	37.6	40.6	34.5
1986	93.8	92.8	94.9	34.7	35.9	33.5
1987	93.9	92.8	95.0	36.1	37.1	35.1
1988	94.1	92.9	95.3	36.7	37.2	36.2
1989	94.1	93.0	95.3	36.3	35.8	36.8
1990	94.4	93.2	95.6	36.3	35.2	37.4

文部省統計調査課「文部統計要覧」による。1) 高等学校への進学率：中学校卒業者のうち、高等学校等の本科・別科、高等専門学校に進学した者（就職進学した者を含み、浪人は含まない）の占める比率。2) 大学・短期大学等への進学率：大学部・短期大学本科入学者数（浪人を含む）を3年前の中学卒業者数で除した比率。

表10-5 主要国の性別にみた教育程度別在学率：最新年次

(%)

国 (年次)	初 等 教 育			中 等 教 育			高 等 教 育		
	該当年齢	男	女	該当年齢	男	女	該当年齢	男	女
エジプト ¹⁾ (1987)	6~11	100	79	12~17	79	58	20~24	25.5	14.0
カナダ(1987)	6~11	97	97	12~17	92	93	20~24	53.1	63.5
アメリカ合衆国(1986)	6~13	95	96	14~17	87	90	20~24	55.5	63.7
アルゼンチン ¹⁾ (1987)	6~12	110		13~17	69	78	20~24
インドネシア(1986)	7~12	99	96	13~18	20~24
イスラエル ¹⁾ (1986)	6~13	94	97	14~17	79	87	20~24	35.7	32.9
日本(1986)	6~11	100		12~17	20~24	36.4	21.2
韓国(1988)	6~11	100		12~17	20~24	49.0	22.9
トルコ ¹⁾ (1987)	6~10	121	113	11~16	57	34	20~24	13.4	7.1
オーストリア ¹⁾ (1987)	6~9	102	101	10~17	78	81	20~24	31.3	27.4
フランス(1987)	6~10	100		11~17	79	85	20~24	29.7	32.0
西ドイツ(1986)	6~9	84	86	10~18	20~24	34.2	25.6
ギリシャ(1985)	6~11	99		12~17	81		20~24	25.9	26.5
イタリア(1984)	6~10	96		11~18	68	69	20~24	28.2	24.1
オランダ(1986)	4~11	100		12~17	84	87	20~24	35.7	26.8
ポーランド(1987)	7~14	99		15~18	72	78	20~24	15.3	20.4
スペイン(1986)	6~10	100		11~17	20~24	29.6	30.3
スウェーデン ¹⁾ (1987)	7~12	13~18	90	92	20~24	28.8	33.7
イギリス(1986)	5~10	100		11~17	78	81	20~24
オーストラリア(1987)	6~11	97	98	12~16	86	88	20~24
ソビエト連邦(1987)	7~11	12~16	20~24	19.9	25.4

UNESCO, *Statistical Yearbook*, 1989年版による。ただし、日本は文部省資料による。各国の初等・中等教育該当年齢に対する在学者数の割合である。該当年齢階級以外の在学者数が含まれる場合には注記されている。高等教育の在学率は、各国の20~24歳人口に対する全年齢の在学者数の割合。

1) 該当年齢階級以外の在学者数を含む。

表10-6 主要国の性別にみた非識字率：最新年次

(%)

国 名 (年次)	総 数	男	女	国 名 (年次)	総 数	男	女
エジプト ¹⁾ (1986)	49.3	37.8	61.8	中 国 (1982)	34.5	20.8	48.9
ナイジェリア(1985)	57.6	46.2	68.5	マレーシア(1980)	27.3	17.4	36.8
メキシコ ²⁾ (1980)	17.0	13.8	20.1	パキスタン(1981)	74.3	64.6	85.2
アメリカ合衆国 ³⁾ (1979)	0.5	4) 1.1	4) 1.0	フィリピン ²⁾ (1981)	16.7	16.1	17.2
アルゼンチン(1980)	6.1	5.7	6.4	シンガポール(1985)	13.9	6.6	21.4
ブラジル ²⁾⁵⁾ (1980)	25.4	23.6	27.1	タイ(1985)	9.0	5.8	12.2
ベルー ⁶⁾ (1981)	18.0	9.8	26.0	ハンガリー(1980)	1.1	0.7	1.5
バングラデシュ(1981)	70.8	60.3	82.0	イタリア(1981)	3.5	2.5	4.5
ビルマ(1980)	34.1	24.1	43.7	ポーランド(1978)	1.2	0.7	1.7
インド ⁷⁾ (1981)	59.2	45.2	74.3	ポルトガル(1981)	20.6	15.2	25.4
インドネシア(1985)	25.9	17.0	34.6	スペイン(1985)	5.6	3.3	7.8
イラン ⁸⁾ (1986)	47.7	36.8	59.0	ユーゴスラビア ¹⁾ (1981)	10.4	4.5	16.1
イスラエル ⁹⁾ (1983)	8.2	5.0	11.3	パプアニューギニア(1985)	54.5	45.2	64.7
日本(1980)	0.3	0.2	0.5	ソビエト連邦(1979)	0.2	0.2	0.2

UN, *Demographic Yearbook*, 1988年版による。ただし、日本の非識字率については調査されていないので、国勢調査(1980年)による未就学率(15歳以上で初等教育未了のもの)の割合をもって代用している。外国の非識字は、15歳以上人口に対する非識字人口割合であるが日常生活の簡単な内容についての読み書きができないものをいい、準識字(読むことができるが書くことができないもの)を含む。

*暫定。1) 10歳以上。2) 常住人口。3) 14歳以上。4) 1969年。5) 密林のインディオを除く。6) 1972年に39,800人と推計される密林のインディオを除く。7) 最終的帰属未定のジャムおよびカシミールのインド保有部分を含む。アッサムを除く。8) 定住者のみ。9) 東エルサレムおよび1967年6月以降イスラエル軍占領下にある地域のイスラエル人住民を含む。

表10-7 世界各国の性別および都市・農村別非識字率：最新年次

(%)

国名	(年次)	総数	男	女	都市	農村
アフリカ						
ベニン	(1979)	83.5	74.8	90.5	69.0	93.2
エジプト ²⁾	(1976)	56.5	43.2	71.0	39.7	70.6
マリ	(1976)	90.6	86.5	94.3
モーリタニア ¹⁾	(1976)	82.6	83.1	88.5
モザンビーク	(1980)	72.8	56.0	87.8
ルワンダ	(1978)	61.8	49.2	73.4
北アメリカ						
キューバ ²⁾³⁾	(1981)	3.8	3.8	3.8
ホンジュラス	(1985)	40.5	39.3	41.6
パナマ ⁴⁾	(1985)	11.8	11.0	12.3
プエルトリコ ⁴⁾⁵⁾	(1980)	10.9	10.3	11.5	9.3	16.3
南アメリカ						
ボリビア	(1976)	36.8	24.2	48.6	15.2	53.2
ブラジル	(1985)	22.2	20.9	23.4
エクアドル ⁶⁾	(1982)	19.8	15.8	23.8	6.2	27.3
ペルー ⁷⁾	(1981)	18.1	9.9	26.1
ウルグアイ	(1985)	5.0	5.6	4.5	4.3	9.6
アジア						
アフガニスタン ⁸⁾	(1979)	81.8	69.7	95.0	62.5	85.3
バングラデシュ	(1981)	70.8	60.3	82.0	51.8	74.5
インドネシア	(1980)	32.7	22.5	42.3	16.5	37.6
イラン	(1976)	63.5	51.8	75.6	44.0	83.0
ネパール	(1981)	79.4	68.3	90.8	52.6	81.3
パキスタン	(1981)	73.8	64.0	84.8	53.1	82.6
シンガポール	(1980)	17.1	8.4	26.0
スリランカ	(1981)	13.2	8.7	18.0	6.6	15.2
タイ	(1980)	12.0	7.7	16.0
トルコ	(1984)	25.8	14.1	37.5
ヨーロッパ						
ハンガリー	(1980)	1.1	0.7	1.5
ポーランド	(1978)	1.2	0.7	1.7	0.7	2.1
スペイン	(1981)	7.1	4.0	9.9	6.6	8.7

UNESCO, *Statistical Yearbook* 1989年版による。識字とは、文字の読み・書き両方ができる能力であり、準識字（読みだけの能力）は非識字に含める。非識字率は、特に記さない限り識字の能力不詳を除く15歳以上人口100に対する非識字者の割合。

1) 6歳以上人口について。2) 10歳以上人口について。3) 機能障害者、身体障害者を除く。4) 常住人口。ただし領域内の軍隊を除く。5) 常住人口。ただし領域内の軍隊を除く。総数は15歳以上、都市・農村は18歳以上人口について。6) 遊牧のインディオを除く。7) 密林のインディオ部族を除く。8) 遊牧民を除く。

表10-8 世界の地域別栄養不足人口：1969～81年

地域	栄養不足人口（100万人）				栄養不足人口の割合（%）			
	推計 A		推計 B		推計 A		推計 B	
	1969～71年	1979～81年	1969～71年	1979～81年	1969～71年	1979～81年	1969～71年	1979～81年
総数	325	335	472	494	19	15	28	23
アフリカ	57	70	81	99	20	19	29	26
極東	208	210	303	313	21	17	31	25
ラテンアメリカ	36	38	53	56	13	11	19	16
近東	23	16	34	25	15	8	22	12

FAO, *The Fifth World Food Survey*, 1985年による。栄養不足か否かの基準として基礎代謝率の1.2倍を想定した場合の栄養不足人口の推計（推計A）と基礎代謝率の1.4倍を想定した場合の栄養不足人口の推計（推計B）を示した。

表11-1 世界の主要都市の人口：最新年次

都 市	Cities	(年 次)	人 口	順位	都 市	Cities	(年 次)	人 口	順位
アビジャン	Abidjan	(1985)	1,724,177	87	ラホール	Lahore	(1981.3.1)	2,922,000	41
アディスアババ	Addis Ababa	(1988)	1,686,300	89	レニングラード	Leningrad	(1989.1.1)	5,020,000	22
アーメダバード	Ahmedabad	(1988)	2,917,832	42	リマ	Lima	(1987)	5,875,900	16
アレキサンドリア	Alexandria	(1983.7.1)	2,905,000	43	六盤水	Liupanshui	(1987)	2,288,600	64
アンカラ	Ankara	(1988)	2,632,906	51	ロンドン	London Greater	(1987)	6,772,000	12
バグダット	Baghdad	(1975)	2,350,000	60	ロサンゼルス	Los Angeles	(1984) (C)	3,070,710	37
バク	Baku	(1989.1.1)	1,757,000	83	マドラス	Madras	(1986)	3,785,600	27
バンガロール	Bangalore	(1987)	3,114,131	34	マドリッド	Madrid	(1988)	3,102,846	35
バンコク	Bangkok	(1988.12.31)	5,716,779	17	マニラ	Manila	(1988)	1,835,290	82
バルセロナ	Barcelona	(1988.1.1)	1,714,355	88	メデリン	Medellin	(1988)	1,643,339	93
ベロオリゾンテ	Belo Horizonte	(1987)	2,189,864	67	メルボルン	Melbourne	(1989.6)	3,001,200	40
西ベルリン	Berlin(West)	(1986)	1,879,225	81	メキシコシティ	Mexico, Ciudad de	(1988)	10,263,275	4
ボゴタ	Bogota	(1989)	4,672,324	23	ミンスク	Minsk	(1989.1.1)	1,589,000	99
ボンベイ	Bombay	(1982)	8,578,000	6	モントリオール	Montreal	(1986) (C)	1,752,585	85
ブカレスト	Bucaresti	(1988.7.1)	2,320,250	61	モスクワ	Moskva	(1989.1.1)	8,967,000	5
ブダペスト	Budapest	(1988)	2,104,700	72	名古屋	Nagoya	(1988.10.1)	2,147,667	70
ブエノスアイレス	Buenos Aires	(1988)	3,078,011	36	南京	Nanjing	(1987)	2,390,700	59
カイロ	Cairo	(1986)	6,052,836	14	ニューヨーク	New York	(1986)	7,218,534	9
カルカッタ	Calcutta	(1981.3.1)	3,305,006	32	大阪	Osaka	(1988.10.1)	2,644,691	50
ケープタウン	Cape Town	(1985) (C)	1,911,521	80	パリ	Paris	(1985)	2,176,243	68
カサブランカ	Casablanca	(1981.7.1)	2,408,600	57	北京	Peking	(1987)	6,701,600	13
長春	Changchun	(1987)	2,002,100	77	フィラデルフィア	Philadelphia	(1987)	1,644,792	91
成都	Chengdu	(1987)	2,694,300	47	釜山	Pusan	(1988)	3,750,626	28
シカゴ	Chicago	(1988)	3,021,912	39	リオデジャネイロ	Rio de Janeiro	(1985.7.1)	5,603,388	18
重慶	Chongqing	(1987)	2,888,500	44	ローマ	Roma	(1988.1)	2,817,227	45
グアテマラ	Ciudad de Guatemala	(1988.12.31)	2,500,000	56	サルバドル	Salvador	(1987)	1,927,667	79
大連	Dalian	(1987)	2,276,500	65	サンティアゴ	Santiago	(1987)	4,153,785	25
デリー	Delhi	(1988)	8,250,500	8	サンドミンゴ	Santo Domingo	(1989)	2,313,104	63
ダッカ	Dacca	(1988)	12,308,000	1	サンパウロ	Sao Paolo	(1987)	10,554,104	3
フォルタレザ	Fortaleza	(1985.7.1)	1,582,414	100	札幌	Sapporo	(1988.10.1)	1,621,418	95
ギザ	Giza	(1983.7.1)	1,640,000	94	ソウル	Seoul	(1989)	10,576,794	2
グアダラハラ	Guadalajara	(1988)	2,047,455	76	上海	Shanghai	(1987)	7,217,700	10
広州	Guangzhou	(1987)	3,417,100	31	瀋陽	Shenyang	(1987)	4,368,300	24
ハバナ	Habana	(1987.12.31) (C)	2,059,223	75	シンガポール	Singapore	(1988)	2,647,100	49
ハンブルク	Hamburg	(1988)	1,603,070	98	スラバヤ	Surabaya	(1988)	2,538,373	54
ハノイ	Hanoi	(1989.4.1) (C)	3,057,000	38	シドニー	Sydney	(1987.6.30)	3,530,953	30
哈爾濱	Harbin	(1987)	2,707,400	46	大邱	Taegu	(1988)	2,239,418	66
ホーチミン	Ho Chi Minh Ville	(1989.4.1) (C)	3,934,000	26	台北	Taipei	(1988)	2,681,857	48
ヒューストン	Houston	(1987)	1,729,720	86	太原	Taiyan	(1987)	1,976,000	78
ハイデラバード	Hyderabad	(1981.3.1)	2,093,488	73	タシケント	Tashkent	(1989.1.1)	2,073,000	74
仁川	Inchon	(1988)	1,616,017	96	テヘラン	Teheran	(1986)	6,042,584	15
イスタンブール	Istanbul	(1985) (C)	5,560,908	19	天津	Tianjin	(1987)	5,543,700	20
イズミル	Izmir	(1988)	2,316,843	62	東京	Tokyo	(1988.10.1)	8,323,699	7
ジャカルタ	Jakarta	(1989)	7,003,267	11	ワルシャワ	Warszawa	(1987)	1,671,376	90
済南	Jinan	(1987)	2,144,200	71	武漢	Wuhan	(1987)	3,571,200	29
ヨハネスブルグ	Johannesburg	(1987.8.1)	1,753,000	84	西安	Xi'an	(1987)	2,576,900	53
カラチ	Karachi	(1981.7.1)	5,103,000	21	ヤンゴン	Yangon	(1983) (C)	2,510,000	55
ハリコフ	Kharkov	(1989.1.1)	1,611,000	97	横浜	Yokohama	(1988.10.1)	3,151,087	33
キエフ	Kiev	(1989.1.1)	2,587,000	52	濠洲	Zaozhuang	(1987)	1,644,600	92
キンシャサ	Kinshasa	(1979)	2,174,236	69	淄博	Zibo	(1988)	2,404,400	58

東京都【第28回世界大都市比較統計年表】1990年による。人口の大きい100市をアルファベット順に示す。
(C) 国勢調査結果。

表11-2 世界の主要都市域別人口の推移と将来推計：1970～2000年

1985年 の順位	都 市 域	国	人 口 (万人)			人口増加率 (%)	
			1970年	1985年	2000年	1970～85年	1985～2000年
1	東京 / 横浜†	日 本	1,487	1,904	2,132	1.65	0.75
2	メキシコシティ†	メ キ シ コ	874	1,665	2,444	4.30	2.56
3	ニューヨーク	アメリカ合衆国	1,619	1,562	1,610	-0.24	0.20
4	サンパウロ	ブ ラ ジ ル	806	1,554	2,360	4.38	2.79
5	上海	中 国	1,141	1,206	1,469	0.37	1.32
6	ブエノスアイレス†	アルゼンチン	831	1,076	1,305	1.72	1.29
7	ロンドン	イ ギ リ ス	1,055	1,049	1,079	-0.04	0.19
8	カルカッタ	イ ン ド	691	1,029	1,594	2.65	2.92
9	リオデジャネイロ	ブ ラ ジ ル	704	1,014	1,300	2.43	1.66
10	ソウル†	韓 国	531	1,007	1,297	4.27	1.69
11	ロサンゼルス	アメリカ合衆国	838	1,004	1,091	1.20	0.55
12	大阪 / 神戸	日 本	760	956	1,118	1.53	1.04
13	ボンベイ	イ ン ド	581	947	1,543	3.26	3.25
14	北京†	中 国	829	933	1,147	0.79	1.38
15	モスクワ†	ソ ヴ ェ ト 連	711	891	1,011	1.50	0.84
16	パリ	フ ラ ンス	833	875	876	0.33	0.01
17	天津	中 国	687	796	996	0.98	1.49
18	カイロ / ギザ†	エ ジ プ ト	533	792	1,177	2.64	2.64
19	ジャカルタ†	インドネシア	432	779	1,323	3.93	3.53
20	ミラノ	イ タ リ ア	553	750	874	2.03	1.02
21	テヘラン†	イ ラ ン	329	721	1,373	5.23	4.29
22	マニラ / ケソン†	フィリピン	353	709	1,148	4.65	3.21
23	デリー†	イ ン ド	353	695	1,277	4.52	4.06
24	シカゴ	アメリカ合衆国	672	684	698	0.12	0.14
25	カラチ	パキスタン	313	616	1,157	4.51	4.20
26	バンコク†	タイ	311	586	1,026	4.22	3.73
27	ラゴス†	ナイジェリア	202	584	1,245	7.08	5.05
28	リマ / カヤオ†	ペ ル ー	284	544	878	4.33	3.19
29	香港†	ホ ン コ ン	340	516	609	2.78	1.10
30	レニングラード	ソ ヴ ェ ト 連	398	511	584	1.67	0.89
31	マドラス	イ ン ド	303	487	785	3.16	3.18
32	マドリッド†	ス ペ イ ン	337	483	542	2.40	0.77
33	ダッカ†	バングラデシュ	150	476	1,126	7.70	5.74
34	ボゴダ†	コロンビア	237	474	694	4.62	2.54
35	バグダット†	イ ラ ク	211	439	766	4.88	3.71
36	ナポリ	イ タ リ ア	359	426	446	1.14	0.31
37	サンチャゴ†	チ リ	284	423	558	2.66	1.85
38	フィラデルフィア	アメリカ合衆国	402	418	433	0.26	0.24
39	沈陽	中 国	314	411	550	1.79	1.94
40	釜山	韓 国	181	402	582	5.32	2.47
41	デトロイト	アメリカ合衆国	397	383	392	-0.24	0.15
42	バンガロール	イ ン ド	162	373	767	5.56	4.81
43	ローマ†	イ タ リ ア	307	367	382	1.19	0.27
44	シドニー	オーストラリア	267	364	406	2.07	0.73
45	カラカス†	ベネズエラ	205	351	479	3.59	2.07
46	武漢	中 国	273	340	447	1.46	1.82
47	ラホール	パキスタン	197	340	593	3.64	3.71
48	カトヴィツェ	ポーランド	276	336	388	1.31	0.96
49	広州	中 国	250	333	449	1.91	1.99
50	サンフランシスコ	アメリカ合衆国	299	330	353	0.66	0.45

都市域は可能な限り広くとっているが、一部の国では行政的市域のデータによっている。

† 首都を含む都市域。UN, *Population of Urbanization*: 1988, (1989年)による。

XI

地域移動・地域分布

表11-3 世界の主要地域における都市人口割合：1950～2025年

(%)

地 域	1950年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2025年
世界 全 域	29.2	34.2	36.6	39.5	45.2	51.1	56.5	62.0	64.6
先 進 地 域	53.8	60.5	66.6	70.3	72.6	74.9	77.9	81.1	82.5
発 展 途 上 地 域	17.0	22.1	24.7	28.9	37.1	45.1	51.8	58.2	61.2
ア フ リ カ	14.5	18.3	22.9	27.8	33.9	40.7	47.4	53.9	57.1
ラ テ ン ア メ リ カ	41.5	49.3	57.3	65.0	71.5	76.4	79.9	82.9	84.2
北 部 ア メ リ カ	63.9	69.9	73.8	73.9	75.2	77.3	80.2	83.4	84.7
ア ジ ア	16.4	21.5	22.9	26.3	34.4	42.7	49.7	56.4	59.5
東 ア ジ ア	16.8	25.0	24.7	27.4	39.4	51.4	59.2	65.2	67.9
南 東 部 ア ジ ア	14.8	17.6	20.2	24.0	29.9	36.9	44.4	51.9	55.4
南 部 ア ジ ア	16.0	17.3	19.5	23.1	27.3	32.8	39.9	47.7	51.5
西 部 ア ジ ア	23.9	32.9	43.2	51.5	62.7	70.3	74.9	78.2	79.8
ヨ ー ロ ッ パ	56.5	61.1	66.7	70.4	73.4	76.7	80.1	83.1	84.4
オ セ ア ニ ア	61.3	66.3	70.7	71.2	70.6	71.3	73.3	75.9	77.2
ソ ビ エ ト 連 邦	39.3	48.8	56.7	63.0	65.8	67.5	71.2	75.8	77.8

UN, *World Population Prospects:1990* による。

表11-4 主要国の都市人口割合：1950～2025年

(%)

国	1950年	1970年	1990年	2000年	2025年	国	1950年	1970年	1990年	2000年	2025年
エチオピア	4.6	8.6	12.9	16.8	33.8	ネパール	2.3	3.9	9.6	14.3	30.6
エジプト	31.9	42.2	46.7	54.1	69.9	パキスタン	17.5	24.9	32.0	37.9	56.7
南アフリカ	43.1	47.9	59.5	65.8	77.9	スリランカ	14.4	21.9	21.4	24.2	42.6
ナイジェリア	10.1	20.0	35.2	43.3	61.6	イラク	35.1	56.2	71.3	75.3	83.9
キューバ	49.4	60.2	74.9	79.9	87.1	イスラエル	64.6	84.2	91.6	93.5	95.7
メキシコ	42.7	59.0	72.6	77.4	85.4	サウジアラビア	15.9	48.7	77.3	81.8	88.2
アルゼンチン	65.3	78.4	86.3	88.8	92.7	トルコ	21.3	38.4	61.3	74.0	85.0
ブラジル	36.0	55.8	74.9	80.6	87.7	ブルガリア	25.6	51.8	67.7	73.4	83.0
チリ	58.4	75.2	85.9	88.9	92.8	チェコスロバキア	37.4	55.2	77.5	83.3	89.4
ペルー	35.5	57.4	70.2	75.2	84.0	ハンガリー	36.8	45.6	61.3	68.1	79.6
カナダ	60.8	75.7	77.1	79.3	86.2	ポーランド	38.7	52.3	61.8	66.1	77.6
アメリカ合衆国	64.2	73.6	75.0	77.0	84.6	ルーマニア	27.7	41.8	52.7	58.0	72.3
中国	11.0	17.4	33.4	47.3	65.8	スウェーデン	65.8	81.1	84.0	85.6	90.5
ホンコン	88.5	89.6	94.1	95.7	97.3	イギリス	84.2	88.5	89.1	90.0	93.3
日本	50.3	71.2	77.0	77.7	80.1	ギリシャ	37.3	52.5	62.5	67.6	79.0
北朝鮮	31.1	53.3	59.8	63.1	75.2	イタリア	54.3	64.3	68.9	72.4	82.0
韓国	21.4	40.7	72.0	81.4	89.2	ポルトガル	19.2	25.9	33.6	39.6	58.2
カンボジア	10.2	11.7	11.6	14.5	30.2	スペイン	51.9	66.0	78.4	82.6	88.8
インドネシア	12.4	17.1	30.5	39.5	58.8	ユーゴスラビア	22.0	34.8	56.1	64.7	77.4
ラオス	7.2	9.6	18.6	25.1	44.5	オーストリア	49.1	51.7	58.4	63.1	75.9
マレーシア	20.4	27.0	43.0	51.2	67.7	ベルギー	91.5	94.3	96.9	97.7	98.5
ミャンマー(ビルマ)	16.1	22.8	24.8	28.4	47.3	フランス	56.2	71.0	74.3	76.7	84.7
フィリピン	27.1	33.0	42.6	48.8	65.4	西ドイツ	72.3	81.3	87.4	89.6	93.3
シンガポール	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	東ドイツ	70.8	73.7	77.2	79.4	86.4
タイ	10.5	13.3	22.6	29.4	49.2	オランダ	82.7	86.1	88.5	89.2	92.6
ベトナム	11.7	18.3	21.9	27.1	46.7	スイス	44.3	54.5	59.9	64.2	76.6
バングラデシュ	4.2	7.6	16.4	22.9	42.2	オーストラリア	75.2	85.2	85.5	86.4	90.9
インド	17.3	19.8	27.0	32.3	51.1	ニュージーランド	72.5	81.1	84.0	85.2	89.9
イラン	27.7	41.0	56.7	63.4	76.4	ソビエト連邦	39.3	56.7	65.8	67.5	77.8

UN, *World Population Prospects:1990* による国連の最新推計結果(日本も含めて)である。

表12-1 都道府県別にみた年齢（3区分）別人口とその割合：1989年

都道府県	人 口 (1,000人)				割 合 (%)			
	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総 数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
全 国	123,255	23,201	85,745	14,306	100.00	100.00	100.00	100.00
北 海 道	5,670	1,074	3,954	643	4.60	4.63	4.61	4.49
青 岩 森	1,502	300	1,023	179	1.22	1.29	1.19	1.25
宮 手 城	1,419	276	946	196	1.15	1.19	1.10	1.37
秋 宮 手	2,236	451	1,532	253	1.81	1.94	1.79	1.77
山 田 形	1,234	226	826	182	1.00	0.97	0.96	1.27
福 山 形	1,260	239	826	196	1.02	1.03	0.96	1.37
茨 城	2,099	430	1,387	283	1.70	1.85	1.62	1.98
茨 城 城	2,821	575	1,930	316	2.29	2.48	2.25	2.21
栃 木	1,915	388	1,302	225	1.55	1.67	1.52	1.57
群 馬	1,955	378	1,336	242	1.59	1.63	1.56	1.69
埼 玉	6,290	1,211	4,571	508	5.10	5.22	5.33	3.55
千 葉	5,471	1,060	3,927	484	4.44	4.57	4.58	3.38
東 京	11,885	1,845	8,811	1,229	9.64	7.95	10.28	8.59
神 奈 川	7,846	1,402	5,767	677	6.37	6.04	6.73	4.73
新 潟	2,481	474	1,647	360	2.01	2.04	1.92	2.52
富 山	1,121	203	757	162	0.91	0.87	0.88	1.13
石 川	1,161	228	777	157	0.94	0.98	0.91	1.10
福 井	823	160	546	117	0.67	0.69	0.64	0.82
山 梨	849	159	569	122	0.69	0.69	0.66	0.85
長 野	2,157	403	1,420	334	1.75	1.74	1.66	2.33
岐 阜	2,059	397	1,410	251	1.67	1.71	1.64	1.75
静 岡	3,652	711	2,516	425	2.96	3.06	2.93	2.97
愛 知	6,628	1,279	4,724	626	5.38	5.51	5.51	4.38
三 重	1,784	334	1,218	232	1.45	1.44	1.42	1.62
滋 賀	1,208	253	816	139	0.98	1.09	0.95	0.97
京 都	2,606	471	1,817	318	2.11	2.03	2.12	2.22
大 阪	8,747	1,584	6,352	811	7.10	6.83	7.41	5.67
兵 庫	5,380	1,012	3,751	617	4.36	4.36	4.37	4.31
奈 良	1,370	264	954	152	1.11	1.14	1.11	1.06
和 歌 山	1,081	197	726	158	0.88	0.85	0.85	1.10
鳥 取	618	121	401	96	0.50	0.52	0.47	0.67
島 根	789	148	503	137	0.64	0.64	0.59	0.96
岡 山	1,931	365	1,290	277	1.57	1.57	1.50	1.94
広 島	2,853	545	1,938	370	2.31	2.35	2.26	2.59
山 口	1,588	291	1,056	241	1.29	1.25	1.23	1.68
徳 島	834	154	556	124	0.68	0.66	0.65	0.87
香 川	1,027	191	683	153	0.83	0.82	0.80	1.07
愛 媛	1,525	290	1,008	227	1.24	1.25	1.18	1.59
高 知	832	149	546	137	0.68	0.64	0.64	0.96
福 岡	4,790	938	3,274	578	3.89	4.04	3.82	4.04
佐 賀	880	181	570	128	0.71	0.78	0.66	0.89
長 崎	1,577	324	1,033	220	1.28	1.40	1.20	1.54
熊 本	1,848	364	1,210	274	1.50	1.57	1.41	1.92
大 分	1,243	239	820	184	1.01	1.03	0.96	1.29
宮 崎	1,176	246	769	160	0.95	1.06	0.90	1.12
鹿 児 島	1,810	367	1,155	288	1.47	1.58	1.35	2.01
沖 縄	1,222	306	794	122	0.99	1.32	0.93	0.85

総務庁統計局「平成元年10月1日現在推計人口」（人口推計資料No.62, 1990.6）による。

表12-2 都道府県別人口の年齢構造に関する指標：1989年

(%)

都道府県	年齢構造係数				従属人口指数			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	総数	年少人口	老年人口	
全 国	18.82	69.57	11.61	4.66	43.74	27.06	16.68	61.66
北 海 道	18.94	69.74	11.34	4.29	43.42	27.16	16.26	59.87
青 森	19.97	68.11	11.92	4.59	46.82	29.33	17.50	59.67
岩 手	19.45	66.67	13.81	5.43	49.89	29.18	20.72	71.01
宮 城	20.17	68.52	11.31	4.34	45.95	29.44	16.51	56.10
秋 田	18.31	66.94	14.75	5.51	49.39	27.36	22.03	80.53
山 形	18.97	65.56	15.56	6.11	52.66	28.93	23.73	82.01
福 島	20.49	66.08	13.48	5.15	51.41	31.00	20.40	65.81
茨 城	20.38	68.42	11.20	4.36	46.17	29.79	16.37	54.96
栃 木	20.26	67.99	11.75	4.49	47.08	29.80	17.28	57.99
群 馬	19.34	68.34	12.38	4.91	46.41	28.29	18.11	64.02
埼 玉	19.25	72.67	8.08	3.02	37.61	26.49	11.11	41.95
千 葉	19.37	71.78	8.85	3.44	39.32	26.99	12.32	45.66
東 京	15.52	74.14	10.34	4.12	34.89	20.94	13.95	66.61
神 奈 川	17.87	73.50	8.63	3.30	36.05	24.31	11.74	48.29
新 潟	19.11	66.38	14.51	5.84	50.64	28.78	21.86	75.95
富 山	18.11	67.53	14.45	5.89	48.22	26.82	21.40	79.80
石 川	19.64	66.93	13.52	5.51	49.55	29.34	20.21	68.86
福 井	19.44	66.34	14.22	5.95	50.73	29.30	21.43	73.13
山 梨	18.73	67.02	14.37	5.89	49.38	27.94	21.44	76.73
長 岐	18.68	65.83	15.48	6.35	51.90	28.38	23.52	82.88
岐 阜	19.28	68.48	12.19	4.91	45.96	28.16	17.80	63.22
静 岡	19.47	68.89	11.64	4.71	45.15	28.26	16.89	59.77
愛 知	19.30	71.27	9.44	3.73	40.33	27.07	13.25	48.94
三 重	18.72	68.27	13.00	5.55	46.47	27.42	19.05	69.46
滋 賀	20.94	67.55	11.51	4.64	48.04	31.00	17.03	54.94
京 都	18.07	69.72	12.20	5.33	43.42	25.92	17.50	67.52
大 阪	18.11	62.62	9.27	3.65	37.70	24.94	12.77	51.20
兵 庫	18.81	69.72	11.47	4.72	43.43	26.98	16.45	60.97
奈 良	19.27	69.64	11.09	4.45	43.61	27.67	15.93	57.58
和 歌 山	18.22	67.16	14.62	6.11	48.90	27.13	21.76	80.20
鳥 取	19.58	64.89	15.53	6.47	54.11	30.17	23.94	79.34
島 根	18.76	63.75	17.36	7.22	56.66	29.42	27.24	92.57
岡 山	18.90	66.80	14.34	6.32	49.77	28.29	21.47	75.89
広 島	19.10	67.93	12.97	5.36	47.21	28.12	19.09	67.89
山 口	18.32	66.50	15.18	6.23	50.38	27.56	22.82	82.82
徳 島	18.47	66.67	14.87	6.24	50.00	27.70	22.30	80.52
香 川	18.60	66.50	14.90	6.43	50.37	27.96	22.40	80.10
愛 媛	19.02	66.10	14.89	6.30	51.29	28.77	22.52	78.28
高 知	17.91	65.63	16.47	7.09	52.38	27.29	25.09	91.95
福 岡	19.58	68.35	12.07	4.97	46.30	28.65	17.65	61.62
佐 賀	20.57	64.77	14.55	6.25	54.21	31.75	22.46	70.72
長 崎	20.55	65.50	13.95	5.64	52.66	31.36	21.30	67.90
熊 本	19.70	65.48	14.83	6.22	52.73	30.08	22.64	75.27
大 宮	19.23	65.97	14.80	6.11	51.59	29.15	22.44	76.99
宮 崎	20.92	65.39	13.61	5.44	52.80	31.99	20.81	65.04
鹿 児 島	20.28	63.81	15.91	6.52	56.71	31.77	24.94	78.47
沖 縄	25.04	64.98	9.98	4.34	53.90	38.54	15.37	39.87

総務庁統計局『平成元年10月1日現在推計人口』（人口推計資料NO.62, 1990.6）による。年齢構造係数は総人口に占める割合、従属人口指数は年少（0～14歳）人口および老年（65歳以上）人口の生産年齢（15～64歳）人口に対する比率、老年化指数は老年人口の年少人口に対する比率である。

表12-3 都道府県別にみた年齢(3区分)別人口割合:1960~85年

(%)

都道府県	1960年			1970年			1980年			1985年		
	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上	0~14歳	15~64歳	65歳以上
全 国	30.15	64.12	5.72	24.03	68.90	7.06	23.50	67.35	9.10	21.51	68.16	10.30
北海道	33.37	62.42	4.21	25.26	68.97	5.77	23.28	68.58	8.10	21.45	68.86	9.68
青 森	35.99	59.50	4.51	27.80	65.86	6.33	24.05	67.12	8.83	22.21	67.39	10.40
岩 手	34.64	60.10	5.26	26.41	66.27	7.33	22.93	66.98	10.08	21.47	66.64	11.89
宮 城	33.53	61.02	5.45	24.67	68.42	6.91	23.08	68.17	8.68	22.10	67.95	9.90
秋 田	34.29	61.10	4.61	24.43	68.27	7.29	20.95	68.54	10.51	19.97	67.42	12.61
山 形	32.00	62.21	5.79	23.49	67.98	8.53	20.98	67.31	11.71	20.28	66.28	13.44
福 島	35.14	58.94	5.92	26.11	65.94	7.95	22.94	66.61	10.45	22.15	65.93	11.92
茨 城	32.84	60.60	6.56	24.92	67.18	7.90	24.57	66.16	9.24	23.03	66.74	10.22
栃 木	33.70	60.07	6.23	24.62	67.69	7.68	24.17	66.46	9.34	22.82	66.66	10.52
群 馬	31.69	62.18	6.13	23.93	68.18	7.88	23.89	66.15	9.96	22.11	66.70	11.18
埼 玉	30.94	63.59	5.47	25.94	68.93	5.14	26.91	66.87	6.16	23.54	69.25	7.16
千 葉	30.36	63.26	6.38	25.12	68.62	6.27	25.87	67.07	6.97	23.15	68.91	7.91
東 京	23.22	72.98	3.80	21.04	73.78	5.18	20.60	71.51	7.70	17.97	73.02	8.93
神 奈 川	27.32	68.30	4.38	23.79	71.53	4.68	24.60	68.92	6.40	21.46	71.01	7.48
新 潟	32.71	61.03	6.26	24.29	67.65	8.06	22.52	66.31	11.15	21.12	66.08	12.80
富 山	29.82	64.11	6.07	22.30	69.62	8.08	22.65	66.16	11.18	20.92	66.23	12.84
石 川	30.21	63.06	6.73	23.48	68.36	8.15	23.76	65.67	10.50	22.05	66.06	11.87
福 井	30.68	62.08	7.23	23.92	67.07	9.01	22.85	65.61	11.53	21.54	65.64	12.82
山 梨	31.55	61.51	6.94	24.73	66.30	8.97	22.65	65.72	11.61	20.76	66.31	12.93
長 崎	28.86	63.95	7.20	22.97	67.64	9.39	22.49	65.37	12.15	20.90	65.46	13.65
岐 阜	29.79	63.57	6.64	24.27	67.87	7.85	24.02	66.29	9.69	22.12	67.01	10.86
静 岡	30.91	63.18	5.91	24.77	68.17	7.06	24.16	66.76	9.07	22.25	67.47	10.27
愛 知	27.26	67.53	5.21	24.31	69.97	5.71	25.00	67.54	7.43	22.41	69.06	8.48
三 重	28.79	64.01	7.20	23.36	67.69	8.96	22.88	66.03	11.09	21.28	66.65	12.07
滋 賀	28.76	63.69	7.55	23.09	68.00	8.91	24.61	65.36	10.02	23.39	65.81	10.78
京 都	25.61	68.05	6.34	21.51	70.58	7.91	22.79	66.99	10.20	20.82	67.95	11.20
阪 神	25.59	70.15	4.25	23.89	70.94	5.17	24.40	68.25	7.24	21.34	70.30	8.27
大 阪	27.88	66.42	5.70	23.50	69.56	6.94	23.86	66.77	9.23	21.77	67.86	10.33
兵 庫	27.29	66.00	6.72	22.88	69.15	7.97	24.10	66.51	9.32	22.11	67.73	10.12
奈 良	28.38	64.36	7.26	23.35	67.42	9.23	22.44	65.75	11.77	20.71	66.08	13.20
和 歌 山												
鳥 取	31.11	61.22	7.67	23.16	66.90	9.94	21.62	66.03	12.33	21.21	65.05	13.73
島 根	31.79	59.80	8.41	23.07	65.69	11.24	21.32	64.98	13.70	20.49	64.19	15.32
岡 山	28.74	63.71	7.54	22.55	67.71	9.74	22.67	65.38	11.93	21.35	65.62	13.02
広 島	28.87	64.04	7.09	22.94	68.82	8.24	23.63	66.15	10.19	21.82	66.68	11.47
山 口	30.61	62.60	6.79	23.05	67.87	9.08	22.33	66.04	11.60	20.85	65.90	13.25
徳 島	32.49	60.04	7.47	23.24	67.14	9.61	21.24	66.74	11.98	20.37	66.34	13.29
香 川	30.24	62.28	7.48	22.15	68.31	9.55	22.23	65.84	11.90	21.00	65.72	13.27
愛 媛	32.72	60.10	7.17	24.16	66.44	9.39	22.65	65.74	11.60	21.30	65.75	12.94
高 知	29.61	61.89	8.50	21.86	66.71	11.43	20.89	65.90	13.13	20.07	65.27	14.50
福 岡	31.38	63.43	5.19	23.42	69.31	7.26	23.05	67.49	9.37	21.79	67.60	10.58
佐 賀	34.45	59.21	6.35	25.60	65.13	9.27	23.18	64.99	11.83	22.29	64.72	12.99
長 崎	36.29	57.91	5.80	27.98	63.84	8.19	24.22	65.09	10.67	22.70	65.15	12.15
熊 本	33.92	59.24	6.85	25.26	65.32	9.41	22.06	66.19	11.73	21.17	65.66	13.16
大 分	32.68	60.20	7.12	24.20	66.29	9.51	22.49	65.76	11.74	21.32	65.58	13.10
宮 崎	35.78	58.26	5.96	26.47	65.08	8.45	23.77	65.74	10.48	22.98	65.04	11.97
鹿 児 島	36.59	56.22	7.19	27.12	62.79	10.09	22.39	64.90	12.71	21.61	64.22	14.16
沖 縄	41.62	52.91	5.45	34.84	58.56	6.59	29.41	62.73	7.76	27.35	63.96	8.65

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の人口。ただし、1960年の沖縄県人口は旧琉球政府が実施した12月1日現在国勢調査の結果。

表12-4 都道府県別にみた年齢（3区分）別人口の将来予測：1990～2000年

都道府県	1990年				1995年				2000年		
	総人口 (1,000人)	割合 (%)			総人口 (1,000人)	割合 (%)			割合 (%)		
		0～14歳	15～64歳	65歳以上		0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
全 国	124,225	18.62	69.45	11.93	127,565	17.55	68.33	14.12	17.98	65.75	16.26
北海道	5,731	18.83	69.46	11.72	5,779	17.65	68.06	14.29	17.86	65.28	16.87
青森	1,513	20.02	67.43	12.54	1,496	18.88	65.63	15.48	18.67	62.70	18.63
岩手	1,431	19.48	66.27	14.25	1,422	18.26	64.20	17.54	18.00	61.43	20.58
宮城	2,251	20.04	68.23	11.73	2,324	18.80	67.08	14.13	18.73	65.05	16.22
秋田	1,237	18.24	66.41	15.34	1,211	16.73	64.11	19.16	16.10	61.20	22.70
山形	1,259	18.81	65.22	15.96	1,248	17.66	63.09	19.25	17.38	60.82	21.80
福島	2,106	20.49	65.42	14.09	2,121	19.37	63.70	16.94	19.05	61.76	19.19
茨城	2,866	19.99	68.35	11.65	3,013	18.59	67.93	13.48	18.79	66.33	14.88
栃木	1,922	20.08	67.68	12.24	1,975	18.72	66.85	14.44	18.78	65.08	16.14
群馬	1,976	19.17	68.03	12.80	2,034	17.98	67.08	14.93	18.42	64.99	16.60
埼玉	6,273	18.94	72.65	8.41	6,746	17.47	72.41	10.12	18.45	69.33	12.22
千葉	5,530	19.01	71.82	9.17	5,970	17.50	71.54	10.97	18.17	68.79	13.04
東京	12,004	15.18	74.34	10.48	12,138	14.35	73.05	12.60	14.68	70.12	15.20
神奈川	7,931	17.61	73.55	8.84	8,507	16.57	72.72	10.71	17.60	69.58	12.83
新潟	2,479	19.06	65.97	14.97	2,472	17.84	64.46	17.70	17.89	62.18	19.93
富山	1,122	17.94	67.25	14.81	1,123	16.83	65.86	17.31	17.42	63.13	19.44
石川	1,175	18.86	67.63	13.51	1,199	17.63	66.89	15.48	18.23	64.69	17.08
福井	835	19.25	66.26	14.49	852	18.37	64.81	16.82	18.65	62.74	18.61
山梨	858	18.78	66.67	14.55	884	18.23	65.24	16.53	18.79	63.26	17.95
長野	2,171	18.49	65.74	15.77	2,206	17.42	64.27	18.31	17.86	62.14	20.00
岐阜	2,084	19.29	68.21	12.50	2,139	18.39	66.77	14.84	19.01	64.06	16.93
静岡	3,672	19.34	68.68	11.98	3,773	18.18	67.47	14.35	18.48	64.93	16.59
愛知	6,663	19.02	71.18	9.81	6,896	18.18	70.10	11.72	19.07	67.04	13.89
三重	1,795	18.66	67.87	13.47	1,844	17.79	66.36	15.84	18.24	63.87	17.88
滋賀	1,224	20.52	67.62	11.86	1,297	19.19	67.21	13.60	19.60	65.44	14.96
京都	2,630	17.73	69.84	12.43	2,671	16.50	69.22	14.28	16.98	66.72	16.30
大阪	8,817	17.71	72.67	9.62	8,981	16.70	71.68	11.62	17.31	68.58	14.12
兵庫	5,380	18.71	69.41	11.88	5,500	17.82	68.15	14.03	18.61	65.21	16.17
奈良	1,393	18.79	69.84	11.37	1,490	17.66	69.13	13.21	18.35	66.64	15.00
和歌山	1,079	18.19	66.63	15.18	1,072	17.50	64.61	17.89	18.02	61.70	20.28
鳥取	621	19.43	64.67	15.90	623	18.34	63.06	18.61	18.09	61.22	20.68
島根	796	18.65	63.67	17.68	794	17.64	61.73	20.62	17.58	59.37	23.05
岡山	1,949	18.78	66.62	14.60	1,980	17.99	65.12	16.89	18.54	62.54	18.92
広島	2,877	18.75	68.02	13.23	2,942	17.72	66.92	15.36	18.41	64.41	17.18
山口	1,601	18.31	66.21	15.49	1,597	17.30	64.43	18.26	17.65	61.55	20.79
徳島	838	18.56	66.20	15.24	837	17.72	64.12	18.16	17.70	61.70	20.60
香川	1,035	18.34	66.45	15.21	1,046	17.11	65.08	17.81	17.41	62.66	19.93
愛媛	1,539	18.84	66.08	15.08	1,544	17.73	64.40	17.87	17.85	62.01	20.14
高知	839	18.00	65.22	16.77	838	17.18	63.15	19.67	17.42	60.69	21.89
福岡	4,850	19.47	68.21	12.31	4,985	18.41	67.10	14.49	18.73	64.74	16.54
佐賀	889	20.83	64.38	14.79	895	20.00	62.82	17.17	19.96	60.89	19.15
長崎	1,583	20.68	65.00	14.32	1,569	19.69	63.29	17.02	19.48	61.11	19.41
熊本	1,872	19.73	65.10	15.17	1,900	18.90	63.34	17.76	18.69	61.27	20.04
大分	1,259	19.13	65.72	15.14	1,264	17.84	64.31	17.85	17.86	61.97	20.17
宮崎	1,184	20.88	65.13	13.99	1,187	19.36	63.80	16.83	18.96	61.64	19.40
鹿児島	1,840	20.38	63.46	16.16	1,854	19.68	61.64	18.69	19.38	59.90	20.72
沖縄	1,248	24.98	65.33	9.69	1,324	24.22	64.61	11.17	24.30	62.79	12.91

人口問題研究所『都道府県別将来推計人口—昭和60年～100年間毎5年—昭和62年1月推計』（研究資料第247号，1987.3）による各年10月1日現在の推計人口。特集の表26を参照。

表12-5 都道府県別にみた普通および標準化
出生率，死亡率：1989年

(%)

都道府県	普 通		標 準 化	
	出生率	死亡率	出生率	死亡率
全 国	10.18	6.44	10.12	6.40
北 海 道	9.76	6.37	9.74	6.36
青 森	10.37	7.28	10.35	7.26
岩 手	10.27	7.54	10.26	7.53
宮 城	10.81	6.00	10.79	5.99
秋 田	9.45	7.93	9.44	7.92
山 形	10.35	7.99	10.34	7.99
福 島	11.05	7.21	11.04	7.20
茨 城	10.38	6.33	10.35	6.32
栃 木	10.61	6.63	10.60	6.62
群 馬	10.32	6.71	10.30	6.69
埼 玉	10.10	4.71	10.08	4.70
千 葉	9.91	5.04	9.86	5.02
東 京	9.11	5.78	8.96	5.69
神 奈 川	10.13	4.72	10.09	4.70
新 潟	10.20	7.47	10.18	7.46
富 山	9.19	7.51	9.17	7.49
石 川	10.09	6.99	10.06	6.97
福 井	11.01	7.53	10.95	7.49
山 梨	10.39	7.47	10.36	7.45
長 崎	10.18	7.50	10.15	7.48
岐 阜	10.06	6.65	10.01	6.62
静 岡	10.45	6.25	10.43	6.23
愛 知	10.90	5.56	10.81	5.51
三 重	10.23	7.33	10.19	7.30
滋 賀	11.24	6.48	11.17	6.44
京 都	9.69	6.76	9.54	6.65
大 阪	10.31	5.92	10.11	5.81
兵 庫	10.11	6.80	9.98	6.71
奈 良	9.84	6.24	9.80	6.21
和 歌 山	9.64	8.29	9.59	8.24
鳥 取	10.39	8.03	10.36	8.01
島 根	9.86	8.78	9.84	8.76
岡 山	10.09	7.59	10.05	7.56
広 島	10.27	6.81	10.19	6.76
山 口	9.20	8.03	9.11	7.95
徳 島	9.71	8.28	9.70	8.28
香 川	9.58	7.90	9.57	7.89
愛 媛	9.97	7.72	9.95	7.71
高 知	9.16	8.61	9.15	8.60
福 岡	10.46	6.77	10.40	6.73
佐 賀	10.73	7.82	10.70	7.81
長 崎	10.97	7.71	10.95	7.69
熊 本	10.69	7.60	10.66	7.58
大 分	9.83	7.94	9.81	7.92
宮 崎	11.00	7.30	10.98	7.29
鹿 児 島	10.88	8.42	10.87	8.40
沖 縄	14.90	4.79	14.82	4.76

普通率は、厚生省統計情報部『人口動態統計』1989年に基づく。日本人人口1,000についての率。
標準化率は、1989年の全国の総人口を標準としている。

表12-6 都道府県別にみた合計特殊
出生率：1975～85年

都道府県	合 計 特 殊 出 生 率		
	1975年	1980年	1985年
全 国	1.93	1.74	1.73
北 海 道	1.82	1.63	1.61
青 森	2.00	1.85	1.80
岩 手	2.13	1.95	1.87
宮 城	1.96	1.86	1.79
秋 田	1.86	1.79	1.69
山 形	1.96	1.93	1.86
福 島	2.12	1.98	1.97
茨 城	2.09	1.87	1.85
栃 木	2.06	1.86	1.89
群 馬	1.99	1.81	1.84
埼 玉	2.06	1.73	1.71
千 葉	2.02	1.73	1.74
東 京	1.62	1.42	1.41
神 奈 川	1.93	1.69	1.67
新 潟	2.03	1.87	1.87
富 山	1.93	1.76	1.79
石 川	2.07	1.86	1.78
福 井	2.04	1.92	1.92
山 梨	1.98	1.76	1.84
長 崎	2.05	1.89	1.84
岐 阜	1.98	1.79	1.80
静 岡	2.02	1.79	1.84
愛 知	2.00	1.79	1.80
三 重	1.98	1.81	1.79
滋 賀	2.11	1.95	1.95
京 都	1.78	1.63	1.64
大 阪	1.86	1.64	1.65
兵 庫	1.93	1.73	1.72
奈 良	1.84	1.69	1.68
和 歌 山	1.94	1.79	1.78
鳥 取	2.02	1.93	1.93
島 根	2.09	2.00	2.00
岡 山	2.04	1.85	1.88
広 島	2.03	1.83	1.82
山 口	1.90	1.77	1.80
徳 島	1.89	1.76	1.80
香 川	1.96	1.82	1.80
愛 媛	1.97	1.79	1.77
高 知	1.91	1.64	1.80
福 岡	1.82	1.73	1.74
佐 賀	2.02	1.92	1.95
長 崎	2.12	1.86	1.87
熊 本	1.93	1.83	1.84
大 分	1.93	1.81	1.77
宮 崎	2.11	1.93	1.89
鹿 児 島	2.10	1.95	1.92
沖 縄	2.86	2.37	2.30

各年の厚生省統計情報部『人口動態統計』および総務庁統計局『国勢調査報告』に基づく算定。表5-8の注記参照。

表12-7 都道府県別にみた女子人口
の純再生産率：1975～85年

都道府県	1975年	1980年	1985年
全 国	0.922	0.836	0.837
北 海 道	0.863	0.778	0.781
青 森	0.942	0.882	0.864
岩 手	1.017	0.943	0.903
宮 城	0.927	0.891	0.858
秋 田	0.892	0.849	0.804
山 形	0.927	0.935	0.891
福 島	1.009	0.955	0.946
茨 城	0.994	0.897	0.895
栃 木	0.968	0.879	0.921
群 馬	0.950	0.859	0.884
埼 玉	0.976	0.828	0.826
千 葉	0.968	0.829	0.838
東 京	0.774	0.689	0.690
神 奈 川	0.928	0.816	0.811
新 潟	0.980	0.905	0.900
富 山	0.917	0.839	0.882
石 川	0.982	0.901	0.848
福 井	0.979	0.925	0.925
山 梨	0.944	0.851	0.891
長 野	0.979	0.906	0.887
岐 阜	0.954	0.856	0.875
静 岡	0.961	0.858	0.883
愛 知	0.967	0.865	0.875
三 重	0.946	0.876	0.869
滋 賀	1.007	0.928	0.938
京 都	0.866	0.798	0.795
大 阪	0.897	0.797	0.814
兵 庫	0.932	0.846	0.844
良 山	0.884	0.824	0.808
和 歌 山	0.916	0.869	0.851
鳥 取	0.965	0.928	0.915
島 根	1.013	0.976	0.972
岡 山	0.976	0.890	0.897
広 島	0.971	0.878	0.876
山 口	0.915	0.861	0.876
徳 島	0.908	0.838	0.879
香 川	0.918	0.866	0.861
愛 媛	0.934	0.847	0.867
高 知	0.914	0.787	0.874
福 岡	0.874	0.831	0.833
佐 賀	0.949	0.914	0.932
長 崎	1.006	0.899	0.902
熊 本	0.915	0.875	0.882
大 分	0.934	0.865	0.851
宮 崎	1.010	0.922	0.902
鹿 児 島	0.996	0.924	0.925
沖 縄	1.357	1.128	1.106

表12-8 都道府県別にみた性別出生時の平均
余命：1980, 85年

都道府県	1980年		1985年	
	男	女	男	女
全 国	73.57	79.00	74.95	80.75
北 海 道	72.96	78.58	74.50	80.42
青 森	71.41	78.39	73.05	79.90
岩 手	72.72	78.59	74.27	80.69
宮 城	73.40	78.85	75.11	80.69
秋 田	72.48	78.64	74.12	80.29
山 形	73.12	78.58	74.99	80.86
福 島	72.90	78.46	74.38	80.25
茨 城	72.78	78.35	74.35	79.97
栃 木	72.86	78.13	74.36	79.98
群 馬	73.72	78.46	75.11	80.39
埼 玉	73.79	78.68	75.20	80.65
千 葉	73.85	79.07	75.27	80.88
東 京	74.46	79.49	75.60	81.09
神 奈 川	74.52	79.55	75.59	81.22
新 潟	73.29	78.97	74.83	80.86
富 山	73.27	78.93	74.81	80.80
石 川	73.48	78.88	75.28	80.89
福 井	74.24	79.18	75.64	81.01
山 梨	73.26	79.21	75.02	80.94
長 野	74.50	79.44	75.91	81.13
岐 阜	74.13	78.47	75.53	80.31
静 岡	74.10	79.62	75.48	81.37
愛 知	74.08	78.73	75.44	80.51
三 重	73.83	79.07	74.87	80.61
滋 賀	73.61	78.64	75.34	80.63
京 都	74.20	79.19	75.39	80.68
大 阪	72.96	78.36	74.01	79.84
兵 庫	73.31	78.84	74.47	80.40
良 山	73.43	78.65	74.87	80.27
和 歌 山	72.79	78.47	74.19	80.13
鳥 取	73.02	79.45	74.40	81.11
島 根	73.38	79.42	75.30	81.60
岡 山	74.21	79.78	75.28	81.31
広 島	73.69	79.51	75.19	80.94
山 口	72.96	79.14	74.45	81.16
徳 島	72.54	78.48	74.35	80.56
香 川	74.28	79.64	75.61	81.28
愛 媛	73.16	79.43	74.75	81.01
高 知	72.20	78.98	74.04	80.97
福 岡	72.99	79.21	74.19	80.91
佐 賀	73.09	79.02	74.32	80.94
長 崎	72.41	78.67	74.09	80.81
熊 本	73.61	79.37	75.24	81.47
大 分	73.21	78.54	74.82	80.58
宮 崎	72.77	78.84	74.39	80.84
鹿 児 島	72.53	78.44	74.09	80.34
沖 縄	74.52	81.72	76.34	83.70

1975, 80, 85年の厚生省統計情報部『人口動態統計』による女子の年齢5歳階級別出生統計と簡速法によって作成した都道府県別生命表の生残数によって算定した暫定値。前掲表5-8の注記を参照。

厚生省統計情報部『地域別生命表』1980年および85年による。3年間の死亡統計(同部『人口動態統計』による)に基づいて算定している。

表12-9 都道府県別にみた人口動態の実数および率：1989年

(1) 実数

都道府県	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚
全 国	1,246,802	788,594	458,208	5,724	3,214	55,204	7,450	708,316	157,811
北海道	55,251	36,080	19,171	246	129	3,679	333	33,405	10,042
青森	15,544	10,901	4,643	105	69	748	136	7,858	2,202
岩手	14,548	10,683	3,865	55	31	765	94	7,143	1,438
宮城	24,118	13,398	10,720	109	64	1,289	147	12,017	2,415
秋田	11,647	9,776	1,871	52	35	521	59	5,886	1,290
山形	13,033	10,067	2,966	46	24	589	65	6,211	1,083
福島	23,174	15,109	8,065	140	72	1,136	167	10,872	2,223
茨城	29,214	17,822	11,392	145	81	1,160	185	15,281	2,932
栃木	20,289	12,678	7,611	87	48	883	114	10,694	2,187
群馬	20,138	13,087	7,051	94	56	773	142	10,697	2,344
埼玉	63,419	29,565	33,854	281	174	2,326	385	38,085	7,560
千葉	54,086	27,480	26,606	219	130	2,040	321	31,809	6,959
東京都	106,480	67,629	38,851	474	270	4,562	604	80,883	17,593
神奈川県	79,184	36,911	42,273	350	199	2,968	478	53,233	10,636
新潟	25,264	18,503	6,761	103	53	890	137	11,987	2,054
富山	10,286	8,403	1,883	63	43	393	66	5,514	1,021
石川	11,684	8,091	3,593	34	15	456	47	6,035	1,275
福井	9,015	6,168	2,847	40	19	357	50	4,350	826
山梨	8,801	6,330	2,471	32	17	363	43	4,759	903
長野	21,898	16,124	5,774	98	55	778	130	11,150	2,088
岐阜	20,616	13,624	6,992	89	47	753	110	10,516	1,957
静岡県	38,075	22,769	15,306	144	73	1,503	203	20,435	4,302
愛知県	71,648	36,550	35,098	339	187	2,860	407	41,011	7,817
三重	18,182	13,029	5,153	97	56	718	105	9,522	1,812
滋賀	13,494	7,778	5,716	71	36	465	78	6,833	1,093
京都	24,855	17,327	7,528	99	49	1,015	151	14,026	3,021
大阪	88,468	50,812	37,656	408	236	4,334	500	55,872	13,808
兵庫県	53,689	36,075	17,614	257	145	2,190	330	30,626	6,795
奈良	13,421	8,510	4,911	64	31	532	79	7,494	1,500
和歌山	10,371	8,913	1,458	55	34	439	77	5,551	1,405
鳥取	6,400	4,950	1,450	30	12	279	39	3,018	684
島根	7,759	6,907	852	30	18	301	52	3,438	661
岡山	19,404	14,594	4,810	83	49	877	113	9,881	2,298
広島	29,075	19,293	9,782	124	63	1,170	152	15,590	3,374
山口	14,459	12,616	1,843	69	49	707	109	7,646	1,925
徳島	8,091	6,904	1,187	44	22	324	52	4,249	942
香川	9,827	8,098	1,729	51	27	387	57	5,131	1,170
愛媛	15,183	11,753	3,430	70	39	714	100	7,887	2,022
高知	7,618	7,159	459	48	29	394	58	4,051	1,362
福岡	49,835	32,247	17,588	235	123	2,659	274	26,993	7,547
佐賀	9,416	6,867	2,549	50	28	457	69	4,327	879
長崎	17,256	12,126	5,130	72	37	1,045	97	8,049	2,005
熊本	19,702	14,008	5,694	97	54	1,091	118	9,484	2,248
大分	12,189	9,837	2,352	49	28	697	71	6,062	1,646
宮崎	12,914	8,572	4,342	69	44	793	90	6,193	1,787
鹿児島	19,671	15,213	4,458	94	55	1,128	132	9,003	2,303
沖縄	18,111	5,818	12,293	102	50	672	112	7,559	2,377

厚生省統計情報部『人口動態統計』による。乳児死亡は生後1年未満の死亡、新生児死亡は生後4週未満の死亡、死産は妊娠第4月以後の死児の出産、周産期死亡は後期死産（妊娠第8月以後の死児の出産）と早期新生児死亡（生後1週未満の死亡）を合わせたもの。都道府県の分類は、出生・死亡・死産については住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。なお、全国に地域不詳（死亡1,440、乳児死亡11、新生児死亡9、死産24、周産期死亡12）を含む。

表12-9 都道府県別にみた人口動態の実数および率：1989年（つづき）

(2) 率

(%)

都道府県	出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚
全 国	10.2	6.4	3.7	4.6	2.6	42.4	6.0	5.8	1.3
北 海 道	9.8	6.4	3.4	4.5	2.3	62.4	6.0	5.9	1.8
青 森	10.4	7.3	3.1	6.8	4.4	45.9	8.7	5.2	1.5
岩 手	10.3	7.5	2.7	3.8	2.1	50.0	6.5	5.0	1.0
宮 城	10.8	6.0	4.8	4.5	2.7	50.7	6.1	5.4	1.1
秋 田	9.4	7.9	1.5	4.5	3.0	42.8	5.1	4.8	1.0
山 形	10.3	8.0	2.4	3.5	1.8	43.2	5.0	4.9	0.9
福 島	11.1	7.2	3.8	6.0	3.1	46.7	7.2	5.2	1.1
茨 城	10.4	6.3	4.0	5.0	2.8	38.2	6.3	5.4	1.0
栃 木	10.6	6.6	4.0	4.3	2.4	41.7	5.6	5.6	1.1
群 馬	10.3	6.7	3.6	4.7	2.8	37.0	7.1	5.5	1.2
埼 玉	10.1	4.7	5.4	4.4	2.7	35.4	6.1	6.1	1.2
千 葉	9.9	5.0	4.9	4.0	2.4	36.3	5.9	5.8	1.3
東 京	9.1	5.8	3.3	4.5	2.5	41.1	5.7	6.9	1.5
神 奈 川	10.1	4.7	5.4	4.4	2.5	36.1	6.0	6.8	1.4
新 潟	10.2	7.5	2.7	4.1	2.1	34.0	5.4	4.8	0.8
富 山	9.2	7.5	1.7	6.1	4.2	36.8	6.4	4.9	0.9
石 川	10.1	7.0	3.1	2.9	1.3	37.6	4.0	5.2	1.1
福 井	11.0	7.5	3.5	4.4	2.1	38.1	5.5	5.3	1.0
山 梨	10.4	7.5	2.9	3.6	1.9	39.6	4.9	5.6	1.1
長 野	10.2	7.5	2.7	4.5	2.5	34.3	5.9	5.2	1.0
岐 阜	10.1	6.6	3.4	4.3	2.3	35.2	5.3	5.1	1.0
静 岡	10.5	6.2	4.2	3.8	1.9	38.0	5.3	5.6	1.2
愛 知	10.9	5.6	5.3	4.7	2.6	38.4	5.7	6.2	1.2
三 重	10.2	7.3	2.9	5.3	3.1	38.0	5.8	5.4	1.0
滋 賀	11.2	6.5	4.8	5.3	2.7	33.3	5.8	5.7	0.9
京 都	9.7	6.8	2.9	4.0	2.0	39.2	6.1	5.5	1.2
大 阪	10.3	5.9	4.4	4.6	2.7	46.7	5.7	6.5	1.6
兵 庫	10.1	6.8	3.3	4.8	2.7	39.2	6.1	5.8	1.3
奈 良	9.8	6.2	3.6	4.8	2.3	38.1	5.9	5.5	1.1
和 歌 山	9.6	8.3	1.4	5.3	3.3	40.6	7.4	5.2	1.3
鳥 取	10.4	8.0	2.4	4.7	1.9	41.8	6.1	4.9	1.1
島 根	9.9	8.8	1.1	3.9	2.3	37.3	6.7	4.4	0.8
岡 山	10.1	7.6	2.5	4.3	2.5	43.2	5.8	5.1	1.2
広 島	10.3	6.8	3.5	4.3	2.2	38.7	5.2	5.5	1.2
山 口	9.2	8.0	1.2	4.8	3.4	46.6	7.5	4.9	1.2
徳 島	9.7	8.3	1.4	5.4	2.7	38.5	6.4	5.1	1.1
香 川	9.6	7.9	1.7	5.2	2.7	37.9	5.8	5.0	1.1
愛 媛	10.0	7.7	2.3	4.6	2.6	44.9	6.6	5.2	1.3
高 知	9.2	8.6	0.6	6.3	3.8	49.2	7.6	4.9	1.6
福 岡	10.5	6.8	3.7	4.7	2.5	50.7	5.5	5.7	1.6
佐 賀	10.7	7.8	2.9	5.3	3.0	46.3	7.3	4.9	1.0
長 崎	11.0	7.7	3.3	4.2	2.1	57.1	5.6	5.1	1.3
熊 本	10.7	7.6	3.1	4.9	2.7	52.5	6.0	5.1	1.2
大 宮	9.8	7.9	1.9	4.0	2.3	54.1	5.8	4.9	1.3
宮 崎	11.0	7.3	3.7	5.3	3.4	57.9	7.0	5.3	1.5
鹿 児 島	10.9	8.4	2.5	4.8	2.8	54.2	6.7	5.0	1.3
沖 縄	14.9	4.8	10.1	5.6	2.8	35.8	6.2	6.2	2.0

死産率は出産(出生+死産)1,000について、乳児死亡、新生児死亡および周産期死亡率は出生1,000について、その他の率は人口1,000について。人口1,000対の率算出の基礎人口は、1989年10月1日現在の日本人口(総務庁統計局推計)による。

表12-10 都道府県別、女子の年齢(5歳階級)別出生率と合計特殊出生率：1989年

都道府県	女子の年齢別出生率(%)								合計特殊出生率	
	総数 ¹⁾	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	1989年	1988年
全 国	39.68	3.52	47.00	144.79	90.94	19.45	2.37	0.06	1.54	1.62
北海道	37.11	4.08	48.40	125.02	82.76	18.97	2.29	0.05	1.41	1.50
青森	41.56	3.47	60.16	142.10	84.96	16.75	2.14	0.06	1.55	1.63
岩手	44.22	3.78	66.50	157.30	93.29	20.22	2.62	—	1.72	1.79
宮城	43.53	3.29	51.42	148.30	91.83	19.73	2.58	0.09	1.59	1.64
秋田	41.16	2.75	58.76	160.73	83.67	14.00	1.74	—	1.61	1.63
山形	46.71	2.15	58.55	176.44	94.80	17.13	1.93	0.08	1.76	1.86
福島	47.78	3.79	65.10	163.52	94.37	19.23	2.39	0.05	1.74	1.88
茨城	41.26	4.18	54.24	156.78	91.04	17.96	2.11	0.04	1.63	1.72
栃木	42.99	3.60	58.07	162.49	93.41	17.90	2.00	0.05	1.69	1.78
群馬	41.52	4.25	53.77	154.71	97.54	20.13	2.37	0.06	1.66	1.74
埼玉	36.74	3.67	42.18	138.48	100.41	21.53	2.39	0.07	1.54	1.63
千代田	36.82	3.55	41.18	137.15	96.99	21.15	2.45	0.09	1.51	1.61
東京都	33.53	2.56	28.74	99.86	87.53	25.08	3.32	0.06	1.24	1.31
神奈川県	37.67	3.06	35.62	135.10	101.73	23.68	2.59	0.05	1.51	1.62
新潟	44.17	2.47	54.81	171.21	99.79	18.72	1.91	0.04	1.74	1.79
富山	37.54	2.68	58.58	168.71	75.70	11.20	0.98	—	1.59	1.71
石川	41.29	2.56	65.71	173.47	77.81	9.31	2.26	0.06	1.66	1.74
福井	46.71	2.55	60.14	200.98	86.97	13.83	1.65	0.07	1.83	1.83
山梨	43.57	2.75	46.59	151.19	107.50	20.68	2.77	0.07	1.66	1.72
長野	43.97	1.66	42.08	168.13	110.03	22.28	1.91	0.08	1.73	1.79
岐阜	39.27	2.26	47.90	169.53	81.46	12.69	1.67	0.06	1.58	1.69
静岡県	41.48	3.31	52.54	160.70	92.94	17.54	1.96	0.04	1.65	1.75
愛知県	40.62	3.74	50.07	160.55	83.08	15.76	1.88	0.06	1.58	1.68
三重	41.14	3.72	57.68	167.00	79.13	13.22	1.71	0.04	1.61	1.70
滋賀	44.53	3.35	50.32	185.30	90.69	17.07	1.76	0.07	1.74	1.85
京都	36.77	3.02	36.05	138.01	93.64	19.67	2.50	0.07	1.46	1.54
大阪	37.00	4.43	45.48	134.97	86.14	18.63	2.38	0.05	1.46	1.54
兵庫県	38.35	3.70	44.12	143.21	89.45	18.26	2.13	0.04	1.50	1.60
奈良	36.77	3.67	39.13	150.28	87.81	16.35	1.71	—	1.49	1.58
和歌山	39.28	3.86	62.03	151.67	77.75	14.73	1.86	—	1.56	1.66
鳥取	46.04	3.10	64.93	180.12	92.65	17.52	1.87	—	1.80	1.89
島根	45.91	2.59	68.82	181.90	100.43	18.44	2.48	0.04	1.87	1.92
岡山	41.29	4.00	59.93	171.04	82.90	14.78	1.65	0.07	1.67	1.75
広島	40.66	3.97	56.27	162.74	85.93	15.32	2.08	0.05	1.63	1.70
山口	38.25	4.07	58.30	151.55	85.41	15.52	1.86	0.05	1.58	1.64
徳島	40.66	3.31	61.24	154.44	77.26	14.22	1.88	0.07	1.56	1.69
香川	39.95	4.24	62.87	161.17	78.88	13.37	1.70	0.03	1.61	1.73
愛媛	41.37	3.78	63.36	153.91	83.97	14.55	1.90	0.02	1.61	1.67
高知	39.27	4.37	62.24	145.13	84.81	17.83	2.91	0.10	1.59	1.65
福岡	40.45	4.30	46.11	139.98	92.92	21.27	2.80	0.07	1.54	1.59
佐賀	45.27	3.59	57.69	156.89	96.97	20.61	2.25	0.03	1.69	1.80
長崎	45.17	3.48	53.74	154.37	99.80	23.47	2.83	0.13	1.69	1.76
熊本	45.08	3.41	58.86	159.28	90.83	19.30	2.25	0.05	1.67	1.73
大分	41.18	2.78	59.03	162.86	86.35	16.85	2.14	0.02	1.65	1.68
宮崎	45.96	3.19	63.93	173.09	93.49	18.15	2.47	0.10	1.77	1.79
鹿児島	47.86	2.69	53.57	161.40	96.62	21.45	2.73	0.04	1.69	1.79
沖縄	60.17	9.35	74.17	150.48	114.11	47.35	8.33	0.23	2.02	2.10

厚生省統計情報部『人口動態統計』および総務庁統計局『人口推計資料』の1989年分に基づく算定。なお、年齢別出生率は各年齢階級の女子人口(日本に在住する外国人を含む総人口)1,000について、合計特殊出生率は年齢5歳階級別出生率の合計の5倍として算出。前掲の表5-8の注記を参照。1)総出生率(15～49歳女子人口についての出生率)。

表12-11 都道府県別にみた男子30～34歳，女子25～29歳未婚者割合：1970～85年 (%)

都道府県	男 子 30～34歳				女 子 25～29歳			
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1975年	1980年	1985年
全 国	11.7	14.3	21.5	28.1	18.1	20.9	24.0	30.6
北 海 道	9.0	10.7	16.5	22.8	16.0	20.8	24.5	31.8
青 森	7.0	9.7	16.5	25.3	12.8	16.3	19.1	26.5
岩 手	8.3	11.2	18.9	27.8	14.8	19.3	21.5	28.7
宮 城	9.0	11.7	18.0	26.0	16.0	19.2	22.0	29.0
秋 田	7.2	10.0	16.0	24.5	12.5	16.3	19.0	26.4
山 形	7.2	10.7	17.9	26.0	14.5	17.3	19.2	26.5
福 島	9.4	12.0	18.9	26.1	17.0	19.9	22.6	27.8
茨 城	11.6	13.5	19.9	27.7	14.5	16.9	20.3	26.6
栃 木	10.8	12.9	20.0	27.4	17.5	18.8	21.5	27.3
群 馬	11.4	14.2	21.1	28.2	21.0	22.3	24.9	30.4
群 馬	10.7	13.7	22.2	29.7	14.7	16.7	21.7	29.7
埼 玉	11.7	14.1	21.3	28.7	14.5	16.8	21.1	28.9
千 葉	20.5	25.7	34.4	40.1	27.9	32.0	36.6	43.4
京 都	14.7	18.2	26.2	33.3	17.4	20.4	24.2	31.5
新 潟	8.3	11.2	19.2	27.2	15.6	18.4	21.6	28.2
富 山	5.3	6.9	14.8	23.0	9.8	12.2	14.0	20.9
石 川	5.7	7.0	14.0	21.5	10.6	12.5	14.2	21.1
福 井	6.0	6.9	14.1	21.6	9.9	12.4	13.3	19.1
山 梨	14.6	16.7	23.7	30.7	22.4	24.4	28.8	33.8
長 野	10.7	13.1	20.6	28.6	22.5	23.5	26.3	33.9
岐 阜	7.0	8.6	15.3	21.8	12.6	14.8	17.0	23.5
静 岡	10.5	13.4	21.1	27.9	14.6	17.2	21.0	28.0
愛 知	9.6	12.2	20.0	26.4	12.9	15.0	17.3	23.8
三 重	8.0	9.7	16.4	22.1	13.0	14.9	16.8	22.8
滋 賀	9.2	9.9	16.9	23.8	14.4	15.6	17.4	22.9
京 都	13.0	14.3	22.8	28.4	21.3	24.1	26.2	32.8
大 阪	12.7	15.1	23.4	28.9	18.3	21.5	25.3	31.8
兵 庫	11.6	13.7	20.8	26.6	17.6	20.6	23.0	30.2
奈 良	8.7	9.8	15.4	21.7	14.6	18.3	22.0	28.3
和 歌 山	12.4	12.9	19.2	23.9	15.8	19.0	21.3	27.1
鳥 取	7.0	9.1	16.2	23.3	15.1	18.0	20.6	26.4
島 根	8.9	10.3	18.4	26.6	17.3	20.0	20.4	27.0
岡 山	7.5	9.1	15.6	21.6	12.7	15.0	17.7	23.8
広 島	8.8	10.5	17.5	24.0	14.5	16.1	19.0	25.7
山 口	10.0	11.1	17.6	24.3	16.7	20.2	21.5	27.2
徳 島	8.4	10.0	16.7	23.1	14.4	18.5	20.0	24.7
香 川	7.1	9.0	15.7	22.0	13.9	16.7	17.6	23.0
愛 媛	8.2	10.1	17.0	23.6	17.7	20.9	23.0	29.1
高 知	11.5	15.0	22.6	29.1	18.3	22.4	25.6	32.7
福 岡	10.4	12.1	19.2	25.5	22.8	26.9	28.8	34.1
佐 賀	8.3	9.6	16.2	23.6	21.1	24.7	26.9	32.7
長 崎	9.9	11.7	18.3	25.1	21.2	25.4	28.7	34.3
熊 本	8.9	10.9	16.8	24.1	21.0	24.4	26.9	31.5
大 分	7.2	8.8	14.3	21.8	18.8	20.6	22.8	29.6
宮 崎	7.3	9.8	15.9	22.3	18.3	21.2	23.4	29.5
鹿 児 島	10.9	12.6	19.0	26.2	22.5	24.8	26.7	32.0
沖 縄	22.1	22.8	28.9	34.0	28.7	30.3	31.2	33.2

総務庁統計局「国勢調査報告」による。

表12-12 都道府県別にみた普通世帯数および平均世帯人員：1960～85年

都道府県	普通世帯数				平均世帯人員（1世帯当たり）			
	1960年	1970年	1980年	1985年	1960年	1970年	1980年	1985年
全 国	19,871,286	27,071,166	34,105,958	36,478,289	4.54	3.69	3.33	3.23
北 海 道	1,015,865	1,358,996	1,739,574	1,848,201	4.69	3.62	3.08	2.96
青 岩 宮 城 手	266,162	335,405	412,036	430,717	5.22	4.12	3.60	3.44
山 田 形	268,181	320,586	380,807	397,384	5.26	4.15	3.64	3.51
福 島	326,044	429,469	570,069	616,865	5.19	4.08	3.56	3.45
	250,926	290,385	331,552	341,634	5.21	4.17	3.71	3.59
	248,954	278,426	314,579	323,689	5.20	4.30	3.91	3.83
	384,825	447,579	530,008	558,283	5.21	4.24	3.76	3.65
茨 木	398,106	500,576	664,457	730,383	5.03	4.16	3.76	3.65
栃 馬	294,542	370,267	469,488	503,675	5.03	4.15	3.74	3.63
群 木	314,868	398,609	497,152	536,355	4.91	4.06	3.64	3.51
埼 玉	481,489	973,127	1,513,494	1,685,243	4.91	3.83	3.51	3.41
千 葉	469,791	853,318	1,339,745	1,498,725	4.77	3.77	3.45	3.36
東 京	2,243,783	3,371,570	4,013,022	4,262,979	3.96	3.15	2.78	2.68
神 奈 川	763,255	1,476,803	2,083,455	2,306,415	4.27	3.46	3.21	3.11
新 潟	466,062	542,289	635,247	661,780	5.12	4.24	3.79	3.68
富 山	209,064	244,339	281,083	291,894	4.79	4.11	3.85	3.75
石 川	201,271	242,583	305,745	325,111	4.64	3.96	3.56	3.45
福 井	160,169	179,384	205,672	214,844	4.56	4.03	3.78	3.71
山 梨	159,872	188,149	222,754	238,571	4.76	3.96	3.54	3.42
長 野	416,381	484,970	568,303	598,305	4.62	3.91	3.59	3.49
岐 阜	335,275	421,640	514,393	545,267	4.65	4.00	3.73	3.64
静 岡	537,107	737,446	924,542	988,553	4.91	4.03	3.64	3.53
愛 知	855,450	1,336,530	1,730,815	1,848,091	4.54	3.77	3.48	3.39
三 重	318,258	384,009	457,872	488,948	4.50	3.87	3.60	3.49
滋 賀	179,148	210,564	278,057	301,989	4.54	4.05	3.79	3.73
京 都	437,860	587,477	771,412	822,275	4.32	3.60	3.16	3.06
大 阪	1,239,649	2,110,946	2,604,953	2,766,487	4.14	3.40	3.16	3.05
兵 庫	873,022	1,233,225	1,506,238	1,597,540	4.27	3.60	3.33	3.23
奈 良	163,489	228,461	324,765	360,041	4.58	3.90	3.62	3.53
和 歌 山	232,521	279,918	317,366	326,661	4.20	3.61	3.35	3.26
鳥 取	122,946	140,900	164,021	170,304	4.76	3.93	3.60	3.55
島 根	185,409	195,522	217,553	224,901	4.67	3.83	3.51	3.44
岡 山	361,985	439,799	533,814	564,052	4.45	3.71	3.40	3.31
広 島	504,377	669,574	831,678	883,503	4.17	3.46	3.19	3.10
山 口	358,434	410,805	479,114	503,670	4.33	3.56	3.22	3.09
徳 島	178,792	201,410	234,040	244,067	4.63	3.81	3.43	3.33
香 川	201,986	238,010	284,774	299,294	4.45	3.71	3.42	3.33
愛 媛	330,487	382,956	455,052	480,144	4.43	3.59	3.23	3.11
高 知	203,485	230,663	266,315	276,084	4.09	3.30	3.01	2.94
福 岡	844,022	1,050,985	1,364,001	1,466,962	4.57	3.67	3.23	3.12
佐 賀	185,343	195,020	224,783	235,480	4.99	4.19	3.75	3.64
長 崎	364,012	390,861	450,940	473,036	4.68	3.88	3.41	3.26
熊 本	374,102	420,039	502,823	535,492	4.83	3.90	3.44	3.32
大 分	257,499	297,748	363,238	383,818	4.68	3.73	3.28	3.16
宮 崎	240,249	277,472	345,847	366,232	4.57	3.65	3.23	3.12
鹿 児 島	453,730	497,546	586,863	624,466	4.23	3.37	2.94	2.82
沖 縄	193,023	214,810	292,447	329,879	4.47	4.32	3.71	3.51

総務庁統計局『国勢調査報告 日本的人口』1980年、第57表による各年10月1日現在の世帯数。1985年は『国勢調査報告』第2巻 第1次基本集計結果その1全国編1985年、第9表による。ただし、1960年の沖縄は12月1日現在の調査結果（旧琉球政府による）。ここに示した世帯数は、普通世帯である。前掲の表8-1や表8-3に注記したように1980年調査において世帯の定義が変更になったので比較の際は注意を要する。1960年の長野県、岐阜県の境界紛争地域の16世帯はいずれにも含まれていないが、全国に含まれている。

表12-13 都道府県別にみた総世帯数および平均世帯人員：1985～90年

都道府県	総世帯数 (1,000世帯)		増加率(%) ¹⁾		平均世帯人員			(参考) 人口増減率 ¹⁾ (%, -は減少) 1985～90年
	1990年	1985年	1985～90年	1980～85年	1990年	1985年	1985～90年の差	
全 国	41,016	38,133	7.6	5.9	3.01	3.17	-0.16	2.1
北 海 道	2,031	1,930	5.2	4.7	2.78	2.94	-0.16	-0.6
青 森	455	444	2.5	3.6	3.26	3.43	-0.17	-2.7
岩 手	428	413	3.6	3.8	3.31	3.47	-0.16	-1.2
宮 城	700	642	9.0	7.0	3.21	3.39	-0.18	3.3
秋 田	359	351	2.2	2.2	3.42	3.57	-0.15	-2.1
山 形	342	331	3.1	2.4	3.68	3.81	-0.13	-0.3
福 島	607	575	5.5	4.5	3.47	3.62	-0.15	1.1
茨 城	833	758	9.9	9.4	3.41	3.59	-0.18	4.4
栃 木	573	522	9.9	6.4	3.38	3.58	-0.20	3.7
群 馬	603	556	8.4	7.7	3.26	3.45	-0.19	2.3
埼 玉	2,044	1,751	16.7	10.5	3.13	3.35	-0.22	9.2
千 葉	1,813	1,573	15.3	10.8	3.06	3.27	-0.21	7.9
東 京	4,778	4,511	5.9	4.4	2.48	2.62	-0.14	0.2
神 奈 川	2,847	2,492	14.2	10.3	2.80	2.98	-0.18	7.4
新 潟	708	681	4.0	3.4	3.50	3.64	-0.14	-0.2
富 山	315	301	4.7	3.1	3.56	3.72	-0.16	0.2
石 川	361	338	6.8	5.0	3.23	3.41	-0.18	1.1
福 井	234	224	4.4	5.4	3.52	3.65	-0.13	0.7
山 梨	263	245	7.6	7.4	3.24	3.40	-0.16	2.4
長 岐	657	622	5.7	5.2	3.28	3.44	-0.16	0.9
静 岡	603	568	6.2	5.2	3.43	3.57	-0.14	1.9
愛 知	1,117	1,033	8.1	6.5	3.29	3.46	-0.17	2.7
三 重	2,173	1,985	9.5	5.7	3.08	3.25	-0.17	3.6
滋 賀	546	508	7.4	6.3	3.28	3.44	-0.16	2.6
京 都	352	320	10.0	8.8	3.47	3.61	-0.14	5.8
大 阪	901	860	4.8	3.9	2.89	3.01	-0.12	0.6
兵 庫	3,090	2,905	6.4	4.7	2.83	2.98	-0.15	0.8
奈 良	1,791	1,666	7.5	4.7	3.02	3.17	-0.15	2.4
和 歌 山	413	375	10.1	10.3	3.33	3.48	-0.15	5.4
鳥 取	345	334	3.4	2.0	3.11	3.26	-0.15	-1.2
島 根	180	173	3.8	2.8	3.43	3.56	-0.13	-0.0
岡 山	236	233	1.2	2.9	3.31	3.41	-0.10	-1.7
広 島	609	583	4.5	3.9	3.16	3.29	-0.13	0.5
山 口	981	922	6.4	5.1	2.91	3.06	-0.15	1.1
徳 島	537	519	3.4	4.1	2.93	3.09	-0.16	-1.8
香 川	260	248	4.4	3.4	3.20	3.36	-0.16	-0.4
愛 媛	323	307	5.2	4.4	3.17	3.33	-0.16	0.1
高 知	513	493	4.1	4.7	2.95	3.11	-0.16	-1.0
福 岡	292	283	2.9	2.8	2.33	2.96	-0.13	-1.8
長 崎	1,639	1,523	7.6	6.3	2.94	3.10	-0.16	1.9
熊 本	251	243	3.5	4.1	3.49	3.63	-0.14	-0.2
大 分	503	489	2.8	3.9	3.11	3.26	-0.15	-1.9
宮 崎	578	554	4.4	5.4	3.18	3.32	-0.14	0.1
鹿 児 島	412	396	4.0	4.4	3.00	3.16	-0.16	-1.1
那 覇	393	376	4.4	4.8	2.98	3.13	-0.15	-0.6
糸 織	659	641	2.9	5.5	2.73	2.84	-0.11	-1.2
沖 縄	368	335	10.0	12.0	3.32	3.52	-0.20	3.7

1)期末時の境域による。

総務庁統計局『平成2年国勢調査速報 全国都道府県市区町村別人口(要計表による人口)』1990年12月による。

総世帯は一般世帯と施設世帯(あるいは普通世帯と準世帯)に世帯の種類不詳を加えたもの。

表12-14 都道府県別にみた世帯の種類別世帯数，世帯人員総数および平均世帯人員：1985年

都道府県	一般世帯			施設等 の世帯 人員	普通世帯			準世帯 の人員
	世帯数	世帯人員 総数	平均世 帯人員		世帯数	世帯人員 総数	平均世 帯人員	
全国	37,979,984	119,333,780	3.14	1,673,797	36,478,289	117,832,085	3.23	3,175,492
北海道	1,915,016	5,542,845	2.89	135,330	1,848,201	5,476,030	2.96	202,145
青森	442,096	1,495,169	3.38	29,261	430,717	1,483,790	3.44	40,640
岩手	411,675	1,409,884	3.42	23,727	397,384	1,395,593	3.51	38,018
宮城	639,197	2,148,255	3.36	26,921	616,865	2,125,923	3.45	49,253
秋田	349,876	1,234,913	3.53	19,048	341,634	1,226,671	3.59	27,290
山形	330,211	1,245,903	3.77	15,694	323,689	1,239,381	3.83	22,216
福島	573,668	2,054,505	3.58	25,765	558,283	2,039,120	3.65	41,150
茨城	756,629	2,693,031	3.56	31,681	730,383	2,666,785	3.65	57,927
栃木	520,536	1,845,121	3.54	20,875	503,675	1,828,260	3.63	37,736
群馬	555,087	1,900,737	3.42	20,498	536,355	1,882,005	3.51	39,230
埼玉	1,745,952	5,809,938	3.33	50,914	1,685,243	5,749,229	3.41	111,623
千葉	1,568,063	5,100,303	3.25	46,065	1,498,725	5,030,965	3.36	115,403
東京都	4,488,493	11,666,760	2.60	152,726	4,262,979	11,441,246	2.68	378,240
神奈川	2,478,160	7,353,658	2.97	74,922	2,306,415	7,181,913	3.11	246,667
新潟	678,295	2,450,139	3.61	28,162	661,780	2,433,624	3.68	44,677
富山	298,586	1,102,127	3.69	16,212	291,894	1,095,435	3.75	22,904
石川	337,267	1,133,936	3.36	18,117	325,111	1,121,780	3.45	30,273
福井	222,975	805,358	3.61	12,250	214,844	797,227	3.71	20,381
山梨	244,167	820,363	3.36	12,461	238,571	814,767	3.42	18,057
長野	619,239	2,110,255	3.41	26,661	598,305	2,089,321	3.49	47,595
岐阜	566,089	2,006,889	3.55	21,535	545,267	1,986,067	3.64	42,357
静岡	1,030,942	3,536,482	3.43	37,825	988,553	3,494,093	3.53	80,214
愛知	1,979,233	6,393,916	3.23	58,203	1,848,091	6,262,774	3.39	189,345
三重	507,088	1,724,567	3.40	22,649	488,948	1,706,427	3.49	40,789
滋賀	319,515	1,145,185	3.58	10,497	301,989	1,127,659	3.73	28,023
京都	857,424	2,548,469	2.97	37,305	822,275	2,513,320	3.06	72,454
大阪	2,883,169	8,562,996	2.97	97,499	2,766,487	8,446,314	3.05	214,181
兵庫	1,660,915	5,219,615	3.14	56,415	1,597,540	5,156,240	3.23	119,790
奈良	373,989	1,283,584	3.43	20,827	360,041	1,269,636	3.53	34,775
和歌山	333,199	1,072,762	3.22	14,359	326,661	1,066,224	3.26	20,897
鳥取	172,828	606,562	3.51	9,432	170,304	604,038	3.55	11,956
島根	231,795	779,779	3.36	14,836	224,901	772,885	3.44	21,730
岡山	582,128	1,885,951	3.24	30,678	564,052	1,867,875	3.31	48,754
広島	919,506	2,775,897	3.02	42,560	883,503	2,739,894	3.10	78,563
山口	517,745	1,571,135	3.03	30,461	503,670	1,557,060	3.09	44,566
徳島	247,845	816,045	3.29	18,796	244,067	812,267	3.33	22,574
香川	305,767	1,003,442	3.28	18,971	299,294	996,969	3.33	25,444
愛媛	491,539	1,504,591	3.06	25,379	480,144	1,493,196	3.11	36,774
高知	281,430	816,753	2.90	21,753	276,084	811,407	2.94	27,099
福岡	1,518,580	4,628,340	3.05	89,369	1,466,962	4,576,722	3.12	140,987
佐賀	241,786	863,650	3.57	16,340	235,480	857,344	3.64	22,646
長崎	487,597	1,555,010	3.19	38,814	473,036	1,540,449	3.26	53,375
熊本	551,628	1,794,762	3.25	42,824	535,492	1,778,626	3.32	58,960
大分	394,903	1,225,046	3.10	25,093	383,818	1,213,961	3.16	36,178
宮崎	375,218	1,151,699	3.07	23,749	366,232	1,142,713	3.12	32,735
鹿児島	639,362	1,777,088	2.78	42,114	624,466	1,762,192	2.82	57,010
沖縄	333,576	1,160,365	3.48	18,224	329,879	1,156,668	3.51	21,921

総務庁統計局『昭和60年国勢調査報告 第2巻 第1次基本集計結果 その1 全国編』(1986.12)による10月1日現在の数値。世帯の定義については、前掲の表8-1および表8-3を参照。

表12-15 都道府県別にみた一般世帯の家族類型別割合：1975～85年

都道府県	1985年						1980年		1975年	
	一般世帯 総数 (1,000世帯)	家族類型別割合(%)					親族世帯 割合 (%)	核家族世 帯割合 (%)	親族世帯 割合 (%)	核家族世 帯割合 (%)
		親族世帯		非親族 世帯	単独世帯	その他				
	総数	核家族世帯	その他							
全 国	37,980	79.0	60.0	19.0	0.2	20.8	80.0	60.3	80.3	59.5
北海道	1,915	78.0	64.5	13.5	0.2	21.8	79.2	65.1	81.1	65.5
青 森	442	82.9	56.1	26.8	0.1	17.0	83.8	56.9	85.8	57.3
岩 手	412	82.2	51.4	30.8	0.1	17.7	83.3	52.0	85.2	52.6
宮 城	639	79.6	53.8	25.8	0.1	20.3	80.7	54.4	82.5	54.8
秋 田	350	85.9	50.2	35.7	0.1	14.0	86.6	50.7	88.3	51.7
山 形	330	87.2	45.7	41.5	0.1	12.7	88.2	46.7	89.6	47.7
福 島	574	84.3	52.6	31.7	0.1	15.6	85.1	53.2	86.6	53.5
茨 城	757	85.2	58.5	26.6	0.1	14.7	86.4	58.6	87.3	57.6
栃 木	521	84.7	57.1	27.7	0.1	15.1	85.7	57.4	86.1	56.9
群 馬	555	84.7	59.9	24.8	0.2	15.2	86.9	60.6	87.9	60.0
埼 玉	1,746	83.4	67.8	15.6	0.2	16.4	84.0	67.9	84.3	66.8
千 葉	1,568	81.8	65.2	16.7	0.2	18.0	82.4	64.9	81.8	62.6
東 京	4,488	65.7	56.0	9.7	0.4	33.9	66.6	56.4	67.1	55.9
神 奈 川	2,478	75.8	64.3	11.5	0.2	24.0	77.4	65.4	76.3	63.8
新 潟	678	85.7	50.9	34.8	0.1	14.3	86.9	51.5	87.8	51.4
富 山	299	87.8	50.5	37.3	0.1	12.1	88.9	50.9	89.9	51.1
石 川	337	80.2	51.5	28.8	0.1	19.6	81.0	51.4	82.3	51.0
福 井	223	85.0	49.7	35.3	0.1	14.9	86.8	50.5	87.3	50.5
山 梨	244	83.1	57.5	25.7	0.1	16.7	85.5	58.6	86.9	58.2
長 野	619	83.9	54.6	29.3	0.1	15.9	85.4	55.0	86.9	55.2
岐 阜	566	85.2	56.3	28.9	0.1	14.7	85.7	56.7	85.2	55.9
静 岡	1,031	83.3	58.0	25.3	0.2	16.5	84.7	58.8	84.4	58.1
愛 知	1,979	79.1	60.6	18.5	0.2	20.8	79.5	60.8	78.6	59.5
三 重	507	84.7	57.9	26.8	0.1	15.2	86.0	57.9	85.5	56.6
滋 賀	320	84.9	56.5	28.5	0.1	15.0	86.1	56.5	85.0	54.3
京 都	857	74.8	58.4	16.4	0.2	25.0	74.8	57.3	75.6	56.5
大 阪	2,883	77.3	65.9	11.4	0.2	22.5	77.9	66.0	77.1	64.3
兵 庫	1,661	81.1	64.4	16.7	0.2	18.7	81.8	64.4	81.0	62.8
奈 良	374	85.8	63.0	22.8	0.2	14.1	87.0	63.0	86.8	61.1
和 歌 山	333	83.7	61.0	22.7	0.2	16.1	84.4	61.3	84.5	60.4
鳥 取	173	84.9	51.7	33.2	0.1	15.0	85.7	52.4	86.2	52.2
島 根	232	83.0	50.9	32.0	0.1	16.9	83.6	50.9	84.8	50.7
岡 山	582	81.9	57.4	24.5	0.1	18.0	82.5	57.1	82.3	55.9
広 島	920	78.8	61.5	17.3	0.1	21.0	79.9	61.8	80.1	60.9
山 口	518	80.5	60.7	19.9	0.1	19.3	82.3	61.0	83.1	60.8
徳 島	248	83.0	54.8	28.2	0.2	16.9	84.1	54.4	85.0	53.7
香 川	306	83.6	57.7	25.9	0.1	16.3	84.6	58.0	85.5	57.2
愛 媛	492	80.5	61.0	19.5	0.2	19.3	81.9	61.0	82.7	60.6
高 知	281	77.6	59.2	18.3	0.2	22.2	78.8	59.7	79.6	58.5
福 岡	1,519	78.4	61.8	16.6	0.2	21.4	79.7	62.3	81.4	62.7
佐 賀	242	85.3	55.0	30.2	0.1	14.6	86.2	55.6	88.4	56.0
長 崎	488	81.4	62.1	19.3	0.1	18.5	82.7	62.5	83.8	62.2
熊 本	552	81.3	56.6	24.7	0.2	18.6	82.4	56.9	84.1	56.7
大 分	395	80.3	58.2	22.1	0.1	19.6	81.2	57.9	82.5	57.1
宮 崎	375	81.5	64.3	17.1	0.1	18.4	82.1	64.0	83.4	63.2
鹿 児 島	639	76.4	65.1	11.3	0.1	23.4	77.9	65.0	79.7	64.7
沖 縄	334	82.0	65.9	16.1	0.2	17.8	83.2	65.0	84.7	63.6

総務庁統計局「国勢調査報告」による各年10月1日現在の世帯数。割合は一般世帯総数を100とした家族類型別世帯数の構成割合である。なお、前掲の表8-1や表8-3を参照。

表12-16 都道府県別にみた高齢者(65歳以上)の家族形態別割合：1989年

(%)

都道府県	総数	単独世帯	夫婦のみ の世帯	子と 同居	その他		その 他の 親族 と同居	非親族 と同居
					子供夫婦 と同居	配偶者の いない子 と同居		
全 国	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2
北海道	100.0	14.5	37.8	44.7	28.9	15.8	2.7	0.3
青森	100.0	8.5	15.8	71.9	53.4	18.5	3.4	0.3
岩手	100.0	7.8	16.5	71.8	54.1	17.7	3.7	0.2
宮城	100.0	5.4	17.7	73.8	56.8	17.0	2.8	0.4
秋田	100.0	6.5	17.4	72.6	57.5	15.1	3.3	0.1
山形	100.0	4.5	13.0	79.5	63.0	16.6	2.9	0.1
福島	100.0	6.8	18.1	71.3	52.9	18.4	3.5	0.4
茨城	100.0	4.6	15.1	77.9	59.8	18.1	2.3	0.2
栃木	100.0	6.8	16.2	74.2	56.5	17.8	2.4	0.4
群馬	100.0	6.4	21.1	69.7	51.5	18.2	2.5	0.3
埼玉県	100.0	7.3	21.8	68.9	48.0	20.9	1.9	0.1
千葉県	100.0	7.4	22.6	67.0	46.3	20.7	2.7	0.2
東京都	100.0	17.7	33.3	45.1	22.7	22.4	3.6	0.3
神奈川県	100.0	10.2	27.7	59.4	35.3	24.2	2.6	0.0
新潟	100.0	5.8	14.4	76.5	60.9	15.7	3.0	0.2
富山	100.0	5.9	15.8	75.7	63.2	12.5	2.6	...
石川	100.0	7.4	20.2	69.8	56.0	13.8	2.4	0.1
福井	100.0	7.1	14.4	75.1	62.2	12.9	3.2	0.1
山梨	100.0	8.7	23.4	65.3	48.7	16.6	2.2	0.4
長野	100.0	7.0	20.6	69.6	54.8	14.8	2.7	0.2
岐阜	100.0	7.0	18.4	71.7	59.4	12.3	2.7	0.3
静岡県	100.0	5.3	15.7	76.1	60.5	15.7	2.8	0.1
愛知県	100.0	8.8	22.7	65.2	48.7	16.4	3.1	0.3
三重	100.0	10.9	23.7	61.5	47.7	13.8	3.6	0.4
滋賀	100.0	7.1	16.6	74.0	60.8	13.2	2.2	0.0
東京都	100.0	14.5	28.8	52.7	34.5	18.2	3.9	0.2
大阪府	100.0	15.6	32.0	48.7	28.7	19.9	3.4	0.4
兵庫県	100.0	13.6	26.9	56.7	39.0	17.7	2.7	0.1
奈良	100.0	8.3	20.2	67.7	52.3	15.4	3.4	0.4
和歌山	100.0	15.3	28.0	52.9	37.2	15.7	3.7	0.2
鳥取	100.0	8.9	20.1	68.0	51.9	16.1	2.9	0.2
島根	100.0	9.1	21.0	65.3	51.6	13.7	4.5	0.2
岡山	100.0	11.2	27.2	58.5	44.1	14.4	3.1	0.1
広島	100.0	13.9	30.5	52.5	36.4	16.1	2.9	0.1
山口	100.0	14.3	33.5	48.4	34.7	13.7	3.7	0.0
徳島	100.0	12.1	23.8	60.9	46.3	14.6	3.1	0.0
香川県	100.0	10.8	25.5	59.9	44.9	15.0	3.7	0.2
愛媛	100.0	13.6	32.9	50.2	34.6	15.6	3.1	0.2
高知	100.0	17.5	31.2	47.2	29.5	17.7	3.9	0.1
福岡	100.0	12.2	29.1	54.9	36.2	18.7	3.4	0.3
佐賀	100.0	9.1	20.5	66.6	50.0	16.7	3.7	0.1
長崎	100.0	15.0	29.9	51.0	34.1	16.9	4.0	0.1
熊本	100.0	11.9	25.2	58.6	44.3	14.3	4.2	0.0
大宮	100.0	14.1	27.4	54.9	41.4	13.5	3.4	0.2
分崎	100.0	14.3	38.2	42.9	28.1	14.8	4.3	0.2
鹿児島	100.0	22.5	40.3	33.1	16.6	16.5	4.0	0.1
沖縄	100.0	15.5	19.9	60.8	27.5	33.2	3.8	0.1

厚生省統計情報部『国民生活基礎調査』による。

表12-17 都道府県別にみた高齢者（65歳以上）の子との同別居状況別割合：1989年

(%)

都道府県	総数	子 あり						子なし	子有無不詳	
		総数	同居	同一家屋又は同一敷地	近隣地域	同一市区町村	その他地域			
全 国	100.0	91.6	60.0	3.8	6.8	8.4	12.6	7.3	1.0	
北海道	100.0	92.6	44.7	7.0	8.5	13.7	18.6	6.9	0.5	
	青森	100.0	92.7	71.9	2.6	4.0	5.7	8.5	5.4	1.9
	岩手	100.0	94.6	71.8	1.6	2.7	6.5	12.0	4.6	0.8
	宮城	100.0	92.6	73.8	1.1	3.0	6.2	8.6	6.1	1.3
	秋田	100.0	93.8	72.6	1.2	3.0	5.7	11.3	5.1	1.1
山形	100.0	94.6	79.5	1.1	2.6	3.6	7.7	4.4	1.0	
	福島	100.0	93.6	71.3	1.9	4.8	5.8	9.8	5.2	1.2
	茨城	100.0	95.0	77.9	2.7	4.2	4.3	6.0	4.0	1.1
	栃木	100.0	93.2	74.2	1.9	3.2	5.9	7.9	5.5	1.3
	群馬	100.0	95.3	69.7	3.1	5.8	8.7	8.0	4.2	0.4
埼玉県	100.0	94.5	68.9	3.2	6.6	5.4	10.3	5.1	0.5	
	千葉	100.0	93.3	67.0	3.4	7.4	5.8	9.7	5.7	1.0
	東京	100.0	86.4	45.1	8.9	9.4	6.9	16.0	11.7	1.9
	神奈川	100.0	91.2	59.4	6.9	6.7	9.4	8.6	8.3	0.6
	新潟	100.0	94.1	76.5	0.8	3.2	4.6	9.0	5.1	0.9
富山	100.0	95.9	75.7	0.4	3.4	5.4	10.9	3.7	0.4	
	石川	100.0	93.7	69.8	1.5	3.6	7.8	11.0	4.9	1.4
	福山	100.0	94.2	75.1	1.1	3.9	5.7	8.5	5.1	0.7
	山梨	100.0	93.8	65.3	3.2	4.5	7.4	13.3	4.8	1.4
	長野	100.0	92.9	69.6	1.6	3.9	5.5	12.3	6.0	1.1
岐阜	100.0	94.0	71.7	1.7	5.0	6.8	8.7	5.4	0.7	
	静岡	100.0	94.7	76.1	1.5	3.1	6.5	7.4	4.9	0.4
	愛知	100.0	91.6	65.2	2.1	6.6	9.9	7.9	7.7	0.7
	三重	100.0	91.5	61.5	3.6	7.4	7.3	11.7	6.5	2.0
	滋賀	100.0	93.3	74.0	1.9	4.1	4.8	8.6	5.3	1.4
京都	100.0	89.0	52.7	3.0	8.1	14.0	11.2	10.0	1.0	
	大阪	100.0	86.8	48.7	2.8	11.4	9.5	14.4	11.6	1.6
	兵庫	100.0	90.3	56.7	3.1	8.0	10.7	11.8	9.0	0.8
	奈良	100.0	90.3	67.7	2.8	6.0	5.4	8.4	7.4	2.4
	和歌山	100.0	89.8	52.9	3.3	9.2	9.3	15.2	9.0	1.2
鳥取	100.0	93.1	68.0	1.8	3.6	5.7	14.1	5.5	1.4	
	島根	100.0	93.6	65.3	1.3	3.4	5.5	18.1	5.1	1.3
	岡山	100.0	93.4	58.5	3.0	7.1	7.3	17.5	5.8	0.8
	広島	100.0	91.6	52.5	4.0	7.0	11.9	16.3	7.9	0.5
	山口	100.0	90.5	48.4	4.4	9.7	8.6	19.4	8.5	1.0
徳島	100.0	92.5	60.9	2.4	5.9	7.8	15.6	6.5	1.1	
	香川	100.0	92.4	59.9	4.4	7.0	6.0	15.1	6.4	1.2
	愛媛	100.0	93.0	50.2	5.2	7.9	14.3	15.4	6.3	0.7
	高松	100.0	89.2	47.2	5.7	9.5	11.7	15.1	9.5	1.3
	福岡	100.0	90.7	54.9	3.8	7.8	10.4	13.8	8.7	0.5
佐賀	100.0	94.8	66.6	1.6	4.6	5.6	16.4	5.1	0.2	
	長崎	100.0	90.5	51.0	3.0	7.5	13.6	15.3	8.7	0.8
	熊本	100.0	92.0	58.6	2.8	5.8	7.7	17.0	6.8	1.2
	大分	100.0	91.3	54.9	3.1	5.7	9.2	18.4	7.7	1.0
	宮崎	100.0	90.9	42.9	10.0	11.8	11.5	14.7	7.3	1.8
鹿児島	100.0	91.4	33.1	7.9	12.3	14.8	23.3	8.3	0.4	
	沖縄	100.0	93.6	60.8	6.3	8.0	9.9	8.5	5.0	1.5

厚生省統計情報部『国民生活基礎調査』による。「子と同居」は子と同一家屋・同一生計にある場合、「近隣地域」とは町内会などの範囲。

表12-18 都道府県別にみた産業（3部門）別就業人口：1960～85年

都道府県	1985年				1975年				1960年		
	就業者数 (1,000人)	割合 (%)			就業者数 (1,000人)	割合 (%)			割合 (%)		
		第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業		第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業	第1次 産 業	第2次 産 業	第3次 産 業
全 国	58,357	9.3	33.1	57.3	53,141	13.8	34.1	51.8	32.7	29.1	38.2
北海道	2,625	12.6	23.5	63.7	2,462	16.1	25.9	57.8	35.7	23.8	40.5
青 森	718	24.1	21.6	54.2	688	33.5	19.0	47.3	56.2	11.6	32.1
岩 手	730	25.4	26.3	48.3	703	34.8	22.9	42.0	56.7	15.1	28.2
宮 城	1,035	14.6	26.7	58.5	924	23.2	24.4	52.1	46.1	16.1	37.8
秋 田	619	21.8	28.7	49.4	617	33.2	23.0	43.7	55.5	15.6	29.0
山 形	653	20.1	33.5	46.4	626	29.8	27.6	42.4	51.8	17.7	30.5
福 島	1,047	18.8	34.4	46.7	983	28.2	29.3	42.2	51.1	19.0	29.9
茨 城	1,325	16.6	34.7	48.6	1,141	27.5	31.6	40.7	56.4	17.3	26.3
栃 木	939	13.5	39.1	47.4	843	20.8	36.5	42.5	45.4	23.6	31.0
群 馬	960	12.9	39.2	47.7	873	20.1	36.2	43.3	43.0	26.6	30.3
埼 玉	2,775	5.0	37.9	56.7	2,172	9.1	39.9	50.6	34.7	31.8	33.5
埼 玉	2,417	8.1	29.8	61.6	1,882	14.2	31.9	53.5	46.9	19.4	33.7
東 京	6,005	0.6	29.7	69.0	5,620	0.8	34.3	64.4	2.2	42.9	54.8
神 奈 川	3,544	1.7	36.9	60.8	2,897	2.6	41.1	55.8	10.1	42.2	47.7
新 潟	1,263	14.1	35.7	50.1	1,246	22.9	32.6	44.3	48.3	21.4	30.3
富 山	580	9.1	39.7	51.1	560	15.8	37.8	46.2	38.7	28.4	32.8
石 川	583	8.6	34.1	57.2	538	14.0	34.6	51.1	37.2	28.4	34.3
福 井	434	9.6	39.9	50.4	410	16.3	38.6	44.9	39.7	29.1	31.1
山 梨	419	15.0	35.1	49.8	382	22.0	32.6	45.2	43.8	24.8	31.3
長 野	1,148	17.0	37.9	45.0	1,073	24.3	34.4	41.2	47.9	21.9	30.1
岐 阜	1,031	7.1	44.0	48.9	941	12.0	43.7	44.1	33.7	34.3	32.0
静 岡	1,840	8.9	40.3	50.7	1,645	12.8	39.3	47.8	30.4	32.8	36.8
愛 知	3,231	4.7	41.9	53.3	2,881	6.8	44.1	48.8	18.8	44.2	36.9
三 重	851	10.1	38.4	51.5	783	16.7	36.9	46.2	41.6	26.6	31.8
滋 賀	556	8.4	41.4	50.1	489	18.0	38.7	43.1	43.6	25.7	30.8
京 都	1,220	4.7	33.6	61.3	1,149	6.9	36.7	56.0	17.5	35.9	46.6
大 阪	4,009	0.9	36.9	61.8	3,708	1.3	41.8	56.5	4.4	48.6	47.0
兵 庫	2,401	4.4	35.0	59.9	2,258	6.9	38.2	54.6	20.2	37.5	42.4
和 歌 山	566	6.4	32.9	59.9	465	11.5	34.3	53.8	31.4	30.4	38.3
鳥 取	322	19.0	29.3	51.7	309	25.3	26.7	47.9	48.9	16.9	34.1
島 根	414	19.4	30.2	50.4	406	29.2	25.8	44.8	53.2	15.4	31.4
岡 山	938	11.7	36.3	51.9	911	16.7	37.0	46.1	43.1	25.8	31.1
広 島	1,364	8.5	34.1	57.2	1,299	11.5	37.6	50.7	32.5	29.3	38.2
山 口	768	12.9	30.1	56.9	763	17.4	31.3	51.0	34.9	25.2	39.9
徳 島	398	17.5	30.4	51.8	394	23.9	30.3	45.5	47.2	20.4	32.3
香 川	502	12.6	32.2	55.1	481	17.0	32.9	49.9	41.7	21.8	36.4
愛 媛	720	16.7	30.2	53.0	686	21.8	30.5	47.4	42.1	23.3	34.5
高 知	404	19.8	22.2	57.7	400	25.6	22.6	51.5	50.9	15.8	33.2
福 岡	2,072	6.7	27.2	65.8	1,916	10.0	30.9	58.8	21.1	33.2	45.7
佐 賀	420	18.8	27.8	53.3	397	25.8	26.4	47.6	43.6	21.1	35.3
長 崎	701	17.3	23.3	59.3	678	22.4	24.3	53.1	40.7	21.8	37.4
熊 本	862	21.3	23.8	54.8	796	28.6	21.7	49.5	50.7	14.5	34.7
大 分	579	17.8	25.3	56.8	563	25.0	24.3	50.5	49.9	15.9	34.1
宮 崎	558	21.9	24.1	53.9	519	29.2	22.5	48.0	52.6	16.1	31.3
鹿 児 島	841	22.5	24.1	53.3	798	31.5	21.8	46.4	60.4	12.1	27.5
沖 縄	479	11.3	20.9	67.4	380	13.9	20.8	64.7	43.4	11.4	45.1

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口。ただし、1960年の沖縄は12月1日現在の調査結果（旧琉球政府による）。割合は就業者総数100について。産業3大部門の区分については前掲表9-5の注記を参照。なお、総数に分類不能の産業を含む。

表12-19 都道府県別にみた国籍（3区分）、性別登録外国人数：1988年

都道府県	総 数			韓国・朝鮮		中 国		そ の 他	
	総 数	男	女	総 数	女	総 数	女	総 数	女
全 国	941,005	470,389	470,616	677,140	338,145	129,269	60,154	134,596	72,317
北海道	9,518	5,114	4,404	6,464	2,885	1,154	515	1,900	1,004
青森	2,273	1,135	1,138	1,628	772	207	95	438	271
岩手	1,909	950	959	1,314	602	242	136	353	221
宮城	5,692	2,890	2,802	3,918	1,931	731	345	1,043	526
秋田	1,360	672	688	914	412	155	70	291	206
山形	1,113	525	588	632	302	211	114	270	172
福島	3,524	1,685	1,839	2,237	1,067	655	337	632	435
茨城	8,546	3,803	4,743	4,733	2,294	1,437	918	2,376	1,531
栃木	4,879	2,165	2,714	2,463	1,230	1,020	608	1,396	876
群馬	5,909	2,675	3,234	3,006	1,399	799	464	2,104	1,371
埼玉	25,392	12,608	12,784	13,045	6,486	5,670	2,603	6,677	3,695
千葉	24,115	11,277	12,838	13,406	6,737	4,265	2,141	6,444	3,960
東京	196,400	103,316	93,084	86,105	42,935	60,306	25,701	49,989	24,448
神奈川	54,721	28,019	26,702	31,313	15,450	10,069	4,725	13,339	6,527
新潟	4,244	1,865	2,379	2,663	1,387	353	182	1,228	810
富山	2,439	1,094	1,345	1,843	940	183	123	413	282
石川	3,918	1,897	2,021	3,207	1,587	247	129	464	305
福井	5,529	2,750	2,779	4,926	2,419	195	102	408	258
山梨	2,739	1,191	1,548	1,415	659	566	352	758	537
長野	7,502	3,246	4,256	4,528	2,187	1,192	721	1,782	1,348
岐阜	11,218	5,648	5,570	10,075	4,905	391	212	752	453
静岡	12,807	5,955	6,852	7,789	3,853	1,090	477	3,928	2,522
愛知	62,967	31,154	31,813	55,396	27,693	3,219	1,637	4,352	2,483
三重	9,563	4,688	4,875	8,270	4,067	501	286	792	522
滋賀	8,521	4,297	4,224	7,727	3,775	308	179	486	270
京都	52,569	26,278	26,291	47,353	23,816	2,467	1,193	2,749	1,282
大阪	204,916	101,236	103,680	187,177	94,530	11,921	6,061	5,818	3,089
兵庫	87,805	44,004	43,801	70,762	35,459	9,869	4,879	7,174	3,463
奈良	7,879	3,736	4,143	6,503	3,347	585	370	791	426
和歌山	5,336	2,603	2,733	4,523	2,240	333	190	480	303
鳥取	2,017	971	1,046	1,693	828	89	52	235	166
島根	1,867	889	978	1,385	645	197	99	285	234
岡山	10,068	4,830	5,238	8,655	4,385	499	231	914	622
広島	19,370	9,273	10,097	16,354	8,403	978	477	2,038	1,217
山口	15,346	7,536	7,810	14,261	7,187	233	106	852	517
徳島	739	363	376	414	192	126	65	199	119
香川	1,850	852	998	1,151	579	264	140	435	279
愛媛	2,799	1,348	1,451	1,975	986	346	166	478	299
高知	1,338	723	615	907	405	197	78	234	132
福岡	29,964	15,133	14,831	26,028	12,878	1,976	905	1,960	1,048
佐賀	1,614	836	778	1,218	568	172	78	224	132
長崎	3,859	1,957	1,902	1,949	932	895	423	1,015	547
熊本	2,762	1,324	1,438	1,316	625	634	307	812	506
大分	3,642	1,799	1,843	2,878	1,403	395	197	369	243
宮崎	1,586	739	847	908	433	276	145	402	269
鹿児島	1,841	828	1,013	442	180	611	304	788	529
沖縄	5,040	2,512	2,528	271	150	1,040	516	3,729	1,862

法務省【在留外国人統計】による。12月末現在。

特集題目表(地域移動・地域分布)

- I 地域移動 (17表)
- II 地域分布 (24表)
- III 3大都市距離圏 (6表)
- IV 人口集中地区 (3表)
- V 昼夜間人口と学卒者の流動 (5表)
- VI 過疎 (14表)
- VII 移動理由 (25表)

表1 性，入居時期（6区分）別人口：1960～80年

入居時期 (居住年数)	1960年			1970年			1980年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	実数(1,000人)								
総数	91,842	45,070	46,772	103,720	50,918	52,802	116,989	57,545	59,444
出生時から				32,122	18,854	13,269	28,050	16,993	11,057
15年以上	85,146	41,551	43,595	24,188	8,906	15,282	21,243	7,608	13,635
10～14年									
5～9年									
1～4年				10,881	4,892	5,989	9,873	4,456	5,418
1年以内	6,685	3,513	3,172	23,981	11,725	12,256	20,372	9,658	10,715
不詳	10	6	4	12,421	6,507	5,913	26,219	13,011	13,208
	割合(%)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
出生時から				31.0	37.0	25.1	24.0	29.5	18.6
15年以上	92.7	92.2	93.2	23.3	17.5	28.9	18.2	13.2	22.9
10～14年									
5～9年									
1～4年				10.5	9.6	11.3	8.4	7.7	9.1
1年以内	7.3	7.8	6.8	23.1	23.0	23.2	22.4	22.6	22.2
不詳	0.0	0.0	0.0	12.0	12.8	11.2	9.6	10.1	9.1
				0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0

総務庁統計局『国勢調査報告』による。1960年は1歳以上人口についての1年前の常住地による。10年および15年の区切りは入居年月でなく入居年による。

表2 性，前住地（6区分）別年間移動者数：1960～80年

前住地	1960年			1970年			1980年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
	実数(1,000人)								
総数	6,685	3,513	3,172	12,421	6,507	5,913	11,178	5,795	5,384
自市町村内	2,078	1,033	1,045	5,600	2,834	2,766	5,286	2,636	2,651
自市区町村内	4,859	2,437	2,422	4,555	2,262	2,293
自市内他区	741	396	344	731	374	357
県内他市町村	1,998	1,002	996	2,980	1,514	1,467	2,779	1,408	1,372
他県	2,591	1,467	1,124	3,812	2,144	1,668	3,055	1,721	1,334
隣接県	1,231	670	561
その他の県	1,824	1,051	773
国外	18	11	7	28	16	13	50	26	24
	割合(%)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自市町村内	31.1	29.4	32.9	45.1	43.5	46.8	47.3	45.5	49.2
自市区町村内	39.1	37.5	41.0	40.8	39.0	42.6
自市内他区	6.0	6.1	5.8	6.5	6.4	6.6
県内他市町村	29.9	28.5	31.4	24.0	23.3	24.8	24.9	24.3	25.5
他県	38.8	41.8	35.4	30.7	33.0	28.2	27.3	29.7	24.8
隣接県	11.0	11.6	10.4
その他の県	16.3	18.1	14.4
国外	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4

総務庁統計局『国勢調査報告』による。1960年は1歳以上についての1年前の常住地が現住地以外のもの。1970, 80年は入居時期1年以内のもの。したがってどちらも最後の1年間に1回以上移動した者の数であり、1960年は最後の1年間に現住地を離れてまた戻った移動者を含まず、1970, 80年は含む。1980年は総数に前住地不詳を含む。

表3 性、年齢、県内・県外別年間移動率：1960～80年

(%)

年 齢	総 数			男			女			
	1960年	1970年	1980年	1960年	1970年	1980年	1960年	1970年	1980年	
総 数	8.05	11.98	9.55	8.67	12.78	10.06	7.45	11.20	9.05	
0	...	9.81	13.54	...	9.84	13.54	...	9.78	13.55	
1～4	4.49	13.55	11.99	4.49	13.57	11.97	4.48	13.53	12.00	
5～9		8.95	8.66		8.93	8.63		8.97	8.70	
10～14		6.14	6.14		6.14	6.09		6.15	6.19	
15～19		14.51	16.35		12.54	15.45		17.60	13.44	13.56
20～24	18.11	23.69	20.12	18.36	23.41	19.97	17.87	23.98	20.28	
25～29	15.52	23.08	19.00	16.79	24.69	19.02	14.26	21.49	18.97	
30～34	8.19	14.84	13.06	9.73	17.04	14.20	6.77	12.65	11.92	
35～39		10.05	9.15		11.27	10.13		8.81	8.18	
40～44		7.69	6.63		8.59	7.52		6.79	5.74	
45～49		4.65	6.56		5.25	7.49		5.86	5.78	4.65
50～54	3.57	5.77	4.62	4.04	6.52	5.10	3.13	5.16	4.14	
55～59		5.09	4.04		5.68	4.45		4.58	3.71	
60～64		4.43	3.65		4.51	3.56		4.37	3.71	
65～69		2.79	4.15		3.67	3.45		4.32	3.84	
70～74	2.55	4.01	4.03	2.21	3.67	3.68	2.81	4.28	4.30	
75～79		3.93	4.41		3.52	3.93		4.22	4.76	
80～84		3.82	4.70		3.45	4.18		4.03	5.02	
85歳以上		2.18	3.64		4.59	3.54		4.25	2.29	3.68
総 数	5.20	8.27	6.89	5.37	8.54	7.02	5.03	8.02	6.76	
0	...	7.62	11.62	...	7.64	11.61	...	7.59	11.63	
1～4	3.31	9.98	8.97	3.30	9.99	8.95	3.32	9.97	8.99	
5～9		6.66	6.50		6.65	6.48		6.67	6.52	
10～14		4.74	4.77		4.73	4.73		4.74	4.80	
15～19		6.94	8.59		6.96	8.66		6.92	7.00	8.52
20～24	10.91	15.19	13.37	10.08	13.69	11.94	11.73	16.68	14.84	
25～29	10.74	16.55	13.80	11.33	17.63	13.55	10.16	15.49	14.04	
30～34	5.76	10.71	9.61	6.66	12.16	10.37	4.93	9.27	8.85	
35～39		7.25	6.72		7.88	7.27		6.62	6.16	
40～44		3.27	5.62		4.98	5.99		5.38	5.26	4.58
45～49		4.86	4.01		3.65	5.18		4.25	4.58	3.78
50～54	2.57	4.35	3.53	2.81	4.64	3.73	2.34	4.12	3.33	
55～59		3.84	3.13		4.16	3.30		3.57	2.98	
60～64		3.39	2.89		3.41	2.77		3.38	2.98	
65～69		2.02	3.22		2.95	3.09		2.79	3.34	3.08
70～74	1.81	3.17	3.33	1.57	2.97	3.09	1.99	3.33	3.52	
75～79		3.14	3.69		2.86	3.32		3.34	3.96	
80～84		3.05	3.97		2.78	3.55		3.21	4.23	
85歳以上		1.54	2.90		3.91	2.79		3.61	1.67	2.95
総 数	2.84	3.70	2.65	3.29	4.24	3.03	2.41	3.18	2.28	
0	...	2.20	1.92	...	2.20	1.93	...	2.19	1.91	
1～4	1.17	3.57	3.02	1.18	3.58	3.02	1.16	3.56	3.01	
5～9		2.29	2.16		2.28	2.14		2.30	2.17	
10～14		1.41	1.36		1.40	1.35		1.41	1.38	
15～19		7.57	7.76		5.57	8.57		8.94	6.51	6.56
20～24	7.19	8.50	6.74	8.27	9.71	8.02	6.13	7.30	5.43	
25～29	4.77	6.53	5.18	5.45	7.06	5.45	4.10	6.00	4.92	
30～34	2.42	4.13	3.44	3.06	4.88	3.81	1.83	3.37	3.06	
35～39		2.80	2.43		3.39	2.85		2.19	2.01	
40～44		2.07	1.65		2.61	2.14		1.53	1.16	
45～49		1.37	1.70		1.24	2.30		1.61	0.94	1.20
50～54	1.00	1.42	1.08	1.23	1.88	1.37	0.79	1.04	0.81	
55～59		1.25	0.91		1.53	1.14		1.01	0.73	
60～64		1.04	0.75		1.10	0.79		0.99	0.73	
65～69		0.77	0.92		0.71	0.69		0.85	0.66	0.84
70～74	0.74	0.84	0.69	0.63	0.70	0.59	0.81	0.95	0.77	
75～79		0.78	0.72		0.65	0.61		0.88	0.79	
80～84		0.77	0.73		0.66	0.62		0.83	0.80	
85歳以上		0.63	0.73		0.67	0.75		0.64	0.62	0.73

総務庁統計局『国勢調査報告』による。各年齢階級別人口総数100について入居時期調査前1年間に入居した者の割合。1960年は1年前の居住地が現住地でないものの割合で、20%抽出結果。県外移動とは県間と国外からの移動。1)率の分母人口に1年前の常住地不詳または前住地不詳を含む。2)1980年は率の分母人口に前住地不詳を含む。

表4 性、年齢別生涯移動率 (1970, 80年) (%)

年 齢	1970年			1980年		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	69.0	63.0	74.8	76.0	70.5	81.4
0 歳	9.8	9.9	9.8	13.5	13.5	13.5
1~4	31.9	32.0	31.8	37.5	37.5	37.5
5~9	42.0	42.1	42.0	57.8	57.8	57.8
10~14	40.7	40.7	40.6	60.7	60.7	60.8
15~19	53.9	54.0	53.8	63.7	63.9	63.4
20~24	70.7	69.6	71.7	72.9	72.5	73.4
25~29	86.0	79.3	92.5	83.4	76.5	90.4
30~34	88.2	81.1	95.3	88.9	82.4	95.5
35~39	86.2	77.6	94.9	91.5	86.1	96.9
40~44	84.4	74.7	94.0	90.1	83.4	96.8
45~49	84.9	74.6	93.6	87.8	79.3	96.2
50~54	85.0	74.2	93.8	85.8	76.0	95.3
55~59	84.3	73.3	93.8	85.8	74.9	94.7
60~64	82.4	70.2	93.4	85.8	74.4	94.6
65~69	80.4	66.6	92.7	85.1	73.6	94.2
70~74	79.2	63.7	91.9	83.7	71.1	93.5
75~79	78.6	61.2	91.2	82.2	68.1	92.3
80~84	78.7	58.9	90.4	81.6	66.0	91.3
85歳以上	79.5	56.5	89.4	81.8	63.9	90.3

総理府統計局『人口移動』(昭和55年国勢調査モノグラフシリーズNo. 2)による。
生涯移動率は人口中、生まれたときから調査時まで常に常住地が変わった人の割合。

表6 性、年齢別定着率 (1970, 80年) (%)

年 齢	男		女	
	1970	1980	1970	1980
総 数	30.8	33.4	41.8	43.1
10~14	12.0	17.1	12.2	16.9
15~19	17.8	27.1	19.0	27.7
20~24	15.3	17.7	15.9	18.6
25~29	13.6	13.3	7.1	6.7
30~34	11.6	11.7	16.4	11.0
35~39	21.9	20.0	41.5	34.8
40~44	39.6	34.9	57.1	51.1
45~49	50.8	47.2	64.7	61.2
50~54	57.8	55.6	68.5	67.5
55~59	60.7	60.7	71.8	71.3
60~64	63.9	65.8	74.9	74.1
65~69	68.9	70.4	76.9	75.9
70~74	71.5	72.0	77.4	75.8
75~79	72.2	71.6	77.9	75.0
80~84	72.3	70.6	78.5	74.3
85歳以上	70.9	69.8	79.4	74.3

表4注参照。

定着率は生涯移動者に占める最近10年間移動していない人の割合。

表5 性、コーホート別生涯移動率 (1970, 80年) (%)

年 齢	男			女		
	1970年	1980年	差	1970年	1980年	差
(期首時) (期末時)						
1~4歳 10~14歳	32.0	60.7	28.7	31.8	60.8	29.0
5~9 15~19	42.1	63.9	21.8	42.0	63.4	21.4
10~14 20~24	40.7	72.5	31.8	40.6	73.4	32.8
15~19 25~29	54.0	76.5	22.5	53.8	90.4	36.6
20~24 30~34	69.6	82.4	12.8	71.7	95.5	23.8
25~29 35~39	79.3	86.1	6.8	92.5	96.9	4.4
30~34 40~44	81.1	83.4	2.3	95.3	96.8	1.5
35~39 45~49	77.6	79.3	1.7	94.9	96.2	1.3
40~44 50~54	74.7	76.0	1.3	94.0	95.3	1.3
45~49 55~59	74.6	74.9	0.3	93.6	94.7	1.1
50~54 60~64	74.2	74.4	0.2	93.8	94.6	0.8
55~59 65~69	73.3	73.6	0.3	93.8	94.2	0.4
60~64 70~74	70.2	71.1	0.9	93.4	93.5	0.1
65~69 75~79	66.6	68.1	1.5	92.7	92.3	-0.4
70~74 80~84	63.7	66.0	2.3	91.9	91.3	-0.6
75歳以上 85歳以上	60.1	63.9	3.8	90.7	90.3	-0.4

表4注参照。

表7 県内、県間別にみた市区町村間移動数、性比および率：1954～89年

年次	移動数(1,000人)			移動性比			移動率(%)			移動総数の対前年増加率(%)
	総数	県内	県間	総数	県内	県間	総数	県内	県間	
1954	5,498	3,146	2,353	6.27	3.59	2.68	...
1955	5,141	2,914	2,227	5.80	3.29	2.51	-6.5
1956	4,860	2,738	2,122	5.43	3.06	2.37	-5.5
1957	5,268	2,888	2,380	5.83	3.20	2.64	8.4
1958	5,294	2,914	2,381	109	100	120	5.81	3.20	2.61	0.5
1959	5,358	2,915	2,443	108	100	119	5.82	3.17	2.65	1.2
1960	5,653	2,973	2,680	112	101	126	6.09	3.20	2.89	5.5
1961	6,012	3,060	2,952	116	102	131	6.42	3.27	3.15	6.4
1962	6,580	3,277	3,303	117	103	132	6.95	3.46	3.49	9.4
1963	6,937	3,464	3,473	115	103	130	7.26	3.62	3.63	5.4
1964	7,257	3,622	3,634	116	104	129	7.51	3.75	3.76	4.6
1965	7,381	3,688	3,692	116	104	129	7.56	3.78	3.78	1.7
1966	7,432	3,748	3,684	114	103	126	7.55	3.81	3.74	0.7
1967	7,479	3,718	3,761	114	103	127	7.51	3.73	3.78	0.6
1968	7,775	3,838	3,937	115	104	127	7.72	3.81	3.91	4.0
1969	8,126	4,010	4,116	114	103	126	7.97	3.93	4.04	4.5
1970	8,273	4,038	4,235	114	103	127	8.02	3.92	4.11	1.8
1971	8,360	4,103	4,257	113	102	126	8.00	3.92	4.07	1.1
1972	8,350	4,193	4,157	112	102	124	7.88	3.96	3.92	-0.1
1973	8,539	4,304	4,234	113	102	125	7.87	3.97	3.90	2.3
1974	8,027	4,094	3,932	112	102	124	7.30	3.72	3.58	-6.0
1975	7,544	3,846	3,698	111	101	123	6.78	3.46	3.32	-6.0
1976	7,392	3,827	3,565	110	101	121	6.57	3.40	3.17	-2.0
1977	7,395	3,828	3,568	111	101	123	6.51	3.37	3.14	0.0
1978	7,292	3,804	3,487	111	101	124	6.37	3.32	3.04	-1.4
1979	7,295	3,826	3,469	111	101	124	6.32	3.31	3.00	0.1
1980	7,067	3,711	3,356	112	101	126	6.07	3.19	2.88	-3.1
1981	6,902	3,584	3,318	113	101	128	5.89	3.06	2.83	-2.3
1982	6,852	3,564	3,288	114	101	130	5.81	3.02	2.79	-0.7
1983	6,674	3,478	3,196	114	101	130	5.62	2.93	2.69	-2.6
1984	6,559	3,422	3,137	115	101	132	5.49	2.86	2.62	1.7
1985	6,482	3,365	3,117	116	102	135	5.39	2.80	2.59	-1.2
1986	6,468	3,339	3,129	118	103	137	5.35	2.76	2.59	-0.2
1987	6,537	3,366	3,171	119	104	137	5.38	2.77	2.61	1.1
1988	6,465	3,328	3,137	119	104	138	5.30	2.73	2.57	-1.1
1989	6,518	3,359	3,159	120	104	140	5.32	2.74	2.58	0.8

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』による。日本人の国内移動のみ。住民基本台帳によるものは以下すべて同様。移動性比とは移動した女性100に対する男性の数。移動率は各年10月1日現在日本人人口100についてのもの。1972年以前は沖縄県を含んでいない。1958年の人口性比は3月～12月の結果である。

表8 全国13地域の3大都市圏からの純移動数：1955～89年

地 域	1955～59年	1960～64年	1965～69年	1970～74年	1975～79年	1980～84年	1985～89年
北海道	22,760	-150,620	-143,881	-204,000	-16,577	-60,331	-138,836
北東北	-160,118	-297,888	-198,708	-179,737	-52,598	-104,996	-139,824
南東北	-279,582	-360,822	-180,445	-114,044	-12,617	-35,935	-34,587
北関東	-284,822	-201,155	-99,907	68,850	113,770	97,230	77,049
北陸	-244,992	-254,024	-171,161	-111,644	-48,666	-55,331	-70,256
東山	-222,381	-137,048	-70,037	-16,441	-36,831	-13,161	10,143
京阪周辺	-109,359	-36,933	10,769	88,531	111,673	80,530	65,386
山陰	-87,549	-115,083	-77,199	-41,841	-3,361	-11,532	-22,615
山陽	-127,415	-185,103	-49,747	24,323	-49,645	-32,247	-72,703
四国	-211,931	-288,562	-160,847	-73,955	-8,117	-34,084	-57,736
北九州	-176,541	-605,943	-304,900	-233,207	21,475	-46,796	-115,969
南九州	-292,570	-460,726	-262,471	-217,417	19,762	-26,783	-84,488
沖縄	8,606	-9,566	-8,559	-11,957
計	-2,174,500	-3,093,907	-1,708,534	-1,001,976	28,702	-251,995	-596,393
東京圏	1,441,576	1,853,618	1,181,784	798,274	289,968	437,339	689,431
中京圏	105,207	311,120	112,346	108,780	-33,868	-12,383	44,781
阪神圏	627,717	929,169	414,404	94,922	-284,802	-172,961	-137,819
計	2,174,500	3,093,907	1,708,534	1,001,976	-28,702	251,995	596,393

総務庁統計局【住民基本台帳人口移動報告年報】による。

ここで使用した16地域区分とその都道府県の構成は次のとおり。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 北海道 | 9. 京阪周辺 (滋賀, 奈良, 和歌山) |
| 2. 北東北 (青森, 岩手, 秋田) | 10. 阪神圏 (京都, 大阪, 兵庫) |
| 3. 南東北 (宮城, 山形, 福島) | 11. 山陰 (鳥取, 島根) |
| 4. 北関東 (茨城, 栃木, 群馬) | 12. 山陽 (岡山, 広島, 山口) |
| 5. 東京圏 (埼玉, 千葉, 東京, 神奈川) | 13. 四国 (徳島, 香川, 愛媛, 高知) |
| 6. 北陸 (新潟, 富山, 石川, 福井) | 14. 北九州 (福岡, 佐賀, 長崎, 大分) |
| 7. 東山 (山梨, 長野, 静岡) | 15. 南九州 (熊本, 宮崎, 鹿児島) |
| 8. 中京圏 (岐阜, 愛知, 三重) | 16. 沖縄 |

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年

(1) 1955～57年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1955年								
合計	352,833 (0.62)	234,658	23,067	95,108	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	9,313 (0.20)	8,956	229	128	2.6	3.8	1.0	0.1
北東北	18,539 (0.45)	16,834	1,106	599	5.3	7.2	4.8	0.6
南東北	43,550 (0.84)	41,714	926	910	12.3	17.8	4.0	1.0
北関東	53,589 (1.03)	52,789	410	390	15.2	22.5	1.8	0.4
北陸	42,736 (0.82)	30,709	3,505	8,522	12.1	13.1	15.2	9.0
東山	43,662 (0.80)	36,694	5,799	1,169	12.4	15.6	25.1	1.2
京阪周辺	20,459 (0.78)	3,306	259	16,894	5.8	1.4	1.1	17.8
山陰	11,187 (0.73)	2,844	654	7,689	3.2	1.2	2.8	8.1
山陽	27,391 (0.51)	9,620	677	17,094	7.8	4.1	2.9	18.0
四国	26,800 (0.63)	6,828	956	19,016	7.6	2.9	4.1	20.0
北九州	28,880 (0.37)	14,897	2,924	11,059	8.2	6.3	12.7	11.6
南九州	26,727 (0.53)	9,467	5,622	11,638	7.6	4.0	24.4	12.2
沖縄
1956年								
合計	401,956 (0.71)	247,117	41,725	113,114	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	10,740 (0.22)	9,373	413	954	2.7	3.8	1.0	0.8
北東北	21,580 (0.52)	19,683	1,296	601	5.4	8.0	3.1	0.5
南東北	48,721 (0.94)	46,183	1,577	961	12.1	18.7	3.8	0.8
北関東	55,977 (1.07)	54,810	500	667	13.9	22.2	1.2	0.6
北陸	43,113 (0.83)	29,664	5,017	8,432	10.7	12.0	12.0	7.5
東山	49,522 (0.91)	39,464	8,499	1,559	12.3	16.0	20.4	1.4
京阪周辺	23,927 (0.91)	3,424	1,654	18,849	6.0	1.4	4.0	16.7
山陰	14,114 (0.92)	3,004	1,687	9,423	3.5	1.2	4.0	8.3
山陽	29,237 (0.54)	8,324	2,989	17,924	7.3	3.4	7.2	15.8
四国	31,773 (0.75)	7,434	1,432	22,907	7.9	3.0	3.4	20.3
北九州	32,417 (0.41)	15,135	5,242	12,040	8.1	6.1	12.6	10.6
南九州	40,835 (0.80)	10,619	11,419	18,797	10.2	4.3	27.4	16.6
沖縄
1957年								
合計	507,195 (0.89)	294,637	44,017	168,541	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	13,957 (0.29)	12,822	351	784	2.8	4.4	0.8	0.5
北東北	29,750 (0.71)	26,466	1,967	1,317	5.9	9.0	4.5	0.8
南東北	60,069 (1.17)	57,100	1,499	1,470	11.8	19.4	3.4	0.9
北関東	65,169 (1.26)	63,720	397	1,052	12.8	21.6	0.9	0.6
北陸	51,601 (0.99)	34,707	5,075	11,819	10.2	11.8	11.5	7.0
東山	54,744 (1.00)	43,699	9,001	2,044	10.8	14.8	20.4	1.2
京阪周辺	28,197 (1.08)	3,468	1,503	23,226	5.6	1.2	3.4	13.8
山陰	17,947 (1.18)	3,328	1,488	13,131	3.5	1.1	3.4	7.8
山陽	36,795 (0.68)	9,612	1,452	25,731	7.3	3.3	3.3	15.3
四国	48,810 (1.16)	8,176	1,684	38,950	9.6	2.8	3.8	23.1
北九州	41,654 (0.53)	17,734	6,254	17,666	8.2	6.0	14.2	10.5
南九州	58,502 (1.16)	13,805	13,346	31,351	11.5	4.7	30.3	18.6
沖縄

()内は転出超過人口の対人口比率。総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』によって人口問題研究所が算出。地域区分は表8の注参照。

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(2) 1958～60年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1958年								
合計	421,652 (0.74)	272,818	26,082	122,752	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	11,939 (0.24)	11,143	211	585	2.8	4.1	0.8	0.5
北東北	25,708 (0.61)	23,684	1,008	1,016	6.1	8.7	3.9	0.8
南東北	49,528 (0.96)	48,252	611	665	11.7	17.7	2.3	0.5
北関東	59,394 (1.15)	58,298	501	595	14.1	21.4	1.9	0.5
北陸	45,238 (0.87)	33,011	3,007	9,220	10.7	12.1	11.5	7.5
東山	48,745 (0.89)	41,818	5,233	1,694	11.6	15.3	20.1	1.4
京阪周辺	23,175 (0.89)	3,329	1,379	18,467	5.5	1.2	5.3	15.0
山陰	13,153 (0.87)	3,524	688	8,941	3.1	1.3	2.6	7.3
山陽	32,065 (0.59)	9,925	1,210	20,930	7.6	3.6	4.6	17.1
四国	37,150 (0.89)	7,876	2,209	27,065	8.8	2.9	8.5	22.0
北九州	34,559 (0.44)	17,510	3,450	13,599	8.2	6.4	13.2	11.1
南九州	40,998 (0.82)	14,448	6,575	19,975	9.7	5.3	25.2	16.3
沖縄
1959年								
合計	490,864 (0.86)	300,883	44,621	145,360	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	10,783 (0.22)	10,670	56	57	2.2	3.5	0.1	0.0
北東北	29,301 (0.70)	27,080	1,547	674	6.0	9.0	3.5	0.5
南東北	60,921 (1.19)	58,331	1,423	1,167	12.4	19.4	3.2	0.8
北関東	62,770 (1.22)	62,268	47	455	12.8	20.7	0.1	0.3
北陸	50,019 (0.96)	35,433	5,237	9,349	10.2	11.8	11.7	6.4
東山	52,080 (0.95)	42,824	7,630	1,626	10.6	14.2	17.1	1.1
京阪周辺	21,917 (0.84)	3,309	1,037	17,571	4.5	1.1	2.3	12.1
山陰	17,974 (1.20)	3,965	1,790	12,219	3.7	1.3	4.0	8.4
山陽	37,525 (0.69)	11,335	2,481	23,709	7.6	3.8	5.6	16.3
四国	42,217 (1.02)	8,471	3,008	30,738	8.6	2.8	6.7	21.1
北九州	48,721 (0.61)	21,286	7,637	19,798	9.9	7.1	17.1	13.6
南九州	56,636 (1.13)	15,911	12,728	27,997	11.5	5.3	28.5	19.3
沖縄
1960年								
合計	593,820 (1.05)	333,208	71,777	188,835	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	20,811 (0.41)	18,255	921	1,635	3.5	5.5	1.3	0.9
北東北	37,708 (0.90)	33,984	2,802	922	6.4	10.2	3.9	0.5
南東北	69,672 (1.36)	67,201	1,269	1,202	11.7	20.2	1.8	0.6
北関東	58,441 (1.14)	57,343	620	478	9.8	17.2	0.9	0.3
北陸	48,999 (0.94)	34,631	5,378	8,990	8.3	10.4	7.5	4.8
東山	49,412 (0.90)	39,234	8,503	1,675	8.3	11.8	11.8	0.9
京阪周辺	22,147 (0.85)	3,306	1,818	17,023	3.7	1.0	2.5	9.0
山陰	19,211 (1.30)	4,493	1,941	12,777	3.2	1.3	2.7	6.8
山陽	44,311 (0.82)	12,004	3,886	28,421	7.5	3.6	5.4	15.1
四国	56,758 (1.38)	10,273	5,498	40,987	9.6	3.1	7.7	21.7
北九州	90,204 (1.14)	32,870	19,402	37,932	15.2	9.9	27.0	20.1
南九州	76,146 (1.54)	19,614	19,739	36,793	12.8	5.9	27.5	19.5
沖縄

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(3) 1961～63年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1961年								
合計	654,698 (1.12)	359,237	74,612	220,849	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	30,893 (0.61)	25,517	2,217	3,159	4.7	7.1	3.0	1.4
北東北	47,573 (1.14)	42,103	3,724	1,746	7.3	11.7	5.0	0.8
北関東	73,919 (1.46)	69,578	2,586	1,755	11.3	19.4	3.5	0.8
北陸	51,586 (1.00)	50,668	437	481	7.9	14.1	0.6	0.2
北陸山	51,018 (0.98)	36,431	4,627	9,960	7.8	10.1	6.2	4.5
東山	47,448 (0.64)	39,285	6,763	1,400	7.2	10.9	9.1	0.6
京阪周	20,096 (0.77)	3,736	457	15,903	3.1	1.0	0.6	7.2
山陰	19,912 (1.36)	4,045	1,856	14,011	3.0	1.1	2.5	6.3
山陽	50,085 (0.93)	12,973	3,949	33,163	7.7	3.6	5.3	15.0
四国	58,591 (1.44)	11,045	5,835	41,711	8.9	3.1	7.8	18.9
北九州	117,428 (1.49)	40,451	23,550	53,427	17.9	11.3	31.6	24.2
南九州	86,149 (1.76)	23,405	18,611	44,133	13.2	6.5	24.9	20.0
沖繩
1962年								
合計	647,453 (1.15)	364,360	72,072	211,021	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	33,812 (0.66)	27,295	3,042	3,475	5.2	7.5	4.2	1.6
北東北	52,266 (1.25)	45,901	4,566	1,799	8.1	12.6	6.3	0.9
北関東	73,859 (1.46)	70,145	1,951	1,763	11.4	19.3	2.7	0.8
北陸	47,927 (0.93)	47,251	144	532	7.4	13.0	0.2	0.3
北陸山	53,459 (1.04)	39,000	4,796	9,663	8.3	10.7	6.7	4.6
東山	42,089 (0.76)	36,407	4,184	1,498	6.5	10.0	5.8	0.7
京阪周	18,637 (0.71)	3,598	1,201	13,838	2.9	1.0	1.7	6.6
山陰	20,848 (1.44)	4,416	2,111	14,321	3.2	1.2	2.9	6.8
山陽	47,748 (0.88)	14,083	3,544	30,121	7.4	3.9	4.9	14.3
四国	56,144 (1.39)	10,888	5,266	39,990	8.7	3.0	7.3	19.0
北九州	114,295 (1.47)	39,431	23,705	51,159	17.7	10.8	32.9	24.2
南九州	86,369 (1.78)	25,945	17,562	42,862	13.3	7.1	24.4	20.3
沖繩
1963年								
合計	620,194 (1.10)	354,349	81,302	184,543	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	39,987 (0.78)	33,157	4,091	2,739	6.4	9.4	5.0	1.5
北東北	48,832 (1.18)	43,244	4,250	1,338	7.9	12.2	5.2	0.7
北関東	66,016 (1.31)	63,410	1,580	1,026	10.6	17.9	1.9	0.6
北陸	48,534 (0.94)	48,172	244	118	7.8	13.6	0.3	0.1
北陸山	51,267 (0.99)	37,310	5,406	8,551	8.3	10.5	6.6	4.6
東山	36,920 (0.66)	32,024	3,846	1,050	6.0	9.0	4.7	0.6
京阪周	13,718 (0.52)	3,241	1,374	9,103	2.2	0.9	1.7	4.9
山陰	20,126 (1.40)	4,565	2,117	13,444	3.2	1.3	2.6	7.3
山陽	48,100 (0.89)	14,834	5,201	28,065	7.8	4.2	6.4	15.2
四国	49,131 (1.22)	10,322	4,814	33,995	7.9	2.9	5.9	18.4
北九州	118,482 (1.53)	39,456	29,462	49,564	19.1	11.1	36.2	26.9
南九州	79,081 (1.65)	24,614	18,917	35,550	12.8	6.9	23.3	19.3
沖繩

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(4) 1964～66年

転出地域	合計(割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1964年								
合計	577,742 (1.03)	327,361	76,320	174,061	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	32,792 (0.64)	26,957	2,982	2,853	5.7	8.2	3.9	1.6
東北	50,409 (1.22)	42,084	6,954	1,371	8.7	12.9	9.1	0.8
関東	60,203 (1.20)	58,022	1,344	837	10.4	17.7	1.8	0.5
北陸	43,354 (0.84)	42,631	397	326	7.5	13.0	0.5	0.2
山陽	47,309 (0.92)	33,928	5,422	7,959	8.2	10.4	7.1	4.6
山陰	33,853 (0.61)	29,875	3,036	942	5.9	9.1	4.0	0.5
京阪周辺	11,860 (0.45)	3,203	903	7,754	2.1	1.0	1.2	4.5
山陽	19,594 (1.38)	4,420	2,166	13,008	3.4	1.4	2.8	7.5
山陽	40,564 (0.75)	12,160	3,412	24,992	7.0	3.7	4.5	14.4
四国	46,835 (1.17)	10,151	4,073	32,611	8.1	3.1	5.3	18.7
九州	112,053 (1.46)	39,463	27,333	45,257	19.4	12.1	35.8	26.0
九州	78,916 (1.66)	24,467	18,298	36,151	13.7	7.5	24.0	20.8
沖縄
1965年								
合計	480,605 (0.86)	297,582	52,364	130,659	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	31,102 (0.60)	25,746	2,968	2,388	6.5	8.7	5.7	1.8
東北	46,255 (1.13)	41,381	3,789	1,085	9.6	13.9	7.2	0.8
関東	54,332 (1.09)	52,641	1,031	660	11.3	17.7	2.0	0.5
北陸	40,812 (0.79)	40,343	101	368	8.5	13.6	0.2	0.3
北陸	44,173 (0.86)	32,545	4,042	7,586	9.2	10.9	7.7	5.8
山陽	32,266 (0.57)	28,283	2,890	1,093	6.7	9.5	5.5	0.8
京阪周辺	5,952 (0.22)	3,046	854	2,052	1.2	1.0	1.6	1.6
山陽	17,980 (1.29)	4,543	1,819	11,618	3.7	1.5	3.5	8.9
山陽	30,012 (0.55)	9,663	2,528	17,821	6.2	3.2	4.8	13.6
四国	39,509 (1.00)	9,439	3,424	26,646	8.2	3.2	6.5	20.4
九州	75,156 (0.99)	28,401	15,101	31,654	15.6	9.5	28.8	24.2
九州	63,056 (1.34)	21,551	13,817	27,688	13.1	7.2	26.4	21.2
沖縄
1966年								
合計	405,876 (0.73)	265,908	37,145	102,823	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	25,700 (0.50)	20,412	3,103	2,185	6.3	7.7	8.4	2.1
東北	38,012 (0.93)	34,956	2,626	430	9.4	13.1	7.1	0.4
関東	47,930 (0.96)	46,332	843	755	11.8	17.4	2.3	0.7
北陸	39,519 (0.76)	38,595	386	538	9.7	14.5	1.0	0.5
北陸	42,137 (0.82)	31,567	3,092	7,478	10.4	11.9	8.3	7.3
山陽	31,151 (0.55)	27,993	2,188	970	7.7	10.5	5.9	0.9
京阪周辺	4,015 (0.15)	3,318	813	- 116	1.0	1.2	2.2	- 0.1
山陽	15,312 (1.11)	4,232	1,016	10,064	3.8	1.6	2.7	9.8
山陽	23,416 (0.43)	5,801	2,104	15,511	5.8	2.2	5.7	15.1
四国	36,852 (0.94)	10,049	2,941	23,862	9.1	3.8	7.9	23.2
九州	54,993 (0.72)	22,831	9,428	22,734	13.5	8.6	25.4	22.1
九州	46,839 (1.00)	19,822	8,605	18,412	11.5	7.5	23.2	17.9
沖縄

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(5) 1967～69年

転出地域	合計(割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1967年								
合計	403,908 (0.72)	255,107	41,577	107,224	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	35,283 (0.68)	27,831	4,579	2,873	8.7	10.9	11.0	2.7
北東北	40,617 (1.00)	36,119	3,485	1,013	10.1	14.2	8.4	0.9
北関東	41,694 (0.84)	40,305	742	647	10.3	15.8	1.8	0.6
北陸	25,307 (0.49)	24,844	166	297	6.3	9.7	0.4	0.3
北陸山	40,660 (0.79)	30,309	3,360	6,991	10.1	11.9	8.1	6.5
東山	24,477 (0.43)	22,788	720	969	6.1	8.9	1.7	0.9
京阪周	2,938 (0.11)	3,433	320	-815	0.7	1.3	0.8	-0.8
山陰	13,611 (0.99)	3,812	917	8,882	3.4	1.5	2.2	8.3
山陽	23,461 (0.43)	7,003	3,542	12,916	5.8	2.7	8.5	12.0
四国	34,429 (0.88)	10,003	2,686	21,740	8.5	3.9	6.5	20.3
北九州	68,320 (0.90)	27,801	12,856	27,663	16.9	10.9	30.9	25.8
北九州	53,111 (1.14)	20,859	8,204	24,048	13.1	8.2	19.7	22.4
沖縄
1968年								
合計	418,145 (0.75)	258,747	47,523	111,875	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	39,519 (0.76)	30,999	5,164	3,356	9.5	12.0	10.9	3.0
北東北	40,280 (0.99)	35,425	3,812	1,043	9.6	13.7	8.0	0.9
北関東	41,314 (0.83)	39,937	756	621	9.9	15.4	1.6	0.6
北陸	18,448 (0.02)	19,467	-127	-892	4.4	7.5	-0.3	-0.8
北陸山	41,850 (0.82)	30,609	3,728	7,513	10.0	11.8	7.8	6.7
東山	25,134 (0.44)	22,159	2,053	922	6.0	8.6	4.3	0.8
京阪周	-248 (-0.01)	2,874	392	-3,514	-0.1	1.1	0.8	-3.1
山陰	12,765 (0.94)	3,749	884	8,132	3.1	1.4	1.9	7.3
山陽	21,847 (0.40)	8,947	2,086	10,814	5.2	3.5	4.4	9.7
四国	34,515 (0.88)	8,579	2,579	23,357	8.3	3.3	5.4	20.9
北九州	78,603 (1.03)	33,270	14,909	30,424	18.8	12.9	31.4	27.2
北九州	64,118 (1.39)	22,732	11,287	30,099	15.3	8.8	23.8	26.9
沖縄
1969年								
合計	425,699 (0.76)	249,951	54,784	120,964	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	47,348 (0.91)	36,712	6,196	4,440	11.1	14.7	11.3	3.7
北東北	43,275 (1.07)	37,592	4,154	1,529	10.2	15.0	7.6	1.3
北関東	40,802 (0.82)	38,740	911	1,151	9.6	15.5	1.7	1.0
北陸	2,003 (0.04)	3,152	-592	-557	0.5	1.3	-1.1	-0.5
北陸山	38,256 (0.75)	27,441	3,756	7,059	9.0	11.0	6.9	5.8
東山	26,533 (0.46)	22,018	3,189	1,326	6.2	8.8	5.8	1.1
京阪周	-5,042 (-0.18)	3,072	64	-8,178	-1.2	1.2	0.1	-6.8
山陰	12,569 (0.93)	3,609	592	8,368	3.0	1.4	1.1	6.9
山陽	21,371 (0.38)	8,129	1,982	11,260	5.0	3.3	3.6	9.3
四国	36,375 (0.93)	8,829	3,039	24,507	8.5	3.5	5.5	20.3
北九州	88,843 (1.17)	35,060	17,807	35,976	20.9	14.0	32.5	29.7
北九州	73,366 (1.61)	25,597	13,686	34,083	17.2	10.2	25.0	28.2
沖縄

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(6) 1970～72年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1970年								
合計	393,044 (0.70)	248,046	53,551	91,447	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	59,325 (1.15)	47,233	7,691	4,401	15.1	19.0	14.4	4.8
北東北	46,667 (1.16)	41,642	3,854	1,171	11.9	16.8	7.2	1.3
北関東	38,342 (0.77)	36,678	1,042	622	9.8	14.8	1.9	0.7
北陸	-3,660 (-0.07)	-1,173	-840	-1,647	-0.9	-0.5	-1.6	-1.8
北陸山	34,334 (0.67)	25,988	2,956	5,390	8.7	10.5	5.5	5.9
東山	18,806 (0.32)	15,226	2,489	1,091	4.8	6.1	4.6	1.2
京阪周辺	-12,477 (-0.44)	2,998	868	-16,343	-3.2	1.2	1.6	-17.9
山陰	11,363 (0.85)	3,530	585	7,248	2.9	1.4	1.1	7.9
山陽	17,824 (0.32)	9,223	1,856	6,745	4.5	3.7	3.5	7.4
四国	27,158 (0.70)	7,186	2,217	17,755	6.9	2.9	4.1	19.4
北九州	79,855 (1.06)	33,403	15,425	31,027	20.3	13.5	28.8	33.9
南九州	75,507 (1.69)	26,112	15,408	33,987	19.2	10.5	28.8	37.2
沖縄
1971年								
合計	287,900 (0.50)	205,500	36,543	45,857	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	45,018 (0.87)	36,507	5,481	3,030	15.6	17.8	15.0	6.6
北東北	41,037 (1.02)	37,099	2,883	1,055	14.3	18.1	7.9	2.3
北関東	38,237 (0.77)	36,901	861	475	13.3	18.0	2.4	1.0
北陸	-2,754 (-0.05)	-1,762	-306	-686	-1.0	-0.9	-0.8	-1.5
北陸山	31,158 (0.61)	24,131	2,930	4,097	10.8	11.7	8.0	8.9
東山	14,865 (0.25)	13,041	1,206	618	5.2	6.3	3.3	1.3
京阪周辺	-16,484 (-0.57)	2,607	1,028	-20,119	-5.7	1.3	2.8	-43.9
山陰	8,571 (0.64)	2,864	126	5,581	3.0	1.4	0.3	12.2
山陽	7,576 (0.13)	5,740	1,099	737	2.6	2.8	3.0	1.6
四国	18,785 (0.48)	6,181	1,892	10,712	6.5	3.0	5.2	23.4
北九州	49,173 (0.65)	22,822	8,734	17,617	17.1	11.1	23.9	38.4
南九州	52,718 (1.19)	19,369	10,609	22,740	18.3	9.4	29.0	49.6
沖縄	-
1972年								
合計	206,908 (0.36)	158,881	23,726	24,301	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	31,494 (0.61)	26,386	2,861	2,247	15.2	16.6	12.1	9.2
北東北	33,129 (0.82)	30,259	2,107	763	16.0	19.0	8.9	3.1
北関東	29,735 (0.59)	28,570	754	411	14.4	18.0	3.2	1.7
北陸	-1,178 (-0.02)	-781	69	-466	-0.6	-0.5	0.3	-1.9
北陸山	23,874 (0.46)	19,368	1,981	2,525	11.5	12.2	8.3	10.4
東山	13,786 (0.23)	12,545	577	664	6.7	7.9	2.4	2.7
京阪周辺	-19,033 (-0.64)	1,885	676	-21,594	-9.2	1.2	2.8	-88.9
山陰	5,361 (0.40)	1,953	254	3,154	2.6	1.2	1.1	13.0
山陽	6,398 (0.11)	5,098	-175	1,475	3.1	3.2	-0.7	6.1
四国	12,009 (0.30)	4,099	950	6,960	5.8	2.6	4.0	28.6
北九州	38,045 (0.50)	16,091	7,030	14,924	18.4	10.1	29.6	61.4
南九州	33,288 (0.75)	13,408	6,642	13,238	16.1	8.4	28.0	54.5
沖縄

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(7) 1973～75年

転出地域	合計(割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1973年								
合計	114,124(0.20)	96,985	22,063	-4,924	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	26,175(0.50)	21,042	3,373	1,760	22.9	21.7	15.3	-35.7
北東北	27,167(0.67)	24,739	1,866	562	23.8	25.5	8.5	-11.4
北関東	17,907(0.35)	17,060	764	83	15.7	17.6	3.5	-1.7
北陸	-16,040(-0.29)	-13,776	-227	-2,037	-14.1	-14.2	-1.0	41.4
北陸山	16,210(0.31)	14,112	1,227	871	14.2	14.6	5.6	-17.7
東山	4,880(0.08)	5,237	107	-464	4.3	5.4	0.5	9.4
京阪周辺	-24,524(-0.81)	1,118	358	-26,000	-21.5	1.2	1.6	528.0
山陰	2,895(0.22)	1,323	-27	1,599	2.5	1.4	-0.1	-32.5
山陽	1,719(0.03)	3,281	886	-2,448	1.5	3.4	4.0	49.7
四国	8,227(0.21)	3,294	861	4,072	7.2	3.4	3.9	-82.7
北九州	31,251(0.41)	12,899	7,140	11,212	27.4	13.3	32.4	-227.7
南九州	22,127(0.50)	9,242	5,520	7,365	19.4	9.5	25.0	-149.6
沖縄	-3,870(-0.39)	-2,586	215	-1,499	-3.4	-2.7	1.0	30.4
1974年								
合計	38,837(0.07)	52,950	6,879	-20,992	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	10,290(0.20)	9,015	716	559	26.5	17.0	10.4	-2.7
北東北	17,867(0.44)	16,473	1,090	304	46.0	31.1	15.8	-1.4
北関東	9,811(0.19)	10,071	51	-311	25.3	19.0	0.7	1.5
北陸	-18,463(-0.32)	-16,995	-286	-1,182	-47.5	-32.1	-4.2	5.6
北陸山	9,063(0.17)	7,646	649	768	23.3	14.4	9.4	-3.7
東山	5,997(0.10)	5,354	814	-171	15.4	10.1	11.8	0.8
京阪周辺	-18,423(-0.60)	2,102	723	-21,248	-47.4	4.0	10.5	101.2
山陰	1,835(0.14)	1,051	-98	882	4.7	2.0	-1.4	-4.2
山陽	1,380(0.02)	4,548	29	-3,197	3.6	8.6	0.4	15.2
四国	4,870(0.12)	3,175	314	1,381	12.5	6.0	4.6	-6.6
北九州	10,842(0.14)	6,895	1,668	2,279	27.9	13.0	24.2	-10.9
南九州	8,453(0.19)	5,980	1,371	1,102	21.8	11.3	19.9	-5.2
沖縄	-4,685(-0.46)	-2,365	-162	-2,158	-12.1	-4.5	-2.4	10.3
1975年								
合計	10,572(0.02)	44,513	-3,782	-30,159	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	3,727(0.07)	4,528	-578	-223	35.3	10.2	15.3	0.7
北東北	9,299(0.23)	9,172	122	5	88.0	20.6	-3.2	0.0
北関東	7,108(0.14)	8,155	-511	-536	67.2	18.3	13.5	1.8
北陸	-10,789(-0.19)	-9,331	-328	-1,130	-102.1	-21.0	8.7	3.7
北陸山	8,561(0.16)	8,527	-22	56	81.0	19.2	0.6	-0.2
東山	8,940(0.15)	8,392	584	-36	84.6	18.9	-15.4	0.1
京阪周辺	-17,589(-0.56)	1,823	317	-19,729	-166.4	4.1	-8.4	65.4
山陰	1,741(0.13)	1,227	-106	620	16.5	2.8	2.8	-2.1
山陽	2,147(0.04)	4,656	-392	-2,117	20.3	10.5	10.4	7.0
四国	3,521(0.09)	2,862	432	227	33.3	6.4	-11.4	-0.8
北九州	-4,449(-0.06)	1,036	-1,760	-3,725	-42.1	2.3	46.5	12.4
南九州	1,639(0.04)	4,715	-1,254	-1,822	15.5	10.6	33.2	6.0
沖縄	-3,284(-0.32)	-1,249	-286	-1,749	-31.1	-2.8	7.6	5.8

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(8) 1976～78年

転出地域	合計(割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1976年								
合計	22,508(-0.04)	25,571	-6,903	-41,176	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	557(0.01)	1,830	-811	-462	2.5	7.2	11.7	1.1
北東北	5,541(0.13)	6,012	-346	-125	24.6	23.5	5.0	0.3
南東北	3,396(0.07)	4,748	-773	-579	15.1	18.6	11.2	1.4
北関東	-14,508(-0.25)	-13,302	-417	-789	-64.5	-52.0	6.0	1.9
北陸	5,517(0.10)	6,315	-205	-593	24.5	24.7	3.0	1.4
東山	4,607(0.07)	5,416	-209	-600	20.5	21.2	3.0	1.5
京阪周辺	-21,572(-0.68)	853	176	-22,601	-95.8	3.3	-2.5	54.9
山陰	-504(-0.04)	569	-259	-814	-2.2	2.2	3.8	2.0
山陽	5,005(0.08)	6,684	249	-1,928	22.2	26.1	-3.6	4.7
四国	-902(-0.02)	1,788	-194	-2,496	-4.0	7.0	2.8	6.1
北九州	-5,150(-0.06)	629	-1,467	-4,312	-22.9	2.5	21.3	10.5
南九州	-6,280(-0.14)	2,373	-2,787	-5,866	-27.9	9.3	40.4	14.2
沖縄	1,785(0.17)	1,656	140	-11	7.9	6.5	-2.0	0.0
1977年								
合計	-9,447(-0.02)	35,368	-298	-44,517	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	3,888(0.07)	4,557	-232	-437	41.2	12.9	77.9	1.0
北東北	8,425(0.20)	8,817	-208	-184	89.2	24.9	69.8	0.4
南東北	4,831(0.09)	5,633	-414	-388	51.1	15.9	138.9	0.9
北関東	-15,021(-0.25)	-13,683	-467	-871	-159.0	-38.7	156.7	2.0
北陸	9,708(0.18)	9,215	804	-311	102.8	26.1	-269.8	0.7
東山	4,694(0.08)	4,863	555	-724	49.7	13.7	-186.2	1.6
京阪周辺	-25,802(-0.80)	1,302	459	-27,563	-273.1	3.7	-154.0	61.9
山陰	-811(-0.06)	523	-134	-1,200	-8.6	1.5	45.0	2.7
山陽	6,921(0.11)	5,977	1,292	-348	73.3	16.9	-433.6	0.8
四国	-990(-0.02)	1,761	185	-2,936	-10.5	5.0	-62.1	6.6
北九州	-2,631(-0.03)	1,196	-505	-3,322	-27.9	3.4	169.5	7.5
南九州	-5,918(-0.13)	2,987	-2,292	-6,613	-62.6	8.4	769.1	14.9
沖縄	3,259(0.31)	2,220	659	380	34.5	6.3	-221.1	-0.9
1978年								
合計	7,310(0.01)	44,500	421	-37,611	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	3,817(0.07)	4,496	-202	-477	52.2	10.1	-48.0	1.3
北東北	8,240(0.20)	9,311	-986	-85	112.7	20.9	-234.2	0.2
南東北	5,848(0.11)	6,552	-410	-294	80.0	14.7	-97.4	0.8
北関東	-22,097(-0.37)	-20,471	-769	-857	-302.3	-46.0	-182.7	2.3
北陸	8,922(0.17)	8,649	545	-272	122.1	19.4	129.5	0.7
東山	7,273(0.12)	7,914	251	-892	99.5	17.8	59.6	2.4
京阪周辺	-23,996(-0.74)	2,230	797	-27,023	-328.3	5.0	189.3	71.8
山陰	54(0.00)	677	242	-865	0.7	1.5	57.5	2.3
山陽	11,946(0.20)	9,143	1,638	1,165	163.4	20.5	389.1	-3.1
四国	1,883(0.05)	2,846	213	-1,176	25.8	6.4	50.6	3.1
北九州	3,984(0.05)	5,667	178	-1,861	54.5	12.7	42.3	4.9
南九州	-3,563(-0.08)	3,501	-1,722	-5,342	-48.7	7.9	-409.0	14.2
沖縄	4,999(0.46)	3,985	646	368	68.4	9.0	153.4	-1.0

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(9) 1979～81年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1979年								
合計	-14,629 (-0.02)	29,583	-2,752	-41,460	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	2,391 (0.04)	3,128	-645	-92	-16.3	10.6	23.4	0.2
北東北	8,875 (0.21)	9,062	-216	29	-60.7	30.6	7.8	-0.1
北関東	4,295 (0.08)	5,033	-363	-375	-29.4	17.0	13.2	0.9
北陸	-28,733 (-0.47)	-27,574	-332	-827	196.4	-93.2	12.1	2.0
北陸山	7,616 (0.14)	7,580	157	-121	-52.1	25.6	-5.7	0.3
東山	5,953 (0.09)	7,109	-611	-545	-40.7	24.0	22.2	1.3
京阪周辺	-27,940 (-0.84)	2,294	146	-30,380	191.0	7.8	-5.3	73.3
山陰	-431 (-0.03)	375	-207	-599	2.9	1.3	7.5	1.4
山陽	9,494 (0.16)	8,070	812	612	-64.9	27.3	-29.5	-1.5
四国	1,273 (0.03)	3,020	86	-1,833	-8.7	10.2	-3.1	4.4
北九州	3,930 (0.05)	6,023	7	-2,100	-26.9	20.4	-0.3	5.1
南九州	-4,463 (-0.10)	2,612	-1,895	-5,180	30.5	8.8	68.9	12.5
沖繩	3,111 (0.29)	2,851	309	-49	-21.3	9.6	-11.2	0.1
1980年								
合計	-7,713 (-0.01)	29,447	-382	-36,778	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	4,343 (0.08)	4,401	-115	57	-56.3	14.9	30.1	-0.2
北東北	10,992 (0.26)	10,904	7	81	-142.5	37.0	-1.8	-0.2
北関東	5,350 (0.10)	5,392	-268	226	-69.4	18.3	70.2	-0.6
北陸	-24,423 (-0.39)	-23,018	-388	-1,017	316.6	-78.2	101.6	2.8
北陸山	6,329 (0.12)	6,391	209	-271	-82.1	21.7	-54.7	0.7
東山	4,654 (0.07)	6,183	-972	-557	-60.3	21.0	254.5	1.5
京阪周辺	-26,717 (-0.80)	1,865	634	-29,216	346.4	6.3	-166.0	79.4
山陰	75 (0.01)	726	-138	-513	-1.0	2.5	36.1	1.4
山陽	4,111 (0.07)	4,134	197	-220	-53.3	14.0	51.6	0.6
四国	2,926 (0.07)	2,651	209	66	-37.9	9.0	54.7	-0.2
北九州	3,362 (0.04)	3,901	880	-1,419	-43.6	13.2	-230.4	3.9
南九州	-1,818 (-0.04)	3,185	-1,014	-3,989	23.6	10.8	265.4	10.8
沖繩	3,103 (0.28)	2,732	377	-6	-40.2	9.3	-98.7	0.0
1981年								
合計	30,682 (0.05)	52,712	1,746	-23,776	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	8,283 (0.15)	7,435	253	595	27.0	14.1	14.5	-2.5
北東北	14,859 (0.35)	14,372	296	191	48.4	27.3	17.0	-0.8
北関東	8,896 (0.16)	8,690	26	180	29.0	16.5	1.5	-0.8
北陸	-16,690 (-0.27)	-16,259	-137	-294	-54.4	-30.8	-7.8	1.2
北陸山	10,563 (0.19)	9,213	714	636	34.4	17.5	40.9	-2.7
東山	6,322 (0.10)	6,871	-276	-273	20.6	13.0	-15.8	1.1
京阪周辺	-19,332 (-0.57)	1,788	856	-21,976	-63.0	3.4	49.0	92.4
山陰	336 (0.02)	518	-96	-86	1.1	1.0	-5.5	0.4
山陽	3,851 (0.06)	4,868	-92	-925	12.6	9.2	-5.3	3.9
四国	4,452 (0.11)	3,248	495	709	14.5	6.2	28.4	-3.0
北九州	5,469 (0.07)	5,723	286	-540	17.8	10.9	16.4	2.3
南九州	1,253 (0.03)	4,012	-839	-1,920	4.1	7.6	-48.1	8.1
沖繩	2,420 (0.22)	2,233	260	-73	7.9	4.2	14.9	0.3

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(10) 1982～84年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1982年								
合計	54,896 (0.09)	64,927	3,719	-13,750	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	10,169 (0.18)	9,084	530	555	18.5	14.0	14.3	-4.0
北東北	17,413 (0.41)	16,809	389	215	31.7	25.9	10.5	-1.6
南東北	10,129 (0.19)	10,193	-19	-45	18.5	15.7	-0.5	0.3
北関東	-16,266 (-0.26)	-15,367	-418	-481	-29.6	-23.7	-11.2	3.5
北陸	10,083 (0.18)	9,364	457	262	18.4	14.4	12.3	-1.9
東山	3,982 (0.06)	5,404	-737	-685	7.3	8.3	-19.8	5.0
京阪周辺	-15,305 (-0.45)	2,360	878	-18,543	-27.9	3.6	23.6	134.9
山陰	1,299 (0.09)	1,053	-29	275	2.4	1.6	-0.8	-2.0
山陽	8,418 (0.14)	6,611	523	1,284	15.3	10.2	14.1	-9.3
四国	6,319 (0.15)	3,599	402	2,318	11.5	5.5	10.8	-16.9
北九州	10,869 (0.13)	8,319	1,204	1,346	19.8	12.8	32.4	-9.8
南九州	5,534 (0.12)	5,348	348	-162	10.1	8.2	9.4	1.2
沖縄	2,252 (0.20)	2,150	191	-89	4.1	3.3	5.1	0.6
1983年								
合計	82,660 (0.13)	82,889	4,330	-4,559	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	11,447 (0.20)	10,107	583	757	13.8	12.2	13.5	-16.6
北東北	18,046 (0.43)	17,507	460	79	21.8	21.1	10.6	-1.7
南東北	11,633 (0.21)	11,406	-31	258	14.1	13.8	-0.7	-5.7
北関東	-8,563 (-0.13)	-7,588	-429	-546	-10.4	-9.2	-9.9	12.0
北陸	12,172 (0.22)	10,597	689	886	14.7	12.8	15.9	-19.4
東山	5,977 (0.09)	7,254	-1,054	-223	7.2	8.8	-24.3	4.9
京阪周辺	-9,821 (-0.28)	2,771	647	-13,239	-11.9	3.3	14.9	290.4
山陰	2,715 (0.19)	1,365	127	1,223	3.3	1.6	2.9	-26.8
山陽	11,039 (0.18)	7,446	824	2,769	13.4	9.0	19.0	-60.7
四国	7,126 (0.17)	4,006	831	2,289	8.6	4.8	19.2	-50.2
北九州	12,740 (0.15)	10,430	972	1,338	15.4	12.6	22.4	-29.3
南九州	7,574 (0.16)	6,827	521	226	9.2	8.2	12.0	-5.0
沖縄	575 (0.05)	761	190	-376	0.7	0.9	4.4	8.2
1984年								
合計	89,576 (0.14)	85,863	5,868	-2,155	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	16,825 (0.30)	15,020	971	834	18.8	17.5	16.5	-38.7
北東北	18,244 (0.43)	17,402	590	252	20.4	20.3	10.1	-11.7
南東北	11,084 (0.20)	10,756	341	-13	12.4	12.5	5.8	0.6
北関東	-5,591 (-0.09)	-4,338	-454	-799	-6.2	-5.1	-7.7	37.1
北陸	11,838 (0.21)	10,461	576	801	13.2	12.2	9.8	-37.2
東山	1,302 (0.02)	2,829	-1,275	-252	1.5	3.3	-21.7	11.7
京阪周辺	-9,366 (-0.27)	2,550	773	-12,689	-10.5	3.0	13.2	588.8
山陰	2,107 (0.15)	1,344	95	668	2.4	1.6	1.6	-31.0
山陽	11,589 (0.18)	8,010	929	2,650	12.9	9.3	15.8	-123.0
四国	7,677 (0.18)	3,621	595	3,461	8.6	4.2	10.1	-160.6
北九州	16,934 (0.20)	12,087	2,040	2,807	18.9	14.1	34.8	-130.3
南九州	7,100 (0.15)	5,836	648	616	7.9	6.8	11.0	-28.6
沖縄	-167 (-0.01)	285	39	-491	-0.2	0.3	0.7	22.8

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(1) 1985～87年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1985年								
合計	102,450 (0.16)	94,780	11,807	-4,137	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	21,975 (0.39)	19,454	1,722	799	21.4	20.5	14.6	-19.3
北東北	18,588 (0.44)	17,421	917	250	18.1	18.4	7.8	-6.0
南東北	11,927 (0.22)	11,506	334	87	11.6	12.1	2.8	-2.1
北関東	-6,433 (-0.10)	-5,028	-604	-801	-6.3	-5.3	-5.1	19.4
北陸	11,827 (0.21)	10,253	1,404	170	11.5	10.8	11.9	-4.1
東山	-1,592 (-0.02)	830	-515	-1,907	-1.6	0.9	-4.4	46.1
京阪周辺	-7,900 (-0.22)	3,102	874	-11,876	-7.7	3.3	7.4	287.1
山陰	2,402 (0.17)	1,375	288	739	2.3	1.5	2.4	-17.9
山陽	13,448 (0.21)	10,129	896	2,423	13.1	10.7	7.6	-58.6
四国	7,935 (0.19)	4,862	714	2,359	7.7	5.1	6.0	-57.0
北九州	20,015 (0.24)	13,677	3,956	2,382	19.5	14.4	33.5	-57.6
南九州	10,373 (0.21)	7,165	1,586	1,622	10.1	7.6	13.4	-39.2
沖縄	-115 (-0.01)	34	235	-384	-0.1	0.0	2.0	9.3
1986年								
合計	149,805 (0.23)	124,777	16,820	8,208	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	27,339 (0.48)	24,840	1,499	1,000	18.2	19.9	8.9	12.2
北東北	22,156 (0.53)	20,905	838	413	14.8	16.8	5.0	5.0
南東北	14,800 (0.27)	14,359	219	222	9.9	11.5	1.3	2.7
北関東	-1,862 (-0.03)	-835	-412	-615	-1.2	-0.7	-2.4	-7.5
北陸	16,825 (0.30)	13,314	1,978	1,533	11.2	10.7	11.8	18.7
東山	3,008 (0.05)	4,334	175	-1,501	2.0	3.5	1.0	-18.3
京阪周辺	-5,933 (-0.17)	3,221	1,150	-10,304	-4.0	2.6	6.8	-125.5
山陰	3,054 (0.22)	1,532	207	1,315	2.0	1.2	1.2	16.0
山陽	15,963 (0.25)	10,591	1,482	3,890	10.7	8.5	8.8	47.4
四国	10,729 (0.25)	5,033	1,172	4,524	7.2	4.0	7.0	55.1
北九州	26,925 (0.32)	16,046	5,156	5,723	18.0	12.9	30.7	69.7
南九州	14,892 (0.31)	9,661	3,174	2,057	9.9	7.7	18.9	25.1
沖縄	1,909 (0.16)	1,776	182	-49	1.3	1.4	1.1	-0.6
1987年								
合計	147,076 (0.23)	129,165	15,341	2,570	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	29,038 (0.51)	26,633	1,783	622	19.7	20.6	11.6	24.2
北東北	20,796 (0.50)	19,884	613	299	14.1	15.4	4.0	11.6
南東北	12,323 (0.22)	12,051	265	7	8.4	9.3	1.7	0.3
北関東	-5,281 (-0.08)	-3,764	-345	-1,172	-3.6	-2.9	-2.2	-45.6
北陸	15,422 (0.28)	13,169	1,043	1,210	10.5	10.2	6.8	47.1
東山	5,875 (0.09)	5,899	792	-816	4.0	4.6	5.2	-31.8
京阪周辺	-9,799 (-0.27)	4,421	931	-15,151	-6.7	3.4	6.1	-589.5
山陰	3,075 (0.22)	1,746	275	1,054	2.1	1.4	1.8	41.0
山陽	19,669 (0.31)	12,865	1,576	5,228	13.4	10.0	10.3	203.4
四国	11,723 (0.28)	6,018	1,657	4,048	8.0	4.7	10.8	157.5
北九州	27,777 (0.33)	18,549	4,060	5,168	18.9	14.4	26.5	201.1
南九州	14,089 (0.29)	9,394	2,580	2,115	9.6	7.3	16.8	82.3
沖縄	2,369 (0.20)	2,300	111	-42	1.6	1.8	0.7	-1.6

表9 各地域から3大都市圏への転出超過：1955～89年（つづき）

(12) 1988～89年

転出地域	合計 (割合%)	東京圏	中京圏	阪神圏	合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1988年								
合計	103,787 (0.16)	98,451	11,479	-6,143	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	19,716 (0.35)	18,270	1,144	302	19.0	18.6	10.0	-4.9
北東北	19,834 (0.48)	19,108	500	226	19.1	19.4	4.4	-3.7
南東北	9,378 (0.17)	9,752	86	-460	9.0	9.9	0.7	7.5
北関東	-11,318 (-0.17)	-10,702	-170	-446	-10.9	-10.9	-1.5	7.3
北陸	12,241 (0.22)	10,774	768	699	11.8	10.9	6.7	-11.4
東山	1,622 (0.02)	3,204	-101	-1,481	1.6	3.3	-0.9	24.1
京阪周辺	-15,079 (-0.42)	2,784	1,002	-18,865	-14.5	2.8	8.7	307.1
山陰	2,722 (0.19)	1,597	210	915	2.6	1.6	1.8	-14.9
山陽	15,778 (0.25)	10,561	1,097	4,120	15.2	10.7	9.6	-67.1
四国	9,231 (0.22)	4,976	852	3,403	8.9	5.1	7.4	-55.4
北九州	23,000 (0.27)	16,097	3,610	3,293	22.2	16.4	31.4	-53.6
南九州	13,330 (0.28)	9,240	2,217	1,873	12.8	9.4	19.3	-30.5
沖縄	3,332 (0.28)	2,790	264	278	3.2	2.8	2.3	-4.5
1989年								
合計	93,275 (0.14)	87,467	16,759	-10,951	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	19,218 (0.34)	17,017	1,839	362	20.6	19.5	11.0	-3.3
北東北	18,816 (0.45)	17,865	733	218	20.2	20.4	4.4	-2.0
南東北	8,572 (0.15)	8,266	356	-50	9.2	9.5	2.1	0.5
北関東	-14,263 (-0.21)	-12,221	-883	-1,159	-15.3	-14.0	-5.3	10.6
北陸	11,149 (0.20)	8,991	1,120	1,038	12.0	10.3	6.7	-9.5
東山	1,236 (0.02)	1,156	384	-304	1.3	1.3	2.3	2.8
京阪周辺	-20,744 (-0.57)	2,775	1,933	-25,452	-22.2	3.2	11.5	232.4
山陰	3,201 (0.23)	1,761	179	1,261	3.4	2.0	1.1	-11.5
山陽	16,636 (0.26)	9,884	2,329	4,423	17.8	11.3	13.9	-40.4
四国	9,425 (0.22)	4,927	961	3,537	10.1	5.6	5.7	-32.3
北九州	21,963 (0.26)	14,648	4,131	3,184	23.5	16.7	24.6	-29.1
南九州	14,443 (0.30)	9,333	3,327	1,783	15.5	10.7	19.9	-16.3
沖縄	3,623 (0.30)	3,065	350	208	3.9	3.5	2.1	-1.9

表10 類型別にみた府県間移動数：1954～89年

年次	移 動 数 (1,000人)				類 型 別 割 合 (%)				
	総 数	大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 か ら 非 大 都 市 圏	非 大 都 市 圏 か ら 大 都 市 圏 内	非 大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 内	大 都 市 圏 か ら 非 大 都 市 圏	非 大 都 市 圏 か ら 大 都 市 圏 内	非 大 都 市 圏 内
1954	2,353	588	403	788	573	25.0	17.1	33.5	24.4
1955	2,227	563	385	738	540	25.3	17.3	33.1	24.2
1956	2,122	539	342	743	499	25.4	16.1	35.0	23.5
1957	2,380	593	359	866	562	24.9	15.1	36.4	23.6
1958	2,381	618	393	815	556	26.0	16.5	34.2	23.4
1959	2,443	649	389	880	524	26.6	15.9	36.0	21.4
1960	2,680	706	406	999	568	26.3	15.1	37.3	21.2
1961	2,952	794	449	1,104	606	26.9	15.2	37.4	20.5
1962	3,303	919	536	1,184	664	27.8	16.2	35.8	20.1
1963	3,473	995	589	1,209	679	28.6	17.0	34.8	19.6
1964	3,634	1,089	639	1,217	688	30.0	17.6	33.5	18.9
1965	3,692	1,116	705	1,186	685	30.2	19.1	32.1	18.6
1966	3,684	1,144	732	1,138	670	31.1	19.9	30.9	18.2
1967	3,761	1,180	750	1,154	677	31.4	19.9	30.7	18.0
1968	3,937	1,241	784	1,202	710	31.5	19.9	30.5	18.0
1969	4,116	1,301	827	1,252	735	31.6	20.1	30.4	17.9
1970	4,235	1,346	870	1,263	757	31.8	20.5	29.8	17.9
1971	4,257	1,352	926	1,214	764	31.8	21.8	28.5	17.9
1972	4,157	1,361	921	1,127	748	32.7	22.2	27.1	18.0
1973	4,234	1,378	985	1,099	773	32.5	23.3	26.0	18.3
1974	3,932	1,259	949	987	738	32.0	24.1	25.1	18.8
1975	3,698	1,174	901	912	711	31.7	24.4	24.7	19.2
1976	3,565	1,150	873	850	692	32.3	24.5	23.8	19.4
1977	3,568	1,136	867	858	706	31.8	24.3	24.0	19.8
1978	3,487	1,123	829	837	699	32.2	23.8	24.0	20.0
1979	3,469	1,129	827	812	701	32.5	23.8	23.4	20.2
1980	3,356	1,084	795	789	688	32.3	23.7	23.5	20.5
1981	3,318	1,050	768	799	701	31.6	23.1	24.1	21.1
1982	3,288	1,032	751	806	700	31.4	22.8	24.5	21.3
1983	3,196	1,006	711	794	685	31.5	22.2	24.8	21.4
1984	3,137	986	692	782	678	31.4	22.1	24.9	21.6
1985	3,117	983	679	782	673	31.5	21.8	25.1	21.6
1986	3,129	1,000	658	808	663	32.0	21.0	25.8	21.2
1987	3,171	1,052	656	803	659	33.2	20.7	25.3	20.8
1988	3,137	1,052	668	772	645	33.5	21.3	24.6	20.6
1989	3,159	1,058	682	774	644	33.5	21.6	24.5	20.4

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』によって人口問題研究所が算出。日本人についてのみ。

表11 3大都市圏別にみた大都市圏の転入超過人口：1954～89年

年次	実数				割合(%)			
	3大都市圏合計	東京圏	中京圏	阪神圏	3大都市圏合計	東京圏	中京圏	阪神圏
1954	384,680	257,756	23,872	103,052	100.0	67.0	6.2	26.8
1955	352,833	234,658	23,067	95,108	100.0	66.5	6.5	27.0
1956	401,956	247,117	41,725	113,114	100.0	61.5	10.4	28.1
1957	507,195	294,637	44,017	168,541	100.0	58.1	8.7	33.2
1958	421,652	272,818	26,082	122,752	100.0	64.7	6.2	29.1
1959	490,864	300,883	44,621	145,360	100.0	61.3	9.1	29.6
1960	593,820	333,208	71,777	188,835	100.0	56.1	12.1	31.8
1961	654,698	359,237	74,612	220,849	100.0	54.9	11.4	33.7
1962	647,453	364,360	72,072	211,021	100.0	56.3	11.1	32.6
1963	620,194	354,349	81,302	184,543	100.0	57.1	13.1	29.8
1964	577,742	327,361	76,320	174,061	100.0	56.7	13.2	30.1
1965	480,605	297,582	52,364	130,659	100.0	61.9	10.9	27.2
1966	405,876	265,908	37,145	102,823	100.0	65.5	9.2	25.3
1967	403,908	255,107	41,577	107,224	100.0	63.2	10.3	26.5
1968	418,145	258,747	47,523	111,875	100.0	61.9	11.4	26.8
1969	425,699	249,951	54,784	120,964	100.0	58.7	12.9	28.4
1970	393,044	248,046	53,551	91,447	100.0	63.1	13.6	23.3
1971	287,900	205,500	36,543	45,857	100.0	71.4	12.7	15.9
1972	206,908	158,881	23,726	24,301	100.0	76.8	11.5	11.7
1973	114,124	96,985	22,063	-4,924	100.0	85.0	19.3	-4.3
1974	38,836	52,950	6,879	-20,993	100.0	136.3	17.7	-54.1
1975	10,572	44,513	-3,782	-30,159	100.0	421.0	-35.8	-285.3
1976	-22,508	25,571	-6,903	-41,176	100.0	-113.6	-30.7	-182.9
1977	-9,447	35,368	-298	-44,517	100.0	-374.4	-3.2	-471.2
1978	7,310	44,500	421	-37,611	100.0	608.8	5.8	-514.5
1979	-14,629	29,583	-2,752	-41,460	100.0	-202.2	-18.8	-283.4
1980	-5,819	30,578	-232	-36,165	100.0	-525.5	-4.0	-621.5
1981	30,682	52,712	1,746	-23,776	100.0	171.8	5.7	-77.5
1982	54,896	64,927	3,719	-13,750	100.0	118.3	6.8	-25.0
1983	82,660	82,889	4,330	-4,559	100.0	100.3	5.2	-5.5
1984	89,576	85,863	5,868	-2,155	100.0	95.9	6.6	-2.4
1985	102,450	94,780	11,807	-4,137	100.0	92.5	11.5	-4.0
1986	149,805	124,777	16,820	8,208	100.0	83.3	11.2	5.5
1987	147,076	129,165	15,341	2,570	100.0	87.8	10.4	1.7
1988	103,787	98,451	11,479	-6,143	100.0	94.9	11.1	-5.9
1989	92,196	89,405	14,178	-11,387	100.0	97.0	15.4	-12.4

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報』によって人口問題研究所が算出。大都市圏間の移動は含まれない。日本人についてのみ。-は転出超過を示す。なお、本表の地域区分は次のとおりである。

東京圏：埼玉、千葉、東京、神奈川の1都3県。中京圏：岐阜、愛知、三重の3県。阪神圏：京都、大阪、兵庫の2府1県。

表12 都道府県別流出超過数：1920～85年

(一は流入超過)

都道府県	流出超過数										
	1920 ～25年	1925 ～30年	1930 ～35年	1947 ～50年	1950 ～55年	1955 ～60年	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年
北海道	128,045	-35,538	35,829	-114,445	-44,379	52,976	178,490	284,284	159,559	16,564	86,939
青森	19,400	22,616	15,385	-9,145	31,445	59,310	101,363	72,180	38,775	9,944	49,833
岩手	16,519	15,111	22,791	3,967	44,522	70,628	111,786	101,218	46,311	18,635	30,513
宮城	14,379	13,526	29,778	16,974	84,607	91,860	75,753	16,754	-33,380	-27,858	-8,282
秋田	41,557	43,772	53,805	30,875	69,163	89,745	110,949	80,981	50,823	15,971	31,321
山形	30,041	42,884	60,068	53,195	97,223	97,411	103,262	72,448	45,103	7,308	20,213
福島	52,127	73,838	74,046	72,723	147,215	174,347	160,146	109,770	59,528	16,252	22,708
茨城	48,862	46,196	62,475	95,254	122,245	121,164	76,038	3,191	-75,583	-107,196	-76,113
栃木	57,581	57,214	51,829	85,975	117,537	110,532	53,880	6,058	-26,490	-14,278	-11,091
群馬	18,453	30,539	44,474	66,864	96,534	112,303	38,461	20,930	-2,426	-15,540	-15,674
埼玉	18,608	42,854	38,100	84,191	32,670	-51,472	-419,643	-571,404	-560,405	-288,662	-212,556
千葉	8,584	23,056	24,268	90,450	66,475	-579	-264,801	-464,691	-487,432	-336,579	-210,369
東京	-580,864	-557,545	-540,554	-950,192	-1,323,317	-1,164,201	-465,184	305,233	566,269	576,234	156,462
神奈川	-21,335	-82,535	-92,855	-121,539	-248,530	-346,575	-709,255	-625,124	-405,448	-138,182	-214,922
新潟	52,629	64,609	92,518	103,976	162,023	149,331	137,950	129,401	70,048	30,162	37,601
富山	20,840	22,496	30,571	29,298	43,489	26,787	42,939	36,881	11,616	4,897	8,701
石川	25,875	26,319	19,020	26,120	41,863	31,078	30,408	22,280	-8,392	-3,459	20
福井	30,769	10,314	-1,354	14,053	43,207	32,855	32,190	34,322	5,803	7,956	-987
山梨	32,154	24,721	38,846	41,876	59,441	62,172	50,248	30,835	10,210	3,764	-9,908
長野	43,748	44,894	130,509	102,351	146,388	114,065	89,995	69,967	23,908	3,759	-4,634
岐阜	17,995	43,719	38,814	41,597	55,652	24,626	21,520	29,093	-4,785	-12,954	-9,018
静岡	18,187	34,553	20,159	44,358	12,981	48,271	-2,645	-7,105	-12,348	24,030	-3,310
愛知	-88,764	-74,412	-101,413	-64,945	-160,642	-237,867	-300,194	-213,557	-79,568	36,832	22,825
三重	28,721	30,205	56,618	33,888	56,411	59,778	34,715	34,730	-6,101	-3,930	-18,884
滋賀	19,614	8,143	14,861	39,806	51,534	42,449	19,733	-2,842	-44,560	-45,910	-34,646
京都	-62,588	-73,705	-70,980	-1,450	-14,596	10,497	-19,198	-32,384	-34,128	1,225	12,606
大阪	-340,495	-287,266	-545,012	-317,932	-502,676	-624,467	-710,330	-379,533	393	238,857	109,010
兵庫	-14,070	-29,288	-112,044	-70,728	-100,587	-106,641	-175,972	-83,516	904	78,314	30,643
奈良	17,977	25,657	8,524	52,526	28,056	23,377	-13,887	-61,468	-86,954	-84,063	-56,419
和歌山	13,257	12,799	17,504	29,329	27,215	44,000	15,036	26,567	18,127	16,239	20,575
鳥取	11,752	12,449	27,148	20,843	25,193	42,351	37,763	24,947	7,375	-4,800	3,564
島根	21,837	14,603	28,738	33,181	36,954	74,579	88,674	63,669	23,997	697	3,582
岡山	38,841	24,302	24,589	43,131	57,057	83,731	75,620	-1,675	-20,045	7,874	2,046
広島	20,481	33,738	-5,184	38,698	50,414	53,588	-7,968	-41,138	-54,127	24,410	4,494
山口	-1,552	18,668	7,612	25,280	28,599	75,528	115,082	87,307	22,643	16,282	18,565
徳島	22,380	24,767	36,947	30,611	56,864	66,149	55,995	43,970	11,638	856	7,365
香川	26,496	22,419	38,008	28,617	52,950	59,677	44,458	20,936	-11,694	-4,723	838
愛媛	29,064	40,767	65,392	32,274	89,600	113,322	110,761	77,871	14,325	8,019	12,664
高知	22,536	12,121	43,838	20,280	37,343	57,520	62,213	40,941	1,108	-6,397	3,615
福岡	29,750	-63,377	-47,432	-114,894	-38,040	62,786	230,111	138,376	-34,890	-59,753	-2,788
佐賀	36,973	42,804	53,732	33,179	49,912	86,174	108,865	64,901	33,762	2,153	11,496
長崎	56,438	19,960	30,063	832	59,122	109,214	211,136	145,389	71,199	41,236	45,122
熊本	23,482	40,535	65,779	54,374	77,212	144,767	158,858	128,887	43,437	-17,032	5,140
大分	1,060	30,769	28,303	54,028	58,963	95,091	93,299	66,925	9,468	645	6,419
宮崎	15,381	-3,575	7,522	13,605	49,891	79,790	107,960	72,876	14,814	-18,297	15,578
鹿児島	71,731	50,588	102,594	62,460	153,587	211,107	190,107	176,437	52,609	-13,341	10,584
沖縄	58,862	24,856	30,242	...	-7,986	15,974	34,950	69,105	-11,923	15,684	1,714

総務庁統計局『昭和60年国勢調査最終報告書 日本の人口（資料編）』による。

流出超過数は国勢調査間5年の人口増減から人口動態統計より算出される自然増加を差し引いたものである。

表13 都道府県別流出超過率：1920～85年

(一は流入超過)

都道府県	流出超過率(%)										
	1920 ～25年	1925 ～30年	1930 ～35年	1947 ～50年	1950 ～55年	1955 ～60年	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年
北海道	5.4	-1.4	1.3	-3.0	-1.0	1.1	3.5	5.5	3.1	0.3	1.6
青森	2.6	2.8	1.7	-0.8	2.5	4.3	7.1	5.1	2.7	0.7	3.3
岩手	2.0	1.7	2.3	0.3	3.3	4.9	7.7	7.2	3.4	1.3	2.1
宮城	1.5	1.3	2.6	1.1	5.1	5.3	4.3	1.0	-1.8	-1.4	-0.4
秋田	4.6	4.7	5.4	2.5	5.3	6.7	8.3	6.3	4.1	1.3	2.5
山形	3.1	4.2	5.6	4.0	7.2	7.2	7.8	5.7	3.7	0.6	1.6
福島	3.8	5.1	4.9	3.6	7.1	8.3	7.8	5.5	3.1	0.8	1.1
茨城	3.6	3.3	4.2	4.7	6.0	5.9	3.7	0.2	-3.5	-4.6	-3.0
栃木	5.5	5.2	4.5	5.6	7.6	7.2	3.6	0.4	-1.7	-0.8	-0.6
群馬	1.8	2.7	3.7	4.3	6.0	6.9	2.4	1.3	-0.1	-0.9	-0.8
埼玉	1.4	3.1	2.6	4.0	1.5	-2.3	-17.3	-19.0	-14.5	-6.0	-3.9
千代田	0.6	1.6	1.7	4.3	3.1	-0.0	-11.5	-17.2	-14.5	-8.1	-4.4
東京都	-15.7	-12.4	-10.0	-19.0	-21.1	-14.5	-4.8	2.8	5.0	4.9	1.3
神奈川県	-1.6	-5.8	-5.7	-5.5	-10.0	-11.9	-20.6	-14.1	-7.4	-2.2	-3.1
新潟	3.0	3.5	4.8	4.3	6.6	6.0	5.6	5.4	3.0	1.3	1.5
富山	2.9	3.0	3.9	3.0	4.3	2.6	4.2	3.6	1.1	0.5	0.8
石川	3.5	3.5	2.5	2.8	4.4	3.2	3.1	2.3	-0.8	-0.3	0.0
福井	5.1	1.7	-0.2	1.9	5.7	4.4	4.3	4.6	0.8	1.0	-0.1
山梨	5.5	4.1	6.2	5.2	7.3	7.7	6.4	4.0	1.3	0.5	-1.2
長野	2.8	2.8	7.6	5.0	7.1	5.6	4.5	3.6	1.2	0.2	-0.2
岐阜	1.7	3.9	3.3	2.8	3.6	1.6	1.3	1.7	-0.3	-0.7	-0.5
静岡県	1.2	2.1	1.1	1.9	0.5	1.8	-0.1	-0.2	-0.4	0.7	-0.1
愛知県	-4.2	-3.2	-4.0	-2.1	-4.7	-6.3	-7.1	-4.5	-1.5	0.6	0.4
三重	2.7	2.7	4.9	2.4	3.9	4.0	2.3	2.3	-0.4	-0.2	-1.1
滋賀	3.0	1.2	2.1	4.6	6.0	5.0	2.3	-0.3	-5.0	-4.7	-3.2
京都	-4.9	-5.2	-4.6	-0.1	-0.8	0.5	-1.0	-1.5	-1.5	0.1	0.5
大阪府	-13.2	-9.4	-15.4	-9.5	-13.0	-13.5	-12.9	-5.7	0.0	2.9	1.3
兵庫県	-0.6	-1.2	-4.2	-2.3	-3.0	-2.9	-4.5	-1.9	0.0	1.6	0.6
奈良	3.2	4.4	1.4	6.7	3.7	3.0	-1.8	-7.4	-9.3	-7.8	-4.7
和歌山	1.8	1.6	2.1	3.1	2.8	4.4	1.5	2.6	1.7	1.5	1.9
鳥取	2.6	2.6	5.5	3.5	4.2	6.9	6.3	4.3	1.3	-0.8	0.6
島根	3.1	2.0	3.9	3.7	4.0	8.0	10.0	7.7	3.1	0.1	0.5
岡山	3.2	2.0	1.9	2.7	3.4	5.0	4.5	-0.1	-1.2	0.4	0.1
広島	1.3	2.1	-0.3	1.9	2.4	2.5	-0.4	-1.8	-2.2	0.9	0.2
山口	-0.1	1.7	0.7	1.7	1.9	4.7	7.2	5.7	1.5	1.0	1.2
徳島	3.3	3.6	5.2	3.6	6.5	7.5	6.6	5.4	1.5	0.1	0.9
香川	3.9	3.2	5.2	3.1	5.6	6.3	4.8	2.3	-1.3	-0.5	0.1
愛媛	2.8	3.7	5.7	2.2	5.9	7.4	7.4	5.4	1.0	0.5	0.8
高知	3.4	1.8	6.1	2.4	4.3	6.5	7.3	5.0	0.1	-0.8	0.4
福岡	1.4	-2.8	-1.9	-3.6	-1.1	1.6	5.7	3.5	-0.9	-1.4	-0.1
佐賀	5.5	6.3	7.8	3.6	5.3	8.8	11.5	7.4	4.0	0.3	1.3
長崎	5.0	1.7	2.4	0.1	3.6	6.2	12.0	8.9	4.5	2.6	2.8
熊本	1.9	3.1	4.9	3.1	4.2	7.6	8.6	7.3	2.6	-1.0	0.3
大分	0.1	3.4	3.0	4.4	4.7	7.4	7.5	5.6	0.8	0.1	0.5
宮崎	2.4	-0.5	1.0	1.3	4.6	7.0	9.5	6.7	1.4	-1.7	1.4
鹿児島	5.1	3.4	6.6	3.6	7.6	10.3	9.7	9.5	3.0	-0.8	0.6
沖縄	10.3	4.5	5.2	...	-1.1	2.0	4.0	7.4	-1.3	1.5	0.2

表12注参照。表27参照。

表14 都道府県別にみた府県内・府県間別市区町村間移動数：1989年

都道府県	実 数				率 (%)				
	府県内 移動者	他府県から の転入者	他府県へ の転出者	府 県 間 転入超過 ¹⁾	府県内 移動者	他府県 からの 転入者	他府県 への 転出者	府県間転入超過 ¹⁾	
								1989年	1988年
全 国	3,359,181	3,158,749	3,158,749	..	2.74	2.58	2.58
北 海 道	318,709	67,768	89,563	-21,795	5.63	1.20	1.58	-0.39	-0.42
青 森	28,939	30,617	42,475	-11,858	1.93	2.04	2.84	-0.79	-0.85
岩 手	32,354	26,015	34,224	- 8,209	2.28	1.84	2.42	-0.58	-0.51
宮 城	64,858	60,683	56,652	4,031	2.91	2.72	2.54	0.18	0.20
秋 田	19,806	18,870	25,742	- 6,872	1.61	1.53	2.09	-0.56	-0.62
山 形	17,783	18,360	23,054	- 4,694	1.41	1.46	1.83	-0.37	-0.31
福 島	36,268	37,295	41,005	- 3,710	1.73	1.78	1.96	-0.18	-0.23
茨 城	52,180	73,326	57,506	15,820	1.85	2.60	2.04	0.56	0.53
栃 木	30,995	42,097	37,849	4,248	1.62	2.20	1.98	0.22	0.18
群 馬	37,084	35,036	32,845	2,191	1.90	1.79	1.68	0.11	0.04
埼 玉	152,017	245,955	171,058	74,897	2.42	3.92	2.73	1.19	1.34
千 葉	135,651	221,005	167,687	53,318	2.49	4.05	3.07	0.98	1.16
東 京	403,754	454,815	516,574	-61,759	3.45	3.89	4.42	-0.53	-0.62
神 奈 川	246,204	300,590	249,761	50,829	3.15	3.84	3.19	0.65	0.76
新 潟	43,836	34,887	41,666	- 6,779	1.77	1.41	1.68	-0.27	-0.28
富 山	14,758	17,032	18,886	- 1,854	1.32	1.52	1.69	-0.17	-0.19
石 川	19,896	22,532	23,873	- 1,341	1.72	1.95	2.06	-0.12	-0.13
福 井	11,070	13,032	14,819	- 1,787	1.35	1.59	1.81	-0.22	-0.22
山 梨	19,316	19,600	18,084	1,516	2.28	2.31	2.14	0.18	0.17
長 野	47,950	36,753	37,777	- 1,024	2.23	1.71	1.76	-0.05	-0.09
岐 阜	36,333	39,728	39,211	517	1.77	1.94	1.91	0.03	0.04
静 岡	71,847	75,629	74,434	1,195	1.97	2.08	2.04	0.03	0.07
愛 知	197,963	132,694	128,744	3,950	3.01	2.02	1.96	0.06	0.03
三 重	32,455	41,478	34,726	6,752	1.83	2.33	1.95	0.38	0.19
滋 賀	20,383	35,578	25,301	10,277	1.70	2.96	2.11	0.86	0.69
京 都	71,558	67,242	73,620	- 6,378	2.79	2.62	2.87	-0.25	-0.13
大 阪	273,070	195,871	240,157	-44,286	3.18	2.28	2.80	-0.52	-0.42
兵 庫	150,529	133,228	118,988	14,240	2.84	2.51	2.24	0.27	0.13
奈 良	23,985	47,452	34,969	12,483	1.76	3.48	2.56	0.92	0.81
和 歌 山	16,520	20,431	21,288	- 857	1.54	1.90	1.98	-0.08	-0.29
鳥 取	9,659	12,644	14,153	- 1,509	1.57	2.05	2.30	-0.24	-0.19
島 根	15,190	15,251	18,896	- 3,645	1.93	1.94	2.40	-0.46	-0.43
山 岡	33,086	38,856	41,734	- 2,878	1.72	2.02	2.17	-0.15	-0.16
広 島	94,909	68,622	73,127	- 4,505	3.35	2.42	2.58	-0.16	-0.17
山 口	34,745	36,653	43,942	- 7,289	2.21	2.33	2.80	-0.46	-0.41
徳 島	17,292	14,367	16,728	- 2,361	2.07	1.72	2.01	-0.28	-0.26
香 川	19,607	24,760	26,017	- 1,257	1.91	2.42	2.54	-0.12	-0.14
愛 媛	34,127	27,674	32,342	- 4,668	2.24	1.82	2.12	-0.31	-0.34
高 知	18,470	14,445	17,435	- 2,990	2.22	1.74	2.10	-0.36	-0.29
福 岡	187,822	123,039	120,969	2,070	3.94	2.58	2.54	0.04	-0.05
佐 賀	15,723	21,102	24,604	- 3,502	1.79	2.40	2.80	-0.40	-0.42
長 崎	38,703	35,876	47,488	-11,612	2.46	2.28	3.02	-0.74	-0.62
熊 本	45,760	39,600	44,970	- 5,370	2.48	2.15	2.44	-0.29	-0.28
大 分	25,473	27,456	32,185	- 4,729	2.05	2.21	2.60	-0.38	-0.38
宮 崎	32,388	27,983	32,953	- 4,970	2.76	2.38	2.80	-0.42	-0.35
鹿 児 島	60,806	40,656	50,227	- 9,571	3.37	2.25	2.78	-0.53	-0.50
沖 縄	47,350	24,166	28,441	- 4,275	3.89	1.99	2.34	-0.35	-0.31

総務庁統計局『住民基本台帳人口移動報告年報 平成元年』（1989.6）による。率は10月1日現在日本人人口（総務庁統計局）100について。1)-は転出超過。

表15 都道府県別にみた性、年齢(5歳階級)別純移動率および標準化純移動率：1980～85年

(1) 男

(%)

都道府県	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	24～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
全国	2.0	0.7	1.3	0.8	3.8	9.5	4.9	2.2	1.4	0.9	0.5	0.4
北海道	-1.8	-0.4	-0.3	-1.0	-3.4	-12.2	-1.5	-0.2	-1.3	-1.8	-2.0	-1.7
青森	-3.1	-1.7	0.7	-0.5	-12.5	-25.9	2.0	-0.1	-1.4	-2.6	-3.0	-2.1
岩手	-1.7	-0.0	1.0	0.2	-12.7	-27.1	9.1	2.9	0.2	-0.8	-1.1	-0.9
宮城	0.5	-0.0	1.5	0.8	6.5	-1.2	-5.7	2.1	1.0	-0.2	-0.4	-0.9
秋田	-2.3	-0.1	0.7	-0.0	-12.8	-32.0	9.1	1.9	-0.6	-1.3	-1.4	-1.3
山形	-1.4	-0.0	0.4	0.3	-9.5	-24.4	10.0	2.4	-0.0	-0.5	-0.9	-0.7
福島	-0.6	0.3	1.7	0.6	-10.2	-22.9	12.1	4.4	1.4	0.3	-0.2	-0.5
茨城	3.3	2.1	6.1	3.8	-1.4	-4.4	11.0	6.0	6.0	4.2	2.2	1.5
栃木	1.1	0.9	2.0	1.1	-5.1	-10.8	13.5	3.9	2.1	1.6	0.7	0.2
群馬	1.5	0.9	2.3	1.6	-3.0	-12.1	14.6	5.2	3.0	1.8	0.9	0.2
埼玉	3.9	3.2	3.5	2.2	5.4	8.3	3.0	7.7	5.1	2.5	1.6	1.6
千葉	4.3	2.2	4.4	3.2	4.6	8.1	6.5	7.5	5.2	3.1	2.1	2.2
東京	-1.1	-5.8	-6.9	-3.1	16.6	42.7	-19.8	-11.2	-7.3	-4.0	-1.2	-1.1
神奈川	3.3	-0.4	-0.5	0.1	11.8	31.0	-0.5	0.6	0.8	0.5	0.7	1.0
新潟	-1.0	0.3	0.4	-0.0	-9.9	-22.7	13.2	2.9	-0.1	-0.5	-0.8	-0.7
富山	-0.4	0.6	1.3	0.7	-6.8	-22.0	14.0	2.8	1.1	0.0	-0.7	-0.6
石川	-0.1	0.4	0.8	0.6	-2.5	-7.6	0.8	2.4	1.2	0.5	-0.0	-0.3
福井	1.1	1.3	1.7	0.5	-7.3	-15.2	15.5	6.0	2.9	1.8	1.3	0.5
山梨	2.4	2.0	4.6	2.2	-0.6	-10.3	9.7	8.2	4.9	3.2	1.8	1.1
長野	1.4	1.2	1.9	1.1	-7.7	-18.5	23.3	6.1	3.0	1.3	0.6	0.5
岐阜	0.9	1.7	3.5	2.2	-3.1	-18.6	8.2	4.3	3.5	2.2	1.1	0.6
静岡	0.7	0.4	1.0	0.4	-6.2	-13.7	17.5	3.0	1.2	0.7	0.4	-0.2
愛知	-0.3	-0.7	-2.1	-1.4	5.6	4.9	-2.7	-1.9	-1.7	-1.2	-0.6	-0.6
三重	1.6	2.1	4.5	3.1	-2.2	-15.8	11.5	3.8	4.1	2.9	1.1	0.6
滋賀	3.6	2.6	4.4	3.6	1.7	-3.2	9.8	6.1	5.3	4.6	3.3	2.0
京都	-0.7	0.1	-1.1	-0.9	9.4	17.9	-25.0	-3.4	-1.6	-0.8	-0.5	-0.3
大阪	-1.4	-0.7	-4.1	-2.7	3.9	8.0	-6.4	-3.8	-3.5	-2.6	-1.2	-1.1
兵庫	-0.6	0.4	-0.7	-0.7	-3.4	-4.5	3.6	-1.0	-0.8	-0.8	-0.6	-0.3
奈良	4.3	2.4	7.4	4.9	7.3	-2.1	4.1	5.8	6.9	5.0	3.1	2.5
和歌山	-2.0	0.0	-0.3	-0.3	-8.9	-25.6	8.0	0.6	-0.2	-0.9	-1.4	-1.4
鳥取	-0.1	0.4	2.9	0.8	-5.9	-23.9	13.3	4.8	1.1	-0.1	-0.6	-0.5
島根	0.7	1.9	3.2	1.3	-10.9	-32.3	21.3	7.5	4.1	2.7	1.6	0.8
岡山	0.2	0.3	1.3	1.1	-4.8	-15.8	10.6	2.8	1.6	0.4	0.2	-0.1
広島	0.1	-0.6	0.1	-0.4	-2.4	-10.1	9.8	2.1	-0.0	0.1	-0.5	-0.6
山口	-0.9	1.4	1.3	0.8	-8.4	-25.6	8.4	2.6	1.4	0.8	0.2	-0.3
徳島	-0.5	-0.1	2.0	1.6	-10.1	-24.8	12.7	4.2	1.0	0.7	-0.2	-0.5
香川	0.6	0.6	1.3	0.5	-4.9	-20.7	18.6	3.6	1.6	0.6	0.6	-0.4
愛媛	-0.3	0.3	2.0	1.4	-8.8	-25.9	14.3	4.3	2.1	0.1	-0.4	-0.3
高知	-0.4	0.0	2.8	0.8	-9.8	-24.1	13.5	4.2	1.4	0.1	-0.4	-0.2
福岡	-0.3	-0.3	1.1	0.3	3.1	-3.5	-8.2	1.5	0.3	-0.1	-0.4	-0.2
佐賀	-1.0	0.7	2.4	1.3	-12.2	-24.1	7.1	3.4	1.9	1.2	-0.4	0.3
長崎	-2.3	0.1	1.2	0.2	-14.9	-33.5	9.8	3.0	0.4	-0.2	-1.0	-0.8
熊本	-0.0	0.8	3.0	2.1	-5.9	-22.6	5.0	5.2	2.7	1.2	0.4	0.5
大分	0.1	0.9	2.9	1.7	-8.3	-27.3	14.1	5.8	2.6	1.0	-0.1	-0.1
宮崎	-1.3	-0.3	2.1	1.3	-14.6	-31.9	15.6	3.1	0.6	-0.1	-0.5	-0.5
鹿児島	0.3	1.3	4.2	2.2	-13.0	-33.6	17.2	7.9	3.8	2.0	1.0	1.0
沖縄	0.7	0.8	2.5	-0.7	-8.7	-16.9	15.2	6.7	2.5	1.0	-0.2	-0.6

人口問題研究所『都道府県別純移動率 昭和25年～60年』研究資料256号, 1988年7月。純移動率は、1980、85年の県別生命表による平均の生存率によって推定される1985年人口を、現実の1985年人口より引いたものを1980年人口で割ったもの。ただし、0～4歳の分母は1980年10月～1985年9月出生数。総数(標準化)は、年齢(5歳階級)別移動率を1980年全国人口により標準化したもの。55～84歳は5歳階級別に、85歳以上は一括の値を用いる。全国は都道府県の率の絶対値の人口加重平均。

表15 都道府県別にみた性、年齢(5歳階級)別純移動率および標準化純移動率：1980～85年(つづき)

(2) 女		(%)										
都道府県	総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	24～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
全 国	1.3	0.8	1.2	0.7	3.0	5.4	3.0	1.5	1.1	0.6	0.4	0.4
北海道	-0.8	-0.1	-0.4	-0.8	-2.4	-3.5	-0.0	-1.0	-1.0	-1.3	-1.1	-0.8
青森	-2.4	-1.2	0.3	-0.4	-10.7	-18.6	0.1	-0.6	-0.6	-1.7	-1.8	-1.3
岩手	-1.5	0.2	1.4	0.1	-12.7	-21.4	9.1	0.6	0.1	-0.7	-0.7	-0.6
宮城	0.5	0.4	1.4	0.9	2.5	0.3	-1.7	0.8	0.9	0.1	-0.2	-0.2
秋田	-2.0	1.1	0.4	-0.0	-12.0	-22.5	5.4	-0.7	-0.0	-0.6	-1.1	-0.6
山形	-1.3	0.4	0.2	0.2	-8.6	-17.8	6.1	-0.0	0.2	-0.2	-0.5	-0.5
福島	-0.8	0.9	1.5	0.6	-8.9	-17.2	6.7	0.4	1.0	-0.1	-0.2	-0.1
茨城	2.8	2.7	5.8	3.7	-1.0	-4.9	7.0	6.4	5.3	3.1	1.4	1.5
栃木	0.5	1.5	2.0	1.2	-4.3	-8.6	5.8	1.7	1.9	0.9	0.3	0.4
群馬	0.8	1.4	2.1	1.7	-2.6	-7.6	6.1	1.5	1.8	1.2	0.8	0.4
埼玉	3.8	3.9	3.7	2.2	4.4	4.2	5.2	7.9	3.7	2.1	2.0	2.2
千葉	4.5	2.5	4.2	3.1	2.8	4.3	12.8	7.9	4.3	2.9	2.4	2.5
東京	-1.4	-5.4	-6.5	-3.2	13.0	26.4	-14.0	-8.2	-5.3	-2.2	-1.1	-1.7
神奈川	2.6	0.3	-0.1	0.3	6.1	12.7	5.9	3.6	0.8	0.7	1.2	1.0
新潟	-1.2	0.6	0.7	0.1	-10.1	-16.5	8.1	0.1	0.0	-0.5	-0.6	-0.6
富山	-0.6	0.9	1.1	0.3	-3.3	-11.4	1.1	0.8	0.8	-0.1	-0.5	-0.1
石川	0.4	0.7	1.0	0.5	-0.8	-4.1	1.9	1.9	1.3	0.6	-0.0	-0.0
福井	0.1	2.4	2.0	0.2	-6.8	-8.6	7.3	1.8	1.1	-0.1	-0.2	-0.1
山梨	0.8	2.9	3.8	2.2	-1.3	-9.5	1.8	2.1	3.4	1.5	0.3	0.6
長野	0.3	2.2	2.0	1.1	-6.6	-11.1	8.7	1.4	1.6	0.5	0.3	0.3
岐阜	0.6	2.2	3.5	2.0	1.8	-8.1	-3.1	2.1	2.4	1.4	0.6	0.7
静岡	0.2	0.9	1.0	0.4	-3.8	-7.1	5.8	1.2	0.6	0.1	-0.2	0.1
愛知	-0.4	-0.5	-2.1	-1.4	5.2	1.8	-3.8	-1.1	-1.3	-0.9	-0.6	-0.5
三重	1.3	2.4	4.3	2.7	-0.7	-8.8	2.5	3.6	3.4	1.4	0.7	0.9
滋賀	3.0	2.9	4.8	3.6	3.3	-1.2	5.1	4.9	4.5	3.0	1.7	2.0
京都	-0.1	1.1	-1.1	-0.7	8.6	9.3	-12.1	-1.8	-1.1	-0.6	-0.2	-0.1
大阪	-0.9	-0.4	-4.0	-2.8	4.3	8.0	-4.5	-3.2	-3.2	-1.9	-0.9	-1.1
兵庫	-0.1	1.2	-0.6	-0.3	1.1	1.4	-2.4	-0.8	-0.3	-0.7	-0.3	-0.4
奈良	4.6	3.2	6.8	5.3	11.4	4.5	-2.6	6.3	6.4	4.3	3.2	3.6
和歌山	-1.1	0.6	0.5	-0.3	-7.0	-10.4	2.0	-1.0	-0.1	-0.5	-1.1	-0.5
鳥取	-0.4	0.8	1.9	0.9	-8.0	-13.9	8.1	0.7	0.8	0.5	-0.3	0.3
島根	-0.3	2.6	2.7	1.5	-12.8	-22.4	13.6	2.7	2.3	0.8	0.1	0.2
岡山	0.0	0.7	1.2	0.7	1.2	-7.7	-0.1	0.7	1.0	0.4	-0.5	-0.2
広島	0.1	0.4	0.1	-0.3	-1.7	-0.6	3.5	0.5	0.0	-0.7	-0.5	-0.3
山口	-0.9	1.9	1.5	0.7	-6.9	-12.4	-0.0	-0.2	0.9	0.2	-0.5	0.0
徳島	-0.7	0.2	2.4	0.9	-3.8	-13.3	0.3	0.3	1.2	0.3	-0.3	-0.1
香川	-0.1	1.0	1.7	0.5	-2.5	-8.8	2.8	1.3	0.8	-0.2	-0.4	-0.1
愛媛	-0.6	0.7	1.8	0.6	-6.7	-10.9	2.7	0.1	0.8	-0.1	-0.5	-0.3
高知	0.1	1.1	2.3	1.1	-7.9	-9.4	6.5	1.7	0.9	0.1	-0.3	0.2
福岡	0.5	0.4	0.9	0.7	3.1	2.7	-1.8	-0.3	0.2	0.0	0.2	0.2
佐賀	-1.0	0.7	2.3	1.2	-6.6	-12.4	-1.1	-1.2	1.2	0.3	0.1	0.1
長崎	-2.1	0.7	1.4	-0.3	-13.4	-19.4	3.9	-1.2	-0.5	-0.9	-1.1	-1.0
熊本	0.0	1.3	2.9	1.7	-6.4	-9.8	2.3	0.6	1.9	0.8	0.2	0.1
大分	-0.2	2.0	3.1	1.2	-7.1	-12.8	3.2	0.9	1.7	0.3	-0.0	0.2
宮崎	-0.7	0.4	1.5	1.3	-11.6	-13.7	6.8	0.5	1.0	0.5	-0.3	0.2
鹿児島	-0.1	1.6	3.8	2.3	-9.9	-17.8	6.3	1.4	2.6	1.3	0.4	0.9
沖縄	0.3	1.4	2.1	0.1	-8.5	-13.8	14.2	4.1	0.5	-0.8	-0.1	-0.3

前頁の注を参照。

表16 東京都の人口移動：1971～89年

(人)

年次	移動総数	他府県間移動				都内間移動	人口
		社会増	転入	転出	転入+転出		
1971	2,106,420	-91,200	668,594	759,794	1,428,388	678,032	11,521,226
1972	2,080,208	-121,081	649,026	770,107	1,419,133	661,075	11,598,152
1973	2,050,878	-166,029	627,156	793,185	1,420,341	630,537	11,636,797
1974	1,839,798	-155,839	565,001	720,840	1,285,841	553,957	11,654,642
1975	1,727,639	-125,956	541,685	667,641	1,209,326	518,313	11,673,554
1976	1,715,746	-125,229	529,407	654,636	1,184,043	531,703	11,670,355
1977	1,673,042	-104,261	528,011	632,272	1,160,283	512,759	11,668,721
1978	1,626,795	-102,280	513,497	615,777	1,129,274	497,521	11,657,218
1979	1,616,582	-99,738	510,541	610,279	1,120,820	495,762	11,635,411
1980	1,539,073	-92,482	490,980	583,462	1,074,442	464,631	11,618,281
1981	1,491,091	-61,105	488,051	549,156	1,037,207	453,884	11,619,066
1982	1,462,222	-37,463	491,394	528,857	1,020,251	441,971	11,645,872
1983	1,441,158	-8,358	495,198	503,556	998,754	442,404	11,700,815
1984	1,406,143	145	486,139	485,994	972,133	434,010	11,762,368
1985	1,401,217	4,851	485,208	480,357	965,565	435,652	11,829,363
1986	1,411,942	-6,129	486,672	492,801	979,473	432,469	11,906,489
1987	1,430,178	-55,491	474,706	530,197	1,004,903	425,275	11,929,951
1988	1,386,734	-71,570	455,801	527,371	983,172	403,562	11,935,700
1989	1,375,143	-61,759	454,815	516,574	971,389	403,754	11,927,457

1971～86年は東京都『東京都の人口移動の実態(昭和61年1月～12月)』による。1987～88年は東京都『第40回東京都統計年鑑 昭和63年』, 1989年は東京都『統計とうきょう』No.307 (1990年6号) によって算出。

「人口」は各年10月1日現在の「国勢調査人口(1975年, 1980年, 1985年)」及び「推計人口(補正)」である。外国人を含む。各移動数は島部を含む人口移動数である。日本人のみ。「移動総数」は「転入+転出」+「都内間移動」である。「都内間移動」は都内間転入の数である。

表17 東京都の人口移動指数：1971～89年

年次	移動総数 指数	他府県間移動				都内間移動	
		指数			移動率(%) (入+出/人口)	指数	移動率(%) (移動数/人口)
		転入	転出	転入+転出			
1971	100.0	100.0	100.0	100.0	12.4	100.0	5.9
1972	98.8	97.1	101.4	99.4	12.2	97.5	5.7
1973	97.4	93.8	104.4	99.4	12.2	93.0	5.4
1974	87.3	84.5	94.9	90.0	11.0	81.7	4.8
1975	82.0	81.0	87.9	84.7	10.4	76.4	4.4
1976	81.5	79.2	86.2	82.9	10.1	78.4	4.6
1977	79.4	79.0	83.2	81.2	9.9	75.6	4.4
1978	77.2	76.8	81.0	79.1	9.7	73.4	4.3
1979	76.7	76.4	80.3	78.5	9.6	73.1	4.3
1980	73.1	73.4	76.8	75.2	9.2	68.5	4.0
1981	70.8	73.0	72.3	72.6	8.9	66.9	3.9
1982	69.4	73.5	69.6	71.4	8.8	65.2	3.8
1983	68.4	74.1	66.3	69.9	8.5	65.2	3.8
1984	66.8	72.7	64.0	68.1	8.3	64.0	3.7
1985	66.5	72.6	63.2	67.6	8.2	64.3	3.7
1986	67.0	72.8	64.9	68.6	8.2	63.8	3.6
1987	67.9	60.8	71.0	69.8	8.4	62.7	3.6
1988	65.8	78.5	68.2	69.4	8.2	59.5	3.4
1989	65.3	67.7	68.0	68.0	8.1	59.5	3.4

表16注参照。指数は1971年を100として計算したものである。移動率の分母である「人口」は各年10月1日現在の「国勢調査人口(1975年, 1980年, 1985年)」及び「推計人口(補正)」である。

表18 地方別人口：1872～1985年

(1) 1872～1950年

地 方	1872年 ¹⁾	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年 ²⁾	1945年	1950年
人 口								
全 国	33,110,825	55,963,053	59,736,822	64,450,005	69,254,148	71,419,880	71,998,104	84,114,574
北 海 道	123,668	2,359,183	2,498,679	2,812,335	3,068,282	3,210,174	3,518,389	4,295,567
北 北 海 道	3,485,935	5,793,974	6,159,298	6,574,359	6,984,170	6,986,028	8,268,870	9,021,809
北 北 海 道	1,654,429	3,449,489	3,618,378	3,814,914	3,986,501	4,033,711	5,036,780	5,191,260
北 北 海 道	3,519,530	7,678,506	8,695,654	9,957,577	11,285,172	12,519,510	9,368,074	13,050,647
北 陸 東 山	4,578,734	5,993,440	6,177,695	6,435,418	6,570,469	6,497,780	7,915,960	8,051,640
東 海 道	3,623,415	5,779,826	6,230,960	6,701,030	7,202,955	7,468,919	7,991,144	8,867,792
東 海 道	1,608,815	1,966,068	2,033,751	2,118,604	2,195,994	2,131,466	2,576,602	2,607,176
西 海 道	3,049,433	6,176,793	6,920,563	7,739,150	8,922,931	9,560,341	7,226,646	8,999,916
中 海 道	3,881,258	4,970,003	5,145,303	5,340,508	5,565,685	5,544,468	6,230,083	6,796,676
四 海 道	2,446,243	3,065,679	3,173,966	3,309,634	3,357,282	3,255,049	3,836,525	4,220,285
九 州	4,972,576	8,158,520	8,524,953	9,068,967	9,522,213	9,649,765	10,029,031	12,096,869
沖 縄	166,789	571,572	557,622	577,509	592,494	562,669	..	914,937
割 合(%)								
全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	0.4	4.2	4.2	4.4	4.4	4.5	4.9	5.1
北 北 海 道	10.5	10.4	10.3	10.2	10.1	9.8	11.5	10.7
北 北 海 道	5.0	6.2	6.1	5.9	5.8	5.6	7.0	6.2
北 北 海 道	10.6	13.7	14.6	15.5	16.3	17.5	13.0	15.5
北 陸 東 山	13.8	10.7	10.3	10.0	9.5	9.1	11.0	9.6
東 海 道	10.9	10.3	10.4	10.4	10.4	10.5	11.1	10.5
東 海 道	4.9	3.5	3.4	3.3	3.2	3.0	3.6	3.1
西 海 道	9.2	11.0	11.6	12.0	12.9	13.4	10.0	10.7
中 海 道	11.7	8.9	8.6	8.3	8.0	7.8	8.7	8.1
四 海 道	7.4	5.5	5.3	5.1	4.8	4.6	5.3	5.0
九 州	15.0	14.6	14.3	14.1	13.7	13.5	13.9	14.4
沖 縄	0.5	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8	..	1.1
年平均増減率 (%, -は減少)								
全 国	..	1.1	1.3	1.5	1.4	0.6	4) 0.3	4) 2.9
北 海 道	..	6.3	1.2	2.4	1.8	0.9	1.9	4.1
北 北 海 道	..	1.1	1.2	1.3	1.2	0.0	3.4	1.8
北 北 海 道	..	1.5	1.0	1.1	0.9	0.2	4.5	0.6
北 北 海 道	..	1.6	2.5	2.7	2.5	2.1	-5.6	6.9
北 陸 東 山	..	0.6	0.6	0.8	0.4	-0.2	4.0	0.3
東 海 道	..	1.0	1.5	1.5	1.5	0.7	1.4	2.1
東 海 道	..	0.4	0.7	0.8	0.7	-0.6	3.9	0.2
西 海 道	..	1.5	2.3	2.3	2.9	1.4	-5.4	4.5
中 海 道	..	0.5	0.7	0.7	0.8	-0.1	2.4	1.8
四 海 道	..	0.5	0.7	0.8	0.3	-0.6	3.3	1.9
九 州	..	1.0	0.9	1.2	1.0	0.3	0.8	3.8
沖 縄	..	2.6	-0.5	0.7	0.5	-1.0	..	5) 5.0

表末の注参照。

表18 地方別人口：1872～1985年（つづき）

(2) 1955～85年

地 方	1955年	1960年 ³⁾	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
人 口							
全 国	90,076,594	94,301,623	99,209,137	104,665,171	111,939,643	117,060,396	121,048,923
北 海 道	4,773,087	5,039,206	5,171,800	5,184,287	5,338,206	5,575,989	5,679,439
北 東 北	9,334,442	9,325,699	9,107,527	9,031,197	9,232,875	9,572,088	9,730,352
北 北 東	5,225,166	5,139,124	5,183,394	5,382,481	5,796,681	6,198,770	6,512,330
北 南 東	15,424,264	17,863,859	21,016,740	24,113,414	27,041,789	28,698,533	30,273,178
北 陸・東 山	8,043,191	7,964,260	7,876,653	7,856,273	8,106,814	8,356,664	8,536,556
東 東 東	9,488,831	10,086,037	10,926,006	11,778,095	12,726,348	13,315,485	13,805,711
東 西 近	2,637,414	2,625,944	2,706,325	2,862,664	3,135,230	3,376,275	3,547,916
東 中 近	10,174,416	11,404,636	13,069,941	14,538,495	15,695,921	16,145,668	16,532,719
東 四 中	6,992,008	6,944,725	6,871,327	6,996,961	7,366,044	7,586,279	7,748,386
東 中 四	4,245,243	4,121,423	3,975,058	3,904,014	4,040,070	4,163,037	4,227,225
九 州	12,937,467	12,903,515	12,370,190	12,072,179	12,417,093	12,965,049	13,276,014
九 州 縄	801,065	883,122	934,176	945,111	1,042,572	1,106,559	1,179,097
割 合 (%)							
全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	5.3	5.3	5.2	5.0	4.8	4.8	4.7
北 東 北	10.4	9.9	9.2	8.6	8.2	8.2	8.0
北 北 東	5.8	5.4	5.2	5.1	5.2	5.3	5.4
北 南 東	17.1	18.9	21.2	23.0	24.2	24.5	25.0
北 陸・東 山	8.9	8.4	7.9	7.5	7.2	7.1	7.1
東 東 東	10.5	10.7	11.0	11.3	11.4	11.4	11.4
東 西 近	2.9	2.8	2.7	2.7	2.8	2.9	2.9
東 中 近	11.3	12.1	13.2	13.9	14.0	13.8	13.7
東 四 中	7.8	7.4	6.9	6.7	6.6	6.5	6.4
東 中 四	4.7	4.4	4.0	3.7	3.6	3.6	3.5
九 州	14.4	13.7	12.5	11.5	11.1	11.1	11.0
九 州 縄	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0
年平均増減率 (%, -は減少)							
全 国	1.4	0.9	1.0	1.1	1.4	0.9	0.7
北 海 道	2.1	1.1	0.5	0.0	0.6	0.9	0.4
北 東 北	0.7	0.0	-0.5	-0.2	0.4	0.7	0.3
北 北 東	0.1	-0.3	0.2	0.8	1.5	1.4	1.0
北 南 東	3.4	3.0	3.3	2.8	2.3	1.2	1.1
北 陸・東 山	0.0	-0.2	-0.2	-0.1	0.6	0.6	0.4
東 東 東	1.4	1.2	1.6	1.5	1.6	0.9	0.7
東 西 近	0.2	-0.1	0.6	1.1	1.8	1.5	1.0
東 中 近	2.5	2.3	2.8	2.2	1.5	0.6	0.5
東 四 中	0.6	-0.1	-0.2	0.4	1.0	0.6	0.4
東 中 四	0.1	-0.6	-0.7	-0.4	0.7	0.6	0.3
九 州	1.4	-0.1	-0.8	-0.5	0.6	0.9	0.5
九 州 縄	-2.6	2.0	1.1	0.2	2.0	1.2	1.3

1) 内閣統計局「日本帝国年鑑」による。

2) 軍人・軍属等を除く(銃後人口)。

3) 長野県西筑摩郡山口村と岐阜県中津川市の間の境界紛争地域の人口(73人)は、全国に含まれているが、北陸・東山及び東海のいずれにも含まれていない。

4) 沖縄を除いて算出。

5) 1940年～1950年の10年間の年平均人口増加率。

地方は次の区分による。

東北は、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島 の6県。北関東は、茨城、栃木、群馬の3県。南関東は、埼玉、千葉、東京、神奈川の1都3県。北陸・東山は、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野の6県。東海は、岐阜、静岡、愛知、三重の4県。東近畿は、滋賀、奈良、和歌山の3県。西近畿は、京都、大阪、兵庫の2府1県。中国は、鳥取、島根、岡山、広島、山口の5県。四国は、徳島、香川、愛媛、高知の4県。九州は、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島 の7県。

総理府統計局『日本人の地域分布とその変化』(昭和55年国勢調査モノグラフシリーズNo.3)、総務庁統計局『昭和60年国勢調査最終報告書 日本の人口(資料編)』による。

表19 地方別にみた人口とその割合および人口密度：1950～89年

地 方	人 口 (1,000人)						割 合 (%)			人口密度 (1km ² につき) 1989年
	1950年	1960年	1970年	1980年	1985年	1989年	1960年	1980年	1989年	
全 国	84,115	94,302	104,665	117,060	121,049	123,255	100.0	100.0	100.0	326
北 海 道	4,296	5,039	5,184	5,576	5,679	5,670	5.3	4.8	4.6	68
東 北	9,022	9,326	9,031	9,572	9,730	9,750	9.9	8.2	7.9	155
北 関 東	5,191	5,139	5,382	6,199	6,512	6,691	5.4	5.3	5.4	361
南 関 東	13,051	17,864	24,113	28,699	30,273	31,492	18.9	24.5	25.6	2,397
北 陸・東 山	8,052	7,964	7,856	8,357	8,537	8,592	8.4	7.1	7.0	222
東 海	8,868	10,086	11,778	13,315	13,806	14,123	10.7	11.4	11.5	501
東 近 畿	2,607	2,626	2,863	3,376	3,548	3,659	2.8	2.9	3.0	298
西 近 畿	9,000	11,405	14,538	16,146	16,533	16,733	12.1	13.8	13.6	1,125
中 国	6,797	6,945	6,997	7,586	7,748	7,779	7.4	6.5	6.3	245
四 国	4,220	4,121	3,904	4,163	4,227	4,218	4.4	3.6	3.4	225
九州・沖 縄	13,012	13,787	13,017	14,072	14,455	14,546	14.6	12.0	11.8	346
南 関 東, 東 海, 西 近 畿 の 計	30,918	39,355	50,430	58,160	60,612	62,348	41.7	49.7	50.6	1,548

総務庁統計局『国勢調査報告』（1985年以前）および『人口推計資料』（1989年）による各年10月1日現在人口。ただし、1950年および55年の沖縄人口は12月1日現在(旧琉球政府の調べ)のものである。地方の県別構成は表21参照。表23を参照。

表20 地方別にみた人口増加：1950～89年

地 方	年平均人口増加率 (%)					全国の人口増加数を100とした比率				
	1950～ 60年	1960～ 70年	1970～ 80年	1980～ 85年	1985～ 89年	1950～ 60年	1960～ 70年	1970～ 80年	1980～ 85年	1985～ 89年
全 国	1.15	1.05	1.13	0.67	0.45	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	1.61	0.28	0.73	0.37	-0.04	7.3	1.4	3.2	2.6	-0.4
東 北	0.33	-0.32	0.58	0.33	0.05	3.0	- 2.8	4.4	4.0	0.9
北 関 東	-0.10	0.46	1.42	0.99	0.68	- 0.5	2.3	6.6	7.9	8.1
南 関 東	3.19	3.05	1.76	1.07	0.99	47.2	60.3	37.0	39.5	55.3
北 陸・東 山	-0.11	-0.14	0.62	0.43	0.16	- 0.9	- 1.0	4.0	4.5	2.5
東 海	1.30	1.56	1.23	0.73	0.57	12.0	16.3	12.4	12.3	14.4
東 近 畿	0.07	0.87	1.66	1.00	0.77	0.2	2.3	4.1	4.3	5.0
西 近 畿	2.40	2.46	1.05	0.47	0.30	23.6	30.2	13.0	9.7	9.1
中 国	0.22	0.07	0.81	0.42	0.10	1.5	0.5	4.8	4.1	1.4
四 国	0.24	-0.54	0.64	0.31	-0.05	- 1.0	- 2.1	2.1	1.6	-0.4
九州・沖 縄	0.58	-0.57	1.78	0.54	0.16	7.6	- 7.4	8.5	9.6	4.1
南 関 東, 東 海, 西 近 畿 の 計	2.44	2.51	1.44	0.83	0.71	82.8	106.9	62.4	61.5	78.7

表19の人口に対応する。表19注を参照。また後掲の表24も参照。

表21 地方別にみた人口および自然・社会別人口増加：1975～85年

地 方	1975年 人 口 (1,000人)	1975～80年			1980年 人 口 (1,000人)	1980～85年			1985年 人 口 (1,000人)
		自 然 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 指 数 (%)		自 然 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 数 (1,000人)	社 会 増 加 指 数 (%)	
全 国	111,940	5,143	-22	-0.4	117,060	3,890	99	2.5	121,049
北 海 道	5,338	254	-17	-6.5	5,576	190	-87	-45.7	5,679
東 北	9,233	379	-40	-10.6	9,572	305	-146	-48.0	9,730
北 関 東	5,797	265	137	51.7	6,199	211	103	48.9	6,512
南 関 東	27,042	1,470	187	12.7	28,699	1,093	482	44.1	30,273
北 陸・東 山	8,107	297	-47	-15.9	8,357	211	-31	-14.6	8,537
東 海	12,726	633	-44	-6.9	13,315	482	9	1.8	13,806
東 近 畿	3,135	127	114	89.3	3,376	101	71	69.8	3,548
西 近 畿	15,696	768	-318	-41.5	16,146	539	-152	-28.1	16,533
中 国	7,366	265	-44	-16.8	7,586	194	-32	-16.5	7,748
四 国	4,040	121	2	1.9	4,163	89	-24	-27.6	4,227
九 州・沖 縄	13,460	563	49	8.6	14,072	476	-93	-19.5	14,455
南関東・東海・ 西近畿の合計	55,464	2,871	-175	-6.1	58,160	2,113	339	16.0	60,612

総務庁統計局『国勢調査報告』および『都道府県人口の推計』（各年分）による。増加の期間は各国勢調査間、すなわち期初年の10月から期末年の9月までの5年間で、自然増加は厚生省統計情報部『人口動態統計』から算出され、社会増加数は、増加人口総数から自然増加数を差し引いて算出したもの。社会増加指数は社会増加数の自然増加数に対する比率である。表1-3参照。なお、地方の構成都道府県は次のとおりである。東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島。北関東：茨城、栃木、群馬。南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川。北陸・東山：新潟、富山、石川、福井、山梨、長野。東海：岐阜、静岡、愛知、三重。東近畿：滋賀、奈良、和歌山。西近畿：京都、大阪、兵庫。中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口。四国：徳島、香川、愛媛、高知。九州・沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄。

表22 都道府県別にみた性別人口、人口密度および人口増加率：1985、90年
(1) 1985年

都道府県	人		口	人口性比 (女100につき男)	面 積 (km ²)	人口密度 (1km ² 当たり)	人口増加率 1980～85年 (%)
	総 数	男	女				
全 国	121,048,923	59,497,316	61,551,607	96.7	372,805.15	324.7	3.4
北海道	5,679,439	2,766,296	2,913,143	95.0	78,523.46	72.3	1.9
青 森	1,524,448	731,439	793,009	92.2	9,617.23	158.5	0.0
岩 手	1,433,611	691,740	741,871	93.2	15,278.69	93.8	0.8
宮 城	2,176,295	1,071,741	1,104,554	97.0	7,291.65	298.5	4.5
秋 田	1,254,032	599,591	654,441	91.6	11,612.39	108.0	-0.2
山 形	1,261,662	609,417	652,245	93.4	9,326.60	135.3	0.8
福 島	2,080,304	1,012,456	1,067,848	94.8	13,783.75	150.9	2.2
茨 城	2,725,005	1,357,963	1,367,042	99.3	6,094.43	447.1	6.5
栃 木	1,866,066	924,221	941,845	98.1	6,413.79	290.9	4.1
群 馬	1,921,259	947,013	974,246	97.2	6,355.61	302.3	3.9
埼 玉	5,863,678	2,961,591	2,902,087	102.1	3,799.32	1,543.3	8.2
千 葉	5,148,163	2,588,365	2,559,798	101.1	5,150.14	999.6	8.7
東 京	11,829,363	5,955,029	5,874,334	101.4	2,162.34	5,470.6	1.8
神奈川	7,431,974	3,804,081	3,627,893	104.9	2,402.07	3,094.0	7.3
新 潟	2,478,470	1,205,071	1,273,399	94.6	12,578.62	197.0	1.1
富 山	1,118,369	538,955	579,414	93.0	4,252.32	263.0	1.4
石 川	1,152,325	557,664	594,661	93.8	4,197.39	274.5	3.0
福 井	817,633	397,115	420,518	94.4	4,191.49	195.1	2.9
山 梨	832,832	407,910	424,922	96.0	4,463.48	186.6	3.6
長 野	2,136,927	1,038,070	1,098,857	94.5	13,584.62	157.3	2.5
岐 阜	2,028,536	986,919	1,041,617	94.7	10,595.75	191.4	3.5
静 岡	3,574,692	1,759,455	1,815,237	96.9	7,773.12	459.9	3.7
愛 知	6,455,172	3,228,724	3,226,448	100.1	5,137.59	1,256.5	3.8
三 重	1,747,311	847,420	899,891	94.2	5,777.57	302.4	3.6
滋 賀	1,155,844	568,735	587,109	96.9	4,016.00	287.8	7.0
京 都	2,586,574	1,264,035	1,322,539	95.6	4,612.90	560.7	2.3
大 阪	8,668,095	4,286,445	4,381,650	97.8	1,867.86	4,640.7	2.3
兵 庫	5,278,050	2,567,814	2,710,236	94.7	8,377.98	630.0	2.6
和 歌 山	1,304,866	632,955	671,911	94.2	3,692.15	353.4	7.9
鳥 取	616,024	295,511	320,513	92.2	3,492.70	176.4	2.0
島 根	794,629	382,893	411,736	93.0	6,628.19	119.9	1.3
岡 山	1,916,906	926,238	990,668	93.5	7,089.91	270.4	2.5
広 島	2,819,200	1,373,853	1,445,347	95.1	8,466.37	333.0	2.9
山 口	1,601,627	763,803	837,824	91.2	6,106.05	262.3	0.9
徳 島	834,889	399,689	435,200	91.8	4,145.22	201.4	1.2
香 川	1,022,569	492,696	529,873	93.0	1,882.11	543.3	2.3
愛 媛	1,529,983	728,506	801,477	90.9	5,671.72	269.8	1.5
高 知	839,784	398,408	441,376	90.3	7,107.13	118.2	1.0
福 岡	4,719,259	2,270,496	2,448,763	92.7	4,959.62	951.5	3.6
佐 賀	880,013	417,308	462,705	90.2	2,433.39	361.6	1.7
長 崎	1,593,968	757,617	836,351	90.6	4,111.55	387.7	0.2
熊 本	1,837,747	872,932	964,815	90.5	7,407.63	248.1	2.6
大 分	1,250,214	593,014	657,200	90.2	6,337.18	197.3	1.7
宮 崎	1,175,543	558,355	617,188	90.5	7,734.77	152.0	2.1
鹿 児 島	1,819,270	856,493	962,777	89.0	9,165.03	198.5	1.9
沖 縄	1,179,097	581,102	597,995	97.2	2,254.17	523.1	6.6

総務庁統計局『我が国人口の概観』(昭和60年国勢調査解説シリーズNo. 1, 1986. 12)による。10月1日現在の人口。人口増加率は1980年10月～85年9月間。面積には、日本固有の領土であるが、人口を調査していない歯舞諸島(101.60km²)、色丹島(255.12km²)、国後島(1500.04km²)、択捉島(3139.00km²)および竹島(0.23km²)を含んでいない。1) 十和田湖(59.77km²)と中海(97.71km²)の面積は全国に含んでいないが、各県には含まれていない。

表22 都道府県別にみた性別人口、人口密度および人口増加率(つづき)

(2) 1990年

都道府県	人口(1,000人)			人口の府県 別割合(%)	人口性比 (女100につ き男)	人口増加率 1985-89年 (%)	人口増加率 1989-90年 (%)
	総数	男	女				
全 国	123,612	60,692	62,920	100.00	96.5	4.5	2.9
北 海 道	5,644	2,723	2,921	4.57	93.2	-0.4	-4.7
青 森	1,483	705	778	1.20	90.6	-3.8	-12.5
岩 手	1,417	680	737	1.15	92.3	-2.6	-1.1
宮 城	2,249	1,105	1,144	1.82	96.6	6.8	5.6
秋 田	1,227	585	643	0.99	90.9	-4.1	-5.1
山 形	1,258	607	651	1.02	93.2	-0.2	-1.6
福 島	2,104	1,024	1,080	1.70	94.9	2.3	2.3
茨 城	2,845	1,419	1,426	2.30	99.5	8.7	8.6
栃 木	1,935	963	973	1.57	99.0	6.5	10.6
群 馬	1,966	972	995	1.59	97.7	4.4	5.6
埼 玉	6,405	3,246	3,160	5.18	102.7	17.7	18.3
千 葉	5,555	2,803	2,753	4.49	101.8	15.3	15.4
東 京	11,855	5,969	5,886	9.59	101.4	1.2	-2.5
神 奈 川	7,980	4,098	3,883	6.46	105.5	13.6	17.1
新 潟	2,475	1,200	1,274	2.00	94.2	0.3	-2.6
富 山	1,120	539	582	0.91	92.6	0.7	-1.0
石 川	1,165	563	602	0.94	93.5	1.9	2.9
福 井	824	400	423	0.67	94.6	1.7	0.4
山 梨	853	419	434	0.69	96.4	4.9	4.3
長 野	2,157	1,048	1,109	1.74	94.5	2.3	0.0
岐 阜	2,067	1,004	1,063	1.67	94.5	3.7	3.7
静 岡	3,671	1,809	1,862	2.97	97.1	5.4	5.1
愛 知	6,690	3,354	3,336	5.41	100.6	6.6	9.4
三 重	1,793	869	923	1.45	94.2	5.2	4.7
滋 賀	1,222	601	621	0.99	96.7	11.2	11.7
京 都	2,603	1,268	1,335	2.11	94.9	1.9	-1.4
大 阪	8,735	4,308	4,427	7.07	97.3	2.3	-1.5
兵 庫	5,405	2,619	2,786	4.37	94.0	4.8	4.7
奈 良	1,375	664	712	1.11	93.2	12.2	4.3
和 歌 山	1,074	511	564	0.87	90.6	-1.4	-6.2
鳥 取	616	295	321	0.50	91.9	0.8	-3.6
島 根	781	374	407	0.63	91.7	-1.9	-9.6
岡 山	1,926	927	999	1.56	92.7	1.9	-2.9
広 島	2,850	1,385	1,465	2.31	94.6	3.0	-1.0
山 口	1,573	745	828	1.27	90.0	-2.2	-9.5
徳 島	832	396	436	0.67	90.8	-0.2	-3.2
香 川	1,023	492	532	0.83	92.4	1.0	-3.3
愛 媛	1,515	717	798	1.23	89.8	-0.8	-6.7
高 知	825	389	436	0.67	89.2	-2.2	-8.9
福 岡	4,811	2,303	2,508	3.89	91.8	3.7	4.4
佐 賀	878	415	463	0.71	89.5	-0.1	-2.1
長 崎	1,563	737	826	1.26	89.2	-2.7	-8.6
熊 本	1,840	869	971	1.49	89.5	1.4	-4.0
大 分	1,237	585	652	1.00	89.6	-1.5	-4.6
宮 崎	1,169	551	617	0.95	89.3	0.1	-5.9
鹿 児 島	1,798	842	955	1.45	88.2	-1.2	-6.9
沖 縄	1,222	599	624	0.99	96.0	9.0	0.2

総務庁統計局『平成2年国勢調査速報 全国都道府県市区町村別人口』による。

人口増加率は期初年10月1日から期末年9月30日間の増加の期初人口1,000に対する年平均率。

連続的増加率 $(\log P_n/P_0)/n$ による。

表23 都道府県別にみた人口の推移：1920～80年

(1) 1920～47年

都道府県	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1945年	1947年
全 国	55,963,053	59,736,822	64,450,005	69,254,148	73,114,308	71,998,104	78,101,473
北海道	2,359,183	2,498,679	2,812,335	3,068,282	3,272,718	3,518,389	3,852,821
青 森	756,454	812,977	879,914	967,129	1,000,509	1,083,250	1,180,245
岩 手	845,540	900,984	975,771	1,046,111	1,095,793	1,227,789	1,262,743
宮 城	961,768	1,044,036	1,142,784	1,234,801	1,271,238	1,462,254	1,566,831
秋 田	898,537	936,408	987,706	1,037,744	1,052,275	1,211,871	1,257,398
山 形	968,925	1,027,297	1,080,034	1,116,822	1,119,338	1,326,350	1,335,653
福 島	1,362,750	1,437,596	1,508,150	1,581,563	1,625,521	1,957,356	1,992,460
茨 城	1,350,400	1,409,092	1,487,097	1,548,991	1,620,000	1,944,344	2,013,735
栃 木	1,046,479	1,090,428	1,141,737	1,195,057	1,206,657	1,546,355	1,534,311
群 馬	1,052,610	1,118,858	1,186,080	1,242,453	1,299,027	1,546,081	1,572,787
埼 玉	1,319,533	1,394,461	1,459,172	1,528,854	1,608,039	2,047,261	2,100,453
千 葉	1,336,155	1,399,257	1,470,121	1,546,394	1,588,425	1,966,862	2,112,917
東 京	3,699,428	4,485,144	5,408,678	6,369,919	7,354,971	3,488,284	5,000,777
神 奈 川	1,323,390	1,416,792	1,619,606	1,840,005	2,188,974	1,865,667	2,218,120
新 潟	1,776,474	1,849,807	1,933,326	1,995,777	2,064,402	2,389,653	2,418,271
富 山	724,276	749,243	778,953	798,890	822,569	953,834	979,229
石 川	747,360	750,854	756,835	768,416	757,676	887,510	927,743
福 井	599,155	597,899	618,144	646,659	643,904	724,856	726,264
山 梨	583,453	600,675	631,042	646,727	663,026	839,057	807,251
長 野	1,562,722	1,629,217	1,717,118	1,714,000	1,710,729	2,121,050	2,060,010
岐 阜	1,070,407	1,132,557	1,178,405	1,225,799	1,265,024	1,518,649	1,493,644
静 岡	1,550,387	1,671,217	1,797,805	1,939,860	2,017,860	2,220,358	2,353,005
愛 知	2,089,762	2,319,494	2,567,413	2,862,701	3,166,592	2,857,851	3,122,902
三 重	1,069,270	1,107,692	1,157,407	1,174,595	1,198,783	1,394,286	1,416,494
滋 賀	651,050	662,412	691,631	711,436	703,679	860,911	858,367
京 都	1,287,147	1,406,382	1,552,832	1,702,508	1,729,993	1,603,796	1,739,084
大 阪	2,587,847	3,059,502	3,540,017	4,297,174	4,792,966	2,800,958	3,334,659
兵 庫	2,301,799	2,454,679	2,646,301	2,923,249	3,221,232	2,821,892	3,057,444
奈 良	564,607	583,828	596,225	620,471	620,509	779,685	779,935
和 歌 山	750,411	787,511	830,748	864,087	865,074	936,006	959,999
鳥 取	454,675	472,230	489,266	490,461	484,390	563,220	587,606
島 根	714,712	722,402	739,507	747,119	740,940	860,275	894,267
岡 山	1,217,698	1,238,447	1,283,962	1,332,647	1,329,358	1,564,626	1,619,622
広 島	1,541,905	1,617,680	1,692,136	1,804,916	1,869,504	1,885,471	2,011,498
山 口	1,041,013	1,094,544	1,135,637	1,190,542	1,294,242	1,356,491	1,479,244
徳 島	670,212	689,814	716,544	728,748	718,717	835,763	854,811
香 川	677,852	700,308	732,816	748,656	730,394	863,700	917,673
愛 媛	1,046,720	1,096,366	1,142,122	1,164,898	1,178,705	1,361,484	1,453,887
高 知	670,895	687,478	718,152	714,980	709,286	775,578	848,337
福 岡	2,188,249	2,301,668	2,527,119	2,755,804	3,094,132	2,746,855	3,178,134
佐 賀	673,895	684,831	691,565	686,117	701,517	830,431	917,797
長 崎	1,136,182	1,163,945	1,233,362	1,296,883	1,370,063	1,318,589	1,531,674
熊 本	1,233,233	1,296,086	1,353,993	1,387,054	1,368,179	1,556,490	1,765,726
大 分	860,282	915,136	945,771	980,458	972,975	1,124,513	1,233,651
宮 崎	651,097	691,094	760,467	824,431	840,357	913,687	1,025,689
鹿 児 島	1,415,582	1,472,193	1,556,690	1,591,466	1,589,467	1,538,466	1,746,305
沖 縄	571,572	557,622	577,509	592,494	574,579

総理府（現総務庁）統計局【昭和55年国勢調査報告 第1巻 人口総数】（1982.8）による。各年10月1日（1945年は11月1日）現在の人口。都道府県間の境界変更がかなりあるが、特に北海道、東京都、島根県および鹿児島県については、各年の地域範囲に差異があるので注意を要する。1920年～1940年、1947年～80年は国勢調査、1945年は人口調査による人口。なお、最新の国勢調査である1985年の人口は前表(1)に掲載。

表23 都道府県別にみた人口の推移 (つづき)
(2) 1950～80年

都道府県	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年
全 国	84, 114, 574	90, 076, 594	1) 94, 301, 623	99, 209, 137	104, 665, 171	111, 939, 643	117, 060, 396
北海道	4, 295, 567	4, 773, 087	5, 039, 206	5, 171, 800	5, 184, 287	5, 338, 206	5, 575, 989
青 森	1, 282, 867	1, 382, 523	1, 426, 606	1, 416, 591	1, 427, 520	1, 468, 646	1, 523, 907
岩 手	1, 346, 728	1, 427, 097	1, 448, 517	1, 411, 118	1, 371, 383	1, 385, 563	1, 421, 927
宮 城	1, 663, 442	1, 727, 065	1, 743, 195	1, 753, 126	1, 819, 223	1, 955, 267	2, 082, 320
秋 田	1, 309, 031	1, 348, 871	1, 335, 580	1, 279, 835	1, 241, 376	1, 232, 481	1, 256, 745
山 形	1, 357, 347	1, 353, 649	1, 320, 664	1, 263, 103	1, 225, 618	1, 220, 302	1, 251, 917
福 島	2, 062, 394	2, 095, 237	2, 051, 137	1, 983, 754	1, 946, 077	1, 970, 616	2, 035, 272
茨 城	2, 039, 418	2, 064, 037	2, 047, 024	2, 056, 154	2, 143, 551	2, 342, 198	2, 558, 007
栃 木	1, 550, 462	1, 547, 580	1, 513, 624	1, 521, 656	1, 580, 021	1, 698, 003	1, 792, 201
群 馬	1, 601, 380	1, 613, 549	1, 578, 476	1, 605, 584	1, 658, 909	1, 756, 480	1, 848, 562
埼 玉	2, 146, 445	2, 262, 623	2, 430, 871	3, 014, 983	3, 866, 472	4, 821, 340	5, 420, 480
千 葉	2, 139, 037	2, 205, 060	2, 306, 010	2, 701, 770	3, 366, 624	4, 149, 147	4, 735, 424
東 京	6, 277, 500	8, 037, 084	9, 683, 802	10, 869, 244	11, 408, 071	11, 673, 554	11, 618, 281
神奈川	2, 487, 665	2, 919, 497	3, 443, 176	4, 430, 743	5, 472, 247	6, 397, 748	6, 924, 348
新 潟	2, 460, 997	2, 473, 492	2, 442, 037	2, 398, 931	2, 360, 982	2, 391, 938	2, 451, 357
富 山	1, 008, 790	1, 021, 121	1, 032, 614	1, 025, 465	1, 029, 695	1, 070, 791	1, 103, 459
石 川	957, 279	966, 187	973, 418	980, 499	1, 002, 420	1, 069, 872	1, 119, 304
福 井	752, 374	754, 055	752, 696	750, 557	744, 230	773, 599	794, 354
山 梨	811, 369	807, 044	782, 062	763, 194	762, 029	783, 050	804, 256
長 野	2, 060, 831	2, 021, 292	1) 1, 981, 433	1, 958, 007	1, 956, 917	2, 017, 564	2, 083, 934
岐 阜	1, 544, 538	1, 583, 605	1) 1, 638, 399	1, 700, 365	1, 758, 954	1, 867, 978	1, 960, 107
静 岡	2, 471, 472	2, 650, 435	2, 756, 271	2, 912, 521	3, 089, 895	3, 308, 799	3, 446, 804
知 恵	3, 390, 585	3, 769, 209	4, 206, 313	4, 798, 653	5, 386, 163	5, 923, 569	6, 221, 638
三 重	1, 461, 197	1, 485, 582	1, 485, 054	1, 514, 467	1, 543, 083	1, 626, 002	1, 686, 936
滋 賀	861, 180	853, 734	842, 695	853, 385	889, 768	985, 621	1, 079, 898
京 都	1, 832, 934	1, 935, 161	1, 993, 403	2, 102, 808	2, 250, 087	2, 424, 856	2, 527, 330
大 阪	3, 857, 047	4, 618, 308	5, 504, 746	6, 657, 189	7, 620, 480	8, 278, 925	8, 473, 446
兵 庫	3, 309, 935	3, 620, 947	3, 906, 487	4, 309, 944	4, 667, 928	4, 992, 140	5, 144, 892
奈 良	763, 883	776, 861	781, 058	825, 965	930, 160	1, 077, 491	1, 209, 365
和 歌 山	982, 113	1, 006, 819	1, 002, 191	1, 026, 975	1, 042, 736	1, 072, 118	1, 087, 012
鳥 取	600, 177	614, 259	599, 135	579, 853	568, 777	581, 311	604, 221
島 根	912, 551	929, 066	888, 886	821, 620	773, 575	768, 886	784, 795
岡 山	1, 661, 099	1, 689, 800	1, 670, 454	1, 645, 135	1, 707, 026	1, 814, 305	1, 871, 023
広 島	2, 081, 967	2, 149, 044	2, 184, 043	2, 281, 146	2, 436, 135	2, 646, 324	2, 739, 161
山 口	1, 540, 882	1, 609, 839	1, 602, 207	1, 543, 573	1, 511, 448	1, 555, 218	1, 587, 079
徳 島	878, 511	878, 109	847, 274	815, 115	791, 111	805, 166	825, 261
香 川	946, 022	943, 823	918, 867	900, 845	907, 897	961, 292	999, 864
愛 媛	1, 521, 878	1, 540, 628	1, 500, 687	1, 446, 384	1, 418, 124	1, 465, 215	1, 506, 637
高 知	873, 874	882, 683	854, 595	812, 714	786, 882	808, 397	831, 275
福 岡	3, 530, 169	3, 859, 764	4, 006, 679	3, 964, 611	4, 027, 416	4, 292, 963	4, 553, 461
佐 賀	945, 082	973, 749	942, 874	871, 885	838, 468	837, 674	865, 574
長 崎	1, 645, 492	1, 747, 596	1, 760, 421	1, 641, 245	1, 570, 245	1, 571, 912	1, 590, 564
熊 本	1, 827, 582	1, 895, 663	1, 856, 192	1, 770, 736	1, 700, 229	1, 715, 273	1, 790, 327
大 分	1, 252, 999	1, 277, 199	1, 239, 655	1, 187, 480	1, 155, 566	1, 190, 314	1, 228, 913
宮 崎	1, 091, 427	1, 139, 384	1, 134, 590	1, 080, 692	1, 051, 105	1, 085, 055	1, 151, 587
鹿 児 島	1, 804, 118	2, 044, 112	1, 963, 104	1, 853, 541	1, 729, 150	1, 723, 902	1, 784, 623
沖 縄	914, 937	801, 065	883, 122	934, 176	945, 111	1, 042, 572	1, 106, 559

日本に復帰以前の沖縄も人口のわかる年次は含めているが、1950～60年は12月1日現在の琉球政府調べによる。なお、1950年は奄美群島(人口216,110)を含んでおり、同年の鹿児島県には奄美群島は含んでいない。1) 長野県西筑摩郡山口村と岐阜県中津川市との境界紛争地域人口(73人)は、全国に含まれているが、長野県および岐阜県のいずれにも含まれていない(その後この地域は長野県に含まれることとなった)。

表24 都道府県別にみた年平均人口増加率：1920～80年

(%)

都道府県	1920～ 25年	1925～ 30年	1930～ 35年	1935～ 40年	1940～ 45年	1945～ 50年	1950～ 55年	1955～ 60年	1960～ 65年	1965～ 70年	1970～ 75年	1975～ 80年
全 国	1.31	1.53	1.45	1.09	¹⁾ 0.15	¹⁾ 2.98	1.38	0.92	1.02	1.08	1.35	0.90
北海道	1.16	2.39	1.76	1.30	1.43	4.14	2.13	1.09	0.52	0.05	0.59	0.88
青 森	1.45	1.60	1.91	0.68	1.58	3.50	1.51	0.63	-0.14	0.15	0.57	0.74
岩 手	1.28	1.61	1.40	0.93	2.26	1.90	1.17	0.30	-0.52	-0.57	0.21	0.52
宮 城	1.66	1.82	1.56	0.58	2.79	2.66	0.75	0.19	0.11	0.74	1.45	1.27
秋 田	0.83	1.07	0.99	0.28	2.82	1.58	0.60	-0.20	-0.85	-0.61	-0.14	0.39
山 形	1.18	1.01	0.67	0.05	3.39	0.47	-0.05	-0.49	-0.89	-0.60	-0.09	0.51
福 島	1.08	0.96	0.96	0.55	3.72	1.07	0.32	-0.42	-0.67	-0.38	0.25	0.65
茨 城	0.85	1.08	0.82	0.90	3.66	0.98	0.24	-0.17	0.09	0.84	1.79	1.78
栃 木	0.83	0.92	0.92	0.19	5.00	0.05	-0.04	-0.44	0.11	0.76	1.45	1.09
群 馬	1.23	1.17	0.93	0.89	3.48	0.72	0.15	-0.44	0.34	0.66	1.15	1.03
埼 玉	1.11	0.91	0.94	1.02	4.87	0.97	1.06	1.44	4.40	5.10	4.51	2.37
千 葉	0.93	0.99	1.02	0.54	4.29	1.72	0.61	0.90	3.22	4.50	4.27	2.68
東 京	3.93	3.82	3.33	2.92	-13.65	12.69	5.07	3.80	2.34	0.97	0.46	-0.09
神 奈 川	1.37	2.71	2.58	3.53	-3.09	6.03	3.25	3.35	5.17	4.31	3.17	1.59
新 潟	0.81	0.89	0.64	0.68	2.92	0.60	0.10	-0.26	-0.36	-0.32	0.26	0.49
富 山	0.68	0.78	0.51	0.59	2.96	1.15	0.24	0.22	-0.14	0.08	0.79	0.60
石 川	0.09	0.16	0.30	-0.28	3.16	1.55	0.19	0.15	0.15	0.44	1.31	0.91
福 井	-0.04	0.67	0.91	-0.09	2.36	0.76	0.04	-0.04	-0.06	-0.17	0.78	0.53
山 梨	0.58	0.99	0.49	0.50	4.74	-0.68	-0.11	-0.63	-0.49	-0.03	0.55	0.54
長 野	0.84	1.06	-0.04	-0.04	4.32	-0.58	-0.39	-0.40	-0.24	-0.01	0.61	0.65
岐 阜	1.14	0.80	0.79	0.63	3.66	0.34	0.50	0.68	0.75	0.68	1.21	0.97
静 岡	1.51	1.47	1.53	0.79	1.90	2.20	1.41	0.79	1.11	1.19	1.38	0.82
愛 知	2.11	2.05	2.20	2.04	-2.00	3.54	2.14	2.22	2.67	2.34	1.92	0.99
三 重	0.71	0.88	0.30	0.41	3.02	0.96	0.33	-0.01	0.39	0.38	1.05	0.74
滋 賀	0.35	0.87	0.57	-0.22	4.05	0.01	-0.17	-0.26	0.25	0.84	2.07	1.84
京 都	1.79	2.00	1.86	0.32	-1.48	2.75	1.09	0.59	1.07	1.36	1.51	0.83
阪 神	3.41	2.96	3.95	2.21	-10.03	6.72	3.67	3.57	3.87	2.74	1.67	0.47
大 阪	1.29	1.51	2.01	1.96	-2.57	3.30	1.81	1.53	1.99	1.61	1.35	0.60
兵 庫	0.67	0.42	0.80	0.00	4.59	-0.42	0.34	0.11	1.12	2.40	2.98	2.34
奈 良	0.97	1.07	0.79	0.02	1.56	0.98	0.50	-0.09	0.49	0.31	0.56	0.28
和 歌 山	0.76	0.71	0.05	-0.25	3.01	1.30	0.46	-0.50	-0.65	-0.38	0.44	0.78
鳥 取	0.21	0.47	0.21	-0.17	2.98	1.21	0.36	-0.88	-1.56	-1.20	-0.12	0.41
島 根	0.34	0.72	0.75	-0.05	3.26	1.22	0.34	-0.23	-0.30	0.74	1.23	0.62
岡 山	0.96	0.90	1.30	0.71	0.17	2.04	0.64	0.32	0.87	1.32	1.67	0.69
広 島	1.01	0.74	0.95	1.68	0.93	2.63	0.88	-0.09	-0.74	-0.42	0.57	0.41
山 口	0.58	0.76	0.34	-0.28	3.01	1.02	-0.01	-0.71	-0.77	-0.60	0.35	0.49
徳 島	0.65	0.91	0.43	-0.49	3.35	1.87	-0.05	-0.53	-0.40	0.16	1.15	0.79
香 愛	0.93	0.82	0.40	0.24	2.88	2.29	0.25	-0.52	-0.73	-0.39	0.66	0.56
媛 知	0.49	0.88	-0.09	-0.16	1.77	2.46	0.20	-0.64	-1.00	-0.64	0.54	0.56
高 知	1.02	1.89	1.75	2.34	-2.31	5.24	1.80	0.75	-0.21	0.31	1.29	1.19
福 岡	0.32	0.20	-0.16	0.44	3.37	2.67	0.60	-0.64	-1.55	-0.78	-0.02	0.66
佐 賀	0.48	1.17	1.01	1.10	-0.75	4.61	1.21	0.15	-1.39	-0.88	0.02	0.24
長 崎	1.00	0.88	0.48	-0.27	2.57	3.32	0.73	-0.42	-0.94	-0.81	0.18	0.86
熊 本	1.24	0.66	0.72	-0.15	2.89	2.22	0.38	-0.59	-0.86	-0.54	0.59	0.64
大 宮	1.20	1.93	1.63	0.38	1.66	3.68	0.86	-0.08	-0.97	-0.55	0.64	1.20
鹿 児 島	0.79	1.12	0.44	-0.03	-0.64	3.29	²⁾ 0.24	-0.81	-1.14	-1.38	-0.06	0.69
沖 縄	-0.49	0.70	0.51	-0.61	…	…	²⁾ 2.77	1.97	1.13	0.23	1.98	1.20

前表(表23)の人口に基づいて算定した各調査年次間の年平均増加率である。 $(\sqrt[N]{P_1/P_0} - 1) \times 100$ によって計算。ただし、 P_0 、 P_1 はそれぞれ期初、期末人口、 N は期間。なお、最近の1980～85年間年平均増加率は次表に掲載している。

- 1) 1945年の沖縄人口は不明なので、この両期間は沖縄県を除いて算出。
- 2) 1950年の奄美群島の人口(前表参照)は鹿児島県に含めて算出した。

表25 都道府県別にみた人口および増加率：1986～90年

都道府県	人 口 (1,000人)					年 平 均 人 口 増 加 率 (%)				
	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1985～ 86年	1986～ 87年	1987～ 88年	1988～ 89年	1989～ 90年
全 国	121,672	122,264	122,783	123,255	123,612	5.2	4.9	4.2	3.8	2.9
北 海 道	5,678	5,671	5,671	5,670	5,644	-0.2	-1.4	0.1	-0.2	-4.7
青 森	1,520	1,516	1,509	1,502	1,483	-3.1	-2.7	-4.3	-5.0	-12.5
岩 手	1,431	1,426	1,423	1,419	1,417	-2.0	-3.2	-2.2	-3.2	-1.1
宮 城	2,190	2,206	2,221	2,236	2,249	6.1	7.6	6.8	6.6	5.6
秋 田	1,249	1,245	1,239	1,234	1,227	-4.0	-3.6	-4.3	-4.3	-5.1
山 形	1,262	1,262	1,262	1,260	1,258	0.1	0.2	-0.1	-1.2	-1.6
福 島	2,085	2,091	2,095	2,099	2,104	2.1	2.8	2.1	2.1	2.3
茨 城	2,746	2,769	2,794	2,821	2,845	7.6	8.4	9.2	9.7	8.6
栃 木	1,879	1,892	1,903	1,915	1,935	6.8	7.2	5.9	6.0	10.6
群 馬	1,930	1,939	1,946	1,955	1,966	4.8	4.4	3.9	4.6	5.6
埼 玉	5,950	6,063	6,181	6,290	6,405	14.7	18.9	19.6	17.6	18.3
千 葉	5,216	5,299	5,392	5,471	5,555	13.2	16.0	17.4	14.8	15.4
東 京	11,893	11,898	11,890	11,885	11,855	5.4	0.4	-0.7	-0.4	-2.5
神 奈 川	7,542	7,661	7,760	7,846	7,980	14.7	15.9	12.9	11.1	17.1
新 潟	2,479	2,479	2,480	2,481	2,475	0.3	-0.0	0.4	0.4	-2.6
富 山	1,119	1,121	1,121	1,121	1,120	0.8	1.4	-0.2	0.6	-1.0
石 川	1,155	1,157	1,159	1,161	1,165	2.3	1.7	1.9	1.9	2.9
福 井	820	822	822	823	824	2.3	2.7	0.8	1.0	0.4
山 梨	838	842	846	849	853	5.7	4.9	4.7	4.4	4.3
長 野	2,144	2,149	2,152	2,157	2,157	3.3	2.5	1.2	2.1	0.0
岐 阜	2,036	2,045	2,052	2,059	2,067	3.7	4.2	3.5	3.4	3.7
静 岡	3,596	3,617	3,636	3,652	3,671	6.0	5.9	5.1	4.6	5.1
愛 知	6,507	6,555	6,590	6,628	6,690	8.0	7.5	5.3	5.7	9.4
三 重	1,757	1,766	1,773	1,784	1,793	5.4	5.3	4.1	6.2	4.7
滋 賀	1,167	1,179	1,193	1,208	1,222	9.7	10.3	11.5	13.0	11.7
京 都	2,596	2,602	2,605	2,606	2,603	3.6	2.3	1.3	0.3	-1.4
大 阪	8,706	8,739	8,751	8,747	8,735	4.4	3.8	1.4	-0.4	-1.5
兵 庫	5,302	5,323	5,349	5,380	5,405	4.5	4.0	4.9	5.7	4.7
奈 良	1,319	1,336	1,352	1,370	1,375	11.2	12.5	12.3	12.7	4.3
和 歌 山	1,085	1,082	1,081	1,081	1,074	-2.2	-2.1	-1.4	0.1	-6.2
鳥 取	617	617	618	618	616	0.9	1.0	1.1	0.1	-3.6
島 根	794	793	791	789	781	-1.3	-0.4	-2.7	-3.3	-9.6
山 岡	1,923	1,927	1,929	1,931	1,926	3.1	2.4	1.0	1.1	-2.9
広 島	2,831	2,839	2,846	2,853	2,850	4.3	2.7	2.5	2.3	-1.0
山 口	1,599	1,596	1,592	1,588	1,573	-1.4	-2.3	-2.1	-2.8	-9.5
徳 島	835	836	835	834	832	0.6	0.6	-0.8	-1.1	-3.2
香 川	1,024	1,026	1,027	1,027	1,023	1.8	1.5	1.1	-0.3	-3.3
愛 媛	1,529	1,528	1,527	1,525	1,515	-0.5	-0.8	-0.8	-1.0	-6.7
高 知	838	837	835	832	825	-1.8	-1.3	-2.6	-3.0	-8.9
福 岡	4,740	4,755	4,771	4,790	4,811	4.4	3.1	3.4	4.0	4.4
佐 賀	880	881	881	880	878	0.1	0.7	-0.2	-0.9	-2.1
長 崎	1,591	1,587	1,583	1,577	1,563	-1.8	-2.4	-2.5	-4.3	-8.6
熊 本	1,842	1,846	1,847	1,848	1,840	2.2	2.2	0.9	0.2	-4.0
大 分	1,250	1,248	1,245	1,243	1,237	-0.6	-1.2	-2.1	-2.2	-4.6
宮 崎	1,175	1,176	1,176	1,176	1,169	-0.2	0.6	0.2	-0.3	-5.9
鹿 児 島	1,817	1,818	1,815	1,810	1,798	-1.0	0.4	-1.7	-2.7	-6.9
沖 縄	1,190	1,202	1,213	1,222	1,222	9.4	10.0	9.3	7.3	0.2

総務庁統計局『各年10月1日現在推計人口』による。

1990年は『平成2年国勢調査速報 全国都道府県市区町村別人口』による。

人口増加率は期初年10月1日から期末年9月30日間の増加の期初人口1,000に対するもの。

連続的増加率 $(\log P_n/P_0)/n$ による。

表26 都道府県別にみた人口および増加率の将来予測：1985～2000年

都道府県	人 口 (1,000人)				年平均人口増加率 (%)			
	1985年 ¹⁾	1990年	1995年	2000年	1980～ ²⁾ 85年	1985～ 90年	1990～ 95年	1995～ 2000年
全 国	121,049	124,225	127,565	131,192	0.67	0.52	0.53	0.56
北海道	5,679	5,731	5,779	5,831	0.37	0.18	0.17	0.18
青 森	1,524	1,513	1,496	1,479	0.01	-0.14	-0.23	-0.23
岩 手	1,434	1,431	1,422	1,412	0.16	-0.04	-0.13	-0.14
宮 城	2,176	2,251	2,324	2,399	0.89	0.68	0.64	0.64
秋 田	1,254	1,237	1,211	1,180	-0.04	-0.27	-0.42	-0.52
山 形	1,262	1,259	1,248	1,234	0.16	-0.05	-0.18	-0.23
福 島	2,080	2,106	2,121	2,133	0.44	0.25	0.14	0.11
茨 城	2,725	2,866	3,013	3,182	1.27	1.01	1.01	1.10
栃 木	1,866	1,922	1,975	2,037	0.81	0.59	0.55	0.62
群 馬	1,921	1,976	2,034	2,103	0.77	0.57	0.58	0.67
埼 玉	5,864	6,273	6,746	7,302	1.58	1.36	1.46	1.60
千 葉	5,148	5,530	5,970	6,487	1.69	1.44	1.54	1.67
東 京	11,829	12,004	12,138	12,153	0.36	0.29	0.22	0.02
神奈川	7,432	7,931	8,507	9,127	1.43	1.31	1.41	1.42
新 潟	2,478	2,479	2,472	2,467	0.22	0.01	-0.06	-0.04
富 山	1,118	1,122	1,123	1,131	0.27	0.07	0.02	0.14
石 川	1,152	1,175	1,199	1,228	0.58	0.40	0.41	0.48
福 井	818	835	852	871	0.58	0.41	0.40	0.44
山 梨	833	858	884	913	0.70	0.59	0.60	0.65
長 野	2,137	2,171	2,206	2,250	0.50	0.32	0.32	0.40
岐 阜	2,029	2,084	2,139	2,204	0.69	0.54	0.52	0.60
静 岡	3,575	3,672	3,773	3,891	0.73	0.54	0.54	0.62
愛 知	6,455	6,663	6,896	7,145	0.74	0.64	0.69	0.71
三 重	1,747	1,795	1,844	1,901	0.71	0.54	0.54	0.61
滋 賀	1,156	1,224	1,297	1,382	1.37	1.15	1.17	1.28
京 都	2,587	2,630	2,671	2,706	0.46	0.33	0.31	0.26
大 阪	8,668	8,817	8,981	9,132	0.46	0.34	0.37	0.33
兵 庫	5,278	5,380	5,500	5,644	0.51	0.38	0.44	0.52
奈 良	1,305	1,393	1,490	1,600	1.53	1.31	1.36	1.43
和歌山	1,087	1,079	1,072	1,068	0.00	-0.15	-0.13	-0.07
鳥 取	616	621	623	626	0.39	0.16	0.06	0.10
島 根	795	796	794	793	0.25	0.03	-0.05	-0.03
岡 山	1,917	1,949	1,980	2,022	0.49	0.33	0.32	0.42
広 島	2,819	2,877	2,942	3,026	0.58	0.41	0.45	0.56
山 口	1,602	1,601	1,597	1,597	0.18	-0.01	-0.05	0.00
徳 島	835	838	837	837	0.23	0.07	-0.02	-0.00
香 川	1,023	1,035	1,046	1,061	0.45	0.23	0.21	0.29
愛 媛	1,530	1,539	1,544	1,554	0.31	0.12	0.06	0.13
高 知	840	839	838	840	0.20	-0.02	-0.02	0.05
福 岡	4,719	4,850	4,985	5,131	0.72	0.55	0.55	0.58
佐 賀	880	889	895	901	0.33	0.20	0.13	0.13
長 崎	1,594	1,583	1,569	1,555	0.04	-0.14	-0.18	-0.18
熊 本	1,838	1,872	1,900	1,925	0.52	0.37	0.30	0.26
大 分	1,250	1,259	1,264	1,271	0.34	0.14	0.08	0.11
宮 崎	1,176	1,184	1,187	1,191	0.41	0.14	0.05	0.07
鹿 児 島	1,819	1,840	1,854	1,864	0.39	0.23	0.15	0.11
沖 縄	1,179	1,248	1,324	1,407	1.28	1.14	1.19	1.22

各年10月1日現在の推計人口で、人口問題研究所「都道府県別将来推計人口—昭和60年～100年間毎5年—昭和62年1月推計」(研究資料第247号, 1987.3)による。なお、この推計作業は数種の仮定を設けて行われたが、ここに示した推計値は、代表的な性格を有する「1980～85年純移動率一定」の結果である。年平均人口増加率については表24の注参照。1) この推計の基礎人口で、1985年国勢調査の結果。2) 国勢調査人口による。表22注参照。

表27 都道府県別にみた自然増加率および社会増加率：1960～85年

(%)

都道府県	自然増加率					社会増加率 ¹⁾				
	1960～ 65年	1965～ 70年	1970～ 75年	1975～ 80年	1980～ 85年	1960～ 65年	1965～ 70年	1970～ 75年	1975～ 80年	1980～ 85年
全 国	5.3	5.7	6.4	4.6	3.3	—	—	—	—	—
北海道	6.2	5.7	6.0	4.8	3.4	- 3.5	- 5.5	- 3.1	-0.3	-1.6
青森	6.4	5.9	5.6	4.4	3.3	- 7.1	- 5.1	- 2.7	-0.7	-3.3
岩手	5.1	4.4	4.4	4.0	3.0	- 7.7	- 7.2	- 3.4	-1.3	-2.1
宮城	4.9	4.7	5.6	5.1	4.1	- 4.3	- 1.0	1.8	1.4	0.4
秋田	4.1	3.3	3.4	3.3	2.3	- 8.3	- 6.3	- 4.1	-1.3	-2.5
山形	3.5	2.8	3.2	3.2	2.4	- 7.8	- 5.7	- 3.7	-0.6	-1.6
福島	4.5	3.6	4.3	4.1	3.3	- 7.8	- 5.5	- 3.1	-0.8	-1.1
茨城	4.2	4.4	5.7	4.6	3.5	- 3.7	- 0.2	3.5	4.6	3.0
栃木	4.1	4.3	5.8	4.7	3.5	- 3.6	- 0.4	1.7	0.8	0.6
群馬	4.2	4.6	5.7	4.4	3.1	- 2.4	- 1.3	0.1	0.9	0.8
埼玉	6.8	9.3	10.2	6.4	4.3	17.3	19.0	14.5	6.0	3.9
千葉	5.7	7.4	8.8	6.0	4.3	11.5	17.2	14.5	8.1	4.4
東京	7.4	7.8	7.3	4.5	3.2	4.8	- 2.8	- 5.0	-4.9	-1.3
神奈川	8.1	9.4	9.5	6.1	4.2	20.6	14.1	7.4	2.2	3.1
新潟	3.9	3.8	4.3	3.7	2.6	- 5.6	- 5.4	- 3.0	-1.3	-1.5
富山	3.5	4.0	5.1	3.5	2.1	- 4.2	- 3.6	- 1.1	-0.5	-0.8
石川	3.9	4.5	5.9	4.3	3.0	- 3.1	- 2.3	0.8	0.3	-0.0
福井	4.0	3.7	4.7	3.7	2.8	- 4.3	- 4.6	- 0.8	-1.0	0.1
山梨	4.0	3.9	4.1	3.2	2.3	- 6.4	- 4.0	- 1.3	-0.5	1.2
長野	3.4	3.5	4.3	3.5	2.3	- 4.5	- 3.6	- 1.2	-0.2	0.2
岐阜	5.1	5.2	5.9	4.2	3.0	- 1.3	- 1.7	0.3	0.7	0.5
静岡	5.6	5.8	6.7	4.9	3.6	0.1	0.2	0.4	-0.7	0.1
愛三	6.9	7.8	8.5	5.7	4.1	7.1	4.5	1.5	-0.6	-0.4
愛重	4.3	4.2	5.0	3.5	2.5	- 2.3	- 2.3	0.4	0.2	1.1
滋賀	3.6	3.9	5.8	4.9	3.8	- 2.3	0.3	5.0	4.7	3.2
京都	4.5	5.5	6.3	4.3	2.8	1.0	1.5	1.5	-0.1	-0.5
大阪	8.0	8.8	8.6	5.2	3.6	12.9	5.7	- 0.0	-2.9	-1.3
兵庫	5.8	6.4	7.0	4.6	3.2	4.5	1.9	- 0.0	-1.6	-0.6
奈良	4.0	5.2	6.5	4.4	3.2	1.8	7.4	9.3	7.8	4.7
和歌山	4.0	4.1	4.6	2.9	1.9	- 1.5	- 2.6	- 1.7	-1.5	-1.9
鳥取	3.1	2.4	3.5	3.1	2.5	- 6.3	- 4.3	- 1.3	0.8	-0.6
島根	2.4	1.9	2.5	2.2	1.7	-10.0	- 7.7	- 3.1	-0.1	-0.5
岡山	3.1	3.7	5.1	3.6	2.6	- 4.5	0.1	1.2	-0.4	-0.1
広島	4.1	5.0	6.4	4.4	3.1	0.4	1.8	2.2	-0.9	-0.2
山口	3.5	3.6	4.4	3.1	2.1	- 7.2	- 5.7	- 1.5	-1.0	-1.2
徳島	2.8	2.4	3.2	2.6	2.1	- 6.6	- 5.4	- 1.5	-0.1	-0.9
香川	2.9	3.1	4.6	3.5	2.4	- 4.8	- 2.3	1.3	0.5	-0.1
愛媛	3.8	3.4	4.3	3.4	2.4	- 7.4	- 5.4	- 1.0	-0.5	-0.8
高知	2.4	1.9	2.9	2.0	1.5	- 7.3	- 5.0	- 0.1	0.8	-0.4
福岡	4.7	5.1	5.7	4.7	3.6	- 5.7	- 3.5	0.9	1.4	0.1
佐賀	4.0	3.6	3.9	3.6	3.0	-11.5	- 7.4	- 4.0	-0.3	-1.3
長崎	5.2	4.5	4.6	3.8	3.1	-12.0	- 8.9	- 4.5	-2.6	-2.8
熊本	4.0	3.3	3.4	3.4	2.9	- 8.6	- 7.3	- 2.6	1.0	-0.3
大分	3.3	2.9	3.8	3.3	2.3	- 7.5	- 5.6	- 0.8	-0.1	-0.5
宮崎	4.8	4.0	4.6	4.4	3.4	- 9.5	- 6.7	- 1.4	1.7	-1.4
鹿児島	4.1	2.8	2.7	2.7	2.5	- 9.7	- 9.5	- 3.0	0.8	-0.6
沖縄	9.7	8.6	9.1	7.6	6.7	- 4.0	- 7.4	1.3	-1.5	-0.1

総務庁統計局「我が国人口の概観」(昭和60年国勢調査解説シリーズNo. 1, 1986. 12)によるもので、同局の人口推計資料や厚生省の人口動態統計などを用いて、各国勢調査年次間の増加率を算出したもの。期初人口100について。表13参照。

1) 5年間の人口増加総数から自然増加を差し引いた社会増加を期初人口で割って算出。

表28 都道府県別の市部・郡部別にみた人口とその割合：1970～85年

都道府県	1985年					1980年		1970年	
	人 口			割 合 (%)		市部人口 割合 (%)	郡部人口 割合 (%)	市部人口 割合 (%)	郡部人口 割合 (%)
	総 数	市 部	郡 部	市 部	郡 部				
全 国	121,048,923	92,889,236	28,159,687	76.7	23.3	76.2	23.8	72.1	27.9
北海道	5,679,439	4,122,135	1,557,304	72.6	27.4	71.4	28.6	64.0	36.0
青 森	1,524,448	953,613	570,835	62.6	37.4	61.6	38.4	57.4	42.6
岩 手	1,433,611	804,605	629,006	56.1	43.9	56.3	43.7	52.4	47.6
宮 城	2,176,295	1,357,057	819,238	62.4	37.6	61.5	38.5	51.6	48.4
秋 田	1,254,032	675,028	579,004	53.8	46.2	53.2	46.8	46.0	54.0
山 形	1,261,662	888,792	372,870	70.4	29.6	69.9	30.1	67.1	32.9
福 島	2,080,304	1,304,260	776,044	62.7	37.3	62.0	38.0	58.8	41.2
茨 城	2,725,005	1,311,019	1,413,986	48.1	51.9	48.8	51.2	48.0	52.0
栃 木	1,866,066	1,228,339	637,727	65.8	34.2	65.4	34.6	61.6	38.4
群 馬	1,921,259	1,206,849	714,410	62.8	37.2	62.6	37.4	62.0	38.0
埼 玉	5,863,678	4,855,990	1,007,688	82.8	17.2	83.0	17.0	69.9	30.1
千 葉	5,148,163	4,394,750	753,413	85.4	14.6	82.9	17.1	74.6	25.4
東 京	11,829,363	11,671,674	157,689	98.7	1.3	98.7	1.3	97.8	2.2
神 奈 川	7,431,974	7,083,269	348,705	95.3	4.7	95.3	4.7	91.6	8.4
新 潟	2,478,470	1,585,577	892,893	64.0	36.0	63.5	36.5	59.1	40.9
富 山	1,118,369	783,777	334,592	70.1	29.9	70.1	29.9	69.5	30.5
石 川	1,152,325	794,811	357,514	69.0	31.0	68.8	31.2	65.1	34.9
福 井	817,633	552,884	264,749	67.6	32.4	67.5	32.5	64.5	35.5
山 梨	832,832	411,232	421,600	49.4	50.6	50.4	49.6	50.3	49.7
長 野	2,136,927	1,347,763	789,164	63.1	36.9	62.1	37.9	59.1	40.9
岐 阜	2,028,536	1,288,172	740,364	63.5	36.5	60.3	39.7	60.1	39.9
静 岡	3,574,692	2,767,189	807,503	77.4	22.6	77.3	22.7	73.4	26.6
愛 知	6,455,172	5,401,303	1,053,869	83.7	16.3	83.9	16.1	81.5	18.5
三 重	1,747,311	1,170,856	576,455	67.0	33.0	66.7	33.3	65.1	34.9
滋 賀	1,155,844	628,415	527,429	54.4	45.6	53.9	46.1	51.3	48.7
京 都	2,586,574	2,237,068	349,506	86.5	13.5	86.6	13.4	80.0	20.0
大 阪	8,668,095	8,364,984	303,111	96.5	3.5	96.8	3.2	97.2	2.8
兵 庫	5,278,050	4,454,228	823,822	84.4	15.6	84.3	15.7	83.1	16.9
奈 良	1,304,866	880,333	424,533	67.5	32.5	67.1	32.9	61.7	38.3
和 歌 山	1,087,206	667,531	419,675	61.4	38.6	61.2	38.8	59.4	40.6
鳥 取	616,024	358,554	257,470	58.2	41.8	57.6	42.4	53.8	46.2
島 根	794,629	457,084	337,545	57.5	42.5	56.9	43.1	53.6	46.4
岡 山	1,916,906	1,386,091	530,815	72.3	27.7	72.1	27.9	61.9	38.1
広 島	2,819,200	2,120,057	699,143	75.2	24.8	71.7	28.3	59.1	40.9
山 口	1,601,627	1,233,449	368,178	77.0	23.0	76.4	23.6	72.6	27.4
徳 島	834,889	426,960	407,929	51.1	48.9	50.6	49.4	48.4	51.6
香 川	1,022,569	551,557	471,012	53.9	46.1	53.7	46.3	52.4	47.6
愛 媛	1,529,983	1,065,200	464,783	69.6	30.4	68.7	31.3	62.7	37.3
高 知	839,784	558,993	280,791	66.6	33.4	65.7	34.3	60.6	39.4
福 岡	4,719,259	3,557,967	1,161,292	75.4	24.6	73.4	26.6	69.7	30.3
佐 賀	880,013	460,177	419,836	52.3	47.7	52.2	47.8	50.6	49.4
長 崎	1,593,968	988,038	605,930	62.0	38.0	61.7	38.3	59.1	40.9
熊 本	1,837,747	1,013,452	824,295	55.1	44.9	54.7	45.3	51.7	48.3
大 分	1,250,214	896,958	353,256	71.7	28.3	70.6	29.4	65.5	34.5
宮 崎	1,175,543	794,430	381,113	67.6	32.4	67.4	32.6	62.4	37.6
鹿 児 島	1,819,270	1,030,052	789,218	56.6	43.4	55.6	44.4	50.8	49.2
沖 縄	1,179,097	796,714	382,383	67.6	32.4	67.7	32.3	60.9	39.1

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在人口。割合は、各都道府県の全域に対する市部・郡部の占める人口割合。

表29 都道府県別人口の全国人口に占める割合：1920～85年

(1) 1920～50年

(%)

都道府県	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1945年 ¹⁾	1947年 ¹⁾	1950年
全 国	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
北 海 道	4.22	4.18	4.36	4.43	4.49	4.89	4.93	5.11
青 森	1.35	1.36	1.37	1.40	1.37	1.50	1.51	1.53
岩 手	1.51	1.51	1.51	1.51	1.50	1.71	1.62	1.60
宮 城	1.72	1.75	1.77	1.78	1.73	2.03	2.01	1.98
秋 田	1.61	1.57	1.53	1.50	1.44	1.68	1.61	1.56
山 形	1.73	1.72	1.68	1.61	1.53	1.84	1.71	1.61
福 島	2.44	2.41	2.34	2.28	2.22	2.72	2.55	2.45
茨 城	2.41	2.36	2.31	2.24	2.22	2.70	2.58	2.42
栃 木	1.87	1.83	1.77	1.73	1.65	2.15	1.96	1.84
群 馬	1.88	1.87	1.84	1.79	1.78	2.15	2.01	1.90
埼 玉	2.36	2.33	2.26	2.21	2.20	2.84	2.69	2.55
千 葉	2.39	2.34	2.28	2.23	2.17	2.73	2.71	2.54
東 京	6.61	7.51	8.39	9.20	10.16	4.84	6.40	7.46
神 奈 川	2.36	2.37	2.51	2.66	3.00	2.59	2.84	2.96
新 潟	3.17	3.10	3.00	2.88	2.81	3.32	3.10	2.93
富 山	1.29	1.25	1.21	1.15	1.13	1.32	1.25	1.20
石 川	1.34	1.26	1.17	1.11	1.04	1.23	1.19	1.14
福 井	1.07	1.00	0.96	0.93	0.88	1.01	0.93	0.89
山 梨	1.04	1.01	0.98	0.93	0.90	1.17	1.03	0.96
長 岐	2.79	2.73	2.66	2.47	2.34	2.95	2.64	2.45
岐 阜	1.91	1.90	1.83	1.77	1.73	2.11	1.91	1.84
静 岡	2.77	2.80	2.79	2.80	2.76	3.08	3.01	2.94
愛 知	3.73	3.88	3.98	4.13	4.34	3.97	4.00	4.03
三 重	1.91	1.85	1.80	1.70	1.64	1.94	1.81	1.74
滋 賀	1.16	1.11	1.07	1.03	0.96	1.20	1.10	1.02
京 都	2.30	2.35	2.41	2.46	2.37	2.23	2.23	2.18
大 阪	4.62	5.12	5.49	6.20	6.60	3.89	4.27	4.59
兵 庫	4.11	4.11	4.11	4.22	4.41	3.92	3.91	3.94
奈 良	1.01	0.98	0.93	0.90	0.85	1.08	1.00	0.91
和 歌 山	1.34	1.32	1.29	1.25	1.17	1.30	1.23	1.17
鳥 取	0.81	0.79	0.76	0.71	0.66	0.78	0.75	0.71
島 根	1.28	1.21	1.15	1.08	1.01	1.19	1.15	1.08
岡 山	2.18	2.07	1.99	1.92	1.82	2.17	2.07	1.97
広 島	2.76	2.71	2.63	2.61	2.52	2.62	2.58	2.48
山 口	1.86	1.83	1.76	1.72	1.76	1.88	1.89	1.83
徳 島	1.20	1.15	1.11	1.05	0.98	1.16	1.09	1.04
香 川	1.21	1.17	1.14	1.08	0.99	1.20	1.17	1.12
愛 媛	1.87	1.84	1.77	1.68	1.61	1.89	1.86	1.81
高 知	1.20	1.15	1.11	1.03	0.97	1.08	1.09	1.04
福 岡	3.91	3.85	3.92	3.98	4.23	3.82	4.07	4.20
佐 賀	1.20	1.15	1.07	0.99	0.95	1.15	1.18	1.12
長 崎	2.03	1.95	1.91	1.87	1.86	1.83	1.96	1.96
熊 本	2.20	2.17	2.10	2.00	1.86	2.16	2.26	2.17
大 分	1.54	1.53	1.47	1.42	1.32	1.56	1.58	1.49
宮 崎	1.16	1.16	1.18	1.19	1.14	1.27	1.31	1.30
鹿 兒 島	2.53	2.46	2.42	2.30	2.16	2.14	2.24	2.14
沖 縄	1.02	0.93	0.90	0.86	0.79	1.09

1) 沖縄県を除く。表末の注参照。実数は表22、表23参照。

表29 都道府県別人口の全国人口に占める割合：1920～85年（つづき）

(2) 1955～85年

(%)

都道府県	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1920年を100とした 1985年の人口指数
全 国	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	216
北 海 道	5.30	5.34	5.21	4.95	4.77	4.76	4.69	241
青 森	1.53	1.51	1.43	1.36	1.31	1.30	1.26	202
岩 手	1.58	1.54	1.42	1.31	1.24	1.21	1.18	170
宮 城	1.92	1.85	1.77	1.74	1.75	1.78	1.80	226
秋 田	1.50	1.42	1.29	1.19	1.10	1.07	1.04	140
山 形	1.50	1.40	1.27	1.17	1.09	1.07	1.04	130
福 島	2.33	2.18	2.00	1.86	1.76	1.74	1.72	153
茨 城	2.29	2.17	2.07	2.05	2.09	2.19	2.25	202
栃 木	1.72	1.61	1.53	1.51	1.52	1.53	1.54	178
群 馬	1.79	1.67	1.62	1.58	1.57	1.58	1.59	183
埼 玉	2.51	2.58	3.04	3.69	4.31	4.63	4.84	444
千 葉	2.45	2.45	2.72	3.22	3.71	4.05	4.25	385
東 京	8.92	10.27	10.96	10.90	10.43	9.93	9.77	320
神 奈 川	3.24	3.65	4.47	5.23	5.72	5.92	6.14	562
新 潟	2.75	2.59	2.42	2.26	2.14	2.09	2.05	140
富 山	1.13	1.10	1.03	0.98	0.96	0.94	0.92	154
石 川	1.07	1.03	0.99	0.96	0.96	0.96	0.95	154
福 井	0.84	0.80	0.76	0.71	0.69	0.68	0.68	136
山 梨	0.90	0.83	0.77	0.73	0.70	0.69	0.69	143
長 岐	2.24	2.10	1.97	1.87	1.80	1.78	1.77	137
岐 阜	1.76	1.74	1.71	1.68	1.67	1.67	1.68	190
静 岡	2.94	2.92	2.94	2.95	2.96	2.94	2.95	231
愛 知	4.18	4.46	4.84	5.15	5.29	5.31	5.33	309
三 重	1.65	1.57	1.53	1.47	1.45	1.44	1.44	163
滋 賀	0.95	0.89	0.86	0.85	0.88	0.92	0.95	178
京 都	2.15	2.11	2.12	2.15	2.17	2.16	2.14	201
大 阪	5.13	5.84	6.71	7.28	7.40	7.24	7.16	335
兵 庫	4.02	4.14	4.34	4.46	4.46	4.40	4.36	229
奈 良	0.86	0.83	0.83	0.89	0.96	1.03	1.08	231
和 歌 山	1.12	1.06	1.04	1.00	0.96	0.93	0.90	145
鳥 取	0.68	0.64	0.58	0.54	0.52	0.52	0.51	135
島 根	1.03	0.94	0.83	0.74	0.69	0.67	0.66	111
岡 山	1.88	1.77	1.66	1.63	1.62	1.60	1.58	157
広 島	2.39	2.32	2.30	2.33	2.36	2.34	2.33	183
山 口	1.79	1.70	1.56	1.44	1.39	1.36	1.32	154
徳 島	0.97	0.90	0.82	0.76	0.72	0.70	0.69	125
香 川	1.05	0.97	0.91	0.87	0.86	0.85	0.84	151
愛 媛	1.71	1.59	1.46	1.35	1.31	1.29	1.26	146
高 知	0.98	0.91	0.82	0.75	0.72	0.71	0.69	125
福 岡	4.28	4.25	4.00	3.85	3.84	3.89	3.90	216
佐 賀	1.08	1.00	0.88	0.80	0.75	0.74	0.73	131
長 崎	1.94	1.87	1.65	1.50	1.40	1.36	1.32	140
熊 本	2.10	1.97	1.78	1.62	1.53	1.53	1.52	149
大 分	1.42	1.31	1.20	1.10	1.06	1.05	1.03	145
宮 崎	1.26	1.20	1.09	1.00	0.97	0.98	0.97	181
鹿 児 島	2.27	2.08	1.87	1.65	1.54	1.52	1.50	129
沖 縄	0.89	0.94	0.94	0.90	0.93	0.95	0.97	206

総理府統計局『日本人口の地域分布とその変化』（昭和55年国勢調査モノグラフシリーズNo.3）、総務府統計局『昭和60年国勢調査最終報告書 日本の人口（資料編）』による。

表30 都道府県別人口密度の地域差指数：1920～85年

(1) 1920～50年

(%)

都道府県	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1945年	1947年	1950年
全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	18.4	17.9	18.9	19.3	19.3	23.1	23.1	24.3
青 森	53.7	53.8	53.8	55.2	54.5	57.4	58.0	58.8
岩 手	37.4	37.8	37.9	38.1	37.4	41.5	39.2	38.9
宮 城	89.8	91.7	92.9	93.9	90.9	103.1	101.4	101.3
秋 田	52.4	51.3	50.3	49.2	47.1	53.3	50.9	50.0
山 形	70.7	70.5	68.6	66.3	62.6	72.8	67.5	64.2
福 島	67.3	66.7	64.5	63.5	61.5	72.8	68.4	66.4
茨 城	150.3	148.1	144.4	140.3	139.0	163.6	156.1	148.2
栃 木	110.2	108.3	104.7	102.8	97.9	123.1	112.3	106.6
群 馬	113.6	113.5	110.7	108.3	107.5	125.1	117.0	111.9
埼 玉	236.1	235.3	227.2	222.1	220.9	275.9	260.4	249.6
千 葉	178.9	176.9	171.0	168.5	163.6	199.5	196.7	188.1
東 京	1,174.8	1,342.3	1,492.3	1,640.9	1,808.6	875.9	1,155.2	1,367.7
神 奈 川	383.0	385.9	407.1	432.0	487.7	406.7	444.8	466.4
新 潟	95.9	94.2	91.1	87.8	85.0	97.4	90.6	86.7
富 山	115.6	112.8	108.3	103.9	101.1	114.9	108.5	104.9
石 川	121.1	114.7	106.5	101.1	94.7	108.7	104.2	100.9
福 井	101.4	95.5	91.1	84.0	79.1	87.2	80.2	78.3
山 梨	89.1	86.5	83.4	80.1	77.5	96.4	85.4	80.5
長 野	78.2	76.9	74.6	69.6	65.8	80.0	71.2	66.8
岐 阜	69.4	69.2	66.3	64.6	63.1	74.4	67.0	65.0
静 岡	136.1	137.8	136.7	138.1	135.3	146.7	142.9	140.7
愛 知	281.0	294.2	298.8	311.0	326.2	288.2	290.1	297.3
三 重	127.9	124.4	118.9	112.7	108.6	124.1	116.0	112.4
滋 賀	109.5	105.1	101.2	97.2	90.9	109.2	100.0	94.7
京 都	191.8	198.1	198.8	203.3	196.3	177.9	177.4	175.2
大 阪	970.7	1,081.4	1,155.6	1,308.8	1,389.3	791.8	867.5	940.7
兵 庫	185.7	186.5	188.2	193.9	202.7	173.8	173.1	175.7
奈 良	102.7	100.6	95.9	92.8	87.7	108.2	99.5	91.6
和 歌 山	108.2	106.4	104.1	101.1	95.2	101.5	95.8	92.0
鳥 取	88.4	86.5	82.8	77.9	72.2	82.6	79.2	76.1
島 根	73.5	69.9	66.3	62.4	57.8	66.7	63.7	61.1
岡 山	117.7	112.8	107.7	104.4	98.4	113.8	108.5	104.0
広 島	124.5	123.1	118.9	118.2	114.4	114.4	112.3	109.3
山 口	116.3	115.4	110.7	108.3	110.2	114.4	114.6	111.9
徳 島	110.2	107.1	102.4	97.2	90.4	103.6	97.2	93.8
香 川	249.7	242.9	233.1	222.7	204.3	238.5	233.0	224.8
愛 媛	125.2	123.1	119.5	113.8	108.6	123.1	121.2	119.0
高 知	64.6	62.2	59.8	55.8	51.9	55.9	56.1	54.4
福 岡	301.4	298.7	303.0	308.3	326.7	285.1	303.3	318.6
佐 賀	187.8	179.5	167.5	154.7	148.1	173.8	176.9	173.9
長 崎	187.8	181.4	179.3	175.7	174.3	166.2	177.4	178.8
熊 本	112.9	111.5	107.7	102.8	95.2	107.2	111.8	109.3
大 分	93.9	94.2	88.2	85.6	79.7	91.3	92.0	87.6
宮 崎	57.1	57.1	58.0	59.1	56.1	60.5	62.7	62.4
鹿 児 島	106.1	103.8	101.2	96.7	90.4	101.0	105.2	102.2
沖 縄	162.6	150.0	143.2	137.0	126.2	111.5

表29注参照。

表30 都道府県別人口密度の地域差指数：1920～85年（つづき）

(2) 1955～85年

(%)

都道府県	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
全 国	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北 海 道	25.2	25.3	24.7	23.5	22.7	22.6	22.2
青 森	59.5	58.5	55.1	52.7	51.0	50.3	48.9
岩 手	38.4	37.5	34.5	32.0	30.3	29.6	28.9
宮 城	97.9	94.5	90.3	89.0	89.3	91.1	91.7
秋 田	47.9	45.5	41.2	38.1	35.3	34.4	33.2
山 形	59.9	56.1	50.6	46.6	43.7	42.7	41.5
福 島	62.8	58.9	53.9	50.2	47.7	47.1	46.5
茨 城	140.1	132.8	126.6	125.3	128.3	133.8	137.5
栃 木	99.2	93.3	88.8	87.5	88.3	88.9	89.5
群 馬	105.4	98.4	94.8	92.9	92.0	92.7	92.9
埼 玉	245.9	253.0	297.0	362.3	423.0	454.5	474.8
千 葉	181.0	181.0	200.4	235.9	270.3	293.3	307.7
京 都	1,641.7	1,888.5	2,006.4	1,896.1	1,813.7	1,715.9	1,683.4
神 奈 川	510.7	576.3	698.9	816.7	892.0	920.1	952.0
新 潟	81.4	76.7	71.5	66.9	63.3	62.1	60.6
富 山	99.2	96.0	90.3	86.1	84.0	82.8	80.9
石 川	95.0	91.7	87.6	85.1	85.0	85.0	84.6
福 井	73.1	71.1	67.0	63.3	61.7	60.5	60.0
山 梨	74.8	69.2	64.0	60.9	58.3	57.3	57.5
長 野	61.2	57.7	53.9	51.2	49.7	48.7	48.3
岐 阜	62.4	61.7	59.9	59.1	58.7	58.9	58.8
静 岡	140.9	140.3	140.4	141.6	142.0	141.1	141.5
愛 知	307.9	328.9	355.1	376.9	386.0	386.3	386.5
三 重	106.6	102.0	98.5	95.0	94.0	93.0	92.9
滋 賀	88.0	83.0	79.4	79.0	81.7	85.7	88.6
京 都	172.7	170.8	170.8	173.7	175.3	174.5	172.6
大 阪	1,054.5	1,188.1	1,355.1	1,462.6	1,485.0	1,447.5	1,428.0
兵 庫	179.8	185.4	193.6	198.9	199.0	195.5	193.8
奈 良	86.8	83.8	83.9	89.7	97.3	104.5	108.6
和 歌 山	88.4	84.2	81.6	78.6	75.7	73.2	70.8
鳥 取	72.7	68.0	62.2	58.0	55.3	55.1	54.2
島 根	57.9	53.0	46.4	41.6	38.7	37.6	36.9
岡 山	98.8	93.7	87.3	85.8	85.3	84.1	83.1
広 島	105.4	102.4	101.1	102.5	104.3	103.2	102.5
山 口	109.5	104.3	95.1	88.3	85.0	82.8	80.6
徳 島	87.6	81.0	73.8	68.0	64.7	63.4	61.8
香 川	209.9	195.3	181.3	172.6	170.7	169.4	167.1
愛 媛	112.8	105.1	95.9	89.3	86.3	84.7	83.1
高 知	51.2	47.4	42.7	39.5	38.0	37.3	36.3
福 岡	325.6	323.3	302.2	291.1	289.3	292.7	292.9
佐 賀	167.4	154.9	135.6	123.8	115.3	113.4	111.4
長 崎	176.9	170.4	150.2	136.3	127.7	123.2	119.4
熊 本	106.2	99.6	89.9	81.9	77.3	77.1	76.3
大 分	83.5	77.5	70.4	65.1	62.7	61.8	60.6
宮 崎	60.7	58.1	52.4	48.4	46.7	47.5	46.8
鹿 児 島	92.6	85.0	76.0	67.3	62.7	62.1	61.2
沖 縄	138.4	146.2	146.4	150.2	154.7	156.7	160.9

表31 都道府県別都市化の速度：1960～85年

(%)

都道府県	市 部 人 口					人 口 集 中 地 区 人 口				
	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年
全 国	1.40	1.20	1.03	0.08	0.13	1.92	2.13	1.27	0.93	0.30
北 海 道	2.24	2.14	1.76	0.42	0.33	2.03	4.13	1.15	1.58	0.30
青 森	1.09	1.00	0.82	0.59	0.32	3.09	1.41	1.69	1.80	0.14
岩 手	0.93	0.78	1.40	0.04	-0.07	0.48	2.30	1.53	1.49	-0.22
宮 城	1.45	1.24	3.12	0.39	0.29	2.20	2.98	2.46	0.88	0.80
秋 田	1.06	1.58	2.45	0.46	0.22	1.86	1.78	2.37	0.99	1.39
山 形	1.20	1.58	0.50	0.32	0.14	3.13	3.53	2.13	0.88	-0.32
福 島	3.89	3.12	0.70	0.36	0.22	2.04	1.33	1.39	2.39	1.04
茨 城	1.00	1.16	0.62	-0.28	-0.29	1.21	1.42	1.32	2.26	2.17
栃 木	2.68	0.59	1.07	0.12	0.12	1.41	1.25	2.28	1.70	0.46
群 馬	1.59	1.03	0.22	-0.03	0.06	1.07	1.27	2.09	1.79	0.42
埼 玉	0.32	2.11	3.29	0.15	-0.05	3.43	4.55	3.22	1.55	0.54
千 葉	3.00	2.88	2.18	-0.07	0.59	6.13	5.25	2.59	1.53	0.85
東 京	0.19	0.56	0.22	-0.04	0.00	0.19	0.51	0.27	0.12	-0.02
神 奈 川	0.20	-0.04	0.67	0.13	0.00	0.45	1.81	1.47	0.88	0.20
新 潟	1.12	0.79	1.09	0.35	0.17	3.45	1.42	1.68	1.08	0.28
富 山	2.20	1.28	0.14	0.03	0.00	1.10	0.41	1.90	0.58	-0.42
石 川	0.86	0.34	1.02	0.09	0.06	0.47	0.35	1.70	3.65	0.35
福 井	0.89	1.45	0.85	0.06	0.03	1.11	1.55	0.60	-0.16	-0.55
山 梨	0.97	0.65	0.28	-0.24	-0.40	3.11	2.90	1.27	0.39	-0.13
長 野	2.32	2.18	0.80	0.19	0.32	2.16	4.15	0.00	1.28	0.26
岐 阜	2.60	0.88	0.13	-0.07	0.01	1.37	2.25	1.37	0.22	0.05
静 岡	2.19	0.83	0.98	0.05	0.03	1.39	2.70	1.23	1.04	0.04
愛 知	0.72	0.62	0.65	-0.07	-0.05	0.40	0.79	1.45	1.63	0.18
三 重	0.63	1.20	0.37	0.12	0.09	0.64	1.62	3.17	0.86	0.11
滋 賀	0.60	4.73	0.69	0.30	0.18	0.30	1.45	2.94	2.70	0.42
京 都	0.02	-0.37	1.14	0.44	-0.02	0.98	1.08	0.76	0.91	0.15
大 阪	0.21	0.52	0.00	-0.08	-0.06	0.58	1.45	0.59	0.24	-0.02
兵 庫	0.84	0.81	0.22	0.07	0.02	1.61	1.64	0.56	0.68	0.03
奈 良	1.49	1.07	1.62	0.06	0.12	4.05	5.66	3.34	2.50	1.29
和 歌 山	1.81	1.00	0.40	0.20	0.07	1.97	1.54	0.68	0.10	0.14
鳥 取	1.15	1.39	0.91	0.46	0.21	1.07	0.51	1.93	-0.08	0.15
島 根	1.02	1.27	0.77	0.43	0.21	2.69	4.02	0.37	1.67	-0.25
岡 山	1.17	1.20	3.00	0.06	0.06	4.29	2.65	1.27	1.73	0.12
広 島	0.95	0.27	3.95	-0.08	0.95	2.43	1.90	1.48	0.25	0.66
山 口	0.87	0.64	0.92	0.10	0.16	0.95	3.05	0.59	1.17	0.00
徳 島	1.34	2.93	0.73	0.16	0.20	2.60	0.52	1.07	1.47	0.44
香 川	0.79	1.26	0.42	0.07	0.07	0.63	4.27	-0.51	1.07	-0.18
愛 媛	1.56	1.28	1.48	0.35	0.26	1.43	1.97	1.69	1.46	0.90
高 知	1.18	1.09	1.25	0.37	0.27	3.06	3.80	1.94	1.35	0.10
福 岡	1.14	0.35	1.20	-0.16	0.54	1.02	0.80	0.77	1.38	0.16
佐 賀	0.58	0.52	0.43	0.19	0.04	0.29	2.07	0.92	1.64	0.74
長 崎	1.94	0.97	0.83	0.03	0.10	1.71	1.57	0.79	1.45	0.10
熊 本	1.17	0.95	0.87	0.26	0.15	2.76	1.72	0.96	1.74	1.01
大 分	2.96	2.61	1.01	0.49	0.31	1.42	3.10	2.46	1.82	1.28
宮 崎	2.26	1.12	1.39	0.15	0.06	1.35	1.49	3.08	3.56	1.16
児 島	1.49	1.34	1.15	0.66	0.36	2.86	4.16	1.99	2.51	0.90
沖 縄	3.65	5.27	2.18	-0.06	-0.03	0.72	1.74	0.43

総理府統計局『日本人の地域分布とその変化』（昭和55年国勢調査モノグラフシリーズNo. 3）、総務庁統計局『昭和60年国勢調査最終報告書 日本の人口（資料編）』、総務庁統計局『都道府県の人口』（昭和60年国勢調査解説シリーズNo. 2）による。

都市化の速度Tは、以下のように計算される。

$$T = \frac{\ln U_{t+n} - \ln U_t}{n}$$

U_t : t年の都市化度 n : 期間の年数

ここで都市化度とは対象地域の全人口に対する市部人口ないしは人口集中地区（DID）人口の占める割合である。ただし表中ではT×100を掲げてある。

表32 人口20万以上の都市の人口と人口増加率：1960～85年

(1) 人 口

都 市	人 口					
	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
東京都特別区部	8,310,027	8,893,094	8,840,942	8,646,520	8,351,893	8,354,615
横 浜 市	1,375,710	1,788,915	2,238,264	2,621,771	2,773,674	2,992,926
大 阪 市	3,011,563	3,156,222	2,980,487	2,778,987	2,648,180	2,636,249
名古屋 市	1,697,093	1,935,430	2,036,053	2,079,740	2,087,902	2,116,381
札幌 市	615,628	821,217	1,010,123	1,240,613	1,401,757	1,542,979
京都 市	1,284,818	1,365,007	1,419,165	1,461,059	1,473,065	1,479,218
神戸 市	1,113,977	1,216,666	1,288,937	1,360,565	1,367,390	1,410,834
福岡 市	682,365	769,176	871,717	1,002,201	1,088,588	1,160,440
北九州 市	632,975	854,866	973,486	1,014,951	1,040,802	1,088,624
広島 市	986,401	1,042,388	1,042,321	1,058,442	1,065,078	1,056,402
堺 市	557,988	657,336	746,287	852,611	*986,724	1,044,118
千代田 市	371,502	466,412	594,367	750,688	810,106	818,271
仙台 市	257,759	339,430	482,133	659,372	746,430	788,930
岡山 市	425,272	480,925	545,065	615,473	664,868	700,254
熊 本 市	387,484	417,908	460,542	513,471	*545,583	572,479
鹿児島 市	382,913	415,507	449,254	488,166	525,662	555,719
東 大 阪 市	334,643	371,129	403,340	456,827	505,360	530,502
松崎 市	318,001	443,081	500,173	524,750	521,558	522,805
尼 崎 市	357,098	392,632	432,221	468,884	490,824	514,118
船橋 市	405,955	500,990	553,696	545,783	523,650	509,115
相模原 市	135,038	223,989	325,426	423,101	479,439	506,966
新 潟 市	101,655	163,381	278,326	377,398	439,300	482,778
静 岡 市	325,018	356,302	383,919	423,188	*457,690	475,630
姫 路 市	350,897	382,799	416,378	446,952	458,341	468,362
長 崎 市	328,689	373,653	408,353	436,086	*446,280	452,917
金 沢 市	387,147	410,925	425,996	450,194	447,091	449,382
松 戸 市	313,112	335,828	361,379	395,268	417,684	430,481
横 須 賀 市	86,372	160,001	253,591	344,558	400,863	427,473
松 山 市	287,309	317,411	347,576	389,557	421,107	427,116
八 王 子 市	262,044	290,662	322,902	367,323	401,703	426,658
西 宮 市	164,622	207,753	253,527	322,580	387,178	426,654
倉 敷 市	262,608	336,873	377,043	400,622	410,329	421,267
豊 中 市	266,564	289,504	354,674	392,755	403,785	413,632
岐 阜 市	199,065	291,936	368,498	398,384	403,174	413,213
宇 都 宮 市	312,597	358,190	385,727	408,707	410,357	411,743
川 口 市	239,007	265,696	301,231	344,420	377,746	405,375
和 歌 山 市	170,066	249,112	305,886	345,538	379,360	403,015
市 川 市	285,155	328,657	365,267	389,717	400,802	401,352
大 分 市	157,301	207,988	261,055	319,291	364,244	397,822
枚 方 市	207,086	226,417	260,584	320,237	360,478	390,096
浦 和 市	80,312	127,520	217,369	297,618	353,358	382,257
大 宮 市	168,757	221,337	269,397	331,145	358,185	377,235
旭 川 市	169,996	215,646	268,777	327,698	*354,303	373,022
福 山 市	239,636	271,930	297,189	320,526	352,619	363,631
い わ き 市	218,766	238,083	289,043	329,714	346,030	360,261
吹 田 市	345,663	333,881	327,164	330,213	342,074	350,569
高 槻 市	116,765	196,779	259,619	300,956	332,418	348,948
長 野 市	79,043	130,735	231,129	330,536	340,720	348,784
藤 沢 市	257,071	269,160	285,355	306,637	324,360	336,973
藤 原 市	124,601	175,183	228,978	265,975	300,248	328,387
奈 良 市	134,577	160,641	208,266	257,538	297,953	327,702
高 松 市	243,538	257,716	274,367	298,999	316,661	326,999
豊 橋 市	215,515	238,672	258,547	284,585	304,273	322,142

表末の注参照。

表32 人口20万以上の都市の人口と人口増加率：1960～85年（つづき）

(2) 人口増加率

都 市	人 口 増 加 率 (%)				
	1960～65年	1965～70年	1970～75年	1975～80年	1980～85年
東京都特別区部	7.0	-0.6	-2.2	-3.4	0.0
横浜市	30.0	25.1	17.1	5.8	7.9
大阪市	4.8	-5.6	-6.8	-4.7	-0.5
名古屋	14.0	5.2	2.1	0.4	1.4
札幌	33.4	23.0	22.8	13.0	10.1
京都	6.2	4.0	3.0	0.8	0.4
神戸	9.2	5.9	5.6	0.5	3.2
福岡	12.7	13.3	15.0	8.6	6.6
川崎	35.1	13.9	4.3	2.5	4.6
北九州	5.7	-0.0	1.5	0.6	-0.8
広島	17.8	13.5	14.2	5.5	5.8
堺	25.5	27.4	26.3	7.9	1.0
千葉	31.7	42.0	36.8	13.2	5.7
仙台	13.1	13.3	12.9	8.0	5.3
岡山	7.9	10.2	11.5	6.3	4.9
熊本	8.5	8.1	8.7	7.7	5.7
鹿児島	10.9	8.7	13.3	10.6	5.0
東大阪	39.3	12.9	4.9	-0.6	0.2
浜松	10.0	10.1	8.5	4.7	4.7
尼崎	23.4	10.5	-1.4	-4.1	-2.8
船橋	65.9	45.3	30.0	13.3	5.7
相模原	60.7	70.4	35.6	16.4	9.9
新潟	9.6	7.8	10.2	8.2	3.9
静岡	9.1	8.8	7.3	2.5	2.2
姫路	13.7	9.3	6.8	2.3	1.5
長崎	6.1	3.7	5.7	-0.7	0.5
金沢	7.3	7.6	9.4	5.7	3.1
松戸	85.2	58.5	35.9	16.3	6.6
横須賀	10.5	9.5	12.1	8.1	1.4
松山	10.9	11.1	13.8	9.4	6.2
八王子	26.2	22.0	27.2	20.0	10.2
西宮	28.3	11.9	6.3	2.4	0.3
倉敷	8.6	22.5	10.7	2.8	2.4
豊中	46.7	26.2	8.1	1.2	2.5
岐阜	14.6	7.7	6.0	0.4	3.1
宇都宮	11.2	13.4	14.3	9.7	7.3
川口	46.5	22.8	13.0	9.8	6.2
和歌山	15.3	11.1	6.7	2.8	0.1
川分	32.2	25.5	22.3	14.1	9.2
大分	9.3	15.1	22.9	12.6	8.2
枚方	58.8	70.5	36.9	18.7	8.2
浦和	31.2	21.7	22.9	8.2	5.3
大宮	26.9	24.6	21.9	8.1	5.3
旭川	13.5	9.3	7.9	10.0	3.1
福山	8.8	21.4	14.1	4.9	4.1
いわき	-3.4	-2.0	0.9	3.6	2.5
吹田	68.5	31.9	15.9	10.5	5.0
高槻	65.4	76.8	43.0	3.1	2.4
長野	4.7	6.0	7.5	5.8	3.9
藤沢	40.6	30.7	16.2	12.9	9.4
奈良	19.4	29.6	23.7	15.7	10.0
高松	5.8	6.5	9.0	5.9	3.3
豊橋	10.7	8.3	10.1	6.9	5.9

表32 人口20万以上の都市の人口と人口増加率：1960～85年（つづき）

(3) 人 口

都 市	人 口					
	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年
町 田 市	71,269	115,918	202,801	255,305	*295,411	321,188
函 館 市	271,163	281,029	292,286	307,453	320,154	319,194
富 山 市	241,446	255,932	269,276	290,143	305,055	314,111
高 知 市	200,817	222,791	248,121	280,962	300,822	312,241
豊 田 市	104,529	136,728	197,193	248,774	281,608	308,111
那 覇 市	223,047	257,177	276,380	295,006	295,778	303,674
郡 山 市	213,771	223,183	241,673	264,628	286,451	301,673
秋 田 市	203,661	216,607	235,873	261,246	284,863	296,400
青 森 市	210,883	224,433	240,063	264,222	287,594	294,045
川 越 市	107,523	127,155	171,038	225,465	259,314	285,437
岡 崎 市	176,281	194,409	210,515	234,510	262,372	284,996
宮 崎 市	166,361	182,870	202,862	234,346	264,855	279,114
前 橋 市	197,842	213,908	233,632	250,241	265,169	277,319
八 尾 市	122,832	170,248	227,778	261,639	272,706	276,394
所 沢 市	65,903	89,346	136,611	196,870	236,476	275,168
柏 市	63,745	109,237	150,635	203,065	239,198	273,128
福 島 市	205,431	213,408	227,451	246,535	262,837	270,762
下 関 市	246,941	254,376	258,425	266,593	268,957	269,169
明 石 市	129,780	159,299	206,525	234,945	254,869	263,363
四 日 市	195,974	218,981	229,234	247,001	255,442	263,001
寝 屋 川 市	50,188	113,576	206,961	254,311	255,859	258,228
徳 島 市	203,326	213,328	223,451	239,281	249,343	257,884
一 宮 市	182,984	203,743	219,274	238,453	253,139	257,388
春 日 井 市	77,174	117,384	161,835	213,857	244,119	256,990
越 谷 市	49,585	76,571	139,368	195,917	223,241	253,479
佐 世 保 市	262,484	247,069	247,898	250,729	251,187	250,633
茨 木 市	71,859	115,136	163,903	210,286	234,062	250,463
福 井 市	193,884	205,529	215,137	231,364	240,962	250,261
山 形 市	188,597	193,737	204,127	219,773	237,041	245,158
清 水 市	193,259	218,559	234,966	243,049	241,576	242,166
八 戸 市	174,348	189,387	208,801	224,366	238,179	241,430
市 原 市	94,907	86,475	156,016	194,068	216,394	237,617
盛 岡 市	157,441	176,967	196,036	216,223	229,114	235,469
大 津 市	145,986	157,760	171,777	191,481	215,321	234,551
高 崎 市	158,507	173,887	193,072	211,348	*221,446	231,766
平 塚 市	108,279	134,931	163,671	195,635	214,293	229,990
水 戸 市	139,389	154,983	173,789	197,953	215,566	228,985
加 古 川 市	102,315	114,758	140,344	183,280	212,233	227,311
久 米 市	210,032	225,013	235,193	242,655	234,549	226,488
久 留 米 市	181,636	185,732	194,178	204,482	216,972	222,847
釧 路 市	150,624	174,105	191,948	206,840	214,694	214,541
富 士 市	142,135	159,572	180,639	199,195	205,751	214,448
沼 津 市	157,668	176,244	189,038	199,325	203,695	210,490
日 立 市	161,226	179,703	193,210	202,383	204,596	206,074
甲 府 市	160,963	172,457	182,669	193,879	199,262	202,405
府 中 市	82,098	126,519	163,173	182,474	189,288	201,972

表32 人口20万以上の都市の人口と人口増加率：1960～85年（つづき）

(4) 人口増加率

都 市	人 口 増 加 率 (%)				
	1960～65年	1965～70年	1970～75年	1975～80年	1980～85年
町 田 市	62.6	75.0	25.9	15.7	8.7
函 館 市	3.6	4.0	5.2	4.1	-0.3
富 山 市	6.0	5.2	7.7	5.1	3.8
高 知 市	10.9	11.4	13.2	7.1	3.8
豊 田 市	30.8	44.2	26.2	13.2	9.4
那 覇 市	15.3	7.5	6.7	0.3	2.7
郡 山 市	4.4	8.3	9.5	8.2	5.3
秋 田 市	6.4	8.9	10.8	9.0	4.1
青 森 市	6.4	7.0	10.1	8.8	2.2
川 越 市	18.3	34.5	31.8	15.0	10.1
岡 崎 市	10.3	8.3	11.4	11.9	8.6
宮 崎 市	9.9	10.9	15.5	13.0	5.4
前 橋 市	8.1	9.2	7.1	6.0	4.6
八 尾 市	38.6	33.8	14.9	4.2	1.4
所 沢 市	35.6	52.9	44.1	20.1	16.4
柏 市	71.4	37.9	34.8	17.8	14.2
福 島 市	3.9	6.6	8.4	6.6	3.0
下 関 市	3.0	1.6	3.2	0.9	0.1
明 石 市	22.7	29.6	13.8	8.5	3.3
四 日 市	11.7	4.7	7.8	3.4	3.0
寝 屋 川 市	126.3	82.2	22.9	0.6	0.9
徳 島 市	4.9	4.7	7.1	4.2	3.4
一 宮 市	11.3	7.6	8.7	6.2	1.7
春 日 井 市	52.1	37.9	32.1	14.2	5.3
越 谷 市	54.4	82.0	40.6	13.9	13.5
佐 世 保 市	-5.9	0.3	1.1	0.2	-0.2
茨 木 市	60.2	42.4	28.3	11.3	7.0
福 井 市	6.0	4.7	7.5	4.1	3.9
山 形 市	2.7	5.4	7.7	7.9	3.4
清 水 市	13.1	7.5	3.4	-0.6	0.2
八 戸 市	8.6	10.3	7.5	6.2	1.4
市 原 市	-8.9	80.4	24.4	11.5	9.8
盛 岡 市	12.4	10.8	10.3	6.0	2.8
大 津 市	8.1	8.9	11.5	12.5	8.9
高 崎 市	9.7	11.0	9.5	4.8	4.7
平 塚 市	24.6	21.3	19.5	9.5	7.3
水 戸 市	11.2	12.1	13.9	8.9	6.2
加 古 川 市	12.2	22.3	30.6	15.8	7.1
呉 市	7.1	4.5	3.2	-3.3	-3.4
久 留 米 市	2.3	4.5	5.3	6.1	2.7
釧 路 市	15.6	10.2	7.8	3.8	-0.1
富 士 市	12.3	13.2	10.3	3.3	4.2
沼 津 市	11.8	7.3	5.4	2.2	3.3
日 立 市	11.5	7.5	4.7	1.1	0.7
甲 府 市	7.1	5.9	6.1	2.8	1.6
府 中 市	54.1	29.0	11.8	3.7	5.1

総務庁統計局『昭和55年度10月1日の境域による各回国勢調査時の市町村別人口（大正9年～昭和55年）』および『昭和60年国勢調査報告』による。

1980年以前については1980年10月1日の境域に基づく人口であり、1985年については国勢調査による人口である。ただし、1980年の人口については、1985年10月1日の境域に基づく組み替え人口が1980年の境域に基づく人口と異なる場合のみ、*印をつけて前者の数字を採用した。

表33 都道府県別人口階級別市町村数：1985年

都道府県	総数	1,000,000 以上	500,000 ～ 999,999	300,000 ～ 499,999	200,000 ～ 299,999	100,000 ～ 199,999	50,000 ～ 99,999	40,000 ～ 49,999	30,000 ～ 39,999	20,000 ～ 29,999	10,000 ～ 19,999	5,000 ～ 9,999	5,000 未満
全国	3,254	11	10	39	39	105	220	100	158	289	772	941	570
北海道	212	1	—	2	1	5	6	5	10	14	30	86	52
青森	67	—	—	—	2	1	1	4	—	4	22	19	14
岩手	62	—	—	—	1	—	6	—	7	5	19	20	4
宮城	74	—	1	—	—	2	5	1	3	8	28	23	3
秋田	69	—	—	—	1	—	2	4	2	2	19	35	4
山形	44	—	—	—	1	2	2	3	4	5	14	13	—
福島	90	—	—	2	1	1	1	2	3	7	22	33	18
茨城	92	—	—	—	2	2	6	8	12	19	26	15	2
栃木	49	—	—	1	—	2	5	2	4	10	18	6	1
群馬	70	—	—	—	2	3	2	4	1	9	24	13	12
埼玉	92	—	—	3	3	9	25	3	8	9	18	7	7
千葉	80	—	2	2	2	7	9	2	8	7	22	16	3
東京	42	1	—	2	1	11	11	2	—	2	3	1	8
神奈川	37	2	—	3	1	7	5	2	2	4	7	3	1
新潟	112	—	—	1	—	2	4	6	4	12	27	39	17
富山	35	—	—	1	—	1	1	2	4	8	7	3	8
石川	41	—	—	1	—	1	3	—	2	4	15	8	7
福井	35	—	—	—	1	—	3	1	2	2	8	11	7
山梨	64	—	—	—	1	—	1	—	4	3	11	20	24
長野	121	—	—	1	—	2	7	3	3	8	19	36	42
岐阜	100	—	—	1	—	2	7	2	2	7	22	22	35
静岡	75	—	1	1	3	3	7	4	3	12	26	11	4
愛知	88	1	—	2	3	5	16	2	10	18	12	10	9
三重	69	—	—	—	1	4	3	—	3	5	22	25	6
滋賀	50	—	—	—	1	—	5	1	2	4	15	20	2
京都	44	1	—	—	—	1	7	2	—	1	12	15	5
大阪	44	1	2	4	3	10	12	1	2	2	4	3	—
兵庫	91	1	1	2	2	3	5	5	2	6	29	28	7
奈良	47	—	—	1	—	1	5	1	3	4	10	10	12
和歌山	50	—	—	1	—	—	2	1	3	3	12	18	10
鳥取	39	—	—	—	—	2	1	—	1	—	4	22	9
島根	59	—	—	—	—	1	3	—	3	2	6	24	20
岡山	78	—	1	1	—	—	4	—	2	5	15	27	23
広島	86	1	—	1	1	1	3	2	6	4	16	21	30
山口	56	—	—	—	1	5	2	2	2	5	9	22	8
徳島	50	—	—	—	1	—	2	1	—	4	12	15	15
香川	43	—	—	1	—	—	2	1	1	5	18	13	2
愛媛	70	—	—	1	—	2	2	1	5	3	17	18	21
高知	53	—	—	1	—	—	—	1	3	6	5	11	26
福岡	97	2	—	—	1	1	10	8	6	12	34	15	8
佐賀	49	—	—	—	—	1	3	—	2	3	15	22	3
長崎	79	—	—	1	1	—	2	1	2	3	17	42	10
熊本	98	—	1	—	—	1	1	3	3	9	24	40	16
大分	58	—	—	1	—	1	4	—	1	6	11	14	20
宮崎	44	—	—	—	1	2	2	1	1	5	13	13	6
鹿児島	96	—	1	—	—	—	2	3	5	9	21	43	12
沖縄	53	—	—	1	—	1	3	3	2	4	12	10	17

東京都の特別区部は1市として計算。総務庁統計局【国勢調査報告】による。

表34 人口規模(特定2区分)別市および町村の人口：1990年

(1) 人口20万人以上の市および特別区

市名	都道府県名	人口	市名	都道府県名	人口
100万人以上					
特別区	東京都	8,046,160	町田	東京都	343,520
横濱市	神奈川県	3,175,989	田橋	東京都	337,261
大阪市	大阪府	2,522,791	豊高	東京都	331,978
名古屋市	愛知県	2,100,966	豊高	愛知県	327,967
札幌市	北海道	1,637,019	富山	富山県	321,994
神戸市	兵庫県	1,438,171	高知	高知県	317,551
京都市	京都府	1,407,302	那覇	沖縄県	313,855
福岡市	福岡県	1,182,718	那覇	沖縄県	308,680
川崎市	神奈川県	1,139,622	那覇	沖縄県	308,166
広島市	広島県	1,057,144	那覇	沖縄県	307,864
北九州市	福岡県	1,023,917	岡崎	愛知県	300,722
50万人以上					
仙台市	宮城県	889,138	岡崎	愛知県	300,266
千葉市	千葉県	815,552	所沢	埼玉県	297,180
大阪市	大阪府	803,189	越前	福井県	296,882
岡崎市	愛知県	583,917	秋田	秋田県	296,674
熊本市	熊本県	563,945	青森	青森県	292,458
鹿児島市	鹿児島県	529,430	青森	青森県	285,545
浜松市	静岡県	528,768	前橋	群馬県	283,947
船橋市	千葉県	524,699	越谷	埼玉県	280,122
相模原市	神奈川県	518,252	福日	埼玉県	274,172
30万人以上					
東大阪市	大阪府	499,969	八日	大阪府	272,570
大崎市	宮城県	493,235	四日	大阪府	270,459
新潟市	新潟県	474,076	明石	兵庫県	268,592
静岡市	静岡県	470,499	日井	兵庫県	262,543
姫路市	兵庫県	451,648	宮島	兵庫県	261,915
松山市	愛媛県	449,573	徳下	兵庫県	259,232
王子市	東京都	447,887	原	兵庫県	257,880
長崎県	長崎県	442,367	宍屋	千葉県	255,629
松山県	愛媛県	441,297	大津	千葉県	255,363
横須賀市	神奈川県	434,963	福井	千葉県	255,148
川口市	埼玉県	433,144	茨木	兵庫県	249,935
金沢市	石川県	426,946	世保	長崎県	249,276
宇都宮市	栃木県	422,795	形戸	長崎県	246,986
倉敷市	岡山県	421,858	八木	長崎県	243,980
西宮市	兵庫県	416,837	清平	長崎県	242,662
浦和市	埼玉県	413,423	高崎	群馬県	241,944
岐阜市	岐阜県	408,964	盛水	群馬県	241,655
分府市	静岡県	406,923	久留米	福岡県	237,780
豊大市	静岡県	404,629	富良野	北海道	235,895
山形市	山形県	401,293	沼津	静岡県	231,878
和歌山市	和歌山県	400,283	士	静岡県	231,279
大分市	大分県	395,865	津路	静岡県	224,832
福山市	広島県	387,501	府中	静岡県	222,853
旭川市	北海道	365,561	立加	静岡県	218,928
いわき市	福島県	360,719	茅ヶ崎	静岡県	212,743
高松市	愛媛県	358,704	茅ヶ崎	静岡県	207,127
奈良市	奈良県	356,575	茅ヶ崎	静岡県	203,119
藤原市	奈良県	346,347	茅ヶ崎	静岡県	203,060
長野市	長野県	344,835	茅ヶ崎	静岡県	201,978
		344,351	茅ヶ崎	静岡県	200,754
			茅ヶ崎	静岡県	200,139

(2) 人口3万人未満の市

市名	都道府県名	人口
3万人未満		
北条市	愛媛県	29,753
串木市	鹿児島県	29,673
遠野市	岩手県	29,625
陸前高田市	岩手県	29,589
枕崎市	鹿児島県	29,585
二戸市	岩手県	29,450
御坊市	山口県	29,101
飯沼市	長野県	29,016
新井市	長野県	28,808
尾根市	新潟県	28,696
久根市	新潟県	28,643
尾羽市	新潟県	28,542
羽咋市	新潟県	28,441
津久見市	三重県	28,356
江津市	三重県	28,294
平井市	三重県	27,944
えびの市	三重県	27,941
新見市	三重県	27,818
串間市	三重県	27,687
富宮市	三重県	27,627
良野市	岡山県	27,470
宮北市	岡山県	27,326
津市	北海道	27,100
士美長市	北海道	27,098
大津市	北海道	26,894
別府市	北海道	26,573
津市	北海道	26,504
別府市	北海道	26,337
別府市	北海道	26,225
毛久市	北海道	26,025
久米市	北海道	25,918
高梁市	千葉県	25,892
久米市	千葉県	25,785
久米市	千葉県	25,629
久米市	千葉県	25,548
久米市	千葉県	25,371
久米市	千葉県	25,141
久米市	千葉県	24,857
久米市	千葉県	24,822
久米市	千葉県	24,539
久米市	千葉県	24,512
久米市	千葉県	24,502
久米市	千葉県	23,984
久米市	千葉県	23,849
久米市	千葉県	23,730
久米市	千葉県	22,918
久米市	千葉県	22,629
久米市	千葉県	22,525
久米市	千葉県	22,233
久米市	千葉県	22,086
久米市	千葉県	21,312
久米市	千葉県	20,881
久米市	千葉県	20,873
久米市	千葉県	20,627
久米市	千葉県	20,064
久米市	千葉県	20,042
久米市	千葉県	19,950
久米市	千葉県	19,945
久米市	千葉県	18,048
久米市	千葉県	13,760
久米市	千葉県	8,750

表末の注参照。

表34 人口規模（特定2区分）別市および町村の人口：1990年（つづき）

(3) 人口3万人以上の町村

(4) 人口千人未満の町村

町村名	都道府県名	人口	町村名	都道府県名	人口	町村名	都道府県名	人口
4万人以上			3万人以上			千人未満		
鶴ヶ島町	埼玉県	60,951	福間町	福岡県	35,945	中上村	岡山県	993
飯沼町	埼玉県	54,342	野々市町	福岡県	35,838	尾口村	山形県	990
日高町	埼玉県	52,472	守谷町	福岡県	35,262	上平村	山形県	947
袖ヶ浦町	千葉県	52,405	西野町	福岡県	35,251	尾上村	山形県	934
香芝町	千葉県	52,226	3万人以上			吉和村	山形県	928
羽前町	東京都	50,775	志免町	福岡県	34,618	清内村	長野県	914
府中町	東京都	50,140	函南町	福岡県	34,520	大塔村	長野県	902
八木町	東京都	49,056	三芳町	福岡県	34,410	和泉村	長野県	893
吉川町	東京都	48,433	西更町	福岡県	34,228	根夫村	長野県	889
日進町	東京都	47,931	音更町	福岡県	34,125	知根村	長野県	884
石田町	東京都	47,437	蟹江町	愛知県	34,114	芦川村	山梨県	862
狭野町	東京都	47,099	田原町	愛知県	34,111	野川村	山梨県	846
大島町	東京都	47,056	竜崎町	愛知県	33,815	迫川村	山梨県	802
栗東町	東京都	46,515	長崎町	愛知県	33,665	間味村	山梨県	795
古賀町	東京都	46,515	養老町	岐阜県	33,568	栗木村	山梨県	792
鹿島町	東京都	44,425	大網町	岐阜県	33,551	坂内村	岐阜県	792
寒川町	東京都	44,352	小宮町	岐阜県	33,523	浪合村	岐阜県	757
那珂町	東京都	44,130	弥富町	岐阜県	33,350	大島村	岐阜県	748
富里町	千葉県	43,578	長藤町	岐阜県	33,102	嘉敷村	岐阜県	747
阿見町	千葉県	42,122	岩手町	岐阜県	33,009	花園村	和歌山県	653
沼津町	千葉県	41,459	宇美町	和歌山県	32,872	北山村	和歌山県	636
都立町	千葉県	41,398	西春町	和歌山県	32,730	榎枝村	和歌山県	630
東浦町	千葉県	41,199	野田町	三重県	32,593	平谷村	和歌山県	612
杉西町	千葉県	40,858	荻野町	三重県	32,474	渡喜村	和歌山県	566
西郷町	千葉県	40,551	洲崎町	三重県	32,443	芦北村	山梨県	551
印旛町	千葉県	40,040	大磯町	三重県	32,401	北島村	山梨県	540
		40,029	磯崎町	三重県	32,324	三浦村	山梨県	517
			宮本町	三重県	31,867	島村	山梨県	510
			東原町	三重県	31,707	三島村	山梨県	505
			佐土原町	三重県	31,692	藤橋村	岐阜県	442
			読谷村	三重県	31,690	魚島村	岐阜県	400
			甚目寺町	三重県	31,433	別子村	岐阜県	314
			美里町	三重県	31,316	利島村	東京都	310
			沼田町	三重県	31,272	御蔵村	東京都	258
			関町	三重県	30,821	富山村	愛知県	203
			小杉町	三重県	30,753	青ヶ島村	東京都	189
			大塚町	三重県	30,732			
			波崎町	三重県	30,713			
			始良町	三重県	30,697			
			美大町	三重県	30,689			
			豊原町	三重県	30,544			
			柴田町	三重県	30,535			
			白井町	三重県	30,524			
			滝沢町	三重県	30,470			
			毛呂山町	三重県	30,468			
			那珂川町	三重県	30,344			
			三和町	三重県	30,299			
			茨城町	三重県	30,194			
				三重県	30,150			
				三重県	30,148			
				三重県	30,061			

住民基本台帳による。従って外国人を含まない。
1990年3月31日現在。

表35 都道府県庁所在都市の人口が都道府県人口に占める割合：1980～90年

(%)

都道府県庁 所在都市	1980年	1981年	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
全 国	29.2	29.2	29.1	29.1	29.2	29.3	29.3	29.3	29.4	29.4	29.4
札幌市	24.4	24.8	25.3	25.7	26.1	26.6	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0
青森市	18.4	18.5	18.6	18.6	18.8	18.8	18.9	19.0	19.0	19.1	19.2
盛岡市	15.7	15.8	15.9	16.0	16.1	16.1	16.1	16.1	16.1	16.2	16.2
仙台市	31.0	31.0	31.0	31.0	31.1	31.3	31.4	31.5	39.4	39.7	40.0
秋田市	22.1	22.3	22.5	22.5	22.8	23.0	23.3	23.4	23.6	23.8	23.9
山形市	18.4	18.5	18.7	18.8	18.9	19.0	19.1	19.2	19.3	19.3	19.4
福島市	12.7	12.8	12.8	12.8	12.8	12.9	12.9	12.9	12.9	13.0	13.0
水戸市	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.2	8.2	8.1
宇都宮市	20.8	20.9	21.1	21.2	21.4	21.5	21.7	21.8	21.8	21.9	21.9
前橋市	14.2	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.4	14.4	14.4	14.4	14.5
浦和市	6.6	6.6	6.5	6.5	6.5	6.4	6.4	6.4	6.4	6.5	6.5
千葉市	15.7	15.6	15.4	15.3	15.3	15.3	15.2	15.1	15.0	14.9	14.9
東京23区	72.0	71.8	71.5	71.3	71.0	70.8	70.5	70.2	69.8	69.5	69.1
横浜市	40.3	40.2	40.2	40.2	40.3	40.4	40.5	40.6	40.7	40.6	40.5
新潟市	18.2	18.3	18.4	18.5	18.6	18.7	18.8	18.9	18.9	19.1	19.1
富山市	27.3	27.4	27.5	27.5	27.6	27.7	27.8	27.9	28.1	28.2	28.2
金沢市	36.2	36.2	36.3	36.3	36.3	36.4	36.4	36.5	36.7	36.8	36.9
福井市	29.9	30.0	30.0	30.1	30.2	30.3	30.3	30.4	30.5	30.4	30.5
甲府市	24.6	24.5	24.4	24.3	24.2	24.0	23.9	23.8	23.6	23.5	23.3
長野市	15.4	15.4	15.5	15.5	15.6	15.6	15.8	15.8	15.6	15.9	16.0
岐阜市	20.8	20.7	20.6	20.4	20.3	20.2	20.1	20.1	19.9	19.8	19.7
静岡市	13.2	13.2	13.1	13.1	13.1	13.0	13.0	13.0	12.9	12.9	12.8
岡崎市	33.8	33.4	33.0	32.9	32.7	32.5	32.5	32.4	32.3	32.1	31.9
名古屋市	8.5	8.4	8.5	8.5	8.5	8.5	8.4	8.4	8.4	8.4	8.5
大津市	19.5	19.7	19.8	19.9	20.0	20.0	20.1	20.2	20.4	20.7	21.1
京都市	58.1	57.9	57.7	57.5	57.4	57.2	57.1	56.9	55.9	55.6	55.3
大阪市	31.2	30.8	30.5	30.3	30.1	30.0	29.9	29.8	29.7	29.6	29.5
神戸市	26.4	26.4	26.4	26.5	26.5	26.6	26.7	26.8	26.9	26.8	26.9
奈良市	24.3	24.5	24.6	24.7	24.5	24.9	25.1	25.2	25.3	25.4	25.3
和歌山市	36.5	36.5	36.6	36.7	36.6	36.7	36.8	36.8	36.8	36.7	36.7
鳥取市	21.1	21.2	21.4	21.5	21.6	21.8	21.9	22.1	22.2	22.4	22.6
松江市	16.7	16.8	16.9	17.0	17.1	17.1	17.2	17.4	17.5	17.7	17.8
岡山市	28.8	28.7	28.8	28.9	29.1	29.3	29.4	29.6	29.9	30.0	30.2
広島市	31.9	32.1	32.3	32.4	32.5	36.1	36.4	36.7	36.9	37.1	37.3
山口市	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5	7.5	7.7	7.8	7.9	7.9
徳島市	29.5	29.6	29.7	29.8	30.0	30.2	30.2	30.4	30.5	30.6	30.8
高松市	31.2	31.3	31.4	31.5	31.6	31.7	31.7	31.8	31.9	31.9	31.9
高知市	26.1	26.4	26.6	26.9	27.2	27.4	27.7	27.9	28.2	28.5	28.8
高松市	35.3	35.6	35.7	35.9	36.1	36.3	36.5	36.6	36.9	37.2	37.5
福岡市	23.0	23.2	23.3	23.5	23.7	23.8	24.0	24.2	24.5	24.7	24.9
佐賀市	18.8	18.9	19.0	19.0	19.0	18.9	18.8	18.8	18.8	18.9	18.9
長崎市	27.7	27.8	27.9	27.9	27.9	27.9	28.0	28.1	28.1	28.1	28.1
熊本市	28.1	28.3	28.5	28.7	28.9	29.1	29.6	29.8	30.0	30.3	30.5
大宮市	28.3	28.8	29.1	29.5	29.9	30.3	30.7	31.1	31.4	31.8	32.2
宮崎市	22.2	22.4	22.5	22.7	22.8	23.3	23.5	23.7	23.8	24.0	24.2
鹿児島市	27.7	27.9	28.1	28.3	28.5	28.7	28.8	28.9	29.1	29.2	29.3
那覇市	26.7	26.5	26.4	26.2	26.1	25.9	25.7	25.5	25.3	25.2	25.0

住民基本台帳による。

表36 都道府県別にみた人口の増加・減少
市町村数：1985年

都道府県	人口増減率 (%)	市町村総数	1980~1985年		人口増加市町村数の割合 (%)
			人口増加市町村数	人口減少市町村数	
全 国	3.4	1) 3 254	1 678	1 573	51.6
北 海 道	1.9	212	41	171	19.3
青 森	0.0	67	20	47	29.9
岩 手	0.8	62	22	40	35.5
宮 城	4.5	74	48	26	64.9
秋 田	-0.2	69	16	53	23.2
山 形	0.8	44	17	27	38.6
福 島	2.2	90	45	45	50.0
茨 城	6.5	92	77	15	83.7
栃 木	4.1	49	36	13	73.5
群 馬	3.9	70	42	28	60.0
埼 玉	8.2	92	80	12	87.0
千 葉	8.7	1) 80	62	17	77.5
東 京	1.8	42	36	6	85.7
神 奈 川	7.3	37	33	4	89.2
新 潟	1.1	112	48	64	42.9
富 山	1.4	1) 35	20	14	57.1
石 川	3.0	41	25	16	61.0
福 井	2.9	35	21	14	60.0
山 梨	3.6	64	40	24	62.5
長 野	2.5	121	57	64	47.1
岐 阜	3.5	100	58	42	58.0
静 岡	3.7	75	54	21	72.0
愛 知	3.8	88	68	20	77.3
三 重	3.6	69	42	27	60.9
滋 賀	7.0	50	44	6	88.0
京 都	2.3	44	22	22	50.0
大 阪	2.3	44	37	7	84.1
兵 庫	2.6	1) 91	54	36	59.3
奈 良	7.9	47	29	18	61.7
和 歌 山	0.0	50	13	37	26.0
鳥 取	2.0	39	21	18	53.8
島 根	1.3	59	26	33	44.1
岡 山	2.5	78	31	47	39.7
広 島	2.9	86	26	60	30.2
山 口	0.9	56	19	37	33.9
徳 島	1.2	50	21	29	42.0
香 川	2.3	43	24	19	55.8
愛 媛	1.5	70	23	47	32.9
高 知	1.0	53	15	38	28.3
福 岡	3.6	97	67	30	69.1
佐 賀	1.7	49	27	22	55.1
長 崎	0.2	79	24	55	30.4
熊 本	2.6	98	44	54	44.9
大 分	1.7	58	16	42	27.6
宮 崎	2.1	44	21	23	47.7
鹿 児 島	1.9	96	31	65	32.3
沖 縄	6.6	53	35	18	66.0

表37 県庁所在都市の人口および人口増減率：1965~85年

都 市	人 口 1985年 (1000人)	人口増減率 (%)			
		1965 ~70年	1970 ~75年	1975 ~80年	1980 ~85年
44 市 計	22 729	11.8	12.1	6.4	5.0
札 幌 市	1 543	23.0	22.8	13.0	10.1
青 森 市	294	7.0	10.1	8.8	2.2
盛 岡 市	235	10.8	10.3	6.0	2.8
仙 台 市	700	13.3	12.9	8.0	5.3
秋 田 市	296	8.9	10.8	9.0	4.1
山 形 市	245	5.4	7.7	7.9	3.4
福 島 市	271	6.6	8.4	6.6	3.0
水 戸 市	229	12.1	13.9	8.9	6.2
宇 都 宮 市	405	13.4	14.3	9.7	7.3
前 橋 市	277	9.2	7.1	6.0	4.6
浦 和 市	377	21.7	22.9	8.2	5.3
千 葉 市	789	41.9	36.7	13.2	5.7
横 浜 市	2 993	25.1	17.1	5.8	7.9
新 潟 市	476	7.8	10.2	8.2	3.9
富 山 市	314	5.2	7.7	5.1	3.0
金 沢 市	430	7.6	9.4	5.7	3.1
福 井 市	250	5.1	7.5	4.1	3.9
甲 府 市	202	5.9	6.1	2.8	1.6
長 野 市	337	6.0	7.5	5.8	3.9
岐 阜 市	412	7.7	6.0	0.4	0.3
静 岡 市	468	8.8	7.3	2.5	2.2
津 市	151	6.8	6.9	3.9	3.9
大 津 市	235	8.9	11.5	12.5	8.9
京 都 市	1 479	4.0	3.0	0.8	0.4
神 戸 市	1 411	5.9	5.6	0.5	3.2
奈 良 市	328	29.6	23.7	15.7	10.0
和 歌 山 市	401	11.1	6.7	2.8	0.1
鳥 取 市	137	4.0	8.1	7.2	4.6
松 江 市	140	6.8	8.0	6.4	3.3
岡 山 市	572	10.8	11.5	6.3	4.9
広 島 市	1 044	7.5	14.2	5.5	5.8
山 口 市	124	2.1	5.0	8.1	8.3
徳 島 市	258	4.7	7.1	4.2	3.4
高 松 市	327	6.5	9.0	5.9	3.3
松 山 市	427	11.1	13.8	9.4	6.2
高 知 市	312	10.4	13.2	7.1	3.8
福 岡 市	1 160	13.8	15.0	8.6	6.6
佐 賀 市	168	6.6	6.1	7.6	2.7
長 崎 市	449	3.9	5.4	-0.7	0.5
熊 本 市	556	8.1	8.7	7.7	5.7
大 分 市	390	15.1	22.9	12.6	8.2
宮 崎 市	279	10.9	15.5	13.0	5.4
鹿 児 島 市	531	8.7	13.3	10.6	5.0
那 覇 市	304	7.5	6.7	0.3	2.7

総務庁統計局『国勢調査報告』による。

総務庁統計局『国勢調査報告』による。
東京都特別区部は1市として計算。1) 増減数0
の市町村を含む。

表38 人口増加率および減少率の大きい市と町村：1980～85年

人口増加率の大きい市				人口減少率の大きい市			
順位	市	1985年人口	増加率(%)	順位	市	1985年人口	減少率(%)
1	浦安市(千葉県)	93,756	45.0	1	夕張市(北海道)	31,665	24.1
2	多摩市(東京都)	122,135	28.2	2	赤平市(北海道)	22,645	11.1
3	名張市(三重県)	56,474	26.9	3	室蘭市(北海道)	136,208	9.3
4	泉市(宮城県)	124,216	26.7	4	日光市(栃木県)	21,705	9.1
5	可児市(岐阜県)	69,630	26.0	5	芦別市(北海道)	30,017	8.9
6	生駒市(奈良県)	86,293	22.5	6	釜石市(岩手県)	60,007	8.0
7	厚木市(神奈川県)	175,600	20.8	7	三笠市(北海道)	21,511	7.8
8	海老名市(神奈川県)	93,159	20.2	8	歌志内市(北海道)	9,612	5.6
9	松任市(石川県)	52,585	20.2	9	珠洲市(石川県)	25,860	5.5
10	佐倉市(千葉県)	121,213	19.8	10	津久見市(大分県)	28,836	5.3

人口増加率の大きい町村				人口減少率の大きい町村			
順位	町村	1985年人口	増加率(%)	順位	町村	1985年人口	減少率(%)
1	玉穂町(山梨県)	6,784	63.2	1	徳山村(岐阜県)	632	51.6
2	加茂町(京都府)	13,759	53.4	2	本川村(高知県)	1,187	30.8
3	栄町(千葉県)	14,208	48.7	3	藤橋村(岐阜県)	455	28.9
4	富里町(千葉県)	33,291	42.8	4	三廐村(青森県)	4,298	28.7
5	鶴ヶ島町(埼玉県)	49,381	37.8	5	五木村(熊本県)	2,297	25.6
6	利根町(茨城県)	19,762	37.4	6	下川町(北海道)	5,730	20.1
7	長久手町(愛知県)	25,507	37.1	7	和泉村(福井県)	1,192	19.4
8	酒々井町(千葉県)	17,463	36.4	8	清川村(神奈川県)	2,892	18.3
9	守谷町(茨城県)	23,856	35.7	9	白滝村(北海道)	1,719	18.1
10	鳩山町(埼玉県)	13,931	35.2	10	魚島村(愛媛県)	423	17.9

総務庁統計局『国勢調査報告』による。増減率は、1980年と85年の10月1日現在人口によって計算されたものであるが、期末時の境域による。

表39 市町村の人口密度階級別にみた市町村数および人口：1985年

人口密度階級 (人/km ²)	市町村数	1985年人口 (1,000人)	1980～85年の人口増加率 (%)	1980～85年の人口増加率 (%)	人口の割合 (%)
総数	3,254	121,049	3.4	100.0	
10,000以上	12	12,917	-0.1	10.7	
5,000～10,000未満	54	15,898	5.1	13.1	
3,000～5,000	63	8,325	6.7	6.9	
1,000～3,000	292	33,616	5.2	27.8	
500～1,000	371	15,550	4.7	12.8	
300～500	415	11,420	3.7	9.4	
100～300	952	15,472	1.1	12.8	
50～100	491	4,641	-1.9	3.8	
50未満	604	3,210	-4.5	2.7	

総務庁統計局『我が国人口の概観』(1985年国勢調査解説シリーズNo.1, 1986.12)による。10月1日現在。

1) 期末時の境域および階級による。

表40 人口規模階級別にみた市町村人口および増加率：1965～85年

人口階級	市町 ¹⁾ 村数 (1985年)	人 口 (1,000人)					人 口 増 加 率 (%) ²⁾			
		1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1965～ 70年	1970～ 75年	1975～ 80年	1980～ 85年
総 数	3,254	99,209	104,665	111,940	117,060	121,049	5.5	7.0	4.6	3.4
市										
総 数	652	67,356	75,429	84,967	89,187	92,889	8.7	8.7	4.8	3.7
100万以上	11	19,398	20,856	23,265	23,298	24,883	3.2	2.5	0.1	2.5
50～100万	10	3,405	4,562	4,462	5,743	6,019	14.1	14.9	6.2	3.5
30～50万	39	5,582	7,890	11,995	13,709	14,852	13.1	13.6	7.4	4.6
20～30万	39	6,674	10,078	9,579	10,345	9,697	17.3	12.6	7.6	4.5
10～20万	105	10,922	10,416	12,209	12,965	14,300	15.0	12.7	7.0	4.9
5～10万	216	11,312	12,012	13,797	14,115	14,778	10.6	11.9	7.4	5.0
3～5万	179	9,302	8,416	8,454	7,764	7,019	0.3	4.7	2.9	1.3
3万未満	53	762	1,197	1,207	1,248	1,341	-8.5	-5.4	-1.8	-2.1
町 村										
総 数	2,602	31,853	29,237	26,972	27,873	28,160	-1.9	1.8	4.0	2.4
3万以上	83	1,725	2,009	1,344	2,278	3,082	41.4	37.4	24.1	12.2
2～3万	238	5,903	5,081	5,184	5,536	5,721	3.2	8.0	8.2	5.4
1～2万	771	14,092	12,337	11,341	11,277	10,732	-2.7	1.6	3.4	1.9
5千～1万	940	8,835	8,300	7,438	7,051	6,855	-8.0	-3.7	-1.1	-1.1
5千未満	570	1,298	1,509	1,666	1,731	1,769	-14.0	-9.2	-5.0	-4.3

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在の人口。

1) 東京都特別区部は1市として計算。2) 期末時の人口規模別境域による増減(各5年間)。

表41 市部・郡部別にみた人口とその割合および市町村数：1920～85年

年 次	人 口 (1,000人)		割 合 (%)		市 町 村 数		
	市 部	郡 部	市 部	郡 部	総 数 ³⁾	市 ³⁾	町 村
1920	10,097	45,866	18.0	82.0	12,244	83	12,161
1925	12,897	46,840	21.6	78.4	12,018	101	11,917
1930	15,444	49,006	24.0	76.0	11,864	109	11,755
1935	22,666	46,588	32.7	67.3	11,545	127	11,418
1940	27,578	45,537	37.7	62.3	11,190	168	11,022
1945 ¹⁾	20,022	51,976	27.8	72.2	10,536	206	10,330
1947 ¹⁾	25,858	52,244	33.1	66.9	10,505	214	10,291
1950	31,366	52,749	37.3	62.7	10,500	254	10,246
1955	50,532	39,544	56.1	43.9	4,877	496	4,381
1960 ²⁾	59,678	34,622	63.3	36.7	3,574	561	3,013
1965	67,356	31,853	67.9	32.1	3,435	567	2,868
1970	75,429	29,237	72.1	27.9	3,331	588	2,743
1975	84,967	26,972	75.9	24.1	3,257	644	2,613
1980	89,187	27,873	76.2	23.8	3,256	647	2,609
1985	92,889	28,160	76.7	23.3	3,254	652	2,602

総務庁統計局『国勢調査報告』による各年10月1日現在(ただし、1945年は11月1日現在の人口調査による)の数値。

1) 沖縄を含まない。2) 長野県と岐阜県の間の境界紛争地域の人口(73人)と岡山県児島湾干拓第7区の人口(1,200人)は、全国に含まれているが、市部または郡部には含まれていない。3) 東京都特別区部は1市として計算されている。

表42 東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口とその割合：1960～85年

地 域	人 口 (1,000人)				地域別人口割合 (%)			面積 ¹⁾ (km ²) 1985年	地域別 面積割 合 (%) 1985年	人口密度 (1km ² に つき) 1985年
	1960年	1970年	1980年	1985年	1960年	1980年	1985年			
全 国	94,302	104,665	117,060	121,049	100.0	100.0	100.0	372,805	100.0	325
50 キロ圏計	31,503	42,368	49,593	51,854	33.4	42.4	42.8	22,411	6.0	2,314
東京50キロ圏	15,788	21,954	26,343	27,824	16.7	22.5	23.0	7,672	2.1	3,627
大阪50キロ圏	10,323	13,640	15,422	15,891	10.9	13.2	13.1	7,414	2.0	2,143
名古屋50キロ圏	5,392	6,774	7,828	8,139	5.7	6.7	6.7	7,325	2.0	1,111
その他の地域	62,799	62,297	67,468	69,195	66.6	57.6	57.2	350,394	94.0	197

総務庁統計局【国勢調査報告】による。各年10月1日現在で、東京都庁、大阪市役所、名古屋市役所を中心としたそれぞれ半径50キロメートルの円内にある地域である。

1) 歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島および竹島は除いている。

表43 東京、大阪、名古屋の50キロ圏の人口増加：1960～85年

地 域	人口増加数 (1,000人)				人口増加率 (%)				全国の人口増加を 100とした比率	
	1960～ 65年	1970～ 75年	1975～ 80年	1980～ 85年	1960～ 65年	1970～ 75年	1975～ 80年	1980～ 85年	1960～ 65年	1980～ 85年
全 国	4,908	7,274	5,121	3,989	5.2	7.0	4.6	3.4	100.0	100.0
50 キロ圏計	5,550	4,685	2,522	2,261	17.6	11.1	5.4	4.6	113.1	56.7
東京50キロ圏	3,111	2,790	1,582	1,481	19.7	12.7	6.4	5.6	63.4	37.1
大阪50キロ圏	1,741	1,240	543	469	16.9	9.1	3.6	3.0	35.5	11.8
名古屋50キロ圏	698	656	398	311	12.9	9.7	5.4	4.0	14.2	7.8
その他の地域	-643	2,589	2,598	1,728	-1.0	4.2	4.0	2.6	-13.1	43.3

総務庁統計局【国勢調査報告】による。各期間（5年間）の期末時の境域による。上表を参照。

表44 3大都市圏別にみた距離帯別人口および人口密度：1970～85年

中心からの距離 (km)	人 口 (1,000人)				50キロ圏における人口の構成比				人口密度(人/km ²)		
	1970年	1975年	1980年	1985年	1970年	1975年	1980年	1985年	1980年	1985年	
東京 70 キ ロ 圏	0 ～ 10	4,284	4,005	3,753	3,691	19.5	16.2	14.2	13.3	15,521	15,263
	10 ～ 20	7,410	7,696	7,861	8,103	33.8	31.1	29.8	29.1	9,587	9,882
	20 ～ 30	3,855	4,923	5,377	5,824	17.6	19.9	20.4	20.9	4,457	4,827
	30 ～ 40	3,878	5,038	5,754	6,243	17.7	20.3	21.8	22.4	2,518	2,732
	40 ～ 50	2,526	3,098	3,596	3,963	11.5	12.5	13.7	14.2	1,153	1,271
	50キロ圏計	18,075	24,760	26,341	27,824	100.0	100.0	100.0	100.0	3,627	3,442
	50 ～ 60	1,361	1,384	1,359	1,680	590	644
	60 ～ 70	1,161	1,381	1,446	1,510	415	434
70キロ圏計	24,475	27,526	29,328	31,014	2,133	2,253	
大 阪 50 キ ロ 圏	0 ～ 10	4,728	4,570	4,401	4,381	34.7	30.7	28.5	27.6	11,396	11,345
	10 ～ 20	2,860	3,417	3,664	3,798	21.0	23.0	23.8	23.9	4,654	4,824
	20 ～ 30	1,767	2,160	2,341	2,471	13.0	14.5	15.2	15.6	2,444	2,581
	30 ～ 40	2,363	2,675	2,702	2,869	17.3	18.0	17.5	18.1	1,211	1,286
	40 ～ 50	1,933	2,051	2,315	2,371	14.1	13.8	15.0	14.9	759	777
	50キロ圏計	13,640	14,872	15,422	15,891	100.0	100.0	100.0	100.0	2,080	2,143
名 古 屋 50 キ ロ 圏	0 ～ 10	2,108	2,161	2,155	2,175	31.1	29.1	27.5	26.7	6,043	6,097
	10 ～ 20	1,394	1,666	1,821	1,909	20.6	22.4	23.3	23.5	1,880	1,970
	20 ～ 30	1,078	1,247	1,385	1,497	15.9	16.8	17.7	18.4	1,008	1,090
	30 ～ 40	1,634	1,757	1,840	1,911	24.1	23.6	23.5	23.5	904	939
	40 ～ 50	561	599	626	647	8.3	8.1	8.0	8.0	242	250
	50キロ圏計	6,774	7,430	7,828	8,139	100.0	100.0	100.0	100.0	1,069	1,111

総務庁統計局国勢調査摘要データシリーズNo.2『大都市圏の人口』による。

1985年については「国勢調査」をもとに集計した。

- ① 各年の地域による。中心は東京（都庁）、大阪（大阪府庁）、名古屋（名古屋府庁）
 ② 圏域間の比較のために、東京圏の人口構成比も50キロ圏におけるものとした。

表45 3大都市圏別にみた距離帯別人口増減：1960年～85年

(-は減少)

中心からの距離 (km)		人口増減数(1000人)					人口増減率(%)				
		1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年
東京50キロ圏	0 ～ 10	-63	-296	-278	-253	-62	-1.4	-6.5	-6.5	-6.3	-1.7
	10 ～ 20	1,337	791	448	165	242	25.3	11.9	6.2	2.1	3.1
	20 ～ 30	846	925	905	455	446	40.4	31.6	22.5	9.2	8.3
	30 ～ 40	716	1,177	1,154	716	489	37.0	43.6	29.7	14.2	8.5
	40 ～ 50	275	414	562	498	367	14.9	19.6	22.1	16.1	10.2
	50キロ圏計	3,111	3,011	2,790	1,582	1,481	19.7	15.9	12.7	6.4	5.6
大阪50キロ圏	0 ～ 10	489	102	-159	-168	-20	12.3	2.2	-3.4	-3.7	-0.4
	10 ～ 20	681	701	557	247	134	41.3	32.5	19.5	7.2	3.7
	20 ～ 30	243	354	393	181	131	20.7	25.0	22.3	8.4	5.6
	30 ～ 40	252	316	312	215	168	14.0	15.5	13.2	8.6	6.2
	40 ～ 50	78	96	137	60	56	4.5	5.2	7.1	2.7	2.4
	50キロ圏計	1,741	1,569	1,240	543	469	16.9	13.0	9.1	3.6	3.0
名古屋50キロ圏	0 ～ 10	240	125	53	-6	19	13.8	6.3	2.5	-0.3	0.9
	10 ～ 20	220	265	273	155	88	24.3	23.4	19.6	9.3	4.8
	20 ～ 30	109	172	169	138	112	14.0	19.0	15.7	11.1	8.1
	30 ～ 40	123	99	123	83	71	8.6	6.5	7.5	4.7	3.8
	40 ～ 50	5	18	38	27	21	1.0	3.3	6.7	4.6	3.4
	50キロ圏計	698	679	656	398	311	12.9	11.1	9.7	5.4	4.0

総務庁統計局国勢調査摘要データシリーズNo.2『大都市圏の人口』による。
期末時の境域による。

表46 3大都市圏別にみた距離帯別人口および人口増加：1985～90年

(1) 人口および構成比

中心からの距離 (km)		人 口 (人)					
		1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
東 京 50キロ圏	0 ～ 10	3,626,086	3,613,941	3,578,677	3,518,721	3,455,432	3,398,763
	10 ～ 20	7,930,083	8,008,903	8,082,883	8,139,349	8,188,984	8,227,150
	20 ～ 30	5,696,180	5,799,389	5,917,001	6,025,508	6,111,690	6,182,475
	30 ～ 40	6,161,176	6,251,509	6,353,514	6,474,765	6,576,187	6,663,809
	40 ～ 50	3,908,271	3,971,084	4,037,942	4,204,824	4,281,184	4,354,673
	50キロ圏計	27,321,796	27,644,826	27,970,017	28,363,167	28,613,477	28,826,870
大 阪 50キロ圏	0 ～ 10	4,237,811	4,246,597	4,253,536	4,247,746	4,234,104	4,218,736
	10 ～ 20	3,720,520	3,739,751	3,760,543	3,772,289	3,777,035	3,778,574
	20 ～ 30	2,428,844	2,454,673	2,481,034	2,508,230	2,526,403	2,541,509
	30 ～ 40	2,887,871	2,856,714	2,882,840	2,906,059	2,927,916	2,953,328
	40 ～ 50	2,292,020	2,369,070	2,380,626	2,355,154	2,372,036	2,394,008
	50キロ圏計	15,567,066	15,666,805	15,758,579	15,789,478	15,837,494	15,886,155
名 古 屋 50キロ圏	0 ～ 10	2,120,783	2,132,353	2,143,970	2,149,114	2,148,548	2,146,042
	10 ～ 20	1,879,252	1,898,220	1,917,358	1,937,432	1,956,767	1,976,038
	20 ～ 30	1,475,947	1,496,859	1,515,418	1,532,753	1,551,956	1,568,304
	30 ～ 40	1,891,768	1,906,546	1,921,748	1,934,374	1,946,174	1,960,204
	40 ～ 50	646,104	650,443	653,260	656,378	659,898	662,130
	50キロ圏計	8,013,854	8,084,421	8,151,754	8,210,051	8,263,343	8,312,718
合 計		50,902,716	51,396,052	51,880,350	52,362,696	52,714,314	53,025,743
中心からの距離 (km)		構 成 比 (%)					
		1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
東 京 50キロ圏	0 ～ 10	13.3	13.1	12.8	12.4	12.1	11.8
	10 ～ 20	29.0	29.0	28.9	28.7	28.6	28.5
	20 ～ 30	20.8	21.0	21.2	21.2	21.4	21.4
	30 ～ 40	22.6	22.6	22.7	22.8	23.0	23.1
	40 ～ 50	14.3	14.3	14.4	14.8	15.0	15.1
	50キロ圏計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
大 阪 50キロ圏	0 ～ 10	27.2	27.1	27.0	26.9	26.7	26.6
	10 ～ 20	23.9	23.9	23.9	23.9	23.8	23.8
	20 ～ 30	15.6	15.7	15.7	15.9	16.0	16.0
	30 ～ 40	18.6	18.2	18.3	18.4	18.5	18.6
	40 ～ 50	14.7	15.1	15.1	14.9	15.0	15.1
	50キロ圏計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
名 古 屋 50キロ圏	0 ～ 10	26.5	26.4	26.3	26.2	26.0	25.8
	10 ～ 20	23.5	23.5	23.5	23.6	23.7	23.8
	20 ～ 30	18.4	18.5	18.6	18.7	18.8	18.9
	30 ～ 40	23.6	23.6	23.6	23.6	23.6	23.6
	40 ～ 50	8.1	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0
	50キロ圏計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表末の注参照。

表46 3大都市圏別にみた距離帯別人口および人口増加：1985～90年（つづき）

(2) 増減数，対前年比および伸張指数

中心からの距離 (km)		増 減 数 (人)				
		1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
東 京 50キロ圏	0 ～ 10	-12,145	-35,264	-59,956	-63,289	-56,669
	10 ～ 20	78,820	73,980	56,466	49,635	38,166
	20 ～ 30	103,209	117,612	108,507	86,182	70,785
	30 ～ 40	90,333	102,005	121,251	101,422	87,622
	40 ～ 50	62,813	66,858	77,962	76,360	73,489
	50キロ圏計	323,030	325,191	304,230	250,310	213,393
大 阪 50キロ圏	0 ～ 10	8,786	6,939	-5,790	-13,642	-15,368
	10 ～ 20	19,231	20,792	11,746	4,746	1,539
	20 ～ 30	25,829	26,361	27,196	18,173	15,106
	30 ～ 40	-31,157	26,126	23,219	21,857	25,412
	40 ～ 50	77,050	11,556	-25,472	16,882	21,972
	50キロ圏計	99,739	91,774	30,899	48,016	48,661
名 古 屋 50キロ圏	0 ～ 10	11,570	11,617	5,144	-566	-2,506
	10 ～ 20	18,968	19,138	20,074	19,335	19,271
	20 ～ 30	20,912	18,559	17,335	19,203	16,348
	30 ～ 40	14,778	15,202	12,626	11,800	14,030
	40 ～ 50	4,339	2,817	3,118	3,520	2,232
	50キロ圏計	70,567	67,333	58,297	53,292	49,375
合 計		493,336	484,298	393,426	351,618	311,429
中心からの距離 (km)		対 前 年 比 (%)				
		1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
東 京 50キロ圏	0 ～ 10	-0.3	-1.0	-1.7	-1.8	-1.6
	10 ～ 20	1.0	0.9	0.7	0.6	0.5
	20 ～ 30	1.8	2.0	1.8	1.4	1.2
	30 ～ 40	1.5	1.6	1.9	1.6	1.3
	40 ～ 50	1.6	1.7	1.9	1.8	1.7
	50キロ圏計	1.2	1.2	1.1	0.9	0.7
大 阪 50キロ圏	0 ～ 10	0.2	0.2	-0.1	-0.3	-0.4
	10 ～ 20	0.5	0.6	0.3	0.1	0.0
	20 ～ 30	1.1	1.1	1.1	0.7	0.6
	30 ～ 40	-1.1	0.9	0.8	0.8	0.9
	40 ～ 50	3.4	0.5	-1.1	0.7	0.9
	50キロ圏計	0.6	0.6	0.2	0.3	0.3
名 古 屋 50キロ圏	0 ～ 10	0.5	0.5	0.2	0.0	-0.1
	10 ～ 20	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	20 ～ 30	1.4	1.2	1.1	1.3	1.1
	30 ～ 40	0.8	0.8	0.7	0.6	0.7
	40 ～ 50	0.7	0.4	0.5	0.5	0.3
	50キロ圏計	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6
合 計		1.0	0.9	0.8	0.7	0.6
中心からの距離 (km)		伸 張 指 数 (1985年 = 1)				
		1986年	1987年	1988年	1989年	1990年
東 京 50キロ圏	0 ～ 10	0.997	0.987	0.970	0.953	0.937
	10 ～ 20	1.010	1.019	1.026	1.033	1.037
	20 ～ 30	1.018	1.039	1.058	1.073	1.085
	30 ～ 40	1.015	1.031	1.051	1.067	1.082
	40 ～ 50	1.016	1.033	1.076	1.095	1.114
	50キロ圏計	1.012	1.024	1.038	1.047	1.055
大 阪 50キロ圏	0 ～ 10	1.002	1.004	1.002	0.999	0.995
	10 ～ 20	1.005	1.011	1.014	1.015	1.016
	20 ～ 30	1.011	1.021	1.033	1.040	1.046
	30 ～ 40	0.989	0.998	1.006	1.014	1.023
	40 ～ 50	1.032	1.039	1.028	1.035	1.044
	50キロ圏計	1.006	1.012	1.014	1.017	1.020
名 古 屋 50キロ圏	0 ～ 10	1.005	1.011	1.013	1.013	1.012
	10 ～ 20	1.010	1.020	1.031	1.041	1.052
	20 ～ 30	1.014	1.027	1.038	1.051	1.023
	30 ～ 40	1.008	1.016	1.023	1.029	1.036
	40 ～ 50	1.007	1.011	1.016	1.021	1.025
	50キロ圏計	1.009	1.017	1.024	1.031	1.037
合 計		1.010	1.019	1.029	1.036	1.042

自治省行政局『全国人口・世帯数表人口動態表 (平成2年)』による。住民基本台帳人口。

表47 3大都市圏別にみた距離帯別通勤時間別世帯数：1978～88年

(1) 1978年

中心からの距離 (km)	世帯の主な働き 手が雇用者であ る普通世帯数 (1978年)	通勤時間別世帯割合 (1978年, %)					
		自宅又は 住み込み	30分 未 満	30分 ～ 60分	60分 以 上	うち90 分以上	
東京 70 キロ 圏	0 ～ 10	831,100(100.0)	3.8	39.5	47.5	8.7	1.7
	10 ～ 20	1,723,000(100.0)	2.0	30.9	45.4	21.4	3.2
	20 ～ 30	1,146,200(100.0)	1.4	26.5	32.3	39.5	7.1
	30 ～ 40	1,196,000(100.0)	1.1	31.3	26.3	41.1	11.6
	40 ～ 50	666,500(100.0)	1.4	38.8	24.1	35.7	13.8
	50キロ圏計	5,562,800(100.0)	1.9	32.3	36.3	29.2	6.9
	50 ～ 60	…	…	…	…	…	…
	60 ～ 70	…	…	…	…	…	…
	70キロ圏計	…	…	…	…	…	…
大 阪 50 キロ 圏	0 ～ 10	939,700(100.0)	2.5	45.3	40.8	11.0	1.8
	10 ～ 20	773,100(100.0)	1.3	32.1	45.9	20.4	3.1
	20 ～ 30	484,500(100.0)	1.4	31.8	37.5	29.0	4.7
	30 ～ 40	511,000(100.0)	1.7	40.0	33.8	24.1	5.1
	40 ～ 50	409,800(100.0)	2.0	45.8	33.4	18.5	5.5
	50キロ圏計	3,118,100(100.0)	1.9	39.1	39.4	19.2	3.6
名 古 屋 50 キロ 圏	0 ～ 10	445,800(100.0)	2.6	54.1	35.4	7.8	1.5
	10 ～ 20	337,200(100.0)	1.6	50.5	32.9	14.9	2.5
	20 ～ 30	253,500(100.0)	2.0	64.2	21.8	11.8	2.6
	30 ～ 40	330,000(100.0)	1.8	66.2	20.8	11.1	3.2
	40キロ圏計	1,366,500(100.0)	2.0	58.0	28.7	11.1	2.4
	40 ～ 50	…	…	…	…	…	…
	50キロ圏計	…	…	…	…	…	…

表末の注参照。

表47 3大都市圏別にみた距離帯別通勤時間別世帯数：1978～88年（つづき）

(2) 1983年

中心からの距離 (km)	世帯の主な働き 手が雇用者であ る普通世帯数 (1983年)	通勤時間別世帯割合（1983年、%）					
		自宅又は 住み込み	30分 未 満	30～ 60分	60分 以 上	うち90 分以上	
東京 70 キロ 圏	0～10	844,800(100.0)	4.1	34.5	50.0	10.7	2.0
	10～20	1,808,700(100.0)	2.3	27.0	45.9	24.2	3.6
	20～30	1,263,500(100.0)	1.4	23.6	31.9	42.8	8.0
	30～40	1,330,200(100.0)	1.2	28.6	27.5	42.5	12.6
	40～50	788,400(100.0)	1.4	34.8	25.5	38.1	15.5
	50キロ圏計	6,035,600(100.0)	2.0	28.7	36.8	32.1	7.8
	50～60	291,200(100.0)	1.9	52.4	21.6	24.0	11.8
	60～70	242,800(100.0)	2.3	61.0	19.1	17.5	8.8
70キロ圏計	6,569,700(100.0)	2.0	30.9	35.5	31.2	8.1	
大 阪 50 キ ロ 圏	0～10	973,800(100.0)	2.7	41.3	42.8	12.7	2.1
	10～20	796,100(100.0)	1.4	30.3	44.6	23.3	3.3
	20～30	507,800(100.0)	1.5	29.6	36.4	32.3	5.4
	30～40	558,400(100.0)	1.7	35.7	35.4	27.0	5.8
	40～50	398,700(100.0)	2.3	39.0	35.1	23.2	6.8
	50キロ圏計	3,234,800(100.0)	2.0	35.5	40.0	22.2	4.1
名 古 屋 50 キ ロ 圏	0～10	459,700(100.0)	2.5	48.6	40.0	8.6	2.0
	10～20	369,600(100.0)	1.7	48.6	33.9	15.7	2.5
	20～30	285,200(100.0)	1.6	60.2	24.8	13.3	2.9
	30～40	348,300(100.0)	2.0	62.2	24.0	11.6	3.2
	40キロ圏計	1,462,800(100.0)	2.0	54.1	31.7	12.0	2.5
	40～50	111,100(100.0)	1.9	61.7	25.7	10.6	3.2
50キロ圏計	1,573,900(100.0)	2.0	54.7	31.3	11.9	2.5	

表末の注参照。

表47 3大都市圏別にみた距離帯別通勤時間別世帯数：1978～88年（つづき）

(3) 1988年

中心からの距離 (km)	世帯の主な働き 手が雇用者であ る普通世帯数 (1988年)	通勤時間別世帯割合（1988年，％）					
		自宅又は 住み込み	30分 未満	30分 ～ 60分	60分 以上	うち90 分以上	
東京 70 キロ 圏	0～10	783,300(100.0)	3.6	33.2	49.9	9.2	1.7
	10～20	1,891,700(100.0)	1.9	26.9	46.4	23.1	3.2
	20～30	1,388,800(100.0)	1.2	23.7	33.3	41.3	7.0
	30～40	1,457,600(100.0)	1.0	29.4	28.2	40.8	11.8
	40～50	846,100(100.0)	1.2	36.0	25.6	36.9	14.4
	50キロ圏計	6,367,500(100.0)	1.7	28.8	37.1	31.3	7.3
	50～60	343,700(100.0)	1.5	54.7	21.2	22.4	10.9
	60～70	258,400(100.0)	1.6	63.0	19.0	16.2	7.8
70キロ圏計	6,969,500(100.0)	1.6	31.3	35.6	30.3	7.5	
大阪 50 キロ 圏	0～10	951,300(100.0)	2.0	42.5	43.8	11.0	1.8
	10～20	804,200(100.0)	1.2	31.4	44.7	21.9	3.2
	20～30	516,600(100.0)	1.3	30.6	36.1	31.3	5.0
	30～40	577,100(100.0)	1.4	38.2	35.3	24.3	5.2
	40～50	441,200(100.0)	2.0	42.5	34.8	20.1	6.2
50キロ圏計	3,290,500(100.0)	1.6	37.2	40.1	20.4	3.8	
名古屋 50 キロ 圏	0～10	475,000(100.0)	1.9	50.5	40.0	7.2	1.3
	10～20	389,500(100.0)	1.3	50.6	34.3	13.7	1.9
	20～30	311,300(100.0)	1.4	61.2	25.3	11.9	2.5
	30～40	360,900(100.0)	1.6	64.5	24.0	9.8	2.5
	40キロ圏計	1,536,700(100.0)	1.6	56.0	31.8	10.4	2.0
40～50	108,600(100.0)	1.8	65.7	23.8	8.5	2.6	
50キロ圏計	1,645,400(100.0)	1.6	56.6	31.3	10.3	2.0	

総理府統計局『住宅統計調査』，国土庁『大都市圏要覧』による。各年10月1日現在。

表48 市部・郡部別にみた人口集中地区人口、面積および人口密度：1960～85年

年次	人口集中地区人口 (1,000人)			人口集中地区面積 (km ²)		
	全 国	市 部	郡 部	全 国	市 部	郡 部
1960 ¹⁾	40,830	38,649	2,181	3,865	3,556	310
1965 ¹⁾	47,261	44,605	2,656	4,605	4,228	377
1970	55,997	52,704	3,293	6,444	5,897	548
1975	63,823	60,972	2,850	8,275	7,737	538
1980	69,935	66,359	3,576	10,015	9,277	738
1985	73,344	69,588	3,757	10,571	9,796	775

年次	全域に占める人口集中地区の割合 (%)				人口集中地区人口密度		
	人 口			面 積	(1 km ² につき)		
	全 国	市 部	郡 部		全 国	全 国	市 部
1960 ¹⁾	43.7	65.1	6.4	1.03	10,563	10,869	7,048
1965 ¹⁾	48.1	66.7	8.5	1.23	10,263	10,549	7,053
1970	53.5	69.9	11.3	1.71	8,690	8,938	6,013
1975	57.0	71.8	10.6	2.19	7,712	7,880	5,298
1980	59.7	74.4	12.8	2.65	6,983	7,153	4,844
1985	60.6	74.9	13.3	2.80	6,938	7,104	4,850

総務庁統計局『国勢調査報告』による。人口集中地区とは、国勢調査の調査区のうち、人口密度が1平方キロメートル当たり、約4,000人以上の地域が市区町村内で互いに隣接して、人口5,000人以上の地区を構成している場合、これらの調査区の集まりを言う。各年10月1日現在のもの。1) 沖縄県を含まない。

表49 都道府県別にみた人口集中地区の人口、面積および人口密度：1975、85年

都道府県	1985年 人口集中地区					1975年 人口集中地区		
	人口	面積 (km ²)	全域に占める割合(%)		人口密度 (1km ² 当 たり)	人口	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² 当 たり)
			人口	面積				
全 国	73,344,121	10,570.7	60.6	2.80	6,938	63,822,648	8,275.4	7,712
北海道	3,789,577	704.5	66.7	0.84	5,379	3,240,194	546.1	5,933
青 森	643,230	138.5	42.2	1.44	4,644	562,118	108.2	5,195
岩 手	394,833	76.3	27.5	0.50	5,175	356,878	58.6	6,090
宮 城	1,102,503	185.0	50.7	2.54	5,959	911,768	143.4	6,358
秋 田	390,831	81.6	31.2	0.70	4,790	340,938	61.4	5,553
山 形	462,596	95.2	36.7	1.02	4,859	435,679	74.4	5,856
福 島	699,254	140.6	33.6	1.02	4,973	557,846	100.0	5,578
茨 城	795,570	162.6	29.2	2.67	4,893	548,449	96.0	5,713
栃 木	654,178	136.6	35.1	2.13	4,789	535,058	99.5	5,377
群 馬	733,451	157.0	38.2	2.47	4,672	601,294	110.7	5,432
埼 玉	4,204,944	553.6	71.7	14.57	7,596	3,112,732	408.1	7,627
千 葉	3,344,199	476.4	65.0	9.25	7,020	2,393,833	328.2	7,294
東 京	11,483,075	994.7	97.1	46.00	11,544	11,278,685	914.6	12,332
神 奈 川	6,622,947	835.2	89.1	34.77	7,930	5,400,872	681.1	7,930
新 潟	1,055,261	192.0	42.6	1.53	5,496	952,533	154.0	6,185
富 山	424,044	88.7	37.9	2.09	4,781	402,461	70.5	5,709
石 川	534,538	89.2	46.4	2.13	5,993	406,597	55.4	7,339
福 井	293,664	55.3	35.9	1.32	5,310	287,630	46.2	6,226
山 梨	259,487	46.8	31.2	1.05	5,545	241,164	37.5	6,431
長 野	664,224	139.2	31.1	1.02	4,772	580,811	105.5	5,505
岐 阜	745,654	138.4	36.8	1.31	5,388	677,859	105.9	6,401
静 岡	1,841,996	331.8	51.5	4.27	5,552	1,614,295	263.3	6,131
愛 知	4,336,549	714.2	67.2	13.90	6,072	3,634,569	521.4	6,971
三 重	663,936	142.7	38.0	2.47	4,653	588,050	111.2	5,288
滋 賀	336,857	59.3	29.1	1.48	5,681	245,590	41.1	5,975
京 都	2,055,488	231.6	79.5	5.02	8,876	1,829,521	181.0	10,108
大 阪	8,127,754	824.2	93.8	44.13	9,861	7,682,085	725.4	10,590
兵 庫	3,786,168	478.9	71.7	5.72	7,906	3,455,442	386.8	8,933
奈 良	687,710	107.8	52.7	2.92	6,379	470,144	73.2	6,423
和 歌 山	460,193	86.3	42.3	1.83	5,332	448,070	71.5	6,267
鳥 取	161,602	32.7	26.2	0.94	4,942	151,707	25.4	5,973
島 根	185,922	41.7	23.4	0.63	4,459	167,995	31.3	5,367
山 西	650,122	145.0	33.9	2.05	4,484	560,615	109.5	5,120
広 島	1,650,227	269.3	58.5	3.18	6,127	1,478,187	211.9	6,976
山 口	704,556	186.2	44.0	3.05	3,784	645,924	141.7	4,558
徳 島	228,521	44.8	27.4	1.08	5,101	200,201	34.7	5,769
香 川	330,671	68.9	32.3	3.66	4,799	297,291	51.1	5,818
愛 媛	659,099	128.2	43.1	2.26	5,141	560,621	98.7	5,680
高 知	322,535	50.6	38.4	0.71	6,374	288,369	40.2	7,173
福 岡	2,988,378	478.3	63.3	9.64	6,247	2,517,806	384.3	6,552
佐 賀	243,309	46.4	27.6	1.91	5,244	204,864	36.4	5,628
長 崎	662,912	101.8	41.6	2.48	6,512	604,950	76.2	7,939
熊 本	672,091	119.2	36.6	1.61	5,638	547,993	88.1	6,220
大 分	505,031	99.7	40.4	1.57	5,066	412,375	68.9	5,985
宮 崎	458,613	92.0	39.0	1.19	4,985	334,046	62.5	5,345
鹿 児 島	659,516	117.1	36.3	1.28	5,632	528,144	77.5	6,815
沖 縄	666,305	84.6	56.5	3.75	7,876	528,395	56.8	9,303

総務庁統計局『国勢調査報告』による。各年10月1日現在。人口集中地区とは、国勢調査区のうち、原則として人口密度が1km²につき約4,000人以上のもので、市区町村のなかでそれらが互いに隣接して、その人口が合計して5,000人以上となる調査区の集まりを言う。

表50 都道府県別人口集中地区の人口増加数および増減率：1960～85年

都道府県	1960～65年		1965～70年 ¹⁾		1970～75年 ²⁾		1975～80年		1980～85年	
	増加数	率(%)	増加数	率(%)	増加数	率(%)	増加数	率(%)	増加数	率(%)
全 国	6,431,464	15.8	8,273,113	17.5	7,825,763	14.0	6,112,206	9.6	3,409,267	4.9
北 海 道	288,997	13.6	560,754	23.3	270,790	9.1	421,464	13.0	127,919	3.5
青 森	63,601	15.9	38,977	8.4	59,113	11.8	75,934	13.5	5,178	0.8
岩 手	-1,357	-0.4	27,263	9.1	29,160	8.9	38,104	10.7	-149	-0.0
宮 城	67,790	12.2	126,669	20.4	163,020	21.8	103,181	11.3	87,554	8.6
秋 田	15,043	5.5	16,557	5.7	36,020	11.8	25,153	7.4	24,740	6.8
山 形	36,374	12.0	53,423	15.7	41,991	10.7	30,997	7.1	-4,080	-0.9
福 島	33,042	7.2	23,413	4.8	44,254	8.6	90,994	16.3	50,414	7.8
茨 城	26,153	6.7	49,640	11.8	79,662	17.0	122,529	22.3	124,592	18.6
栃 木	29,026	7.8	42,589	10.6	90,957	20.5	80,426	15.0	38,694	6.3
群 馬	31,576	7.3	46,999	10.1	89,521	17.5	89,541	14.9	42,616	6.2
埼 玉	424,055	47.3	806,048	61.0	986,334	46.4	668,708	21.5	423,504	11.2
千 葉	390,928	59.0	652,229	61.9	688,153	40.3	558,537	23.3	391,829	13.3
東 京	1,191,088	13.4	776,887	7.7	402,739	3.7	15,462	0.1	188,928	1.7
神 奈 川	763,613	31.7	1,115,373	35.1	1,110,906	25.9	708,499	13.1	513,576	8.4
新 潟	115,272	16.4	47,533	5.8	87,880	10.2	76,313	8.0	26,415	2.6
富 山	15,321	4.7	8,836	2.6	50,459	14.3	24,102	6.0	-2,519	-0.6
石 川	10,687	3.3	13,219	3.9	56,903	16.3	104,313	25.7	23,628	4.6
福 井	13,173	5.5	17,911	7.1	18,973	7.1	5,706	2.0	328	0.1
山 梨	23,686	14.2	29,658	15.6	20,798	9.4	11,305	4.7	7,018	2.8
長 野	42,128	10.1	105,017	22.9	17,769	3.2	59,488	10.2	23,925	3.7
岐 阜	51,135	11.0	80,867	15.7	82,425	13.8	41,024	6.1	26,771	3.7
静 岡	138,769	13.5	248,680	21.3	196,561	13.9	159,040	9.9	68,661	3.9
愛 知	373,162	16.5	437,755	16.6	560,662	18.2	511,807	14.1	190,173	4.6
三 重	21,563	5.3	44,594	10.3	111,744	23.5	49,915	8.5	25,971	4.1
滋 賀	4,216	2.5	21,222	12.4	53,866	28.1	62,281	25.4	28,986	9.4
京 都	142,640	10.9	187,000	12.9	194,977	11.9	164,801	9.0	61,166	3.1
大 阪	1,102,309	24.6	1,281,912	23.0	818,814	11.9	275,295	3.6	170,374	2.1
兵 庫	436,757	19.5	469,551	17.6	314,753	10.0	230,750	6.7	99,976	2.7
和 歌 山	52,363	29.5	113,472	49.4	126,999	37.0	127,118	27.0	90,448	15.1
鳥 取	44,310	13.1	37,187	9.7	27,269	6.5	8,438	1.9	3,685	0.8
島 根	2,572	2.0	1,047	0.8	16,953	12.6	5,421	3.6	4,474	2.8
岡 山	7,536	5.5	21,794	15.2	2,742	1.7	17,738	10.6	189	0.1
広 島	75,928	22.2	78,224	18.7	64,753	13.1	70,247	12.5	19,260	3.1
山 口	164,415	18.0	186,947	17.3	213,462	16.9	73,531	5.0	98,509	6.3
徳 島	6,600	1.2	74,778	14.0	36,542	6.0	52,496	8.1	6,136	0.9
香 川	16,378	9.6	-851	-0.5	13,382	7.2	21,234	10.6	7,086	3.2
愛 媛	3,028	1.3	57,131	24.7	9,155	3.2	28,447	9.6	4,933	1.5
高 知	15,932	3.6	37,816	8.2	61,324	12.3	59,927	10.7	38,551	6.2
福 岡	21,510	11.0	37,678	17.3	33,036	12.9	28,856	10.0	5,310	1.7
福 佐	84,530	4.1	125,838	5.9	245,112	10.8	339,985	13.5	130,587	4.6
長 崎	-12,234	-6.2	12,632	6.9	8,595	4.4	25,666	12.5	12,779	5.5
熊 本	8,695	1.6	19,637	3.5	24,240	4.2	54,164	9.0	3,798	0.6
大 分	41,606	9.2	22,633	4.6	31,854	6.2	74,748	13.6	49,350	7.9
宮 崎	9,583	3.2	41,851	13.4	59,024	16.7	53,380	12.9	39,276	8.4
鹿 児 島	4,941	1.9	13,377	5.1	56,099	20.2	89,654	26.8	34,913	8.2
沖 縄	33,024	8.6	61,526	14.8	49,940	10.4	91,739	17.4	39,633	6.4
	66,078	14.3	83,748	15.8	54,162	8.8

総務庁統計局『国勢調査報告』による。

1) 沖縄県を含まない。

2) 沖縄県のデータは琉球政府が行った1970年国勢調査による。

表51 都道府県別にみた常住(夜間)人口および昼間人口：1975，85年

都道府県	1985年 ¹⁾				1975年			
	常住(夜間)人口	昼間人口	昼夜間人口差 ²⁾	昼夜間人口比 ³⁾ (%)	常住(夜間)人口	昼間人口	昼夜間人口差 ²⁾	昼夜間人口比 ³⁾ (%)
全 国	121, 107, 577	121, 007, 577	—	100. 0	111, 939, 643	111, 939, 643	—	100. 0
北海道	5, 679, 439	5, 679, 101	— 338	100. 0	5, 338, 206	5, 339, 704	1, 498	100. 0
青 森	1, 524, 448	1, 520, 155	— 4, 293	99. 7	1, 468, 646	1, 470, 025	1, 379	100. 1
岩 手	1, 433, 611	1, 425, 728	— 7, 883	99. 5	1, 385, 563	1, 382, 698	— 2, 865	99. 8
宮 城	2, 176, 295	2, 172, 717	— 3, 578	99. 9	1, 955, 267	1, 956, 327	1, 060	100. 1
秋 田	1, 254, 032	1, 251, 149	— 2, 883	99. 8	1, 232, 481	1, 231, 638	— 843	99. 9
山 形	1, 261, 662	1, 260, 054	— 1, 608	99. 9	1, 220, 302	1, 220, 772	470	100. 0
福 島	2, 080, 304	2, 075, 627	— 4, 677	99. 8	1, 970, 616	1, 968, 530	— 2, 086	99. 9
茨 城	2, 725, 005	2, 661, 347	— 63, 658	99. 7	2, 342, 198	2, 295, 338	— 46, 860	98. 0
栃 木	1, 866, 066	1, 862, 469	— 3, 597	99. 8	1, 698, 003	1, 690, 317	— 7, 686	99. 5
群 馬	1, 921, 259	1, 917, 817	— 3, 442	99. 8	1, 756, 480	1, 745, 256	— 11, 224	99. 4
埼 玉	5, 863, 678	5, 110, 196	—753, 482	87. 2	4, 821, 340	4, 206, 876	—614, 464	87. 3
千 葉	5, 148, 163	4, 508, 500	—639, 663	87. 6	4, 149, 147	3, 697, 631	—451, 516	89. 1
東 京	11, 829, 363	13, 997, 649	2, 168, 286	118. 4	11, 673, 554	13, 359, 511	1, 685, 957	114. 4
神 奈 川	7, 431, 974	6, 761, 073	—670, 901	91. 0	6, 397, 748	5, 864, 072	—533, 676	91. 7
新 潟	2, 478, 470	2, 476, 458	— 2, 012	99. 9	2, 391, 938	2, 391, 958	20	100. 0
富 山	1, 118, 369	1, 115, 141	— 3, 228	99. 7	1, 070, 791	1, 067, 165	— 3, 626	99. 7
石 川	1, 152, 325	1, 154, 574	2, 249	100. 2	1, 069, 872	1, 073, 755	3, 883	100. 4
福 井	817, 633	817, 480	— 153	100. 0	773, 599	772, 180	— 1, 419	99. 8
山 梨	832, 832	824, 784	— 8, 048	99. 0	783, 050	774, 088	— 8, 962	98. 9
長 野	2, 136, 927	2, 139, 421	2, 494	100. 1	2, 017, 564	2, 016, 570	— 994	100. 0
岐 阜	2, 028, 536	1, 961, 923	— 66, 613	96. 7	1, 867, 978	1, 818, 589	— 49, 389	97. 4
静 岡	3, 574, 692	3, 574, 482	— 210	100. 0	3, 308, 799	3, 301, 338	— 7, 461	99. 8
愛 知	6, 455, 172	6, 554, 172	99, 000	101. 6	5, 923, 569	6, 002, 853	79, 284	101. 3
三 重	1, 747, 311	1, 700, 714	— 46, 597	97. 3	1, 626, 002	1, 589, 845	— 36, 157	97. 8
滋 賀	1, 155, 844	1, 102, 265	— 53, 579	95. 4	985, 621	941, 636	— 43, 985	95. 5
京 都	2, 586, 574	2, 614, 347	27, 773	101. 1	2, 424, 856	2, 447, 626	22, 770	100. 9
大 阪	8, 668, 095	9, 121, 265	453, 170	105. 3	8, 278, 925	8, 662, 590	383, 665	104. 6
兵 庫	5, 278, 050	5, 036, 865	—241, 185	95. 5	4, 992, 140	4, 777, 107	—215, 033	95. 7
奈 良	1, 304, 866	1, 136, 510	—168, 356	87. 1	1, 077, 491	956, 626	—120, 865	88. 8
和 歌 山	1, 087, 206	1, 071, 644	— 15, 562	98. 6	1, 072, 118	1, 059, 012	— 13, 106	98. 8
鳥 取	616, 024	617, 836	1, 812	100. 3	581, 311	583, 105	1, 794	100. 3
島 根	794, 629	790, 940	— 3, 689	99. 5	768, 886	765, 826	— 3, 060	99. 6
岡 山	1, 916, 906	1, 912, 463	— 4, 443	99. 8	1, 814, 305	1, 804, 670	— 9, 635	99. 5
広 島	2, 819, 200	2, 832, 663	13, 463	100. 5	2, 646, 324	2, 661, 984	15, 660	100. 6
山 口	1, 601, 627	1, 591, 220	— 10, 407	99. 4	1, 555, 218	1, 545, 505	— 9, 713	99. 4
徳 島	834, 889	831, 385	— 3, 504	99. 6	805, 166	802, 652	— 2, 514	99. 7
香 川	1, 022, 569	1, 022, 412	— 157	100. 0	961, 292	959, 758	— 1, 534	99. 8
愛 媛	1, 529, 983	1, 530, 208	225	100. 0	1, 465, 215	1, 464, 480	— 735	99. 9
高 知	839, 784	836, 048	— 3, 736	99. 7	808, 397	808, 137	— 260	100. 0
福 岡	4, 719, 259	4, 736, 351	17, 092	100. 4	4, 292, 963	4, 316, 089	23, 126	100. 5
佐 賀	880, 013	868, 745	— 11, 268	98. 7	837, 674	826, 336	— 11, 338	98. 6
長 崎	1, 593, 968	1, 588, 383	— 5, 585	99. 7	1, 571, 912	1, 572, 619	707	100. 0
熊 本	1, 837, 747	1, 826, 518	— 11, 229	99. 4	1, 715, 273	1, 705, 668	— 9, 605	99. 4
大 分	1, 250, 214	1, 249, 292	— 922	99. 9	1, 190, 314	1, 189, 681	— 633	99. 9
宮 崎	1, 175, 543	1, 174, 777	— 766	99. 9	1, 085, 055	1, 085, 762	707	100. 1
鹿 児 島	1, 819, 270	1, 814, 026	— 5, 244	99. 7	1, 723, 902	1, 723, 122	— 780	100. 0
沖 縄	1, 179, 097	1, 178, 683	— 414	100. 0	1, 042, 572	1, 042, 616	44	100. 0

総務庁統計局『国勢調査報告』による。10月1日現在人口で、昼間人口とは従業地・通学地による人口であって、常住人口に他市町村からの通勤・通学者数を加え、常住人口のうち、常住地以外の他市町村で就業または通学する者を差し引いた人口である。1) 従業地・通学地不詳の人口(41,346)は除いている。2) 昼間人口から常住人口を差し引いた値。3) 昼間人口の常住人口に対する比率。

表52 人口50万以上の市の昼間人口および昼夜間人口比率：
1980年，85年

人 口	昼 間 人 口 (1,000人)		増 減 率 (%)	昼夜間人口比率	
	1985年	1980年		1985年	1980年
50万以上の市					
東京都特別区部	10,958	10,613	3.2	131.3	127.3
横 浜 市	2,680	2,511	6.8	89.6	90.6
大 阪 市	3,714	3,651	1.7	141.0	138.0
名 古 屋 市	2,439	2,401	1.6	115.4	115.0
札 幌 市	1,574	1,433	9.9	102.1	102.4
京 都 市	1,618	1,604	0.8	109.4	108.9
神 戸 市	1,465	1,421	3.1	103.9	104.4
福 岡 市	1,311	1,228	6.7	113.1	113.1
川 崎 市	1,011	979	3.3	92.9	94.1
北 九 州 市	1,109	1,121	-1.1	105.0	105.4
広 島 市	1,084	955	13.5	103.9	106.2
堺 市	737	730	1.0	90.2	90.3
千 葉 市	740	706	4.9	93.9	94.7
仙 台 市	805	765	5.2	115.2	115.4
岡 山 市	613	585	4.9	107.2	107.2
熊 本 市	601	571	5.2	108.2	108.7
鹿 児 島 市	551	527	4.4	103.8	104.4
東 大 阪 市	540	542	-0.4	103.4	104.1
浜 松 市	541	518	4.4	105.2	105.6
尼 崎 市	479	489	-2.0	94.2	93.5
船 橋 市	409	386	5.9	80.6	80.5

総務庁統計局【国勢調査報告】による。

表53 東京都特別区部の別区間人口、常住人口および昼夜間人口比率：1960～85年 (%)

区	1960年			1965年			1970年		
	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率
東京都特別区部	8,987	8,310	108.2	10,040	8,893	112.9	10,447	8,841	118.2
千代田区	653	117	558.6	772	93	829.3	855	74	1,152.5
中央区	561	161	348.0	615	128	480.5	631	104	607.5
港区	456	267	170.8	536	242	221.8	601	224	268.2
新宿区	472	414	114.2	541	414	130.6	592	391	151.6
文京区	305	259	117.7	331	253	130.5	335	234	142.9
台東区	399	319	125.0	397	286	138.8	367	241	152.4
墨田区	367	332	110.7	358	318	112.7	320	281	113.8
江東区	384	351	109.3	401	360	111.6	391	356	109.9
品川区	429	428	100.2	437	423	103.2	429	397	108.0
目黒区	260	294	88.4	274	299	91.8	276	296	93.4
大田区	656	706	92.8	701	756	92.7	714	735	97.1
世田谷区	523	653	80.0	618	743	83.2	665	787	84.5
渋谷区	296	283	104.8	342	284	120.6	384	274	140.0
中野区	267	351	76.1	287	377	76.2	290	379	76.5
杉並区	370	487	75.9	407	537	75.8	420	553	75.9
豊島区	345	363	95.0	376	373	100.8	379	354	106.9
北区	366	419	87.4	401	452	88.7	385	431	89.3
荒川区	278	285	97.2	274	278	98.3	242	247	97.9
板橋区	377	413	91.5	439	477	92.1	448	472	94.9
練馬区	239	306	78.3	339	435	78.1	418	528	79.2
足立区	373	409	91.3	456	515	88.5	508	572	88.9
葛飾区	334	377	88.6	387	446	86.8	404	463	87.3
江戸川区	277	317	87.4	350	405	86.4	392	447	87.8
区	1975年			1980年			1985年		
	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率	昼間人口 (1,000人)	常住人口 (1,000人)	昼 夜 間 人口比率
東京都特別区部	10,725	8,647	124.0	10,613	8,336	127.3	10,958	8,347	131.3
千代田区	934	62	1,515.5	937	55	1,709.7	1,009	50	1,998.9
中央区	661	90	734.2	656	83	793.6	694	80	868.1
港区	675	209	322.1	706	200	352.8	819	193	425.5
新宿区	653	367	177.9	689	343	200.9	756	333	227.4
文京区	335	216	154.8	324	202	160.2	325	196	166.1
台東区	355	208	171.0	338	186	181.5	332	177	188.0
墨田区	290	251	115.7	273	232	117.3	269	230	117.0
江東区	376	355	105.9	373	362	103.0	384	389	98.8
品川区	413	366	112.8	402	346	116.1	419	357	117.3
目黒区	274	285	96.1	265	273	97.2	266	269	98.8
大田区	689	691	99.7	655	660	99.3	660	663	99.6
世田谷区	695	806	86.2	687	795	86.3	684	811	84.3
渋谷区	436	264	165.2	462	247	187.1	509	242	209.9
中野区	292	373	78.2	272	345	78.9	267	336	79.7
杉並区	430	561	76.7	420	541	77.7	418	539	77.6
豊島区	374	321	116.3	369	288	128.1	384	278	138.3
北区	378	420	90.0	354	386	91.6	338	367	92.1
荒川区	215	218	98.5	195	198	98.6	185	190	97.5
板橋区	465	498	93.4	463	497	93.1	466	505	92.2
練馬区	447	560	79.8	442	563	78.5	452	587	76.9
足立区	534	609	87.8	541	619	87.4	533	623	85.7
葛飾区	385	442	87.1	365	420	86.9	354	419	84.6
江戸川区	418	474	88.3	426	494	86.2	432	514	84.0

総務庁統計局「国勢調査報告」による。

表54 都道府県別にみた中学校・高等学校卒業者の進学率および就職率：1990年

(%)

都道府県	中学校卒業者				高等学校卒業者				県外就職率	最多就職先 (他府県)
	進学率			就職率	進学率			就職率		
	総数	男	女		総数	男	女			
全 国	95.1	94.0	96.2	2.8	30.6	23.8	37.3	35.2	23.8	東 京(42.1)
北 海 道	96.0	95.1	97.0	2.2	25.1	22.8	27.4	43.7	13.7	〃 (50.7)
青 森	95.5	94.3	96.7	3.0	20.7	18.3	23.1	56.5	49.9	〃 (59.0)
	95.3	94.2	96.5	2.4	22.5	19.9	25.0	54.2	40.7	〃 (58.3)
	93.7	92.4	95.1	2.8	23.7	20.0	27.2	43.8	14.0	〃 (58.8)
	94.7	93.2	96.2	1.6	22.2	18.8	25.5	54.7	37.3	〃 (58.4)
	97.1	96.6	97.7	1.4	22.7	20.0	25.4	52.5	28.2	〃 (50.2)
秋 田	93.4	91.8	95.0	3.6	23.6	18.2	28.9	52.1	28.9	〃 (50.5)
	94.7	93.2	96.3	3.5	24.4	17.9	30.7	40.7	21.6	〃 (56.9)
	93.5	92.0	95.0	3.9	29.8	26.1	33.9	42.3	21.9	〃 (42.9)
	95.3	93.8	96.8	2.9	25.9	20.3	31.2	41.5	15.3	〃 (49.6)
	93.3	92.1	94.5	2.8	23.2	16.2	30.8	32.0	44.4	〃 (92.0)
山 形	94.7	94.0	95.5	2.4	25.8	18.4	33.7	28.6	38.2	〃 (87.7)
	94.9	94.4	95.4	2.2	33.1	25.5	40.0	21.9	6.3	神奈川(53.2)
	95.2	94.2	96.3	2.2	27.3	19.9	34.8	23.7	24.0	東 京(94.6)
	94.9	93.2	96.7	2.5	20.0	16.1	23.8	46.6	24.7	〃 (59.3)
	98.6	98.2	99.0	1.2	35.2	30.5	39.9	35.5	10.0	〃 (24.9)
石 川	96.7	95.2	97.9	2.1	36.1	32.0	40.1	38.8	12.3	愛 知(25.4)
	96.1	95.2	97.1	4.3	38.3	33.4	43.1	39.9	17.6	大 阪(21.3)
	97.2	96.5	97.8	2.5	31.7	25.4	39.1	37.6	16.7	東 京(68.9)
	97.0	96.3	97.8	2.2	26.7	18.2	35.2	38.5	14.2	〃 (50.8)
	95.5	94.5	96.6	3.6	33.7	29.5	37.9	42.7	30.9	愛 知(84.9)
岐 阜	95.2	93.9	96.7	4.4	33.3	27.7	38.7	39.0	12.2	愛 知(42.0)
	91.8	89.8	93.8	4.4	37.9	31.8	43.8	33.4	4.5	東 京(27.6)
	94.2	92.8	95.7	3.4	32.6	26.5	38.6	42.7	22.1	静 岡(63.4)
	95.9	94.8	97.2	2.1	35.5	27.3	43.7	35.3	17.4	京 都(53.9)
	96.2	96.0	96.5	2.5	33.8	23.0	44.6	27.6	20.0	大 阪(56.4)
大 阪	95.3	94.2	96.5	3.0	31.5	21.3	42.1	29.8	6.2	大 阪(31.5)
	95.5	94.4	96.7	4.3	39.4	29.8	47.9	29.5	20.0	大 阪(77.5)
	96.3	95.1	97.5	1.6	40.3	30.1	50.3	25.0	47.1	〃 (79.6)
	94.7	93.2	96.3	3.2	29.2	22.3	36.0	42.1	38.7	〃 (69.3)
	95.8	94.3	97.4	1.9	30.9	27.5	34.2	48.5	28.7	〃 (29.9)
鳥 取	95.5	93.9	97.2	3.5	30.6	25.5	35.5	45.7	49.3	〃 (28.8)
	96.4	95.1	97.7	2.3	37.3	29.6	45.4	37.6	22.0	〃 (27.7)
	96.5	96.1	97.0	1.8	39.2	31.5	46.9	27.5	10.8	東 京(24.8)
	96.6	95.8	97.4	2.0	32.7	24.0	41.4	41.0	34.3	大 阪(38.2)
	96.4	95.1	97.7	2.6	38.7	31.4	45.9	42.1	35.8	大 阪(39.4)
香 川	95.9	94.6	97.3	2.4	38.6	27.7	49.2	34.1	15.5	〃 (37.8)
	96.8	95.9	97.6	2.6	38.6	33.0	44.3	38.7	25.2	〃 (34.6)
	92.9	89.9	96.1	4.7	27.3	17.1	36.9	42.6	41.1	〃 (34.5)
	95.7	95.6	95.9	1.8	31.9	24.8	39.3	34.3	18.9	東 京(28.5)
	95.9	94.8	97.1	2.4	27.5	22.0	33.0	49.1	42.9	東 京(30.8)
福 岡	95.6	94.2	97.2	3.4	30.7	26.2	35.2	46.5	49.0	福 岡(22.5)
	96.4	94.9	98.0	2.0	27.2	23.1	31.3	43.9	35.7	〃 (23.4)
	96.4	95.6	97.2	1.8	33.3	28.4	38.1	44.6	38.8	福 岡(23.8)
	96.4	95.4	97.5	2.5	28.5	24.1	33.1	48.8	48.1	福 岡(27.4)
	96.4	95.5	97.3	2.4	32.7	26.1	39.3	45.3	57.3	〃 (33.1)
鹿 嶋	91.0	88.1	94.1	1.5	19.6	13.3	25.6	26.9	49.6	〃 (43.3)

文部省調査統計課『平成元年度学校基本調査速報』の卒業後の状況調査による。3月卒業者については5月1日現在で調査。進学率とは卒業者のうち進学者および就職進学者の占める割合をいう。就職率とは卒業者のうち就職者および就職進学者の割合をいう。また、県外就職率は就職者総数中に占める割合、最多就職先の()内は他府県就職者総数中に占める割合(%)である。

表55 都道府県別にみた大学(学部)卒業の就職者数：1990年

都道府県	卒業した大学の所在地県別就職者数 A	Aのうち卒業大学と同一県内に就職した者 B	県内就職率(%) B/A	Aのうち他県に所在する高校出身者数 C	Cのうち卒業大学と同一県内に就職した者 D	他県高出身者県内就職率(%) D/C
全 国	324,220	145,686	44.9	196,802	60,720	30.9
北 海 道	9,166	4,990	54.4	1,683	330	19.6
青 森	2,057	557	27.1	1,255	41	3.3
岩 手	1,447	476	32.9	849	77	9.0
宮 城	6,639	2,055	31.0	3,558	495	13.9
秋 田	926	353	38.1	383	11	2.9
山 形	1,180	361	30.6	664	12	1.8
福 島	1,714	412	24.0	1,192	32	2.7
茨 城	3,176	911	28.7	1,917	77	4.0
栃 木	1,480	452	30.5	915	32	3.5
群 馬	2,136	565	26.5	1,383	53	3.8
埼 玉	9,598	1,048	10.9	7,315	342	4.7
千 葉	9,780	1,078	11.0	6,865	314	4.6
東 京	101,911	73,100	71.7	70,494	45,175	64.1
神 奈 川	21,768	3,667	16.8	15,358	1,109	7.2
新 潟	1,849	776	42.0	844	88	10.4
富 山	1,133	455	40.2	492	36	7.2
石 川	3,183	777	24.4	2,158	108	5.0
福 井	1,066	305	28.6	652	15	2.3
山 梨	1,531	346	22.6	1,134	39	3.5
長 野	1,572	476	30.3	1,078	60	5.6
岐 阜	2,198	680	30.9	1,422	100	7.0
静 岡	2,508	904	36.0	1,487	116	7.8
愛 知	20,634	12,148	58.9	8,277	2,257	27.3
三 重	1,624	680	41.9	731	42	5.7
滋 賀	556	192	34.5	345	24	7.0
京 都	19,182	2,700	14.1	15,450	1,035	6.7
大 阪	29,858	14,330	48.0	15,701	5,544	35.3
兵 庫	13,867	3,264	23.5	7,586	560	7.4
和 歌 山	2,352	312	13.3	1,833	99	5.4
鳥 取	674	186	27.5	397	18	4.5
島 根	600	207	34.5	364	8	2.1
岡 山	758	282	37.2	375	6	1.6
岡 山	3,628	1,383	38.1	2,059	179	8.7
山 口	6,686	3,002	44.9	2,995	457	15.3
山 口	2,379	499	21.0	1,625	61	3.7
徳 島	1,171	375	32.0	703	32	4.6
香 川	1,450	604	41.7	782	80	10.3
愛 媛	2,344	1,165	49.7	749	51	6.8
高 知	772	182	23.5	561	22	3.8
福 岡	14,931	4,896	32.8	6,909	1,112	16.1
佐 賀	893	236	26.4	565	34	6.0
長 崎	1,717	526	30.6	850	52	6.1
熊 本	3,585	1,225	34.2	1,929	185	9.6
大 分	1,468	314	21.4	945	38	4.1
宮 崎	873	276	31.6	466	16	3.5
鹿 児 島	2,770	1,033	37.3	1,171	108	9.2
沖 縄	1,430	929	64.9	336	37	10.9

文部省1990年度『学校基本調査報告書』高等教育機関編による。1989年度中の卒業者について1990年3月現在。標本調査により実施したものであるため、計と内訳が一致しないことがある。事業所の所在地等が不明の者は除いてある。

表56 都道府県別過疎地域市町村数および人口：1990年

都道府県名	全市町村数A	過疎地域市町村数				B/A (%)	1990年人口			1988年面積(国土地理院)km ²		
		市	町	村	計B		全市町村C	過疎地域市町村D	D/C (%)	全市町村E	過疎地域市町村F	F/E (%)
合計	3,246	33	734	376	1,143	35.2	123,611,541	7,423,441	6.0	377,719.76	170,088.59	45.0
北海道	212	7	107	23	137	64.6	5,643,715	866,666	15.4	83,408.96	49,388.11	59.2
青森	67	—	5	14	19	28.4	1,482,935	99,279	6.7	9,231.59	2,808.41	30.4
岩手	62	1	13	9	23	37.1	1,416,960	220,773	15.6	14,816.20	6,471.98	43.7
宮城	71	—	17	1	18	25.4	2,248,521	168,872	7.5	6,859.95	2,335.85	34.1
秋田	69	1	26	8	35	50.7	1,227,491	324,563	26.4	10,725.34	6,740.77	62.8
山形	44	1	14	3	18	40.9	1,258,404	184,234	14.6	7,394.36	4,829.06	65.3
福島	90	—	16	16	32	35.6	2,104,119	200,830	9.5	13,781.03	5,686.86	41.3
茨城	88	—	2	8	10	11.4	2,845,411	82,735	2.9	6,093.38	963.66	15.8
栃木	49	—	3	1	4	8.2	1,935,186	41,455	2.1	6,408.28	937.53	14.6
群馬	70	—	3	11	14	20.0	1,966,287	73,459	3.7	6,056.18	2,182.69	36.0
埼玉	92	—	1	4	5	5.4	6,405,319	15,851	0.2	3,779.33	551.31	14.6
千葉	80	—	4	—	4	5.0	5,555,467	29,099	0.5	5,080.92	164.80	3.2
東京	42	—	—	3	3	7.1	11,854,987	7,916	0.1	1,986.95	166.90	8.4
神奈川	37	—	—	—	—	—	7,980,421	—	—	2,290.52	—	—
新潟	112	2	21	20	43	38.4	2,474,602	293,619	11.9	10,937.69	5,679.82	51.9
富山	35	—	—	4	4	11.4	1,120,182	7,575	0.7	2,800.31	352.80	12.6
石川	41	1	6	5	12	29.3	1,164,627	96,400	8.3	4,184.42	1,589.29	38.0
福井	35	—	3	4	7	20.0	823,595	24,365	3.0	4,187.33	1,114.74	26.6
山梨	64	—	11	11	22	34.4	852,980	89,107	10.4	4,201.17	2,182.34	51.9
長野	121	1	8	38	47	38.8	2,156,656	188,000	8.7	12,315.95	5,265.03	42.7
岐阜	99	—	6	24	30	30.3	2,066,579	94,998	4.6	10,164.81	5,430.89	53.4
静岡	75	—	8	2	10	13.3	3,670,891	62,431	1.7	7,327.86	1,495.71	20.4
愛知	88	—	4	5	9	10.2	6,690,440	52,549	0.8	5,019.26	1,195.58	23.8
三重	69	—	8	3	11	15.9	1,792,542	72,025	4.0	5,671.62	1,509.66	26.6
滋賀	50	—	1	1	2	4.0	1,222,401	7,288	0.6	3,854.95	333.39	8.6
京都	44	—	11	—	11	25.0	2,602,520	69,176	2.7	4,612.18	1,471.24	31.9
大阪	44	—	—	—	—	—	8,734,670	—	—	1,881.42	—	—
兵庫	91	—	20	—	20	22.0	5,405,090	133,030	2.5	8,381.14	1,936.76	23.1
奈良	47	—	2	13	15	31.9	1,375,478	61,153	4.4	3,690.41	2,454.66	66.5
和歌山	50	—	10	6	16	32.0	1,074,321	68,444	6.4	4,722.20	2,473.31	52.4
鳥取	39	—	9	2	11	28.2	615,741	67,440	11.0	3,497.65	1,408.33	40.3
島根	59	—	29	9	38	64.4	781,005	192,988	24.7	6,625.70	4,383.52	66.2
岡山	78	1	30	8	39	50.0	1,925,913	214,602	11.1	7,007.61	3,472.78	49.6
広島	86	1	44	6	51	59.3	2,849,822	264,425	9.3	8,473.06	4,758.59	56.2
山口	56	—	22	5	27	48.2	1,572,645	158,881	10.1	6,108.62	2,873.61	47.0
徳島	50	—	20	8	28	56.0	831,582	132,401	15.9	4,143.18	2,746.41	66.3
香川	43	—	4	—	4	9.3	1,023,434	21,560	2.1	1,860.39	268.33	14.4
愛媛	70	—	29	12	41	58.6	1,515,027	250,343	16.5	5,672.59	3,102.36	54.7
高知	53	1	17	15	33	62.3	825,063	166,849	20.2	7,103.87	4,534.30	63.8
福岡	97	2	17	6	25	25.8	4,811,179	327,128	6.8	4,751.47	1,203.61	25.3
佐賀	49	1	9	4	14	28.6	877,865	116,358	13.3	2,438.75	683.07	28.0
長崎	79	2	36	1	39	49.4	1,563,015	270,428	17.3	4,088.07	1,823.46	44.6
熊本	98	2	33	19	54	55.1	1,840,383	399,751	21.7	6,847.36	4,780.05	69.8
大分	58	3	28	11	42	72.4	1,236,924	284,501	23.0	5,801.57	4,040.50	69.6
宮崎	44	2	13	7	22	50.0	1,168,922	183,217	15.7	6,683.26	4,360.22	65.2
鹿児島	96	4	59	9	72	75.0	1,797,766	655,646	36.5	9,126.55	6,804.00	74.6
沖縄	53	—	5	17	22	41.5	1,222,458	81,031	6.6	2,262.81	1,132.30	50.0

市町村数は、1990年4月1日現在。東京都特別区を1市として計算。

表56～表69における過疎地域は新過疎法により公示された市町村(1,143団体)である。人口は国勢調査人口によるが、1990年は速報値である。

全国面積の都道府県集計と合計との差は、境界未定分である。

国土庁『過疎対策の現況 平成2年度版』による。

表57 都道府県別過疎地域市町村人口：1960～90年

都道府県名	過疎地域市町村数	過疎地域人口(人)						
		1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年
合計	1,143	12,370,061	10,781,857	9,319,953	8,509,774	8,155,649	7,859,466	7,423,441
北海道	137	1,826,415	1,595,756	1,310,156	1,106,498	1,029,743	960,921	866,666
青森	19	154,053	141,154	129,432	121,786	116,745	108,844	99,279
岩手	23	341,983	306,047	268,359	247,466	238,278	230,095	220,773
宮城	18	249,699	223,581	201,106	185,946	180,615	176,461	168,872
秋田	35	468,815	427,985	386,464	358,018	347,712	338,649	324,563
山形	18	268,664	241,544	215,740	200,253	195,242	191,329	184,234
福島	32	302,310	270,574	240,892	220,609	213,222	207,456	200,830
茨城	10	123,688	112,240	100,200	93,024	88,598	85,469	82,735
栃木	4	68,760	60,888	53,025	46,230	44,566	43,368	41,455
群馬	14	114,260	102,992	92,632	85,473	81,246	77,079	73,459
埼玉	5	26,684	23,440	20,280	17,990	16,814	16,166	15,851
千葉	4	40,311	37,116	34,060	32,477	31,186	30,491	29,099
東京	3	12,677	11,349	10,127	9,522	8,650	8,404	7,916
神奈川	0	—	—	—	—	—	—	—
新潟	43	468,956	419,479	373,203	341,353	325,143	309,970	293,619
富山	4	12,848	11,365	9,340	8,693	8,024	7,792	7,575
石川	12	144,880	131,135	119,312	113,489	108,399	103,837	96,400
福井	7	42,072	37,785	30,329	27,746	26,062	25,362	24,365
山梨	22	141,763	122,628	108,658	100,542	94,495	91,793	89,107
長野	47	295,376	261,805	231,146	214,639	205,071	196,918	188,000
岐阜	30	166,393	141,013	122,079	112,277	105,353	100,551	94,998
静岡	10	100,537	89,577	79,470	74,422	70,095	66,399	62,431
愛知	9	81,954	71,104	61,641	57,253	54,994	53,963	52,549
三重	11	116,457	105,456	92,099	86,822	81,340	77,228	72,025
滋賀	2	10,876	9,720	8,882	8,291	7,934	7,715	7,288
京都	11	104,878	92,918	82,847	78,109	74,896	72,528	69,176
大阪	0	—	—	—	—	—	—	—
兵庫	20	189,986	171,973	154,754	147,019	141,620	138,318	133,030
奈良	15	115,547	96,920	84,814	78,794	71,589	66,330	61,153
和歌山	16	124,599	106,834	91,208	84,002	78,170	72,925	68,444
鳥取	11	97,965	88,438	79,394	74,144	72,116	70,217	67,440
島根	38	313,836	268,437	230,298	213,227	207,111	203,261	192,988
岡山	39	333,222	289,029	253,193	236,133	227,904	223,530	214,602
広島	51	430,191	367,465	324,418	302,088	289,239	278,544	264,425
山口	27	282,362	239,960	208,557	191,577	181,460	171,171	158,881
徳島	28	225,923	200,712	173,905	157,777	148,739	141,761	132,401
香川	4	32,892	28,978	26,218	24,458	23,632	22,679	21,500
愛媛	41	425,211	367,165	316,533	290,975	278,984	267,235	250,343
高知	33	289,130	247,594	211,386	194,779	187,270	178,256	166,849
福岡	25	551,694	412,869	347,946	334,550	335,084	336,589	327,128
佐賀	14	192,540	156,523	128,709	120,065	120,918	120,175	116,358
長崎	39	526,966	430,733	356,858	318,842	304,580	291,933	270,428
熊本	54	618,980	550,611	479,873	445,672	433,232	421,476	399,751
大分	42	461,953	404,359	352,950	323,106	309,021	300,048	284,501
宮崎	22	296,232	255,222	220,601	202,442	198,144	193,204	183,217
鹿児島	72	1,035,655	923,867	794,896	728,975	706,610	688,953	655,646
沖縄	22	139,868	125,517	101,963	92,221	85,803	83,973	81,031

表56注参照。

表57 都道府県別過疎地域市町村人口：1960～90年（つづき）

都道府 県名	過疎地域人口減少率（％）							指 定 区 分			高齢者比率 (1985年) (%)	若年者比率 (1985年) (%)
	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年	1985 ～90年	1990 ～90年	山村	離島	豪 雪		
合 計	12.8	13.6	8.7	4.2	3.6	5.5	40.0	716	101	449(192)	17.2	14.9
北海道	12.6	17.9	15.5	6.9	6.7	9.8	52.5	82	5	137(77)	13.7	16.6
青森	8.4	8.3	5.9	4.1	6.8	8.8	35.6	14	0	19(5)	14.5	16.4
岩手	10.5	12.3	7.8	3.7	3.4	4.1	35.4	20	0	23(3)	15.6	14.7
宮城	10.5	10.1	7.5	2.9	2.3	4.3	32.4	8	1	10(1)	15.8	15.3
秋田	8.7	9.7	7.4	2.9	2.6	4.2	30.8	29	0	35(19)	15.1	15.3
山形	10.1	10.7	7.2	2.5	2.0	3.7	31.4	16	0	18(15)	16.0	15.4
福島	10.5	11.0	8.4	3.3	2.7	3.2	33.6	22	0	21(16)	16.5	15.3
茨城	9.3	10.7	7.2	4.8	3.5	3.2	33.1	5	0	0(0)	17.4	15.9
栃木	11.4	12.9	12.8	3.7	2.7	4.4	39.7	4	0	1(0)	16.5	15.6
群馬	9.9	10.1	7.7	4.9	5.1	4.7	35.7	14	0	7(1)	16.6	16.2
埼玉	12.2	13.5	11.3	6.5	3.9	1.9	40.6	5	0	0(0)	17.6	16.3
千葉	7.9	8.2	4.6	4.0	2.2	4.6	27.8	0	0	0(0)	17.9	14.2
東京	10.5	10.8	6.0	9.2	2.8	5.8	37.6	1	2	0(0)	17.1	16.0
神奈川												
新潟	10.8	11.0	8.5	4.7	4.7	5.3	37.4	14	9	43(30)	18.0	14.3
富山	11.5	17.8	6.9	7.7	2.9	2.8	41.0	3	0	4(4)	17.6	15.2
石川	9.5	9.0	4.9	4.5	4.2	7.2	33.5	11	0	12(4)	17.7	13.2
福井	10.2	19.7	8.5	6.1	2.7	3.9	42.1	6	0	7(3)	17.5	15.6
山梨	13.5	11.4	7.5	6.0	2.9	2.9	37.1	18	0	2(0)	19.0	16.8
長野	11.4	11.7	7.1	4.5	4.0	4.5	36.4	42	0	12(6)	19.5	14.7
岐阜	15.3	13.4	8.0	6.2	4.6	5.5	42.9	27	0	20(7)	17.7	14.1
静岡	10.9	11.3	6.4	5.8	5.3	6.0	37.9	9	0	1(0)	18.3	13.2
愛知	13.2	13.3	7.1	3.9	1.9	2.6	35.9	9	0	0(0)	18.9	14.2
三重	9.4	12.7	5.7	6.3	4.9	6.9	38.2	11	0	0(0)	18.8	13.9
滋賀	10.6	8.6	6.7	4.3	2.8	5.5	33.0	2	0	2(1)	17.9	16.4
京都	11.4	10.8	5.7	4.1	3.2	4.6	34.0	10	0	6(0)	19.9	13.2
大阪												
兵庫	9.5	10.0	5.0	3.7	2.3	3.8	30.0	17	0	12(0)	19.0	14.2
奈良	16.1	12.5	7.1	9.1	7.3	7.8	47.1	15	0	0(0)	17.9	16.1
和歌山	14.3	14.6	7.9	6.9	6.7	6.1	45.1	16	0	0(0)	20.9	13.8
鳥取	9.7	10.2	6.6	2.7	2.6	4.0	31.2	10	0	11(0)	17.7	15.4
島根	14.5	14.2	7.4	2.9	1.9	5.1	38.5	30	7	15(0)	20.2	12.4
岡山	13.3	12.4	6.7	3.5	1.9	4.0	35.6	30	0	15(0)	20.1	13.7
広島	14.6	11.7	6.9	4.3	3.7	5.1	38.5	37	9	16(0)	21.2	12.5
山口	15.0	13.1	8.1	5.3	5.7	7.2	43.7	19	6	0(0)	21.7	12.7
徳島	11.2	13.4	9.3	5.7	4.7	6.6	41.4	19	1	0(0)	18.3	14.3
香川	11.9	9.5	6.7	3.4	4.0	4.9	34.5	3	0	0(0)	19.4	15.2
愛媛	13.7	13.8	8.1	4.1	4.2	6.3	41.1	21	10	0(0)	18.5	14.0
高知	14.4	14.6	7.9	3.9	4.8	6.4	42.3	28	0	0(0)	19.6	13.0
福井	25.2	15.7	3.9	-0.2	-0.4	2.8	40.7	8	1	0(0)	15.7	16.4
佐賀	18.7	17.8	6.7	-0.7	0.6	3.2	39.6	4	3	0(0)	15.5	16.9
長崎	18.3	17.2	10.7	4.5	4.2	7.4	48.7	0	27	0(0)	15.1	15.5
熊本	11.0	12.8	7.1	2.8	2.7	5.2	35.4	25	3	0(0)	16.9	15.6
大分	12.5	12.7	8.5	4.4	2.9	5.2	38.4	30	3	0(0)	18.6	14.4
宮崎	13.8	13.6	8.2	2.1	2.5	5.2	38.2	17	1	0(0)	16.1	14.6
鹿児島	10.8	14.0	8.3	3.1	2.5	4.8	36.7	5	13	0(0)	18.3	14.5
沖縄	10.3	18.8	9.6	7.0	2.1	3.5	42.1	0	0	0(0)	17.1	17.6

「豪雪」欄の（ ）内は、特別豪雪地帯市町村数で内数である。

表中の指定区分は、次のとおりである。

- (1) 山村振興法（1965年法律第64号）第7条の規定に基づき指定された振興山村の区域（1990年4月1日現在）
- (2) 離島振興法（1953年法律第72号）第2条の規定に基づき指定された離島振興対策実施地域（1990年4月1日現在）
- (3) 豪雪地帯対策特別措置法（1962年法律第73号）第2条の規定に基づき指定された豪雪地帯（1990年4月1日現在）を含む市町村を表わす。

表58 地方別過疎地域市町村数および人口：1990年

地方	市町村数			1990年人口千人			1988年面積(国土地理院)km ²			人口密度 人/km ²	
	全市町村 A	過疎地域 市町村B	B/A %	全市町村 C	過疎地域 市町村D	D/C %	全市町村 E	過疎地域 市町村F	F/E %	全市町村 C/E	過疎地域市 町村 D/F
全国	3,246	1,143 (100.0)	35.2	123,612	7,423 (100.0)	6.0	377,720	170,089 (100.0)	45.0	327	44
北海道	212	137 (12.0)	64.6	5,644	867 (11.7)	15.4	83,409	49,388 (29.0)	59.2	68	18
東北	515	188 (16.4)	36.5	12,213	1,492 (20.1)	12.2	73,746	34,553 (20.3)	46.9	166	43
関東	643	109 (9.5)	17.0	41,553	528 (7.1)	1.3	48,213	12,414 (7.3)	25.7	862	43
東海	331	60 (5.3)	18.1	14,220	282 (3.8)	2.0	28,184	9,632 (5.7)	34.2	505	29
北陸	111	23 (2.0)	20.7	3,108	128 (1.7)	4.1	11,172	3,057 (1.8)	27.4	278	42
近畿	326	64 (5.6)	19.6	20,415	339 (4.6)	1.7	27,142	8,669 (5.1)	31.9	752	39
中国	318	166 (14.5)	52.2	7,745	898 (12.1)	11.6	31,713	16,897 (9.9)	53.3	244	53
四国	216	106 (9.3)	49.1	4,195	571 (7.7)	13.6	18,780	10,652 (6.3)	56.7	223	54
九州	521	268 (23.5)	51.4	13,296	2,237 (30.1)	16.8	39,737	23,695 (13.9)	59.6	335	94
沖縄	53	22 (1.9)	41.5	1,223	81 (1.1)	6.6	2,263	1,132 (0.7)	50.0	540	72

()内の数値は、ブロック別構成比(%)を示す。

全国面積のブロック別集計と合計との差は、境界未定分である。

ブロック別区分は、下記のとおりである。

北海道：北海道。東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟。関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野。東海：岐阜、静岡、愛知、三重。北陸：富山、石川、福井。近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山。中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口。四国：徳島、香川、愛媛、高知。九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島。沖縄：沖縄。

表56注参照。

表59 地方別過疎地域人口：1960～90年

区分	人 口							人口増減率(%)						
	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年	1985 ～90年	1960 ～90年
全国	94,301,623	99,209,137	104,665,171	111,939,643	117,060,396	121,048,923	123,611,541	5.2	5.5	7.0	4.6	3.4	2.1	31.1
計	12,370,061	10,781,857	9,319,953	8,509,774	8,155,649	7,859,466	7,423,441	-12.8	-13.6	-8.7	-4.2	-3.6	-5.5	-40.0
北海道	1,826,415	1,595,756	1,310,156	1,106,498	1,029,743	960,921	866,666	-12.6	-17.9	-15.5	-6.9	-6.7	-9.8	-52.5
東北	2,254,480	2,030,364	1,815,196	1,675,431	1,616,957	1,562,804	1,492,170	-9.9	-10.6	-7.7	-3.5	-3.3	-4.5	-33.8
関東	823,519	732,458	650,128	599,897	570,626	549,688	527,622	-11.1	-11.2	-7.7	-4.9	-3.7	-4.0	-35.9
東海	465,341	407,150	355,289	330,774	311,782	298,241	282,003	-12.5	-12.7	-6.9	-5.7	-4.3	-5.4	-39.4
北陸	199,800	180,285	158,981	149,928	142,485	136,991	128,340	-9.8	-11.8	-5.7	-5.0	-3.9	-6.3	-35.8
近畿	545,886	478,365	422,505	396,215	374,209	357,816	339,091	-12.4	-11.7	-6.2	-5.6	-4.4	-5.2	-37.9
中国	1,457,576	1,253,329	1,095,860	1,017,169	977,830	946,723	898,336	-14.0	-12.6	-7.2	-3.9	-3.2	-5.1	-38.4
四国	973,156	844,449	728,042	667,989	638,625	609,931	571,153	-13.2	-13.8	-8.2	-4.4	-4.5	-6.4	-41.3
九州	3,684,020	3,134,184	2,473,833	2,473,652	2,407,589	2,352,378	2,237,029	-14.9	-14.4	-7.8	-2.7	-2.3	-4.9	-39.3
沖縄	139,868	125,517	101,963	92,221	85,803	83,973	81,031	-10.3	-18.8	-9.6	-7.0	-2.1	-3.5	-42.1

表56注、表58注参照。

表60 人口増減率段階別過疎地域市町村数：1960～90年

(%)

区 分		1960 ～65年	1965 ～70年	1970 ～75年	1975 ～80年	1980 ～85年	1985 ～90年	1960 ～90年
全 国		1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)
増 加		15 (1.3)	0 (0.0)	20 (1.7)	114 (10.0)	140 (12.2)	68 (5.9)	0 (0.0)
減	小 計	1,128 (98.7)	1,143 (100.0)	1,123 (98.3)	1,029 (90.0)	1,003 (87.8)	1,075 (94.1)	1,143 (100.0)
	40%以上	10 (0.9)	13 (1.1)	5 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.1)	2 (0.2)	550 (48.1)
	30%以上～40%未満	20 (1.7)	16 (1.4)	9 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	329 (28.8)
	25%以上～30%未満	21 (1.8)	39 (3.4)	15 (1.3)	1 (0.1)	2 (0.2)	3 (0.3)	172 (15.0)
	20%以上～25%未満	51 (4.5)	71 (6.2)	34 (3.0)	9 (0.8)	2 (0.2)	5 (0.4)	85 (7.4)
	15%以上～20%未満	207 (18.1)	257 (22.5)	70 (6.1)	32 (2.8)	15 (1.3)	22 (1.9)	7 (0.6)
	10%以上～15%未満	456 (39.9)	450 (39.4)	289 (25.3)	115 (10.1)	87 (7.6)	133 (11.6)	0 (0.0)
	5%以上～10%未満	315 (27.6)	277 (24.2)	475 (41.6)	356 (31.1)	286 (25.0)	442 (38.7)	0 (0.0)
	5%未満	48 (4.2)	20 (1.7)	226 (19.8)	516 (45.1)	610 (53.4)	466 (40.8)	0 (0.0)

()内の数値は構成比(%)である。

表56注参照。

表61 人口規模階級別にみた過疎地域市町村数：1960～90年

(%)

人 口 規 模	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年
計	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)	1,143 (100.0)
100,000人以上	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
75,000～99,999人	2 (0.2)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
50,000～74,999人	5 (0.4)	4 (0.3)	3 (0.3)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)
40,000～49,999人	8 (0.7)	4 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	1 (0.1)
30,000～39,999人	18 (1.6)	18 (1.6)	11 (1.0)	11 (1.0)	6 (0.5)	5 (0.4)	3 (0.3)
20,000～29,999人	66 (5.8)	47 (4.1)	35 (3.1)	31 (2.7)	34 (3.0)	34 (3.0)	31 (2.7)
10,000～19,999人	376 (32.9)	288 (25.2)	226 (19.8)	183 (16.0)	168 (14.7)	153 (13.4)	141 (12.3)
5,000～9,999人	469 (41.0)	520 (45.5)	519 (45.4)	504 (44.1)	489 (42.8)	479 (41.9)	442 (38.7)
2,000～4,999人	170 (14.9)	222 (19.4)	292 (25.5)	328 (28.7)	347 (30.4)	363 (31.8)	403 (35.3)
1,000～1,999人	22 (1.9)	31 (2.7)	39 (3.4)	64 (5.6)	70 (6.1)	76 (6.6)	86 (7.5)
1,000人未満	6 (0.5)	8 (0.7)	15 (1.3)	19 (1.7)	26 (2.3)	31 (2.7)	35 (3.1)

表56注参照。

表62 過疎地域の年齢5歳階級別人口：1960, 75, 85年

(千人, %)

年齢区分	過 疎 地 域						全 国	
	1960年		1975年		1985年		1985年	
	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
合 計	12,370	100.0	8,510	100.0	7,859	100.0	121,049	100.0
0～4歳	1,194	9.7	552	6.5	445	5.7	7,459	6.2
5～9	1,555	12.6	595	7.0	507	6.5	8,532	7.0
10～14	1,686	13.6	751	8.8	562	7.2	10,042	8.3
(0～14)	(4,435)	(35.9)	(1,898)	(22.3)	(1,514)	(19.3)	(26,033)	(21.5)
15～19	873	7.1	607	7.1	435	5.5	8,980	7.4
20～24	789	6.4	460	5.4	317	4.0	8,201	6.8
25～29	911	7.4	524	6.2	421	5.4	7,823	6.5
(15～29)	(2,573)	(20.8)	(1,591)	(18.7)	(1,173)	(14.9)	(25,004)	(20.7)
30～34	926	7.5	447	5.3	506	6.4	9,054	7.5
35～39	783	6.3	538	6.3	531	6.8	10,738	8.9
40～44	658	5.3	668	7.8	440	5.6	9,135	7.5
45～49	627	5.1	704	8.3	516	6.6	8,237	6.8
50～54	566	4.6	601	7.1	630	8.0	7,933	6.6
55～59	509	4.1	498	5.9	650	8.3	7,000	5.8
60～64	432	3.5	462	5.4	545	6.9	5,405	4.5
(30～64)	(4,501)	(36.4)	(3,918)	(46.0)	(3,818)	(48.6)	(57,502)	(47.5)
65～69	335	2.7	397	4.7	435	5.5	4,194	3.5
70～74	247	2.0	318	3.7	374	4.8	3,563	2.9
75～79	158	1.3	218	2.6	275	3.5	2,493	2.1
80～84	85	0.7	113	1.3	169	2.2	1,433	1.2
85歳以上	36	0.3	57	0.7	101	1.3	785	0.6
(65歳以上)	(861)	(7.0)	(1,103)	(13.0)	(1,354)	(17.2)	(12,468)	(10.3)
年齢不詳	0	0.0	0	0.0	0	0.0	42	0.0

表56注参照。

表63 過疎地域の年齢階級別にみた人口増減率：1960～85年

年 齢 区 分	1960～65年	1965～70年	1970～75年	1975～80年	1980～85年	1960～85年	
計	過疎地域	-12.8	-13.6	-8.7	-4.2	-3.6	-36.5
	全 国	5.2	5.5	7.0	4.6	3.4	28.4
0～14歳	過疎地域	-24.2	-28.1	-21.5	-12.9	-8.4	-65.9
	全 国	-10.3	-0.1	8.2	1.1	-5.4	-8.4
15～64歳	過疎地域	-8.2	-9.2	-6.6	-4.2	-5.4	-29.4
	全 国	11.5	7.8	5.1	3.9	4.7	36.4
15～29歳	過疎地域	-18.8	-15.5	-9.9	-11.9	-16.4	-54.4
	全 国	9.5	2.7	-4.2	-9.7	-0.6	-4.0
30～64歳	過疎地域	-2.2	-6.1	-5.2	-1.1	-1.5	-15.2
	全 国	13.1	11.5	11.4	11.8	7.1	67.1
65歳以上	過疎地域	7.4	8.6	9.8	11.1	10.6	57.2
	全 国	15.5	19.6	19.9	19.3	17.1	131.0

表56注参照。

表64 過疎地域のコーホート人口の増減率：1960～85年

(1) 過疎地域

(%)

年齢区分	1960～65年	1965～70年	1970～75年	1975～80年	1980～85年
5～9歳	-8.8	-7.2	-3.3	2.3	1.7
10～14	-8.3	-6.9	-4.9	-0.8	-0.6
15～19	-45.1	-46.8	-40.1	-31.8	-26.3
20～24	-39.2	-41.7	-39.4	-36.7	-38.1
25～29	-19.6	-11.7	-2.9	10.1	9.6
30～34	-14.7	-11.1	-4.4	1.1	0.0
35～39	-11.6	-9.5	-4.6	0.1	0.1
40～44	-10.2	-9.6	-5.0	-1.8	-1.9
45～49	-9.7	-8.4	-4.9	-2.9	-2.3
50～54	-10.3	-9.1	-6.6	-3.4	-2.8
55～59	-11.4	-11.6	-7.8	-4.9	-4.4
60～64	-12.5	-11.6	-6.9	-5.9	-4.7

(2) 非過疎地域

年齢区分	1960～65年	1965～70年	1970～75年	1975～80年	1980～85年
5～9歳	1.6	1.2	0.6	0.2	0.1
10～14	1.4	1.2	0.7	0.3	0.1
15～19	6.1	6.5	5.4	3.0	2.1
20～24	1.1	1.6	2.4	1.6	1.6
25～29	2.6	1.0	0.8	-0.9	-0.7
30～34	2.4	1.0	1.4	-0.3	0.1
35～39	1.3	0.3	0.1	-0.5	-0.3
40～44	0.0	-1.2	-0.2	-1.0	-0.7
45～49	-0.8	-0.5	0.1	-1.5	-1.1
50～54	-2.2	-1.5	-1.8	-2.1	-1.9
55～59	-3.7	-4.1	-2.9	-2.7	-2.6
60～64	-7.4	-6.2	-3.5	-4.3	-3.6

各年齢階級区分人口を、それぞれ直前の国勢調査時の1段階若い年齢階級区分人口と比較したものである。たとえば、上表の表側「20～24」欄、表頭「1980～85年」欄の-38.1とは、1980年国勢調査時の15～19歳の年齢階級の人口が、1985年国勢調査時（この時この階級は、次の20～24歳の年齢階級となっている）には38.1%減少したことを示す。本表におけるコーホートとは、同一年齢階級区分に属する同時出生者集団をいう。

表56注参照。

表65 過疎地域の地方別高齢者比率および若年者比率：1960～85年

(%)

区 分	高 齢 者 比 率			若 年 者 比 率			
	1960年	1975年	1985年	1960年	1975年	1985年	
全 国	5.7	7.9	10.3	27.6	24.8	20.7	
計	7.0	13.0	17.2	20.8	18.7	14.9	
過 疎 地 域	北 海 道	4.3	9.1	13.7	25.4	20.2	16.6
	東 北 道	6.1	11.6	16.1	21.5	19.6	15.1
	関 東 道	7.9	13.6	18.3	19.5	18.7	15.6
	東 海 道	7.9	14.0	18.3	20.2	16.7	13.9
	北 陸 道	8.1	12.8	17.6	18.6	18.2	13.8
	近 畿 道	8.7	15.0	19.3	19.5	17.8	14.3
	中 国 道	9.1	16.0	20.5	19.5	16.8	13.0
	四 国 道	8.7	15.0	18.8	19.2	17.3	13.8
	九 州 道	6.8	13.2	17.0	19.9	18.8	15.2
沖 縄 県	7.5	13.0	17.1	15.8	22.5	17.6	

高齢者比率は、65歳以上人口を全人口で除したものである。若年者比率は、15～29歳人口を全人口で除したものである。

表56注参照。

表66 過疎地域の地方別世帯数：1985, 90年

(世帯, %)

区 分	世 帯 数		増減率	同期間における人口増減率	
	1985年	1990年			
全 国	38,133,297	41,016,255	7.6	2.1	
計	2,331,844	2,288,075	-1.9	-5.5	
過 疎 地 域	北海道	310,587	293,420	-5.5	-9.8
	北海道	398,477	391,350	-1.8	-4.5
	北関東	154,333	153,933	-0.3	-4.0
	東北	85,928	84,479	-1.7	-5.4
	北海道	37,175	36,537	-1.7	-6.3
	近畿	104,941	102,843	-2.0	-5.2
	中国	285,999	282,051	-1.4	-5.1
	四国	192,112	189,247	-1.5	-6.4
	九州	736,078	727,805	-1.1	-4.9
沖縄	26,214	26,410	0.7	-3.5	

世帯数は総世帯である。
表56注参照。

表67 過疎地域の地方別1世帯当たり世帯員数：1985, 90年

(世帯, %)

区 分	1世帯当たり世帯員数		増 減 率	
	1985年	1990年		
全 国	3.17	3.01	-5.0	
計	3.37	3.24	-3.9	
過 疎 地 域	北海道	3.09	2.95	-4.5
	北海道	3.92	3.81	-2.8
	北関東	3.56	3.43	-3.7
	東北	3.47	3.34	-3.7
	北海道	3.69	3.51	-4.9
	近畿	3.41	3.30	-3.2
	中国	3.31	3.19	-3.6
	四国	3.17	3.02	-4.7
	九州	3.20	3.07	-4.1
沖縄	3.20	3.07	-4.1	

表56注参照。

表68 過疎地域の人口減少率および人口増加率の高い市町村：1985～90年

(1) 人口減少率の高い市町村

(2) 人口増加率の高い市町村

(%)

順位	都道府県名	市町村名	1985～90年 人口増減率	順位	都道府県名	市町村名	1985～90年 人口増減率
1	長崎	高島町	-78.8	1	北海道	占冠村	29.8
2	岐阜	藤橋村	-61.2	2	熊本	波野村	17.0
3	北海道	夕張市	-33.8	3	石川	河内村	10.2
4	北海道	上砂川町	-31.9	4	愛知	下山村	10.2
5	福岡	和泉村	-29.0	5	北海道	留寿都村	9.1
6	長野	王滝村	-27.5	6	鹿児島	吉松町	8.3
7	青森	三厩村	-27.2	7	富山	山田村	6.3
8	岡山	奥津町	-24.0	8	沖縄	渡名喜村	5.9
9	奈良	野迫川村	-23.7	9	秋田	雄和町	5.3
10	北海道	音威子府村	-23.4	10	沖縄	座間味村	4.9
11	北海道	三笠市	-20.7	11	北海道	洞爺村	4.8
12	沖縄	渡嘉敷村	-20.0	12	沖縄	伊平屋村	4.7
13	岐阜	宮川村	-18.9	13	福岡	庄内町	3.7
14	青森	今別町	-18.4	14	広島	千代田町	3.4
15	福岡	大島村	-18.2	15	福岡	桂川町	3.2
16	愛媛	河辺村	-18.2	16	北海道	大滝村	2.2
17	広島	東野町	-17.9	17	山梨	高根町	2.2
18	徳島	木屋平村	-17.7	18	熊本	西原村	2.1
19	広島	蒲刈町	-17.7	19	長野	武石村	2.1
20	秋田	小坂町	-17.4	20	山梨	三富村	2.1

表56注参照。

表69 過疎地域の高齢者割合の高い市町村および低い市町村：1985年

(1) 高齢者割合の高い市町村 (1985年)

(2) 高齢者割合の低い市町村 (1985年) (%)

順位	都道府県名	市町村名	高齢者割合	順位	都道府県名	市町村名	高齢者割合
1	山口	東和町	35.2	1	沖縄	北大東村	6.2
2	沖縄	渡名喜村	31.9	2	北海道	占冠村	7.5
3	沖縄	栗国村	31.5	3	沖縄	南大東村	7.9
4	北海道	大滝村	31.0	4	長崎	高島町	8.3
5	島根	知夫村	29.8	5	東京	青ヶ島村	8.9
6	島根	布施村	29.7	6	北海道	幌延町	9.3
7	歌山	北山村	28.9	7	北海道	音威子府村	10.3
8	鹿児島	大浦町	28.6	8	北海道	更別村	10.5
9	愛媛	関前村	28.6	9	北海道	白糠町	10.6
10	広島	作木村	28.5	10	北海道	新冠町	10.7
11	三重	紀和町	28.3	11	沖縄	与那国町	11.0
12	高知	池川町	28.0	12	北海道	阿寒町	11.1
13	山梨	芦川村	27.9	13	北海道	標茶町	11.1
14	鹿児島	下戸村	27.5	14	北海道	興部町	11.2
15	長崎	崎戸町	27.5	15	長崎	有川町	11.3
16	山梨	橘町	27.4	16	北海道	鹿追町	11.4
17	鹿児島	上戸村	27.2	17	長野	王滝村	11.4
18	鹿児島	三島村	27.0	18	北海道	日高町	11.4
19	鹿児島	鹿島村	27.0	19	北海道	上士幌町	11.5
20	山梨	本郷村	27.0	20	北海道	足寄町	11.5

高齢者割合は、65歳以上人口を全人口で除したものである。

表56注参照。

表70 移動理由：1971年

(1) 首都圏，埼玉県および青森県

(%)

移 動 理 由	首 都 圏				埼 玉 県				青 森 県			
	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
職業上の理由	29.6	37.5	14.1	15.0	26.7	37.5	13.2	11.7	36.7	61.4	14.7	25.3
1 仕事が見つかった（就職・転職）のため	15.5	18.8	9.3	7.8	13.2	17.4	7.8	4.3	18.8	29.6	9.2	11.4
2 転勤のため（会社・事業所等の移転を含む）	8.3	11.6	2.2	0.6	7.5	11.1	3.0	1.6	11.2	20.7	2.7	1.3
3 定年・退職で仕事なくなったため	0.6	0.5	0.6	0.4	0.1	0.2	0.0	0.4	0.3	0.7	0.0	0.9
4 倒産などで仕事なくなったため	0.5	0.6	0.2	0.8	0.5	0.5	0.6	0.4	0.2	0.4	0.0	1.7
5 家業（農業・商業など）を継ぐため	0.4	0.5	0.0	1.1	2.1	3.3	0.6	1.9	3.0	5.2	1.0	5.7
6 仕事がおもしろくなかったため	0.4	0.4	0.2	1.1	0.4	0.5	0.3	0.8	0.5	0.4	0.6	1.7
7 その他の職業上の理由	3.9	5.1	1.6	3.2	2.9	4.5	0.9	2.3	2.7	4.4	1.2	2.6
家族・親族上の理由	30.2	14.4	59.8	23.8	39.7	19.3	65.9	22.6	46.2	16.8	72.7	36.2
8 結婚・離婚・養子縁組のため	22.3	7.3	50.6	4.7	31.0	10.8	56.9	3.1	37.6	7.4	64.6	4.4
9 家族と同居するため（家族の世話や看病などを含む）	2.8	2.3	3.7	3.2	3.4	4.7	1.8	3.9	5.1	4.4	5.9	10.9
10 親類・知人がいたため	4.4	4.3	4.5	14.6	4.0	3.1	5.1	14.0	2.8	3.9	1.8	19.2
11 その他の家族・親族上の理由	0.7	0.5	1.0	1.3	1.3	0.7	2.1	1.6	0.7	1.1	0.4	1.7
生活環境上の理由	36.2	44.0	21.8	54.8	29.2	38.0	18.1	61.2	10.0	14.2	6.3	28.4
12 住宅事情のため	25.8	31.4	15.4	15.7	22.5	28.7	14.5	19.0	3.8	5.9	2.0	9.2
13 生活環境のため	3.7	4.8	1.8	17.4	2.8	3.1	2.4	20.5	2.0	2.4	1.6	8.3
14 通勤・通学に便利だったため	4.4	5.6	2.2	16.7	2.2	4.0	0.0	17.8	2.3	2.4	2.1	9.2
15 大都市の生活がいやになったため	0.4	0.5	0.0	1.1	0.4	0.5	0.3	3.1	0.5	0.7	0.4	1.3
16 身体の具合が悪くなったため	0.6	0.8	0.4	0.9	0.4	0.5	0.3	0.4	0.9	1.7	0.2	0.4
17 その他の生活環境上の理由	1.3	0.9	2.0	3.0	0.9	1.2	0.6	0.4	0.5	1.1	0.0	0.0
その他	4.0	4.0	4.0	6.2	4.3	5.4	2.7	4.7	7.0	7.6	6.5	10.1
18 前に何度かきてよく知っていたため	0.3	0.2	0.4	4.2	0.7	0.7	0.6	3.9	0.4	0.7	0.2	6.6
19 入学のため	1.3	1.4	1.0	0.9	0.4	0.7	0.0	0.0	3.0	2.8	3.1	1.3
20 戦争疎開，引き揚げのため	2.3	2.2	2.6	1.1	2.9	3.5	2.1	0.8	2.3	2.8	1.8	2.2
21 その他	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	0.5	0.0	0.0	1.3	1.3	1.4	0.0

表末の注参照。

表70 移動理由：1971年（つづき）
 (2) 宮城県、広島県および福岡県

(%)

移 動 理 由	宮 城 県				広 島 県				福 岡 県			
	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
職業上の理由	35.3	55.1	14.0	19.8	35.8	51.6	13.7	17.1	40.9	58.1	13.8	22.6
1 仕事が見つかった（就職・転職）のため	16.8	24.2	9.0	4.1	19.5	26.0	10.2	9.8	23.3	32.6	8.8	8.4
2 転勤のため（会社・事業所等の移転を含む）	13.1	22.9	2.6	3.7	9.5	16.0	0.4	0.9	9.5	14.6	1.5	1.7
3 定年・退職で仕事なくなったため	0.6	1.1	0.0	0.4	0.8	1.4	0.0	0.9	0.8	1.1	0.2	1.2
4 倒産などで仕事なくなったため	0.4	0.8	0.0	1.2	0.5	0.7	0.2	0.6	0.7	0.8	0.4	0.3
5 家業（農業・商業など）を継ぐため	2.2	3.4	0.8	6.2	2.6	3.4	1.6	0.9	2.7	3.8	1.1	5.2
6 仕事がおもしろくなかったため	0.4	0.2	0.6	1.7	0.7	0.6	0.9	1.2	0.9	0.8	0.9	1.7
7 その他の職業上の理由	1.8	2.5	1.0	2.5	2.2	3.5	0.4	2.8	3.0	4.4	0.9	4.1
家族・親族上の理由	43.9	15.3	74.6	21.9	41.6	18.2	74.7	28.1	39.6	15.8	77.1	29.0
8 結婚・離婚・養子縁組のため	35.2	7.3	65.0	1.7	29.0	6.5	60.8	5.2	27.0	5.3	61.0	2.9
9 家族と同居するため（家族の世話や看病などを含む）	4.5	4.0	5.1	8.3	6.9	6.0	8.1	6.1	5.3	3.8	7.7	10.4
10 親類・知人がいたため	3.6	3.6	3.7	10.7	4.2	4.2	4.2	14.2	5.2	4.6	6.2	12.8
11 その他の家族・親族上の理由	0.6	0.4	0.8	1.2	1.5	1.5	1.6	2.4	2.1	2.1	2.2	2.9
生活環境上の理由	12.4	18.9	5.2	48.1	16.4	22.6	7.6	46.5	16.3	21.8	7.7	43.5
12 住宅事情のため	6.6	10.3	2.6	11.2	9.4	13.1	4.2	15.0	9.5	13.1	4.0	15.7
13 生活環境のため	1.4	2.1	0.6	11.6	1.9	2.4	1.2	12.2	1.4	2.1	0.2	10.1
14 通勤・通学に便利だったため	2.9	4.4	1.2	21.5	3.5	5.2	1.1	14.1	2.7	3.8	1.1	13.6
15 大都市の生活がいやになったため	0.1	0.0	0.2	2.1	0.1	0.1	0.2	1.5	0.5	0.6	0.4	1.2
16 身体の具合が悪くなったため	0.8	1.1	0.4	0.0	0.5	0.7	0.2	0.9	0.9	0.7	1.1	0.3
17 その他の生活環境上の理由	0.6	1.0	0.2	1.7	1.0	1.1	0.7	2.8	1.3	1.5	0.9	2.6
その他	8.5	10.7	6.1	10.3	6.0	7.4	4.1	8.3	3.1	4.2	1.3	4.9
18 前に何度かきてよく知っていたため	0.4	0.6	0.2	2.9	0.5	0.6	0.4	4.3	0.3	0.4	0.0	4.3
19 入学のため	3.1	4.0	2.0	4.5	2.6	3.0	1.9	0.9	0.4	0.7	0.0	0.6
20 戦争疎開、引き揚げのため	4.6	5.3	1.9	2.9	2.7	3.4	1.8	3.1	2.2	2.8	1.3	0.0
21 その他	0.4	0.8	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0

表末の注参照。

表70 移動理由：1971年（つづき）

(3) 長崎県および鹿児島県

(%)

移 動 理 由	長 崎 県 (陸部)				長 崎 県 (島部)				鹿 児 島 県			
	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因	一次要因			二次 要因
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
職業上の理由	43.5	60.9	19.7	24.7	53.1	74.5	25.0	20.7	39.1	57.5	14.4	25.8
1 仕事が見つかった（就職・転職）のため	20.8	28.2	10.8	6.9	22.0	29.8	11.7	7.9	13.6	18.6	7.0	9.2
2 転職のため（会社・事業所等の移転を含む）	12.4	17.7	5.0	4.8	12.5	19.0	3.9	1.6	11.9	19.1	2.3	0.9
3 定年・退職で仕事なくなったため	1.0	1.1	0.8	0.7	1.4	2.4	0.0	0.0	1.6	2.6	0.3	0.5
4 倒産などで仕事なくなったため	0.7	1.1	0.0	0.0	1.4	2.4	0.0	1.6	0.8	1.3	0.0	0.5
5 家業（農業・商業など）を継ぐため	3.7	5.4	1.5	3.4	8.4	10.7	5.5	3.2	6.2	9.4	2.0	6.0
6 仕事がおもしろくなかったため	1.5	2.3	0.4	4.1	3.7	4.8	2.3	3.2	0.9	0.9	0.8	3.2
7 その他の職業上の理由	3.4	5.1	1.2	4.8	3.7	5.4	1.6	3.2	4.1	5.6	2.0	5.5
家族・親族上の理由	39.4	18.3	68.0	36.5	31.0	7.2	62.4	46.0	39.0	14.6	71.6	40.0
8 結婚・離婚・養子縁組のため	25.5	4.8	53.8	3.4	20.9	2.4	45.3	4.8	25.8	3.2	56.0	3.2
9 家族と同居するため（家族の世話や看病などを含む）	7.8	7.3	8.5	15.2	6.4	2.4	11.7	23.8	8.9	6.9	11.6	11.5
10 親類・知人がいたため	4.4	4.5	4.2	14.5	2.7	2.4	3.1	9.5	2.4	2.6	2.0	20.7
11 その他の家族・親族上の理由	1.6	1.7	1.5	3.4	1.0	0.0	2.3	7.9	1.9	1.9	2.0	4.6
生活環境上の理由	10.6	13.8	6.3	29.1	8.8	7.8	10.3	27.1	11.4	14.2	7.9	29.5
12 住宅事情のため	4.6	5.9	2.7	6.9	2.0	2.4	1.6	4.8	3.3	4.9	1.3	8.3
13 生活環境のため	1.6	2.0	1.2	9.7	1.0	0.6	1.6	4.8	2.6	3.4	1.5	9.2
14 通勤・通学に便利だったため	2.0	2.8	0.8	5.5	1.4	2.4	0.0	1.6	1.3	1.7	0.8	6.0
15 大都市の生活がいやになったため	0.8	0.6	1.2	2.8	2.7	0.6	5.5	7.9	0.5	0.6	0.5	2.8
16 身体の具合が悪くなったため	0.8	1.1	0.4	1.4	1.4	1.2	1.6	3.2	2.6	3.0	2.0	1.4
17 その他の生活環境上の理由	0.8	1.4	0.0	2.8	0.3	0.6	0.0	4.8	1.1	0.6	1.8	1.8
その他	6.7	7.1	6.2	9.7	7.1	10.7	2.4	6.4	10.5	13.7	6.4	4.6
18 前に何度かきてよく知っていたため	0.3	0.6	0.0	5.5	1.0	1.8	0.0	3.2	0.2	0.4	0.0	1.8
19 入学のため	1.8	1.1	2.7	2.8	0.7	0.6	0.8	1.6	1.2	1.5	0.8	0.5
20 戦争疎開、引き揚げのため	4.4	5.4	3.1	1.4	5.1	7.7	1.6	1.6	8.7	11.6	4.8	2.3
21 その他	0.2	0.0	0.4	0.0	0.3	0.6	0.0	0.0	0.4	0.2	0.8	0.0

厚生省人口問題研究所1971年度実地調査【人口の分布変動と地域経済との関係に関する調査報告】による。調査地域は地方ブロックにおける中核県と周辺県を典型地域として、また首都圏を対照地域として選んでいる。ただし首都圏の範囲は、1960年国勢調査において常住する通勤通学者の都区部への依存率が5%以上である市町村である。調査対象者は層別多段サンプリングによって、宮城県、広島県は世帯単位に各3000人、埼玉県は個人単位に2000人、その他の地域は個人単位に各々3000人を無作為抽出している。またここでは出稼ぎを除いて現在住んでいる市区町村以外に3カ月以上住んだことがある移動経験者にその移動理由をたずねている。移動理由のうち特に重要なものを「一次要因」とし、次に重要なものを「二次要因」として質問している。

表71 転入時期別移動理由：1971年

(1) 首都圏，埼玉県，青森県および宮城県

(%)

転入時期	A 職業上		B 家族・親族上		C 生活環境		D その他	
	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因
首都圏								
1 1936年まで	24.5	27.3	61.2	18.2	10.1	36.4	4.1	18.2
2 1937～45年	18.6	36.9	43.0	26.4	17.5	21.1	20.9	15.8
3 1946～50	34.7	15.3	33.4	30.7	16.7	30.7	15.3	23.1
4 1951～55	34.3	23.0	27.5	19.2	34.3	53.8	3.4	3.8
5 1956～60	18.5	18.6	43.2	18.6	37.7	55.8	0.7	7.0
6 1961～65	26.5	13.4	29.1	31.3	42.6	49.9	1.9	5.2
7 1966～71	33.4	12.1	24.1	22.3	40.1	61.4	2.3	4.2
埼玉県								
1 1936年まで	19.6	0.0	72.5	25.0	6.0	50.0	2.0	25.0
2 1937～45年	8.5	25.0	62.7	16.7	5.1	50.0	23.7	8.3
3 1946～50	12.7	12.6	51.1	18.7	17.0	62.6	19.1	6.3
4 1951～55	19.7	20.0	52.4	25.0	24.5	45.0	3.2	10.0
5 1956～60	34.4	26.6	41.4	13.4	24.1	53.3	0.0	6.7
6 1961～65	30.6	0.0	25.7	29.9	43.8	70.2	0.0	0.0
7 1966～71	31.7	12.2	32.3	21.5	34.4	62.8	1.8	3.6
青森県								
1 1936年まで	10.9	20.0	81.6	73.3	4.4	0.0	3.3	6.7
2 1937～45年	20.3	20.0	62.8	46.7	4.3	13.4	12.8	20.0
3 1946～50	17.4	33.4	56.9	27.9	11.7	27.8	14.0	11.1
4 1951～55	37.7	25.1	52.0	43.9	3.9	18.8	6.5	12.5
5 1956～60	38.7	15.3	47.3	34.6	8.7	38.5	5.4	11.5
6 1961～65	42.2	32.4	46.6	35.1	9.2	21.6	2.0	10.8
7 1966～71	48.9	24.9	29.3	30.7	14.3	36.7	7.5	7.9
宮城県								
1 1936年まで	21.2	25.0	76.7	37.5	2.0	25.0	0.0	12.5
2 1937～45年	23.8	22.3	49.4	33.4	3.2	39.0	23.7	5.6
3 1946～50	22.1	26.7	49.1	30.8	6.7	19.2	22.0	23.1
4 1951～55	23.1	38.5	65.9	30.8	6.6	30.8	4.4	0.0
5 1956～60	40.5	22.6	50.1	9.1	8.0	63.6	1.8	4.5
6 1961～65	49.5	20.5	38.4	18.0	12.4	53.9	0.0	7.7
7 1966～71	42.4	14.6	26.1	19.8	22.3	54.3	9.2	11.2

表70注参照。

表71 転入時期別移動理由：1971年（つづき）

(2) 広島県、福岡県、長崎県および鹿児島県

(%)

転入時期	A 職業上		B 家族親族上		C 生活環境		D その他	
	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因	1次要因	2次要因
広島県								
1 1936年まで	24.0	33.4	75.0	50.1	0.9	16.7	0.0	0.0
2 1937～45年	27.6	17.6	48.1	35.3	9.1	29.4	15.3	17.6
3 1946～50	32.6	29.2	40.6	33.4	10.5	25.1	16.2	12.5
4 1951～55	37.7	14.2	51.6	14.3	10.9	42.8	0.0	28.5
5 1956～60	38.8	21.1	40.3	39.4	17.2	36.3	3.6	3.0
6 1961～65	40.0	8.5	36.0	27.2	19.5	57.7	4.7	6.8
7 1966～71	38.4	17.3	34.4	25.2	22.2	50.4	4.9	6.8
福岡県								
1 1936年まで	27.2	22.3	69.4	33.4	3.4	22.3	0.0	22.2
2 1937～45年	27.5	36.9	52.8	47.5	6.8	10.6	12.6	5.3
3 1946～50	27.7	25.8	53.7	35.6	8.9	35.4	9.8	3.2
4 1951～55	43.7	19.1	39.5	46.1	13.5	30.6	3.1	3.8
5 1956～60	42.5	25.8	42.5	32.2	13.4	35.5	1.6	6.5
6 1961～65	45.1	26.0	33.5	30.0	20.7	42.0	0.5	2.0
7 1966～71	46.9	19.6	29.5	21.3	22.0	55.1	1.5	4.2
長崎県（陸部）								
1 1936年まで	31.7	20.0	57.9	40.0	5.3	30.0	5.3	10.0
2 1937～45年	34.4	30.0	42.2	50.0	6.3	10.0	17.2	10.0
3 1946～50	31.2	28.4	36.4	42.8	6.5	14.3	26.0	14.2
4 1951～55	63.7	21.3	27.6	35.6	8.6	28.4	0.0	14.2
5 1956～60	54.3	30.3	37.5	34.6	8.4	25.9	0.0	8.7
6 1961～65	39.9	25.1	49.8	37.5	10.0	25.2	0.0	12.6
7 1966～71	46.6	22.3	34.5	32.8	15.8	37.9	3.5	6.8
長崎県（島部）								
1 1936年まで	27.2	50.0	63.6	0.0	4.5	50.0	4.5	0.0
2 1937～45年	32.3	16.7	45.2	50.1	0.0	33.4	22.6	0.0
3 1946～50	30.0	25.0	33.3	75.0	6.6	0.0	30.0	0.0
4 1951～55	55.0	0.0	40.0	0.0	5.0	100.0	0.0	0.0
5 1956～60	62.6	20.0	31.3	50.0	6.3	20.0	0.0	10.0
6 1961～65	65.9	15.4	25.0	53.9	9.1	23.1	0.0	7.7
7 1966～71	60.6	24.0	21.9	36.0	13.9	32.0	3.6	8.0
鹿児島県								
1 1936年まで	30.3	50.0	59.5	50.0	9.0	0.0	1.1	0.0
2 1937～45年	25.0	29.2	33.7	54.1	5.8	12.5	35.6	4.2
3 1946～50	16.7	30.9	46.1	30.9	5.6	24.0	31.8	13.7
4 1951～55	32.8	29.5	46.6	23.5	12.5	29.4	7.9	17.7
5 1956～60	34.1	8.3	52.2	50.1	11.8	41.6	2.2	0.0
6 1961～65	53.8	17.8	32.1	44.4	12.2	33.3	1.9	4.4
7 1966～71	53.5	26.1	27.7	37.5	16.2	36.2	2.7	0.0

表70注参照。

表72 年齢別世帯主の1年前の住所と現住地の異同：1976年

(%)

年 齢	現住地と同じ	同じ市町村の別のところ	同じ府県の別の市町村	他の府県	外 国	不 明
20歳未満	48.4	4.0	24.2	22.6	0.0	0.8
20～24	63.4	14.9	9.7	10.5	0.0	1.6
25～29	77.8	9.1	7.1	4.8	0.0	1.2
30～34	90.6	3.5	3.0	2.6	0.1	0.1
35～39	92.7	2.9	1.8	2.1	0.2	0.3
40～44	96.2	1.8	0.6	1.1	0.1	0.2
45～49	96.9	1.6	0.5	0.6	0.0	0.5
50～54	97.7	0.8	0.8	0.4	0.0	0.4
55～59	96.8	0.9	0.7	0.4	0.0	1.2
60～64	97.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.7
65歳以上	98.5	0.6	0.0	0.1	0.0	0.8
総 計 (実 数)	91.7 (7,052)	3.1 (235)	2.4 (184)	2.2 (168)	0.1 (4)	0.6 (48)

厚生省人口問題研究所『昭和51年度実地調査 地域人口移動に関する調査報告』による。
1976年度厚生行政基礎調査が行われた国勢調査区を親標本として140調査地区を無作為抽出し、その地区内の該当する普通世帯の世帯主7952人を調査対象とした全国サンプル調査である。

表73 この1年間に住所を変えた理由：1976年

(%)

移 転 の 理 由	総 数	男	女
親や家族につれられて	1.4	1.7	0.0
転勤になった	15.9	19.4	2.5
学校を卒業して就職することになった	5.2	3.0	14.0
家業を継ぐことになった	0.8	1.1	0.0
入学、進学のため	9.3	6.4	20.7
勤め先の都合で仕事なくなった	4.6	4.5	5.0
精神的、肉体的に通勤、通学の負担が重かった	9.0	6.4	19.0
結婚など縁事のため	13.7	15.7	5.8
住宅の事情	36.4	37.2	33.1
利用する医療機関が遠すぎた	0.3	0.2	0.8
居住環境が悪く健康に影響した	6.6	6.6	6.6
そ の 他	23.2	23.4	22.3
不 明	2.0	1.7	3.3

表72注参照。1年間に住所を変えた世帯主について（多答式）。

表74 大都市圏を離れた理由：1976年

(%)

大 都 市 圏 を 離 れ た 理 由	総 数	男	女
親や家族につれられて	8.3	6.6	21.1
転勤になった	17.4	18.8	6.8
学校を卒業して就職することになった	12.4	13.0	7.5
家業を継ぐため	8.8	9.9	0.8
入学・進学のため	2.5	2.5	2.3
勤め先の都合で仕事なくなった	9.8	10.0	8.3
精神的・肉体的に通勤・通学の負担が重かった	2.6	2.6	2.3
結婚など縁事のため	8.0	6.9	16.5
住宅の事情	6.8	6.8	6.8
利用する医療機関が遠すぎた	0.4	0.5	0.0
居住環境が悪く健康に影響した	5.4	5.6	3.8
そ の 他	32.2	31.3	39.8
不 明	6.6	6.7	5.3

表72注参照。1年間に住所を変えた世帯について（多答式）。

表75 移動を希望する理由：1976年

(%)

移動を希望する理由	総数	男	女
よい仕事がない，あるいは仕事をするのに不便	9.9	9.9	10.1
買物，レクリエーションなど生活上不便	9.9	9.7	11.2
住宅が狭い	48.3	48.9	43.6
精神的，肉体的に通勤・通学の負担がかかる	6.9	6.8	8.0
居住環境がわるく，健康に影響する	24.4	24.4	23.9
利用する医療機関が遠すぎる	3.6	3.9	1.1
近所づきあいなど人間関係がわずらわしい	6.7	6.4	9.0
その他	34.8	35.1	32.4
不明	0.5	0.5	0.5

表72注参照。移動を希望する世帯主1,669人について（多答式）。

表76 移動希望者の移動希望先—居住地域別—：1976年

(%)

希望先 居住地域	総計	東京圏	阪神圏	中京圏	札幌， 仙台 その他	県庁 所在地	10万 ～20万 都市	10万 未満 都市	農漁村	不明
総計	(1,669)100.0	30.3	12.5	5.3	7.9	9.3	9.3	14.4	2.9	8.0
北海道	(53)100.0	5.7	0.0	0.0	39.6	3.8	17.0	32.1	0.0	1.9
北東北	(86)100.0	3.5	0.0	1.2	1.2	10.5	10.5	67.4	2.3	3.5
南東北	(27)100.0	7.4	3.7	0.0	11.1	3.7	29.6	22.2	11.1	11.1
北関東	(149)100.0	10.7	1.3	0.7	11.4	28.9	11.4	21.5	2.7	11.4
北陸	(58)100.0	3.4	3.4	0.0	3.4	17.2	20.7	50.0	0.0	1.7
東山	(44)100.0	9.1	2.3	0.0	2.3	4.5	38.6	34.1	4.5	4.5
京阪周辺	(30)100.0	3.3	10.0	10.0	0.0	33.3	6.7	23.3	3.3	10.0
山陰	(13)100.0	7.7	23.1	0.0	0.0	7.7	7.7	30.8	23.1	0.0
山陽	(68)100.0	4.4	10.3	1.5	10.3	16.2	29.4	11.8	5.9	10.3
四国	(78)100.0	9.0	3.8	1.3	23.1	3.8	23.1	17.9	5.1	12.8
北九州	(72)100.0	1.4	1.4	1.4	48.6	9.7	8.3	13.9	8.3	6.9
南九州	(59)100.0	1.7	1.7	0.0	5.1	45.8	13.6	16.9	6.8	8.5
東京圏	(580)100.0	77.9	1.2	0.0	1.9	2.4	3.3	2.6	1.7	9.0
阪神圏	(231)100.0	0.9	76.2	0.4	0.9	6.5	2.6	3.5	1.7	7.4
中京圏	(121)100.0	5.8	1.7	66.1	9.1	0.0	3.3	6.6	1.7	5.8

表72注参照。

表77 移動希望者の移動希望先—年齢5歳階級別—：1976年

(%)

希望先 年齢	総計	東京圏	阪神圏	中京圏	札幌， 仙台 その他	県庁 所在地	10万 ～20万 都市	10万 未満 都市	農漁村	不明
総計	(1,669)100.0	30.3	12.5	5.3	7.9	9.3	9.3	14.4	2.9	8.0
20歳未満	(32)100.0	21.9	18.8	3.1	15.6	21.9	6.3	3.1	0.0	9.4
20～24	(129)100.0	34.1	14.0	4.7	7.0	9.3	10.1	11.6	1.6	7.8
25～29	(315)100.0	32.4	8.9	4.1	11.4	10.5	10.2	12.7	3.2	6.7
30～34	(277)100.0	33.2	9.4	5.8	6.5	9.4	13.4	17.3	0.7	4.3
35～39	(276)100.0	33.3	18.1	3.6	4.3	10.1	6.9	11.6	4.0	8.0
40～44	(191)100.0	28.8	7.9	5.8	7.9	8.9	7.3	17.8	4.7	11.0
45～49	(175)100.0	25.1	14.3	5.7	8.6	8.6	8.0	16.6	4.0	9.1
50～54	(115)100.0	19.1	13.9	11.3	8.7	5.2	8.7	16.5	4.3	12.2
55～59	(60)100.0	38.3	15.0	1.7	10.0	10.0	8.3	10.0	1.7	5.0
60～64	(49)100.0	30.6	16.3	8.2	4.1	8.2	6.1	16.3	2.0	8.2
65歳以上	(50)100.0	18.0	16.0	8.0	8.0	2.0	14.0	18.0	2.0	14.0

表72注参照。

表78 移動の理由 主なもの5つ：1981年

(%)

理 由	宮城県	仙台市	石巻市	古川市	熊本県	熊本市	八代市	荒尾市
第1位	転 勤 21.8	転 勤 24.7	縁 事 23.4	転 勤 24.9	住宅事情 17.1	就職・転職 16.4	縁 事 17.6	住宅事情 26.6
第2位	縁 事 19.6	縁 事 16.3	転 勤 15.8	縁 事 18.5	縁 事 16.5	転 勤 15.7	就職・転職 16.9	縁 事 16.6
第3位	就職・転職 12.6	就職・転職 14.2	就職・転職 13.5	住宅事情 15.6	就職・転職 14.2	縁 事 15.0	転 勤 13.2	就職・転職 10.9
第4位	住宅事情 12.3	住宅事情 6.9	住宅事情 12.6	就職・転職 10.7	転 勤 11.9	住宅事情 13.8	住宅事情 6.9	転 勤 8.6
第5位	通勤不便 3.3	入 学 6.0	同居のため 6.3	同居のため 6.3	同居のため 5.9	同居のため 4.8	親の帰郷希望 6.3	同居のため 6.7

厚生省人口問題研究所1981年度実地調査『人口移動と定住に関する調査報告書』による。
東北日本と西南日本から各々選ばれた一県三都市7400世帯の20歳以上の男女を対象に行なわれた典型調査である。移動の理由は移動者(現住所以外の地域に3カ月以上住んだことがあるひと)に対するものである。

表79 移動希望の有無：1981年

(%)

希 望	宮城県	仙台市	石巻市	古川市	熊本県	熊本市	八代市	荒尾市
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
有	15.6	15.7	12.8	18.1	11.1	10.6	12.4	10.3
無	83.7	82.2	87.0	81.8	88.7	89.4	87.5	89.2
不 詳	0.7	2.1	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.5

表78注参照。

表80 移動を希望する理由：1981年

(%)

転出理由	宮城県	仙台市	石巻市	古川市	熊本県	熊本市	八代市	荒尾市
第1位	住宅事情 19.1	住宅事情 26.5	仕事上不便 19.0	仕事上不便 17.8	仕事上不便 23.2	住宅事情 23.1	仕事上不便 25.4	仕事上不便 22.7
第2位	仕事上不便 16.9	仕事上不便 13.1	住宅事情 16.6	生活上不便 17.0	住宅事情 20.6	仕事上不便 20.4	住宅事情 20.1	住宅事情 19.6
第3位	生活上不便 11.7	故郷回帰 10.8	居住環境 12.7	住宅事情 16.5	故郷回帰 11.0	居住環境 12.9	故郷回帰 9.6	故郷回帰 14.0
第4位	居住環境 7.9	居住環境 8.5	生活上不便 9.7	人間関係 8.1	居住環境 7.7	故郷回帰 8.6	人間関係 8.3	生活上不便 9.8
第5位	故郷回帰 7.0	家等の所有 6.9	故郷回帰 6.0	通勤不便 6.4	人間関係 7.2	生活上不便 6.5	通勤不便 6.9	通勤不便 9.4

表78注参照。移動を希望する者宮城県1165人、熊本県775人について。

表81 移動希望者の移動希望先：1981年

(%)

転 出 希 望 地	宮城県	仙台市	石巻市	古川市	熊本県	熊本市	八代市	荒尾市
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
大都市(東京、大阪など)	18.8	30.1	12.1	16.5	17.7	25.8	17.8	12.2
地方主要都市(札幌、福岡など)	6.0	8.2	3.9	6.1	20.8	21.0	17.5	24.1
県庁所在都市	31.5	12.1	36.6	39.6	20.6	19.4	27.7	14.0
中・小都市	22.2	21.9	23.0	22.0	19.6	12.9	15.2	28.7
町 村	12.5	13.7	17.2	8.9	12.6	14.5	14.5	9.4
外 国	1.8	1.6	0.9	2.5	2.6	1.1	2.0	4.2
そ の 他	1.5	2.6	0.9	1.1	1.5	3.8	1.7	0.0
不 詳	5.7	9.8	5.4	3.4	4.5	1.6	3.6	7.3

表78注および表80注参照。

表82 世帯主の現住地への転入時期別転入理由：1986年

転入時期	進学	就職	転勤・転職	結婚	親との同居	住宅事情	子供の事情	理由が明らかでないもの	総計
計 (人)	115	333	932	989	160	2,707	68	6,360	
1960年以前	2	38	93	314	32	258	4	955	
1960年10月～70年9月	2	33	97	141	32	382	9	826	
1970年10月～80年9月	4	62	251	222	55	1,071	23	1,974	
1980年10月以降	107	200	490	312	41	996	32	2,605	
計 (%)	1.8	5.2	14.7	15.6	2.5	42.6	1.1	100.0	
1960年以前	0.2	4.0	9.7	32.9	3.4	27.0	0.4	100.0	
1960年10月～70年9月	0.2	4.0	11.7	17.1	3.9	46.2	1.1	100.0	
1970年10月～80年9月	0.2	3.1	12.7	11.2	2.8	54.3	0.5	100.0	
1980年10月以降	4.1	7.7	18.8	12.0	1.6	38.2	1.2	100.0	
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
1960年以前	1.7	11.4	10.0	31.7	20.0	9.5	5.9	15.0	
1960年10月～70年9月	1.7	9.9	10.4	14.3	20.0	14.1	13.2	13.0	
1970年10月～80年9月	3.5	18.6	26.9	22.4	34.4	37.6	33.8	31.0	
1980年10月以降	93.0	60.1	52.6	31.5	25.6	36.8	47.1	41.0	

移動理由・移動時期不詳を除く。

厚生省人口問題研究所1986年度実地調査『地域人口の移動歴と移動理由に関する人口学的調査』による。国民生活基礎調査のための国勢調査区4,966地区のなかから無作為に再抽出して設定された175調査区に居住するすべての世帯主8,323人を対象とする全国サンプル調査である。

表83 現住地からみた世帯員の生涯移動の範囲：1986年

現住地	総計 (人)	出生地と現住地が				出生地 不詳	
		同じ 世帯員	異なる世帯員				
			計	出生地が 同一県内	出生地が 他の県		出生地が 外国
全 国	25,672	7,766	17,244	10,674	6,388	182	662
北 海 道	1,020	214	798	684	101	13	8
東 北 道	2,343	900	1,376	1,108	264	4	67
北 関 東	1,423	578	789	602	181	6	56
南 関 東	6,253	1,526	4,507	1,792	2,667	48	220
北陸・東山	1,807	758	1,024	803	214	7	25
東 海 道	3,439	1,184	2,210	1,575	627	8	45
近畿周辺	794	161	592	327	263	2	41
近畿中心	3,197	833	2,272	1,166	1,082	24	92
中国・四国	2,242	752	1,427	1,058	351	18	63
九 州	3,154	860	2,249	1,559	638	52	45
(比率%)							
全 国	100.0(100.0)	30.3	67.2	41.6	24.9	0.7(100.0)	2.6
北 海 道	100.0(4.0)	21.0	78.2	67.1	9.9	1.3(7.1)	0.8
東 北 道	100.0(9.1)	38.4	58.7	47.3	11.3	0.2(2.2)	2.9
北 関 東	100.0(5.5)	40.6	55.4	42.3	12.7	0.4(3.3)	3.9
南 関 東	100.0(24.4)	24.4	72.1	28.7	42.7	0.8(26.4)	3.5
北陸・東山	100.0(7.0)	41.9	56.7	44.4	11.8	0.4(3.8)	1.4
東 海 道	100.0(13.4)	34.4	64.3	45.8	18.2	0.2(4.4)	1.3
近畿周辺	100.0(3.1)	20.3	74.6	41.2	33.1	0.3(1.1)	5.2
近畿中心	100.0(12.5)	26.1	71.1	36.5	33.8	0.8(3.2)	2.9
中国・四国	100.0(8.7)	33.5	63.6	47.2	15.7	0.8(9.9)	2.8
九 州	100.0(12.3)	27.3	71.5	49.4	20.2	1.6(28.6)	1.4

地方別の県名は以下の通り。

東北：青森，岩手，宮城，秋田，山形，福島。北関東：茨城，栃木，群馬。南関東：埼玉，千葉，東京，神奈川。東山・北陸：長野，山梨，新潟，富山，石川，福井。東海：岐阜，静岡，愛知，三重。近畿周辺：滋賀，奈良，和歌山。近畿中心：京都，大阪，兵庫。

表82注参照。

表84 大都市地域・非大都市地域2区分による出生地と現住地の関係：1986年

(%)

年 齢	総 数	大都市出生・ 大都市居住	非大都市出生・ 大都市居住	大都市出生・ 非大都市居住	非大都市出生・ 非大都市居住	不 詳
総 数	(20,026) 100.0	36.8	13.1	2.3	45.2	2.6
15 ~ 19	(1,991) 100.0	51.2	4.2	2.7	39.0	2.8
20 ~ 24	(1,599) 100.0	45.7	9.4	3.1	39.5	2.3
25 ~ 29	(1,587) 100.0	38.3	11.0	1.8	46.4	2.5
30 ~ 34	(1,858) 100.0	32.2	13.2	2.4	49.8	2.3
35 ~ 39	(2,510) 100.0	31.8	15.0	3.2	47.9	2.1
40 ~ 44	(1,910) 100.0	32.8	18.5	2.7	43.6	2.4
45 ~ 49	(1,805) 100.0	36.0	18.6	2.8	39.7	2.9
50 ~ 54	(1,574) 100.0	35.8	15.6	3.2	42.6	2.8
55 ~ 59	(1,410) 100.0	33.8	12.2	1.4	49.9	2.7
60 ~ 64	(1,174) 100.0	34.3	13.0	1.1	48.5	3.1
65 ~ 69	(866) 100.0	36.4	12.8	0.9	47.6	2.3
70 ~ 74	(901) 100.0	34.2	12.1	0.8	49.9	3.0
75歳以上	(814) 100.0	32.4	13.0	0.9	50.9	2.8
不 詳	(27) 100.0	18.5	11.1	0.0	14.8	55.6

大都市地域：南関東，東海，近畿中心（表83注参照）。

表85 世帯主・配偶者の性，年齢別他出範囲別Uターン，Jターン割合：1986年

(%)

性・年齢	総 数	他出経験なし	Uターン 県内移動	Uターン 県外移動	U 地 域 外 移 動	県外他出 経験なし	県 地 域 内 移 動	県 地 域 外 移 動	同 地 域 内 の み	他 出 経 験	地 域 J ター ン	そ の 他	不 詳
総 数	(13,605) 100.0	9.1	2.8	1.0	2.0	35.8	3.5	8.0	7.7	2.2	24.9	3.0	
男 総 数	(6,662) 100.0	12.9	4.6	1.4	3.0	28.4	3.3	8.0	7.0	2.3	26.3	2.8	
15 ~ 19	(45) 100.0	0.0	2.2	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	8.9	0.0	68.9	6.7	
20 ~ 24	(218) 100.0	2.3	0.9	0.0	1.4	30.3	0.9	3.7	11.0	0.9	47.2	1.4	
25 ~ 29	(389) 100.0	2.1	3.6	0.3	0.8	39.1	2.6	11.3	8.2	2.6	28.8	0.8	
30 ~ 34	(591) 100.0	4.6	3.9	1.9	2.9	27.1	4.9	12.2	11.2	4.1	26.2	1.2	
35 ~ 39	(995) 100.0	6.7	3.2	1.3	3.7	28.1	4.4	12.4	6.8	3.7	28.8	0.7	
40 ~ 44	(820) 100.0	9.5	4.8	1.2	3.0	29.3	3.3	9.6	6.2	2.3	27.9	2.8	
45 ~ 49	(832) 100.0	12.4	4.7	1.4	3.2	24.2	2.9	8.2	7.1	2.0	30.3	3.6	
50 ~ 54	(775) 100.0	19.1	4.5	1.2	2.1	27.4	2.7	4.6	6.6	1.7	26.7	3.5	
55 ~ 59	(644) 100.0	19.9	4.8	1.4	2.0	30.0	3.1	5.7	5.7	1.6	20.5	5.3	
60 ~ 64	(516) 100.0	22.7	4.7	2.1	5.2	27.1	3.3	5.6	6.0	1.7	18.8	2.7	
65 ~ 69	(321) 100.0	20.2	8.4	2.5	3.4	29.3	1.9	5.9	5.3	0.6	17.8	4.7	
70 ~ 74	(321) 100.0	21.5	8.1	2.2	2.8	30.8	4.0	4.4	6.2	1.2	15.6	3.1	
75歳以上	(189) 100.0	23.8	7.4	0.5	4.8	25.4	3.7	3.2	4.2	1.6	20.6	4.8	
不 詳	(6) 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	
女 総 数	(6,943) 100.0	5.5	1.0	0.6	1.1	42.9	3.7	7.9	8.4	2.2	23.6	3.1	
15 ~ 19	(32) 100.0	0.0	3.1	0.0	0.0	31.3	3.1	3.1	28.1	0.0	31.3	0.0	
20 ~ 24	(238) 100.0	0.8	0.4	0.0	0.4	42.4	1.7	6.3	22.3	2.5	21.0	2.1	
25 ~ 29	(471) 100.0	3.2	0.0	1.3	0.2	43.7	5.7	8.7	9.8	3.2	23.1	1.1	
30 ~ 34	(718) 100.0	4.2	0.0	1.1	1.3	39.6	3.2	10.4	9.1	2.8	26.6	1.8	
35 ~ 39	(1,066) 100.0	4.6	0.7	0.5	1.5	41.7	4.3	9.3	7.7	1.9	26.0	2.0	
40 ~ 44	(879) 100.0	4.6	0.3	0.5	1.4	36.4	4.2	9.7	7.8	2.4	29.2	3.5	
45 ~ 49	(846) 100.0	6.1	1.4	0.7	0.6	39.6	3.8	6.1	7.4	2.7	28.0	3.4	
50 ~ 54	(726) 100.0	5.5	0.6	0.1	0.7	48.8	2.8	6.7	8.3	1.8	22.2	2.6	
55 ~ 59	(681) 100.0	9.0	0.9	0.1	0.7	49.5	4.6	6.3	7.6	1.3	16.4	3.5	
60 ~ 64	(505) 100.0	7.3	2.0	0.2	1.6	50.1	2.4	6.3	6.3	1.4	17.4	5.0	
65 ~ 69	(369) 100.0	7.3	3.0	0.5	0.8	46.3	3.3	8.1	4.3	1.4	19.8	5.1	
70 ~ 74	(262) 100.0	7.3	2.3	1.1	3.1	40.8	3.4	7.3	9.2	3.4	15.3	6.9	
75歳以上	(129) 100.0	3.9	6.2	1.6	0.0	42.6	3.1	6.2	9.3	1.6	23.3	2.3	
不 詳	(21) 100.0	19.0	0.0	0.0	4.8	14.3	0.0	4.8	9.5	0.0	19.0	28.6	

出生地に居住している他出経験者がUターンした人であり，他出範囲が県内，地域ブロック内，地域ブロック外のそれぞれの場合を「Uターン県内移動」，「Uターン地域内移動」，「Uターン地域外移動」とする。Jターンした人とは，他出経験者で調査時点で現住所が出生地と異なる人であるが，現住所が出生地のある県の場合を「県Jターン」とよぶ。このとき他出先が県内であれば「県外他出経験なし」，地域ブロック内の他県であれば「県Jターン地域内移動」，出生県を含む地域ブロック外の県に移動した経験のある人は「県Jターン地域外移動」に分類される。出生県のある地域ブロックに現在居住していて，その地域ブロック以外の県に移動した経験がある人を「地域Jターン」とよぶ。

表86 世帯主・配偶者の性、年齢別他出範囲別残存率、Uターン率：1986年

(%)

性・年齢	総数	残存率	県残存率	地域残存率	Uターン率	県Uターン率	地域Uターン率
総数	13,605	15.3	64.0	74.3	6.5	29.3	32.8
男総数	6,662	22.5	63.4	72.9	10.6	30.6	33.5
15～19	45	2.4	16.7	26.2	2.4	0.0	0.0
20～24	218	4.7	40.0	52.1	2.4	9.2	11.2
25～29	389	6.7	60.1	71.0	4.8	27.4	33.7
30～34	591	13.4	58.0	73.5	9.2	34.5	42.2
35～39	995	15.1	60.3	71.0	8.9	35.6	40.7
40～44	820	19.1	62.5	71.3	10.3	32.0	34.9
45～49	832	22.6	59.1	68.6	11.2	28.5	30.8
50～54	775	27.8	63.8	72.3	10.0	23.2	23.9
55～59	644	29.7	70.7	78.4	11.0	30.6	31.3
60～64	516	35.7	72.7	80.7	16.1	38.0	40.1
65～69	321	36.3	75.2	81.4	19.1	36.7	36.0
70～74	321	35.7	76.2	83.9	17.4	36.8	35.1
75歳以上	189	38.3	72.2	78.3	17.8	31.5	31.6
不詳	6	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	25.0
女総数	6,943	8.4	64.7	75.6	2.9	28.0	32.1
15～19	32	3.1	40.6	68.8	3.1	9.5	9.1
20～24	238	1.7	53.2	78.5	0.9	15.5	30.6
25～29	471	4.7	63.5	76.6	1.6	30.6	34.3
30～34	718	6.7	60.9	72.9	2.5	29.4	35.3
35～39	1,066	7.4	63.7	73.5	2.8	30.5	32.8
40～44	879	7.0	59.1	69.7	2.4	28.5	31.5
45～49	846	9.2	60.5	71.0	3.0	22.7	25.2
50～54	726	7.1	66.9	77.2	1.5	24.3	29.4
55～59	681	11.1	73.7	83.0	2.0	31.6	33.7
60～64	505	11.7	73.5	81.7	4.3	29.4	34.8
65～69	369	12.3	73.1	79.1	5.0	33.3	34.2
70～74	262	14.8	70.1	83.6	7.6	34.8	47.4
75歳以上	129	11.9	65.1	76.2	8.3	24.1	25.0
不詳	21	33.3	60.0	73.3	9.1	25.0	33.3

「残存率」は出生地と現住地が同じ人の割合、「県残存率」は出生県と居住県とが同じ人の割合、「地域残存率」は出生および居住の地域ブロックが同じである人の割合である。「Uターン率」は他出経験のある人のうちで出生地に居住している人の割合、同様に「県Uターン率」は他出経験のある人のうちで出生県に居住している人の割合、「地域Uターン率」は他出経験者のうち出生ブロックに居住している人の割合である。これらの割合は総数から不詳を除いたものの内訳である。表85には不詳を含んだ割合を示す。

表87 高齢人口の移動時の年齢別移動理由：1988年

(%)

移 動 理 由		50歳以上 合 計	移 動 時 の 年 齢		
			60～69歳	70～79歳	80歳以上
仕事関係	自分の仕事の関係で	9.3	5.0	2.0	0.0
	自分の定年退職・引退のため	2.6	4.8	3.0	3.3
	小 計	11.9	9.8	5.0	3.3
家族関係	家族と一緒に移動したため	12.9	12.8	13.6	18.3
	配偶者が亡くなったため	0.8	2.2	4.1	11.7
	親が呼んでくれたため	0.9	0.5	0.0	0.0
	子供が呼んでくれたため	1.3	5.0	14.2	11.7
	家族の結婚、養子縁組などのため	3.1	0.5	1.5	0.0
	親や孫の面倒をみるため	1.7	2.3	1.5	1.7
	家族の近くに住むため	1.4	2.1	3.3	6.7
	親戚や友人がいるため	2.5	2.4	3.0	3.3
	家族と離れて暮らすため	0.5	1.1	0.9	1.7
	小 計	25.0	28.9	42.1	55.1
住宅関係	新築や改築のため	20.2	16.1	10.7	6.7
	適当な土地や家があったため	14.2	13.1	8.0	8.0
	家賃・間代が高かったため	3.0	4.7	3.8	0.0
	住宅が狭かったため	9.4	7.8	6.8	3.3
	住宅の設備が不十分だったため	5.7	5.3	6.8	0.0
	自然環境や生活環境が悪かったため	3.3	4.5	3.6	1.7
	気候が温暖で住みやすいため	2.3	2.8	2.4	5.0
	昔住んだ経験があったため	1.9	2.0	3.3	6.7
小 計	60.1	56.3	45.4	31.4	
健康関係	家族や自分の身体の具合が悪かったため	1.2	2.9	5.0	6.7
	完備された病院や施設があるため	1.9	2.3	2.7	3.3
	小 計	3.1	5.2	7.7	10.0

回答は複数回答による（生涯を通じての最新の移動理由）。

合計欄は50歳以上60歳未満の者も含む。

厚生省人口問題研究所1988年度実地調査『高齢人口の移動に関する人口学的調査』による。秋田、山形、熊本、大分4市の国勢調査区のなかから層別抽出された175調査区のすべての世帯（7,914世帯）およびその世帯の50歳以上の世帯員を対象とした典型調査である。

表88 引越し経験の有無について：1988年

(%)

引越し年次	秋 田	山 形	熊 本	大 分	計
総 数	100.0 (1,948)	100.0 (2,752)	100.0 (1,608)	100.0 (1,572)	100.0 (7,880)
引越し経験なし	16.3 (317)	46.8 (1,288)	16.9 (272)	19.7 (310)	27.8 (2,187)
1974年 以 前	52.6 (1,025)	29.3 (807)	40.7 (654)	45.0 (707)	40.5 (3,193)
1975年 以 降	28.2 (549)	15.1 (415)	34.6 (557)	31.1 (489)	25.5 (2,010)
不 詳	2.9 (57)	8.8 (242)	7.8 (125)	4.1 (66)	6.2 (490)

表87注参照。

表89 出生地, 最終学歴地, 就職地, 結婚地, 墓地, 故郷の分布: 1988年

(%)

	総 数	自 市 内	県 内	大 都 市 圏	そ の 他	不 詳
秋 田 市						
出 生 地	100.0(1,948)	43.6	41.4	3.4	11.2	0.4
最終学歴地	100.0(1,948)	47.3	34.9	6.7	10.7	0.4
就 職 地	100.0(1,948)	47.3	27.0	8.3	11.3	6.2
結 婚 地	100.0(1,948)	61.3	23.2	4.6	8.5	2.5
先祖の墓地	100.0(1,948)	54.9	34.6	1.8	7.9	0.7
故 郷	100.0(1,948)	54.4	34.2	2.0	7.9	1.5
山 形 市						
出 生 地	100.0(2,752)	62.2	29.1	2.1	5.2	1.4
最終学歴地	100.0(2,752)	63.3	25.8	4.4	5.1	1.3
就 職 地	100.0(2,752)	59.2	18.4	6.8	5.0	10.6
結 婚 地	100.0(2,752)	76.5	12.9	3.7	4.2	2.7
先祖の墓地	100.0(2,752)	72.3	22.3	0.6	3.1	1.7
故 郷	100.0(2,752)	72.3	20.5	0.8	3.4	2.9
熊 本 市						
出 生 地	100.0(1,608)	34.0	38.7	3.4	22.0	2.0
最終学歴地	100.0(1,608)	40.7	34.0	4.4	19.1	1.7
就 職 地	100.0(1,608)	41.2	23.9	4.4	19.6	10.9
結 婚 地	100.0(1,608)	56.7	17.8	4.4	15.9	5.2
先祖の墓地	100.0(1,608)	46.5	35.8	1.6	14.1	2.1
故 郷	100.0(1,608)	46.7	35.4	1.3	13.6	3.0
大 分 市						
出 生 地	100.0(1,572)	46.3	33.6	2.9	16.1	1.1
最終学歴地	100.0(1,572)	47.0	31.5	4.7	15.4	1.4
就 職 地	100.0(1,572)	45.1	24.9	6.6	15.6	7.8
結 婚 地	100.0(1,572)	55.2	23.9	4.8	13.2	3.0
先祖の墓地	100.0(1,572)	55.0	31.5	1.3	10.8	1.4
故 郷	100.0(1,572)	56.0	29.2	1.5	10.4	2.9

表87注参照。

表90 移動パターン別移動理由：1976年

移動パターン	総数	家族的理由						職業的理由	住宅の理由	その他の理由
		小計	家業継承	親・家族と同居	親・家族と近住	親・家族と別居	結婚			
総数	100.0 (5,111)	28.8 (1,471)	1.8 (94)	10.5 (539)	3.5 (180)	1.5 (77)	11.4 (581)	36.2 (1,852)	13.7 (698)	21.3 (1,090)
3大都市圏内部移動	100.0 (1,974)	27.8 (548)	0.4 (8)	7.4 (146)	2.9 (58)	2.4 (48)	14.6 (288)	16.2 (319)	27.9 (550)	23.2 (557)
3大都市圏間移動	100.0 (214)	13.6 (29)	1.8 (4)	5.1 (11)	1.4 (3)	1.4 (3)	3.7 (8)	75.7 (162)	0.5 (1)	10.3 (22)
3大都市圏から地方圏への移動	100.0 (682)	34.8 (237)	4.7 (32)	18.8 (128)	5.1 (35)	0.4 (3)	5.7 (39)	46.6 (318)	2.9 (20)	15.7 (107)
地方圏から3大都市圏への移動	100.0 (499)	15.4 (77)	0.0 (0)	3.2 (16)	1.8 (9)	0.6 (3)	9.8 (49)	61.9 (309)	1.6 (8)	21.0 (105)
県内移動	100.0 (979)	30.8 (302)	0.9 (9)	9.2 (90)	2.5 (24)	1.5 (15)	16.8 (164)	42.5 (416)	9.2 (90)	17.5 (171)
Uターン移動	100.0 (763)	36.4 (278)	5.4 (41)	19.4 (148)	6.7 (51)	0.7 (5)	4.3 (33)	43.0 (328)	3.8 (29)	16.8 (128)

国土庁「人口移動要因調査」1976年度による。

職業的理由（転勤、就職開業、転職転業、求職）。住宅の理由（住宅事情が悪かった、通勤・通学事情が悪かった、買物などが不便だった、公害・災害の危険があった）。その他の理由（人間関係があわなかった、就学のため、引退のため、療養のため、親せき・知人が住んでいたから）。その他（わからない、特に理由はない）。ここでの移動理由は、最重要移動理由である。以下の各表とも同様。

表91 年齢別移動理由：1976年

(%)

年齢	総数	家族的理由						職業的理由	住宅の理由	その他の理由
		小計	家業継承	親・家族と同居	親・家族と近住	親・家族と別居	結婚			
総数	100.0 (5,206)	26.7 (1,389)	1.3 (69)	8.6 (448)	3.1 (159)	1.6 (84)	12.1 (629)	37.6 (1,959)	13.8 (721)	21.8 (1,137)
～19歳	100.0 (355)	12.1 (43)	0.8 (3)	7.9 (28)	0.6 (2)	0.6 (2)	2.3 (8)	42.3 (150)	6.8 (24)	38.9 (138)
20～24	100.0 (953)	35.4 (337)	1.8 (17)	12.5 (119)	1.2 (11)	0.9 (9)	19.0 (181)	35.2 (335)	8.6 (82)	20.9 (199)
25～29	100.0 (1,091)	41.7 (455)	2.2 (24)	7.1 (77)	3.8 (41)	1.4 (15)	27.3 (298)	33.4 (364)	11.4 (124)	13.6 (148)
30～34	100.0 (1,088)	24.3 (264)	1.5 (16)	6.6 (72)	4.9 (53)	1.8 (20)	9.5 (103)	33.6 (420)	16.7 (182)	20.4 (222)
35～39	100.0 (610)	17.7 (108)	0.8 (5)	6.7 (41)	3.8 (23)	2.5 (15)	3.9 (24)	43.9 (268)	17.2 (105)	21.1 (129)
40～49	100.0 (605)	10.6 (64)	0.7 (4)	5.6 (34)	1.5 (9)	1.3 (8)	1.5 (9)	45.0 (272)	22.0 (133)	22.5 (136)
50～59	100.0 (321)	15.6 (50)	0.0 (0)	10.9 (35)	2.2 (7)	1.6 (5)	0.9 (3)	40.5 (130)	14.3 (46)	29.6 (95)
60歳以上	100.0 (183)	37.2 (68)	0.0 (0)	23.0 (42)	7.1 (13)	5.5 (10)	1.6 (3)	10.9 (20)	13.7 (25)	38.3 (70)

表90注参照。

表92 東京都における他府県間転入理由：1971～86年

(%)

転入理由	第1回 1971年	第2回 1976年	第3回 1981年	第4回 1986年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
職業的 転業理由	62.8	52.9	51.3	51.6
就職・転職	22.2	27.2	27.7	31.0
求職・転職	34.0	20.1	19.8	17.9
退職・その他	3.3	2.2	0.6	0.7
住宅事情	3.3	3.4	3.1	2.1
住宅を新築購入	6.2	10.9	8.7	8.2
住まいが広がった	—	5.1	3.6	3.7
家賃が安い	—	1.7	2.0	1.3
設備が整っている	—	1.5	1.1	1.0
その他	—	0.5	0.3	0.4
生活環境	—	2.1	1.6	1.9
日照・通風がよい	4.7	10.0	9.1	10.2
通勤通学の便がよい	—	0.7	0.4	0.4
公害が少ない	—	7.9	7.8	9.0
その他	—	0.5	0.2	0.2
学校関係	11.1	0.9	0.8	0.6
結婚・縁組等	11.4	12.2	14.8	12.3
その他	3.8	9.1	9.5	10.0
		4.9	6.6	7.7

東京都「東京都の人口移動の実態（昭和61年1月～12月）」による。

調査対象範囲は1986年1月1日から同年12月31日までの間に、東京都の区市町村長に対し転入あるいは転出の届出をした者から層別二段抽出法により選ばれている。

表93 東京都における他府県間転出理由：1971～86年

(%)

転出理由	第1回 1971年	第2回 1976年	第3回 1981年	第4回 1986年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
職業的 転業理由	45.3	35.9	41.8	39.3
就職・転職	20.8	18.8	21.1	21.2
求職・転職	18.0	11.8	15.0	13.1
退職・その他	1.2	1.3	0.4	0.3
住宅事情	5.2	4.0	5.3	4.7
住宅を新築購入	27.3	37.5	31.8	28.6
住まいが広がった	—	22.9	19.3	16.4
家賃が安い	—	7.5	6.5	5.7
設備が整っている	—	3.5	2.3	2.8
その他	—	1.2	0.4	0.6
生活環境	—	2.5	3.2	3.1
日照・通風がよい	5.0	7.3	5.2	6.8
通勤通学の便がよい	—	1.4	1.1	1.4
公害が少ない	—	0.9	1.2	1.8
その他	—	3.6	1.4	1.8
学校関係	—	1.5	1.4	1.7
結婚・縁組等	5.4	4.7	4.7	4.4
その他	11.3	8.4	8.6	10.5
	5.8	6.1	7.9	10.4

表92注参照。

表94 都内市区町村間移動理由：1971～86年

(%)

移動理由	第1回 1971年	第2回 1976年	第3回 1981年	第4回 1986年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
職業的 転業理由	30.2	17.8	17.5	16.6
就職・転職	9.8	5.1	3.9	4.6
求職・転職	14.8	8.4	11.0	9.4
退職・その他	1.1	0.6	0.2	0.3
住宅事情	4.6	3.6	2.4	2.3
住宅を新築購入	34.6	45.9	41.8	39.8
住まいが広がった	—	20.6	14.7	14.1
家賃が安い	—	10.9	12.2	11.0
設備が整っている	—	5.2	6.1	4.9
その他	—	3.0	2.2	2.0
生活環境	—	6.2	6.6	7.9
日照・通風がよい	12.7	15.1	13.2	13.8
通勤通学の便がよい	—	2.8	2.3	2.4
公害が少ない	—	7.3	7.5	8.4
その他	—	3.3	1.1	1.1
学校関係	—	1.7	2.3	2.0
結婚・縁組等	4.1	3.4	4.0	3.1
その他	14.9	12.9	15.5	16.7
	3.6	5.0	7.9	10.0

表92注参照。

人口年表1990

人口年表 1990

1月	<p>総務庁「心豊かな長寿社会づくり運動」のため、1月中に「長寿社会懇談会」を発足</p> <p>厚生省の人口動態統計1989年（年間推計）、出生数は124万3千人で動態統計開始以来最低、死亡数は79万1千人で88年と同じ、結婚数は71万1千組で2年連続増加、離婚は88年より5千組増えて15万9千組</p> <p>警察庁発表、1989年の交通事故死者は1万1,086人、15年ぶり最悪事態</p> <p>世界保健機関（WHO）、世界中から同機関に報告されたエイズ患者累計は1989年末で20万3,599人と発表、実際の患者数はこの2～3倍と推計</p> <p>ロンドン・インターナショナル・グループ（LIG）、ソ連・コーカサスに大規模な避妊具工場をつくることでソ連政府と合意</p> <p>厚生省、急激な出生率の低下に対して、新年度から労働、文部、建設、警察の各省庁と連携して総合的な取り組みに着手する</p> <p>建設省、東京など三大都市圏の住宅供給促進策の一環として、「大都市地域住宅・宅地供給促進別措置法の一部改正案」を用意</p> <p>警察庁、外国人労働者の意識や生活ぶりなどの全国実態調査を1月に実施</p> <p>文部省、1989年学校保健統計調査発表、一時頭打ち傾向を示していた子供たちの体格がわずかながら向上</p> <p>東京で、病気やケガで治療を受けた外国人の医療費焦げつき深刻、都内7カ所の都立総合病院だけでも滞納額が約3千万円</p> <p>厚生省「ふるさと21健康長寿のまちづくり」（WAC事業）のため建設・設計会社や金融機関などで構成する「WAC推進センター」を設置</p> <p>通産省「メロウ・ソサエティ（情報化円熟社会）懇談会」、8日、高齢者の知識や経験を社会に生かせる情報ネットワークの整備などを提唱した中間報告をまとめ、高齢者の生活を支える「メロウ・ソサエティ・フォーラム」を約200社の企業を集めて2月末に発足させる</p> <p>毎日新聞社、1978年定住受け入れ第1号となった52人について10年後の追跡調査、日本人と結婚するなどして帰化した人が約4分の1、米国など第三国に移ったり、祖国に潜入など</p> <p>中国、北京で第5回全国人口科学討論会と中国人口学会理事会拡大会議が開かれ、1990年代に出生率のピークを迎えるという情報が伝えられ、今世紀末に人口を12億5千万人に抑えるという目標は難しくなったとの意見が出る</p> <p>経済企画庁「1989年経済の回顧と課題“長期拡大と不均衡縮小をめざす日本経済”」（ミニ経済白書）発表、景気拡大の長期化で人手不足深刻化、労働市場では年齢、職種、地域によるミスマッチ増加を指摘</p> <p>法制審議会民法部会身分法小委員会、11日までに夫婦別姓問題の検討に着手する方針、夫婦別姓のための民法、戸籍法の改正案を作成するが、子供の姓など難問も多い</p> <p>1989年12月末から始まった中国人偽装難民の送還が終了するのは90年秋ごろとなるのが、11日明らかになった、中国側の身元確認が難航</p> <p>厚生省、①市町村の“任意”事業となっている在宅福祉サービスの義務化②全市町村の保健・</p>
----	---

1月 福祉の総合計画の策定を柱とした老人福祉法などの改正案を総選挙後の特別国会にも提出

建設省、1991年度に地方移住やセカンドハウス購入を支援する「新ふるさとマイホーム推進事業」をスタート、「定年後の安住の地が欲しい」といった都市住民の地方志向に応える

総務庁統計局推計、新成人は188万人（男子97万人、女子92万人）、昨年より1万人増、総人口での割合は1.5%

厚生省、児童手当制度に関する学識者・関係者に対する調査を14日付でまとめ、これをもとに3月までに中央児童福祉審の意見をまとめ、次の通常国会に児童手当の改正法案を提出

総務庁、雇用対策について行政監察結果に基づき改善を労働省に16日勧告。雇用情勢は経済の好況を受け失業率は低いものの、業種や地域、年齢による格差は依然として著しい。公共職業訓練や助成金について、格差の是正につながるよう効率的な運営を求める

労働省、女子労働者が働きやすい環境づくりを進めるため、労働代表者と学識経験者で構成する「育児をめぐる就業環境整備に関する懇談会」（仮称）を1990年度設置

都生活文化局の「女性の就労に関する意識調査」、都内勤務の採用2年目の女性1,483人の理想とする生き方は「出産で退職し、子育て後に再就職」が29%と最多、「出産しても仕事を続ける」20%、「結婚して仕事をやめる」18%、「結婚して退職し、子育て後に再就職」14%

法務省入国管理局、1989年11月以降貨物船などに潜み日本への密入国を図る中国人5件14人を摘発して強制送還の手続きをとった

日本語教育振興協会、教員や施設などの審査の結果、申請した日本語学校約500校のうちこれまでに合格したのは253校、法務省はこの認定をうけない学校への入学希望者には原則として入国ビザを出さない方針

（英紙）「エコノミスト」1月20日号報道、ルーマニア新政権誕生後、妊娠中絶を求める妊婦で産婦人科病院が満員

総理府「防災に関する世論調査」の結果を20日発表、「経済、社会機能の首都圏集中」については「機能分散」に半数が賛成

法務省の1989年上半期（1-6月）「留学生就職状況調査」、日本の大学などを卒業して日本にある企業に法務省が就職を許可し実際に就職した外国人留学生は489人、1988年1年間の実績522人並み

厚生省、「21世紀をめざした今後の医療供給体制の在り方」を22日まとめた

国際観光振興会発表、1989年の日本人出国者数（速報）は、965万7千人で前年比14.6%増来訪外国人数は282万8千人で前年比20.1%

厚生省、23日発表、エイズ患者の総数（血液凝固因子製剤によるものを除く）は1989年12月31日で182人、1988年末の患者数は97人

法務省入国管理局、大村収容所に一時入所している難民のうち、中国人偽装難民378人を出入国管理及び難民認定法に基づき24日強制収容し、違反審査後、強制退去手続きを取る予定

順天堂大医学部循環器内科 岡田了三教授らの日本成人病学会発表、突然死が起きる割合は北海道・東北地方が高く、近畿・中国地方と関東地方で低い、病院が身近かな大都市では突然死が少ない

労働省、1990年度中に今後5年間の高齢者雇用の進め方を定めた「基本方針」を作成、5年後に予想される年金改正に備え、高齢者雇用を推進する

1月	東京地裁判決、1人っ子同士の婚約で婚約者の親から「将来、同居するか、近所に住んでほしい」との希望を伝えられたことは婚約を破棄する正当な理由になるとして、婚約を破棄された女性からの損害賠償請求を棄却
2月	<p>生命保険協会、生命保険全会社生命表を発表、1984、85年の間に保険にかかっていた人のうち88年3月までに死亡した人の平均寿命は男性75.99歳、女性82.06歳</p> <p>厚相の「これからの家庭と子育てに関する懇談会」は、出生率低下の及ぼす社会的影響や子育て支援策に関する報告書を31日まとめた</p> <p>全国市長会「都市人口の概況」調査、地価高騰の激しい東京23区や大阪、京都の各市で日本人人口が減少し地方ブロック中核の札幌、福岡などの都市では増加が目立つ</p> <p>総務庁、「1989年平均労働力調査」（速報）結果を2日発表、就業者数は6,128万人で34年ぶり大幅増で好況を反映</p> <p>東京都世田谷区、3月の定例区議会に、人口流出対策として住宅の広さや設備などを指導強化する「住宅条例」を提案、「住宅整備指針」を定め、中堅所得層向け住宅を区独自で建設</p> <p>横浜市商工会議所、神奈川県企業を対象に外国人労働者の就業実態調査を実施、6社に1社が外国人労働者を採用</p> <p>労働省の「海外青年技能研修」が東京、大阪、愛知など14都府県で始まる。アジアからの男女計204人のうち6割が失業中の若者；人手不足で企業側からの受け入れ希望は3倍以上</p> <p>労働省、1990年度に「外国人研修生受け入れ問題研究会」を設置、研修制度の弾力化や受け入れ窓口の一本化などについて検討</p> <p>文部省「留学生受け入れ状況調査」6日発表、外国人留学生の数3万1,251人、10年間で5.3倍の伸び、出身地別ではアジアが全体の90.5%、在学先では大学の学部42.5%、大学院36.5%専修学校23.0%</p> <p>厚生省「1988年国民栄養調査」まとめ、摂取エネルギーに占める脂肪の割合が適正水準（25%）を超え、食塩摂取量も12年ぶりに増加</p> <p>中国衛生省防疫局長発表、雲南省のミャンマーとの国境に近い農村で1989年末までに146人が麻薬の注射針でエイズ・ウイルスに感染</p> <p>デクエアル国連事務総長は、8日の記者会見で「子供のための世界首脳会議」（サミット）を9月29、30日の両日国連本部で開催すると発表</p> <p>仏国立統計経済研究所（INSEE）8日発表、1月1日現在の人口は5,630万3,985人前年比0.5%の増加、1989年の結婚は前年比3.6%増の28万1千組、出生はほぼ横ばい76万5千人で26.3%が私生児</p> <p>東京都中央区、定住人口の回復を進めるため、住宅の供給や維持管理、賃貸料のあり方などを盛り込んだ「定住及び住環境に関する条例」を策定</p> <p>東京都、「総合的高齢者事業計画」に基づく高齢社会対応型のモデル都市を多摩ニュータウンに整備</p> <p>都住宅政策懇談会「100年住宅構想」提言、部屋が広く堅固な共同住宅を都心周辺に建設、一世帯の内部に可変式の壁を作るなどの方法で居住者の家族構成の変化に対応していく構想</p> <p>労働省、1990年度から「第三次産業労働条件適性化推進事業」を実施、第三次産業での労働基準関係法違反の是正を指導する</p>

2月	<p>国連人口基金(UNFPA)により、21世紀の最大課題である人口問題について、日本の経済、文化芸術など各界を代表する人が集い、幅広く討議する「人口フォーラム21」が16日発足</p> <p>通産省・中小企業庁1989年12月調査、中小企業 1,252社中 62.7%が外国人の単純労働者の受け入れを容認、前年より 5.2ポイント上昇、理由として 8割の企業が人手不足をあげる</p> <p>外務省まとめ、1989年の一般旅券発行数は 424万件前年より8.2%増、旅券を持っている日本人は 1,400万人を突破</p> <p>日本産婦人科学会報告、体外受精による妊娠率は1988年の成績で 15.4%、体外受精児を出産した母親は同年末で 160人、生まれた子供数は 200人</p> <p>千葉県、外国人労働者の雇用状況まとめ、約 2,400社のうち4.8%が外国人労働者を「現に採用している」、また「採用したい」は 21.2%、「今後も採用したくない」 43.3%</p> <p>社団法人不動産協会は、中央区が4月から実施予定の「居住継続支援事業制度」の見送りを求める要望書をまとめた。同制度は一定以上の規模の開発をする事業者から開発協力金を求め、それを原資に開発区域内に從來から居住している借家人の家賃助成にあてる</p> <p>中国政府、都市部の雇用情勢の悪化を防ぐため許可証を持たない農民の都市への流入防止策として地方政府にも農民の脱出に歯止めをかけるよう求めている</p> <p>東京都の1990年 1月 1日人口は、1,191万 6,866人、1989年に比べ 1万 3,270人(0.11%)の減少、「地価高騰などに伴う他府県への流出(社会減)がピークを過ぎたとはいえ依然高水準だったことに加え、人口増加の一端を支えてきた外国人登録者の伸びが急激に鈍化したため」</p> <p>新宿区、地価高騰に伴う人口減少に歯止めをかけるため、1990年度に「定住化基金」を新設、区が一定以上の規模の開発に義務づけた付置住宅の入居者への家賃補助などを検討</p> <p>観光ビザで来日し建設作業員として働いていたフィリピン男性が作業中の事故で左目を失明、雇い主を相手に損害賠償を求め東京地裁で和解が成立、認められた金額は 350万円</p> <p>警視庁防犯特別捜査隊と荏原署、1986年ごろから東南アジアの労働者を建設会社に派遣していた土木建設会社「日本相互住宅」を労働者派遣法違反の疑いで摘発</p> <p>米国の民間研究機関「人口の危機委員会」、世界 125カ 国の産児制限の実態調査とその推進策をまとめた「人口安定への前進」と題する提言を発表、現在53億人の世界人口が2090年には 1 40億人に増えて深刻な問題になると警告</p> <p>西ドイツ内務省発表、1990年に入って東ドイツから西ドイツへの移動は10万 9千人に達した、このペースで進めば人口 1,600万人の東ドイツの人口は年間60万人ずつ減少、1989年は34万 4千人が移動</p> <p>朝日生命保険の「出生率低下の経済的側面」まとめ、女性の結婚年齢が上がっていることだけでは出生率低下は説明できない、教育費、住居費など養育コストの増加が、子供減らしに一役買っているのではないかと推測</p>
3月	<p>ポストファクタム通信、国家計画委員会経済研究所の専門家によると、ソ連の失業者は公式統計の 200万人より 4倍も多い 800万人、失業者は高出生率と低工業化の中央アジアに多い</p> <p>リクルートリサーチの「住宅取得に関する意識調査」、将来自分の家を持ちたいとの希望は男性の 66.5%、また男性の82%は「自力購入は無理」と考え「結婚相手の親が住まいを提供してくれれば婿養子もいとわない」は 22.9%</p> <p>雇用審議会、65歳までの雇用の確保を政府・企業に求めた答申を提出、企業の 4割がまだ60歳定年を実施していない現状を指摘</p>

3月 総理府、「高齢期」の生活イメージ世論調査、30歳以上の5,000人の68%は自分の高齢期の生活について考えたことがあり、うち8割は自分の健康や医療について、7割は年金や老後の蓄えについて

厚生省、1990年度「国民医療費推計」を4日発表、総額20兆9千億円、前年度に比べ1兆1,900億円、6.0%増加、国民1人当たり16万9千円になる、1988年度、89年度と実現してきた「国民医療費の伸びを国民所得の伸び以内に抑える」政策目標は、3年ぶりに達成できず

労働省、大都市サラリーマンのため持ち家志向の転換を促進 ①退職後も住める終身住宅の建設を金融、税制面から後押し ②勤労者財産形成促進制度（財形）資金を活用し、賃貸住宅を建設 ③家賃減税制度を創設

東京都「優良民間賃貸住宅の供給などに関する調査」を実施、世帯が居住できる一定規模以上の良質な民間賃貸住宅の建設を支援

米センサス局、米国の総人口（推計）6日発表、2億5千万人の大台を突破、前回人口センサス1980年と比べ10.4%増

臨時行政改革推進審議会の行財政改革推進委員会の最終答申原案、新たな中期財政目標として国民負担率を2020年頃でも50%未満に抑制することを提言

米マウントサイナイ医大のパーコウイツ博士ら「高齢出産の弊害が少ない」ことを示唆する研究報告を「ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン」医学誌に発表

佐賀県藤津郡塩田町、人口減、高齢化に歯止めをかけようと3人目以上に祝い金を贈る「七五三祝い金条例」を作り、定例町議会で提案、1989年の出生は128人、死亡130人

都「東京在住ウタリ実態調査」、都内に暮らすアイヌ民族とその家族を2,700人と推定、北海道以外でアイヌ民族の人口が出されたのは初めて

住宅金融公庫「住宅意識調査」、東京、埼玉、神奈川各県に住む50歳以上の3千人のうち、健康な時、子どもとの同居を望む人は20.2%、スープの冷めぬ距離に住みたい人30.2%、日常生活に不便を感じるようになった時、この割合は31.7%、38.7%

留学生を支援するグループは「人権を無視した外国人の締め出し、恣意的行政は許せない」と12日から「入管トラブルホットライン」を設置、実態を調べる

悪質ブローカーらに賃金をピンハネされている日系人を救おうと、法務省OBらが中心になり「海外日系交流センター」が発足

法務、外務両省、インドネシア難民を装って日本に不法入国した中国人の偽装難民297人の第2次送還を22日実施すると14日発表

文部省、1988年度中に全国の公私立高校を中退した生徒は11万6,617人、前年度より3,260人増え史上最高、中退者が在籍者に占める割合（中退率）は2.1%

コンパス（インドネシア有力誌）、東方辺境であるイリアン・ジャヤに“アマゾネス村”があることがワニ・ハンターの証言で確認

法務省18日発表、不法就労などの理由で1989年に上陸を拒否された外国人は1万404人、昨年はパキスタン、バングラデシュ両国との査証免除取り決めを一時停止したことで全体で前年比703人（6.3%）減少、両国以外の上陸拒否数をみると、前年に比べ2.6倍と急伸

総理府「女性の就業に関する世論調査」18日発表、結婚や出産で一度退職しても、もう一度働きたいと考える女性の割合が初めて6割を超え、特にパートタイム形式での再就職志向が強い

厚生省、優生保護法に基づく人工妊娠中絶可能な時期を「妊娠満24週未満」から「満22週未満」

3月 | とする基準の変更について、20日、各都道府県に対し事務次官に通知を出す、13年ぶりの基準変更で1991年1月1日から実施

新宿区、区内居住の外国人 2,700人にアンケート調査、8割が「日本人による偏見や差別を受けている」と回答

中国の何康農相、22日、農村から都市に職を求めて大量に流れ込む“盲流”現象に関連して「農村労働力の3分の1は過剰」と認めた、中国の労働力約5億人のうち約4億人は農村にいる

厚生省「老人保健施設の利用実態調査結果」25日発表、長期入院患者が家庭に戻る前にリハビリなどを行う「通過施設」としての役割を期待されているが、医療機関から入所した人の58%が再び病院に逆戻り

通産省発表、首都圏の平均的なサラリーマンが一戸建て住宅を買うには、限度いっぱい借金してもまだ1,500万円近く不足

シンガポールなどアジアのNIESや、ASEANの一部で労働力不足が深刻、各国・地域の失業率は軒並み下がり、一部の国では外国人労働者の規制緩和などの対策を取り始めている

日本生産性本部「労使関係白書」発表、1990年代半ば以降から人口高齢化で深刻な労働力不足が到来するのに対応するため、60歳定年制の早期完全実施、育児休業制度の導入、外国人労働者の受け入れ機関として政府による「外国人雇用事業団」の設置を提唱

中国人難民女性、政治難民なのに稼働目的の不法入国者と認定され、退去を強制されたのは違法として福岡入国管理局を提訴

厚生省の「都道府県別健康マップ」、男性の平均寿命は長野、沖縄が長く、女性は沖縄、島根が長い、市町村別でも沖縄、長野、北海道が上位を占めている。また1988年度の老人1人当たりの年間医療費は約58万円で“西高東低”の傾向が続いている

総務庁、1989年10月1日現在のわが国の推計人口発表、総人口は1億2,325万人、65歳以上の老年人口が1,431万人（11.6%）、14歳以下の年少人口は2,320万人（18.8%）

厚生省1988年度「全国母子世帯等調査」を29日発表、母子世帯は84万9,200世帯、5年前より18.3%増加、うち離別によるものは30.1%も増加、4割が子供の教育で悩んでいる

法務省、日韓間の最大の懸案である在日韓国人三世の法的地位問題に関する基本方針を固めた、骨子は在日一、二世と同等の法的地位とし、①一、二世に認めている「協定永住」並の永住権を三世以降にも自動的に付与する、②強制退去処分制度、再入国許可制度の適用除外は認めない ③指紋押捺、外国人登録証常時携帯も引き続き義務付ける

津島厚相「長寿社会における子供・家庭・地域」1989年版厚生白書を報告、急激な出生率低下問題を取り上げ、高齢化の加速、経済活力の低下、負担の増加など日本の将来に与える深刻な影響を指摘、女性の社会進出や結婚観の変化による育児など、家庭機能の弱体化が子供減少の原因と分析、育児休業制度の普及や児童手当充実など「家庭への支援」を打ち出す

米国センサス局、21回目の人口センサスを4月1日実施する、2年がかりで1億600世帯をリストアップ、質問票を送り終えた、そのほかの数百万人は調査員の個別訪問を受ける

外務省、30日、在日韓国人三世の法務省案について「現在の姿勢では韓国側は納得しない、行政が（外国人の管理で）100%の確実性を求める気持ちはわかるが、それによって日本が国際的に失うものもある」と批判

都内各区、地価高騰などによる定住人口の減少に対処するため4月から住宅担当の組織を強化、独自の誘導居住水準、家賃補助制度の研究や住宅白書作成などの新政策に取り組む

法務省入管局、1989年「出入国者統計」3月31日発表、昨年1年間に出国した日本人は966万

3 月	2,752人、前年に比べ123万5,885人(14.7%)増加、日本に入国した外国人は298万5,764人、前年に比べ57万1,317人(23.7%)増、出入国とも史上最高
4 月	<p>(英) オブザーバー紙(1日付)、従来の避妊ピルより副作用が少ない上、最高2年まで効果がある避妊ワクチンが開発された</p> <p>外務省「在留届提出状況に関する調査」まとめ、海外進出企業51社の3ヵ月以上の長期海外滞在者296人のうち旅券法による届け出の義務づけを知っていた人は62.1%、知らなかった人は7.9%</p> <p>(米誌) タイム、米国の人口動態が現在そのまま続けば、21世紀半ばにはスペイン語系など非白人が人口の半数以上を占め、白人は“少数派米国人”の地位に転落すると予測</p> <p>世界保健機関(WHO) 推定、今後25年間に少なくとも推定5億人が喫煙を原因とする病気で死亡すると公表</p> <p>経済企画庁「1990年地域経済レポート」発表、地方の景気拡大、雇用機会の拡大、賃金上昇により首都圏(東京、神奈川、千葉、埼玉)への人口流入が鈍化、間もなく第2次ベビーブーム世代が首都圏流入年齢に達するため当分は首都圏の人口が膨張する危険があるとも指摘</p> <p>練馬区「婦人問題意識調査」まとめ、結婚観について「結婚すべき」28.6%、「なるべくした方がいい」44.3%、「シングルライフの方がいい」0.1%、「しなくてもよい」26.7%；「夫婦別姓」については、「別々の姓を名乗る必要はない」53.2%、「同姓でも別姓でも選べるようにした方がいい」41.6%、「別姓認めた方がよい」5.0%</p> <p>法務省、1989年の「出入国管理・難民認定法(入管法)違反の概況」を8日発表、入管法違反で退去強制手続きがとられたのは2万2,626人で、前年比約4,700人(26.7%)増、不法就労事犯が全体の7割、そのうちフィリピンが最多で3,740人、男性の不法就労が激増</p> <p>日本語学校の経営者、経営の安定を図るため事業者団体「日本語学校連絡会」を9日結成</p> <p>国民生活審議会、11日、総合政策部会を開き、最終報告書「豊かな時を創るために -新しい余暇社会と生活文化の創造に向けて」を了承、連続休暇制の推進や国・地方自治体による余暇推進計画の策定を盛り込んだが、余暇促進基本法や連続休暇の義務づけは消える</p> <p>厚生省「国立試験研究所機関等将来構想検討会」、高齢化社会の到来や科学技術の進歩に合わせ、国立研究機関の改革を提言</p> <p>経済企画庁、1990年版「国民生活指標」(NSI)12日発表、核家族化、出生率の低下、離婚率の上昇など家庭機能の低下によって家庭・社会の病理現象が進んでいること、長期欠席の児童・生徒割合の上昇などを指摘</p> <p>経済企画庁、1987年度「47都道府県の県民所得」13日発表、1人当たりの県民所得は平均235万円、トップの東京と最下位の沖縄との差が2.04倍と開き、1975年度以降最大の格差</p> <p>労働省、総合的な雇用対策を固めた、①育児休業・女子再雇用制度の法制化、②中小企業の人材確保のための新法、③人手不足地域へのUターン就職などの労働力定着のモデル地域事業</p> <p>厚生省HIV疫学研究班の曾田研二横浜市立大医学部教授らの1989年度の研究報告は、1993年末までのエイズ患者数の累計は400~500人に増え、毎年の患者の発生は90年代前半に67~81人ぐらいでピークを迎えると予測</p> <p>都住宅対策推進本部、16日、公共施設との合築方式による住宅の新規供給を進めるため、秋までに「合築推進計画」(~2000年)を策定、対象は公営住宅と中堅所得者向けの都民住宅で、10年間で5千戸以上</p> <p>イラン政府統計によると、人口増加は1976~86年の年平均3.55%、86年には3.9%；人口は現在</p>

4月 5,500万人で、このままで推移すると同国の人口は2007年に1億人を突破、2021年には1億4千万人に達すると著名な社会学者が予測

法務省入国管理局長は17日の衆院法務委員会で、三世以降の在日韓国人の法的地位問題について、一、二世並みの権利を保障する方針と答弁

都「就業者数の予測」調査、1985年に790万人だった就業者数は、2000年に872万人でピークに達する、以後は減少して2005年には863万人、全就業者に占める55歳以上の割合は1965年に14.9%だったのが、2005年には24.9%に達する

アパートヘイト（人種隔離）体制の改革が進む南アフリカ共和国で白人の国外脱出によりエンジニア、医師などの専門職が不足、東欧などから人材を募集、移住希望者は東欧からは比較的容易に受け入れるのに対し、香港からは一定額以上の資産を持つ者だけに制限

臨時行政改革推進審議会、最終答申を海部首相に18日提出、国民負担率50%未満抑制、公的規制の実質的な半減や土地税制の総合的な見直しなどを提言

厚生・自治両省、老人福祉法改正案をめぐる協議、厚生省が改正の柱としてきた「在宅福祉サービスの市町村への義務づけ」を改正案から外すことで合意

英下院、1997年に中国に主権が返還される香港の住民のうち5万世帯、約22万5千人に英旅券を与え、英国内での居住を許可する法案を可決

厚生省発表、今シーズンにインフルエンザに感染した児童や生徒の数は全国で105万3千人で昨シーズンの5倍、1981年末から82年始めのシーズンに次ぐ大流行となった、今回はA型香港B型ウイルスによる

奥田自治省、21日衆院予算委員会で、不法就労の摘発だけでなく「二国間などではっきりとした外国人（労働者受け入れの）ルールをつくった方がいい」と語る

不法就労の外国人を雇った企業主への罰則制度を盛り込んだ改正入管法の6月1日施行を前に外国人労働者の日本脱出が相次ぐ

法務省入管局、南米出身の日系就労者の実態調査、労働時間や収入は一般の日本人労働者に比べ、さほど見劣りしない

警察庁「自殺白書」、1989年1年間の自殺者は2万2,436人で前年に比べ5.5%減ったが、高齢者（65歳以上）は46人増の6,358人で戦後最多

東京都住宅懇談会は、区部を中心に限られた空間を分け合う「東京型居住スタイル」を24日提唱

中国新聞社電、広東省広州市の若い夫妻1,000人のうち「結婚後すぐ子供を生む」2割、「カネができたなら生む」4割、「少なくとも5年間は子供をつくらない」「一子子供を生まない」が合わせて4割

ソ連最高会議でチェルノブイリ原発事故四周年の前日にあたる25日、ドグジェフ副首相は、1993年までに、新たに18万-20万人の住民を汚染地域から移住させることを明らかにした

建設省、1989年度の新規住宅着工戸数を27日発表、167万2千戸と前年度に比べて0.6%増、史上4位の高水準、90年度は金利の上昇や貸家ブームの衰えから150万戸台に落ち込むと予想

文部省、単身赴任の要因となっている親の転勤に伴う高校生の転校の困難について、都道府県教委と高校生の親や企業に調査予定

中野区「単身家庭実態調査」（1989年11月）結果、一人親4,543世帯で「困ったこと」について、父親は「子供のめんどう」「家事」をあげ、母親は「経済面」「住まい」

4月	<p>全米児童委員会、「米国児童実態調査」の結果26日発表、(1991年3月末までに策定する子供のための政策提言への基礎資料)、18歳未満の子供のうち貧困家庭に属するものは全体で20.6%白人の場合15%なのに対し、ヒスパニック39.3%、黒人は45.1%、片親家庭は1988年で4人に1人、ホームレスの子供は約10万人、栄養失調は50万人</p>
5月	<p>世界保健機関(WHO)、30日発表、1年間に病気が原因で死亡した人は世界の総人口50億人の1%に当たる約5千万人に達し、このうち8割の4千万人は医療体制が整えば避けられる「早期死亡」</p> <p>プリンストン大学調査、日本人は一生独身だったり、離婚や死別して配偶者を失った場合の死亡率が、配偶者のある人に比べ3.5倍で、他の先進国より高い、各国平均に対し男性が2倍、女性が1.5倍</p> <p>国土庁「首都圏の土地利用実態調査」1日発表、資材置き場や休耕地など一定面積以上で十分高度利用されていない「低密度利用地」を活用すれば、最大50万戸の住宅を供給できる</p> <p>都「社会福祉基礎調査」発表、母親が外で働くことに小学1～3年は「働く方がよい」21.6%「働かない方がよい」47.8%、4～6年ではその差が縮まり、中学では「働く方」31.2%、「働かない方がよい」17.6%</p> <p>労働省「毎月勤労統計調査」2日発表、1989年の1人当たり年間総実労働時間は2,076時間、1988年度より24時間減少、1992年度までに1,800時間に短縮するという政府目標に遠く及ばない</p> <p>労働省、今後の外国人研修生受け入れ事業計画のあり方や具体的な研修内容を検討するため「外国人研修生研究会」(仮称)を2日設置</p> <p>厚生省統計情報部「1988年人口動態社会経済面調査」発表、1984、86、88年に希望子供数は2.61人、2.58人、2.55人、理想子供数は2.71人、2.70人、2.67人に減少</p> <p>「外国人登録証明書」の最後の一斉切り替えが26万人を対象に行われる。1987年の同法改正で切り替え時期が「5回目の誕生日ごと」に変わったため今回が最後</p> <p>総務庁統計局4日発表、子ども(15歳未満)の数は2,283万人、昨年より76万減少、総人口に占める子どもの割合は18.5%、戦後の最低記録を更新</p> <p>労働省「身体障害者等雇用実態調査」24日発表、身体障害者を雇用している事業所は3割、前回調査(1983年)の17万人から19万3千人に増加</p> <p>東京入管成田支局「業務概況」8日発表、成田空港で入国を拒否された外国人は、1989年度分で9,274人、うち韓国1,929人(前年比約7.4倍増)次いでマレーシアが1,545人(約4.7倍)この2国で全体の4割近い</p> <p>豊島区の4月1日現在の外国人人口は1万3,987人、区に寄せられる外国人からの相談は1989年度だけで千件近い、内容は多岐にわたるが、医療費の悩みが目につく</p> <p>外食企業336社が加盟する日本フードサービス協会、労働力不足を補うため、一定の条件の下で外国人労働者の就業を認めるべきだと10日提言</p> <p>都内を中心とする約30遺族が「東京過労死を考える家族の会」を12日結成</p> <p>米議会調査、ソ連からのユダヤ人出国者数1986年914人、1989年71,000人、急増する背景に反ユダヤ感情復活</p> <p>「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)報告、地球の温暖化は自然災害や食糧不足をもたらし、居住地を放棄せざるを得なくなる数千万人の環境難民を生むと警告</p>

5月 厚生省は、公衆衛生審議会結核予防部会に新たに専門委員会を14日設置し、結核対策を強化する。欧米の先進国と比べ日本の結核死亡率は高く、新規患者の割合もここ数年減少が鈍っている

国連人口活動基金(UNFPA)「新しい世紀への選択」と題する「1990年世界人口白書」14日発表急増を続ける世界人口の問題にどう対処するかが来世紀における人類の生活の質を決める

労働省「1989年家内労働調査結果」16日発表、家内労働者数は95万7,900人(前年比4.0%減)で女性の平均月収は4万4,307円、時給は370円でパート労働者などに比べて低い、家内労働手帳を交付していないケースが4分の1

第31回海外日系人大会の代表会議、17日、東京で開かれ、南米諸国からのUターン出稼ぎ問題について政府に就職あっせんの窓口を設置してほしいとの要望書を採択

「公害の状況に関する年次報告」(環境白書)1990年版、閣議で18日了承、地球環境問題への対応策に最大の重点を置き「省エネルギー型社会の実現」を提唱

都、企業の希望する移転先アンケート、本社を移転するなら1.新宿、2.臨海副都心；都の業務を分散させる多心型都市構造への転換構想とかみ合わない

法務省、18日、在日韓国人「協定三世以下」を対象とする指紋押なつに代わる本人確認の手段として、家族単位での登録とする方針

東京都「首都機能調査研究会」報告書18日まとめ、東京への集中の原因を中央集権と経済至上主義の街づくりにあると分析、業務機能の総量規制を打ち出し、遷都問題では首都機能を首都圏の業務核都市などに分散・配置する「展都」を主張

パロアルト民間経済研究機関の推計、カリフォルニア州人口は過去10年間に増加率25%を経験し、今やアメリカにいる人の9人に1人の割合、今後の10年間も増加率は他州の倍以上で2000年には約3千500万人に達する

政府・自民党は19日、出生率低下問題の総合的な対策を来年度予算に盛り込む方針、27日の党社会部会で「児童と家庭問題小委員会」を設置、厚生省も検討会を発足させ8月までに具体策を打ち出す、検討項目は①出生率低下の影響 ②女性の就労と出産・育児の両立 ③家庭への支援 ④児童手当のあり方など

厚生省「在日外国人の結核登録者調査」1989年6月末現在、滞在5年未満の外国人患者を調査、在日外国人における患者割合は日本人における10万人あたり90人の数倍

法務省、改正入管法が6月1日施行されるのに伴い、上陸許可の審査基準を省令などで発表、資格や経験、賃金などについて細かい制約を設け単純労働者は排除

労働省、1990年度の「雇用見通しと職業安定行政の重点施策」(年次雇用計画)20日発表、1990年度の有効求人倍率は1.36倍になるとみっており、前年度実績の1.30倍を上回る見込み、新規求人倍率は2.09倍と最高

中小企業経営者災害補償事業団「外国人労働者に関する調査報告書」23日発表、東京、神奈川県、千葉の中小零細企業2,218社の経営者の31.3%が今後外国人労働者を雇用したい、主な理由は①日本人労働者の確保が難しい ②まじめに働く、雇用希望人数は1社平均3.7人

通産省産業労働問題懇談会、23日、不法滞在で鋳物工や塗装工などの専門職種に就業している外国人労働者を技術、技能研修生として幅広く受け入れるべきだとの“緊急提言”

都「女性労働事情調査」26日発表、子供を育てながら働く女性のうち5人に2人は職場で育児がらみのトラブルを経験し、育児と仕事を両立させるため睡眠時間を削らなければならない

厚生省エイズサーベイランス委員会、今年3～4月の2ヵ月間に国内で新たにエイズ患者4人と

5月 HIV感染者18人を確認、母子感染も初めて報告

旭化成・二世帯住宅研究所「3大都市の2世帯同居意識調査」、東京では「家を持つのは困難なので親と同居、大阪では「義務感」と「にぎやかな暮らしの実利面を取り入れて」、名古屋では「同居は当然」と昔ながらの意識が強い

厚生省、国民年金の上乗せ年金として1991年4月に発足する国民年金基金に関する設計案が明らかになった、国民年金基金に6コースを設ける

総務庁「身体障害者の福祉、雇用に関する調査」結果27日発表、企業の障害者雇用率は1.3%（1988年）で、相変わらず法定雇用率（1.6%）を下回っており、雇用率が低い企業50社を対象に特別調査したところ、労働省の勧告を受けたあとも法定雇用率を満たした企業はわずか2社

新宿区定住化対策懇談会報告書まとめ、同区の住民登録人口は1990年5月現在で、約29万3千人、昨年同期に比べ8,900人減少、人口減少の原因は国の土地制度の不備や地価高騰と分析

労働省「1989年度女子労働者の雇用管理の状況」28日まとめ、男女雇用機会均等法施行（1986年）後の女子採用の実態を初調査、大卒事務・営業系では新規学卒募集企業の7割以上が女子に門戸を開放、技術系では半数が「男のみ」

政府、本年度から新たにスタートする第4次国土調査事業10ヵ年計画を29日の閣議で決定、人口集中地域や開発予定地域などの地籍調査を実施

法務省、改正入管法の6月1日施行に伴い、旧法から新法に移行する際の留意点を29日発表、問い合わせ殺到にPR

通産省、増大する外国人の不法就労者問題への対応策として入管法の弾力適用による研修制度の拡充を提言

法務省、改正入管法が6月1日から施行されるのに伴い、日本経由で米国などに出国する台湾人がこれまでに72時間ビザなしで滞日できた「寄港地上陸許可」の規定を改め、入国希望者は日本政府発給の「渡航証明書」の携帯を義務付けた

世界保健機関（WHO）、31日の世界禁煙デーで警告このままのペースで喫煙が続けば世界人口の10分の1に当たる5億人がたばこが原因で死亡すると予測

政府、ベトナム難民を装った中国人不法入国者の第4次強制送還（303人）を6月1日にも行うと発表、昨年12月第1次送還以降、中国への送還者は1,520人となる

6月 改正入管法で入国管理局の就学ビザ発給審査が厳しくなり、日本語学校の学生が激減、都内だけで既に5校が閉校、廃校を検討している所は全国で約60校に及ぶ

改定入管法の実施にともない「6月から一斉に逮捕される」と誤った情報が外国人の間で流れたため、帰国しようとする外国人労働者が各地の入国管理局に殺到したが、施行初日はバツリやみ大きな混乱はなかった

厚生省、10年ぶりに乳幼児身体発育調査を9月に全国一斉に実施することを決め、5日までに各都道府県に通知、乳幼児の発育状態に母親の社会進出や核家族化の影響などを探る

国土庁「1989年度版首都圏白書」を5日閣議に報告、首都圏1都7県の人口は、1989年10月1日で3,903万人、全国の32%を占め、このうち8割を占める東京圏1都3県では3年連続増加幅が縮小、東京圏の住宅総数は1,132万戸（1988年）で1983年に比べて10.5%増加、数量的には充実と分析

国連児童基金（ユニセフ）・国連環境計画（UNEP）、合同報告を世界環境デーの5日発表、発展途上国では毎年5歳未満の乳幼児1,400万人が公害、栄養不良や感染症で死亡していることなどを挙げ地球環境の改善を訴え

- 6月 台東区は若年層の定住化を図るため、新婚カップルを対象に10月から月額最高5万円の家賃を援助、毎年200組、5年間で計千組の新婚夫婦に援助予定
- 厚生省「第五次悪性新生物実態調査」6日まとめ、胃、子宮ガンが減る一方、肺、乳ガンが大幅に増えている；肺ガンが増えたのは、かかる率が高い高齢人口の増加により、乳ガンは食生活の欧米化や出産力の低下が関連しているのではないかと分析
- 時短経営問題懇談会、7日報告書まとめ、欧米先進国並みの労働時間を実現させるためには時短を経営課題として積極的に取り組み、企業の経営者が業界ごとに話合って「時短ガイドライン」をつくり、一斉に休日を取るようにすべきだと提案
- 都「人口移動調査速報」1989年発表、他府県から都内への転入者が過去最低、転出者は3年連続で50万人を超え61,757人の転出超過、都民の“東京脱出”は1986年以来4年連続なしを記録
- 警察庁「外国人労働者問題対策官」と「法令指導室」を来年新設要求
- 警察庁「外国人就労者を食い物とする悪質なケースに絞り」重点的に入管法の「不法就労助長罪」を適用するとの基本捜査方針を決め、全国防犯・保安部長会議で8日指示、「悪質な雇用主取り締まりのために設けられたことに十分配慮すべし」との衆参両院法務委員会の付帯決議があり、この趣旨を徹底するため「悪質」の基準を明らかにした
- 労働省、外国人単純労働者について①当面、技能研修枠拡大 ②中長期的には、労働力の需給関係など社会的コストをにらみつつ受け入れの抜本策を検討する、との二段構えで臨む方針
- 労働省、将来予想される労働不足への対応を検討するため「労働力供給制約研究会」を新設、21日に初会合12月始めに報告書をまとめる
- 法務省、改正入管法の施行に伴って新たに実施することになった「出入国管理基本計画」の策定で、8日までに民間有識者から成る協議会を発足する方針
- 厚生省大臣官房統計情報部「1989年人口動態統計の概況」9日公表、女性1人当たりの平均出産数が最低の1.57人、このまま進むと、今世紀中に子供人口（14歳以下）が老人人口（65歳以上）に追い抜かれる可能性もある
- 社会経済国民会議、1990年版『国民会議白書－労働力不足の実態と外国人労働者問題－』6日発表、最近の労働力不足の背景に年齢階層、職種間での需給のミスマッチがあると指摘、労働力不足対策としては女性や高齢者の活用を進めるべきだとして、安易な外国人労働力の導入を否定
- 石川県富来町、若者の流出に歯止めをかけるため、3人目以降の子供の出産に対し30万円を支給、6月町議会に条例を提出する
- 政府、自民党本部は、出生率低下防止のため①児童手当の増額 ②専業主婦の年金拡充③多産女性への年金加算などを提言
- 総務庁（長寿社会白書）「長寿社会対策の第三回フォローアップ報告」、長寿社会対策関係閣僚会議で12日了承、日本の高齢化は諸外国に比べ進み方が速く都市と地方で地域差が大きい、今後の対策として①90年代に本格的高齢化社会に向けた基盤整備を進める ②施策の総合化 ③地域や企業の参加促進 ④地域差に見合った対策の展開の4点を求める
- 警視庁保安一課・新宿署、12日までにフィリピン人女性を売春婦としてあっせんしていたフィリピン人2人を改正入管法違反の疑いで逮捕、同法の適用は全国で初めて
- 東京都労働経済局調査、1989年度の外国人労働者からの労働相談は1,130件、前年度より4倍近くに増加、中小企業5,200社（有効回答率40%）のアンケートで外国人を雇っている企業（220社）中34%が「今後、もっと増やしたい」と希望

6月 東京都、23区の中で結婚相談所があるのは12区、登録者を対象に区主催によるお見合パーティーを行ってきたが参加者を一般公募してパーティーを開く例が出てきた、土曜日も結婚相談の時間を17時まで延長した区もある

参院社会労働委員会、社会、公明、民社各党は出生率低下問題を取り上げ、児童手当充実や育児休業制度定着など子供を増やす環境づくりを早急に実施するよう政府に求めた

自民、社会、公明、民社各党、東京への一極集中是正を推進する立場から、国会の地方への移転決議をすることで14日合意

ソ連、シチエルバコフ国家労働社会問題委員会委員長は、ソ連国内で急増が予想される失業問題に対応するため、米欧主要国にソ連人労働者の受け入れを14日要請

新宿区、10月1日現在の推計人口は30万1,000人台、登録外国人は6月1日現在増加中で1万7,200人、区内の国勢調査による人口が30万人を割れば区議会議員定数減の予定

労働省、中長期的な労働力需給の試算結果まとめ、現在の労働力率のまま推移すると仮定すると、若年労働者が減少することにより1995年には約52万人、2010年には910万人分の労働力が不足すると試算、高齢者や女性を最大限に活用した場合でも2010年には186万人不足する、今後は需要超過基調で推移するため、高齢者、女性が働ける環境整備と労働生産性の向上、人材のムダのない利用が必要になると分析

ツデー（英紙）報道、英エディンバラの生殖生物研究所の医学研究チームはこのほど1～2回の注射で女性が一生避妊できるワクチンを開発、このワクチンを改良すれば、逆に不妊症の治療に役立つという画期的な効能があるとしている

モスクワ・ニュース（改革派週刊紙）報道、ソ連のウラジーミル・シチエルバコフ国家労働社会問題委員会議長は、今秋、出入国管理法（新移民法）が成立し、ソ連国民の出入国が自由化された場合、海外に職を求めて出国するソ連国民が1991年だけで200万人に達すると予測

中国政府「郷鎮企業」（農業工業）を再び育成する方針に転換、不況の深刻化で農村の余剰労働力の受け皿としての役割を見直し、融資拡大や法的地位の保障などの措置打ち出す

総務庁「外国人労働者に関する行政監察」実施、1991年1月から3月までの3ヵ月間、労働、法務、文部など関係省庁がどのように対応しているかをさぐる

米商務省、2000年までの米国経済と人口を予測、人口は2000年には2億7千万人近くになり、1人当たりの個人所得は1万5千ドルを超えると予測

都、生活文化局「高齢者の住まいに関する調査」23日発表、高齢者世帯の1ヵ月当たりの平均住居費は、持ち家世帯がローン返済や税金で7万400円、借家世帯は4万2,300円；将来に不安を抱いている老人に対し、都では「高齢者への家賃補助制度の拡充などを実行したい」としている

労働省5月1日現在の「労働経済動向調査結果」25日発表、常用労働者の不足を訴える企業が同時期としては過去最高、1～3月における中途採用の充足率も各産業で5割を切り、同項目の調査を開始した1987年以来最低の水準

自民党、外国人労働者問題特別委員会、外国人単純労働者の受け入れを「研修」の形で認めることを25日容認

法務省、改正入管法の在留資格のうち「研修」に関する審査基準を中小企業向けに大幅緩和を予定、26日までにそのガイドラインに着手

国連国際経済社会局人口部、世界の人口推計発表、世界の人口は53億人、90年中に9千200万人の増加をみ、2025年までには85億人と推計、女性の生涯の子供数と平均寿命は、世界平均で3.5人と64歳、先進工業国の女性が1.9人、74歳に対し、開発途上国は3.9人、61歳

6月	<p>厚生省、「ガン実態調査」推計28日発表、1年間にガンと診断された新規ガン患者は1985年全国で32万人を突破、胃、肺、乳房、子宮の4部位の新たなガン患者は16万5,700人、乳ガンは10年前の2倍</p> <p>労働省、女性の就業を支援するための総合策を検討する「女子労働政策研究会」を来月発足</p> <p>労働省1989年「産業労働事情調査」の結果30日発表、労働力・人材不足の解消を挙げた事業所は東京、大阪、名古屋の三大都市圏で62.6%、その他で65.2%、労働力不足は地方にも浸透</p>
7月	<p>中国、1日全国一斉に人口調査開始、1989年すでに11億人を突破したのは確実だが、産児制限違反の「黒孩子」「無戸籍者」や都市への流入人口の増大を把握するのが難しい課題、投入される調査員は約700万人</p> <p>神奈川県警防犯課・川崎幸署3日公表、就労目的の韓国女性女性の滞在期間を延長するため日本人男性との偽装結婚をあっせんしている在日韓国人の組織が国内で暗躍、偽装結婚していた男女7人を公正書原本不実記載、同行使で逮捕</p> <p>財団法人中小企業経営者災害補償事業団（KSD豊明会）、外国人研修生受け入れ機関設立の構想案を3日発表、具体的には研修期間を2年から3年に延長する、滞在期間の3分の1以上とする職業研修期間の短縮、従業員20人に研修生1人という行政指導を5人に1人に、研修生に対する労災保険・健康保険の適用を認める</p> <p>文部省、入管法の改正を受けて、コンピュータ技師や語学など実践的な職業教育を行う専修学校についても不法就労の隠れみよになる可能性があるとして、留学生の受け入れを定員の半分以下にするよう通知</p> <p>経済企画庁「労働力不足の実態・産業経済への影響と今後の対応調査」4日発表、1,330社のうち70.7%が人手不足感をもち、中途採用の拡大などで人集めを図っている；高齢者の活用や生産性向上などで乗り切る必要があると提言</p> <p>法務省、4日改正入管法の在留資格のうち「研修」に関する審査基準の緩和を検討、従業員300人以下の中小企業には企業規模ごとに研修生15人～3人まで受け入れられる4段階の基準を設定法相の告示として4日公表予定</p> <p>中国中央政治局常務委員は、4日「1990年代の人口情勢は非常に厳しい、計画出産政策によっても95年には12億の大台を突破するだろう」と見通しを述べた</p> <p>東京都台東区、人口定着策として新婚家庭へ家賃補助制度を打ち出したが、国税庁は「補助金は課税対象」との方針を決めた</p> <p>労働省「実務経験活動制度」構想、①1年の研修を受けた後技能評価試験に合格した外国人に次の1年間に限り就労を認める ②中小企業などが受け入れる外国人を対象とする ③資格証明や一時金を出し、2年間で確実に送り返す</p> <p>ソ連共産党大会で7日、チェルノブイリ原発事故の影響で白ロシア共和国では新生児の死亡率が5年間で4.1倍に急増するなど異常が起きていると報告</p> <p>毎日新聞社、第20回「家族計画世論調査」、子供を産む産まないは個人の問題であり、国が出生増加の音頭をとることに8割が「ノー」と答えた</p> <p>国連人口基金(UNFPA)、50億人を超えた(1987年)7月11日を「世界人口の日」とすることを提唱</p> <p>中国上海市、日本語学校17校について「学校運営上問題あり」として中国人の渡航申請があってもパスポートは発給しない</p> <p>人口問題協議会、世界人口の日の11日「急増する世界人口と日本の立場」と題するシンポジウ</p>

7月 ムを開催

都教育庁「1989年度公立中卒業者の進路状況調査」12日発表、進学を希望しながら高校に入学できない「中学浪人」が1982年度以来 7年ぶりに大幅減少、都立、私立合わせた全日制高校への進学率も90.44%と昨年より0.97ポイント上昇

東京商工会議所、12日、労働力不足に対する緊急対策と中期的な労働需給緩和策を求める要望書を労働省など関係省庁に提出、外国人労働者の研修生としての受け入れに反対

厚生省、日本語教育施設での定期健康診断の実施と、結果の報告など結核対策を積極的にとるよう都道府県に通知

厚生省「医療費動向の調査結果」（速報値）15日発表、1989年に健康保険で支払われた医療費は1兆 3,700億円、伸び率は前年を 1.4ポイント上回る5.6%、老人医療費は 5兆 3,300億円、サラリーマンの本人負担分も雇用増を反映して6.1%伸びた

世界銀行「世界開発報告1990」15日発表、90年代中に貧困層を世界人口の 33%（約11億人）から 18%（約 8億 2,500万人）に減らすことが可能と報告

ワールドウォッチ研究所（米民間団体）14日発表、世界で年間5千万件の中絶が行われ、20万人の女性が死亡している

厚生省、1990年 1月についての速報、生活保護を受けている人が全国で 108万 5,000人（全人口の 0.88%）、このまま行けば1989年年度の生活保護率が全人口の0.9%を割り過去最低になる欧米先進国では同様の制度の需給率は3% から 8% 程度

厚生省「HIV 感染症の医療体制にかんする研究班」調査、国立病院、療養所の 4割が患者の同意なしでエイズの検査を実施、感染が分かった場合告知する方針の施設も半数に満たない

畑和・埼玉県知事は16日、浦和、大宮、上尾、与野 4市と伊奈町から成る埼玉中枢都市圏地域（人口 102万人、1985年国調）の合併政令市化が望ましいと述べた

社会経済国民会議「新都建設への提言－21世紀を目指す国家プロジェクト」17日発表、人口重心に近い国土の中央部に20万人、面積 5千ヘクタールの新都建設を提言

政府、外国人研修生を民間企業などにあっせんする「外国人研修生調整・管理機構」（仮称）を18日設置、受け入れ窓口を一本化する計画

経済企画庁「高齢者福祉サービスに関する主婦の意識調査」18日発表、1,248人のうち高齢者介護の経験のあるものは 59%でそのうち 75%は世話をしている不自由を感じたり、困ったりしたことがある、高齢者介護休暇制度の創設(62%) や老人病院の増設、医師の巡回訪問を希望

労働省、常用労働者63人以上の企業について、1.6%以上障害者を雇用するよう義務付けているが、雇い入れ計画を作成させ改善命令を出す基準を雇用率0.8%まで引き上げ対象企業を増やす

総務庁、同庁が保有する統計情報に関するデータベースを各省庁が利用できるように全省庁をネットワーク化した(SISMAC)、各省庁で直接情報処理にあたっていない者でも自在に情報を引き出し、総合的に分析することを可能にした

米農務省発表、中国の国民 1人当たりの耕地面積が約40年で半減し、今後さらに減少する、1952年当時（人口 5億 7,400万人）の耕地面積は 1億 800万ヘクタールから1990年には 9,500万ヘクタールに減少した半面、人口は11億人に増加

通産省、19日、公的機関や商工会議所などでの研修制度を活用して、2年程度で現在の 2倍にあたる約 5万人の外国人研修生受け入れを目指す方針

神戸市の 7月 1日現在推計人口、147万 320人に達し政令指定都市の中で京都市をぬいて 6位

世界保健機関(WHO)の中島宏・事務総長は19日第12回国際児童青年精神医学会で特別講演し、世界中でここ数年難民やそれに伴うストリート・チルドレンが急増、救済に日本も尽力をと訴えた、世界の難民は1970年の250万人から1990年は1,500万人にも達し、うち子供が半数

日銀発表、労働力人口の見通し発表、今後若年人口が増えなくなるため、主婦や高齢者の就労がこれまで以上に増えないと、労働需給がひっ迫し、サービス分野を中心に賃金上昇が物価にはね返る恐れがあると判断

法務省、外国人労働者を「研修生」として入国させる際の受け入れ基準を緩和、従業員20人未満の企業でも受け入れられることになる

WHOのエイズ予測部門は、今世紀末までの9年間に世界中で少なくとも300万人の女性と子供がエイズで死亡するとの予測を発表

建設省、27日、改正した大都市法に基づき3大都市圏での住宅・宅地供給基本方針を検討するため、同省と関係都府県から成る「基本方針検討会議」を設置

建設省、28日、1991年4月財団法人「建設産業教育センター」(仮称)を設立、海外からの建設技術研修生200人の教育や、国際建設協力要員、専門技術者の育成を行う

毎日新聞社調査、子供を持っている母親のうち保育園を利用した人は47%、母親の職業別ではフルタイム71.0%、自営業66.4%、家業手伝い60.0%、パートタイム54.8%

エイズサーベランス委員会31日発表、国内のエイズ患者が増え285人に達し、まだ発症していないもののエイズウイルスに感染者は1,406、男性は海外で女性は国内で感染者は20代に集中

8月 | 上海市、一っ子政策を厳重にした「市計画出産条例」を1日から実施、2人目の子供を産めば罰金は夫婦の年収の6年分

通産省、国際ハイテク技術協力懇談会、ハイテク摩擦を防ぐための方策を示した報告書を31日まとめた、民間企業に対しては外国人研究者の積極的な受け入れなどを提言

都「家族意識や家庭の実態を探る調査」結果31日発表、20歳以上の2,094人中「子供の結婚式の費用を親が負担するのが当然」が71.3%、家を買う時の費用親負担当然40.5%、病気で体が不自由になったとき「息子夫婦と暮らしたい」20.4%、「娘夫婦と暮らしたい」32.3%

労働省、人手不足地域へのUターンを促進、職場、住環境などの面で勤労者にとって魅力ある地域づくりを推進するため「地域雇用法改正案」を次期通常国会に提出

労働省、高齢者雇用を推進するため来年度に労使と学識経験者で作る「高齢者雇用推進国民会議」(仮称)を設置する方針

海部首相は3日の軽井沢町での講演で、出生率の低下に強い懸念を示し、近く内閣内政審議室長を長とした対策プロジェクトチームを発足させる方針

文部省「1990年度学校基本調査速報」3日発表、大学・短大への入学者数72万7,500人中女子(36万6,100人)が男子を上回った、入学できなかった現役・浪人生は43万8000人

労働省、主に中小企業向けの「外国人職業訓練アドバイザー」制度を創設する方針

厚生省「1989年簡易生命表」を4日発表、平均寿命は延びて男75.91歳、女81.77歳ともに世界一を維持

通産省、1991年度から研修生枠拡充、対象国を現在の2か国から5か国に拡大、受け入れ人数は1

8月 00人程度を予定

総務庁「1990年2月労働力調査特別調査」、雇用者は4,690万人で前年に比べ190万人増加、増加率は男子1.7%に対し女子は4.2%、女子の3人に1人がパートまたはアルバイト

厚生省「1988年度老人医療事業年報」6日発表、老人保健制度加入者は908万4,366人、総人口の7.4%に

総務庁・通産省「商業統計調査」と「事業統計調査」の合同調査を来年7月実施、具体的な調査項目は10月の統計審議会に諮る

警察庁「1990年版警察白書」7日発表、急増する外国人労働者の現状と警察の対応を特集、不法就労摘発者が5年前の約3.5倍16,000人以上、外国人の犯罪刑法犯数は10年前の7倍、住民との摩擦は3ヵ月で500件

「1990年度経済白書—持続的拡大への道—」閣議で7日了承、景気拡大の持続性、日本経済における技術開発の役割、経済力の成果配分の方法について論じている

政府は懸案となっていた外国人研修生受け入れ拡大策について、研修2年目に就労を認める実務経験制度を見送り労働省の基本構想の「外国人研修生管理・調整機構」（仮称）を設立の方向

建設省「1991年度の重点施策」を9日発表、東京、名古屋、大阪の三大都市圏の住宅、宅地供給を促進、1991年6月を目途に都道府県の住宅、宅地供給計画の策定を促進

政府「出生率低下の歯止め策を検討する関係省庁の連絡会議」が10日発足、連絡会議は厚生、労働、文部、建設など関係各省の局長クラスで構成、課長級による幹事会を設置

法務省・労働省、来年度に外国人研修生の受け入れ団体を設置することで9日合意、不法就労を防止、効果的に研修を実現するのが狙い、労働省が提案していた「実務経験活動」については合意に達せず継続協議

厚生省「1989年国民生活基礎調査」10日発表、18歳以下の子供を持つ家庭は1,643万世帯で10年間で120万世帯の減少、高齢者世帯は全世帯の10%を越す

厚生省、出生率回復へ推進組織を省内に発足

政府、昨年春から今春にかけてベトナム難民を装って九州などに上陸した中国人の第五次送還を9月早々に行う方針

法務省「1989年の外国人留学生の日本企業などへの就職状況」を2日発表、大学、専門学校などを卒業した留学生のうち949人が就職のための「在留資格の変更」を申請、申請者は昨年の1.61倍

法務省、外国人研修生の受け入れ基準を緩和するため中小企業に特別枠を設けることを正式に決定、従業員50人以下で3人の受け入れ枠を設定

自治省「住民基本台帳」による3月31日現在日本人人口14日発表、総数1億2,274万4,952人前年より40万9,639人、0.33%増と最低、総世帯数は4,150万6,485世帯、一世帯当たりの平均家族数2.98人

労働省、職業能力開発システム検討委員会、ホワイトカラー層などが受講する教育訓練コースの社会的評価を高めるため、その修了者に対しビジネス単位を与える「職業能力開発ユニット・マスター制度」（仮称）の創設を柱とした報告書を15日まとめた

帝国データバンク「企業倒産状況」14日発表、人手不足倒産の1-7月までの累計は122件で89年1年間の128件にはほぼ匹敵

8月 東京都台東区結核入院患者調査、結核患者発生はここ数年低水準で安定しているが、山谷に集中、厳しい労働条件に加え長年にわたるアルコールのとり過ぎ、栄養不足が免疫力低下をもたらしている、罹患率は一般の30倍と推定

社会経済国民会議「老人保健と関連政策の在り方に関する提言」16日まとめ、厚生省と関係団体に提出、診療報酬を定額制に、公費負担を5割に拡大を

自治労、職員採用時の地方自治体の「国籍条項」調査、応募資格を日本国籍取得者に制限する国籍条項を全職種に設けている自治体がある一方、60を超える職種で外国人採用を認めている自治体がある

文部省、日本にある外国人学校の卒業生にたいする大学入学資格の付与など在外外国人に関する様々な教育問題に対応するため専門家による会議を発足、外国人教育の支援策などについて検討

千葉県印旛郡八街町富山、大工、三須国浩さん（45歳）の妻久子さん（44歳）が17日夜、八街総合病院で18人目の赤ちゃんを出産“子宝日本一”

社会保障研究所発表、1988年度に年金や医療保険など国民に支払われた社会保障給付費は42兆2,777億円、このうち年金給付者が初めて5割を超えた、人口の高齢化が進むにつれ給付費は年金を中心に増大するが、総額の伸びは4%、国民所得の伸び率6.8%、

労働省「1989年雇用動向調査結果」発表、労働移動が1975年以来最高に活発化、特に女性の就職者が244万人と過去最高、高齢者の就職が前年比17.0%増と大きく伸びる

リクルートリサーチ、来春卒業予定者に対する求人倍率調査結果発表、大学・短大生への企業8,045社の求人総数は今年105万人、大学卒求人総数は69万9,300人で求人倍率は3.14倍、就職希望者は大卒男子が22万2,700人、大卒女子は就職希望者7万1千に対し、求人は14万1千人で倍率は1.98倍

厚生省、老人福祉法などの一部が改正されたのを受け新しい制度を定着させるための「福祉制度改革推進会議」を22日に設置、市町村を中心に総合的に福祉事業を進める

文部省「1990年度学校基本調査」によれば、全国の幼稚園児数は200万8千人と昨年より3万人減、小学校の1クラス初めて29.7人と30人を割る、高校を卒業して就職したのは62万2千人このうち第1次産業はわずか3,300人足らず

都「高齢者の生活実態調査」、「独り暮らし老人」14.8%「老人夫婦のみ」24.5%で全高齢者世帯の4割、「寝たきり」など要介護者は6.27%、76,200人と推定、5年前に比べ8千人増加ホームヘルパーや訪問看護婦など公的機関の介護を受けているのは要介護高齢者のうちわずか2.6%

ヒューマンサイエンス振興財団の専門家178人の回答による「ヒト科学基礎研究の将来動向調査」まとめ、日本人は今後心臓や脳血管疾患、高血圧などの成人病が増え続ける半面、治療の進歩によって脳血管や高血圧性疾患の死亡率は現在より3~4割抑えられる

大蔵省、世界的な地球環境保全の潮流に合わせ、新たな間接税として「環境税」（仮称）創設を検討、炭酸ガス（CO₂）の発生を抑制するためガソリンなどの生産、流通、消費の各段階に課税

厚生省、出生率低下の対応策として「子育て減税」に取り組む方針、子供がいる共稼ぎ家庭にたいする所得控除を新設、すでに89年度から16歳から22歳までの子供に対する「教育減税」は実施されている

気象変動に関する政府間パネル(IPCC)第4回会議には先進、発展途上国を合わせて約100か国が参加、温暖化を防ぐための基本指針を採択

8月	<p>厚生省「21世紀の子供と家庭フォーラム」を1990年秋と1991年11月に開催、「子供を産み、育てやすい社会環境づくり」へ向け1992年3月の円卓会議で何らかのアピールを採択したい意向</p> <p>警察庁発表、1990年1～8月の交通死者7,027人、過去15年で最悪のペース、「暫定運転免許制度」も9月1日より実施</p> <p>新華社通信、中ソ両国は30日北京で労務輸出協定に調印、協定はソ連国内の企業などで働く中国人労働者の待遇について規定したもの</p> <p>労働省「農業部門の変化と労働問題に関する調査」研究会発表、農産物の輸入を自由化した場合130万人の離職者がでるが、農家の高齢化により2000年までに約150万の労働力減少が見込まれ、農業従事者の失業の心配もなく、物価引き下げ効果もある</p>
9月	<p>法務省「出入国管理難民認定法」の新基準を17日告示、これまでの「従業員20人に外国人研修生1人」との規定を新しい基準で従業員50人以下は3人まで受け入れ可能に</p> <p>厚生省、3人以上子供がいる家庭に対して、年金住宅融資の最高440万円までの割増し貸付けと所得控除などの優遇措置を大蔵省に働きかける</p> <p>厚生省大臣官房統計情報部、1989年人口動態統計発表、合計特殊出生率1.57と史上最低、平均初婚年齢が男28.5歳、女25.8歳とともに史上最高で世界的にも最高水準、平均初婚年齢はこの20年近くで男女とも1.6歳高くなり晩婚化が進む</p> <p>厚生省「精神薄弱児(者)福祉対策基礎調査」10日、19年ぶり実施される、最終回は1971年実施(精薄児(者)実態調査)、1975年には13都府県市でボイコットされ集計されなかった</p> <p>米国において日本ではまだ認められていない代理母によって、これまでに日本人夫婦4組の子供4人が誕生している事実をウィリアム・ハンデル弁護士が7日明らかにした、また9組の夫婦が待機</p> <p>都、民間賃貸住宅の建築費を援助、都が借り上げ低家賃で供給する「住宅バンク」創設、今後10年間で10万戸供給可能と試算</p> <p>台東区10月から始める「新婚家庭家賃補助制度」の申し込みは定員200組の4.7倍、青年層の人口流出を防ぐため区内に定住を希望する新婚家庭に月額最高5万円の補助を5年間続ける、1994年度まで毎年200組に支給</p> <p>厚生省「全国高齢者名簿」(長寿番付)発表、30日現在100歳以上のお年寄り3,298人、男680人、女2,618人、昨年より220人増加、20年連続で新記録</p> <p>国際結婚を考える会、今年で10周年をむかえる、会員50か国400人、日本人と外国人が結婚しているのは現在、全国で16,800件</p> <p>科学技術庁報告書11日発表、現在の経済成長が続くと2005年に研究者51万人が不足と推定、この人材不足を切り抜けるため女性や外国人研究者の登用、人材育成増強策、研究者を雑用から開放して研究に専念できるように人材対策が必要</p> <p>厚生省、1989年版老人保健・福祉マップ16種類を初めて作成、1993年から在宅福祉サービスの実施主体が市町村に一元化されるのを控え、福祉計画の指標にするのが狙い</p> <p>第2回外国人労働者問題に関する閣僚懇談会を入管法改正後はじめて18日に開催</p> <p>厚生省14日発表、民間主導による初の研究機関「国際長寿社会リーダーシップセンター」(日本社会事業大学に設置)を日・米両国でそれぞれ発足、寝たきり老人や痴呆症の増加など共通する課題に対して共同研究をする</p> <p>財団法人・日本チャリティ協会「高齢者のくらしと考えるための実態調査」まとめ、60歳以</p>

9月 | 上の 1,516人の収入は 83.7%が年金で、半数以上が 300万円未満

経済企画庁「家庭観に関するアンケート調査」14日発表、夫婦がそれぞれ仕事を持って子供をつくらないいわゆる「DINKS」容認が 58%、「子育てなしは残念」15%、「子育て経験して一人前」21%、出生率低下の原因は「経済的負担」が51%

総務庁15日現在の高齢者人口推計発表、65歳以上の高齢者人口は 1,488万人で昨年より0.4%上回って 12.0%

日本医師会「主要社会保障指標の将来動向」、国民医療費は1990年の20兆 9千億円から、高齢化がピークを迎える2025年には 6倍の 119兆円に急増、国民負担率も 58.9%に拡大すると推計

法務省「中小企業における外国人の雇用状況調査結果」発表、不法就労に従事させている疑いがある 607事業所について聞き取り調査を実施 272事業所で計 1,806人の外国人を雇用、このうち 62.5%にあたる 170事業所で、752人の外国人を何らかの不法就労活動に従事させていた

世界保健機関(WHO)「エイズ感染者地図」を公表、世界を 8地域に分け、1990年年初時の成人人口に対するエイズ感染者の割合を示す、世界全体で 800万人、300人に 1人の割合

厚生省、乳児を一時預かる「ベビールーム」など子育て関連産業に対し、経済的な援助策やサービスの質を確保するための指針作り検討

労働省「1989年度技能労働者等需給状況調査」16日発表、専門的な技術、知識を要する技能労働者は 191万人不足、不足率は 10.7%、不足人数では商品仕入れ、運転手などサービス業で多く、不足率は建設作業、情報処理関連職種で高い

国際連合経済社会理事会「移民労働者の保護に関する国際条約」の最終草案を17日発表、非合法、合法を問わず国内で働く外国人に対して国内労働法を準用、子弟の国籍取得を認めるといった基本的人権擁護などを規定

茨城県警・法務省東京入国管理局、茨城県内の「不法滞在」外国人の一斉摘発を行い、東南アジア系外国人を中心に84人(うち女77人)を摘発

人事院「高齢対策本部」を10月 1日発足、65歳までの雇用延長などを含む国家公務員の高齢対策を調査検討

東京都社会福祉審議会20日提言、民間住宅に住む高齢者転居に家賃補助、都は早ければ来年度から補助制度を開始する

WHO(世界保健機関)25日発表、2000年までにエイズに感染した子供は 1千万人を超えると予測

三和総合研究所25日発表、出生率の低下により労働力人口は1997年から減少に転じ、日本の経済成長を抑え込む、高齢者や主婦の雇用拡大など急ぐべき

米国人人口危機委員会発表、発展途上国での女性出産間隔が 2年未満の場合、2人目の子どもの乳児期の死亡の危険は60~ 70%増え、5歳までに死亡する子は 2倍になる、家族計画を実施して若い女性に初産をおくらせ出産間隔を長くさせれば、乳幼児の死亡を毎年 300万人減らせる

首相の私的諮問機関「21世紀へ向けて目指すべき社会を考える懇談会」26日報告、21世紀の最大の問題は環境破壊になると指摘、日本が率先して国際的な環境問題研究センターを設置するよう提言

子供のための世界サミット、29日から 2日間国連本部で開幕、飢餓根絶など宣言

総務庁統計局、国勢調査で外国人把握に努力、急増したアジア系外国人の居住実態把握のため英語に加え中国語など10か国語の説明書も用意したが、調査協力を得るのに困難が大きい

9月	<p>流通経済大学社会学部「障害者教育問題研究会」、全国国公私立の四年制 259大学 517学部を対象にアンケート調査を実施（回収率 66%）、過去 4年間に 1人以上の身体障害者を受け入れた大学は約半数</p> <p>都、9月 1日現在の人口11,920,937人（男 5,999,692人、女 5,921,245人）と前月より 3,238人減、7月以来連続3ヵ月の減少</p>
10月	<p>5年に一度実施される国勢調査が 1日に実施、今回は1980年以来の大規模調査で質問は22項目</p> <p>長崎で 3日、長崎県警稲佐署員が中国人密航者10人を同署に同行、出入国管理及び難民認定法違反の疑いで調査</p> <p>労働省、高齢者雇用を促進するため「高齢者等職業安定対策基本方針」の原案まとめ、60歳定年の93年度定着など</p> <p>都衛生局結核調査、日本語学校 275校のうち受診を希望した 186校の14,600人のうち63人が治療が必要とされ0.43%の発見率、国内の小中学校・高校で行っている定期検診での発見率 0.01%の約40倍</p> <p>3日に統一したドイツでは基本的に旧西ドイツの法律が適用されているが、妊娠中絶の扱いは“不統一”、東ドイツは原則自由であり今後 2年間に限り元の東ドイツ地域で容認、元の西ドイツ地域では禁止</p> <p>総務庁、今回の国勢調査から、フランス語やドイツ語など 11ヵ国語の調査票対訳集を作り、在日外国人の回収率アップを目指したが、タガログ語など11ヵ国語以外の外国人が相次ぎ、現場の調査員らが回答を得られない事態が新宿区や川崎市で起きている</p> <p>法務省 6日発表、日本に在留する外国人登録者数98万 4,455人、前年より 4万 3,450人(4.6%)増、出身地域はアジア89万 1,299人90.5%、北米4.1%、ヨーロッパ2.4%、南米2.2%、南米出身者が急増</p> <p>社会保険庁、国民年金受給者の繰り上げ受給の89年度実績をまとめ、89年 4月から 1年間に新規裁定者の繰り上げ受給率は、88年度に比べ 3.6ポイント低い 64.9%、4年連続で減少</p> <p>東京都調布市で、すでに記入済みの31世帯分を含む45部の国勢調査票が盗難、総務庁国勢統計課は該当の世帯に任意で再調査に応じてもらうよう同市に指示</p> <p>労働省、外国人研修生に関する調査 8日発表、2,718社中外国人を受け入れている企業は 10% 5,000人以上で 57%、1,000~5,000人で 28%、うち専任の研修指導員がいる企業は半数</p> <p>葛飾区、10月 1日実施された国勢調査で調査員の勘違いで「調査票」の未配布地域20世帯があることがわかり10日に調査票を配った</p> <p>厚生省、1991年度、高年出産の研究班を設置；30歳以上の高年初産の妊産婦に母子健康手帳を交付する際、一部の保健所では手帳に「高」をマルで囲んだ判を押していたのを全面廃止する</p> <p>高齢化社会における家族の形態や役割について世界各国の研究者が討議する「高齢化と家族に関する国連・北九州市会議」が15日から開かれた</p> <p>国民生活審議会総合政策部会の国民生活展望委員会は「国民生活を変え新たな主役たち」と題する報告を16日まとめ、「豊かさ」を実感できるようにするには生産力の追求に目指した産業社会から女性、青年、高齢者をも主人公とする生活中心型社会に変革する必要があり、子供を産める環境をと指摘</p> <p>労働省「21世紀に向けた労働力の中長期的需給試算」、現在の労働力率が続けば1995年に52万人、2010年に 910万人の労働力不足；高齢者女性を最大限雇用しても2010年に 186万人不足</p>

10月	<p>日経連、出生率の低下とその原因とみられる諸問題に対して、企業や働く女性がどう考えているかについてのアンケート結果を16日まとめた、調査対象企業の94.4%が「出生率低下が日本社会に与える影響は大きい」との危機感をもち、出生率低下の主要因については企業の65.0%が「ライフスタイルの変化」と答えた</p> <p>世界銀行、1989～90年版人口見通しを18日発表、世界の人口は52億8,500万人に達し、100年後には113億3,000万人になると予想</p> <p>法務省東京入国管理局成田支局、成田空港で入国を拒否される外国人が急増、1～9月で9,651人で昨年より377人増加</p> <p>厚生省、1991年4月から学生の国民年金への加入を開始、20歳以上の大学生などは月額9千円(91年度)の保険料を負担、最大の目的は無年金者をなくすこと</p> <p>国連の気候変動にかんする政府間パネル(IPCC)のメンバーであるマーチン・バリー博士は地球の温暖化が今後も続けば40年以内に10億人近くが飢えに苦しむと24日警告</p> <p>1990年度「国民生活白書一人にやさしい豊かな社会」30日発表、技術と国民生活の関係を様々な面から取り上げた</p> <p>中国国家统计局、1982年以来8年ぶりに実施した第4回全国人口調査の結果を30日発表、中国の大陸総人口は約11億3,368万人、台湾・香港・マカオを含めた総人口は11億6千万人、82年の第3回調査時の大陸総人口10億1,590万人と比べると1億1,778万人の増加</p>
11月	<p>文部省の大学審議会高等教育計画部会は、31日「審議の概要について」と題する中間報告書をまとめた、18歳人口は92年の205万人をピークに急減、2000年には151万人にまで減少、2000年時点で高校新卒の大学、短大志願率は51.1% 同進学率は39.8%、大学・短大高専総入学者数は64万9千人(1990年度より8万9千人減)と想定、入学定員は59万人定員超過率を1.1と見込んだ推計</p> <p>大蔵省、1日、厚生省が1991年度予算での増額を求めている児童手当について、拡充しない方針、児童手当をアップしても直接出生率の向上にむすびつかないと判断</p> <p>法務省、3日発表、1990年上半年期(1-6月)の外国人入国者は166万人(前年同期に比べ20.6%増)、日本人出国者は525万人(同13.8%増)、入国者の増加が最も著しいのはブラジルからで前年同期比約3倍の32,000人、日系移民の子孫のUターン来日が増加の要因</p> <p>厚生省、4日までに1989年度の厚生年金、国民年金の受給状況まとめ、それによると両年金受給者総数が2,010万人に上った</p> <p>関税貿易一般協定・多角的貿易交渉のサービス貿易交渉グループで、インドなどの途上国はすべてのガット加盟国が出稼ぎ労働者の受け入れ業種、職種のリストを作成し公表するよう提案、先進国側は基本的にはリスト作成に応じる意向だが途上国が関心を示している単純労働者については移動自由化に反対しているため、リストからも除外する方針</p> <p>日本心臓財団、20周年記念シンポジウムで急増する心臓病の予防には生活習慣の改善が急務とする提言を行う、心臓病予防制圧対策研究委員会が1987年の厚生省患者調査の数字を基に行った推計によると、心臓病患者の総数は約240万人、3大成人病の中でもがんの約60万人、脳卒中約160万人を大きく上回った</p> <p>政府、13日、日韓両国の懸案となっている在日韓国人の協定一、二世の法的地位・待遇改善問題について①退去強制の理由と再入国許可は三世に準じる ②指紋押捺は当面存続、19日にソウルで開かれる非公式局長協議を経て26、27両日の定期閣僚協議で合意したい考え</p> <p>警視庁捜査四課と府中署、16日までに観光ビザで入国した韓国人ホステスらの滞在期間を不正に延長するため日本人男性との偽装結婚を斡旋していた韓国籍の6人を公正証書原本不実記載、同行使の疑いで逮捕</p>

11月	<p>人口危機委員会、世界の百大都市圏の住み心地ランク19日発表、トップはオーストラリアのメルボルン、2位モントリオール、3位シアトル圏、東京圏は14位</p> <p>法務省、出入国管理行政について広く意見を求めるため有識者による「出入国管理政策懇談会」を設置、22日に初会合開く</p> <p>外務省、大村入国者収容中の中国人のうち、中国側が「身元が明らかでない」として受け入れに難色を示している 1,048人を中国側に引き渡すために、今月末北京で日中協議を行う</p> <p>国土庁「国土庁レポート」21日発表、東京圏（4都県）への転入超過数が1987年をピークに減少、人口分散の兆しがあらわれ始めた</p> <p>自民党社会部会「児童と家庭問題小委員会」、厚生省が試算した児童手当見直し案を22日協議、所得制限付きで支給対象を第1子からに拡大し、給付額を引き上げる一方、支給期間を短縮する方針</p> <p>韓国法務省26日公表、経済成長と賃金上昇に伴い、東南アジア方面からの「観光」などを名目にした出稼ぎ労働者が増えたため、出入国管理法を改正して不法就労の取り締まりを強化する方針、不法就労で摘発された外国人は1990年1～10月に945人、フィリピン368人が最も多く、日本人49人、89年の外国人入国者は約250万人で日本なみ</p> <p>国土庁、東京に本社のある大手企業のサラリーマン・OLを対象にした地方勤務についてのアンケート調査27日まとめ、30歳代の男性では「地方での仕事や生活を選びたい」という地方志向(35.6%)が東京圏（1都3県）志向を上まわる、逆に女性は東京志向者が地方志向の4倍</p> <p>東京都児童福祉審議会、女性の社会進出や就労形態の多様化に対応した保育施策を27日検討、夜7～10時の時間帯をカバーする「夜型延長保育」の創設などを盛り込んだ最終答申をまとめ、都は答申を受けて91年度から「開所は13時間以上、閉所時間は午後8時から10時ごろまで」という夜型延長保育制度を10ヵ所でモデル実施する計画</p> <p>農水省「1990年世界農林業センサス」結果を29日発表、全国農家数は383万5千戸で、5年前と比べ約40万戸(9.3%)減少、耕地の賃貸などにより耕地規模が5.0ヘクタール以上の大規模農家が5年間で38.1%増加、全国の農家人口は1,730万人(10.4%減少)、65歳以上の高齢者の占める割合は17%から20%に</p> <p>運輸省29日発表、1990年の日本人の海外旅行者数が初めて年間1千万人の大台を突破と推計、1991年に1千万人の目標達成を設定していたが、予定より1年も早く達成</p> <p>外国人労働者弁護団を、29日結成、差別や劣悪な労働条件に苦しむ外国人労働者の権利救済へ</p>
12月	<p>「1990年農業センサス」によれば、都内の耕地面積は1万37ヘクタール、この5年間で991ヘクタールが減少、農家人口も1万6,562人減って9万4,759人</p> <p>法務省大村入国者収容所に収容されている「中国偽装難民」1,041人について、中国側が中国公民でないとして引き取り拒否</p> <p>総務庁「日本統計年鑑」をもとに人口・世帯・家計・産業などの統計数字について1947年から40年間の推移を2日まとめた</p> <p>労働省「1990年版婦人労働の実情」（婦人労働白書）を2日発表、1989年の女性雇用者は1,749万人で88年に比べ史上最高の79万人増(4.7%)を記録、15歳以上の女性人口に占める雇用者の割合は34.2%と初めて3人に1人を超えた</p> <p>政府、海部首相の諮問機関「国会および政府機能の移転問題に関する懇談会」（仮称）を4日の閣議で設置</p> <p>厚生省社会局保護課「外国人は本来生活保護法の対象外」として日本に生活の本拠がない外国</p>

- 12月 人労働者への適用を認めないよう現場の福祉事務所への指導を強化、以前は1954年の社会局長通知を根拠にして生活保護法を適用したケースもあった
- 東京商工会議所「経営環境の変化と若者像」調査まとめ、入社4年目を超える男性若手社員の11月の残業は平均45時間、有給休暇も男性の42%が「1日も取らなかった」、残業は「手当に関係なく仕事だからやる」4割、デートの約束があっても急な残業を頼まれれば「デートをキャンセルする」と半数以上が考えている
- 法務省「外国人研修に関する財団法人」の業務内容原案を5日提示、法務、労働、通産など関係省庁が共同で管理、1991年秋の設立を目指している
- 中央労働基準審議会、1週間の法定労働時間について、現行の46時間を91年4月から44時間に改める政令改正案の要綱を塚原芳相に答申
- 労働省「労働経済動向調査」11月、常用労働者不足を訴える事業所はサービス業で69%と1984年の調査開始以来最高水準となった、製造業も前期(8月)と同水準の60%が不足
- 厚生省「1989年度社会医療診療行為別調査」8日発表、医療費全体で薬剤費の比率は31.3%と前年比1.7%増、老人医療対象の外来患者に対する医療費では49.0%が薬剤費が占めている
- 電通総研「21世紀初頭の生活環境予測シナリオ調査」10日発表、30～40歳代の研究者、民間企業の管理職、官公庁職員など828人のうち労働優先で集団主義を望む「伝統的価値観」が強まるとみる人は28.8%、42.3%は自分の生活を優先する「享乐的自己主義」が強まると予測、「東京集中が激化し、生活環境は悪化する」62.6%、「老後に備え労働・貯蓄に励む」は84.3%
- 米食品医薬品局(FDA)は10日、女性の上腕部に埋め込むだけで5年間効く避妊具「ノープラント」の使用を許可
- 労働省「高齢者等職業安定対策基本方針」11日発表、基本方針は1990年度から94年度までの5年間に60歳定年の完全定着、65歳までの再雇用、勤務延長など
- 津島厚相は、老人医療費について①老人患者の自己負担は現在の定額制を維持しながら物価などの動向に合わせて定期的引き上げ ②公費負担は老人介護に限定して現在の3割から5割まで引き上げる ③そのための老人保健法改正案を今国会に提出との方針
- 国連難民高等弁務官事務所開設40周年を14日迎える、地球上の難民は1990年1月1日現在14,916,801人
- 自民党「児童と家庭問題小委員会」14日まとめ、出生率向上を目指して現在2番目の子供から支給している児童手当を第1子から支給、期間は3歳の誕生日までに短縮、第2子まで5千円、第3子から1万円にするよう求めている
- 労働省、婦人少年問題審議会に「育児休業法案」(仮称)の検討を14日要請、同制度の法制化に着手
- 中国・国家生育委員会主任(大臣)は「中国大陸の人口は今後5年間に毎年1,700万人ずつ増加する」との見通しを17日明らかにした、7月1日に実施された国勢調査によると中国大陸の人口は約11億3,300万人、1995年には12億1,800万人に達する勘定
- 新宿区で、住民たちは区に対し住宅基本条例の制定を求める直接請求を行う、家賃補助や民間賃貸住宅建設への助成など「住み続けられるまちづくり」を求める
- 臨時国会での国会移転決議を受けて海部首相の私的懇談会として「首都機能移転問題を考える有識者会議」19日発足
- 国連「全移住労働者とその家族の権利保護に関する国際条約」18日採択、条約は滞在・就労資格が非合法でも人権の保護などを規定、日本は当面批准見送り

12月 国連児童基金（ユニセフ）「1991年世界子供白書」19日発表、飢え、家なき子 3,000万人、毎週25万人の子供が病死、3人に1人の子供が栄養失調、21世紀までに「乳幼児の死亡率を現在の3分の2に下げる」「栄養不良の子供を半分に減らす」「初等教育就学年齢の子供の少なくとも80%に初等教育を受けさせる」などの目標を掲げている

中国・農業省19日発表、今年の食糧生産量は4億2千万トと過去最高、国民1人当たりでは372キロで、1984年の394キロに届かなかった

「1990年国勢調査」速報値を21日の閣議に報告、日本の総人口は1億2,361万1,541人で、85年調査に比べ、256万2,618人2.1%増加、伸び率過去最低、大都市とりわけ首都圏集中が顕著

第一勧銀「独身OL結婚観」調査、結婚希望年齢は平均26.9歳、前回調査（1985年）に比べ1.4歳上昇 3人に1人が交際中の男性がいる、結婚相手としてふさわしいタイプは「長男以外」77.6%、「兄弟姉妹がいる」96.2%、「サラリーマン」56.6%、「仕事より家庭優先」77.4%

アメリカ商務省26日発表、1990年4月1日現在の全人口（海外駐留の軍人を含む）2億4,963万2,692人、前回80年に比べ10.21%増加、南西部の伸びが目立つ

労働省「転勤と勤労者生活に関する調査研究会」まとめ、転勤を命じられて「単身赴任」を選ぶ最大の理由は、「子どもの教育問題・受験」を挙げた人が63%、「家族が生活の変化を望まなかった」8%、二重生活に伴い1ヵ月10万円近く持ち出しとなり、経済的負担も大きい

索

引 (目次から引きにくいもの等に限定)

あ	表番号 (特は特集部を示す)
安定人口	4-6
移動率	
年齢別	特-3
栄養不足人口	10-8
か	
外国人の	
婚姻	7-10, 11, 12, 13
死亡	6-1
出生	5-1
世帯	8-22
離婚	7-19
労働力	9-15, 16, 17, 18
合計婚姻率	7-4
合計再婚率	7-6
合計(特殊)出生率(平均子供数)	5-8, 9 10, 11, 12, 15; 12-6, 10
合計初婚率	7-5
合計離婚率	7-20, 21
高齢人口	
75歳以上	3-7, 16
国際結婚	7-10, 11, 12, 13, 19
子供人口	
18歳未満	8-18
6歳未満	8-18
さ	
死産	5-17; 12-9
就職率	特-55, 56
将来の	
高齢人口	3-5, 6, 7, 10, 11, 13, 14, 15
死亡数	4-2
出生数	4-2
人口	
主要国	1-16
世界	1-9, 12
日本	1-7
世帯数	
家族類型別	8-12

将来の	表番号
世帯数	
高齢者のいる	8-16
平均寿命 (出生時の平均余命)	
主要国	6-13
世界	6-12
日本	6-9
進学率	10-4; 特-55
人口密度	1-4, 5, 6, 7, 10, 14, 15
世帯主率	8-21
世帯数 外国人のいる	8-22
性比	
移動	特-7
死亡	6-2
出生	5-2
人口	1-4, 5, 7; 特-22
年齢別	3-1, 2
増加率	
世帯	8-1, 5, 8, 11
年齢別人口	3-3, 5
た	
男子の	
出生率	5-15
昼間人口	特-52, 53, 54
同居率	8-17
都市人口	11-3, 4
都市別人口	11-1, 2
な	
日本人人口	
性, 年齢別	2-4; 3-2
妊娠中絶	5-18, 21
は	
非識字率	10-6, 7
普通(粗)	
婚姻率	7-1, 15; 12-9
死亡率	4-1, 2; 12-5, 9
出生率	4-1, 2; 12-5, 9
離婚率	7-14, 15

研究資料発行予定(第270号以降)

- 第270号 人口関係文献集 1990
第271号 全国人口の再生産に関する指標 1985～1990年
第272号 第44回簡速静止人口表
第273号 日本の将来推計人口 1992年3月推計
第274号 人口統計資料集 1992(特集:死亡)
第275号 人口関係文献集 1992

人口問題研究所主要刊行物一覧

『人口問題研究』	季刊
『研究資料』	不定期
『特別研究報告資料』	毎年
『人口問題研究所年報』	年刊

〈お願い〉

本報告書の内容を利用された場合、その掲載誌などを一部下記宛て御送付いただければ幸いです。

研究資料第269号

人口統計資料集 1990～91

1991年3月29日発行

編集兼
発行者 厚生省人口問題研究所
東京都千代田区霞が関1丁目2番2号
電話番号:東京(03)3503-1711 内 3662
F A X:東京(03)3591-4816
郵便番号:100-45

印刷者 (株) 廣濟堂
東京都港区芝公園1-3-13
電話番号:東京(03)3434-9651

